2021年度

シ　ラ　バ　ス

桐生大学　医療保健学部

看護学科

講義コード	10010001
講義名	哲学・倫理学
(副題)	
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	前期
講義区分	講義
基準単位数	2
代表曜日	水曜日
代表時限	３時限
必修/選択	選択
実務経験のある教員の有無	無
実務経験のある教員の経歴と授業内容	
学年	4学年

担当教員

職種	氏名	所属
教 員	◎ 村上 隆夫	指定なし

授業の概要と教育目標

西欧の哲学および倫理学という学問に関する基本的な事柄について学ぶことを教育目標とする。そのために、古代ギリシアにおける哲学・倫理学の成立と、古代ユダヤのヘブライ文化を源流とするキリスト教の成立とを跡付けて、その後の西欧の哲学と倫理学の発展を近代にいたるまで概観する。

卒業認定・学位授与の方針との関連

広い基礎的な教養の獲得を目指す選択科目として卒業認定・学位授与の方針と関連する。

到達目標

古代および近代のヨーロッパの哲学・倫理学のみならず、現代の哲学・倫理学についての入門的な文献を読解できるようにすることを目標とする。

授業計画

	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	＜古代地中海世界の文化＞ 古代地中海世界におけるギリシャ人の文化とユダヤ人の文化について説明する。		講義内容について、主にインターネットで検索する（それぞれ90分程度）
第2回	＜ギリシア哲学の形成（１）＞ ソクラテスの生涯とその哲学・倫理学について説明する。		講義内容について、主にインターネットで検索する（それぞれ90分程度）
第3回	＜ギリシャ哲学の形成（２）＞ 上に同じ		講義内容について、主にインターネットで検索する（それぞれ90分程度）
第4回	＜ギリシャ哲学の展開（１）＞ プラトンの哲学・倫理学について説明する。		講義内容について、主にインターネットで検索する（それぞれ90分程度）

第5回	＜ギリシア哲学の展開（２）＞ 上に同じ		講義内容について、主にインターネットで検索する（それぞれ90分程度）
第6回	＜ギリシア哲学の展開（３）＞ アリストテレスの哲学・倫理学について説明する。		講義内容について、主にインターネットで検索する（それぞれ90分程度）
第7回	＜ギリシア哲学の展開（４）＞ 上に同じ		講義内容について、主にインターネットで検索する（それぞれ90分程度）
第8回	＜キリスト教の成立（１）＞ イエスの生涯とその倫理思想について説明する。		講義内容について、主にインターネットで検索する（それぞれ90分程度）
第9回	＜キリスト教の成立（２）＞ パウロによるキリスト教思想の形成について説明する。		講義内容について、主にインターネットで検索する（それぞれ90分程度）
第10回	＜キリスト教神学の形成＞ アウグスティヌスのキリスト教神学について説明する。		講義内容について、主にインターネットで検索する（それぞれ90分程度）
第11回	＜キリスト教神学の展開＞ 中世キリスト教神学における普遍論争について説明する。		講義内容について、主にインターネットで検索する（それぞれ90分程度）
第12回	＜宗教改革の思想＞ マルティン・ルターとジャン・カルヴァンのキリスト教思想について説明する。		講義内容について、主にインターネットで検索する（それぞれ90分程度）
第13回	＜近代哲学・倫理学の形成（１）＞ トマス・ホッブズの哲学・倫理学の近代的性格について説明する。		講義内容について、主にインターネットで検索する（それぞれ90分程度）
第14回	＜近代哲学・倫理学の形成（２）＞ デカルトの哲学・倫理学の近代的性格について説明する。		講義内容について、主にインターネットで検索する（それぞれ90分程度）
第15回	＜総括と討論＞ これまでの講義について補講を行い、さらに総括のための討論の時間を設ける。	講義内容についての意見と討論を求める。	講義内容について、主にインターネットで検索する（それぞれ90分程度）

教科書

特に使用しない。講義の際にレジュメを配布する。

参考書

講義のなかで適宜指示する。

成績評価の方法・基準

単位認定60点以上。学期末試験（１００％）による評価を行う。

課題等に対する
フィードバックの方法

授業の後で関連する事項について検索をおこなうなど、復習することが望ましい。
評価は期末試験によって行い、要望があれば具体的に講評する。

履修のポイント

レジュメに関連してノートに補足してまとめることが望ましい。
オフィス・アワー
授業日の授業開始前もしくは終了後に教室等で質問に応ずる。
科目区分
学部共通科目
当該授業科目の教育課程内での位置づけ
UM-C070

講義コード	10020001
講義名	心理学
(副題)	
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	前期
講義区分	講義
基準単位数	2
代表曜日	木曜日
代表時限	３時限
必修/選択	選択
実務経験のある教員の有無	無
実務経験のある教員の経歴と授業内容	
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 大澤 靖彦	指定なし

授業の概要と教育目標

ものを見聞きすること、覚えること、考えること、泣いたり笑ったりすることなど、私たちが意識するとしないとにかかわらず、人のあらゆる活動に心はかかわっている。そして、人は常に、状況に応じて適切な判断を下し、その場に合った行動をうまく選択し、自分にとって必要で大切だと思うことをきちんと覚えておくような存在かというと、そうでもない。心理学は、私たちのそうした心のはたらきを実証的に明らかにすることを目的とした科学である。看護職をめざすものとして、人の心の多様なはたらきについて学修することは、人間理解の一環にもなる。本講義はそうした観点から、人の心の多様なはたらきがどのように明らかにされてきたかについて取り上げる。授業は講義形式で行うが、テーマによって視聴覚にうったえる試みもする予定である。人の心のはたらきについて広く知識を獲得し、人（患者）を理解する基本的態度を修得することを目標とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

医療保健学部看護学科のディプロマポリシーとの関連として、社会・環境・コミュニケーションなどの諸側面から人に対する理解を深めることを目指し、心理的側面の理解を通してその目的達成に資する知識を養う。そして、看護職として看護対象となる人の健康の諸側面、健康生活と社会との関係について、心的側面から理解することを目指す。

到達目標

１．知覚・記憶・学習・発達・性格・感情と欲求・適応機制などにかかわる専門用語の意味を理解する。
２．知覚・記憶・学習・発達・性格・感情と欲求・適応機制などにかかわる心理学理論について理解する。
３．日常的な出来事を心理学の理論に沿って理解する。
４．人の心の全般的なしくみについて理解する。

授業計画

	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間

第1回	心理学のいろいろ	オリエンテーション（授業の進め方、成績評価など） 心理学の系譜を概観しながら、日常生活から社会の動きまでのトピックスをワークシートを使いながら理解を深める。	予習90分：教科書第1章を読む。 復習90分：配布資料を見直す。
第2回	知覚心理学	錯視をはじめとし、見えの不思議について教科書のワークをしながら知覚の不思議を体験する。 （DVDの視聴あり）	予習90分：教科書pp.20-34を読む。 復習90分：配布資料を見直す。
第3回	学習心理学	テスト勉強で何かを覚えるだけでなく、知らず知らず身につけてしまう学習について取り上げる。日常生活で我々が知らず知らず身に着けている行動の例についてで考える。	予習90分：教科書pp.34-43を読む。 復習90分：配布資料を見直す。
第4回	認知心理学	記憶や思考についてのワークをしながら理解を深める。	予習90分：教科書pp.43-54を読む。 復習90分：配布資料を見直す。
第5回	人格心理学	いくつかの心理検査を行い、自分自身についての理解を深めながら、パーソナリティについての理解を深める。	予習90分：教科書pp.56-70を読む。 復習90分：配布資料を見直す。
第6回	発達心理学①	発達の基本概念について取り上げる。発達を促進する遺伝的要因と環境要因について、メンバーの考えを聴きながら自分の考えを広げたり深めたりする。	予習90分：教科書pp.71-83を読む。 復習90分：配布資料を見直す。
第7回	発達心理学②	自分らしさを作り上げる過程から死を迎えるまでの発達について取り上げる。心理検査等により自分のアイデンティティについての理解を深めながら、青年期の発達課題について理解する。	予習90分：教科書pp.84-101を読む。 復習90分：配布資料を見直す。
第8回	社会心理学①	対人関係における印象形成、対人魅力、恋愛について、メンバーの考えを聴きながら自分の考えを広げたり深めたりする。	予習90分：教科書pp.102-118を読む。 復習90分：配布資料を見直す。

第9回	社会心理学②	人を動かす心理学について、メンバーの考えを聴きながら自分の考えを広げたり深めたりする。 DVD視聴	予習90分：教科書pp.119-135を読む。 復習90分：配布資料を見直す。
第10回	社会心理学③	援助行動と攻撃行動について、メンバーの考えを聴きながら自分の考えを広げたり深めたりする。	予習90分：教科書pp136-148を読む。 復習90分：配布資料を見直す。
第11回	健康心理学①	心の健康、適応について、メンバーの考えを聴きながら自分の考えを広げたり深めたりする。	予習90分：教科書pp.149-158を読む。 復習90分：配布資料を見直す。
第12回	健康心理学②	ストレスについてメンバーの考えを聴きながら自分の考えを広げたり深めたりする。	予習90分：教科書pp.158-163を読む。 復習90分：配布資料を見直す。
第13回	健康心理学③	心の健康の維持、回復について取り上げるが、さらに、正常と異常の違いについて多面的に考える。 DVD視聴	予習90分：教科書pp.164-171を読む。 復習90分：配布資料を見直す。
第14回	臨床心理学	こころへのアプローチについて、「無意識」「行動」「認知「成長する力」に焦点を当てて理解する。 DVD視聴	予習90分：配付資料の14回目分を読む。 復習90分：配布資料を見直す。
第15回	社会現象と心理学 確認テスト	社会・集団等によって知らず知らず影響を受けていることを理解する。特にコロナ禍における心理学から見た社会現象について考究する。 DVD視聴	予習90分：教科書pp.172-182を読む。 復習90分：配布資料を見直す。

教科書
藤本忠明他 『ワークショップ心理学』 ナカニシヤ出版
参考書
適宜紹介する。

成績評価の方法・基準
単位認定60点以上。 確認テスト（最終授業で毎回の授業で行う小テストから40問を出題）もしくは小論文テスト40％ レポート・課題30％ 授業への積極性・態度30％
課題等に対する フィードバックの方法
授業内でレポートや課題を課すことがある。返却するので学習の参考にすること。また、授業の振り返りの資料とその解答を配布するので、授業内容の理解に役立てること。
履修のポイント
授業への積極的な取り組みを期待します。
オフィス・アワー
水曜日・木曜日、12：30～13：20（昼休み）、11 号館第 8 研究室。 ※講義終了前後にも、適宜受け付けます。
科目区分
学部共通科目
当該授業科目の教育課程内での位置づけ
UM-C001

講義コード	10030001
講義名	教育原論
(副題)	【教職必修】
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	前期
講義区分	講義
基準単位数	2
代表曜日	火曜日
代表時限	5時限
必修/選択	選択
実務経験のある教員の有無	無
実務経験のある教員の経歴と授業内容	
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 田口 和人	指定なし

授業の概要と教育目標

教育に関する基本的な事項について学ぶ。これまで受けてきた家庭教育・学校教育・社会教育での経験を踏まえながら、「教育とは何か」について、また教育がもたらす弊害についても考える。そして、「主体的・対話的で、深い学び」とは何かついて理解を深めていく。※「読む」「書く」「話す」という実践的訓練（スキル）を毎時間行う。特に「話す」については、授業内容に即して発言を求める。

卒業認定・学位授与の方針との関連

医療保健学部看護学科のディプロマ・ポリシーと関連して、人間のもっている社会・環境・コミュニケーションなどの諸側面についての理解を深めることを目指して、人間の存在・成長・発達に関わって教育のもっている意味を理解する。そして、そのことを通じて、学び続けることの重要性を実感できることを目指す。

到達目標

教育とは何か、人間として生きるために、また人間として成長するために、なぜ教育が必要であるかということについて考えます。その上で、現実に行われている教育について考える視点をもつことができることを目標とします。

授業計画

	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	これまで受けてきた教育を振り返りながら、家庭教育・学校教育・社会教育についての考え方を共有する。	これまで受けてきた家庭教育・学校教育・社会教育についてワークシートを用いて振り返る。	予習90分：教育に関する事象について調べる。復習90分：配付資料を見直す。
第2回	人間が存在するようになった時代を想像しながら、教育の有り様を考える。	視聴覚教材を観て、意見・感想をまとめ	予習90分：教育に関する事象について調べる。

		る。	復習90分：配付資料を見直す。
第3回	乳幼児の成長を追いながら、親・家族の存在と教育（保育）について考える。		予習90分：教育に関する事象について調べる。 復習90分：配付資料を見直す。
第4回	児童期を迎えた子どもたちと小学校での教育（初等教育）と家庭・地域との連携・協力について考える。		予習90分：教育に関する事象について調べる。 復習90分：配付資料を見直す。
第5回	生徒期を過ごす子どもたちと中学校・高等学校での教育（中等教育）と家庭・地域との連携・協力について考える。		予習90分：教育に関する事象について調べる。 復習90分：配付資料を見直す。
第6回	学生期を過ごす青年たちと大学の教育（高等教育）と地域との連携・協力について考える。		予習90分：教育に関する事象について調べる。 復習90分：配付資料を見直す。
第7回	人間についての観念（人間観）の歴史的変遷と教育を踏まえ、その内容と方法について考える。		予習90分：教育に関する事象について調べる。 復習90分：配付資料を見直す。
第8回	近代教育史を中心にして、その変遷と価値観の転換について考える。また、日本の近代公教育の成立を踏まえながら、権利としての教育（憲法）、教育基本法、学校教育法について考える。		予習90分：教育に関する事象について調べる。 復習90分：配付資料を見直す。
第9回	学校の中心的な教育活動である授業と学習の関係について考える。	「主体的、対話的で深い学び」とは何かを考える。アクティブラーニングとは何かを考える。	予習90分：教育に関する事象について調べる。 復習90分：配付資料を見直す。
第10回	学校という組織の運営と計画、教育内容の組織化と形態、教育課程の編成、学習指導要領について学び、考える。		予習90分：教育に関する事象について調べる。 復習90分：配付資料を見直す。
第11回	教科外教育としての生徒指導（生活指導）や特別活動、道徳教育の役割と課題について考える。また、教科外教育において、今日の学校環境を取り巻く学校安全についての理解を深める。		予習90分：教育に関する事象について調べる。 復習90分：配付資料を見直す。
第12回	学校保健安全法をとりあげ、生活安全・交通安全・災害安全について学び、その意義を理解する。		予習90分：教育に関する事象について調べる。 復習90分：配付資料を見直す。
			予習90分：教育

第13回	今日求められる「開かれた学校」について学び、その意義を理解する。		に関する事象について調べる。 復習90分：配付資料を見直す。
第14回	教育や学習とは何かという問いに基づきながら、社会構成的学習（参加・対話型）を実際に行ってみる。	「主体的、対話的で深い学び」とは何かを考える。アクティブラーニングとは何かを考える。	予習90分：教育に関する事象について調べる。 復習90分：配付資料を見直す。
第15回	教育の現状を踏まえながら、これからの教育のあり方について考える。		予習90分：教育に関する事象について調べる。 復習90分：配付資料を見直す。

教科書

なし

参考書

『学生のための教育学』西川信廣・ほか編、ナカニシヤ出版。
文部科学省『幼稚園教育要領』（平成29年）。
文部科学省『小学校学習指導要領』（平成29年）。
文部科学省『中学校学習指導要領』（平成29年）。
文部科学省『生徒指導提要』（平成22年）。
※適宜資料を配付する。

成績評価の方法・基準

定期試験（80%）、授業時のレポート（20%）
単位認定基準60%以上

課題等に対するフィードバックの方法

授業内でレポートや課題を課すことがある。返却するので、授業の振り返りとして役立てること。

履修のポイント

主体的、対話的で深い学びを期待します。

オフィス・アワー

火曜日・木曜日の12：30～13：20（昼休み） 11号館第7研究室
※授業終了後にも、適宜受け付けます。

科目区分

学部共通科目

当該授業科目の教育課程内での位置づけ

UM-C002

講義コード	10040001
講義名	法学
(副題)	
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	前期
講義区分	講義
基準単位数	2
代表曜日	金曜日
代表時限	３時限
必修/選択	選択
実務経験のある教員の有無	無
実務経験のある教員の経歴と授業内容	
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 松原 直樹	指定なし

授業の概要と教育目標

社会において、日常生活を営み、職業に従事する場合、少なからず法が関わってくる。特に、保健医療に関する分野は、他の職業領域と比較して、国による規制および国によるサービスが実施されることが圧倒的に多い。そのため、保健医療の従事者は法令により、その業務を行わなければならない。また、最近は、法的紛争に巻き込まれるケースは以前と比較して、格段に増加してきている。
本講座では、日常生活や職場において必要とされる最低限の法的ことがらについて学習し、生活者として、また職業人として必要不可欠な法に関する知識を身につけることを目ざす。

卒業認定・学位授与の方針との関連

人間に対して社会的な側面から理解する。看護学の基礎となる、健康生活と社会との関係について理解するための基礎である法的知識を理解し、医療者としてのみならず、社会人として守るべき法令とその目的について理解する。

到達目標

１．法とは何か、また法令の基本構造、法令の読み方を理解する。
２．日常生活に関わりのある法令のうち、社会人として特に必要な具体的法令を理解する。
３．医療者として理解しておく必要のある具体的法令のうち基礎的なものを理解できるようにする。

授業計画

	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	私たちが生活している中で、法がどのようにかかわっているのか、具体的な場面を通して、理解していく。		予習90分： シラバスを読み、授業計画について把握する。 復習90分：ハンドアウトに記載してある内容を読んで、復習する。
	「法」には、いくつかの種類があ		予習90分： ハンドアウト

第2回	る。その種類とそれぞれの関係について学習し、それらが具体的な場面において、どのような役割を果たしていくのか、理解する。		第2回を読む。 復習90分：ハンドアウト第2回に記載してある内容を読んで、復習する。
第3回	法令は、条文という形で、一般的な文章とは異なる形式で存在している。医療保健関係の具体的な法令を利用して、条文の法令全体の構造、規定の意味等について理解する。また、法令用語についても基本的なものについて理解する。		予習90分： ハンドアウト第3回を読む。 復習90分：ハンドアウト第3回に記載してある内容を読んで、復習する。
第4回	「法」の具体的種類である「法律」「政令」「省令」「条例」がどのように形作られていくのかについて、具体的な法令を利用して理解する。	グループごとに法律・政令・省令の関わりについての具体例を発表する。	予習90分： ハンドアウト第4回を読む。グループごとに指定された具体的な法律・政令・省令の相互の関わりを調べる。 復習90分：ハンドアウト第4回に記載してある自分のグループが指定された以外の法令の条文を読んで、復習する。
第5回	「法」の多くは、時間がたつと改正される。ここでは、法令の改正について学習する。改正の仕方はどのようなものであり、また改正後に条文がどのようになるのか、医療保健関係の具体的な法令を利用して、学習する。		予習90分： ハンドアウト第5回を読む。 復習90分：ハンドアウト第5回に記載してある内容・法令の条文を読んで、復習する。練習問題をやっておく。
第6回	医療に関しては、「医療を行う人に関する法」、「医療を行う施設とそれを取り巻く環境に関する法」、その他の「医療保健福祉に関わる法」がある。それらの現状について概観する。		予習60分： ハンドアウト第6回を読む。 復習120分：ハンドアウト第6回に記載してある内容・法令の条文を読んで、復習する。中間確認テストに向けて、これまでのハンドアウトを見直す。
第7回	他人の権利を侵害した場合には、民事上の責任が発生する。不法行為に関する基礎を学習した上で、特に医療に関わる人による「医療過誤」により、どのような責任を負うか、具体的に検討する。	医療過誤に関する判例のうちいくつかを取り上げ、議論する。	予習60分： ハンドアウト第7回を読む。 復習120分：ハンドアウト第7回に記載してある内容・法令の条文を読んで、復習する。授業で取り上げた判例を読んで、復習する。中間確認テストに向けて、これまでのハンドアウトを見直す。
第8回	医療については、さまざまな行政上の規制が存在している。そうした行政上の規制をいくつか取り上げ、免許制度との関係で、検討する。 中間確認テスト(40分間)を実施する。		予習90分： ハンドアウト第8回を読む。 復習90分：ハンドアウト第8回に記載してある内容・法令の条文を読んで、復習する。
第9回	家族について規定している法を学習する。具体的には、結婚・離婚に関する法規定について理解する		予習90分： ハンドアウト第9回を読む。 復習90分：ハンドアウト第9回に記載してある内容・法令の条文を読んで、復習する。

第10回	前回につづき、家族について規定している法を学習する。具体的には、親子関係、相続に関する法規定について理解する。		予習120分： ハンドアウト第10回を読む。レポート(第12回提出)を作成する。 復習60分：ハンドアウト第10回に記載してある内容・法令の条文を読んで、復習する。返却されたテストの誤った部分について、正解を検討しておく。
第11回	労働者の権利を中心に学習する。労働条件の最低基準を定めた労働基準法を中心に、労働者保護のための諸法令について、理解する。		予習120分： ハンドアウト第11回を読む。レポート(第12回提出)を作成する。 復習60分：ハンドアウト第11回に記載してある内容・法令の条文を読んで、復習する。
第12回	現代の労働環境において、大きな問題となっている「過労死」、「ブラックバイト」などへの労働者の対処法を学習する。 授業終了時にレポートを提出する。課題は「医療保健福祉に関するニュースもしくは課題を法学的に検討する。」Ａ４用紙１枚以上を条件とする。		予習120分： ハンドアウト第12回を読む。レポート(第12回提出)を作成する。 復習60分：ハンドアウト第12回に記載してある内容・法令の条文を読んで、復習する。
第13回	情報化の進展、特にインターネットを様々な分野で活用することによって、利便性が向上する一方で、さまざまなトラブルが発生している。インターネットをもぐる法令、法的トラブルの危険性について、学習する。		予習60分： ハンドアウト第13回を読む。 復習120分：ハンドアウト第13回に記載してある内容・法令の条文を読んで、復習する。最終確認テストに向けて、これまでのハンドアウトを見直す。
第14回	ＡＩがさまざまな分野で活用されはじめている。爆発的な普及によって、多数のトラブルの発生が予想されている。医療分野をはじめとしたＡＩの普及状況と予想される問題や法的規制について、検討する。		予習60分： ハンドアウト第14回を読む。 復習120分：ハンドアウト第14回に記載してある内容・法令の条文を読んで、復習する。最終確認テストに向けて、これまでのハンドアウトを見直す。
第15回	これまでの学習について、医療をめぐる法という観点から、再検討する。 最終確認テスト(40分間)を実施する。		予習90分： ハンドアウト8～14を確認する。 復習90分：最終確認テストの解答・解説を確認し、間違ったところを解説でチェックする。

教科書

使用しない

参考書

『ポケット六法』山下友信・山口厚 編集代表 （有斐閣）

成績評価の方法・基準

平常点（授業への参加度・学習態度・授業内課題等）［20%］、レポート［30%］、確認テスト［50%］を総合して評価。総合点60点以上で単位認定する。

課題等に対する
フィードバックの方法

第8回に実施する中間確認テストの解答例と解説は、第11回の授業時に行う予定である。採点した答案は、第10回の授業時に返却する予定である。第12回に提出を義務づけたレポートについては、採点および講評記載の後、第15回の授業時に返却する予定である。第15回の最終確認テストについては、解答例及び解説を「Teams」または「moodle」の「看護学科1年・法学」のフォルダーにPDFファイルで掲載する。採点した答案については、希望する者には返却する。11号館３階研究室11に取りに来ること。

履修のポイント

具体的な医療・福祉関係法令を学習する前提となることがらに関する授業なので、よく理解しておくこと。専門基礎科目の「医療関係法規」や「医療保健福祉行政論」の学習の前提となる知識を学習する。

オフィス・アワー

月・水・金曜日，11時～15時（授業時間以外），11号館３階研究室11

科目区分

学部共通科目

当該授業科目の教育課程内での位置づけ

UM-C003

講義コード	10050001
講義名	日本国憲法
(副題)	【教職必修】
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	後期
講義区分	講義
基準単位数	2
代表曜日	水曜日
代表時限	２時限
必修/選択	選択
実務経験のある教員の有無	無
実務経験のある教員の経歴と授業内容	
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 松原 直樹	指定なし

授業の概要と教育目標

社会保障費の増大と国民負担率の上昇、地方自治体の消滅可能性、働き方改革など、国の課題は山積している。そんな中、選挙権年齢が18歳以上に引き下げられ、大学生全員が選挙権を有することになってから、すでに何回かの選挙が行われている。本講座においては、私たちの生活や安全に大きな関わりをもつ国の基本法である日本国憲法を素材に、私たちの生活を考えていく予定である。
憲法の基本原理とその根底に流れる思想を学習した後、われわれの生活に深く関わりのある現代的なトピックを取り上げ、できる限りくらしとの関わりに留意しながら、主権者としての判断能力を身につけられるよう、学習していく。

卒業認定・学位授与の方針との関連

憲法を素材として、人間に対して、社会的側面から理解できるように学修する。医療者として必要な倫理、守るべき法令の根本規範である憲法を理解し、それに沿って行動できるように学修する。

到達目標

１．憲法とは何か、また法令の基本構造、および法令における憲法の位置づけを理解する。
２．憲法に規定されている基本的人権は何か、またその具体的内容について理解する。
３．国の政治のしくみについて、憲法はどう規定しているかを理解する。

授業計画

	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	現在、日本国憲法に関してどのような問題が生じているのかについて学習した後、憲法とはどのような法かを学習する。立憲主義についても学習する。		予習90分： シラバスを読み、授業計画について把握する。 復習90分：ハンドアウト第1回に記載してある内容を読んで、復習する。

第2回	日本国憲法の制定過程について、第二次大戦後からＧＨＱによる憲法案の提示、国会での審議等について、ＶＴＲに沿って学習する。		予習90分： ハンドアウト第2回および『目で見る憲法』p.viii、p.2～p.4を読む。 復習90分：ハンドアウト第2回に記載してある内容を読んで、復習する。
第3回	日本国憲法の基本原理である「国民主権」について、規定と意味について学習する。さらに、「基本的人権の尊重」に関する規定とその概要について学習する。	憲法の制定過程についてのドキュメンタリーVTRに対するコメントを発表する。	予習90分： ハンドアウト第3回および『目で見る憲法』p.5～p.7を読む。 復習90分：ハンドアウト第3回に記載してある憲法や関連法令の条文を読んで、復習する。
第4回	日本国憲法の基本原理である「平和主義」について、規定内容を学習し、さらに日本の防衛政策の現状、安保関連法制との関係について、学習する。		予習90分： ハンドアウト第4回および『目で見る憲法』p.8～p.10を読む。 復習90分：ハンドアウト第4回に記載してある憲法や関連法令の条文、その他の内容を読んで、復習する。
第5回	憲法が保障している法の下の平等の意義・内容について学習する。現実に生じている平等をめぐる問題について、判例を素材として検討する。		予習90分： ハンドアウト第5回および『目で見る憲法』p.23～p.29を読む。 復習90分：ハンドアウト第5回に記載してある憲法や関連法令の条文、判例、その他の内容を読んで、復習する。
第6回	信教の自由を中心に学習する。なぜ認められる必要があるのか、その歴史的沿革、内容について学習する。また、政教分離原則について学習し、信教の自由に関する判例と政教分離に関する判例を素材として、学習する。		予習60分： ハンドアウト第6回および『目で見る憲法』p.30～p.33を読む。 復習120分：ハンドアウト第6回に記載してある憲法や関連法令の条文、その他の内容を読んで、復習する。授業で取り上げた判例を読んで、復習する。中間確認テストに向けて、これまでのハンドアウトを見直す。
第7回	表現の自由の意義とその内容について、学習する。また、プライバシー権との関係についても学習する。さらに、表現の自由・プライバシー権をめぐる判例を検討する。	表現の自由とプライバシー権に関する判例のうちいくつかを取り上げ、議論する。	予習60分： ハンドアウト第7回および『目で見る憲法』p.34～p.42、p.19～p.20を読む。 復習120分：ハンドアウト第7回に記載してある憲法や関連法令の条文、その他の内容を読んで、復習する。授業で取り上げた判例を読んで、議論について、復習する。中間確認テストに向けて、これまでのハンドアウトを見直す。
第8回	憲法が保障する「人身の自由」について学習した後、刑法との関係について理解する。また、犯罪と刑罰制度の概要を学習し、特に死刑制度について、その現状とそれに対する議論を検		予習90分： ハンドアウト第8回および『目で見る憲法』p.48～p.50を読む。 復習90分：ハンドアウト第8回に記載してある憲法や関連法令の条文、その他の内容を読んで、復習する。

	討する。 中間確認テスト(40分間)を実施する。		授業で取り上げた判例を読んで、復習する。
第9回	社会権と区分される人権について学習した後、「生存権」についての規定について学習した後、医療保健福祉行政にどのように関わっているかを中心に、その概要を学習する。		予習90分： ハンドアウト第9回および『目で見る憲法』p.51～p.52を読む。 復習90分：ハンドアウト第9回に記載してある憲法や関連法令の条文、その他の内容を読んで、復習する。授業で取り上げた判例を読んで、復習する。
第10回	「労働者に関わる人権」と「教育を受ける権利」について学習し、理解する。		予習120分： ハンドアウト第10回および『目で見る憲法』p.53～p.56を読む。レポート(第12回提出)を作成する。 復習60分：ハンドアウト第10回に記載してある憲法や関連法令の条文、その他の内容を読んで、復習する。授業で取り上げた判例を読んで、復習する。返却されたテストの誤った部分について、正解を検討しておく。
第11回	国会のさまざまの権能、国権における地位について概観する。衆議院と参議院の関係、国会の意思決定過程、具体的な役割について学習する。さらに、選挙制度についても、学習する。		予習120分： ハンドアウト第11回および『目で見る憲法』p.57～p.61、p.69～p.84を読む。レポート(第12回提出)を作成する。 復習60分：ハンドアウト第11回に記載してある憲法や関連法令の条文、その他の内容を読んで、復習する。授業で取り上げた判例を読んで、復習する。
第12回	内閣の地位・役割について、学習する。「議院内閣制」の内容とメリット、内閣総理大臣の選出方法、国務大臣の任免、さらに内閣の具体的な役割、意思決定の方法等について、主に学習する。 ※授業終了時にレポートを提出する。課題は「憲法に関するニュースもしくは課題を法学的に検討する。」Ａ４用紙１枚以上を条件とする。		予習120分： ハンドアウト第12回および『目で見る憲法』p.85～p.92を読む。レポート(第12回提出)を作成する。 復習60分：ハンドアウト第12回に記載してある憲法や関連法令の条文、その他の内容を読んで、復習する。授業で取り上げた判例を読んで、復習する。
第13回	裁判のしくみについて、概要を学習した後、刑事裁判で取り入れられている裁判員制度について、ＶＴＲに沿って学習する。		予習60分： ハンドアウト第13回および『目で見る憲法』p.93～p.103を読む。 復習120分：ハンドアウト第13回に記載してある憲法や関連法令の条文、その他の内容を読んで、復習する。授業で取り上げた判例を読んで、復習する。最終確認テストに向けて、これまでのハンドアウトを見直す。
			予習60分： ハンドアウト第14回お

第14回	憲法が規定する「象徴天皇」の地位・権能、またそれを規定している皇室典範について、学習する。また、地方自治に関する規定内容について学習し、さらに、憲法改正の手続、憲法改正に関する各政党・学界・国民の考え方について理解する。	裁判員裁判に関するVTRに対するコメントを発表する。	よび『目で見る憲法』p.104～p.113を読む。 復習120分：ハンドアウト第14回に記載してある憲法や関連法令の条文、その他の内容を読んで、復習する。授業で取り上げた判例を読んで、復習する。発表されたコメントについて、自分の意見と対照させる。最終確認テストに向けて、これまでのハンドアウトを見直す。
第15回	これまでの学習について、全体をまとめ、憲法を取り巻く状況とその課題について検討する。最終確認テスト(40分間)を実施する。		予習90分： ハンドアウト8～14を確認する。 復習90分：最終確認テストの解答・解説を確認し、間違ったところを解説にチェックし、ハンドアウトで復習する。

教科書

『目で見る憲法』初宿正典・大沢秀介・他 編著（有斐閣）

参考書

『ポケット六法』山下友信・山口厚 編集代表 （有斐閣）

成績評価の方法・基準

平常点（授業への参加度・学習態度・授業内課題等）［20%］、レポート［30%］、確認テスト［50%］を総合して評価。総合点60点以上で単位認定する。

課題等に対する
フィードバックの方法

第8回に実施する中間確認テストの解答例と解説は、第11回の授業時に行う予定である。採点した答案は、第10回の授業時に返却する予定である。第12回に提出を義務づけたレポートについては、採点および講評記載の後、第15回の授業時に返却する予定である。第15回の最終確認テストについては、解答例及び解説を「Teams」または「moodle」の「看護学科1年・憲法」のフォルダーにPDFファイルで掲載する。採点した答案については、希望する者には返却する。11号館３階研究室11に取りに来ること。

履修のポイント

教員免許を取得しようとする学生は、必ず履修すること。

オフィス・アワー

月・水・金曜日，11時～15時（授業時間以外），11号館３階研究室11

科目区分

学部共通科目

当該授業科目の教育課程内での位置づけ

UM-C020

講義コード	10060001
講義名	国際文化論
(副題)	
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	後期（重複②）
講義区分	講義
基準単位数	2
代表曜日	金曜日
代表時限	３時限
必修/選択	選択
実務経験のある教員の有無	無
実務経験のある教員の経歴と授業内容	
学年	4学年

担当教員

職種	氏名	所属
教 員	◎ 篠原 貴子	指定なし

授業の概要と教育目標

グローバル化は、政治、経済、文化、歴史を含め、人々を取り巻く社会を大きく変容させた。本講義では、近代以降を中心として、社会学の視点から歴史や文化について学ぶ。
本講義の目標は、幅広い視野に立ち、歴史や文化あるいは現代の問題を理解することである。

卒業認定・学位授与の方針との関連

医療保健学部看護学科のディプロマ・ポリシーとの関連として、社会・環境・コミュニケーションなどの諸側面から人間に対する理解を深めるため、他者への理解として歴史や文化を学び、幅広い知識を身に付ける。

到達目標

1. 世界の歴史や文化への興味・関心を高め、国際的な課題に対する認識を深める。
2. 多様な文化の成立過程を理解し、文化や歴史を説明できる。

授業計画

	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	国際文化論の課題		予習90分：この分野への知識や関心を高める。 復習90分：配布資料を見直す。
第2回	文化の社会学		予習90分：事前学習をする。 復習90分：配布資料を見直す。
第3回	近代社会の誕生と成立		予習90分：事前学習をする。 復習90分：配布資料を見直す。
			予習90分：事前学習を

第4回	文明の探求と世紀末の発見		する。 復習90分：配布資料を見直す。
第5回	観光の近代I：欧米のツーリズム	19世紀末の旅に関する作品を鑑賞し、コメントを書き、意見を述べる。	予習90分：事前学習をする。 復習90分：配布資料を見直す。
第6回	観光の近代II：現代のツーリズムと文化		予習90分：現代の旅のあり方を考える。 復習90分：配布資料を見直す。
第7回	オリエンタリズム		予習90分：事前学習をする。 復習90分：配布資料を見直す。
第8回	日本の文化：日本イメージの形成	日本のイメージについて事例を紹介する。	予習90分：課題内容を学習する。 復習90分：配布資料を見直す。
第9回	移民の文化I：アメリカ移民の歴史		予習90分：事前学習をする。 復習90分：配布資料を見直す。
第10回	移民と文化II：移民の文化史		予習90分：事前学習をする。 復習90分：配布資料を見直す。
第11回	ポストコロニアリズムと文学		予習90分：事前学習をする。 復習90分：配布資料を見直す。
第12回	ジェンダーと文化		予習90分：ジェンダーと身体の配布資料を読む。 復習90分：配布資料を見直す。
第13回	歴史と記憶：戦争の世紀と人々の語り		予習90分：事前学習をする。 復習90分：配布資料を見直す。
第14回	グローバル化と文化		予習90分：事前学習をする。 復習90分：配布資料を見直す。
第15回	国際文化論の展望		予習90分：事前学習をする。 復習90分：配布資料を見直す。

教科書

必要な資料は随時配布

参考書

授業時に随時紹介
成績評価の方法・基準
単位認定60点以上 試験結果と授業内課題で総合評価する。 （レポート60%、授業内課題40%）
課題等に対する フィードバックの方法
リアクションペーパーを課す場合がある。重要点の確認や疑問点を解説し、学習内容の理解に役立てる。
履修のポイント
授業内容に関して、意欲的に学習する。
オフィス・アワー
授業日の授業開始前もしくは終了後に教室等で相談に応じます。
科目区分
学部共通科目
当該授業科目の教育課程内での位置づけ
UM-C080

講義コード	10070001
講義名	家族関係論
(副題)	
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	前期
講義区分	講義
基準単位数	2
代表曜日	金曜日
代表時限	２時限
必修/選択	選択
実務経験のある教員の有無	無
実務経験のある教員の経歴と授業内容	
学年	2学年

担当教員

職種	氏名	所属
教 員	◎ 篠原 貴子	指定なし

授業の概要と教育目標

本講義は、近代以降の家族をめぐる問題に関して、社会学や歴史学をはじめ多様な学問領域の視点を踏まえ、教育やジェンダーの視点を用いて歴史的に読み解くことを前提とする。また、現代の家族が抱える問題に着目し、家族を支援する諸制度も扱う。
本講義の目標は、家族の概念や歴史を学び、基本的な知識を身に付け、柔軟な思考力を養うことである。

卒業認定・学位授与の方針との関連

医療保健学部看護学科のディプロマ・ポリシーの関連として、社会・環境・コミュニケーションなどの諸側面から人間に対する理解を深めることを目指し、家族について社会学をはじめとする複数の学問の視点から学ぶことで幅広い知識を身に付ける。

到達目標

1. 家族の概念や歴史についての基本的な知識や用語を用いて説明できる。
2. 家族が抱える現状や課題を踏まえ、現代の家族が直面している問題を理解できる。
3. 「ジェンダー」の視点から家族を考察することができる。

授業計画

	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習と そのために必要な時間
第1回	家族への着目		予習90分：この分野への知識や関心を高める学習をする。 復習90分：配布資料を見直す。
第2回	近代社会と家族		予習90分：事前学習をする。 復習90分：配布資料を見直す。
			予習90分：事前学習を

第3回	家族研究の主題と方法		する。 復習90分：配布資料を見直す。
第4回	現代のライフコース	ライフコースについてのプリントを書く。	予習90分：ライフコースを考える。 復習90分：配布資料を見直す。
第5回	労働と家族		予習90分：仕事と家庭の両立について調べる。 復習90分：配布資料を見直す。
第6回	子どもの誕生と家族の役割		予習90分：事前学習をする。 復習90分：配布資料を見直す。
第7回	結婚と夫婦関係		予習90分：事前学習をする。 復習90分：配布資料を見直す。
第8回	メディアにおける家族・女性像	作品を鑑賞し、その時代の家族のあり方や女性の生き方の違いをまとめる。	予習90分：事前学習をする。 復習90分：配布資料を見直す。
第9回	恋愛結婚の誕生と現代の結婚観		予習90分：現代の結婚観を調べる。 復習90分：配布資料を見直す。
第10回	近代家族論I：欧米の近代家族		予習90分：事前学習をする。 復習90分：配布資料を見直す。
第11回	近代家族論II：日本の近代家族と人口政策	日本の人口政策について考え、意見を述べる。	予習90分：事前学習をする。 復習90分：配布資料を見直す。
第12回	セクシュアリティ		予習90分：セクシュアリティの現代的な課題を考える。 復習90分：配布資料を見直す。
第13回	家族が抱える問題（児童虐待、不登校、ひきこもりなど）		予習90分：事前学習をする。 復習90分：配布資料を見直す。
第14回	高齢化と家族の課題		予習90分：事前学習をする。 復習90分：配布資料を見直す。
第15回	家族の未来		予習90分：事前学習をする。 復習90分：配布資料を見直す。

教科書
必要な資料は随時配布
参考書
授業時に随時紹介
成績評価の方法・基準
単位認定 60 点以上 試験結果と授業内課題で総合評価する。 （期末レポートあるいは定期試験70%、授業内課題30%）
課題等に対する フィードバックの方法
リアクションペーパーを課す場合がある。重要点の確認や疑問点を解説し、学習内容の理解に役立てる。
履修のポイント
授業内容に関して、意欲的に学習する。
オフィス・アワー
授業日の、授業開始前もしくは終了後に教室等で相談に応じます。
科目区分
学部共通科目
当該授業科目の教育課程内での位置づけ
UM-C040

講義コード	10080001
講義名	スポーツ科学I
(副題)	【教職必修】
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	前期
講義区分	実験・実習
基準単位数	1
代表曜日	火曜日
代表時限	２時限
必修/選択	選択
実務経験のある教員の有無	無
実務経験のある教員の経歴と授業内容	
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教 員	◎ 武井 英夫	指定なし

授業の概要と教育目標

本授業は数種目の運動・スポーツを題材として、スポーツ心理学、スポーツ社会学、スポーツ生理学などのスポーツ科学的側面を取り入れ実践していく。その際、運動・スポーツの楽しさを味わいながら、基本スキルの習得・向上、仲間や教員とのコミュニケーション力の向上を重点的に取り上げ授業を進めていく。なお本科目は運動・スポーツの科学的理解と健康的な生活を送ることのできる能力の育成を目標としている。

卒業認定・学位授与の方針との関連

医療保健学部看護学科のディプロマ・ポリシーとの関連として、人間に対して、社会・環境・コミュニケーションなどの諸側面から理解していることが求められており、スポーツの科学的な理解や実践を通して、その目的達成に必要な知識や体力を養う。

到達目標

１. 自己の体力レベルや健康状態を把握することができる。
２. 運動・スポーツの基礎知識、トレーニング方法などを科学的に理解することができる。
３. スポーツの基本スキルを習得することができる。
４. グループ内の個人の役割を意識し、自らコミュニケーションをとって動くことができる。
５. 技術の高低や種目の得意・不得意にとらわれず、運動・スポーツを楽しむことができる。

授業計画

	担当者	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	武井英夫	オリエンテーション（授業の概要、成績評価、諸注意など） 体育概論①（運動・スポーツのすすめ）		予習45分：シラバスを読む。生活習慣病について調べる。 復習45分：配布資料を見直す。

第2回	武井英夫	バドミントン①（バドミントンの歴史、ルールの確認とシングルス）		予習45分：バドミントンの歴史やルールを調べる。 復習45分：本日行った運動について確認する。
第3回	武井英夫	バドミントン②（基本スキルの習得とダブルスのゲーム）		予習45分：バドミントンのダブルスのゲーム方法を調べる。 復習45分：本日行った運動について確認する。
第4回	武井英夫	バドミントン③（シングルスやダブルスのゲーム）	ダブルスゲームでは、ゲーム終了後にペアごとに意見を出し合い、ゲーム内容の反省点を振り返り、次のゲームに生かす。	予習45分：バドミントンのシングルスやダブルスの戦術を調べる。 復習45分：本日行った運動について確認する。
第5回	武井英夫	ソフトバレーボール①（ソフトバレーボールの歴史とルール把握、基本スキルの習得）		予習45分：ソフトバレーボールの歴史やルールについて調べる。 復習45分：本日行った運動について確認する。
第6回	武井英夫	ソフトバレーボール②（リーグ戦のゲーム）	ゲームの場面では、各チームごとに意見交換し、個性を生かしたポジションを決め作戦を立ててゲームに取り組む。	予習45分：ソフトバレーボールの戦術やゲーム方法について調べる。 復習45分：本日行った運動について確認する。
第7回	武井英夫	バレーボール（バレーボールの歴史、基本スキルの習得、ゲーム）		予習45分：バレーボールの歴史、基本スキルについて調べる。 復習45分：本日行った運動について確認する。
第8回	武井英夫	ネットボール①（ネットボールの歴史とルール把握、簡易ゲーム）		予習45分：ネットボールの歴史とルールについて調べる。 復習45分：本日行った運動について確認する。
第9回	武井英夫	ネットボール②（基本スキルの習得とゲーム）	各チームごとに個人の能力を考慮して、ポジションの分担を話し合って決め、戦術を立てて意欲的にゲームに取り組む。	予習45分：ネットボールの基本スキルとポジションについて調べる。 復習45分：本日行った運動について確認する。
第10回	武井英夫	バスケットボール（バスケットボールの歴史、基本スキルの習得、ゲーム）		予習45分：バスケットボールの歴史と基本スキルを調べる。 復習45分：本日行った運動について確認する。
第11回	武井英夫	フットサル①（フットサルの歴史とルール把握、簡易ゲーム）		予習45分：フットサルの歴史とフットサルとサッカーとのルールを比較する。 復習45分：本日行った運動について確認する。

第12回	武井英夫	フットサル②（基本スキルの習得とリーグ戦のゲーム）	互いの意見を深めるように意見交換し、ポジションやフォーメーションを決め、戦術を立ててゲームに取り組む。	予習45分：フットサルの戦術について調べる。 復習45分：本日行った運動について確認する。
第13回	武井英夫	ネオホッケー①（ネオホッケーの歴史、ルール理解、簡易ゲーム）		予習45分：ネオホッケーの歴史とルールを調べる。 復習45分：本日行った運動について確認する。
第14回	武井英夫	ネオホッケー②（基本スキルの習得、ゲーム）	ゲームではチーム全員で作戦を練ってからゲームに取り組み、プレー中は積極的・意欲的にチームに関わる。	予習45分：ネオホッケーの基本スキルと戦術を調べる。 復習45分：本日行った運動について確認する。
第15回	武井英夫	体育概論②（生涯スポーツと競技スポーツ、学校スポーツ）		予習45分：生涯スポーツと競技スポーツ、学校スポーツの共通点と相違点について調べる。 復習45分：配布資料を見直す。

教科書

特定の教科書は使用しない。資料は必要に応じて配布する。

参考書

必要に応じて紹介する。

成績評価の方法・基準

実単位認定60点以上
スキル達成度30%、課題・レポート20%、授業への参加度50%。

課題等に対するフィードバックの方法

授業内でレポートや課題を課すことがあるが原則として返却しない。全般的な講評と重要項目について解説を記述したプリントを配布するので、授業内容の理解に役立てること。

履修のポイント

授業への積極的な取り組みを期待します。特に指定はしませんが、季節にあった運動着、運動靴（体育館用シューズ）を準備してください。

オフィス・アワー

講義前後に、適宜受け付けます。

科目区分

学部共通科目

当該授業科目の教育課程内での位置づけ

UM-C021

講義コード	10090001
講義名	スポーツ科学II
(副題)	【教職必修】
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	前期（重複①）
講義区分	実験・実習
基準単位数	1
代表曜日	火曜日
代表時限	１時限
必修/選択	選択
実務経験のある教員の有無	無
実務経験のある教員の経歴と授業内容	
学年	2学年

担当教員

職種	氏名	所属
教 員	◎ 武井 英夫	指定なし

授業の概要と教育目標

本授業は数種目の運動・スポーツを題材として、スポーツ心理学、スポーツ社会学、スポーツ生理学などのスポーツ科学的側面を取り入れていく。その際、運動・スポーツの楽しさを味わいながら、スポーツ科学Iで履修した内容の発展的な学習を目指し、生涯にわたってスポーツに取り組む態度の育成を重点的に授業を進めていく。なお本科目は、スポーツの科学的理解と生涯スポーツへの基礎を身につけることを目標としている。

卒業認定・学位授与の方針との関連

医療保健学部看護学科のディプロマ・ポリシーとの関連として、人間に対して、社会・環境・コミュニケーションなどの諸側面から理解していることが求められており、スポーツの科学的な理解や実践を通して、その目的達成に必要な知識や体力を養う。

到達目標

１．自己の体力レベルや健康状態の課題を把握し、改善するための運動を実践することができる。
２．各スポーツ種目の歴史、ルール、マナーを理解し説明することができる。
３．各スポーツの発展的なスキルを習得することができる。
４．生涯にわたって運動・スポーツをすることの必要性や重要性を理解し、豊かなライフスタイルを形成する資質を身につけることができる。
５．技術の高低や種目の得意・不得意にとらわれず、運動・スポーツを楽しむ能力を身につけることができる。

授業計画

	担当者	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	武井	オリエンテーション（授業の概要、成績評価、諸注意な		予習45分：ダイエットの語源、拒食症・過食症につ

	英夫	ど） 体育概論①（ダイエットと健康）		いて調べる。 復習45分：配布資料を見直す。
第2回	武井英夫	バドミントン①（シングルスゲームの戦術）		予習45分：シングルスゲームの戦術について調べる。 復習45分：本日行った運動について確認する。
第3回	武井英夫	バドミントン②（ダブルスゲームの戦術）	ダブルスのゲームでは、ゲーム終了後に各ペアごとに、自分たちの意見を出し合い、ゲーム内容の反省点を振り返り、次のゲームに生かす。	予習45分：ダブルスゲームの戦術について調べる。 復習45分：本日行った運動について確認する。
第4回	武井英夫	バドミントン③（リーグ戦）		予習45分：前回のゲーム内容を反省し、新たな作戦を調べる。 復習45分：本日行った運動について確認する。
第5回	武井英夫	バレーボールまたはバスケットボーツやテーブルテニス①	各種目ごとに、リーダーを中心に意見を出し合って練習するとともに、個人の能力を考慮してポジションを決定し、戦術を立てて意欲的にゲームに取り組む。	予習45分：9人制バレーボルの魅力について、自分の考えをまとめる。 復習45分：本日行った運動について確認する。
第6回	武井英夫	バレーボールまたはバスケットボーツやテーブルテニス②		予習45分：バスケットボールの魅力について、自分の考えをまとめる。 復習45分：本日行った運動について確認する。
第7回	武井英夫	バレーボールまたはバスケットボーツやテーブルテニス③	チーム内やペア同士で、互いの意見を深めるように、意見を交換し合い戦術を立ててゲームに取り組む。	予習45分：テーブルテニスの歴史について調べる。 復習45分：本日行った運動について確認する。
第8回	武井英夫	バレーボールまたはバスケットボーツやテーブルテニス④		予習45分：テーブルテニスのサービスの種類について調べる。 復習45分：本日行った運動について確認する。
	武	バレーボールまたはバス		予習45分：テーブルテニスの魅力について自分の考え

第9回	井英夫	ケットボーツやテーブルテニス⑤		をまとめる。 復習45分：本日行った運動について確認する。
第10回	武井英夫	ドッジボール	各チームごとに、お互いの意見を交換しながら、戦術を話し合いそして決定しゲームに取り組む。	予習45分：ドッジボールの歴史とルールについて調べる。 復習45分：本日行った運動について確認する
第11回	武井英夫	フットサル①		予習45分：フットサルのポジションとシステムについて調べる。 復習45分：本日行った運動について確認する
第12回	武井英夫	フットサル②	互いの意見を深めるように意見交換し、ポジションやフォーメーションを決め、戦術を立ててゲームに取り組む。	予習45分：フットサルというスポーツの魅力について調べる。 復習45分：本日行った運動について確認する
第13回	武井英夫	フラングディスク		予習45分：フライングディスク競技の種類と内容について調べる。 復習45分：本日行った運動について確認する
第14回	武井英夫	ネオホッケー①	各チームのリーダーを中心に、お互いの意見を尊重しながら、戦術を話し合いそして決定しゲームに取り組む。	予習45分：ネオホッケーとホッケーの違いについて調べる。 復習45分：本日行った運動について確認する
第15回	武井英夫	ネオホッケー②		予習45分：日本国内で行われているネオホッケーの大会について調べる。 復習45分：本日行った運動について確認する

教科書

特定の教科書は使用しない。資料は必要に応じて配布する。

参考書

必要に応じて紹介する。

成績評価の方法・基準

実単位認定60点以上
スキル達成度30%、課題・レポート20%、授業への参加態度50%

課題等に対する
フィードバックの方法

授業内でレポートや課題を課すことがあるが原則として返却しない。全般的な講評と重要項目について解説を記述したプリントを配布のするので、授業内容の理解に役立てること。

履修のポイント

授業への積極的な取り組みを期待します。特に指定はしませんが、季節にあった運動着、運動靴（体育館用シューズ）を準備してください。

オフィス・アワー

講義前後に、適宜受け付けます。

科目区分

学部共通科目

当該授業科目の教育課程内での位置づけ

UM-C030

講義コード	10100001
講義名	環境論
(副題)	
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	後期（重複②）
講義区分	講義
基準単位数	2
代表曜日	月曜日
代表時限	３時限
必修/選択	選択
実務経験のある教員の有無	有
実務経験のある教員の経歴と授業内容	自治体の環境政策の立案支援に関する実務経験に基づいて環境論の授業を行う。
学年	4学年

担当教員

職種	氏名	所属
教 員	◎ 園田 陽一	指定なし

授業の概要と教育目標

環境問題は社会、経済、健康、自然環境への影響は多岐にわたります。過去の社会は、環境保護、自然保護のように環境を人間活動から保護することが目的でした。しかし、これからの社会は、環境共生型社会であり、持続可能な社会が求められています。私たちは、地球の生物多様性を基盤とし、それらを消費して生きています。生物多様性は、地球の気象調節から国土や都市の基盤であり、農林水産業、観光業など自然を利用するものだけでなく、多くの社会経済の基盤となる重要な要素です。本授業では、身近な環境問題を生物多様性の観点から概観し、持続可能な地域社会の在り方について講義します。

卒業認定・学位授与の方針との関連

本学のディプロマポリシーに示すように、人間を取り巻く環境について、社会環境、自然環境など多角的な側面から環境を科学的に理解し、人間が健康で豊かに暮らせる社会の実現にたいして、看護学や栄養学と関連付けて、貢献できるようになる。

到達目標

環境問題について、過去に問題となっていた公害や近年の地球温暖化など、劇的に変化する地球環境について、学生が大学生活を通して、持続可能な社会を築くための活動を実践するとともに、現代社会の中で話題となっている環境問題について科学的に説明できる基礎的な知識を身につける。

授業計画

	担当者	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	園田陽一	ガイダンスと環境問題 本授業の目的や到達目標と成績評価の方法についてのガイダンスと環境問題について概説します。	学生のアンケート結果に基づいて、環境問題についての基礎知識を確認し、授業計画に活かす	毎日30分程度新聞に目を通し、現代社会における環境問題に関する記事を読む
	園	生物多様性と持続可能な利用	生物多様性につい	授業の前後に1～2時間

第2回	田陽一	なぜ、生物多様性なのか。生態系サービスとなぜ持続可能な利用が必要なのかについて理解する。	てDVDを視聴し、生物多様性とはどのようなものかを視覚的に理解する。	程度テキストの内容とインターネット等を活用して、最新の記事に目を通す
第3回	園田陽一	生態系サービスとは 地球と自然環境、生態系の構成要素とその役割を理解します。		授業の前後に1～2時間程度テキストの内容とインターネット等を活用して、最新の記事に目を通す
第4回	園田陽一	生物多様性への劣化 人間活動と生物多様性の危機、生態系サービスの劣化、公害問題等について理解します。		授業の前後に1～2時間程度テキストの内容とインターネット等を活用して、最新の記事に目を通す
第5回	園田陽一	都市化と環境問題 グローバルな人口増加と都市の集中がもたらす環境問題を理解します。		授業の前後に1～2時間程度テキストの内容とインターネット等を活用して、最新の記事に目を通す
第6回	園田陽一	地球温暖化と都市のヒートアイランド現象 地球温暖化とヒートアイランド現象の違いについて概説し、その影響がもたらす気候変化のメカニズムを理解します。		授業の前後に1～2時間程度テキストの内容とインターネット等を活用して、最新の記事に目を通す
第7回	園田陽一	小テスト グローバルな地球環境の変化 オゾン層の破壊、砂漠化、酸性雨、森林減少などグローバルな地球環境の変化について理解します。	6回までの内容について小テストを行い、テストの成果を学生にフィードバックし、内容を復習する 地球温暖化による地球環境への影響を映像を通して体感する	授業の前後に1～2時間程度テキストの内容とインターネット等を活用して、最新の記事に目を通す
第8回	園田陽一	環境をめぐる世界的な動き 地球環境問題を解決するための世界的な動向、日本の取り組みについて理解します。		授業の前後に1～2時間程度テキストの内容とインターネット等を活用して、最新の記事に目を通す
第9回	園田陽一	わが国の環境に関わる法律 日本の環境施策について理解します。		授業の前後に1～2時間程度テキストの内容とインターネット等を活用して、最新の記事に目を通す
第10回	園田陽一	環境アセスメントとミティゲーション 開発行為に対して、公害や自然環境の破壊を未然に防ぐ法的措置とその代替技術について理解する。		授業の前後に1～2時間程度テキストの内容とインターネット等を活用して、最新の記事に目を通す
第11回	園田陽一	カーボンオフセットと生物多様性オフセット 二酸化炭素排出量削減の取り組みや同様のオフセット制度		授業の前後に1～2時間程度テキストの内容とインターネット等を活用して、最新の記事に

		の仕組みを理解する。		目を通す
第12回	園田陽一	生物多様性地域戦略とは わが国の生物多様性基本法、生物多様性国家戦略に基づいた生物多様性地域戦略について理解します。	教員が自治体の施策立案支援で行った戦略策定のプログラムを用いて環境政策への理解を深める	授業の前後に1～2時間程度テキストの内容とインターネット等を活用して、最新の記事に目を通す
第13回	園田陽一	環境への関心を高める取り組み 環境共生型まちづくりや、エコツーリズムなど環境へ関心をもつための仕組みづくりや取り組みについて紹介します。	実際のエコツーリズムの内容を理解し、学生自身が環境共生社会への理解を深める	授業の前後に1～2時間程度テキストの内容とインターネット等を活用して、最新の記事に目を通す
第14回	園田陽一	環境教育とESD 環境教育や持続可能な開発のための教育についてふれ、次世代の子供たちの教育について考えます。 企業の社会的責任と自然資本 現代企業の社会的責任としての自然環境保全から自然資本としての積極的な活用へ、企業の取り組みについて理解します。	ESDについて環境教育プログラムを用いて、授業の中で実践する。	授業の前後に1～2時間程度テキストの内容とインターネット等を活用して、最新の記事に目を通す
第15回	園田陽一	試験の実施 14回までの内容について試験の実施		試験に備えて、14回までの内容の復習する

教科書

東京商工会議所編著 ECO検定（環境社会検定試験）公式テキスト 日本能率マネジメントセンター

参考書

必要なとき講義中に提示する

成績評価の方法・基準

単位認定：60点以上
レポートの提出(20%)、期末試験(80%)をもとに総合的に評価する。

課題等に対する
フィードバックの方法

アンケートや小テスト、試験を実施した際に、学生の回答に対して、正しい回答をフィードバックする。

履修のポイント

レポートの提出を求めることがある。

オフィス・アワー

授業日の、授業開始前もしくは終了後に教室等で相談に応じます。

科目区分

学部共通科目

当該授業科目の教育課程内での位置づけ

UM-C081

講義コード	10110001
講義名	人間発達学
(副題)	
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	後期
講義区分	講義
基準単位数	2
代表曜日	水曜日
代表時限	５時限
必修/選択	選択
実務経験のある教員の有無	無
実務経験のある教員の経歴と授業内容	
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 大澤 靖彦	指定なし

授業の概要と教育目標

人の発達過程を理解するには、乳幼児期、青年期を経て、成人期、高齢期にいたる生涯発達の視点を取り入れることが必要とされてきている。この科目では、とくに心の発達に焦点をあてて、人が生涯にわたってどのような発達的変遷をたどるのかについて理解を深めることを授業のねらいとする。授業は講義形式で行うが、視聴覚にうったえる試みもする予定である。また、授業の中で小テスト・小レポートを課すことがある。人の発達の特殊性や人の生涯にわたる発達過程と各過程の特徴、発達理論を通した発達のしくみについて理解を深めることを目標とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

医療保健学部看護学科のディプロマポリシーとの関連として、社会・環境・コミュニケーションなどの諸側面から人に対する理解を深めることを目指し、心理的側面の理解を通してその目的達成に資する知識を養う。そして将来的な展望としては、心身の発達理論を理解しつつ、多様な人間のライフステージ、ライフサイクルを理解し各段階の特徴に応じた看護実践の基盤となる学修を行うことを目指すものとする。

到達目標

１．人間発達学で使用されるさまざまな専門用語への馴染みを深め、その意味を理解する。
２．人の生涯にわたる発達過程と各過程の特徴について理解する。
３．日常的に見られる行動を、主に人間発達学の考え方に沿って理解・説明することができる。
４．人の心を中心とした発達の全般的なしくみについて理解する。

授業計画

	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習と そのために必要な時間
第1回	オリエンテーション 発達心理学で何を学ぶのかについて理解する。 発達の基本と発達初期の能力について理解す	発達の基本的な考え方としての「一般法則」「臨界期」「レディネス」「学習」について理解するとともに、「遺伝と環境」が発達にどう影響するかについて、メンバーの意見を聞き	予習90分：教科書を購入し、序章（pp.1-6）に目を通しておく。 復習90分：様々な心理学の領域の中で、発達心理学がどのような位置づけにある

	る。	ながら自分の考えを広げたり深めたりする。	のかを確認する。
第2回	愛着の発達 発達の基礎ともいうべき愛着がどのように発達し、その後の発達にどう影響を及ぼすのかについて理解する。	愛着の発達の重要性について、メンバーの意見を聞きながら自分の考えを広げたり深めたりする。	予習90分：教科書p.32,33,51,52,86,95を通読し、重要な箇所にアンダーラインを引く。 復習90分 4歳くらいまでの愛着の発達が、その後、対象や性質を変えながら人の成長を促すことをノートにまとめる。
第3回	初期の知的発達 生まれてから1歳くらいまでの赤ちゃんの視覚・聴覚・味覚能力、物事を認識する初期の知的発達について理解する。	赤ちゃんの能力に関する実験の結果を推測してみる。	予習90分：教科書pp.8-29を通読し、重要な箇所にアンダーラインを引く。復習90分：赤ちゃんの視覚、聴覚の能力と1歳までの認識の発達についてノートにまとめる。
第4回	運動能力と言語の発達 発達ともに自ら他者へ働きかける運動や言語の発達について理解するとともに、社会的存在としての基本的生活行動の修得について理解する。	運動能力と言語能力から指定された人物の年齢を推定し発表する。	予習90分：教科書pp.34-43を通読し、重要な箇所にアンダーラインを引く。 復習90分：運動機能の発達ともに自分で自分のことができるようなることについてノートにまとめる。
第5回	情動の発達と人間関係／あそびと人間関係 情動の発達と遊びが発達に及ぼす影響について理解する。	悲しいから泣くのか泣くから悲しくなるのか」についてメンバーの意見を聞きながら自分の考えを広げたり深めたりする。さらに、発達における情動の意味について考える。	予習90分：教科書pp.44-56を通読し、重要な箇所にアンダーラインを引く。 復習90分：情動の発達と遊びが子供に及ぼす影響についてのーとにまとめる。
第6回	遊びを通して発達する	現代の子どもが置かれた状態を理解する。そのうえでソーシャル・スキル・トレーニング（SST）と対人関係ゲームを体験し、その考え方を理解する。	予習90分：前回の授業での遊びと子供発達について自分なりの考えをまとめておく。 復習90分：配布資料を熟読して、子どもの発達に及ぼす遊びの効能について考察する。
第7回	思考の発達 ピアジェの認知発達を中心に抽象的な思考の発達について理解する。	抽象的な思考の発達に関する実験について、メンバーの意見を聞きながら自分の考えを広げたり深めたりする。	予習90分：教科書pp.58-67を通読し、重要な箇所にアンダーラインを引く。 復習90分：本時で学んだ内容を整理し、ノートにまとめる。
第8回	学力と学習環境 思考の発達を促進・阻害する要因について理解する。さらに、発達障害等非定型発達について理解する。	学習を促進する要因・阻害する要因について、メンバーの意見を聞きながら自分の考えを広げたり深めたりする。	予習90分：教科書pp.68-79を通読し、重要な箇所にアンダーラインを引く。 復習90分：本時で学んだ内容を整理し、ノートにまとめる。
			90 pp.82-

第9回	自己の発見と他者との関係 人との関係の中で自分を発見し、自己調整をしていくことを理解する。	誤信課題や三つ山問題などの実験などの他者の視点について理解する。	予習　分：教科書94通読し、重要な箇所にアンダーラインを引く。 復習90分：本時で学んだことを整理するとともに、あらためて3・4回で学んだ愛着との関連について考究する。
第10回	仲間づくり 児童期の仲間づくりと諸問題について理解する。	仲間集団と発達の関連について、メンバーの意見を聞きながら自分の考えを広げたり深めたりする。	予習90分：教科書pp.95—102通読し、重要な箇所にアンダーラインを引く。 事復習90分：本時で学んだことを整理する。
第11回	自分をつくる 自分自身とは何者なのかを発見していくアイデンティティの確立について理解する。さらに、現代におけるアイデンティティの確立のむずかしさを踏まえたうえで近年の問題行動について考究する。	自分らしさの形成について考究する。	予習90分：教科書pp.103-123を通読し、重要な箇所にアンダーラインを引く。 復習90分：自身ののアイデンティティについて考究し今後の課題も含めてノートにまとめる。
第12回	親密性と孤立１（家族の形成） 配偶者の選択や親になることの発達的な意義を理解するとともに、それにかかわる諸問題について理解する。	家族の形成や分裂について、メンバーの意見を聞きながら自分の考えを広げたり深めたりする。	予習90分：教科書pp.124-144を通読し、重要な箇所にアンダーラインを引く。 復習90分：学んだことを参考にして、自分の結婚観やどのような家族を作っていきたいのかについて考究する。
第13回	親密性と孤立２（家族関係における諸問題） 家事の共同や分担を含め、家族関係における諸問題について理解するとともに新しい家族形態についても理解する。	家族の諸問題について、メンバーの意見を聞きながら自分の考えを広げたり深めたりする。	予習90分：教科書pp.145-157を通読し、重要な箇所にアンダーラインを引く。 復習90分：学んだことを参考にして、どのような家族を作っていきたいのかについて考究する。
第14回	世代性と停滞性（職業選択と生きがい） 働くことでアイデンティティがさらに明確になる。そして、定年退職後も労働に携わり生きがいを見出していくことを理解する。	働くことの意義や発達との関連について、家族の形成や分裂について、メンバーの意見を聞きながら自分の考えを広げたり深めたりする。	予習90分：教科書pp.162-185を通読し、重要な箇所にアンダーラインを引く。 復習90分：仕事・家族形成を含めて、どのような自分を作っていきたいかについて考究する。
第15回	統合性と絶望（地域活動と生きがい） 老いと向き合いながら、地域の中で生きがいを見出し、死をむかえていくことを理解す	高齢者の心理についての理解を深める。	予習90分：教科書p.188-225を通読し、重要な箇所にアンダーラインを引く。 復習90分：本時で学んだことを基にして、これからの日本社会の在り方、その社会の中で自分はどのように

	る。		社会に貢献できるのかについて考究する。

教科書
塚野州一 『みるよむ生涯発達心理学』 北大路書房
参考書
授業中に適宜紹介する。
成績評価の方法・基準
単位認定60点以上 確認テスト（最終授業で毎回の授業で行う小テストから40問を出題）40% レポート課題30% 授業への参加度30% を総合して評価します。
課題等に対する フィードバックの方法
授業内でレポートや課題を課すことがある。返却するので学習の参考にすること。
履修のポイント
授業への積極的な取り組みを期待します。
オフィス・アワー
水曜日・木曜日、12：30〜13：20（昼休み）、11 号館第 8 研究室。 ※講義終了前後にも、適宜受け付けます。
科目区分
学部共通科目
当該授業科目の教育課程内での位置づけ
UM-C004

講義コード	10120001
講義名	物理学
(副題)	
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	前期
講義区分	講義
基準単位数	2
代表曜日	木曜日
代表時限	２時限
必修/選択	選択
実務経験のある教員の有無	無
実務経験のある教員の経歴と授業内容	
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 椛沢 龍次郎	指定なし

授業の概要と教育目標

看護や栄養の専門分野を学習するうえで、「物理学」は重要な役割をもっています。本授業では、物理学の基礎知識や数的処理の方法、さらには、物理学の原理・原則を理解し、医療技術や臨床現場での応用まで発展させて学習します。専門科目を理解するための導入・基礎科目として、高等学校で物理を履修していなくても、十分理解できる内容と構成になっています(物理学の基礎をまじえながら応用・事例の解説をする）。教育目標としては、看護教育や栄養教育に必要な物理学的内容を、医療・看護・食と健康の現場との関連性を考慮していく。

卒業認定・学位授与の方針との関連

医療保健学部看護学科のディプロマ・ポリシーとの関連として、社会・環境・コミュニケーションなどの諸側面から人に対する理解を深めることを目指し、物理現象の基本や法則性の理解を通してその目的達成に資する知識を養う。看護学の基礎となる人体のしくみを理解する基盤となる学修を行うことを目指すものとする。

到達目標

・物理学の基礎「原理・原則」を理解できる。
・看護・栄養分野への物理学の応用を理解できる。
・基礎から専門分野への発展・応用ができるようにする。

授業計画

	授業内容と方法、課題	予習・復習と そのために必要な時間
第1回	・物理量と単位系 ・物理量の測定 ・物理学と医療機器	予習90分：高校の教科書があれば見直す。 復習90分：配布資料を見直す。
第2回	・人体のてこ ・垂直跳び ・歩行と振り子 ・医療機器と力学	予習90分：新聞や雑誌等で医療保健の問題を考える。 復習90分：配布資料を見直す。
第3回	・大気圧と静水圧 ・圧力計 ・弾性薄膜 ・表面	予習90分：新聞や雑誌等で医療保健の問題を考える。

	張力 ・陰圧 ・肺胞と表面張力	復習90分：配布資料を見直す。
第4回	・心臓と血液の流れ ・血圧の変化 ・血圧測定	予習90分：新聞や雑誌等で医療保健の問題を考える。 復習90分：配布資料を見直す。
第5回	・気体を流す場合 ・液体を流す場合（点滴装置の原理）	予習90分：新聞や雑誌等で医療保健の問題を考える。 復習90分：配布資料を見直す。
第6回	・温度と温度計 ・熱と比熱 ・融解と蒸発 ・熱と仕事（エネルギー）	予習90分：新聞や雑誌等で医療保健の問題を考える。 復習90分：配布資料を見直す。
第7回	・体温と温度調節 ・体内で発生する熱 ・身体からの放熱 ・生理的体温調節機構 ・物理的放熱機構	予習90分：新聞や雑誌等で医療保健の問題を考える。 復習90分：配布資料を見直す。
第8回	・平衡温 ・水銀温度計 ・電子体温計 ・耳式体温計 ・サーモグラフィー	予習90分：新聞や雑誌等で医療保健の問題を考える。 復習90分：配布資料を見直す。
第9回	・音の性質 ・耳の構造 ・聴覚 ・音波の医療への応用	予習90分：新聞や雑誌等で医療保健の問題を考える。 復習90分：配布資料を見直す。
第10回	・反射と屈折 ・スペクトル ・レンズとメガネ ・光の医療への応用	予習90分：新聞や雑誌等で医療保健の問題を考える。 復習90分：配布資料を見直す。
第11回	・電流、電圧、電気抵抗 ・直流と交流 ・電力と熱	予習90分：新聞や雑誌等で医療保健の問題を考える。 復習90分：配布資料を見直す。
第12回	・生体における静電気現象 ・心臓の刺激伝導系 ・医療における主な応用機器	予習90分：新聞や雑誌等で医療保健の問題を考える。 復習90分：配布資料を見直す。
第13回	・原子の構造と原子核 ・原子の定常状態 ・放射線と性質	予習90分：新聞や雑誌等で医療保健の問題を考える。 復習90分：配布資料を見直す。
第14回	・放射線の基礎知識 ・放射線による障害とその防護	予習90分：新聞や雑誌等で医療保健の問題を考える。 復習90分：配布資料を見直す。
第15回	・医療における放射線の応用 ・Ｘ線ＣＴ ・ＭＲＩ装置 ・ポジトロンＣＴ装置	予習90分：新聞や雑誌等で医療保健の問題を考える。 復習90分：配布資料を見直す。

教科書

特に使用しません。

参考書

適宜紹介します。

成績評価の方法・基準

単位認定６０点以上。
筆記試験80% 授業に対する参加度20% を総合して評価します。

課題等に対する
フィードバックの方法

授業内で課題を出した際には、その解説を行うので（フィードバック）、事後の学習内容の理解に役立てること。

履修のポイント
新聞や雑誌・書籍等を通して、科学技術と人間及び医療保健について考えるようにする。健康や医療に関する種々の事象・応用が、どのようなしくみで成り立っているのかを考えながら履修すること。
オフィス・アワー
授業日の授業開始前もしくは終了後に教室等で質問に応じます。
科目区分
学部共通科目
当該授業科目の教育課程内での位置づけ
UM-C005

講義コード	10130001
講義名	生物学
(副題)	
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	前期
講義区分	講義
基準単位数	2
代表曜日	月曜日
代表時限	５時限
必修/選択	選択
実務経験のある教員の有無	無
実務経験のある教員の経歴と授業内容	
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 荒井 勝己	指定なし

授業の概要と教育目標

看護師になるために学ぶ教科目の中で、生物学が関与する内容は非常に多い。高校時代に「生物」を履修してこなかった学生にも解りやすく、今後の授業で障害とならないよう、特に私たちヒトに関する内容（細胞、遺伝、免疫など）を中心に講義する。また最新のバイオテクノロジーやバイオサイエンスの情報なども織り込んでいく。看護師として“私たちのヒトの体のメカニズム”を知る上で必要な基礎的な知識を深めることを目標とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

医療保健学部看護学科のディプロマポリシーとの関連として「2.看護学の基礎となる、人体のしくみ、健康の諸側面、健康生活と社会との関係について、理解している。さらに、医療者として必要な倫理、守るべき法令を理解し、それに沿って行動できる。」に基づき、私たちヒトのからだのメカニズムに対する理解を深めることを目指し、さらに本学の建学の精神である“社会に出て役立つ人材の育成”に基づき、看護師として必要な生物学の基礎を習得させることを目指すものとする。

到達目標

1．生命の基本単位である“細胞”に共通の基本構造および機能を踏まえ、細胞の発生・遺伝・進化のしくみについて説明できる。
2．私たちの生体内で起こる様々な生命現象について説明できる。

授業計画

	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	進化論の登場、地球上の生物に共通すること、生物体のつくりと階層性など	私たちヒトがどのようにして生まれてきたのか、また進化してきたのかなど質疑応答する。	予習90分：教科書を読み、わからない単語や内容について調べる。 復習90分：配布した試料をまとめ、復習問題を解き、理解で

			きなかった内容について調べる。
第2回	細胞を構成している物質、細胞小器官の構造と機能など		予習90分：教科書を読み、わからない単語や内容について調べる。 復習90分：配布した試料をまとめ、復習問題を解き、理解できなかった内容について調べる。
第3回	形質を決めているものを求めて、遺伝子としてのDNAなど		予習90分：教科書を読み、わからない単語や内容について調べる。 復習90分：配布した試料をまとめ、復習問題を解き、理解できなかった内容について調べる。
第4回	ATPの産生、代謝経路のネットワークなど		予習90分：教科書を読み、わからない単語や内容について調べる。 復習90分：配布した試料をまとめ、復習問題を解き、理解できなかった内容について調べる。
第5回	タンパク質のさまざまな機能	“たんぱく質とは何か”をもとに学生たちがイメージするものを回答させ、私たちに対してたんぱく質がどのように機能・関与しているのかを考える。	予習90分：教科書を読み、わからない単語や内容について調べる。 復習90分：配布した試料をまとめ、復習問題を解き、理解できなかった内容について調べる。
第6回	細胞間の情報交換、ホルモンと受容体で情報を伝えるなど		予習90分：教科書を読み、わからない単語や内容について調べる。 復習90分：配布した試料をまとめ、復習問題を解き、理解できなかった内容について調べる。
第7回	DNAの複製、細胞周期と体細胞分裂など		予習90分：教科書を読み、わからない単語や内容について調べる。 復習90分：配布した試料をまとめ、復習問題を解き、理解できなかった内容につ

			いて調べる。
第8回	減数分裂、生殖細胞の形成、受精など	私たちにとって体細胞分裂や減数分裂が行われなかった場合にどのような不具合が生じるかを意見させ、細胞分裂の意義について検討する。	予習90分：教科書を読み、わからない単語や内容について調べる。 復習90分：配布した試料をまとめ、復習問題を解き、理解できなかった内容について調べる。
第9回	非特異的生体防御機構、特異的生体防御機構、免疫機能の制御など		予習90分：教科書を読み、わからない単語や内容について調べる。 復習90分：配布した試料をまとめ、復習問題を解き、理解できなかった内容について調べる。
第10回	細胞の再生、細胞が死ぬとき、老化・寿命と遺伝子の関係など		予習90分：教科書を読み、わからない単語や内容について調べる。 復習90分：配布した試料をまとめ、復習問題を解き、理解できなかった内容について調べる。
第11回	内部環境を一定に、制御中枢による情報の処理と調整、動物の行動など		予習90分：教科書を読み、わからない単語や内容について調べる。 復習90分：配布した試料をまとめ、復習問題を解き、理解できなかった内容について調べる。
第12回	進化と多様性の創出、地球上の生物多様性を守るためになど		予習90分：教科書を読み、わからない単語や内容について調べる。 復習90分：配布した試料をまとめ、復習問題を解き、理解できなかった内容について調べる。
第13回	遺伝とは、メンデルの研究と遺伝の法則など		予習90分：教科書を読み、わからない単語や内容について調べる。 復習90分：配布した試料をまとめ、復習問題を解き、理解できなかった内容について調べる。

第14回	さまざまな遺伝	“さまざまな遺伝”について説明後、血液型や耳あかなど私たちの身近な遺伝の優劣について調査し、日本人全般の優劣の比率とクラスの比率に差があるのかを検討する。	予習90分：教科書を読み、わからない単語や内容について調べる。 復習90分：配布した試料をまとめ、復習問題を解き、理解できなかった内容について調べる。
第15回	性と遺伝、性染色体と性の決定、伴性遺伝など		予習90分：教科書を読み、わからない単語や内容について調べる。 復習90分：配布した試料をまとめ、復習問題を解き、理解できなかった内容について調べる。

教科書

『基礎から学ぶ 生物学・細胞生物学』第４版 和田 勝著（羊土社）

参考書

単元ごとにプリント教材を配布する。

成績評価の方法・基準

単位認定60点以上 筆記試験100％

課題等に対するフィードバックの方法

授業内に問題を提示したり、課題を課すことがある。学期末の筆記試験にも関与する事柄なので、必ず復習しておくこと。また、単元ごとに復習問題を配付するので、必ず問題を解いて授業内容の理解に役立てること。

履修のポイント

教科書の内容以外の事柄についても取り入れていくので、授業には積極的に参加すること。

オフィス・アワー

授業内容等の質問については、授業終了後、または月～金曜日のお昼休みに11号館3F研究室13で受け付ける。

科目区分

学部共通科目

当該授業科目の教育課程内での位置づけ

UM-C006

講義コード	10140001
講義名	化学
(副題)	
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	前期
講義区分	講義
基準単位数	2
代表曜日	木曜日
代表時限	１時限
必修/選択	選択
実務経験のある教員の有無	無
実務経験のある教員の経歴と授業内容	
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 煙山 健仁	指定なし

授業の概要と教育目標

看護師としての基礎知識である人体の構造と機能を理解するために必要な化学の知識を学習する。原子の構造、原子量、パーセント濃度、モル濃度、化学結合、生体高分子、化学反応、溶液の性質、酸と塩基などについて、本科目では看護師に必要な化学の基礎を学習し、臨地実習や臨床現場で役立つ化学の基礎知識を身につけることを目標とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

医療保健学部看護学科のディプロマ・ポリシーでは、「看護学の基礎となる、人体のしくみ、健康の諸側面、健康生活と社会との関係について理解していること」、「看護の基本精神・基礎技術を理解した上で、さまざまな健康レベル、あらゆる発達段階における科学的知識を修得していること」が求められており、化学の基礎知識の理解を通して、その目標達成に必要な知識を養う。

到達目標

看護職として、物質の単位変換、パーセント濃度や希釈を計算でき、人体の構造と機能に関わる化学知識を説明できる。

授業計画

	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	【計算１】化学計算に必要な数学の復習	人体に関わる指標の計算をし、人体の指標の意味合いについて考える。	予習90分：化学に必要な数学を復習する。復習90分：授業内容を見直し、疑問点をまとめる。疑問点が解決できない場合は、早めに質問に来る。
第2回	【原子のすがた１】からだをつくる物質、原子の構造、周期表		予習90分：教科書1章を読む。復習90分：配布資料を見直し、疑問点をまとめる。疑問点が解決できない場合は、早めに質問に来る。

第3回	【原子のすがた２】 電子配置、原子の安定性と価電子		予習90分：教科書1章を読む。復習90分：配布資料を見直し、疑問点をまとめる。疑問点が解決できない場合は、早めに質問に来る。
第4回	【「もの」の量１】 原子量、分子量、モル		予習90分：教科書2章を読む。復習90分：配布資料を見直し、疑問点をまとめる。疑問点が解決できない場合は、早めに質問に来る。
第5回	【「もの」の量２】 パーセント濃度、モル濃度、電解質濃度、放射線		予習90分：教科書2、3章を読む。復習90分：配布資料を見直し、疑問点をまとめる。疑問点が解決できない場合は、早めに質問に来る。
第6回	【化学結合１】 共有結合、イオン結合、金属結合		予習90分：教科書4章を読む。復習90分：配布資料を見直し、疑問点をまとめる。疑問点が解決できない場合は、早めに質問に来る。
第7回	【化学結合２】 分子の結合、化学反応		予習90分：教科書4章を読む。復習90分：配布資料を見直し、疑問点をまとめる。疑問点が解決できない場合は、早めに質問に来る。
第8回	【からだの中の液体１】 水、電解質		予習90分：教科書5章を読む。復習90分：配布資料を見直し、疑問点をまとめる。疑問点が解決できない場合は、早めに質問に来る。
第9回	【からだの中の液体２】 浸透圧、酸と塩基		予習90分：教科書6章を読む。復習90分：配布資料を見直し、疑問点をまとめる。疑問点が解決できない場合は、早めに質問に来る。
第10回	【有機化合物】 分類、反応		予習90分：教科書7章を読む。復習90分：配布資料を見直し、疑問点をまとめる。疑問点が解決できない場合は、早めに質問に来る。
第11回	【生体高分子】 タンパク質、糖質、脂質、核酸、など		予習90分：教科書7章を読む。復習90分：配布資料を見直し、疑問点をまとめる。疑問点が解決できない場合は、早めに質問に来る。
第12回	【からだの中の化学反応１】 エネルギー、ATP		予習90分：教科書7章を読む。復習90分：配布資料を見直し、疑問点をまとめる。疑問点が解決できない場合は、早めに質問に来る。
第13回	【からだの中の化学反応２】 酵素、代謝		予習90分：教科書7章を読む。復習90分：配布資料を見直し、疑問点をまとめる。疑問点が解決できない場合は、早めに質問に来る。
第14回	【計算２】 単位、濃度		予習90分：看護師に必要な数学の知識を調べる。復習90分：授業内容を見直し、疑問点をまとめる。疑問点が解決できない場合は、早めに質問に来る。
			予習90分：これまでの配布資料を整理する。

第15回	化学のまとめ		復習90分：まとめを聞いて、疑問点を再度まとめる。予習とは別に期末テストに向けて学修する。

教科書
看護系で役立つ化学の基本、有本淳一・西沢いづみ 著、化学同人
参考書
自然科学の基礎知識を知る、草間朋子 監、東京化学同人
成績評価の方法・基準
単位認定60点以上 授業中の小テストやレポート（10%）、期末テスト（90%）で評価する。
課題等に対する フィードバックの方法
授業内で小テストやレポート課題を課すことがある。小テストやレポートは、実施した次の回の授業で内容を解説する。
履修のポイント
自分だけの学習では正しい知識の理解が難しいので、講義に出席することが大切です。 講義では話し（ストーリー）を聞くことに集中して下さい。
オフィス・アワー
月曜日～水曜日、金曜日（09：20～18：10）、10号館病理・解剖実習研究室
科目区分
学部共通科目
当該授業科目の教育課程内での位置づけ
UM-C007

講義コード	10150001
講義名	生活とデザイン
(副題)	
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	後期
講義区分	講義
基準単位数	2
代表曜日	水曜日
代表時限	１時限
必修/選択	選択
実務経験のある教員の有無	無
実務経験のある教員の経歴と授業内容	
学年	4学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 久保田 恵美子	指定なし

授業の概要と教育目標

私たちは、多くの優れたデザインに囲まれ生活をし、大きな影響を受けています。
その デザインの言葉の語源はラテン（designare）から由来していると言われ、意匠、設計、創意工夫です。
つまりアイデアを何らかの形として創意工夫しながら表現するともいえるでしょう。
本授業ではデザインの歴史を学びながら、生活とデザインの関係性について考察しデザインする上で重要なカラー（色）についても多角的に学び、カラー（色）が人に対する影響、“色の持つパワー”により、生活空間を快適にさせ、” 目 ”” こころ ”で判断する以前に、色を肌で感じ、また、体内で感じ、色が人間に与える影響等々を視野に入れながら生活とデザインを学ぶ。

卒業認定・学位授与の方針との関連

学科のディプロマ・ポリシーと関連させ、社会・環境・コミュニケーションなどの諸側面からデザインや、色に対する理解を深め、生活とデザインの関係を考察し知識を養い、生活の中で実践できることを目標とします。

到達目標

デザインの意味や歴史を学び、また、生活の中で色が人間に与える影響等々を考察し、いかに生活空間を快適にさせ、より良い社会生活が営まれることを目標としながら、それを踏まえた上でアイデアを何らかの形として表現することができる。

授業計画

	担当者	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	久保田恵美子	デザインとは何かI	履修者に対し質問・ディスカッション等を行う	予習９０分： デザインについて考察する 復習９０分： 授業内容の復習や配布資料の見直しをする
	久保田	デザインとは	履修者に対し	予習９０分： デザインについて考察する

第2回	恵美子	何かII	質問・ディスカッション等を行う	復習９０分： 授業内容の復習や配布資料の見直しをする
第3回	久保田恵美子	デザインとは何かIII	履修者に対し 質問・ディスカッション等を行う	予習９０分： デザインについて考察する 復習９０分： 授業内容の復習や配布資料の見直しをする
第4回	久保田恵美子	デザインの近代史I	履修者に対し 質問・ディスカッション等を行う	予習９０分： アーツ・アンド・クラフツ運動について調べる 復習９０分： 授業内容の復習や配布資料の見直しをする
第5回	久保田恵美子	デザインの近代史II → レポート提出	履修者に対し 質問・ディスカッション等を行う	予習９０分： アール・ヌーボーやアール・デコについて調べる 復習９０分： 授業内容の復習や配布資料の見直しをし、レポートをまとめる
第6回	久保田恵美子	色の潜在力I	履修者に対し 質問・ディスカッション等を行う	予習９０分： 色のパワーついて調べる 復習９０分： 授業内容の復習や配布資料の見直しをする
第7回	久保田恵美子	色の潜在力II	履修者に対し 実験、体感、質問・ディスカッション等を行う	予習９０分： 色のパワーについて調べる 復習９０分： 授業内容の復習や配布資料の見直しをする
第8回	久保田恵美子	色の潜在力III	履修者に対し 実験、体感、質問・ディスカッション等を行う	予習９０分： 自分の好む色について調べる 復習９０分： 授業内容の復習や配布資料の見直しをする
第9回	久保田恵美子	快適生活の色彩I	履修者に対し 体感、質問・ディスカッション等を行う	予習９０分： 快適生活の中の色彩調査 復習９０分： 授業内容の復習や配布資料の見直しをする
第10回	久保田恵美子	快適生活の色彩II → レポート提出	履修者に対し 体感、質問・ディスカッション等を行う	予習９０分： 生活の中で一般的に多く使われている色の調査 復習９０分： 授業内容の復習や配布資料の見直しをし、レポートをまとめる
第11回	久保田恵美子	生活の中の雑貨デザイン制作	履修者に対し 体感、質問・ディスカッション等を行う	予習９０分： 自分で制作する雑貨を考える 復習９０分： 自分で制作する雑貨デザインを考え素材を検討し研究する
				予習９０分：

第12回	久保田恵美子	生活の中の雑貨デザイン制作	履修者に対し 質問・ディスカッション等を行う	自分で制作する雑貨デザインを考える 復習９０分： 雑貨デザイン考え決定
第13回	久保田恵美子	生活の中の雑貨デザイン制作	履修者に対し 質問や意見交換等を行う	予習９０分： 自分で制作する雑貨デザインの素材を検討し研究／材料の準備 復習９０分： 材料の調達／作品の制作
第14回	久保田恵美子	生活の中の雑貨デザイン制作	履修者に対し 質問や意見交換等を行う	予習９０分： 制作する雑貨に必要とする素材研究し準備する 復習９０分： 作品の制作
第15回	久保田恵美子	生活の中の雑貨デザイン制作 → 作品を完成させ提出	履修者に対し 質問や意見交換等を行う 作品の講評	予習９０分： 制作する雑貨を完成するよう準備する 復習９０分： 作品を完成させる

教科書

使用しません

参考書

使用しません

成績評価の方法・基準

単位認定 ６０点以上
レポート ３０％
課 題 ５０％
授業に対しての姿勢２０％

課題等に対する
フィードバックの方法

プリントを配布しますので授業内での理解に役立てて下さい
授業内でレポートや実技課題を課します

履修のポイント

授業に対し積極的に取り組んで下さい

オフィス・アワー

月曜９時～13時20分
11号館同窓会事務局内

科目区分

学部共通科目

当該授業科目の教育課程内での位置づけ

UM-C071

講義コード	10160001
講義名	地域社会学
(副題)	
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	前期
講義区分	講義
基準単位数	2
代表曜日	金曜日
代表時限	３時限
必修/選択	選択
実務経験のある教員の有無	無
実務経験のある教員の経歴と授業内容	
学年	4学年

担当教員

職種	氏名	所属
教 員	◎ 篠原 貴子	指定なし

授業の概要と教育目標

近代社会は、社会構造や生活様式に大きな変化をもたらした。特に、農村から都市への人口流出や都市化は、コミュニティや個人を取り巻く環境を転換させた。本講義では、都市や農村に関する社会学の展開を中心に学ぶとともに、社会を構成する主要な組織が担う役割や課題を経済や文化の側面から把握する。
本講義の目標は、地域社会の歴史や課題を理解し、社会学的思考を身に付けることである。

卒業認定・学位授与の方針との関連

医療保健学部栄養学科のディプロマ・ポリシーとの関連として、社会・環境・コミュニケーションなどの諸側面から人間に対する理解を深めることを目指し、社会的側面から学ぶことで多角的な視点から物事を捉える能力や柔軟な思考力を養う。

到達目標

1. 講義内容を踏まえて、地域社会が抱える現代的課題を発見し、読み解く力を培う。
2. 講義で紹介した概念や理論を用いて、地域社会の問題や身近な事象を説明できる。

授業計画

	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	地域社会学の意義と課題		予習90分：この分野への知識や関心を高める学習をする。 復習90分：配布資料を見直す。
第2回	都市社会学の展開		予習90分：事前学習をする。 復習90分：配布資料を見直す。
			予習90分：事前学習をする。

第3回	近代化論		復習90分：配布資料を見直す。
第4回	都市空間と人間形成		予習90分：都市の人間関係を考える。 復習90分：配布資料を見直す。
第5回	アーバニズムとローカリティ		予習90分：事前学習をする。 復習90分：配布資料を見直す。
第6回	地域と政治		予習90分：事前学習をする。 復習90分：配布資料を見直す。
第7回	町内会の変遷と課題		予習90分：町内会について調べる。 復習90分：配布資料を見直す。
第8回	高度経済成長と地域社会	高度経済成長期を描いた作品を鑑賞し、これまでの学習した知識を踏まえてコメントを書く。	予習90分：事前学習をする。 復習90分：配布資料を見直す。
第9回	農村社会		予習90分：事前学習をする。 復習90分：配布資料を見直す。
第10回	都市化と住空間		予習90分：事前学習をする。 復習90分：配布資料を見直す。
第11回	グローバル化と地域社会の変貌		予習90分：事前学習をする。 復習90分：配布資料を見直す。
第12回	エスニック・コミュニティの形成		予習90分：事前学習をする。 復習90分：配布資料を見直す。
第13回	地域活性化とまちづくり	地域活性化の事例の紹介やフィールドワークでの経験を話し合う。	予習90分：課題内容を学習する。 復習90分：配布資料を見直す。
第14回	新たなコミュニティの創出と地域社会		予習90分：事前学習をする。 復習90分：配布資料を見直す。
第15回	地域社会学の展望		予習90分：事前学習をする。 復習90分：配布資料を見直す。

教科書

必要な資料は随時配布
参考書
鈴木広監修 『地域社会学の現在』 （ミネルヴァ書房）
成績評価の方法・基準
成績評価 60点以上 試験結果と授業内課題で総合評価する。 （レポートあるいは定期試験70%、授業内課題30%）
課題等に対する フィードバックの方法
リアクションペーパーを課す場合がある。重要点の確認や疑問点を解説し、学習内容の理解に役立てる。
履修のポイント
授業内容に関して、意欲的に学習する。
オフィス・アワー
授業日の、授業開始前もしくは終了後に教室等で相談に応じます。
科目区分
学部共通科目
当該授業科目の教育課程内での位置づけ
UM-C072

講義コード	10170001
講義名	人間工学
(副題)	
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	前期
講義区分	講義
基準単位数	2
代表曜日	水曜日
代表時限	４時限
必修/選択	選択
実務経験のある教員の有無	有
実務経験のある教員の経歴と授業内容	両名とも理学療法士として医療・介護分野での勤務経験があります。本講義では人体の運動機能の理解を深め、生活場面でどのように機能しているのかを学び体験します。
学年	2学年

担当教員

職種	氏名	所属
教 員	◎ 松村 昌俊	指定なし
教 員	亀井 実	指定なし

授業の概要と教育目標

本講義では、我々を取り巻く社会環境への理解を深め、人間の運動機能を理解し、日常生活動作を考慮した福祉機器、住環境に関して医療・福祉の分野での実践的知識や、日常生活における動作を運動学的視点から分析する方法を学び、障害者や高齢者の日常生活を援助する観点から福祉用具の活用や住環境整備の方法を説明できるようになることを目指します。

卒業認定・学位授与の方針との関連

本講義では、偏見や先入観を持たずに、社会・環境・コミュニケーションなどの諸側面から全人的に対象者を理解するために、精神面、身体面から人間の諸活動を考察できるようになることを目指します。
福祉、臨床の現場でチーム医療の一員として活躍し、そこで調整する能力及び問題を解決する能力を修得するための機会として、理学療法士の視点と考え方を共有します。
多様な対象や人間のライフステージ・ライフサイクルを理解するための機会として、ノーマライゼーションの視点から実生活を観察する考え方を共有します。

到達目標

1.人間に対して、社会・環境・コミュニケーションなどの諸側面から理解している

2.人間の運動機能である関節可動域や筋力が力学的にどのように作用しているかについて説明できる

3.日常生活における動作を運動学的視点からの分析方法を説明できる

4.障害者や高齢者の日常生活を援助する観点から福祉用具の活用や住環境整備の方法を説明できる

5.看護学の基礎となる、人体のしくみ、健康の諸側面、健康生活と社会との関係について、理解している。さらに、医療者として必要な倫理、守るべき法令を理解し、それに沿って行動できる

6.看護の基本精神・基礎技術を理解した上で、さまざまな健康レベル、あらゆる発達段階における科学的知識を修得し、実践的な援助技術を修得している

7.看護学を系統的に理解し、看護の基礎や健康問題別発達段階別看護で学んだ知識と技術を統合することができる。また、臨床現場でチーム医療の一員として活躍し、そこで調整する能力及び問題を解決する能力を修得している。

授業計画

	担当者	授業内容と方法、課題	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	松村昌俊	（オリエンテーション） 重心と姿勢、バランスについて学ぶ	講義内容について 予習90分、復習90分 配付資料を見直す
第2回	松村昌俊	日常生活動作における転倒と転倒予防について学ぶ	講義内容について 予習90分、復習90分 配付資料を見直す
第3回	亀井実	身体特性に応じた福祉機器について学ぶ	講義内容について 予習90分、復習90分 配付資料を見直す
第4回	亀井実	車椅子操作を体験し、車いす利用者の視点について学ぶ	講義内容について 予習90分、復習90分 配付資料を見直す
第5回	松村昌俊	関節可動域の評価と日常生活動作に必要な関節可動域について学ぶ	講義内容について 予習90分、復習90分 配付資料を見直す
第6回	松村昌俊	筋力の評価と日常生活動作に必要な筋力について学ぶ	講義内容について 予習90分、復習90分 配付資料を見直す
第7回	亀井実	ボディメカニクスを使った援助、食事の援助について学ぶ（講義）	講義内容について 予習90分、復習90分 配付資料を見直す
			講義内容について

第8回	亀井実	ボディメカニクスを使った援助、食事の援助について学ぶ（実演）	予習90分、復習90分 配付資料を見直す
第9回	松村昌俊	立ち上がり動作をはじめとする動作分析について学ぶ	講義内容について 予習90分、復習90分 配付資料を見直す
第10回	松村昌俊	歩行分析について学ぶ	講義内容について 予習90分、復習90分 配付資料を見直す
第11回	松村昌俊	歩行補助具の種類と杖歩行のパターンについて学ぶ	講義内容について 予習90分、復習90分 配付資料を見直す
第12回	松村昌俊	福祉用具の活用や住環境整備の実際の事例について紹介する	講義内容について 予習90分、復習90分 配付資料を見直す
第13回	松村昌俊	ノーマライゼーションとバリアフリーの概念を解説し事例を紹介する	講義内容について 予習90分、復習90分 配付資料を見直す
第14回	松村昌俊	ユニバーサルデザインとアクセシビリティの概念を解説し事例を紹介する	講義内容について 予習90分、復習90分 配付資料を見直す
第15回	松村昌俊	これまでの講義のまとめを行う	講義内容について 予習90分、復習90分 配付資料を見直す

教科書

なし（授業時に資料を配布する）

参考書

なし（授業時に資料を配布する）

成績評価の方法・基準

単位認定60点以上（定期試験100％評価）（授業中の提出物を加味して最終的な点数を算出す

る）
課題等に対する フィードバックの方法
授業中に出た課題等は、当日もしくは後日の授業中にフィードバックを行います。 実技については、授業中に都度、フィードバックを行います。
履修のポイント
授業中の課題に積極的に取り組むことで、専門職としての学びが深まります。 小テストや試験に真摯に取り組むことで、国家試験受験時の準備ができます。
オフィス・アワー
授業日の授業開始前もしくは終了後に教室等で質問に応じます。
科目区分
学部共通科目
当該授業科目の教育課程内での位置づけ
UM-C023

講義コード	10180001
講義名	行動科学
(副題)	【保健師必修】
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	後期（重複①）
講義区分	講義
基準単位数	1
代表曜日	月曜日
代表時限	３時限
必修/選択	選択
実務経験のある教員の有無	有
実務経験のある教員の経歴と授業内容	酒井幸子：看護師・保健師として、日本およびスイスで10年以上正規スタッフとして就労
学年	4学年

担当教員

職種	氏名	所属
教 員	◎ 酒井 幸子	指定なし
教 員	徐 淑子	指定なし

授業の概要と教育目標

この授業では、人々が健康を守る行動を起こすときにどんな心理社会的仕組みが働いているのかについて、学びます。また、それらの知識を健康教育や患者教育にどのように応用できるかについて、考えます。まずは、じぶん自身の行動をモデルに当てはめて考えてみることから学習を始めましょう
＊受講生のみなさんの関心および学修進度により、内容調整および内容変更をすることがあります。
【担当者について】第1回と第8回は徐淑子が、第2回から第7回は酒井幸子が担当します。
【授業形態】 Microsoft Teams 上のリアルタイム遠隔授業として行います。

卒業認定・学位授与の方針との関連

医療保健学部看護学科のディプロマポリシーの以下に対応します。
1. 人間に対して、社会・環境・コミュニケーションなどの諸側面から理解している。
2. 看護学の基礎となる、人体のしくみ、健康の諸側面、健康生活と社会との関係について、理解している。

到達目標

１．行動モデルを用いて，身近な健康現象を理解・説明することができるようになる。
２．国家試験の事例問題等を読み、保健行動のモデルで解釈できる記述を指摘することができる。
３．行動変容プログラムの骨組みを体験的に理解する。

授業計画

	担当者	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間
		健康と病気にかかわるさまざまな行	動画資料を視聴	復習90分：今回分の資料に目を通す。資料中、すでに知っ

第1回	徐淑子	動を、いくつかの視点で分類しながら理解する。看護職者がとりあつかうケア範囲の広さを確認する。（担当：徐淑子）	し、その後、個人ワークにとりくみます。	ている概念やモデルがあったら、いつ、どの科目で学習したのか、手持ちの教科書や参考書で確認する。
第2回	酒井幸子	生活構造論、段階的変化理論について取り上げ、保健行動の習慣化、保健行動がどのようにして個人の生活の中に組み込まれていくのか、段階に応じた支援のあり方について学ぶ。（担当：酒井幸子）	動画資料を視聴し、その後、個人ワークにとりくみます。	予習90分：今回分の資料に目を通す。資料中、すでに知っている概念やモデルがあったら、いつ、どの科目で学習したのか、手持ちの教科書や参考書で確認する。 復習90分：前回の授業で取り組んだワークを返却するので、各自、振り返る。
第3回	酒井幸子	健康教育・患者教育の目的と組み立てを確認し、次いで、保健行動を説明する代表的な行動モデルについて学習する。（担当：酒井幸子） ①教育モデル ②ヘルス・リテラシー	動画資料を視聴し、その後、個人ワークにとりくみます。	予習90分：今回分の資料に目を通す。資料中、すでに知っている概念やモデルがあったら、いつ、どの科目で学習したのか、手持ちの教科書や参考書で確認する。 復習90分：前回の授業で取り組んだワークを返却するので、各自、振り返る。
第4回	酒井幸子	保健行動を説明する代表的な行動モデルについて学習する。（担当：酒井幸子） ③恐怖アピールモデルは人々の行動を変えるか ④保健信念モデルーグッド・ニュースとバッド・ニュースのバランス	動画資料を視聴し、その後、個人ワークにとりくみます。	予習90分：今回分の資料に目を通す。資料中、すでに知っている概念やモデルがあったら、いつ、どの科目で学習したのか、手持ちの教科書や参考書で確認する。 復習90分：前回の授業で取り組んだワークを返却するので、各自、振り返る。
第5回	酒井幸子	保健行動を説明する代表的な行動モデルについて学習する。（担当：酒井幸子） ⑤保健行動シーソーモデルー保健動機と生活動機の連合 ⑥計画的行動理論と人の判断	動画資料を視聴し、その後、個人ワークにとりくみます。	予習90分：今回分の資料に目を通す。資料中、すでに知っている概念やモデルがあったら、いつ、どの科目で学習したのか、手持ちの教科書や参考書で確認する。 復習90分：前回の授業で取り組んだワークを返却するので、各自、振り返る。
第6回	酒井幸子	社会的学習理論（自己効力感モデル）の考え方より、行動変容の過程について考える。（担当：酒井幸子）	動画資料を視聴し、その後、個人ワークにとりくみます。	予習90分：今回分の資料に目を通す。資料中、すでに知っている概念やモデルがあったら、いつ、どの科目で学習したのか、手持ちの教科書や参考書で確認する。 復習90分：前回の授業で取り組んだワークを返却するので、各自、振り返る。
第7回	酒井幸	生活ストレス論の立場から、「なぜ、かんたんな保健行動が起こせない／続かない人がいるのか」につい	動画資料を視聴し、その後、個人	予習90分：今回分の資料に目を通す。資料中、すでに知っている概念やモデルがあったら、いつ、どの科目で学習したのか、手持ちの教科書や参

	子	て、考える。（担当：酒井幸子）	ワークにとりくみます。	考書で確認する。 復習90分：前回の授業で取り組んだワークを返却するので、各自、振り返る。
第8回	酒井幸子	行動科学的知見を、生活習慣指導における個別支援にどのように活用できるかを、ワークをとおして体験的に学ぶ。認知行動療法的な支援の生活習慣指導への活用を取り上げる。（担当：徐淑子）	動画資料を視聴し、その後、個人ワークにとりくみます。	予習90分：今回分の資料に目を通す。資料中、すでに知っている概念やモデルがあったら、いつ、どの科目で学習したのか、手持ちの教科書や参考書で確認する。 復習90分：前回の授業で取り組んだワークを返却するので、各自、振り返る。

教科書

指定教科書はありません。教員が資料を配布します。

参考書

授業中に、その都度、情報の出典を示し、より深く学習したい方のために関連書籍や文献を紹介いたします。

成績評価の方法・基準

最終課題（レポート）100%で評価します。レポートは100点満点で、60点以上が合格となります。

課題等に対するフィードバックの方法

授業の冒頭に、前回授業の復習を兼ねて、提出課題のふりかえりをいたします。

履修のポイント

・視聴覚資料を毎回視聴します。
・授業中に個別ワークにとりくんでもらいます。
・最終課題は授業中に実施するワークを統合したかたちで出題されます。学習成果を最終課題にうまく生かせるよう、授業内ワークでその都度確認しながら学習に取り組んでください。
・私語厳禁でお願いいたします。

オフィス・アワー

非常勤講師による変則時間割による授業（集中講義）となります。また、授業は Microsoft Teams 上のリアルタイム遠隔授業となりますので、質問等はチャットやダイレクトメッセージ、emailでお知らせください。

科目区分

学部共通科目

当該授業科目の教育課程内での位置づけ

UM-C082

講義コード	10190001
講義名	コミュニケーション論
(副題)	
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	前期
講義区分	演習
基準単位数	1
代表曜日	水曜日
代表時限	２時限
必修/選択	必修
実務経験のある教員の有無	無
実務経験のある教員の経歴と授業内容	
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 大澤 靖彦	指定なし

授業の概要と教育目標

人との関係性に見られるコミュニケーションは、対人援助職にとって極めて重要であるとよく言われる。では、現代においてコミュニケーション能力が求められるのはなぜなのか、そもそもコミュニケーションとは何なのか、コミュニケーションが上手とか下手とかは何をもって判断されるのか。この授業では、今日のコミュニケーション研究の成果を学修しながら、多面的にコミュニケーションについて理解を深める。演習形式を取り入れながら、体験を通した学修を進める予定である。教育目標として、日常的なコミュニケーション場面の特徴を広く学修し、その基本的な理論や原理を修得し、自他を理解する基本的態度の修得を目指す。

卒業認定・学位授与の方針との関連

医療保健学部看護学科のディプロマポリシーとの関連として、社会・環境・コミュニケーションなどの諸側面から人に対する理解を深めることを目指し、対人関係上で交わされるコミュニケーションの理解を通してその目的達成に資する知識を養う。そして、看護職として看護対象となる人の健康の諸側面、健康生活と社会との関係について、対人的なコミュニケーションの重要性を理解し、自己理解と他者理解に基づいた看護実践ができるようになることを目指す。

到達目標

１．コミュニケーションにかかわる基本的な理論や原理を理解できる。
２．自己と他者の違いを実感し、自分の対人関係場面でみられる特徴を自覚できる。
３．他者とのコミュニケーションを通して、人の話を「聞く」とはどういうことか、自分のことを相手に「伝える」とはどういうことかを理解できる。
４．コミュニケーションに関する知見を、看護における対人援助場面での人とのかかわりに適用して考えることができる。

授業計画

	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間
	人付き合いの	オリエンテーション（授業の進め方、成績評価等について）	予習90分：事前にシラバス等を確認す

第1回	スタートの心理学①	人付き合いのスタートでは、どのようなことが大切なのかについて、他者の考えを聞きながら自分の考えを広げたり深めたりする。	る。 復習90分：配布資料の整理、まとめ。
第2回	人付き合いのスタートの心理学②	人間関係を深めていくためには何が大切なのかについて、他者の考えを聞きながら自分の考えを広げたり深めたりする。	予習90分：事前にシラバス等を確認する。 復習90分：配布資料の整理、まとめ。
第3回	自己理解	コミュニケーションの基本となる自分自身についての理解を深める。自己理解を深めるための自己開示とフィードバックについて理解する。	予習90分：事前にシラバス等を確認する。 復習90分：配布資料の整理、まとめ。
第4回	人とかかわること	対人場面での不安や緊張を軽減することについて、他者の考えを聞きながら自分の考えを広げたり深めたりする。 さらに単純接触効果を踏まえて繰り返しメンバーとの交流を図る。	予習90分：事前にシラバス等を確認する。 復習90分：配布資料の整理、まとめ。
第5回	グループメンバーと知り合う	仲間関係を深めることについて、自己開示とﾌｨｰﾄﾞﾊﾞｯｸを取り入れた演習を行い自分の考えを広めたり深めたりする。	予習90分：事前にシラバス等を確認する。 復習90分：配布資料の整理、まとめ。
第6回	聞き上手になろう	相手の話の聞き方について学ぶ。 カウンセリングの基本的な技法について学ぶとともに一生懸命に話を聞いていることを相手にどのよう伝えるのかについても考究する。	予習90分：事前にシラバス等を確認する。 復習90分：配布資料の整理、まとめ。
第7回	傾聴スキルを使って信頼関係を築こう①	第6回で学んだスキルを活かして、よりよい関係を築くことを学ぶ。 特に、感情に寄り添って話を聴こう。	予習90分：事前にシラバス等を確認する。 復習90分：配布資料の整理、まとめ。
第8回	傾聴スキルを使って信頼関係を築こう②	第6・7・8回で学んだスキルを活かして、よりよい関係を築くことを学ぶ。 特に、感情に寄り添って話を聴こう。	予習90分：事前にシラバス等を確認する。 復習90分：配布資料の整理、まとめ。
			予習90分：事

第9回	話し上手になろう	自分のことを上手に伝えること、アサーションの考え方について、他者の考えを聞きながら自分の考えを広げたり深めたりする。	前にシラバス等を確認する。 復習90分：配布資料の整理、まとめ。
第10回	ノンバーバル・コミュニケーションを学ぼう	ノンバーバル・コミュニケーションの重要性について、他者の考えを聞きながら自分の考えを広げたり深めたりする。	予習90分：事前にシラバス等を確認する。 復習90分：配布資料の整理、まとめ。
第11回	自分と他者の「認知」の違いを知ろう	自分が認知していることと他者が認知していることにはズレが生じていることについて理解する。	予習90分：事前にシラバス等を確認する。 復習90分：配布資料の整理、まとめ。
第12回	自己理解・他者理解	ジェノグラムを使って自己理解を深め、他者理解を深める。	予習90分：事前にシラバス等を確認する。 復習90分：配布資料の整理、まとめ。
第13回	恋愛の心理学	人に好意を持ったり持たれたりする仕組みについて、他者の考えを聞きながら自分の考えを広げたり深めたりする。	予習90分：事前にシラバス等を確認する。 復習90分：配布資料の整理、まとめ。
第14回	職場の人間関係①	どのようなリーダーシップが生産性を上げるのかについて、他者の考えを聞きながら自分の考えを広げたり深めたりする。	予習90分：事前にシラバス等を確認する。 復習90分：配布資料の整理、まとめ。
第15回	職場の人間関係②	どのようなコミュニケーションがあれば仕事で頑張れるのかについて、他者の考えを聞きながら自分の考えを広げたり深めたりする。	予習90分：事前にシラバス等を確認する。 復習90分：配布資料の整理、まとめ。

教科書

特に指定せず。

参考書

適宜紹介する。

成績評価の方法・基準
単位認定60点以上。 確認テスト（最終授業で毎回の授業で行う小テストから40問を出題もしくは小論文）40％ レポート・課題30％ 授業への積極性・態度30％
課題等に対する フィードバックの方法
授業内でレポートや課題を課すことがある。返却するので学習の参考にすること。また、授業の振り返りの資料とその解答を配布するので、授業内容の理解に役立てること。
履修のポイント
授業への積極的な取り組みを期待します。演習を取り入れて授業を進めます。授業時間外の学習として、幅広い興味関心のもとに日常的な出来事における人の行動を見つめることを予習に、本講義の配布資料・ノートの見直しやまとめを復習に勧めます。
オフィス・アワー
水曜日・木曜日、12：30〜13：20（昼休み）、11 号館第 8 研究室。 ※講義終了前後にも、適宜受け付けます。
科目区分
学部共通科目
当該授業科目の教育課程内での位置づけ
UM-R008

講義コード	10200001
講義名	基礎英語I（Aクラス）
(副題)	【教職必修】
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	前期
講義区分	演習
基準単位数	1
代表曜日	火曜日
代表時限	４時限
必修/選択	必修
実務経験のある教員の有無	無
実務経験のある教員の経歴と授業内容	
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 女鹿 喜治	指定なし

授業の概要と教育目標

高校まで身につけた英語の基礎事項を確認し、さらに使える英語を身に着けるようにします。つまり、基礎的な発音と聞き取り、そして、英文法を見直すことによって、リーディングの学力を伸ばしていきます。

比較的簡単な英語ですので、英語を聞いてすぐに理解し、読んだらできるだけ日本語に訳さないで、そのままで理解できるようにしてください。

一応、講義計画表通り進めていきますが、みなさんの英語力と予習の出来を見ながら進度を調節します。

卒業認定・学位授与の方針との関連

保健・医療を通じて、国際社会にも貢献できることが時代の要請となっています。将来、大学院などで英語の文献を読まなければならないことになった場合、それに対処できるだけの基礎力を身に付けます。

到達目標

英語を英語として読み、訳さずに聞いてすぐに理解する基本的な英語力を養成する。同時に、英語を通じて、大学生らしい豊かな知識と教養を身に付け、世界の現状を理解・説明し、批判的な思考力を身に付ける。TOEIC 500点程度を目指します。

授業計画

	授業内容と方法、課題	予習・復習と そのために必要な時間
第1回	科目に関するガイダンス。英語の基礎力はどうすれば伸ばせるのかを考えます。少し、教科書をやるかもしれません。	予習：最初のユニットを見ておいて下さい。20分程度 復習：授業で話したことを思い起こして、教科書を再度読み直して下さい。25分程度。
		予習(単語と内容の大雑把な把

第2回	Unit 1 Letters and Languages, Exercise A & B	握)：20分程度 復習(全体的な読み直し)：25分程度
第3回	Unit1 Letters and Languages, Exercise C & D	予習(単語と内容の大雑把な把握)：20分程度 復習(全体的な読み直し)：25分程度
第4回	Unit 2 Punctuation, Exercise A & B	予習(単語と内容の大雑把な把握)：20分程度 復習(全体的な読み直し)：25分程度
第5回	Unit 2 Punctuation, Exercise C & D	予習(単語と内容の大雑把な把握)：20分程度 復習(全体的な読み直し)：25分程度
第6回	Unit 3 Poetry, Exercise A & B	予習(単語と内容の大雑把な把握)：20分程度 復習(全体的な読み直し)：25分程度
第7回	Unit 3 Poetry, Exercise C & D	予習(単語と内容の大雑把な把握)：20分程度 復習(全体的な読み直し)：25分程度
第8回	中間試験、フィードバック	予習：試験範囲を見直して下さい。：20分以上 復習：どこができて、どこができなかったのかを確認して下さい。：25分以上
第9回	Unit 4 Story, Exercise A & B	予習(単語と内容の大雑把な把握)：20分程度 復習(全体的な読み直し)：25分程度
第10回	Unit 4 Story, Exercise C & D	予習(単語と内容の大雑把な把握)：20分程度 復習(全体的な読み直し)：25分程度
第11回	Unit 5 Music, Exercise A & B	予習(単語と内容の大雑把な把握)：20分程度 復習(全体的な読み直し)：25分程度
第12回	Unit 5 Music, Exercise C & D	予習(単語と内容の大雑把な把握)：20分程度 復習(全体的な読み直し)：25分程度
第13回	Unit 6 Calculations Exercise, A & B	予習(単語と内容の大雑把な把握)：20分程度 復習(全体的な読み直し)：25分程度
第14回	Unit 6 Calculations, Exercise C & D	予習(単語と内容の大雑把な把握)：20分程度 復習(全体的な読み直し)：25分程度
		予習(単語と内容の大雑把な把

第15回	進度の調整とまとめ	握)：20分程度 復習(全体的な読み直し)：25分程度

教科書

植村淳子・アイリーン 岩崎・原雅久 (2015) 英語で学ぶリベラル・アーツ. 朝日出版.

参考書

教室で適宜指示します。プリントも用意します。

成績評価の方法・基準

単位認定は60点以上：テスト50%（中間試験25%＋期末試験25%）＋平常点50%

課題等に対する
フィードバックの方法

答案用紙は採点して返却するか、何らかの形で講評をコメントします。

履修のポイント

全く当たり前のことですが、予習・復習をして下さい。大雑把でいいですから、事前に説明を読んで、内容を把握しておいてください。練習問題は自分で何がわかってないのかを意識して授業に臨んでください。練習問題の一部を宿題にする場合があります。小テストという形をとるかもしれません。

オフィス・アワー

授業日の授業前後に教室または非常勤講師室で質問に応じます。

科目区分

学部共通科目

当該授業科目の教育課程内での位置づけ

UM-R009

講義コード	10200002
講義名	基礎英語I（Bクラス）
(副題)	【教職必修】
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	前期
講義区分	演習
基準単位数	1
代表曜日	月曜日
代表時限	４時限
必修/選択	必修
実務経験のある教員の有無	無
実務経験のある教員の経歴と授業内容	
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 女鹿 喜治	指定なし

授業の概要と教育目標

高校まで身につけた英語の基礎事項を確認し、さらに使える英語を身に着けるようにします。つまり、基礎的な発音と聞き取り、そして、英文法を見直すことによって、リーディングの学力を伸ばしていきます。

比較的簡単な英語ですので、英語を聞いてすぐに理解し、読んだらできるだけ日本語に訳さないで、そのままで理解できるようにしてください。

一応、講義計画表通り進めていきますが、みなさんの英語力と予習の出来を見ながら進度を調節します。

卒業認定・学位授与の方針との関連

保健・医療を通じて、国際社会にも貢献できることが時代の要請となっています。将来、大学院などで英語の文献を読まなければならないことになった場合、それに対処できるだけの基礎力を身に付けます。

到達目標

英語を英語として読み、訳さずに聞いてすぐに理解する基本的な英語力を養成する。同時に、英語を通じて、大学生らしい豊かな知識と教養を身に付け、世界の現状を理解・説明し、批判的な思考力を身に付ける。TOEIC 500点程度を目指します。

授業計画

	授業内容と方法、課題	予習・復習と そのために必要な時間
第1回	科目に関するガイダンス。英語の基礎力はどうすれば伸ばせるのかを考えます。少し、教科書をやるかもしれません。	予習：最初のユニットを見ておいて下さい。20分程度 復習：授業で話したことを思い起こして、教科書を再度読み直して下さい。25分程度。
		予習(単語と内容の大雑把な把

第2回	Unit 1 Letters and Languages, Exercise A & B	握)：20分程度 復習(全体的な読み直し)：25分程度
第3回	Unit1 Letters and Languages, Exercise C & D	予習(単語と内容の大雑把な把握)：20分程度 復習(全体的な読み直し)：25分程度
第4回	Unit 2 Punctuation, Exercise A & B	予習(単語と内容の大雑把な把握)：20分程度 復習(全体的な読み直し)：25分程度
第5回	Unit 2 Punctuation, Exercise C & D	予習(単語と内容の大雑把な把握)：20分程度 復習(全体的な読み直し)：25分程度
第6回	Unit 3 Poetry, Exercise A & B	予習(単語と内容の大雑把な把握)：20分程度 復習(全体的な読み直し)：25分程度
第7回	Unit 3 Poetry, Exercise C & D	予習(単語と内容の大雑把な把握)：20分程度 復習(全体的な読み直し)：25分程度
第8回	中間試験、フィードバック	予習：試験範囲を見直して下さい。：20分以上 復習：どこができて、どこができなかったのかを確認して下さい。：25分以上
第9回	Unit 4 Story, Exercise A & B	予習(単語と内容の大雑把な把握)：20分程度 復習(全体的な読み直し)：25分程度
第10回	Unit 4 Story, Exercise C & D	予習(単語と内容の大雑把な把握)：20分程度 復習(全体的な読み直し)：25分程度
第11回	Unit 5 Music, Exercise A & B	予習(単語と内容の大雑把な把握)：20分程度 復習(全体的な読み直し)：25分程度
第12回	Unit 5 Music, Exercise C & D	予習(単語と内容の大雑把な把握)：20分程度 復習(全体的な読み直し)：25分程度
第13回	Unit 6 Calculations Exercise, A & B	予習(単語と内容の大雑把な把握)：20分程度 復習(全体的な読み直し)：25分程度
第14回	Unit 6 Calculations, Exercise C & D	予習(単語と内容の大雑把な把握)：20分程度 復習(全体的な読み直し)：25分程度
		予習(単語と内容の大雑把な把

第15回	進度の調整とまとめ	握)：20分程度 復習(全体的な読み直し)：25分程度

教科書

植村淳子・アイリーン 岩崎・原雅久 (2015) 英語で学ぶリベラル・アーツ. 朝日出版.

参考書

教室で適宜指示します。プリントも用意します。

成績評価の方法・基準

単位認定は60点以上：テスト50%（中間試験25%＋期末試験25%）＋平常点50%

課題等に対する
フィードバックの方法

答案用紙は採点して返却するか、何らかの形で講評をコメントします。

履修のポイント

全く当たり前のことですが、予習・復習をして下さい。大雑把でいいですから、事前に説明を読んで、内容を把握しておいてください。練習問題は自分で何がわかってないのかを意識して授業に臨んでください。練習問題の一部を宿題にする場合があります。小テストという形をとるかもしれません。

オフィス・アワー

授業日の授業前後に教室または非常勤講師室で質問に応じます。

科目区分

学部共通科目

当該授業科目の教育課程内での位置づけ

UM-R009

講義コード	10210001
講義名	基礎英語II（Aクラス）
(副題)	
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	後期
講義区分	演習
基準単位数	1
代表曜日	火曜日
代表時限	２時限
必修/選択	必修
実務経験のある教員の有無	無
実務経験のある教員の経歴と授業内容	
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 女鹿 喜治	指定なし

授業の概要と教育目標

高校まで身につけた英語の基礎事項を確認し、さらに使える英語を身に着けるようにします。つまり、基礎的な発音と聞き取り、そして、英文法を見直すことによって、リーディングの学力を伸ばしていきます。

比較的簡単な英語ですので、英語を聞いてすぐに理解し、読んだらできるだけ日本語に訳さないで、そのままで理解できるようにしてください。

一応、講義計画表通り進めていきますが、みなさんの英語力と予習の出来を見ながら進度を調節します。

卒業認定・学位授与の方針との関連

保健・医療を通じて、国際社会にも貢献できることが時代の要請となっています。将来、大学院などで英語の文献を読まなければならないことになった場合、それに対処できるだけの基礎力を身に付けます。

到達目標

英語を英語として読み、訳さずに聞いてすぐに理解する基本的な英語力を養成する。同時に、英語を通じて、大学生らしい豊かな知識と教養を身に付け、世界の現状を理解・説明し、批判的な思考力を身に付ける。TOEIC 500点程度を目指します。

授業計画

	授業内容と方法、課題	予習・復習と そのために必要な時間
第1回	科目に関する簡単なガイダンス。少し教科書をやるかもしれません。	予習(単語と内容の大雑把な把握)：20分程度 復習(全体的な読み直し)：25分程度
第2回	Unit 7 Measurements,Exercise A	予習(単語と内容の大雑把な把握)：20分程度 復習(全体的な読み直し)：25分程度

第3回	Unit 7 Measurements, Exercise B & C	予習(単語と内容の大雑把な把握)：20分程度 復習(全体的な読み直し)：25分程度
第4回	Unit 8 Statistics, Exercise A & B	予習(単語と内容の大雑把な把握)：20分程度 復習(全体的な読み直し)：25分程度
第5回	Unit 8 Statistics, Exercise C & D	予習(単語と内容の大雑把な把握)：20分程度 復習(全体的な読み直し)：25分程度
第6回	Unit 9 Business Math, Exercise A & B	予習(単語と内容の大雑把な把握)：20分程度 復習(全体的な読み直し)：25分程度
第7回	Unit 9 Business Math, Exercise C & D	予習(単語と内容の大雑把な把握)：20分程度 復習(全体的な読み直し)：25分程度
第8回	中間試験、フィードバック	予習：試験範囲を見直して下さい。：20分以上 復習：どこができて、どこができなかったのか確認して下さい。：25分以上
第9回	Unit 10 Health and Nutrition, Exercise A & B	予習(単語と内容の大雑把な把握)：20分程度 復習(全体的な読み直し)：25分程度
第10回	Unit 10 Health and Nutrition, Exercise C & D	予習(単語と内容の大雑把な把握)：20分程度 復習(全体的な読み直し)：25分程度
第11回	Unit 11 Geometry,Exercise A & B	予習(単語と内容の大雑把な把握)：20分程度 復習(全体的な読み直し)：25分程度
第12回	Unit 11 Geometry, Exercise C & D	予習(単語と内容の大雑把な把握)：20分程度 復習(全体的な読み直し)：25分程度
第13回	Unit 12 Meteorology, Exercise A & B	予習(単語と内容の大雑把な把握)：20分程度 復習(全体的な読み直し)：25分程度
第14回	Unit 12 Meteorology, Exercise C & D	予習(単語と内容の大雑把な把握)：20分程度 復習(全体的な読み直し)：25分程度
第15回	進度の調整とまとめ	予習(単語と内容の大雑把な把握)：20分程度 復習(全体的な読み直し)：25分程度

教科書

植村淳子・アイリーン 岩崎・原雅久 (2015) 英語で学ぶリベラル・アーツ. 朝日出版.

参考書

教室で適宜指示します。プリントも用意します。

成績評価の方法・基準

単位認定は60点以上：テスト50%（中間試験25%＋期末試験25%）＋平常点50%

課題等に対する
フィードバックの方法

答案用紙は採点して返却するか、何らかの形で講評をコメントします。

履修のポイント
全く当たり前のことですが、予習・復習をして下さい。大雑把でいいですから、事前に説明を読んで、内容を把握しておいてください。練習問題は自分で何がわかってないのかを意識して授業に臨んでください。練習問題の一部を宿題にする場合があります。小テストという形をとるかもしれません。
オフィス・アワー
授業日の授業前後に教室または非常勤講師室で質問に応じます。
科目区分
学部共通科目
当該授業科目の教育課程内での位置づけ
UM-R023

講義コード	10210002
講義名	基礎英語II（Bクラス）
(副題)	
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	後期（重複②）
講義区分	演習
基準単位数	1
代表曜日	火曜日
代表時限	３時限
必修/選択	必修
実務経験のある教員の有無	無
実務経験のある教員の経歴と授業内容	
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 女鹿 喜治	指定なし

授業の概要と教育目標

高校まで身につけた英語の基礎事項を確認し、さらに使える英語を身に着けるようにします。つまり、基礎的な発音と聞き取り、そして、英文法を見直すことによって、リーディングの学力を伸ばしていきます。

比較的簡単な英語ですので、英語を聞いてすぐに理解し、読んだらできるだけ日本語に訳さないで、そのままで理解できるようにしてください。

一応、講義計画表通り進めていきますが、みなさんの英語力と予習の出来を見ながら進度を調節します。

卒業認定・学位授与の方針との関連

保健・医療を通じて、国際社会にも貢献できることが時代の要請となっています。将来、大学院などで英語の文献を読まなければならないことになった場合、それに対処できるだけの基礎力を身に付けます。

到達目標

英語を英語として読み、訳さずに聞いてすぐに理解する基本的な英語力を養成する。同時に、英語を通じて、大学生らしい豊かな知識と教養を身に付け、世界の現状を理解・説明し、批判的な思考力を身に付ける。TOEIC 500点程度を目指します。

授業計画

	授業内容と方法、課題	予習・復習と そのために必要な時間
第1回	科目に関する簡単なガイダンス。少し教科書をやるかもしれません。	予習(単語と内容の大雑把な把握)：20分程度 復習(全体的な読み直し)：25分程度
第2回	Unit 7 Measurements,Exercise A	予習(単語と内容の大雑把な把握)：20分程度 復習(全体的な読み直し)：25分程度

第3回	Unit 7 Measurements, Exercise B & C	予習(単語と内容の大雑把な把握)：20分程度 復習(全体的な読み直し)：25分程度
第4回	Unit 8 Statistics, Exercise A & B	予習(単語と内容の大雑把な把握)：20分程度 復習(全体的な読み直し)：25分程度
第5回	Unit 8 Statistics, Exercise C & D	予習(単語と内容の大雑把な把握)：20分程度 復習(全体的な読み直し)：25分程度
第6回	Unit 9 Business Math, Exercise A & B	予習(単語と内容の大雑把な把握)：20分程度 復習(全体的な読み直し)：25分程度
第7回	Unit 9 Business Math, Exercise C & D	予習(単語と内容の大雑把な把握)：20分程度 復習(全体的な読み直し)：25分程度
第8回	中間試験、フィードバック	予習：試験範囲を見直して下さい。：20分以上 復習：どこができて、どこができなかったのか確認して下さい。：25分以上
第9回	Unit 10 Health and Nutrition, Exercise A & B	予習(単語と内容の大雑把な把握)：20分程度 復習(全体的な読み直し)：25分程度
第10回	Unit 10 Health and Nutrition, Exercise C & D	予習(単語と内容の大雑把な把握)：20分程度 復習(全体的な読み直し)：25分程度
第11回	Unit 11 Geometry,Exercise A & B	予習(単語と内容の大雑把な把握)：20分程度 復習(全体的な読み直し)：25分程度
第12回	Unit 11 Geometry, Exercise C & D	予習(単語と内容の大雑把な把握)：20分程度 復習(全体的な読み直し)：25分程度
第13回	Unit 12 Meteorology, Exercise A & B	予習(単語と内容の大雑把な把握)：20分程度 復習(全体的な読み直し)：25分程度
第14回	Unit 12 Meteorology, Exercise C & D	予習(単語と内容の大雑把な把握)：20分程度 復習(全体的な読み直し)：25分程度
第15回	進度の調整とまとめ	予習(単語と内容の大雑把な把握)：20分程度 復習(全体的な読み直し)：25分程度

教科書

植村淳子・アイリーン 岩崎・原雅久 (2015) 英語で学ぶリベラル・アーツ. 朝日出版.

参考書

教室で適宜指示します。プリントも用意します。

成績評価の方法・基準

単位認定は60点以上：テスト50%（中間試験25%＋期末試験25%）＋平常点50%

課題等に対する
フィードバックの方法

答案用紙は採点して返却するか、何らかの形で講評をコメントします。

履修のポイント
全く当たり前のことですが、予習・復習をして下さい。大雑把でいいですから、事前に説明を読んで、内容を把握しておいてください。練習問題は自分で何がわかってないのかを意識して授業に臨んでください。練習問題の一部を宿題にする場合があります。小テストという形をとるかもしれません。
オフィス・アワー
授業日の授業前後に教室または非常勤講師室で質問に応じます。
科目区分
学部共通科目
当該授業科目の教育課程内での位置づけ
UM-R023

講義コード	10220001
講義名	実践英会話（Aクラス）
(副題)	【教職必修】
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	前期
講義区分	演習
基準単位数	1
代表曜日	火曜日
代表時限	５時限
必修/選択	選択
実務経験のある教員の有無	無
実務経験のある教員の経歴と授業内容	
学年	2学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ マチャコン ヘルチェル	指定なし

授業の概要と教育目標

英語のlistening能力の養成を図りながら、多くの日常英語表現を学び、あらゆる状況に応じてspeaking能力を身に付け、実践的な英語の表現能力の向上を目指す。さらに時事・文化的な表現も学習し、国際社会人として、諸外国の人々との相互理解ができる様にする。 授業は英語で行い、オンラインデジタル教材も利用する。外国の文化を学びながら、英語のlisteningやspeaking能力を養う。

卒業認定・学位授与の方針との関連

医療保健学部看護学科のディプロマ・ポリシーとの関連として、社会・環境・コミュニケーションなどの諸側面から人に対する理解を深めることを目指している。国際化を背景に、コミュニケーションツールとして、英語のlisteningやspeaking能力を養うことを目指ものとする。

到達目標

1.The students can comprehend and respond to various oral directions and questions. 様々な口頭の指示や質問に対応できること。
2. The students will learn how to interact in everyday situations using English. 日常生活で英語を使用して対話をできること。

授業計画

	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	オリエンテー ション Basic English Review １．授業の進め方、オンライン資料の 紹介、デジタル録音の仕方 ２． International Englishについて 英語復習：Time, Dates, Months, Numbers, Directions etc.		予習90分：英語のリーディ ングを練習する。 復習90分：授業で学習した 内容を再確認する。

第2回	The Rules Scene １．Asking permission and learning the rules		予習90分：Unit1を読む。 復習90分：授業で学習した 内容を再確認する。p.1013を見直す
第3回	The Time Scene & Culture Talk 1 １．Talking about time and schedules ２．Culture Talk: Gestures and Taboos		予習90分：Unit2を読む。復習90分：授業で学習した 内容を再確認する。p.22－25を見直す。
第4回	The Polite Request Scene & Idioms 1.Making polite requests and offers 2．Commonly used Idioms		予習90分：Unit3を読む。 復習90分：授業で学習した 内容を再確認する。p.34－36を見直す。
第5回	Putting Things Away Scene 1．Asking about location and where things go		予習90分：Unit4を読む。 復習90分：授業で学習した 内容を再確認する。p.46-48を見直す。
第6回	The Location Scene & Idioms 1．Asking where places are and giving directions ２．Commonly used Idioms The Directions Scene 1．Giving directions about how to get somewhere		予習90分：Unit5,7を読む。 復習90分：授業で学習した 内容を再確認する。p.58-61,70-71を見直す。
第7回	Expressing Opinions 1. Asking and giving opinions 2. Watch online videos and practice giving opinions		復習90分：授業で学習した 内容を再確認する。
第8回	① 総括と学習到 達度の確認（Mini-Test） 回目～7回目の授業についての総括を行い、学習到達度の確 認テスト（Mini-test）を実施す る。 ② The Shopping Scene Shopping and asking about preferences		予習90分：Unit1-5、７、を 見直す。Unit6を読む。 復習90分：授業で学習した 内容を再確認する。p.70-71を見直す。
第9回	The Restaurant Scene & Culture Talk 2 １．Ordering and Serving Food in a restaurant ２．Culture Talk: Strange Foods		予習90分：Unit8を読む。 復習90分：授業で学習した 内容を再確認する。p.94-95を見直す。
第10回	The Complaint Scene １．Making and responding to complaints		予習90分：Unit9を読む。 復習90分：授業で学習した 内容を再確認する。p.106-107を見直す。
第11回	The Illness Scene １．Describing a medical problem and asking advice		予習90分：Unit10を読む。 復習90分：授業で学習した 内容を再確認する。p.118-119を見直す。
	Practical English & Culture Talk 3		予習90分：Unit10を読む。 復

第12回	１．Reporting an Emergency Culture ２．Talk: Superstitious Beliefs		習90分：授業で学習した 内容を再確認する。p.118－120を見直す。
第13回	The "How To" Scene １．Asking for instructions and explaining how to do something		予習90分：Unit11を読む。 復習90分：授業で学習した 内容を再確認する。p.130-131を見直す。
第14回	Write your own script (グループワー ク) Scenario script writing 学習したトピックスを参考に、シ ナリオを考え、シナリオのスクリ プトを作成する。	ディスカッション＆コラボレーション	予習90分：学習したトピッ クスを参考に、シナリオを 考える。 復習90分：台詞を練習す る。
第15回	総括と学習到達 度の確認 （Role Playing）	考えたシナリオを英語で演技する。 ペアワーク ：（ロール・プレイン グはは必修となります。）	予習90分：台詞を練習す る。

教科書

Performance -Conversation Scenes from Everyday Life David Harrington and Charles LeBeau
出版社：Language Solutions ISBN: 978-1929274338

参考書

イギリスのBBC: http://www.bbc.co.uk/worldservice/learningenglish/ 学習題材を提示する教材サイト

成績評価の方法・基準

単位認定 60点以上

授業への積極性(25%), 課題 (15%)、テスト(30%)、Role Playing (30%) で評価する。
*定期試験は実施しない。再試験は実施しない。
Role Playingは必修で、下記の通り評価する：
（1）伝える発音で、正しく英語を用いられたか。
（2）他人に考えを正しく伝えられたか

課題等に対する フィードバックの方法

課題に対する質問や解答例を次回の授業で公表し、解説をおこなう。

履修のポイント

①「基礎英語I、基礎英語II」を履修済みであることが望ましい。
②授業への積極な取り組みを期待する。
③上記授業内容については、あらかじめ自己学習しておくことをすすめる。配布資料及び教科書の該当箇所を参照し、学習内容に応じた準備学習（予習・復習）を行うこと。 オフィス・アワー

オフィス・アワー

毎週金曜日 昼休み 研究室：9号館3F 第12研究室（情報環境研究室） メール：prof.mach.dr@gmail.com

科目区分

学部共通科目

当該授業科目の教育課程内での位置づけ

講義コード	10220002
講義名	実践英会話（Bクラス）
(副題)	【教職必修】
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	前期
講義区分	演習
基準単位数	1
代表曜日	火曜日
代表時限	５時限
必修/選択	選択
実務経験のある教員の有無	無
実務経験のある教員の経歴と授業内容	
学年	2学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ マチャコン ヘルチェル	指定なし

授業の概要と教育目標

英語のlistening能力の養成を図りながら、多くの日常英語表現を学び、あらゆる状況に応じてspeaking能力を身に付け、実践的な英語の表現能力の向上を目指す。さらに時事・文化的な表現も学習し、国際社会人として、諸外国の人々との相互理解ができる様にする。 授業は英語で行い、オンラインデジタル教材も利用する。外国の文化を学びながら、英語のlisteningやspeaking能力を養う。

卒業認定・学位授与の方針との関連

医療保健学部看護学科のディプロマ・ポリシーとの関連として、社会・環境・コミュニケーションなどの諸側面から人に対する理解を深めることを目指している。国際化を背景に、コミュニケーションツールとして、英語のlisteningやspeaking能力を養うことを目指ものとする。

到達目標

1.The students can comprehend and respond to various oral directions and questions. 様々な口頭の指示や質問に対応できること。
2. The students will learn how to interact in everyday situations using English. 日常生活で英語を使用して対話をできること。

授業計画

	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	オリエンテー ション Basic English Review １．授業の進め方、オンライン資料の 紹介、デジタル録音の仕方 ２． International Englishについて 英語復習：Time, Dates, Months, Numbers, Directions etc.		予習90分：英語のリーディ ングを練習する。 復習90分：授業で学習した 内容を再確認する。

第2回	The Rules Scene １．Asking permission and learning the rules		予習90分：Unit1を読む。 復習90分：授業で学習した 内容を再確認する。p.1013を見直す
第3回	The Time Scene & Culture Talk 1 １．Talking about time and schedules ２．Culture Talk: Gestures and Taboos		予習90分：Unit2を読む。復習90分：授業で学習した 内容を再確認する。p.22－25を見直す。
第4回	The Polite Request Scene & Idioms 1.Making polite requests and offers 2．Commonly used Idioms		予習90分：Unit3を読む。 復習90分：授業で学習した 内容を再確認する。p.34－36を見直す。
第5回	Putting Things Away Scene 1．Asking about location and where things go		予習90分：Unit4を読む。 復習90分：授業で学習した 内容を再確認する。p.46-48を見直す。
第6回	The Location Scene & Idioms 1．Asking where places are and giving directions 2．Commonly used Idioms The Directions Scene 1．Giving directions about how to get somewhere		予習90分：Unit5,7を読む。 復習90分：授業で学習した 内容を再確認する。p.58-61,70-71を見直す。
第7回	Expressing Opinions 1. Asking and giving opinions 2. Watch online videos and practice giving opinions		復習90分：授業で学習した 内容を再確認する。
第8回	① 総括と学習到 達度の確認（Mini-Test） 回目～7回目の授業についての総括を行い、学習到達度の確 認テスト（Mini-test）を実施す る。 ② The Shopping Scene Shopping and asking about preferences		予習90分：Unit1-5、７、を 見直す。Unit6を読む。 復習90分：授業で学習した 内容を再確認する。p.70-71を見直す。
第9回	The Restaurant Scene & Culture Talk 2 １．Ordering and Serving Food in a restaurant ２．Culture Talk: Strange Foods		予習90分：Unit8を読む。 復習90分：授業で学習した 内容を再確認する。p.94-95を見直す。
第10回	The Complaint Scene １．Making and responding to complaints		予習90分：Unit9を読む。 復習90分：授業で学習した 内容を再確認する。p.106-107を見直す。
第11回	The Illness Scene １．Describing a medical problem and asking advice		予習90分：Unit10を読む。 復習90分：授業で学習した 内容を再確認する。p.118-119を見直す。

第12回	Practical English & Culture Talk 3 １．Reporting an Emergency Culture ２．Talk: Superstitious Beliefs		予習90分：Unit10を読む。 復習90分：授業で学習した 内容を再確認する。p.118－120を見直す。
第13回	The "How To" Scene １．Asking for instructions and explaining how to do something		予習90分：Unit11を読む。 復習90分：授業で学習した 内容を再確認する。p.130-131を見直す。
第14回	Write your own script (グループワー ク) Scenario script writing 学習したトピックスを参考に、シ ナリオを考え、シナリオのスクリ プトを作成する。	ディスカッション＆コラボレーション	予習90分：学習したトピッ クスを参考に、シナリオを 考える。 復習90分：台詞を練習す る。
第15回	総括と学習到達 度の確認 （Role Playing）	考えたシナリオを英語で演技する。 ペアワーク ：（ロール・プレイン グはは必修となります。）	予習90分：台詞を練習す る。

教科書

Performance -Conversation Scenes from Everyday Life David Harrington and Charles LeBeau
出版社：Language Solutions ISBN: 978-1929274338

参考書

イギリスのBBC: http://www.bbc.co.uk/worldservice/learningenglish/ 学習題材を提示する教材サイト

成績評価の方法・基準

単位認定 60点以上

授業への積極性(25%), 課題 (15%)、テスト(30%)、Role Playing (30%) で評価する。
*定期試験は実施しない。再試験は実施しない。
Role Playingは必修で、下記の通り評価する：
（1）伝える発音で、正しく英語を用いられたか。
（2）他人に考えを正しく伝えられたか

課題等に対する フィードバックの方法

課題に対する質問や解答例を次回の授業で公表し、解説をおこなう。

履修のポイント

①「基礎英語I、基礎英語II」を履修済みであることが望ましい。
②授業への積極な取り組みを期待する。
③上記授業内容については、あらかじめ自己学習しておくことをすすめる。配布資料及び教科書の該当箇所を参照し、学習内容に応じた準備学習（予習・復習）を行うこと。 オフィス・アワー

オフィス・アワー

毎週金曜日 昼休み 研究室：9号館3F 第12研究室（情報環境研究室） メール：prof.mach.dr@gmail.com

科目区分

学部共通科目

当該授業科目の教育課程内での位置づけ
UM-C031

講義コード	10230001
講義名	医療保健英語
(副題)	
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	後期
講義区分	演習
基準単位数	1
代表曜日	火曜日
代表時限	５時限
必修/選択	選択
実務経験のある教員の有無	無
実務経験のある教員の経歴と授業内容	
学年	2学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 女鹿 喜治	指定なし

授業の概要と教育目標

将来、働くことになる医療機関で使われている語彙や表現は英語ではどのように表されるのでしょうか。看護の事例を英語で読み、看護に関わる英語の語彙力と読解力を身に付けます。

卒業認定・学位授与の方針との関連

みなさんは、卒業後、実践の場に行くことになるでしょうが、しばらくすれば、必ず看護研究に関わることになると思います。その時には、英語で書かれた論文を読むことになるでしょう。その基礎的な訓練になると思います。

到達目標

看護の事例に関わる英文の内容をすばやく、深く読みとる。TOEIC 550点程度。

授業計画

	授業内容と方法、課題	予習・復習と そのために必要な時間
第1回	看護に関わる英語表現について考えます	予習(単語と内容の大雑把な把握)：20分程度 復習(全体的な読み直し)：25分程度
第2回	Risk for injury (1)	予習(単語と内容の大雑把な把握)：20分程度 復習(全体的な読み直し)：25分程度
第3回	Risk for injury (2)	予習(単語と内容の大雑把な把握)：20分程度 復習(全体的な読み直し)：25分程度
第4回	Self-care deficit (1)	予習(単語と内容の大雑把な把握)：20分程度 復習(全体的な読み直し)：25分程度
第5回	Self-care deficit (2)	予習(単語と内容の大雑把な把握)：20分程度

		復習(全体的な読み直し)：25分程度
第6回	Repiratory disorders (1)	予習(単語と内容の大雑把な把握)：20分程度 復習(全体的な読み直し)：25分程度
第7回	Repiratory disorders (2)	予習(単語と内容の大雑把な把握)：20分程度 復習(全体的な読み直し)：25分程度
第8回	Fluid volume deficit (1)	予習(単語と内容の大雑把な把握)：20分程度 復習(全体的な読み直し)：25分程度
第9回	Fluid volume deficit (2)	予習(単語と内容の大雑把な把握)：20分程度 復習(全体的な読み直し)：25分程度
第10回	Insomnia (1)	予習(単語と内容の大雑把な把握)：20分程度 復習(全体的な読み直し)：25分程度
第11回	Insomnia (2)	予習(単語と内容の大雑把な把握)：20分程度 復習(全体的な読み直し)：25分程度
第12回	Chronic pain (1)	予習(単語と内容の大雑把な把握)：20分程度 復習(全体的な読み直し)：25分程度
第13回	Chronic pain (2)	予習(単語と内容の大雑把な把握)：20分程度 復習(全体的な読み直し)：25分程度
第14回	Healthy dietary practice (1)	予習(単語と内容の大雑把な把握)：20分程度 復習(全体的な読み直し)：25分程度
第15回	Healthy dietary practice (2)	予習(単語と内容の大雑把な把握)：20分程度 復習(全体的な読み直し)：25分程度

教科書

杉田由仁 & R. Caraker(2007). 事例で学ぶ看護英語. 成美堂.

参考書

教室で適宜指示します。

成績評価の方法・基準

単位認定60点以上：試験の点数(80%)と教室での発言とその内容など(20%)。（履修人数が少なければ、平常点のみ。）

課題等に対する
フィードバックの方法

答案用紙は採点して返却するか、何らかの形で講評をコメントします。

履修のポイント

英語を通して看護を見ると、看護の別の側面が見えてきます。そのきっかけ作りを覗きたければ、履修して下さい。大雑把でいいですから、事前に英文を読んで、内容を把握しておいてください。そして、講義の後には、その英語がそのまま頭の中に入ってくるまで何度も読んでください。古くさいかもしれませんが、こういった積み重ねが英語力を高めます。

オフィス・アワー

授業日の授業前後に教室または非常勤講師室で質問に応じます。

科目区分
学部共通科目
当該授業科目の教育課程内での位置づけ
UM-C041

講義コード	10240001
講義名	英書講読
(副題)	
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	前期
講義区分	演習
基準単位数	1
代表曜日	火曜日
代表時限	５時限
必修/選択	選択
実務経験のある教員の有無	無
実務経験のある教員の経歴と授業内容	
学年	4学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 女鹿 喜治	指定なし

授業の概要と教育目標

2年の「医療保健英語」の続編を意図した内容です。将来、働くことになる医療機関で使われている語彙や表現は英語ではどのように表されるのでしょうか。看護の事例を英語で読み、看護に関わる英語の語彙力と読解力を身に付けます。

卒業認定・学位授与の方針との関連

みなさんは、卒業後、実践の場に行くことになるでしょうが、しばらくすれば、必ず看護研究に関わることになると思います。その時には、英語で書かれた論文を読むことになるでしょう。その基礎的な訓練になると思います。

到達目標

看護の事例に関わる英文の内容をすばやく、深く読みとる。TOEIC 550点程度。

授業計画

	授業内容と方法、課題	予習・復習と そのために必要な時間
第1回	看護に関わる英語表現について考えます	予習：教科書の最初のユニット（Urinary retention）を読んでおいて下さい。：20分程度 復習：話の内容を思い出しながら、教科書を読み直して下さい。：25分程度
第2回	Urinary retention (1)	予習(単語と内容の大雑把な把握)：20分程度 復習(全体的な読み直し)：25分程度
第3回	Urinary retention (2)	予習(単語と内容の大雑把な把握)：20分程度 復習(全体的な読み直し)：25分程度
第4回	Constipation (1)	予習(単語と内容の大雑把な把握)：20分程度 復習(全体的な読み直し)：25分程度
第5回	Constipation (2)	予習(単語と内容の大雑把な把握)：20分程度 復習(全体的な読み直し)：25分程度
	Impaired physical	予習(単語と内容の大雑把な把握)：20分程度

第6回	mobility (1)	復習(全体的な読み直し)：25分程度
第7回	Impaired physical mobility (2)	予習(単語と内容の大雑把な把握)：20分程度 復習(全体的な読み直し)：25分程度
第8回	Impaired skin integrity (1)	予習(単語と内容の大雑把な把握)：20分程度 復習(全体的な読み直し)：25分程度
第9回	Impaired skin integrity (2)	予習(単語と内容の大雑把な把握)：20分程度 復習(全体的な読み直し)：25分程度
第10回	Visual alternations (1)	予習(単語と内容の大雑把な把握)：20分程度 復習(全体的な読み直し)：25分程度
第11回	Visual alternations (2)	予習(単語と内容の大雑把な把握)：20分程度 復習(全体的な読み直し)：25分程度
第12回	Surgical client (1)	予習(単語と内容の大雑把な把握)：20分程度 復習(全体的な読み直し)：25分程度
第13回	Surgical client (2)	予習(単語と内容の大雑把な把握)：20分程度 復習(全体的な読み直し)：25分程度
第14回	Memory impairment (1)	予習(単語と内容の大雑把な把握)：20分程度 復習(全体的な読み直し)：25分程度
第15回	Memory impairment (2)	予習(単語と内容の大雑把な把握)：20分程度 復習(全体的な読み直し)：25分程度

教科書

杉田由仁 & R. Caraker(2007)『事例で学ぶ看護英語』成美堂

参考書

教室で適宜指示します。

成績評価の方法・基準

単位認定60点以上：試験の点数(80%)と教室での発言とその内容など(20%)。（履修人数が少なければ、平常点のみ。）

課題等に対する
フィードバックの方法

答案用紙は採点して返却するか、何らかの形で講評をコメントします。

履修のポイント

英語を通して看護を見ると、看護の別の側面が見えてきます。そのきっかけ作りを覗きたければ、履修して下さい。大雑把でいいですから、事前に英文を読んで、内容を把握しておいてください。そして、講義の後には、その英語がそのまま頭の中に入ってくるまで何度も読んでください。古くさいかもしれませんが、こういった積み重ねが英語力を高めます。

オフィス・アワー

授業日の授業前後に教室または非常勤講師室で質問に応じます。

科目区分

学部共通科目

当該授業科目の教育課程内での位置づけ

UM-C042

講義コード	10250001
講義名	中国語
(副題)	
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	前期
講義区分	演習
基準単位数	1
代表曜日	月曜日
代表時限	５時限
必修/選択	選択
実務経験のある教員の有無	無
実務経験のある教員の経歴と授業内容	
学年	2学年

担当教員

職種	氏名	所属
教 員	◎ 佐々木 百合	指定なし

授業の概要と教育目標

学生は教科書に沿って中国語の発音の基礎となる声調とピンインの発音練習から行い、中国語の基礎的な単語や慣用句、文法を学び、簡単な日常会話ができる。そして、中国の文化が古くから日本文化に大きな影響を与えてきたことの理解をいっそう深めることができる。学生は将来様々な職業に従事し、一般社会において中国人と接した時、中国語で交流ができる。

卒業認定・学位授与の方針との関連

医療保健学部看護学科のディプロマポリシーとの関連で、社会・環境・コミュニケーションなどの諸側面から人間に対する理解を深めることを目標としている。外国人増加と国際化を背景に、コミュニケーションツールとして最低限の中国語会話能力を養成することを目指すものとする。

到達目標

中国語の正しい発音と簡単なあいさつから日常会話までの読む・聴く・話す・書くを総合的にバランスよく習得する。基礎的な単語を覚え、基礎的な文法を理解することで、簡単な中国語の表現ができることを目標とします。

授業計画

	担当者	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	佐々木 百合	発音1・声調・単母音・発音練習	グループ別に相互に声調と発音練習	予習(15分)：発音の予習を行う 復習(30分)：発音の復習を行う
第2回	佐々木 百合	発音2・子音・複合母音・発音練習	グループ別に相互に発音練習	予習(15分)：発音の予習を行う 復習(30分)：発音の復習を行う
	佐々	発音3・ピンインの組み合わせ・発音のま	グループ別に相	予習(15分)：発音の予習を行う

第3回	木 百合	とめ	互に発音練習	復習(30分)：発音の復習を行う
第4回	佐々木 百合	第1課 挨拶と自己紹介 人称代名詞・「是」の文・単語の発音練習・会話文の解説・トレーニング	グループ別に相互に挨拶と自己紹介の練習	予習(15分)：発音と単語の予習を行う 復習(30分)：会話文の復習を行う
第5回	佐々木 百合	第2課 疑問文 指示代名詞1・疑問詞疑問文・「的」の用法・副詞「也」の用法・単語の発音練習・会話文の解説・トレーニング	グループ別に疑問文の会話練習	予習(15分)：疑問文と単語の予習を行う 復習(30分)：会話文の復習を行う
第6回	佐々木 百合	第3課 動詞の文 所有を表す「有」・省略疑問の「呢」・単語の発音練習・会話文の解説・トレーニング	グループ別に会話練習	予習(15分)：動詞の文と単語の予習を行う 復習(30分)：会話文の復習を行う
第7回	佐々木 百合	第4課 形容詞の文 量詞・指示代名詞2・形容詞の文・「几」と「多少」・単語の発音練習・会話文の解説・トレーニング	グループ別に会話練習	予習(15分)：形容詞の文と単語の予習を行う 復習(30分)：会話文の復習を行う
第8回	佐々木 百合	第5課 数のいろいろ 数字・日付時刻を表す語・動作の時点を言う表現・単語の発音練習・会話文の解説・トレーニング	グループ別に会話練習	予習(15分)：数と単語の予習を行う 復習(30分)：会話文の復習を行う
第9回	佐々木 百合	第6課 完了・所在のアスペクト 完了を表す「了」・所在を表す「在」・助動詞1「想」・単語の発音練習・会話文の解説・トレーニング	グループ別に会話練習	予習(15分)：完了文と単語の予習を行う 復習(30分)：会話文の復習を行う
第10回	佐々木 百合	第7課 介詞の用法（1） 介詞1「在」「离」・存在を表す「有」・反復疑問文・単語の発音練習・会話文の解説・トレーニング	グループ別に会話練習	予習(15分)：介詞と単語の予習を行う 復習(30分)：会話文の復習を行う
第11回	佐々木 百合	第8課 介詞の用法(2) 介詞2「从」・助動詞2「得」・「時間量」・単語の発音練習・会話文の解説・トレーニング	グループ別に会話練習	予習(15分)：介詞と単語の予習を行う 復習(30分)：会話文の復習を行う
第12回	佐々木	第9課 介詞の用法(3) 介詞３「跟，給」・過去の経験を表す「　」・「是～的」文・単語の発音練	グループ別に会話練習	予習(15分)：介詞と単語の予習を行う 復習(30分)：会

	百合	習・会話文の解説・トレーニング		話文の復習を行う
第13回	佐々木 百合	単語と文法のまとめ		復習(45分)：単語と文法の復習を行う
第14回	佐々木 百合	総復習と授業全体の解説		復習(45分)：文法全体の復習を行う
第15回	佐々木 百合	試験範囲の問題と総合練習		復習(45分)：授業全体の復習を行う

教科書

＜最新２訂版＞中国語はじめの一歩 尹景春・竹島毅 著 白水社

参考書

特になし

成績評価の方法・基準

単位認定60点以上
授業中の問答に１０％、期末試験を９０％として、合計６０点以上を合格とします。

**課題等に対する
フィードバックの方法**

課題に対する質問や解答例を次回の授業で詳細に解説を行う。

履修のポイント

中国語を母国語とする学生の履修は認めません。授業中は中国の様々なことについてたくさん質問して下さい。

オフィス・アワー

授業日の授業開始前もしくは終了後に教室等で質問に応じます。

科目区分

学部共通科目

当該授業科目の教育課程内での位置づけ

UM-C032

講義コード	10260001
講義名	スペイン語
(副題)	
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	後期
講義区分	演習
基準単位数	1
代表曜日	金曜日
代表時限	４時限
必修/選択	選択
実務経験のある教員の有無	有
実務経験のある教員の経歴と授業内容	和西翻訳・通訳の経験を活かし、実践的なスペイン語の学習を行います。
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教 員	◎ 伊勢島 セリア 明美	指定なし

授業の概要と教育目標

基本文型を確認しながら、初級会話の養成を目標とします。
適宜、音楽を初めラテン文化も紹介します。

卒業認定・学位授与の方針との関連

ディプロマ・ポリシーとの関連として、社会・環境・コミュニケーションなどの
諸側面から、多言語・多文化の修得を通じて、外国籍の方との相互理解及び
コミュニケーション能力を有するグローバル人材の育成を図ります。

到達目標

学生がスペイン語での挨拶と簡単な会話ができることを目標とします。

授業計画

	担当者	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習と そのために必要な時間
第1回	伊勢島 セリア 明美	アルファベット、発音、読み方、挨拶①		復習４５分：読み方と発音の確認
第2回	伊勢島 セリア 明美	動詞serの活用、自己紹介	自己紹介①	復習４５分：動詞serの活用・用法の確認
第3回	伊勢島 セリア 明美	国籍・職業・出身地の表現、否定文	自己紹介②	復習４５分：国籍・職業・国名の確認
第4回	伊勢島 セリア 明美	名詞の性と数、定冠詞と不定冠詞、質問文と答え方		復習４５分：冠詞の用法の確認
第5回	伊勢島 セリア	形容詞とその変化		復習４５分：形容詞の変化形を覚える

	明美			
第6回	伊勢島セリア明美	指示形容詞	友達を紹介する	復習４５分：指示形容詞の変化形の確認
第7回	伊勢島セリア明美	動詞tenerの活用、所有形容詞	自己紹介③ 友達を紹介する②	復習４５分：動詞tenerの活用及び所有形容詞の変化形の確認
第8回	伊勢島セリア明美	動詞estarの活用、不定語・否定語		復習４５分：動詞estarの活用・用法の確認
第9回	伊勢島セリア明美	動詞quererの活用、目的語人称代名詞		復習４５分：動詞quererの活用・用法の確認
第10回	伊勢島セリア明美	動詞irとvenir、未来の表現		復習４５分：動詞irの活用・用法の確認
第11回	伊勢島セリア明美	動詞hacer、時間の表現		復習４５分：動詞hacerの用法を確認する
第12回	伊勢島セリア明美	動詞gustar、目的格人称代名詞	好き嫌いを言いましょう	復習４５分：好みが言えるようにする
第13回	伊勢島セリア明美	再帰動詞	タイムスケジュールを作りましょう	復習４５分：再帰代名詞の変化を確認する
第14回	伊勢島セリア明美	比較級と最上級	「どちらがより～ですか？」と聞いてみましょう	復習４５分：比較級の文型を確認する
第15回	伊勢島セリア明美	動詞haber、現在完了形、現在進行形	経験を言ってみましょう	復習４５分：過去分詞及び現在分詞の用法を確認する

教科書

¡Hola! 粕谷てる子著 第三書房

成績評価の方法・基準

単位認定：６０点以上
小テスト１回（最終授業内）：１００％

課題等に対するフィードバックの方法

応用会話の発表時に、必要に応じて補足説明を行います。

履修のポイント

練習問題の解答及び基本文型の応用を広めること。

オフィス・アワー

授業終了後に質問を受け付けます。

科目区分

学部共通科目

当該授業科目の教育課程内での位置づけ

UM-C025

講義コード	10270001
講義名	ポルトガル語
(副題)	
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	後期
講義区分	演習
基準単位数	1
代表曜日	金曜日
代表時限	３時限
必修/選択	選択
実務経験のある教員の有無	有
実務経験のある教員の経歴と授業内容	ポ和翻訳・通訳の経験を活かし、実践的なポルトガル語の学習を行います。
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教 員	◎ 伊勢島 セリア 明美	指定なし

授業の概要と教育目標

基本文法を取り上げた後、練習問題を通して学習を確認し、
初級会話の養成を目標とします。

卒業認定・学位授与の方針との関連

ディプロマ・ポリシーとの関連として、社会・環境・コミュニケーションなどの
諸側面から、多言語・多文化の修得を通じて、外国籍の方との相互理解及び
コミュニケーション能力を有するグローバル人材の育成を図ります。

到達目標

学生がポルトガル語で挨拶と簡単な会話ができることを目標とします。

授業計画

	担当者	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	伊勢島 セリア 明美	アルファベット、発音、挨拶、数詞①	挨拶を交わしましょう	復習４５分：発音を確認する基本挨拶ができるようにする数詞①を覚える
第2回	伊勢島 セリア 明美	名詞の特徴、数詞②		復習４５分：名詞の女性形・複数形の確認
第3回	伊勢島 セリア 明美	定冠詞・不定冠詞、数詞①	アイテムを指しながら質問しましょう	復習４５分：冠詞の形を確認する、数詞①を覚える
第4回	伊勢島 セリア 明美	動詞ser、否定文	自己紹介をしましょう	復習４５分：動詞serの活用・用法を確認する
第5回	伊勢島 セリア 明美	形容詞、疑問文と答え方		復習４５分：形容詞の変化形を確認する
第6回	伊勢島 セリア 明美	所有形容詞、指示形容詞		復習４５分：所有形容詞及び指示形容詞の形を確認する

第7回	伊勢島 セリア 明美	-ar動詞、動詞gostar、前置詞①	相手の好みを聞きましょう	復習４５分：-ar動詞の活用を確認する
第8回	伊勢島 セリア 明美	-er動詞、-ir動詞、前置詞②		復習４５分：-er動詞・-ir動詞の活用を確認する
第9回	伊勢島 セリア 明美	動詞ir、疑問詞①	相手の予定を聞きましょう	復習４５分：動詞irの活用・用法を確認する
第10回	伊勢島 セリア 明美	動詞ter、疑問詞②、数詞②		復習４５分：動詞terの活用・用法を確認する
第11回	伊勢島 セリア 明美	動詞poder、曜日	許可・依頼しましょう	復習４５分：動詞poderの活用・用法を確認する
第12回	伊勢島 セリア 明美	動詞querer、日付、数詞③		復習４５分：動詞quererの活用・用法を確認する
第13回	伊勢島 セリア 明美	動詞estar、現在進行形	体調・気分を伝えましょう	復習４５分：動詞estarの活用・用法を確認する
第14回	伊勢島 セリア 明美	過去形、時間の表現		復習４５分：過去形の活用を確認する
第15回	伊勢島 セリア 明美	比較級		復習４５分：比較級の文型を確認する

教科書

教材プリントを配布します

成績評価の方法・基準

単位認定：６０点以上
小テスト１回（最終授業内）：１００％

課題等に対するフィードバックの方法

応用会話の発表時に、必要に応じて補足説明を行う

履修のポイント

練習問題に積極的に取り組むこと

オフィス・アワー

授業終了後、質問を受け付けます

科目区分

学部共通科目

当該授業科目の教育課程内での位置づけ

UM-C024

講義コード	10280001
講義名	統計学
(副題)	
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	後期
講義区分	演習
基準単位数	1
代表曜日	水曜日
代表時限	１時限
必修/選択	選択
実務経験のある教員の有無	無
実務経験のある教員の経歴と授業内容	
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 石井 広二	指定なし

授業の概要と教育目標

統計学は、偶然に起きると思われる事象から得られるデータを、数表化、視覚化したり、数学的道具を用いてより科学的に分析したりして、その集団の特徴や傾向を把握し、その結果を人間の活動や社会生活に広く役立てていくことを目的としている。そのためにこの授業は、統計学の概念を理解し、科学的に考え、分析するための基礎的な見方を身につけることを目標にし、必要となる統計的手法について、記述統計から推測統計まで演習を通して学ぶ。
また、授業ではグループでの学び合いも取り入れたい。予習・復習ではMoodleを活用する予定である。

卒業認定・学位授与の方針との関連

この授業は、医療保健学部看護学科DPの「人間に対して、社会・環境・コミュニケーションなどの諸側面から理解」を目指し、社会において数値や図表として表現されているデータの持っている意味を様々な側面から分析できるような力を養う。その上で、専門的な科目での健康の諸側面、健康生活と社会との関係について、科学的な理解を行えるような学力を身に付ける。

到達目標

・統計学の概念を理解し、選択できる
・標本を抽出し、度数分布表が作成できる
・データを集計し、各種統計量を求められる
・正規分布などの確率分布の特性を理解し、活用できる
・母平均などの推定が行える
・統計的仮説検定の考え方を理解し、実際に母平均の検定などが行える

授業計画

	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	母集団や標本などの統計学の基本概念と数学知識の確認、電卓の使用方法		予習45分：高校の数学「データの分析」について、教科書等で確認 復習45分：教科書および配布

	【電卓を持参すること】		教材の見直し、振り返り課題
第2回	標本抽出		予習45分：配布教材・教科書p17～32を読む 復習45分：教科書および配布教材の見直し、振り返り課題
第3回	度数分布表の作り方		予習45分：配布教材・教科書p33～48を読む 復習45分：教科書および配布教材の見直し、振り返り課題
第4回	中心的傾向の特性値（平均、中央値、最頻値など）の求め方		予習45分：配布教材・教科書p49～62を読む 復習45分：教科書および配布教材の見直し、振り返り課題
第5回	変動の特性値（不偏分散、標準偏差など）の求め方	グループワーク：課題の検討	予習45分：配布教材・教科書のp63～76を読む 復習45分：教科書および配布教材の見直し、振り返り課題
第6回	確認テスト① 確率分布の性質について（離散型確率分布） （確率ｐ78～88については、授業中扱いませんので、各自で学習してください）		予習45分：配布教材・教科書p77～101を読む 復習45分：教科書および配布教材の見直し
第7回	確率分布の性質について（連続型確率分布） 正規分布とは		予習45分：配布教材・教科書p77～114を読む 復習45分：教科書および配布教材の見直し、振り返り課題
第8回	正規分布の性質や標準化、標準正規分布表の見方などについて	グループワーク：課題の検討	予習45分：配布教材・教科書p107～130を読む 復習45分：教科書および配布教材の見直し、振り返り課題
第9回	統計的有意性（有意水準、信頼係数など）		予習45分：配布教材・教科書p131～138を読む 復習45分：教科書および配布教材の見直し、振り返り課題
第10回	標本平均の分布、中心極限定理、推定方法の基本的な考え方 正規分布と母平均の推定	グループワーク：課題の検討	予習45分：配布教材・教科書p139～150を読む 復習45分：教科書および配布教材の見直し、振り返り課題
第11回	t分布と母平均の推定 母平均の推定のまとめ		予習45分：配布教材・教科書第5章・第6章を読む 復習45分：教科書および配布教材の見直し、振り返り課題
第12回	母平均の推定のまとめ 統計的仮説検定の考え方（有意水準、有意確率、棄却域、仮説）	グループワーク：課題の検討	予習45分：配布教材・教科書第8章を読む 復習45分：教科書および配布教材の見直し、振り返り課題
第13回	母平均に関する仮説検定の方法		予習45分：配布教材・教科書第8章を読む 復習45分：教科書および配布教材の見直し、振り返り課題
		グループ	予習45分：配布教材・教科書

第14回	母平均に関する仮説検定のまとめ	ワーク：課題の検討	第8章を読む 復習45分：教科書および配布教材の見直し、振り返り課題
第15回	講義のまとめ、確認テスト②		予習45分：教科書・配布教材の見直し 復習45分：授業全体の振り返り、確認テストの見直し

教科書

「はじめての統計学」鳥居泰彦（日本経済新聞社）

参考書

「ナースのための統計学」高木廣文（医学書院）「完全独習統計学入門」小島寛之（ダイヤモンド社）「マンガでわかるナースの統計学」（オーム社）など

成績評価の方法・基準

単位認定60点以上。課題への取り組み30%、確認テスト70%。

課題等に対する
フィードバックの方法

確認テスト①について、返却をしますので、参考にしてください。
課題については解答を明らかにしますので、各自で確認し、疑問点は質問してください。

履修のポイント

数学的な理論には深入りせず、なるべく具体例で統計学の考え方を身に付けられるように配慮していく予定であるが、理解のため演習課題は必ず自分で解くこと。
・講義には【電卓】『平方根の機能がついたもの！』を持参すること。
・課題については必ず自分の力で解き、疑問点などは質問すること（その際Moodleを積極的に利用すること）
・授業に欠席（公欠も含む）した場合は、授業の課題等を確認すること

オフィス・アワー

火曜日の昼休み。それ以外の曜日・時間については、授業の際に伝える。また、研究室は9号館3階第11研究室。

科目区分

学部共通科目

当該授業科目の教育課程内での位置づけ

UM-C010

講義コード	10290001
講義名	情報処理基礎演習（Aクラス）
(副題)	【教職必修】
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	前期
講義区分	演習
基準単位数	1
代表曜日	火曜日
代表時限	３時限
必修/選択	必修
実務経験のある教員の有無	無
実務経験のある教員の経歴と授業内容	
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ マチャコン ヘルチェル	指定なし

授業の概要と教育目標

我々の生活や仕事は情報化によって変化している。病院では、患者に関する情報がコンピュータによって処理されている。ICT「情報通信技術」時代の要請にそって、情報処理の教育は必要である。そこで、コンピュータやネットワークの利用を通して、情報処理を学ぶ。演習を通して、コンピュータの基本的な操作法を習得する。更に、インターネットに関する知識や技術も習得する。
アプリケーションソフト（Office 2016/2019：Word, Excel, Powerpoint)やインターネットに関する知識や技術を習得するとともに、コンピュータリテラシーの向上を目標とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

医療保健学部看護学科のディプロマ・ポリシーとの関連として、臨床現場でチーム医療の一員として活躍し、そこで調整する能力及び問題を解決する能力の修得を目標とする。これにおいて、情報処理能力が求められているため、情報処理に関する知識や技術を養うことを目指すものとする。

到達目標

①コンピュータの基本構成を理解の上で基本操作を習得する。
②アプリケーションソフトの基本機能を理解し、基本的なスキルを習得する。
③インターネットを利用した情報検索や情報発信を学び、インターネットを使いこなす。

授業計画

	担当者	授業内容と方法、課題	予習・復習と そのために必要な時間
第1回	マチャコン ヘルチェル	パソコンの構成とソフトウェア、WindowsOSの基礎知識、基本操作、 E-メールのアカウントの設定、情報モラル	予習90分：PCの操作法を確認する。 復習90分：教科書1章を見直す。
第2回	マチャコン ヘルチェル	Wordの基本操作、基本編集	予習90分：教科書2章を読む。 復習90分：教科書2章（p.23-

			30, p.33-36, p.67,を見直す。
第3回	マチャコンヘルチェル	文書作成	予習90分：教科書2章(p.31-32, p.37-51)を読む。 復習90分：教科書2章（p.24-30, p.33-36, p.68,を見直す。
第4回	マチャコンヘルチェル	表の作成	予習60分：教科書2章（p.52-55)を読む。 復習60分：授業で学習した内容を再確認する。
第5回	マチャコンヘルチェル	図形を描く	予習90分：教科書2章（p.56-66)を読む。 復習60分：授業で学習した内容を再確認する。
第6回	マチャコンヘルチェル	2 回目～5回目の授業についての総括を行い、学習到達度の確 認として応用課題を実施する。 （WORD応用課題）	予習90分：教科書2章を見直す。 復習60分：回答できなかった部分を再確認する。
第7回	マチャコンヘルチェル	インターネットの概要、Webブラウザと検索、 本大学の図書館資料検索（OPAC)	予習90分：教科書6章を読む。 復習60分：授業で学習した内容を再確認する。
第8回	マチャコンヘルチェル	プレゼンテーションの概要、スライドの作成	予習90分：教科書3章(p.71-85)を読む。 復習90分：授業で学習した内容を再確認する。
第9回	マチャコンヘルチェル	医療学会の発表会で使えるアニメーションの作成	予習90分：教科書3章(p.86-90)を読む。 復習60分：授業で学習した内容を再確認する。
第10回	マチャコンヘルチェル	Excelの基本操作 (アンケート用紙の作成）	予習90分：教科書4章(p.94-116)を読む。 復習90分：授業で学習した内容を再確認する。
第11回	マチャコンヘルチェル	数値入力と関数とグラフ	予習90分：教科書4章(p.117-137)を読む。 復習90分：授業で学習した内容を再確認する。
第12回	マチャコンヘルチェル	アンケートデータの入力と集計	予習90分：教科書4章(p.138-149)を読む。 復習90分：授業で学習した内容を再確認する。
第13回	マチャコンヘルチェル	関係を求める （相関係数）	予習60分：教科書4章(p.121, p.192-193)を読む。 復習90分：授業で学習した内容を再確認する。
第14回	マチャコンヘルチェル	10 回目～13 回目の授業についての総括を行い、学習到達度の確 認テスト（実技テスト）を実施する。	予習90分：教科書4章を見直す。 復習：回答できなかった問題を再確認する
第15回	マチャコンヘルチェル	医療機関おける個人情報保護に関する調べたテーマをポスターにする。 最終課題：ポスター作成	予習90分：前回に配布された資料を読む。

教科書
医療・看護系のための情報リテラシー Office 2019対応版 ISBN-978-4489023224 松木秀明 (著), 須藤真由美 (著), 松木勇樹 (著) 東京図書
参考書
30時間アカデミック 情報リテラシー Office2016 Windows 10対応 実教出版 ISBN:978-4-407-34023-5 実教出版編集部
成績評価の方法・基準
単位認定 60点以上 課題 (20%)、実技テスト(40%)、応用課題・最終課題（40%） で評価する。 *定期試験は実施しない。再試験は実施しない。
課題等に対する フィードバックの方法
① 課題に対する質問や解答例を次回の授業で公表し、解説をおこなう。 ② 課題の完成版を配布し、または、その処理の仕方の動画をオンラインで公開することもある。
履修のポイント
上記授業内容については、あらかじめ自己学習しておくことをすすめる。配布資料及び教科書の該当箇所を参照し、学習内容に応じた準備学習（予習・復習）を行うこと。
オフィス・アワー
毎週金曜日 昼休み 研究室：9号館3F 第12研究室（情報環境研究室） メール：prof.mach.dr@gmail.com
科目区分
学部共通科目
当該授業科目の教育課程内での位置づけ
UM-R011

講義コード	10290002
講義名	情報処理基礎演習（Bクラス）
(副題)	【教職必修】
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	前期
講義区分	演習
基準単位数	1
代表曜日	月曜日
代表時限	３時限
必修/選択	必修
実務経験のある教員の有無	無
実務経験のある教員の経歴と授業内容	
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ マチャコン ヘルチェル	指定なし

授業の概要と教育目標

我々の生活や仕事は情報化によって変化している。病院では、患者に関する情報がコンピュータによって処理されている。ICT「情報通信技術」時代の要請にそって、情報処理の教育は必要である。そこで、コンピュータやネットワークの利用を通して、情報処理を学ぶ。演習を通して、コンピュータの基本的な操作法を習得する。更に、インターネットに関する知識や技術も習得する。
アプリケーションソフト（Office 2016/2019：Word, Excel, Powerpoint)やインターネットに関する知識や技術を習得するとともに、コンピュータリテラシーの向上を目標とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

医療保健学部看護学科のディプロマ・ポリシーとの関連として、臨床現場でチーム医療の一員として活躍し、そこで調整する能力及び問題を解決する能力の修得を目標とする。これにおいて、情報処理能力が求められているため、情報処理に関する知識や技術を養うことを目指すものとする。

到達目標

①コンピュータの基本構成を理解の上で基本操作を習得する。
②アプリケーションソフトの基本機能を理解し、基本的なスキルを習得する。
③インターネットを利用した情報検索や情報発信を学び、インターネットを使いこなす。

授業計画

	担当者	授業内容と方法、課題	予習・復習と そのために必要な時間
第1回	マチャコン ヘルチェル	パソコンの構成とソフトウェア、WindowsOSの基礎知識、基本操作、 E-メールのアカウントの設定、情報モラル	予習90分：PCの操作法を確認する。 復習90分：教科書1章を見直す。
第2回	マチャコン ヘルチェル	Wordの基本操作、基本編集	予習90分：教科書2章を読む。 復習90分：教科書2章（p.23-

			30, p.33-36, p.67,を見直す。
第3回	マチャコンヘルチェル	文書作成	予習90分：教科書2章(p.31-32, p.37-51)を読む。 復習90分：教科書2章（p.24-30, p.33-36, p.68,を見直す。
第4回	マチャコンヘルチェル	表の作成	予習60分：教科書2章（p.52-55)を読む。 復習60分：授業で学習した内容を再確認する。
第5回	マチャコンヘルチェル	図形を描く	予習90分：教科書2章（p.56-66)を読む。 復習60分：授業で学習した内容を再確認する。
第6回	マチャコンヘルチェル	2 回目～5回目の授業についての総括を行い、学習到達度の確 認として応用課題を実施する。 （WORD応用課題）	予習90分：教科書2章を見直す。 復習60分：回答できなかった部分を再確認する。
第7回	マチャコンヘルチェル	インターネットの概要、Webブラウザと検索、 本大学の図書館資料検索（OPAC)	予習90分：教科書6章を読む。 復習60分：授業で学習した内容を再確認する。
第8回	マチャコンヘルチェル	プレゼンテーションの概要、スライドの作成	予習90分：教科書3章(p.71-85)を読む。 復習90分：授業で学習した内容を再確認する。
第9回	マチャコンヘルチェル	医療学会の発表会で使えるアニメーションの作成	予習90分：教科書3章(p.86-90)を読む。 復習60分：授業で学習した内容を再確認する。
第10回	マチャコンヘルチェル	Excelの基本操作 (アンケート用紙の作成）	予習90分：教科書4章(p.94-116)を読む。 復習90分：授業で学習した内容を再確認する。
第11回	マチャコンヘルチェル	数値入力と関数とグラフ	予習90分：教科書4章(p.117-137)を読む。 復習90分：授業で学習した内容を再確認する。
第12回	マチャコンヘルチェル	アンケートデータの入力と集計	予習90分：教科書4章(p.138-149)を読む。 復習90分：授業で学習した内容を再確認する。
第13回	マチャコンヘルチェル	関係を求める （相関係数）	予習60分：教科書4章(p.121, p.192-193)を読む。 復習90分：授業で学習した内容を再確認する。
第14回	マチャコンヘルチェル	10 回目～13 回目の授業についての総括を行い、学習到達度の確 認テスト（実技テスト）を実施する。	予習90分：教科書4章を見直す。 復習：回答できなかった問題を再確認する
第15回	マチャコンヘルチェル	医療機関おける個人情報保護に関する調べたテーマをポスターにする。 最終課題：ポスター作成	予習90分：前回に配布された資料を読む。

教科書
医療・看護系のための情報リテラシー Office 2019対応版 ISBN-978-4489023224 松木秀明 (著), 須藤真由美 (著), 松木勇樹 (著) 東京図書
参考書
30時間アカデミック 情報リテラシー Office2016 Windows 10対応 実教出版 ISBN:978-4-407-34023-5 実教出版編集部
成績評価の方法・基準
単位認定 60点以上 課題 (20%)、実技テスト(40%)、応用課題・最終課題（40%） で評価する。 *定期試験は実施しない。再試験は実施しない。
課題等に対する フィードバックの方法
① 課題に対する質問や解答例を次回の授業で公表し、解説をおこなう。 ② 課題の完成版を配布し、または、その処理の仕方の動画をオンラインで公開することもある。
履修のポイント
上記授業内容については、あらかじめ自己学習しておくことをすすめる。配布資料及び教科書の該当箇所を参照し、学習内容に応じた準備学習（予習・復習）を行うこと。
オフィス・アワー
毎週金曜日 昼休み 研究室：9号館3F 第12研究室（情報環境研究室） メール：prof.mach.dr@gmail.com
科目区分
学部共通科目
当該授業科目の教育課程内での位置づけ
UM-R011

講義コード	10300001
講義名	情報処理応用演習（Aクラス）
(副題)	【教職必修】
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	後期
講義区分	演習
基準単位数	1
代表曜日	月曜日
代表時限	３時限
必修/選択	選択
実務経験のある教員の有無	無
実務経験のある教員の経歴と授業内容	
学年	2学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ マチャコン ヘルチェル	指定なし

授業の概要と教育目標

「情報処理基礎演習」に引き続き、看護研究や学習において欠かせない情報処理能力を向上させるよう、より応用的な形で情報処理方法を学ぶ。PCとインターネットを活用して、看護医療データの収集や整理、Excelによる統計処理方法を含む、データ・情報の解析方法についての演習を行う。医療分野におけるコンピュータと情報の応用的なスキルを中心に、マルチメディアやコンピュータグラフィックスに関する基礎的編集技術も身につける。

卒業認定・学位授与の方針との関連

医療保健学部看護学科のディプロマ・ポリシーとの関連として、臨床現場でチーム医療の一員として活躍し、そこで調整する能力及び問題を解決する能力の修得を目標とする。これにおいて情報処理能力が求められているため、俵計算ソフトによる統計処理方法を含む、データ・情報の解析方法、マルチメディアやコンピュータグラフィックスに関する知識や技術を養うことを目指すものとする。

到達目標

①Excelを利用して、医療・看護データを統計処理スキルを身につける。
②オープンデータの活用ができる。
③音声ファイルの編集加工ができる。
④画像編集ソフトや医用画像ソフトの簡単な操作ができる。

授業計画

	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	Excelの基本操作の復習		予習90分：Excelの基本操作を再確認する。 復習90分：授業で学習した内容を再確認する。
第2回	アンケート調査, クロス集計表, ピボットテーブ		予習90分：教科書1章(p.2-8), 12章(p.160-171)を読む。復習90分：授

	ル		業で学習した内容を再確認する。
第3回	データの種類 度数分布表によるデータのまとめ方（ヒストグラム）		予習90分：教科書(p. xv～xxiv), 2章を読む。 復習90分：授業で学習した内容を再確認する。
第4回	平均値と標準偏差によるデータのまとめ方 散布図・相関係数によるデータのまとめ方		予習90分：教科書3章,5章を読む。 復習90分：授業で学習した内容を再確認する。
第5回	回帰直線によるデータのまとめ方 確率分布とその数表の作り方		予習90分：教科書6章,8章を読む。 復習90分：授業で学習した内容を再確認する。
第6回	リスク比とオッズ比 区間推定によるデータのまとめ方		予習90分：教科書7章(p.83-88),9章を読む。 復習90分：授業で学習した内容を再確認する。
第7回	仮説の検定によるデータのまとめ方		予習90分：教科書10-11章を読む。 復習90分：授業で学習した内容を再確認する。
第8回	重回帰分析によるデータのまとめ方		予習90分：教科書13章を読む。 復習90分：授業で学習した内容を再確認する。
第9回	1回目～9 回目の授業についての総括を行い、学習到達度の確 認テスト（実技テスト）を実施する		予習90分：第１回～第9回の授業で学習した内容を確認する。 復習90分：回答できなかった問題を再確認する
第10回	Gapminderの使い方：各自関心のあるテーマを選択し、 Gapminderを用いて、データを可視化する	ディスカッション＆コラボレーション	予習90分：オープンデータについてインターネットで調べる。 復習90分：授業で学習した内容を再確認する。
第11回	Group Work 可視化データをPowerPointを用いてまとめる	ディスカッション＆コラボレーション	予習90分：収集したデータを分析し、考えたストーリーをPowerPointでまとめる。
第12回	Group Work (プレゼンテーション）１：必修 可視化データをPowerPointを用いて、説明する （受講者の人数により、回数を変更する場合があります）		予習90分：プレゼンテーションの練習をする。
第13回	Group Work (プレゼンテーション）2：必修 可視化データをPowerPointを用いて、説明する （受講者の人数により、回数を変更する場合があります）		予習90分：プレゼンテーションの練習をする。

第14回	マルチメディア入門（1） 音声ファイルの編集・加工（呼吸音）		予習90分：前回に配布された資料を読む。 復習90分：授業で学習した内容を再確認する。
第15回	マルチメディア入門（2） 画像ファイルの編集・加工		予習90分：前回に配布された資料を読む。

教科書

よくわかる統計学 看護医療データ編 第3版 東京図書 ISBN-13: 978-4-489-02351-4
石村 貞夫 (著), 石村 友二郎 (著), 久保田 基夫 (著)

参考書

①医療系のための情報リテラシー ISBN-978-4489022050 東京図書
② 教育・心理系研究のためのデータ分析入門 第2版 東京図書 ISBN-13: 978-4489022623
③参考資料を配布する。

成績評価の方法・基準

単位認定 60点以上
課題 (20%)、実技テスト(50%)、プレゼンテーション(30%) で評価する。
*定期試験を実施しない。 再試験は実施しない。

課題等に対するフィードバックの方法

① 課題に対する質問や解答例を次回の授業で公表し、解説をおこなう。
② 課題の完成版を配布し、または、その処理の仕方の動画をオンラインで公開することもある。

履修のポイント

①上記授業内容については、あらかじめ自己学習しておくことをすすめる。配布資料及び教科書の該当箇所を参照し、学習内容に応じた準備学習（予習・復習）を行うこと。
②「情報処理基礎演習」と「統計学」を履修済みであることが望ましい。

オフィス・アワー

毎週金曜日 昼休み 研究室：9号館3F 第12研究室（情報環境研究室）
メール：prof.mach.dr@gmail.com

科目区分

学部共通科目

当該授業科目の教育課程内での位置づけ

UM-C026

講義コード	10300002
講義名	情報処理応用演習（Bクラス）
(副題)	【教職必修】
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	後期
講義区分	演習
基準単位数	1
代表曜日	月曜日
代表時限	３時限
必修/選択	選択
実務経験のある教員の有無	無
実務経験のある教員の経歴と授業内容	
学年	2学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ マチャコン ヘルチェル	指定なし

授業の概要と教育目標

「情報処理基礎演習」に引き続き、看護研究や学習において欠かせない情報処理能力を向上させるよう、より応用的な形で情報処理方法を学ぶ。PCとインターネットを活用して、看護医療データの収集や整理、Excelによる統計処理方法を含む、データ・情報の解析方法についての演習を行う。医療分野におけるコンピュータと情報の応用的なスキルを中心に、マルチメディアやコンピュータグラフィックスに関する基礎的編集技術も身につける。

卒業認定・学位授与の方針との関連

医療保健学部看護学科のディプロマ・ポリシーとの関連として、臨床現場でチーム医療の一員として活躍し、そこで調整する能力及び問題を解決する能力の修得を目標とする。これにおいて情報処理能力が求められているため、俵計算ソフトによる統計処理方法を含む、データ・情報の解析方法、マルチメディアやコンピュータグラフィックスに関する知識や技術を養うことを目指すものとする。

到達目標

①Excelを利用して、医療・看護データを統計処理スキルを身につける。
②オープンデータの活用ができる。
③音声ファイルの編集加工ができる。
④画像編集ソフトや医用画像ソフトの簡単な操作ができる。

授業計画

	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	Excelの基本操作の復習		予習90分：Excelの基本操作を再確認する。 復習90分：授業で学習した内容を再確認する。
第2回	アンケート調査, クロス集計表, ピボットテーブ		予習90分：教科書1章(p.2-8), 12章(p.160-171)を読む。復習90分：授

	ル		業で学習した内容を再確認する。
第3回	データの種類 度数分布表によるデータのまとめ方（ヒストグラム）		予習90分：教科書(p. xv～xxiv), 2章を読む。 復習90分：授業で学習した内容を再確認する。
第4回	平均値と標準偏差によるデータのまとめ方 散布図・相関係数によるデータのまとめ方		予習90分：教科書3章,5章を読む。 復習90分：授業で学習した内容を再確認する。
第5回	回帰直線によるデータのまとめ方 確率分布とその数表の作り方		予習90分：教科書6章,8章を読む。 復習90分：授業で学習した内容を再確認する。
第6回	リスク比とオッズ比 区間推定によるデータのまとめ方		予習90分：教科書7章(p.83-88),9章を読む。 復習90分：授業で学習した内容を再確認する。
第7回	仮説の検定によるデータのまとめ方		予習90分：教科書10-11章を読む。 復習90分：授業で学習した内容を再確認する。
第8回	重回帰分析によるデータのまとめ方		予習90分：教科書13章を読む。 復習90分：授業で学習した内容を再確認する。
第9回	1回目～9 回目の授業についての総括を行い、学習到達度の確 認テスト（実技テスト）を実施する		予習90分：第１回～第9回の授業で学習した内容を確認する。 復習90分：回答できなかった問題を再確認する
第10回	Gapminderの使い方：各自関心のあるテーマを選択し、 Gapminderを用いて、データを可視化する	ディスカッション＆コラボレーション	予習90分：オープンデータについてインターネットで調べる。 復習90分：授業で学習した内容を再確認する。
第11回	Group Work 可視化データをPowerPointを用いてまとめる	ディスカッション＆コラボレーション	予習90分：収集したデータを分析し、考えたストーリーをPowerPointでまとめる。
第12回	Group Work (プレゼンテーション）１：必修 可視化データをPowerPointを用いて、説明する （受講者の人数により、回数を変更する場合があります）		予習90分：プレゼンテーションの練習をする。
第13回	Group Work (プレゼンテーション）2：必修 可視化データをPowerPointを用いて、説明する （受講者の人数により、回数を変更する場合があります）		予習90分：プレゼンテーションの練習をする。

第14回	マルチメディア入門（1） 音声ファイルの編集・加工（呼吸音）		予習90分：前回に配布された資料を読む。 復習90分：授業で学習した内容を再確認する。
第15回	マルチメディア入門（2） 画像ファイルの編集・加工		予習90分：前回に配布された資料を読む。

教科書

よくわかる統計学 看護医療データ編 第3版 東京図書 ISBN-13: 978-4-489-02351-4
石村 貞夫 (著), 石村 友二郎 (著), 久保田 基夫 (著)

参考書

①医療系のための情報リテラシー ISBN-978-4489022050 東京図書
② 教育・心理系研究のためのデータ分析入門 第2版 東京図書 ISBN-13: 978-4489022623
③参考資料を配布する。

成績評価の方法・基準

単位認定 60点以上
課題 (20%)、実技テスト(50%)、プレゼンテーション(30%) で評価する。
*定期試験を実施しない。 再試験は実施しない。

課題等に対するフィードバックの方法

① 課題に対する質問や解答例を次回の授業で公表し、解説をおこなう。
② 課題の完成版を配布し、または、その処理の仕方の動画をオンラインで公開することもある。

履修のポイント

①上記授業内容については、あらかじめ自己学習しておくことをすすめる。配布資料及び教科書の該当箇所を参照し、学習内容に応じた準備学習（予習・復習）を行うこと。
②「情報処理基礎演習」と「統計学」を履修済みであることが望ましい。

オフィス・アワー

毎週金曜日 昼休み 研究室：9号館3F 第12研究室（情報環境研究室）
メール：prof.mach.dr@gmail.com

科目区分

学部共通科目

当該授業科目の教育課程内での位置づけ

UM-C026

講義コード	10310001
講義名	文献検索とクリティーク
(副題)	
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	後期
講義区分	演習
基準単位数	1
代表曜日	
代表時限	
必修/選択	選択
実務経験のある教員の有無	無
実務経験のある教員の経歴と授業内容	
学年	3学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ マチャコン ヘルチェル	指定なし

授業の概要と教育目標

科学論文の検索方法について理解し、実践する。実際の論文を例にとり、論文の背景や目的、研究方法、結果、考察などの記述の仕方を学ぶ。さらに論文に対する批評的な読解法についても学習する。科学論文の検索方法を習得し、研究論文に対する批評的な読解法を学び、文献クリティークの基礎能力を養う。

卒業認定・学位授与の方針との関連

医療保健学部看護学科のディプロマ・ポリシーとの関連として、臨床現場でチーム医療の一員として活躍し、そこで調整する能力及び問題を解決する能力を修得を目標とする。臨床で働く看護師は、問題を解決し、研究を行うために、文献や情報検索や論文のクリティークする機会が多い。そこで、この科目では、文献や情報の検索方法、クリティークに関する知識や技術を養うことを目指すものとする。

到達目標

① 情報・文献検索ができる。
② 論文のクリティークを行うことができる。

授業計画

	担当者	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	マチャコン ヘルチェル	授業の進め方、文献とは何か 研究論文とは何か 課題：英文論文読解		復習90分：授業で学習した内容を再確認する。 英文論文の内容をまとめる。
	マチャコン ヘ	①課題提出 ②英文論文の内容を理解したかどうかの確認 （Q&A方式)		予習90分：授業で配布された英文論文の内容を再確認する。

第2回	ルチェル	（一人一人への質問） （受講者の人数により、回数を変更する場合がある。）		復習90分：質問で答えられなかった部分に関して、論文を読んで再確認する。
第3回	マチャコン ヘルチェル	① 看護とWeb検索・文献検索 （サーチエンジンによる情報・文献検索） ② データベースで調べてみよう (NDL-OPAC（国立国会図書館蔵書検索) 最新看護索引Web		予習90分：教科書1章、書2章(2-3,2-4)を読む。 復習90分：授業で学習した内容を再確認する。
第4回	マチャコン ヘルチェル	文献の探し方：国内の電子ジャーナル・データベース 医学中央雑誌Web版、JDreamII、CiNii		予習90分：教科書2章(2-1,2-2,2-5)を読む。 復習90分：授業で学習した内容を再確認する。
第5回	マチャコン ヘルチェル	文献の探し方：国内の電子ジャーナル・データベース メディカルオンライン		予習90分：前回に配布された資料を読む。 復習60分：授業で学習した内容を再確認する。
第6回	マチャコン ヘルチェル	文献の探し方：外国の電子ジャーナル・データベース PubMed、Cochrane		予習90分：教科書2章(2-6)を読む。 復習60分：授業で学習した内容を再確認する。
第7回	マチャコン ヘルチェル	看護に役立つデータベースとWebサイト		予習90分：教科書3章を読む。 復習60分：授業で学習した内容を再確認する。
第8回	マチャコン ヘルチェル	2回目～6回目の授業についての総括を行い、学習到達度の確 認テスト（実技テスト）を実施する。		予習90分：教科書1章-2章で学習した内容を確認する。 復習90分：回答できなかった問題を再確認する
第9回	マチャコン ヘルチェル	クリティークとは何か		予習90分：前回に配布された資料を読む。 復習60分：授業で学習した内容を再確認する。
第10回	マチャコン ヘルチェル	研究における統計学の基本知識の復習		予習90分：前回に配布された資料を読む。 復習90分：授業で学習した内容を再確認する。
第11回	マチャコン ヘルチェル	国内のジャーナルから原著論文(和文）のクリティーク		予習90分：前回に配布された資料を読む。 復習60分：授業で学習した内容を再確認する。
第12回	マチャコン ヘルチェル	医療分野の研究テーマの選択、文献の収集	ディスカッションやコラボレーション	予習90分：前回に配布された資料を読む。 復習90分：授業で学習した内容を再確認する。
				予習90分：前回に収集した文

第13回	マチャコン ヘルチェル	12回目の授業で選んだテーマに関して、収集した文献を整理する	ディスカッションやコラボレーション	献の内容を確認する。 復習90分：文献レビュー・、マトリックスの内容を再確認する。
第14回	マチャコン ヘルチェル	文献レビューのプレゼンテーションまたはインタビュー (必修) （受講者の人数により、回数を変更する場合がある。）		予習90分：作成した文献レビュー・マトリックスを再確認する。
第15回	マチャコン ヘルチェル	文献レビューのプレゼンテーションまたはインタビュー (必修) （受講者の人数により、回数を変更する場合がある。）		予習90分：作成した文献レビュー・マトリックスを再確認する。

教科書

看護師のためのWeb検索・文献検索入門 (JJNスペシャル), 医学書院 ISBN-13: 978-4260019125
佐藤 淑子／和田 佳代子

参考書

1.看護研究のための文献検索ガイド 第4版 増補版
（日本看護協会出版会）ISBN-13: 978-4818014985
2. 参考資料を配布する。

成績評価の方法・基準

単位認定 60点以上
課題（10%）、論文読解（15%)、実技テスト（35%)、プレゼンテーション・インタビュー(40%）で評価する。

*定期試験は実施しない。 再試験は実施しない。

課題等に対する
フィードバックの方法

① 課題に対する質問や解答例を次回の授業で公表し、解説をおこなう。
② 課題の処理の仕方の動画をオンラインで公開することもある。

履修のポイント

①上記授業内容については、あらかじめ自己学習しておくことをすすめる。配布資料及び教科書の該当箇所を参照し、学習内容に応じた準備学習（予習・復習）を行うこと。
②「統計学」を履修済みであることが望ましい。
③ 多くの研究論文を読むことをすすめる。

オフィス・アワー

毎週金曜日 昼休み 研究室：9号館3F 第12研究室（情報環境研究室）
メール：prof.mach.dr@gmail.com

科目区分

学部共通科目

当該授業科目の教育課程内での位置づけ

UM-C043

講義コード	10320001
講義名	医療保健論
(副題)	
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	前期（重複①）
講義区分	講義
基準単位数	1
代表曜日	水曜日
代表時限	１時限
必修/選択	必修
実務経験のある教員の有無	有
実務経験のある教員の経歴と授業内容	看護職としての経験を活かし、健康の保持・増進に深くかかわる医療・保健について授業展開する。
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 堀越 薫	指定なし

授業の概要と教育目標

わが国の医療保健についての現状、子どもから高齢者までの健康課題を学んだうえで、人々や地域のつながりに着目したソーシャル・キャピタルを生かした健康づくりについて理解を深める。

卒業認定・学位授与の方針との関連

本学のディプロマ・ポリシーである「医療保健分野に関する幅広い知識と確かな技術」を修得するための序章として科目である。わが国の医療・保健について概観し、子どもから高齢者までの健康課題について学ぶ。健康の保持・増進のためのしくみや課題、今後について理解することを目指す。

到達目標

１．保健衛生統計から日本の状況を理解できる。
２. 医療保険制度、少子化・子育て支援、生活習慣病・健康増進対策、高齢者保健と介護が理解できる
３．ソーシャル・キャピタルと健康の関係が理解できる。
４．身近な地域の健康課題を考えることができる。

授業計画

	担当者	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	堀越薫	・授業ガイダンス ・医療・保健とはなにか ・健康とは ・病いの経験		予習：90分 医療、保健とはなにか、健康とはどのような状況かについて調べる。 復習：90分 授業資料を仕上げ、授業内容を整理する。わからなことろは次回必ず質問する。
第2回	堀越薫	・医療の変遷 ・私たちの生活と健康		予習：90分 国民の健康状況と受療に関する最近の話題を調べる 復習：90分 授業資料を仕上げ、授業内容を整理する。わからなことろは次回必ず質

				問する。
第3回	堀越薫	・保健衛生統計 ・疾病構造の変化 ・社会保険について		予習：90分 日本の疾病構造、社会保険について調べること。 復習：90分 授業資料を仕上げ、授業内容を整理する。わからなことろは次回必ず質問する。
第4回	堀越薫	・公衆衛生とは ・母子保健 ・感染症対策 ・生活習慣病 ・がん対策など		予習：90分 公衆衛生とは、健康日本２１について調べる。 復習：90分 授業資料を仕上げ、授業内容を整理する。わからなことろは次回必ず質問する。
第5回	堀越薫	・健康の社会的決定要因 ・社会経済状況と健康		予習：90分 健康の社会的決定要因とはなにか調べる。 復習：90分 授業資料を仕上げ、授業内容を整理する。わからなことろは次回必ず質問する。
第6回	堀越薫	・健康格差 ・国内外の健康格差の取組み		予習：90分 健康格差について調べる。 復習：90分 授業資料を仕上げ、授業内容を整理する。わからなことろは次回必ず質問する。
第7回	堀越薫	・社会関係資本 ・地域社会の課題 ・ライフコースアプローチ		予習：90分 社会関係資本について調べる。 復習：90分 授業資料を仕上げ、授業内容を整理する。わからなことろは次回必ず質問する。
第8回	堀越薫	ふりかえりとまとめ これまで学習したことについて学びをまとめる		予習：90分 今まで学んだことを整理し、自身の意見を述べられるようまとめておく。 復習：90分 これまでの授業内容を振り返り、足りない知識を補う。

教科書

特定の教科書は使用しません。
授業時の資料配布しますので、書き込んでください。

参考書

適宜紹介します。

成績評価の方法・基準

成績評価60点以上 授業態度や姿勢、試験結果で総合評価する。
（レポート70%、授業内課題30%）

課題等に対する
フィードバックの方法

毎回、授業で学んだこと・疑問に思ったことを提出してください。次回授業時にフィードバックします。

履修のポイント

主体的に取り組むために、与えられた学習（課題）だけでなく、授業をきっかけに考えたこと、疑問に思ったことなどを自分なりに調べてください。また、世の中には医療保健に関するニュースやトピックスがたくさんあります。関心を持ってのぞんでください。

オフィス・アワー

在室時対応します。
科目区分
専門基礎科目
当該授業科目の教育課程内での位置づけ
UM-R120

講義コード	10330001
講義名	チーム連携論
(副題)	【保健師必修】
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	後期
講義区分	演習
基準単位数	1
代表曜日	
代表時限	
必修/選択	選択
実務経験のある教員の有無	有
実務経験のある教員の経歴と授業内容	病院および施設における看護師としての勤務経験をふまえ、チーム医療の実際と連携について講義を展開する。
学年	3学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 片野 吉子	指定なし
教員	柏瀬 淳	指定なし
教 員	川﨑 美智子	指定なし
教 員	尾崎 恵子	指定なし
教 員	大谷内 千恵	指定なし
教 員	佐々木 杏奈	指定なし

授業の概要と教育目標

今日の医療ニーズの多様化に対応したより良質なサービスを提供するためには、医療・保健・福祉などの多様な専門職による役割と機能の有機的な連携や協働が必要不可欠である。本授業では、チーム医療の意義を理解し、チームアプローチの実際についてグループ討議を通して学習する（オムニバス方式全15回）。

卒業認定・学位授与の方針との関連

本学のディプロマ・ポリシーである幅広い知識と確かな技術を修得するために、医療・保健・福祉領域の各専門職種の役割、機能、責任についてさらに学習し、より専門性の高い良質なサービス提供を目指すチーム医療実現のための役割と機能について理解し、将来その一端を担う人材となることを目指す。

到達目標

1.チーム医療の背景、在り方、倫理について基本的な理解し、グループワークに反映できる。
2.各専門職に対する理解を深めるとともに、チーム構成員の役割、機能、責任を説明できる。
3.情報の伝達やコミュニケーションの重要性について、グループワークにおいて実践できる。
4.効果的で円滑なチーム医療を展開する方法について、グループ発表やレポートにて報告ができる。

授業計画

	担当者	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間
		チーム連携の基本 （1）チーム医療		〔予習90分〕これまでの実習を振

第1回	片野吉子	の意義・役割 ・チーム医療とは ・チーム医療に必要な機能 ・チーム医療の役割 ・多職種間との連携・協働について		り返り、連携した職種について整理する。 〔復習90分〕授業時に配布した資料を再度復習し、内容を理解する。 分からないことは次回必ず質問する。
第2回	片野吉子	チーム連携の基本（２）リーダーシップとマネジメント ・リーダーシップ・メンバーシップとは ・チームの一員としての役割		〔予習90分〕これまでの実習を振り返り、連携した職種について整理する 〔復習90分〕授業時に配布した資料を再度復習し、内容を理解する。 分からないことは次回必ず質問する。
第3回	片野吉子	チーム連携の基本（３）多職種間における倫理 ・さまざまな価値観の理解 ・倫理的課題の特徴 ・協働と自立性		予習90分〕医療倫理について調べておく。 〔復習90分〕多職種の働きと自ら目指す職種の違いについてワークシートにまとめる。
第4回	柏瀬淳	地域ケアにおける連携（１） ・地域における多職種連携について ・地域包括ケアシステムについて ・退院支援における多職種連携の役割	グループワーク ・ワークシートを活用して、グループ毎に学習を整理する	〔予習90分〕地域包括ケアシステムに関する文献から、療養者が在宅で生活するために必要な支援について調べておく。 〔復習90分〕学習した内容からワークシートにまとめる。
第5回	柏瀬淳	地域ケアにおける連携（２） ・住み慣れた地域で暮らす療養者の生活を支える職種の役割について ・療養生活を支える社会資源について	グループワーク ・グループで話し合った内容をワークシートにまとめ、学習を整理する	予習90分〕地域での療養に関する文献を検索する。 〔復習90分〕学習した内容からワークシートにまとめる。
第6回	柏瀬淳	地域ケアにおける連携（３） ・療養者の生活を支えるための支援内容・方法の検討 ・多職種間の情報共有の検討	・情報共有ワークシートを使用してのアセスメントを行う	〔予習90分〕地域での療養に関する文献を検索する。 〔復習90分〕学習した内容からワークシートにまとめる。
第7回	尾崎恵子	チーム医療の実際（１）【外部講師】 チーム医療の実際（１）		〔予習90分〕ＮＳＴについて予習する。 〔復習90分〕授業時に配布した資料を再度復習し、内容を理解す

		施設におけるチーム医療		る。
第8回	川崎美智子	チーム医療の実際（２）【外部講師】 チーム医療の実際（２） 施設におけるチーム医療		〔予習90分〕ＲＳＴについて予習する。 〔復習90分〕授業時に配布した資料を再度復習し、内容を理解する。
第9回	佐々木杏奈	チーム医療の実際（３）【外部講師】 チーム医療の実際（３） 施設におけるチーム医療		〔予習90分〕糖尿病チームについて予習する。 〔復習90分〕授業時に配布した資料を再度復習し、内容を理解する。
第10回	片野吉子	チーム連携における事例検討(１) ・事例検討グループワーク ・その人の生活を支えるために必要な職種の連携について検討 ・職種間の共通認識に必要な内容・方法の検討	・事例検討グループワーク	予習90分〕事例の背景から、その人の生活を支えるために必要な職種の働きについて調べておく。 〔復習90分〕授業時に配布した資料を再度復習し、内容を理解する。
第11回	片野吉子	チーム連携における事例検討(２) ・事例検討グループワーク ・ワークシートを用いて、情報の整理とアセスメント ・かかわる職種の役割と連携	・事例検討グループワーク	〔予習90分〕事例の背景について、その人が地域での生活に必要な援助について考える。 〔復習90分〕発表資料を作成し、提出する。
第12回	片野吉子	チーム連携における事例検討(３) ・事例検討グループワーク ・その人がその人らしい生活を送るためのMapの作成 ・地域包括ケアシステムの姿を参考にMapを作成する ・発表用資料の作成、提出	・事例検討グループワーク	〔予習90分〕・事例の背景からその人が生活する地域の特性を考慮しながらMapに反映させていく。 ・発表資料作成で必要なものを準備する 〔復習90分〕発表資料を作成し、指定日までに提出する。
第13回	大谷内千恵	チーム医療の実際（４）【外部講師】 チーム医療の実際（４） 施設におけるチーム医療		〔予習90分〕褥瘡チームについて予習する。 〔復習90分〕授業時に配布した資料を再度復習し、内容を理解する。

第14回	片野吉子	事例検討のまとめ(1)(発表） ・事例検討グループワーク 発表 発表会の運営について ・他のグループの発表を聞き、気づきをワークシートに まとめる。	・事例検討グループワーク 発表	〔予習90分〕他のグループの発表について内容を理解した上で質問を考える。 〔復習90分〕他のグループ発表を聞き気づいたことをまとめる。
第15回	片野吉子	事例検討のまとめ(2)（発表） ･事例検討グループワーク 発表（続き） チームで協働することからの気づき レポート課題ついて	･事例検討グループワーク 発表（続き）	〔予習90分〕他のグループの発表について内容を理解した上で質問を考える。 〔復習90分〕授業で学習内容をふまえ、レポートをまとめる。

教科書

指定の教科書はありません。必要時、資料を配布します。

参考書

授業中に紹介します。

成績評価の方法・基準

単位認定は60点以上とします。
グループワークの参加状況（20%）、発表資料作成、発表への取り組み状況（20%）、ワークシートへの記入（40%）、レポー（20%）よる総合評価で60%以上を単位認定とします。

課題等に対する
フィードバックの方法

授業で配布したワークシートはグループワークの際に記入し提出した後、まとめレポートと一緒にコメントして返却します。

履修のポイント

対象や地域住民を中心とした良質な保健医療サービスを提供するためには、チームによる協働は必要不可欠です。これまでの実習を振り返り、知識の深めていきましましょう。
認定看護師によるチームケアの実際を聞く機会を設けました。

オフィス・アワー

在室時、随時対応します。

科目区分

専門基礎科目

当該授業科目の教育課程内での位置づけ

UM-C160

講義コード	10340001
講義名	早期体験合同実習
(副題)	
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	前期
講義区分	実験・実習
基準単位数	1
代表曜日	
代表時限	
必修/選択	必修
実務経験のある教員の有無	有
実務経験のある教員の経歴と授業内容	看護師としての病院おける実務経験をもとに、看護実践の理論とその基盤となる概念について、具体例を挙げながら解説する。
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 三木 園生	指定なし
教員	武井 直樹	指定なし

授業の概要と教育目標

学習初期の時期に対象者の立場から、医療・保健施設の現場を知り、施設を利用している人々と関わることを通して、対象者について理解を深める。また、自己の専攻する専門職の役割について考えることで、今後の学習の動機づけとし、主体的に学ぶための方法を理解する。
本科目は、看護学科・栄養学科合同実習とすることで、自己理解とともに、専攻の異なる学生間で認識を共有し、チーム連携の重要性を知る機会とすることを目標とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

医療保健学部看護学科のディプロマ・ポリシーとの関連として、対象者を理解し、将来的に臨床現場でチーム医療の一員として活躍するための基本的な考え方を獲得することを目指すものとする。

到達目標

1．対象者の立場から、医療施設のサービスを観察する。
2．看護師の活動を観察し、その役割を知る。
3．各専門職の役割を知り、その連携について考える。
4．今後の学習上の課題を明らかにする。

授業計画

	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	学内実習①・オリエンテーション・事前課題		復習90分：オリエンテーションを受け、実習に臨む姿勢について考える。事前課題に取り組む。
第2回	学内実習②・施設別演習・グループ	グループディスカッションにより、事前学習した内容を確認しあい、翌日からの臨地実習に向けて	予習90分：実習要項を精読し、その日の目標を確認する。復習90分：グループ別演習を通して学んだことをまとめ、振り返る。

	別演習	準備する	
第3回	臨地実習① ・対象者の立場から医療施設のサービスを観察する	カンファレンス ・観察した現象を踏まえ、テーマに沿ってカンファレンスを行う	予習90分：実習要項を精読し、その日の目標を確認する。復習90分：観察したことをまとめ、振り返る。
第4回	臨地実習② ・看護師の活動を知る	カンファレンス ・観察した現象を踏まえ、テーマに沿ってカンファレンスを行う	予習90分：実習要項を精読し、その日の目標を確認する。復習90分：観察したことをまとめ、振り返る。
第5回	臨地実習③ ・各専門職の活動を知り、その連携について考える	カンファレンス ・観察した現象を踏まえ、テーマに沿ってカンファレンスを行う ・実習目標の達成状況について発表する	予習90分：実習要項を精読し、その日の目標を確認する。復習90分：観察したことをまとめ、振り返る。
第6回	学内実習③ ・グループ別演習 ・実習のまとめ	午前：グループごとにまとめを行う 午後：栄養学科と合同で、実習で得られた成果を発表し、認識を共有する	予習90分：実習要項を精読し、その日の目標を確認する。臨地実習で学んだことをまとめ、グループ別演習に向けて準備する。 復習90分：実習全体を振り返り、レポートにまとめる。

教科書

別途指示します。

参考書

鷹野和美編著：チーム医療論、医歯薬出版株式会社

成績評価の方法・基準

単位認定60点以上。
事前課題・日々の記録・事後レポート等により、総合的に評価します

課題等に対するフィードバックの方法

事前課題を行ない、臨地実習前のグループ別演習および臨地実習に臨む必要があります。さらに、臨地実習では、日々学んだことを記録し、次の日の学習目標を明確化すること、さらにこの授業で学んだことについてレポート作成します。実習の記録物は返却しますので学習の振り返りに活用してください。

履修のポイント

事前学習、学内におけるグループ別演習、臨地実習で構成されています。臨地実習前の事前学習やグループ別演習が重要です。積極的に各々参加してください。

オフィス・アワー

曜日に関わらず、在室時は随時対応します。
三木：10号館2階 研究室7
武井：10号館2階 基礎・成人看護研究室

科目区分

専門基礎科目

当該授業科目の教育課程内での位置づけ

UM-R110

講義コード	10350001
講義名	人体の構造と機能I
(副題)	【教職必修】
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	前期
講義区分	演習
基準単位数	2
代表曜日	月曜日
代表時限	１時限
必修/選択	必修
実務経験のある教員の有無	無
実務経験のある教員の経歴と授業内容	
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 煙山 健仁	指定なし
教員	山科 章	指定なし

授業の概要と教育目標

看護では、各種疾患の病態を正しく把握するために非常に多くの知識が必要となり、正常な体の構造や機能を知ることが大変重要である。骨格、筋肉、各種の臓器、血管系や神経系、さらに感覚器や内分泌腺、などが、体のどこに存在し、どのような形で、それらがどのように統合されているか理解することが必要である。この様な体の構造に加え、看護では生きた人体を扱うので、絶えず働いている各種の臓器・組織の機能も知る必要がある。人体の構造と機能は人体についての知識の基礎であり、病気の理解や看護実践の基盤となる。
本科目は、人体の構造と機能において、細胞と組織の基本構造と機能、体の支持と運動、栄養の消化と吸収、血液の循環とその調節、体液の調節と尿の生成、情報の需要と処理、生殖・発生と老化のしくみ、を理解することを目標とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

医療保健学部看護学科のディプロマ・ポリシーでは、「看護学の基礎となる、人体のしくみ、健康の諸側面、健康生活と社会との関係について理解していること」、「看護の基本精神・基礎技術を理解した上で、さまざまな健康レベル、あらゆる発達段階における科学的知識を修得していること」が求められており、人体の構造と機能の理解を通して、その目標達成に必要な知識を養う。

到達目標

人の日常的活動において、体の中で絶え間なく行われている生命活動が、具体的にどの臓器・組織でどの様に行われているかが理解でき、その理解に基づいて人間の日常的活動を説明できる。

授業計画

	担当者	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	山科章	医学概論１		予習45分：教科書序章を読む。復習45分：配布資料を見直し、疑問点をまとめる。疑問点が解決できない場合は、

				早めに質問に来る。
第2回	煙山健仁	【解剖学・生理学とは？】 解剖学と生理学の歴史、学問の対象		予習45分：教科書序章を読む。復習45分：配布資料を見直し、疑問点をまとめる。疑問点が解決できない場合は、早めに質問に来る。
第3回	煙山健仁	【細胞・組織の基礎１】 細胞・組織の構造と機能、ATP産生、タンパク質の合成		予習45分：教科書1章Bを読む。復習45分：配布資料を見直し、疑問点をまとめる。疑問点が解決できない場合は、早めに質問に来る。
第4回	煙山健仁	【細胞・組織の基礎２】 体液とホメオスタシス、人体の方向、位置を示す用語、人体の区分		予習45分：教科書1章A、B、Cを読む。復習45分：配布資料を見直し、疑問点をまとめる。疑問点が解決できない場合は、早めに質問に来る。
第5回	山科章	消化器概要、医学概論２		予習45分：教科書2章を読む。復習45分：配布資料を見直し、疑問点をまとめる。疑問点が解決できない場合は、早めに質問に来る。
第6回	煙山健仁	【栄養の消化と吸収１】 口、咽頭、食道の構造と機能、腹部消化管の構造と機能		予習45分：教科書2章A、Bを読む。復習45分：配布資料を見直し、疑問点をまとめる。疑問点が解決できない場合は、早めに質問に来る。
第7回	煙山健仁	【栄養の消化と吸収２】 排便のメカニズム、糖質、タンパク質、脂肪の消化と吸収		予習45分：教科書2章Bを読む。復習45分：配布資料を見直し、疑問点をまとめる。疑問点が解決できない場合は、早めに質問に来る。
第8回	煙山健仁	【栄養の消化と吸収３】 膵臓、肝臓、胆嚢の構造と機能	臓器の位置を描いて、消化器系の流れを確認する。	予習45分：教科書2章Cを読む。復習45分：配布資料を見直し、疑問点をまとめる。疑問点が解決できない場合は、早めに質問に来る。
第9回	山科章	循環器系概要、医学概論３		予習45分：教科書4章を読む。復習45分：配布資料を見直し、疑問点をまとめる。疑問点が解決できない場合は、早めに質問に来る。
第10回	煙山健仁	【血液の循環とその調節１】 心臓の位置と構造、心臓の拍出機能 、心電図		予習45分：教科書4章A、B、Cを読む。復習45分：配布資料を見直し、疑問点をまとめる。疑問点が解決できない場合は、早めに質問に来る。
第11回	煙山健仁	【血液の循環とその調節２】 肺循環と体循環、動脈と静脈		予習45分：教科書4章Dを読む。復習45分：配布資料を見直し、疑問点をまとめる。疑問点が解決できない場合は、早めに質問に来る。
第12回	煙山健仁	【血液の循環とその調節３】 血圧、心周期 、血圧の調節、微小循環		教科書4章Eを読む。復習45分：配布資料を見直し、疑問点をまとめる。疑問点が解決できない場合は、早めに質問に来る。
	煙山	【血液の循環とその調節４】	臓器の位置を描いて、循環	予習45分：教科書4章E、Fを読む。復習45分：配布資料を見直し、疑問点をま

第13回	健仁	浮腫、 チアノーゼ、心不全、高血圧、リンパ	器系の流れを確認する。	とめる。疑問点が解決できない場合は、早めに質問に来る。
第14回	山科章	泌尿器系概要、医学概論４		予習45分：教科書5章を読む。復習45分：配布資料を見直し、疑問点をまとめる。疑問点が解決できない場合は、早めに質問に来る。
第15回	煙山健仁	【体液の調節と尿の生成１】 腎臓の構造、尿生成のメカニズム、傍糸球体装置、クリアランスと糸球体濾過量		予習45分：教科書5章Aを読む。復習45分：配布資料を見直し、疑問点をまとめる。疑問点が解決できない場合は、早めに質問に来る。
第16回	煙山健仁	【体液の調節と尿の生成２】 蓄尿と排尿、体液の調節、水の出納、脱水		予習45分：教科書5章B、Cを読む。復習45分：配布資料を見直し、疑問点をまとめる。疑問点が解決できない場合は、早めに質問に来る。
第17回	煙山健仁	【体液の調節と尿の生成３】 電解質異常、酸塩基平衡		予習45分：教科書5章Cを読む。復習45分：配布資料を見直し、疑問点をまとめる。疑問点が解決できない場合は、早めに質問に来る。
第18回	山科章	骨・筋概要、医学総論５		予習45分：教科書7章を読む。復習45分：配布資料を見直し、疑問点をまとめる。疑問点が解決できない場合は、早めに質問に来る。
第19回	煙山健仁	【身体の支持と運動１】 人体の骨格、骨の連結、骨格筋、体幹の骨格と筋		予習45分：教科書7章A、B、C、Dを読む。復習45分：配布資料を見直し、疑問点をまとめる。疑問点が解決できない場合は、早めに質問に来る。
第20回	煙山健仁	【身体の支持と運動２】 上肢の骨格と筋、下肢の骨格と筋、頭頚部の骨格と筋		予習45分：教科書7章E、F、Gを読む。復習45分：配布資料を見直し、疑問点をまとめる。疑問点が解決できない場合は、早めに質問に来る。
第21回	煙山健仁	【身体の支持と運動３】 筋の収縮機構		予習45分：教科書7章Hを読む。復習45分：配布資料を見直し、疑問点をまとめる。疑問点が解決できない場合は、早めに質問に来る。
第22回	山科章	神経系・感覚器系概要、医学概論６		予習45分：教科書8章を読む。復習45分：配布資料を見直し、疑問点をまとめる。疑問点が解決できない場合は、早めに質問に来る。
第23回	煙山健仁	【情報の受容と処理１】 神経系の構造と機能、脊髄の構造と機能、脳の構造と機能、脊髄神経と脳神経		予習45分：教科書8章A、B、Cを読む。復習45分：配布資料を見直し、疑問点をまとめる。疑問点が解決できない場合は、早めに質問に来る。
第24回	煙山健	【情報の受容と処理２】 脳の高次機能、中枢神経系の障害、運動機能		教科書8章D、E、Fを読む。復習45分：配布資料を見直し、疑問点をまとめる。疑問点が解決できない場合は、早めに質

	仁	と下行伝導路、感覚機能と上行伝導路		問に来る。
第25回	煙山健仁	【情報の受容と処理３】 眼、耳の構造と機能		予習45分：教科書8章G、Hを読む。復習45分：配布資料を見直し、疑問点をまとめる。疑問点が解決できない場合は、早めに質問に来る。
第26回	煙山健仁	【情報の受容と処理４】 味覚、嗅覚、痛覚		教科書8章I、Jを読む。復習45分：配布資料を見直し、疑問点をまとめる。疑問点が解決できない場合は、早めに質問に来る。
第27回	山科章	生殖器系概要、医学概論７		予習45分：教科書10章を読む。復習45分：配布資料を見直し、疑問点をまとめる。疑問点が解決できない場合は、早めに質問に来る。
第28回	煙山健仁	【生殖、発生と老化のしくみ１】 男性、女性生殖器		予習45分：教科書10章A、Bを読む。復習45分：配布資料を見直し、疑問点をまとめる。疑問点が解決できない場合は、早めに質問に来る。
第29回	煙山健仁	【生殖、発生と老化のしくみ２】 女性の性周期、受精と胎児の発生		予習45分：教科書10章B、Cを読む。復習45分：配布資料を見直し、疑問点をまとめる。疑問点が解決できない場合は、早めに質問に来る。
第30回	煙山健仁	【生殖、発生と老化のしくみ３】 胎児の血液循環、成長と老化		予習45分：教科書10章C、Dを読む。復習45分：配布資料を見直し、疑問点をまとめる。疑問点が解決できない場合は、早めに質問に来る。

教科書

人体の構造と機能（１）解剖生理学、坂井建雄・岡田隆夫 編集、医学書院

参考書

解剖生理学(ナーシング・グラフィカ)、林正健二 編集、メディカ出版

成績評価の方法・基準

単位認定60点以上
授業中の小テストやレポート（40％）、期末試験（60％）で評価する。

課題等に対する
フィードバックの方法

授業内での小テストやレポートは、実施した次の回の授業で内容を解説する。

履修のポイント

自分だけの学習では正しい知識の理解が難しいので、講義に出席することが大切です。
講義では話し（ストーリー）を聞くことに集中して下さい。

オフィス・アワー

月曜日～水曜日、金曜日（09：20～18：10）、10号館病理・解剖実習研究室

科目区分

専門基礎科目

当該授業科目の教育課程内での位置づけ

UK-R111

講義コード	10360001
講義名	人体の構造と機能II
(副題)	【教職必修】
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	前期
講義区分	演習
基準単位数	1
代表曜日	月曜日
代表時限	１時限
必修/選択	必修
実務経験のある教員の有無	無
実務経験のある教員の経歴と授業内容	
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 煙山 健仁	指定なし
教員	山科 章	指定なし

授業の概要と教育目標

看護では、各種疾患の病態を正しく把握するために非常に多くの知識が必要となり、正常な体の構造や機能を知ることが大変重要である。骨格、筋肉、各種の臓器、血管系や神経系、さらに感覚器や内分泌腺、などが、体のどこに存在し、どのような形で、それらがどのように統合されているか理解することが必要である。この様な体の構造に加え、看護では生きた人体を扱うので、絶えず働いている各種の臓器・組織の機能も知る必要がある。人体の構造と機能は人体についての知識の基礎であり、病気の理解や看護実践の基盤となる。
本科目は、人体の構造と機能Iに引き続き、呼吸と血液のはたらき、内臓機能の調節、身体機能の防御と適応、を理解することを目標とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

医療保健学部看護学科のディプロマ・ポリシーでは、「看護学の基礎となる、人体のしくみ、健康の諸側面、健康生活と社会との関係について理解していること」、「看護の基本精神・基礎技術を理解した上で、さまざまな健康レベル、あらゆる発達段階における科学的知識を修得していること」が求められており、人体の構造と機能の理解を通して、その目標達成に必要な知識を養う。

到達目標

人の日常的活動において、体の中で絶え間なく行われている生命活動が、具体的にどの臓器・組織でどの様に行われているかを理解でき、その理解に基づいて人間の日常的活動を説明できる。

授業計画

	担当者	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	山科章	呼吸器系・血液概要、医学概論８		予習45分：教科書3章を読む。復習45分：配布資料を見直し、疑問点をまとめる。疑問点が解決できない場合は、早めに質問に来る。

第2回	煙山健仁	呼吸と血液のはたらき１】 呼吸器の構造、内呼吸と外呼吸、呼吸気量		予習45分：教科書3章A、Bを読む。復習45分：配布資料を見直し、疑問点をまとめる。疑問点が解決できない場合は、早めに質問に来る。
第3回	煙山健仁	【呼吸と血液のはたらき２】 ガス交換、酸素と二酸化炭素の運搬、呼吸運動の調節、病的呼吸、換気障害		予習45分：教科書3章Bを読む。復習45分：配布資料を見直し、疑問点をまとめる。疑問点が解決できない場合は、早めに質問に来る。
第4回	煙山健仁	【呼吸と血液のはたらき３】 血液の組成と機能、血球の機能		予習45分：教科書3章Cを読む。復習45分：配布資料を見直し、疑問点をまとめる。疑問点が解決できない場合は、早めに質問に来る。
第5回	煙山健仁	【呼吸と血液のはたらき４】 血液凝固、血液型	肺の簡単な模型を作り、呼吸のしくみを理解する。	予習45分：教科書3章Cを読む。復習45分：配布資料を見直し、疑問点をまとめる。疑問点が解決できない場合は、早めに質問に来る。
第6回	山科章	内分泌系概要、医学概論９		予習45分：教科書6章を読む。復習45分：配布資料を見直し、疑問点をまとめる。疑問点が解決できない場合は、早めに質問に来る。
第7回	煙山健仁	【内蔵機能の調節１】 自律神経系の構造と機能		予習45分：教科書6章Aを読む。復習45分：配布資料を見直し、疑問点をまとめる。疑問点が解決できない場合は、早めに質問に来る。
第8回	煙山健仁	【内蔵機能の調節２】 ホルモンの分類と受容体、下垂体、甲状腺、副甲状腺		予習45分：教科書6章B、Cを読む。復習45分：配布資料を見直し、疑問点をまとめる。疑問点が解決できない場合は、早めに質問に来る。
第9回	煙山健仁	【内蔵機能の調節３】 膵臓、副腎、性腺、その他のホルモン		予習45分：教科書6章C、Dを読む。復習45分：配布資料を見直し、疑問点をまとめる。疑問点が解決できない場合は、早めに質問に来る。
第10回	煙山健仁	【内蔵機能の調節４】 糖代謝、カルシウム代謝、ストレス、血圧		予習45分：教科書6章Eを読む。復習45分：配布資料を見直し、疑問点をまとめる。疑問点が解決できない場合は、早めに質問に来る。
第11回	煙山健仁	【身体機能の防御と適応１】 皮膚の構造と機能		予習45分：教科書9章Aを読む。復習45分：配布資料を見直し、疑問点をまとめる。疑問点が解決できない場合は、早めに質問に来る。
第12回	煙山健仁	【身体機能の防御と適応２】 生体の防御機構		予習45分：教科書9章Bを読む。復習45分：配布資料を見直し、疑問点をまとめる。疑問点が解決できない場合は、早めに質問に来る。
第13回	煙山健仁	【身体機能の防御と適応３】 代謝と運動、体温とその調節		予習45分：教科書9章C、Dを読む。復習45分：配布資料を見直し、疑問点をまとめる。疑問点が解決できない場合は、早めに質問に来る。

第14回	煙山健仁	【招聘講義】 環境生理学		予習45分：図書やインターネットで環境生理学について調べる。復習45分：授業の内容をまとめ、疑問点は早めに質問に来る。
第15回	煙山健仁	人体の構造と機能のまとめ		予習45分：これまでの配布資料を整理する。復習45分：まとめを聞いて、疑問点を再度まとめる。予習とは別に期末試験に向けて学修する。

教科書

人体の構造と機能（１）解剖生理学、坂井建雄・岡田隆夫 編集、医学書院

参考書

解剖生理学(ナーシング・グラフィカ)、林正健二 編集、メディカ出版

成績評価の方法・基準

単位認定60点以上
授業中の小テストやレポート（40%）、期末試験（60%）で評価する。

課題等に対する
フィードバックの方法

授業内での小テストやレポートは、実施した次の回の授業で内容を解説する。

履修のポイント

自分だけの学習では正しい知識の理解が難しいので、講義に出席することが大切です。講義では話し（ストーリー）を聞くことに集中して下さい。

オフィス・アワー

月曜日～水曜日、金曜日（09：20～18：10）、10号館病理・解剖実習研究室

科目区分

専門基礎科目

当該授業科目の教育課程内での位置づけ

UK-R112

講義コード	10370001
講義名	人体の構造と機能III
(副題)	【教職必修】
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	後期
講義区分	演習
基準単位数	1
代表曜日	火曜日
代表時限	１時限
必修/選択	必修
実務経験のある教員の有無	無
実務経験のある教員の経歴と授業内容	
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 山科 章	指定なし
教員	煙山 健仁	指定なし

授業の概要と教育目標

看護では、各種疾患の病態を正しく把握するために非常に多くの知識が必要となり、正常な体の構造や機能を知ることが大変重要である。骨格、筋肉、各種の臓器、血管系や神経系、さらに感覚器や内分泌腺、などが、体のどこに存在し、どのような形で、それらがどのように統合されているか理解することが必要である。この様な体の構造に加え、看護では生きた人体を扱うので、絶えず働いている各種の臓器・組織の機能も知る必要がある。人体の構造と機能は人体についての知識の基礎であり、病気の理解や看護実践の基盤となる。
本科目は、全身および局所所見を、身体診察、心電図、画像診断などを通じて、みることにより、人体の構造と機能を理解することを目標とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

医療保健学部看護学科のディプロマ・ポリシーでは、「看護学の基礎となる、人体のしくみ、健康の諸側面、健康生活と社会との関係について理解していること」、「看護の基本精神・基礎技術を理解した上で、さまざまな健康レベル、あらゆる発達段階における科学的知識を修得していること」が求められており、人体の構造と機能の理解を通して、その目標達成に必要な知識を養う。

到達目標

人の日常的活動において、体の中で絶え間なく行われている生命活動が、具体的にどの臓器・組織でどの様に行われているかを理解でき、その理解に基づいて人間の日常的活動を説明できる。

授業計画

	担当者	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	山科	人体の構造と機能IIIを学ぶためのオリエンテーションと医学概	医学概論、診断推論をアクティブラーニングとして、インタラク	人体の構造と機能III、医学概論ともに初回なのでオリエンテーションが中心であり、予習の必要はない。復習45分配布資料を見直し、疑問点

	章	論として診断推論を学ぶ	ティブに行う。	をまとめたのち、ポストテストに回答する。疑問点が解決できない場合は、早めに質問する。
第2回	煙山健仁	心臓の電気現象と機械的現象(煙山)	講義は適宜、質問をしながらインタラクティブに行う。指名されたら、積極的に答える。	予習45分：教科書4章A、B、Cを読む。復習45分：配布資料を見直し、疑問点をまとめる。疑問点が解決できない場合は、早めに質問に来る。
第3回	山科章	心電図の原理・取り方・読み方(主な不整脈、肥大、虚血、梗塞、電解質異常)	講義の最初に前回のポストテストの解説を行い、理解を深める。講義は適宜、質問をしながらインタラクティブに行う。指名されたら、積極的に答える。	予習45分：教科書4章A、B、Cを読む。プレテストに回答して予習をする。復習45分：配布資料を見直し、疑問点をまとめたのち、ポストテストに回答する。疑問点が解決できない場合は、早めに質問する。
第4回	山科章	身体に起こる現象を看る（身体所見１） バイタルサイン、(意識、血圧、呼吸、脈拍、体温）から全身状態を考える。	講義の最初に前回のポストテストの解説を行い、理解を深める。講義は適宜、質問をしながらインタラクティブに行う。指名されたら、積極的に答える。	予習45分：教科書3、4、9章を読む。プレテストに回答して予習をする。復習45分：配布資料を見直し、疑問点をまとめたのち、ポストテストに回答する。疑問点が解決できない場合は、早めに質問する。
第5回	山科章	身体に起こる現象を看る（身体所見２） 全身の身体診察を手際よく5分で診ることを学び、全身状態を良好に把握し、病態を把握する	講義の最初に前回のポストテストの解説を行い、理解を深める。講義は適宜、質問をしながらインタラクティブに行う。指名されたら、積極的に答える。	プレテストに回答して予習をする。復習45分：配布資料を見直し、疑問点をまとめたのち、ポストテストに回答する。疑問点が解決できない場合は、早めに質問する。
第6回	山科章	身体に起こる現象を看る（身体所見３） 循環呼吸状態の身体診察を学習することにより、循環・呼吸系の構造と機能を理解する。	講義の最初に前回のポストテストの解説を行い、理解を深める。講義は適宜、質問をしながらインタラクティブに行う。指名されたら、積極的に答える。	予習45分：教科書3、4章を読む。プレテストに回答して予習をする。復習45分：配布資料を見直し、疑問点をまとめたのち、ポストテストに回答する。疑問点が解決できない場合は、早めに質問する。。
第7回	山科章	身体に起こる現象を看る（身体所見４） 脳神経・骨・筋の状態を評価する身体診察法を学習することにより、、脳神経系・筋骨格系の構造と機能を理解する。	講義の最初に前回のポストテストの解説を行い、理解を深める。講義は適宜、質問をしながらインタラクティブに行う。指名されたら、積極的に答える。	予習45分：教科書7、8章を読む。プレテストに回答して予習をする。復習45分：配布資料を見直し、疑問点をまとめたのち、ポストテストに回答する。疑問点が解決できない場合は、早めに質問する。
		身体に起こる現象を看る（身体		

第8回	山科章	所見５） 身体診察により、消化器系の状態を評価することにより、消化器系の構造と機能を理解する。	講義の最初に前回のポストテストの解説を行い、理解を深める。講義は適宜、質問をしながらインタラクティブに行う。指名されたら、積極的に答える。	予習45分：教科書2章を読む。プレテストに回答して予習をする。復習45分：配布資料を見直し、疑問点をまとめる。ポストテストに回答して予習をする。疑問点が解決できない場合は、早めに質問に来る。
第9回	山科章	身体に起こる現象を看る（身体所見６） 身体診察により感覚器系の状態を評価することにより、感覚器系の構造と機能を理解する。	講義の最初に前回のポストテストの解説を行い、理解を深める。講義は適宜、質問をしながらインタラクティブに行う。指名されたら、積極的に答える。	予習45分：教科書8章G、H、I、Jを読む。復習45分：配布資料を見直し、疑問点をまとめたのち、ポストテストに回答する。疑問点が解決できない場合は、早めに質問する。
第10回	山科章	身体に起こる現象を看る（身体所見６） 老化を評価する身体診察を学習	講義の最初に前回のポストテストの解説を行い、理解を深める。講義は適宜、質問をしながらインタラクティブに行う。指名されたら、積極的に答える。	予習45分：教科書10章Dを読む。プレテストに回答して予習をする。復習45分：配布資料を見直し、疑問点をまとめたのち、ポストテストに回答する。疑問点が解決できない場合は、早めに質問する。
第11回	山科章	画像でみる（1）単 純X線、CT、MRI	講義の最初に前回のポストテストの解説を行い、理解を深める。講義は適宜、質問をしながらインタラクティブに行う。指名されたら、積極的に答える。	予習は特に必要ない。復習45分：配布資料を見直し、疑問点をまとめたのち、ポストテストに回答する。疑問点が解決できない場合は、早めに質問する。
第12回	山科章	画像でみる（2）超音波	講義の最初に前回のポストテストの解説を行い、理解を深める。講義は適宜、質問をしながらインタラクティブに行う。指名されたら、積極的に答える。	プレテストに回答して予習をする。。復習45分：配布資料を見直し、疑問点をまとめたのち、ポストテストに回答する。疑問点が解決できない場合は、早めに質問する。
第13回	山科章	画像でみる（３） 核医学、PET	講義の最初に前回のポストテストの解説を行い、理解を深める。講義は適宜、質問をしながらインタラクティブに行う。指名されたら、積極的に答える。	プレテストに回答して予習をする。復習45分：配布資料を見直し、疑問点をまとめたのち、ポストテストに回答する。疑問点が解決できない場合は、早めに質問する。
第14回	山科章	画像でみる（４） 内視鏡(消化器、呼吸器)	講義の最初に前回のポストテストの解説を行い、理解を深める。講義は適宜、質問をしながらインタラクティブに行う。指名されたら、積極的に答える。	プレテストに回答して予習をする。予習45分：教科書2、3章を読む。復習45分：配布資料を見直し、疑問点をまとめたのち、ポストテストに回答する。疑問点が解決できない場合は、早めに質問する。
		画像でみる	講義の最初に前回のポストテストの解説を行	プレテストに回答して予習をする。予習45分：教科書4章Dを読む。復

第15回	山科章	（5） 脈管、血管内治療	い、理解を深める。講義は適宜、質問をしながらインタラクティブに行う。指名されたら、積極的に答える。	習45分：配布資料を見直し、疑問点をまとめたのち、ポストテストに回答する。疑問点が解決できない場合は、早めに質問する。

教科書

人体の構造と機能（1）解剖生理学、坂井建雄・岡田隆夫 編集、医学書院

参考書

解剖生理学(ナーシング・グラフィカ)、林正健二 編集、メディカ出版

成績評価の方法・基準

単位認定60点以上
授業中の小テストやプレテスト、ポストテスト（30%）、期末試験（70%）で評価する。

**課題等に対する
フィードバックの方法**

授業内での小テストとプレテストについては講義中に開設する。ポストテストは、実施した次の回の授業で内容を解説する。

履修のポイント

自分だけの学習では正しい知識の理解が難しいので、講義に出席することが大切です。プレテストポストテストで予習・復習をしっかりと行ってほしい。講義では話し（ストーリー）を聞くことに集中、講義中の質問について、全力で考えて、指名されたら発言して下さい。

オフィス・アワー

講義中以外の質問は、チャットでのやり取りを原則とする。必要により、次回の講義の時間中に説明する。

科目区分

専門基礎科目

当該授業科目の教育課程内での位置づけ

UK-R112

講義コード	10380001
講義名	人体の生化学
(副題)	
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	前期
講義区分	演習
基準単位数	1
代表曜日	木曜日
代表時限	４時限
必修/選択	必修
実務経験のある教員の有無	無
実務経験のある教員の経歴と授業内容	
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 榮 昭博	指定なし

授業の概要と教育目標

生体を構成する成分・化合物を理解するために、糖、脂質、タンパク質についてその化学を学びさらに消化吸収・代謝・排泄を学ぶ。また、代謝などを調節する内分泌や遺伝子とその働きも学ぶ。人体の構造と機能、特に各栄養素の働きを生化学的に理解することを目標としている。

卒業認定・学位授与の方針との関連

学位授与の方針に関連して、看護学の基礎となる、人体のしくみについて理解し、さらに、医療者として必要な理論を理解することを卒業認定の条件の一つとする。

到達目標

生体を構成する分子の構造・機能を理解する。また、各分子の代謝を理解する。さらに遺伝子・遺伝情報発現に関することを理解する。

授業計画

	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習と そのために必要な時間
第1回	生化学の概要:化学の基礎と生化学を概説する。また、国家試験における生化学の概要についても解説する。プリントを配布する。	配布したプリントの内容について質問し、その回答に対してコメントをする。	予習：教科書p4～20を読み理解する。 復習：授業中の内容を講義ノートにまとめる。講義ノートは最終回（15回）に提出する。予習復習を合わせて4時間以上学習する。
第2回	糖質の構造と性質:糖の化学、単糖・少糖・多糖の種類、特にグルコースの構造を理解し、糖の化学的性質との関連をみる。プリントを配布する。アクティブラーニング：本日学習する内容について質問し、その回答に対してコ	左記に示した学習内容について質問し、その回答に対してコメント	予習：教科書p50～66を読み理解する。 復習：授業中の内容を講義ノートにまとめる。予習復習を合わせて4時間以上学習する。

	メントをする。	をする。	
第3回	脂質の構造と性質:脂質の分類と定義、脂肪、複合脂質、ステロイド、エイコサノイドについて学ぶ。アクティブラーニング：本日学習する内容について質問し、その回答に対してコメントをする。	左記に示した学習内容について質問し、その回答に対してコメントをする。	予習：教科書p98～107を読み理解する。 復習：授業中の内容を講義ノートにまとめる。予習復習を合わせて4時間以上学習する。
第4回	脂質の構造と性質（2）:コレステロール・リポタンパク質ついて学ぶ。特にリポタンパク質の機能について理解する。アクティブラーニング：本日学習する内容について質問し、その回答に対してコメントをする。	左記に示した学習内容について質問し、その回答に対してコメントをする。	予習：教科書p107～110を読み理解する。 復習：授業中の内容を講義ノートにまとめる。予習復習を合わせて4時間以上学習する。。
第5回	蛋白質の構造と性質:タンパク質の分類、アミノ酸、たんぱく質の構造ついて学ぶ。	左記に示した学習内容について質問し、その回答に対してコメントをする。	予習：教科書p130～140を読み理解する。 復習：授業中の内容を講義ノートにまとめる。予習復習を合わせて4時間以上学習する。
第6回	核酸の構造と機能について学ぶ。特に、DNAにいて理解する。アクティブラーニング：本日学習する内容について質問し、その回答に対してコメントをする。	左記に示した学習内容について質問し、その回答に対してコメントをする。	予習：教科書p183～187を読み理解する。 復習：授業中の内容を講義ノートにまとめる。予習復習を合わせて4時間以上学習する。
第7回	水とミネラル:水の機能と役割、ミネラルの機能について学ぶ。	左記に示した学習内容について質問し、その回答に対してコメントをする。	予習：事前配布するプリントを読み理解する。 復習：授業中の内容を講義ノートにまとめる。予習復習を合わせて4時間以上学習する。
第8回	ビタミン（1）:脂溶性ビタミンを中心にその種類と生理作用について学ぶ。	左記に示した学習内容について質問し、その回答に対してコメントをする。	予習：教科書p39～43およびプリントを読み理解する。 復習：授業中の内容を講義ノートにまとめる。予習復習を合わせて4時間以上学習する。
第9回	ビタミン（2）:主に水溶性ビタミンの種類と生理作用について学ぶ。	左記に示した学習内容について質問し、その回答に対してコメントをする。	予習：教科書p39～44およびプリントを読み理解する。 復習：授業中の内容を講義ノートにまとめる。予習復習を合わせて4時間以上学習する。
第10回	ホルモンと生理活性物質I:ホルモンの定義、ホルモンの種類、作用を学ぶ。	左記に示した学習内容について質問し、その	予習：教科書p261～267およびプリントを読み理解する。 復習：授業中の内容を講義ノートにまとめる。予

		回答に対してコメントをする。	習復習を合わせて4時間以上学習する。
第11回	ホルモンと生理活性物質II:前回に続きホルモンを学び、サイトカインについても学ぶ。また、内分泌疾患の一部を学ぶ。	左記に示した学習内容について質問し、その回答に対してコメントをする。	予習：教科書p261～267およびプリントを読み理解する。復習：授業中の内容を講義ノートにまとめる。予習復習を合わせて4時間以上学習する。
第12回	糖代謝:グリコーゲンおよびグルコース代謝（解糖・TCAサイクル）などについて学ぶ。	左記に示した学習内容について質問し、その回答に対してコメントをする。	予習：教科書p68～96を読み理解する。 復習：授業中の内容を講義ノートにまとめる。予習復習を合わせて4時間以上学習する。
第13回	脂質代謝:脂質の消化吸収、脂肪酸・脂質の生体内の動向および代謝について学ぶ。	左記に示した学習内容について質問し、その回答に対してコメントをする。	予習：教科書p112～128を読み理解する。復習：授業中の内容を講義ノートにまとめる。予習復習を合わせて4時間以上学習する。
第14回	蛋白質代謝:蛋白質の消化吸収・アミノ酸の代謝について学ぶ。	左記に示した学習内容について質問し、その回答に対してコメントをする。	予習：教科書p142～154を読み理解する。復習：授業中の内容を講義ノートにまとめる。予習復習を合わせて4時間以上学習する。
第15回	遺伝情報とその発現: 遺伝子による複製・転写・翻訳および蛋白質合成について学ぶ。	左記に示した学習内容について質問し、その回答に対してコメントをする。	予習：教科書p194～198、214～228を読み理解する。復習：授業中の内容を講義ノートにまとめる。予習復習を合わせて4時間以上学習する。

教科書

『系統看護学講座 専門基礎２ 人体の構造と機能[2] 生化学』医学書院

参考書

配付プリント

成績評価の方法・基準

単位認定60点以上。定期試験91%、講義ノートの評価点9%

課題等に対する
フィードバックの方法

事前の学習と授業の内容について、講義ノートを作成し提出すること。講義ノートは点数化し、ノートにその旨を記して返却する（最終講義時）。

履修のポイント

化学の知識を必要とするので化学（特に有機化学）を復習しておくことが望ましい。

オフィス・アワー

授業開講日の１２：３０～１３：２０に１１号館３階第14研究室で行う。ただし、この時間帯以外でも講義・会議・出張等の校務がない場合行うことができることがある。
科目区分
専門基礎科目
当該授業科目の教育課程内での位置づけ
UK-R113

講義コード	10390001
講義名	生命倫理
(副題)	
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	前期
講義区分	演習
基準単位数	1
代表曜日	水曜日
代表時限	２時限
必修/選択	必修
実務経験のある教員の有無	無
実務経験のある教員の経歴と授業内容	
学年	2学年

担当教員

職種	氏名	所属
教 員	◎ 村上 隆夫	指定なし

授業の概要と教育目標

生命倫理学を倫理学の一分野として位置づけて、その成立から今日までの発展をその研究分野全般にわたって説明する。看護倫理も含めて生命倫理学についての基礎的な知識を獲得して、看護師国家試験に対応できるようにすることを目標とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

生命倫理学の研究分野全般にわたる概括的知識を習得することを通じて、医療者として必要な倫理と守るべき法令を理解して医療現場においてチーム医療の一員として活躍できる能力を獲得することを目ざしている。

到達目標

生命倫理学についての知見を看護実践において活用できるようにすること。そのための資格試験に備えられることを到達目標とする。

授業計画

	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習と そのために必要な時間
第1回	＜生命倫理学への導入＞ 伝統的な倫理学からの生命倫理学の形成について説明する。		講義内容について、主にインターネットで検索する（30～60分程度）
第2回	＜死生観の歴史的変化＞ 死生観の歴史的な変化を未開社会からキリスト教の成立まで辿る。		講義内容について、主にインターネットで検索する（30～60分程度）
第3回	＜近代哲学における生命と身体＞ 近代医学の成立をその生命観と身体観について説明する。		講義内容について、主にインターネットで検索する（30～60分程度）
第4回	＜死と葬送の歴史的変化＞ 西欧における葬送儀礼の変化を古代から臨床医学の成立まで辿る。		講義内容について、主にインターネットで検索する（30～60分程度）

第5回	＜身体所有と身体加工＞ 身体を所有する主体としての人格の形成と身体の加工技術の発展について説明する。		講義内容について、主にインターネットで検索する（30～60分程度）
第6回	＜脳死と臓器移植＞ 脳死問題と臓器移植問題についての倫理学的議論について説明する。		講義内容について、主にインターネットで検索する（30～60分程度）
第7回	＜インフォームド・コンセント＞ 医療におけるインフォームド・コンセントに関する倫理学的議論について説明する。		講義内容について、主にインターネットで検索する（30～60分程度）
第8回	＜妊娠中絶＞ 妊娠中絶問題および胚と胎児の取り扱いに関する倫理学的議論について説明する。		講義内容について、主にインターネットで検索する（30～60分程度）
第9回	＜安楽死と尊厳死＞ 終末期医療と延命処置の限界に関する倫理学的議論について説明する。		講義内容について、主にインターネットで検索する（30～60分程度）
第10回	＜生殖技術＞ 人工受精を含む生殖技術に関する倫理学的議論について説明する。		講義内容について、主にインターネットで検索する（30～60分程度）
第11回	＜医療専門家と患者＞ 医師・看護師など医療専門家と患者との関係に関する倫理学的議論について説明する。		講義内容について、主にインターネットで検索する（30～60分程度）
第12回	＜医療行為と正義＞ 医療資源の分配にあたっての正義の原理に関する倫理学的議論について説明する。		講義内容について、主にインターネットで検索する（30～60分程度）
第13回	＜自然との関係および動物との関係＞ 環境倫理学・動物倫理学と生命倫理学との関係について説明する。		講義内容について、主にインターネットで検索する（30～60分程度）
第14回	＜総括と展望＞ 西洋哲学における集団的な見方と個人的な見方について生命倫理学的に説明する。		講義内容について、主にインターネットで検索する（30～60分程度）
第15回	＜補足と討論＞ これまでの講義について補論を行い、さらに討論の時間を設ける。	講義内容についての意見と討論を求める。	講義内容について、主にインターネットで検索する（30～60分程度）

教科書

使用しない。講義の際にレジュメを配布する。

参考書

講義のなかで適宜指示する。

成績評価の方法・基準

単位認定60点以上。筆記試験100％評価とする。

課題等に対する
フィードバックの方法

評価は期末試験によって行い、原則答案の返却は行わない。要望があれば具体的に講評する。
履修のポイント
レジュメについてさらにノートを用いて補足してまとめることが必要である。授業後に1時間程度の資料検索を行うことが望ましい。
オフィス・アワー
授業日の授業開始前もしくは終了後に教室等で質問に応ずる。
科目区分
専門基礎科目
当該授業科目の教育課程内での位置づけ
UK-R130

講義コード	10400001
講義名	生命科学
(副題)	
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	前期
講義区分	講義
基準単位数	1
代表曜日	水曜日
代表時限	４時限
必修/選択	選択
実務経験のある教員の有無	無
実務経験のある教員の経歴と授業内容	
学年	4学年

担当教員

職種	氏名	所属
教 員	◎ 時田 昇臣	指定なし

授業の概要と教育目標

生命科学とは生物学を基本とした面と実社会での活動を通じた応用面から成り立っています。すなわち、ひとつには生命現象を遺伝子やタンパク質の分子レベルで捉えた生物学的分野です。もう一方は、医学や薬学、農学および工学などの応用面です。したがって生命科学ではこれらを総合的に取り扱う科学となります。
そのため本講では、まず地球上における生命誕生から進化の過程について地質年代による区分に従い生命体の出現や衰退あるいは滅亡の様相を概括します。そして現存する生命体が獲得した能力や機能について学びます。特に、地球環境に関わる放射線、紫外線および大気構成などと人の健康との関係性を学びます。これにより、生物細胞の維持や機能に密接なDNAやゲノム、生殖と発生や分化、代謝生理および免疫機能などについて理解します。
次いで、近年では人の健康に関わる食品とその機能について関心が高まっており、また、高齢化社会に対応した食事の在り方についても医療分野で注目されるようになってきました。そこで、人を対象とした生命科学分野において、世界的なレベルでの食材（食料）の生産と供給の実情を理解し、従来の食品に関わる栄養素の一次機能（栄養成分）に加え、二次機能（食事のおいしさ）や、三次機能（疾病予防や免疫機能など）について学びます。
以上により、生物学的視点からの生命科学を捉えるとともに、人の健康や医療においても生命科学の知識や技術が応用され、看護医療に深く関係していることを学びます。そして医療の問題点やその解決に対応できるようになることを目標とします。

卒業認定・学位授与の方針との関連

看護学科のディプロマ・ポリシーとの関連として、自立した専門職としての知識・技能・態度および考え方に関する総合能力を養うことを目指し、生命科学を通じて、豊かな人間性の育成、国際社会に貢献できる専門知識を修得することに努める。同時に、地域社会における保健・医療・福祉に貢献できる実践的職業人の育成を目指すものとする。

到達目標

１．生命の誕生と人類の進化について理解するとともに、地球環境の特性について説明できる。
２．自然生態系の構成要素を理解し、医療分野の実情を生態系モデルとして示すことができる。
３．生命維持に必要な有機物とその代謝の様相を理解し、人の健康維持や疾病予防について説明できる。
４．現代人の食習慣を理解し、食材に含まれる三次機能物質の作用や健康との関係を説明でき

る。

授業計画

	担当者	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	時田昇臣	地球の地質年代を辿りながら、生命の誕生と人類の進化の歴史について概観します。同時に、地球環境の変遷との生物の盛衰との関係を理解します。	アクティブラーニングとして、受講者相互の意見交換を通じて、内容の理解を深める。	予習90分/週：地球の地質年代について調べる。復習90分/週：配布された資料やノートを読み直して要点を理解する。
第2回	時田昇臣	地球環境の形成にはさまざまな植物（独立栄養植物）が関係していること学びます。また、植物が生産する物質が人を含めた動物（従属栄養生物）に果たす役割や生理的な作用を理解します。アクティブラーニングとして、以下の課題レポートに取り組む。（課題レポート：このような物質について自分で調べてみます。）	アクティブラーニングとして、指定の課題レポートに取り組む。	予習90分/週：光合成植物により作り出される有機物のうち、人の健康と関係する物質について調べる。復習90分/週：配布された資料やノートを読み直して要点を理解する。
第3回	時田昇臣	生物と無生物（環境）は相互に影響を与えながら、ある方向へと進んでいきます。この関係は生態系として捉えることができます。そこで生態系を構成する要因について学び、さまざまな生態系の特徴を理解します。	アクティブラーニングとして、受講者相互の意見交換を通じて、内容の理解を深める。	予習90分/週：生態系の構成要素について調べる。復習90分/週：配布された資料やノートを読み直して要点を理解する。
第4回	時田昇臣	上記の生態系について、生物相を人として捉えた場合、どのような生態系が描かれるでしょうか。人の生活を取巻く環境について学び、看護技術や医療情報がどのような位置づけにあるかを理解します。 アクティブラーニングとして、以下の課題レポートに取り組む。（課題レポート：看護学で扱われるさまざまな知識や技術が人の健康にどのように関わっているのか、図示します。）	アクティブラーニングとして、指定の課題レポートに取り組む。	予習90分/週：人や医療を中心とした看護体系について調べる。復習90分/週：配布された資料やノートを読み直して要点を理解する。
第5回	時田昇臣	生物が生命を維持し、次世代へと子孫を継承するためには、体外から有機物を取り込み、生命活動を営む必要があります。ここでは哺乳類を対象として摂取する有機物の特徴を学び、栄養成分の消化と吸収について種による違いを比較して理解します。	アクティブラーニングとして、受講者相互の意見交換を通じて、内容の理解を深める。	予習90分/週：人や動物の有機物代謝について調べる。復習90分/週：配布された資料やノートを読み直して要点を理解する。
第6回	時田昇	現代日本人の食習慣はどのようになっているでしょうか。食を取巻く環境について学びます。特に、映像資料により世界の食料生産や消費について理解します。 アクティブラーニングとして、以下の課	アクティブラーニングとして、指定の課題レ	予習90分/週：自分の食習慣の特徴について整理する。復習90分/週：配布された資料やノートを読み

	臣	題レポートに取り組む。（課題レポート：映像資料で紹介された内容を整理し、感想をまとめます。）	ポートに取り組む。	直して要点を理解する。
第7回	時田昇臣	人の食生活を取巻く環境について、近年では「三次栄養」として健康増進や成人病の予防などへの関心が高まっています。そこで、食の三次機能とは何かを学びます。また三次機能をもたらす食材について具体的に理解します。	アクティブラーニングとして、受講者相互の意見交換を通じて、内容の理解を深める。	予習90分/週：食品の機能性について調べる。復習90分/週：配布された資料やノートを読み直して要点を理解する。
第8回	時田昇臣	食材がもたらす「おいしさや食の楽しみ」は二次機能と呼ばれます。また「免疫力の改善、疾病予防」などの健康に関わる作用は三次機能と位置づけられます。そこで自己の食習慣を参考にして食材の機能について比較し、新たな魅力とその活用を学び、食材が人の生命活動に有用であることを理解します。 （課題レポート：人の医療分野へのジビエの利用性についてまとめます。）	アクティブラーニングとして、受講者相互に意見交換するとともに、指定の課題レポートに取り組む。	予習90分/週：人の看護や医療と食品の機能性との関係について調べる。復習90分/週：配布された資料やノートを読み直して要点を理解する。

教科書

特に指定なし。授業ごとに資料を配布します。

参考書

特に指定なし。

成績評価の方法・基準

単位認定60点以上。授業の予習(10%)、復習(10%)、授業への参加度と質疑応答への意欲度(20%)、試験・レポートの成績(60%)を総合して評価します。

課題等に対するフィードバックの方法

授業時にあっては質問等に対応して回答します。また、関連事項の具体的な情報を必要とする場合は、できるだけ翌週の授業時に対応します。
課題レポートについては出題の趣旨、記述する内容、まとめ方等について、あらかじめ説明します。さらに理解を深めるために関連する資料についても紹介します。

履修のポイント

授業内容についてノートに整理し、不明な点については質問したり、自己学習により関連の情報を理解する。課題レポートの作成については、関係する分野の情報を自分で調べ、その内容についても記述する。

オフィス・アワー

非常勤講師のため設定しない。質問等については要点をメモ書きし、教務係に連絡して下さい。

科目区分

専門基礎科目

当該授業科目の教育課程内での位置づけ

UK-C170

講義コード	10410001
講義名	疾病の成り立ち
(副題)	
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	後期
講義区分	演習
基準単位数	1
代表曜日	月曜日
代表時限	２時限
必修/選択	必修
実務経験のある教員の有無	有
実務経験のある教員の経歴と授業内容	一般市中病院と大学病院で内科医として40年間にわたって診療に携わった経験を活かして、疾病の成り立ちと臨床背景について学生とインターアクティブに講義を行う。
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 山科 章	指定なし

授業の概要と教育目標

疾病の成り立ち（病理学Pathology）とは病気の本質について理解・研究する医学の一分野であり、病気の過程、つまり病気の原因、発生の仕組み、経過、転帰といった一連の過程を調べる事により、病気の本態を研究する学問です。したがって、病理学は解剖学、細胞・分子生物学、生理学、生化学などの基礎の上に存在し、他方では臨床医学と密接な関係を持っています。この意味で病理学は医学の一分野と言うより、総合医学とみなすべきであり、臨床医学における診断や治療のみならず、看護学の実践も病理学を基礎として行われています。つまり、皆さんが今後、看護学を学び、実践していく上で大変重要であり、基礎となる学問です。
看護師国家試験に高頻度に出現するキーワードも含めて解説・討論します。また、アクティブラーニングを導入し、事前に課題を設定して、講義中に発表（プレゼンテーション）してもらいます。発表後に質疑応答を行うアクティブラーニングの形をとります。講義中も頻回に質問しますので、積極的に回答するインターアクティブな講義をします。遠慮せず、積極的に参加し、学びの機会を増やしましょう。

卒業認定・学位授与の方針との関連

医療保健学部看護学科の目標である「自立した専門職としての知識・技能・態度及び考え方の総合的能力を身につけた人材」「地域社会及び国際社会に貢献できる専門的職業人」「地域社会の保健・医療・福祉環境の中で力を発揮できる実践的職業人」をめざして、そのディプロマ・ポリシーとしての「看護学の基礎となる、人体のしくみ、健康の諸側面、健康生活と社会との関係を理解」できることが目標です。具体的には疾患の原因・成因、病態を理解し、考えることができ、さらにそれを自分の言葉で他人に分かりやすく説明できることとします。
看護師として、患者さんに適切な看護業務を行えるように、疾患の基礎および臨床的事項を基礎知識として習得し、それを実際の現場で応用する基盤を身につけます。

到達目標

１．疾患の原因・成因、病態の概念を理解して、説明できるようにする。
２．疾患に関する専門用語の意味を理解して、習得し、説明できるようにする。
３．疾患の成り立ちについて興味を持ち、その予防・治療について、看護の面から自ら考える習慣を身に付ける。
４．将来、臨床の現場で問題に直面した時、何が起こっているのか系統だって病態を考える基礎

となる能力を身につける。

授業計画

	担当者	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	山科章	病理学の歴史、病理学の概要、看護と病理学、病気の原因、医療における病理学の役割 初回は以上の項目を説明し、相互討論する	初回なので、今後行う講義、プレテストポストテストなどについて説明をする。講義も学生との間でインターアクティブに行う。質問に対し、集中力をもって積極的に対応する。 課題： １．看護師が病理学を学ぶ意義を説明する。 ２．疾病には内因と外因があり、それぞれの違いを説明できる。 ３．疾病の原因となる五つのおもな病態を説明する。 ４．病理診断の方法を理解する	予習30分。教科書１章、附章、を読みプレテストに回答する。 復習30分。ポストテストに回答する。教科書、講義ハンドアウト、自身のメモ、ノートを読み、講義について復習する。
第2回	山科章	細胞・組織の損傷と適応、細胞の死、細胞と組織の変性、組織の修復と創傷治癒	課題： １．細胞に損傷を起こす原因についてあげることが出来る。 ２．細胞の死について説明し、２種類の細胞の死があること、およびその違いについて説明できる。 ３．細胞の適応現象のうち、萎縮、肥大と過形成、仮性について説明できる。 ４．組織の修復における肉芽組織と瘢痕組織について説明できる ５．創傷の一次治癒と二次治癒の違いについて説明できる。	予習30分。教科書２章を読みプレテストに回答する。 復習30分。ポストテストに回答する。教科書、講義ハンドアウト、自身のメモ、ノートを読み、講義について復習する。
第3回	山科章	循環障害、浮腫、充血とうっ血、出血、血栓と塞栓、虚血と梗塞、	課題： １．循環障害を起こす原因と病態にすいて説明する。 ２．体液の分布、浮腫（むくみ）の原因について説明する。 ３．滲出液と漏出液の違いを説明する。 ４．血栓と塞栓の違いを説明する。 ５．虚血と梗塞の違いを説明する。	予習30分。教科書３章を読みプレテストに回答する。 復習30分。ポストテストに回答する。教科書、講義ハンドアウト、自身のメモ、ノートを読み、講義について復習する。
			課題： １．炎症の局所でおこる4徴候を説明する。 ２．炎症細胞と炎症メディ	予習30分。教科書４章を読みプレテストに回答す

第4回	山科章	炎症とは、炎症の各型、免疫と免疫不全	エータについて説明できる。 ３．免疫に関与する細胞（B細胞とT細胞）の違いを説明できる。 ４．液性免疫と細胞性免疫について説明する。 ５．免疫不全症で起こりやすい感染症について説明する。	る。 復習30分。ポストテストに回答する。教科書、講義ハンドアウト、自身のメモ、ノートを読み、講義について復習する。
第5回	山科章	アレルギーと自己免疫疾患、 移植と再生医療	課題： １．アレルギーのI～IV型について説明する。 ２．アレルゲンについて説明する。 ３．アナフィラキシーショックについて説明する。 ４．自己免疫疾患（自己免疫病）のメカニズムと疾患ごとの病態を説明する。 ４．移植と移植後にレシピエントにおこるおもな問題点について説明する。 ５．再生医療の概要について説明する。	予習30分。教科書４章後半を読みプレテストに回答する。 復習30分。ポストテストに回答する。教科書、講義ハンドアウト、自身のメモ、ノートを読み、講義について復習する。
第6回	山科章	糖代謝・脂質代謝障害、アミノ酸・タンパク質代謝障害、核酸代謝障害の障害	課題： １．I型糖尿病II型糖尿病の違いを説明する。 ２．家族性高脂血症の病態について説明できる。 ３．アミノ酸代謝障害の病態について説明できる。 ４．高尿酸血症の成因と痛風の病態について説明する。	予習30分。教科書６章を読みプレテストに回答する。 復習30分。ポストテストに回答する。教科書、講義ハンドアウト、自身のメモ、ノートを読み、講義について復習する。
第7回	山科章	腫瘍の定義と分類、腫瘍の発生病理	課題： １．良性腫瘍と悪性腫瘍の違いを説明する。 ２上皮性腫瘍と非上皮性腫瘍の違いを説明する。 ３．前がん病変と境界病変について説明できる。 ４．腫瘍の発生因子としての外因と内因の違いを説明する。	予習30分。教科書9章を読みプレテストに回答する。 復習30分。ポストテストに回答する。教科書、講義ハンドアウト、自身のメモ、ノートを読み、講義について復習する。
第8回	山科章	腫瘍統計（疫学）、悪性腫瘍の広がりと影響、悪性腫瘍の診断、	課題： １．悪性腫瘍の組織診断について説明する。 ２．悪性腫瘍の広がり方と個体への影響を説明する。 ３．死因と罹患率について頻度の多いがんついて男女別に説明する。 4．この10年間で増加したがん、減少したがんについて説	予習30分。教科書9章を読みプレテストに回答する。 復習30分。ポストテストに回答する。教科書、講義ハンドアウト、自身のメモ、ノートを読み、講 予習30分。教科書７章を再度読みプレテストに回答する。 復習30分。ポストテストに回答する。教科書、講義ハンドアウト、自身の

			明する。	メモ、ノートを読み、講義について復習する。義について復習する。
第9回	山科章	おもな悪性腫瘍（肺がん、消化器がん、泌尿・生殖器系のがん、乳がん）の病態、	課題： １．頻度の多い悪性腫瘍の病態について説明する。 について説明する。	予習30分。教科書9,12，13，14章を読みプレテストに回答する。 復習30分。ポストテストに回答する。教科書、講義ハンドアウト、自身のメモ、ノートを読み、講義について復習する。
第10回	山科章	遺伝の生物学、遺伝子の異常と疾患、先天異常・奇形	課題： １．DNAとタンパク質合成について説明する。 ２．体細胞分裂と減数分裂の違いについて説明できる。 ３．遺伝子異常の概要について説明する。 ４．先天異常・先天奇形の発生の機序について説明できる。 ４．染色体異常の概要について説明する。 ５．胎児期遺伝子診断の意義とそのリスクを説明する。	予習30分。教科書８章を読みプレテストに回答する。 復習30分。ポストテストに回答する。教科書、講義ハンドアウト、自身のメモ、ノートを読み、講義について復習する。
第11回	山科章	内分泌、生殖器系、腎臓の疾患	課題： １．ホルモンの調節及び代表的な内分泌疾患について説明する。 ２．生殖器系の主な疾患の病態について説明する。 ３．腎臓の機能および機能異常について説明する。	予習30分。教科書14，15章を読みプレテストに回答する。 復習30分。ポストテストに回答する。教科書、講義ハンドアウト、自身のメモ、ノートを読み、講義について復習する。
第12回	山科章	動脈硬化と疾患、化学的因子とくに喫煙による健康障害	課題： １．動脈硬化の危険因子、発生機序について説明できる。 ２．動脈硬化の病態と疾病（とくに脳心血管疾患）、その臨床症状について説明する。 ３．喫煙の害について説明する	予習30分。教科書10，16章を読みプレテストに回答する。 復習30分。ポストテストに回答する。教科書、講義ハンドアウト、自身のメモ、ノートを読み、講義について復習する。
第13回	山科章	感染と宿主の防御機構、感染のメカニズム	課題： １．主な感染経路について説明する。 ２．気道の感染防御機構について説明する。 ３．日和見感染、菌交代症について説明する。 ４．母子感染性について説明する。 ５．院内感染症について説明する。	予習30分。教科書５章を読みプレテストに回答する。 復習30分。ポストテストに回答する。教科書、講義ハンドアウト、自身のメモ、ノートを読み、講義について復習する。
			課題：	

第14回	山科章	個体の老化と老年症候群、フレイル、サルコペニア	１．加齢に伴っておこる体の変化について説明する。 ２．老年症候群について説明できる。 ３．超高齢社会の問題点について説明する。 ４．フレイル、サルコペニアについて説明できる	予習30分。教科書７章を読みプレテストに回答する。 復習30分。ポストテストに回答する。教科書、講義ハンドアウト、自身のメモ、ノートを読み、講義について復習する。
第15回	山科章	個体の死と終末期医療	課題： １．人の死を判定する死の３徴候について説明する。 ２．脳死の判定基準について説明する。 ３．DNAR(蘇生措置拒否）について説明できる。 ４．死体の解剖にはどのような種類があり、それぞれの目的について説明できる？	予習30分。教科書７章を読みプレテストに回答する。 復習30分。ポストテストに回答する。教科書、講義ハンドアウト、自身のメモ、ノートを読み、講義について復習する。

教科書

大橋 健一・他『≪系統看護学講座 専門基礎分野≫疾病のなりたちと回復の促進[1]病理学』(医学書院)

参考書

医療系の病理学教科書ないしは参考書。臓器別の臨床系教科書ないしは参考書。
（例）ロビンス&コトラン 鷹橋浩幸、羽野 寛、白石泰三、福田国彦監訳「病理学アトラス」エルゼビア・ジャパン

成績評価の方法・基準

単位認定：60点以上。
筆記試験 80%、プレテスト・ポストテストの成績(全15回)20%。
加えて、授業中の態度も評価する。
プレテスト・ポストテストの回答が80%未満の場合は期末試験の受験資格は与えない。

課題等に対する
フィードバックの方法

毎回の講義前に、教科書を調べながらプレテストに回答し、講義に準備する。このことによって、疾患の理解、基礎知識の習得を促進する。
講義終了後、ポストテストを受け、講義の内容を見直し、理解を深める。

履修のポイント

予習・復習の積み重ねが知識を身につける力になり、試験対策にもつながる。範囲が広く、また理解が難しい点も多いので、事前に教科書を読み込み、プレテストに回答したうえで、積極的に授業に参加すること。また、授業の後にも、ポストテストに回答しながら、疑問を持った個所を自分で調べるのも効果的である。
一度の読み、聞きでは理解できなくても、繰り返すことで理解できることが多々あるので、病気の成り立ちのメカニズムにこだわって、習得すること。

オフィス・アワー

チャットでの質疑応答を原則とする。必要に応じて、次回の講義中に説明する。

科目区分

専門基礎科目

当該授業科目の教育課程内での位置づけ

UK-R122

講義コード	10420001
講義名	感染と防御
(副題)	【教職必修】
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	後期
講義区分	演習
基準単位数	1
代表曜日	月曜日
代表時限	１時限
必修/選択	必修
実務経験のある教員の有無	無
実務経験のある教員の経歴と授業内容	
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 煙山 健仁	指定なし
教員	山科 章	指定なし

授業の概要と教育目標

微生物としての細菌、真菌、原虫、ウイルスなどについて、その一般的性状と、各種微生物によって引き起こされる代表的な感染症について学習する。また、感染防御の基礎となる免疫機構について講義し、感染予防のための滅菌、消毒、予防接種や、感染症治療のための化学療法などについての概要を学習する。
本科目は、病原微生物の種類と特徴、感染症とはどのようなものか、感染症予防などを理解することを目標とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

医療保健学部看護学科のディプロマ・ポリシーでは、「看護学の基礎となる、人体のしくみ、健康の諸側面、健康生活と社会との関係について理解していること」、「看護の基本精神・基礎技術を理解した上で、さまざまな健康レベル、あらゆる発達段階における科学的知識を修得していること」が求められており、感染と防御の理解を通して、その目標達成に必要な知識を養う。

到達目標

病原微生物の種類と特徴、感染症とはどのようなものかが理解でき、実際の看護に役立つ感染症予防方法の基礎知識を説明できる。

授業計画

	担当者	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	煙山健仁	【微生物と人間】微生物とはなにか、微生物の発見と歩み 【細菌の性質】細菌の形態と構造、細菌の増殖、		予習45分：教科書1、2章を読む。復習45分：配布資料を見直し、疑問点をまとめる。疑問点が解決できない場合は、早めに質問に来る。

		遺伝、病原性		
第2回	煙山健仁	【真菌の性質】 真菌の形態と構造 【原虫の性質】 原虫の形態と構造		予習45分：教科書3、4章を読む。復習45分：配布資料を見直し、疑問点をまとめる。疑問点が解決できない場合は、早めに質問に来る。
第3回	煙山健仁	【ウイルスの性質】 ウイルスの特徴、構造、分類、増殖		予習45分：教科書5章を読む。復習45分：配布資料を見直し、疑問点をまとめる。疑問点が解決できない場合は、早めに質問に来る。
第4回	煙山健仁	【免疫１】 免疫とは、免疫に関与する細胞と組織		予習45分：教科書7章1、2を読む。復習45分：配布資料を見直し、疑問点をまとめる。疑問点が解決できない場合は、早めに質問に来る。
第5回	煙山健仁	【免疫２】 抗体の構造と機能、抗体産生、補体、サイトカイン		予習45分：教科書7章3、4、5を読む。復習45分：配布資料を見直し、疑問点をまとめる。疑問点が解決できない場合は、早めに質問に来る。
第6回	煙山健仁	【免疫３】 細胞性免疫と液性免疫、アレルギー	免疫と予防接種の関係についてグループで検討し、検討結果を個人ごとにレポートにまとめる。	予習45分：教科書7章4、5、6を読む。復習45分：配布資料を見直し、疑問点をまとめる。疑問点が解決できない場合は、早めに質問に来る。
第7回	煙山健仁	【細菌感染症１】 グラム陽性球菌、グラム陰性桿菌と球菌、グラム陽性桿菌、の各感染症		予習45分：教科書9章を読む。復習45分：配布資料を見直し、疑問点をまとめる。疑問点が解決できない場合は、早めに質問に来る。
第8回	煙山健仁	【細菌感染症２】 らせん菌、抗酸菌、マイコプラズマ、リケッチア、クラミジア、の各感染症		予習45分：教科書9章を読む。復習45分：配布資料を見直し、疑問点をまとめる。疑問点が解決できない場合は、早めに質問に来る。
第9回	煙山健仁	【真菌感染症】各感染症 【原虫感染症】各感染症		予習45分：教科書10、11章を読む。復習45分：配布資料を見直し、疑問点をまとめる。疑問点が解決できない場合は、早めに質問に来る。
第10回	煙山健仁	【ウイルス感染症１】 DNAウイルス、RNAウイルス、の各感染症		予習45分：教科書12章を読む。復習45分：配布資料を見直し、疑問点をまとめる。疑問点が解決できない場合は、早めに質問に来る。
第11回	煙山健仁	【ウイルス感染症２】【プリオン】 肝炎ウイルス、プリオン、などの各感染症	院内感染対策についてグループで検討し、検討結果を個人ごとにレポートにまとめる。	予習45分：教科書12、13章を読む。復習45分：配布資料を見直し、疑問点をまとめる。疑問点が解決できない場合は、早めに質問に来る。
12	山	新型コロナ感染症（COVID-19）、新型コロナウィルス		予習45分。図書やインターネットで新型コロナウイルス（COVID-19）、ワクチン

第　回	科章	感染症ワクチン、集団免疫、新興感染症、予防接種（ワクチン）		について調べ、プレテストに回答する。復習45分。ポストテストに回答する。教科書、講義ハンドアウト、自身のメモ、ノートを読み、講義について復習する。
第13回	山科章	【感染の予防】消毒と滅菌、診断、治療、院内感染、耐性菌、日和見感染		予習45分。教科書6，8章を読みプレテストに回答する。 復習45分。ポストテストに回答する。教科書、講義ハンドアウト、自身のメモ、ノートを読み、講義について復習する。
第14回	山科章	【敗血症】【感染性心内膜炎】【性感染症】		予習45分：これまでの配布資料を整理し、敗血症、感染性心内膜炎、性感染症についてまとめ、プレテストに回答する。 復習45分：ポストテストに回答する。教科書、講義ハンドアウト、自身のメモ、ノートを読み、講義について復習する。
第15回	煙山健仁	感染と防御のまとめ		予習45分：これまでの配布資料を整理する。復習45分：まとめを聞いて、疑問点を再度まとめる。予習とは別に期末試験に向けて学修する。

教科書

微生物学、西條政幸 著、サイオ出版

参考書

わかる！身につく！病原体・感染・免疫、藤本秀士 編著、南山堂

成績評価の方法・基準

単位認定60点以上
授業中の小テストやレポート（40%）、期末試験（60%）で評価する。
第12，13，14回の講義についてはプレテスト・ポストテストの回答率を評価に加える。回答のない場合は講義への出席と評価しない。

課題等に対するフィードバックの方法

授業内での小テストやレポートは、実施した次の回の授業で内容を解説する。

履修のポイント

自分だけの学習では正しい知識の理解が難しいので、講義に出席することが大切です。
講義では話し（ストーリー）を聞くことに集中して下さい。

オフィス・アワー

月曜日～水曜日、金曜日（09：20～18：10）、10号館病理・解剖実習研究室

科目区分

専門基礎科目

当該授業科目の教育課程内での位置づけ

UK-R141

講義コード	10430001
講義名	臨床検査
(副題)	
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	後期
講義区分	演習
基準単位数	1
代表曜日	金曜日
代表時限	１時限
必修/選択	必修
実務経験のある教員の有無	有
実務経験のある教員の経歴と授業内容	医療現場における、37年間の臨床監査技師としての実務経験から得たノウハウを活かし、医療人として共通の専門分野である臨床検査について解説する。
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教 員	◎ 立崎 國男	指定なし

授業の概要と教育目標

病気に悩む人々やその他の人々の健康を増進するには、各種の医療専門職が理念及び知識を共有し対応することが重要である。例えば、医療現場では臨床討論（カンファレンス）が行われ、医療専門職が話し合って患者個々に最適の医療を行う計画が立てられる。こうした討論をスムースに行うには医療専門職すべてが共通の言語を使って患者の治療方針、治療効果、などについて話し合わなくてはならない。その共通言語の一つが臨床検査であることを理解していく。
臨床検査の基礎知識を学習することを目的とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

医療保健学部看護学科のディプロマ・ポリシーとの関連として、「人間に対して、諸側面から理解」すること、「人体のしくみ、健康の諸側面」「医療者として必要な倫理」を理解することを目指し、人間の健康の保持・増進・疾病の予防の側面から尊厳・生きる権利について学ぶ。

到達目標

臨床検査の基礎知識について、説明することができる。

授業計画

	担当者	授業内容と方法、課題	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	立崎國男	臨床検査の役割・種類・目的について	教科書第1章を読む 予習・復習各60分
	立崎		教科書第1章を

第2回	國男	臨床検査の評価・変動・測定誤差	読む 予習・復習各60分
第3回	立崎國男	検査の流れ・準備・説明と注意	教科書第2章を読む 予習・復習各60分
第4回	立崎國男	検体の採取法・保存・移送法・危険とその防止・簡易迅速検査の実施・介助・検査結果の取り扱い	教科書第2章を読む 予習・復習各60分
第5回	立崎國男	尿検査・便検査・体内貯留液・髄液・間接液他	教科書第3章を読む 予習・復習各60分
第6回	立崎國男	血液検査・出血凝固・溶血性貧血の検査・骨髄検査	教科書第4章を読む 予習・復習各60分
第7回	立崎國男	血液一般検査の概要について (各血球成分・白血球分類・凝固因子について)	教科書第4章を読む 予習・復習各60分
第8回	立崎國男	血清酵素の検査・糖代謝の検査・脂質代謝の検査・胆汁排泄関連物質の検査・窒素化合物の検査	教科書第5章を読む 予習・復習各60分
第9回	立崎國男	骨代謝関連物質の検査・腎機能の検査・水電解質の検査・血液ガス分析・鉄代謝関連物質・銅代謝関連物質検査・ビタミンの検査・血中薬物濃度の検査	教科書第5章を読む 予習・復習各60分
第10回	立崎國男	炎症マーカー・液性免疫・細胞性免疫・自己抗体・アレルギー検査	教科書第6章を読む 予習・復習各60分
第11回	立崎國男	免疫学的妊娠反応・腫瘍マーカー・輸血	教科書第6章を読む 予習・復習各60分
第12回	立崎國男	下垂体前葉ホルモン・下垂体後葉ホルモン・甲状腺ホルモン	教科書第7章を読む 予習・復習各60分

第13回	立崎國男	感染症の診断と検査・各種病原体と検査	教科書第8章を読む 予習・復習各60分
第14回	立崎國男	生理検査・画像検査	教科書第10章を読む 予習・復習各60分
第15回	立崎國男	総括・細胞診・病理組織検査・剖検診断	教科書第9章を読む 予習・復習各60分

教科書

『系統看護学講座 別巻 臨床検査』 第7版（医学書院） 2014,1,15発行 ISBN 978-4-260-01803-6

参考書

特に指定しない。

成績評価の方法・基準

単位認定60点以上（試験100％）

**課題等に対する
フィードバックの方法**

授業内で中間と後半のまとめを行い、前半・後半の重要点を解説する。配付資料と教科書をまとめ、理解に役立てる。

履修のポイント

プレゼン資料とスライドにてポイントを説明する。
また、授業の中間、最後に期末試験対応として総まとめを行う。

オフィス・アワー

(授業日のみ)授業前もしくは終了後に教室にて質問等に応じます。

科目区分

専門基礎科目

当該授業科目の教育課程内での位置づけ

UK-R124

講義コード	10440001
講義名	栄養学
(副題)	【教職必修】
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	前期
講義区分	演習
基準単位数	1
代表曜日	水曜日
代表時限	３時限
必修/選択	必修
実務経験のある教員の有無	無
実務経験のある教員の経歴と授業内容	
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 田端 佑規	指定なし

授業の概要と教育目標

栄養素は動物が活動するためのエネルギー源となるだけでなく、様々な生理機能を有しており各ライフステージおよび生活スタイル、心身の状態によって必要とされる量が異なる。そこで本講義の前半では各種栄養素の代謝や生体機能との関連について学ぶ。後半ではそれらの知識を基に対象者に適した栄養アセスメント、栄養ケアの方法について学ぶ。

卒業認定・学位授与の方針との関連

医療保健学部看護学科のディプロマポリシーとの関連として、「2.看護学の基礎となる、人体のしくみ、健康の諸側面、健康生活と社会との関係について、理解している。さらに、医療者として必要な倫理、守るべき法令を理解し、それに沿って行動できる。」に基づき下記を中心に医療従事者として必要な栄養マネジメント能力を習得することを認定要件とする。
①看護学の基礎となる人体のしくみと健康について理解する
②栄養素の代謝と機能について説明できるようになる
③栄養アセスメント、栄養ケアについての知識を習得する

到達目標

栄養学の知識を習得し、食と健康の関連について深く理解する。さらに講義を通じて対象者の栄養アセスメント、栄養マネジメントの実戦能力を習得する。

授業計画

	担当者	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	田端佑規	栄養学を学ぶということ:人間栄養学、栄養と栄養素、栄養学の歴史について学ぶ。	左記の内容について学生と質疑応答を行う。	教科書ｐ1～11を読み理解すること。予習復習の自己学習時間を1時間以上行うこと。
			講義冒頭に前回学習範囲につい	教科書ｐ12～16を読

第2回	田端佑規	看護と栄養:食事における看護師の役割、経口摂取と栄養補給、食欲を低下させる原因他について学習する。	ての小テストを行い、解説を実施する。 左記の内容について学生と質疑応答を行う。	み理解すること。予習復習の自己学習時間を1時間以上行うこと。
第3回	田端佑規	栄養素のはたらき（1）:糖、脂質について学習する。	講義冒頭に前回学習範囲についての小テストを行い、解説を実施する。 左記の内容について学生と質疑応答を行う。	教科書ｐ18～23を読み理解すること。 予習復習の自己学習時間を1時間以上行うこと。
第4回	田端佑規	栄養素のはたらき（2）:たんぱく質について学習する。	講義冒頭に前回学習範囲についての小テストを行い、解説を実施する。 左記の内容について学生と質疑応答を行う。	教科書ｐ23～27を読み理解すること。予習復習の自己学習時間を1時間以上行うこと。
第5回	田端佑規	栄養素のはたらき（3）:ビタミンについて学習する。	講義冒頭に前回学習範囲についての小テストを行い、解説を実施する。 左記の内容について学生と質疑応答を行う。	教科書ｐ27～32を読み理解すること。予習復習の自己学習時間を1時間以上行うこと。
第6回	田端佑規	栄養素のはたらき（4）:ミネラルについて学習する。	講義冒頭に前回学習範囲についての小テストを行い、解説を実施する。 左記の内容について学生と質疑応答を行う。	教科書ｐ32～43を読み理解すること。予習復習の自己学習時間を1時間以上行うこと。
第7回	田端佑規	栄養素の消化吸収:消化器・消化の過程および吸収について学ぶ	講義冒頭に前回学習範囲についての小テストを行い、解説を実施する。 左記の内容について学生と質疑応答を行う。	教科書ｐ46～72を読み理解すること。 予習復習の自己学習時間を1時間以上行うこと。
第8回	田端佑規	エネルギー代謝:エネルギーの出納、呼吸商、エネルギー代謝の測定法、エネルギー消費量、安静時代謝量、基礎代謝量、活動時の代謝量について学習する	講義冒頭に前回学習範囲についての小テストを行い、解説を実施する。 左記の内容について学生と質疑応答を行う。	教科書ｐ74～90を読み理解すること。 予習復習の自己学習時間を1時間以上行うこと。
			講義冒頭に前回	

第9回	田端佑規	食物繊維と水:食物繊維の機能、水の機能について学ぶ	学習範囲についての小テストを行い、解説を実施する。 左記の内容について学生と質疑応答を行う。	教科書ｐ40～41を読み理解すること。 予習復習の自己学習時間を1時間以上行うこと。
第10回	田端佑規	栄養ケア・マネジメント: 医療や保健における栄養ケア・マネジメントの流れ	講義冒頭に前回学習範囲についての小テストを行い、解説を実施する。 左記の内容について学生と質疑応答を行う。	教科書ｐ110～126を読み理解すること。 予習復習の自己学習時間を1時間以上行うこと。
第11回	田端佑規	栄養状態の判定と評価（1）: 栄養アセスメント、栄養状態の評価判定法を学習する	講義冒頭に前回学習範囲についての小テストを行い、解説を実施する。 左記の内容について学生と質疑応答を行う。	教科書ｐ132～150を読み理解すること。 予習復習の自己学習時間を1時間以上行うこと。
第12回	田端佑規	栄養状態の判定と評価（2）： 臨床検査データに基づく評価判定	講義冒頭に前回学習範囲についての小テストを行い、解説を実施する。 左記の内容について学生と質疑応答を行う。	教科書ｐ132～150を読み理解すること。 予習復習の自己学習時間を1時間以上行うこと。
第13回	田端佑規	ライフステージと栄養（1）: 妊娠期、授乳期の生理的特徴と栄養管理について	講義冒頭に前回学習範囲についての小テストを行い、解説を実施する。 左記の内容について学生と質疑応答を行う。	教科書ｐ164～168を読み理解すること。 予習復習の自己学習時間を1時間以上行うこと。
第14回	田端佑規	ライフステージと栄養（2）: 高齢期の生理的特徴と栄養管理について	講義冒頭に前回学習範囲についての小テストを行い、解説を実施する。 左記の内容について学生と質疑応答を行う。	教科書ｐ175～183を読み理解すること。 予習復習の自己学習時間を1時間以上行うこと。
第15回	田端佑規	ライフステージと栄養（3）： その他のライフステージの栄養について まとめ	講義冒頭に前回学習範囲についての小テストを行い、解説を実施する。 左記の内容について学生と質疑応答を行う。	教科書第8章の該当箇所を読み理解すること。 予習復習の自己学習時間を1時間以上行うこと。

教科書
『系統看護学講座 専門基礎３ 人体の構造と機能[３] 栄養学』医学書院
参考書
適宜プリントや資料配布を行う
成績評価の方法・基準
授業回ごとの小テスト20%,定期試験80% 総合計60点以上で単位を認定する。
課題等に対する フィードバックの方法
授業回ごとの小テストは採点後返却し、解説を行なう。
履修のポイント
栄養学だけでなく生化学の分野について並行学習することが望ましい
科目区分
専門基礎科目
当該授業科目の教育課程内での位置づけ
UK-R114

講義コード	10450001
講義名	食品学
(副題)	【教職必修】
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	後期
講義区分	講義
基準単位数	1
代表曜日	木曜日
代表時限	１時限
必修/選択	選択
実務経験のある教員の有無	有
実務経験のある教員の経歴と授業内容	食品会社における生産現場および研究所で勤務した経験を活かし、食品の機能や栄養について最新の情報を交えて解説する。
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 荒井 勝己	指定なし

授業の概要と教育目標

食品に含まれる個々の成分の特徴を把握しておくことは、食品自体を理解するためだけではなく、栄養学的あるいは生理学的な視点から食生活を考えていくためにもたいへん重要である。本講義では看護学科の学生（養護教諭資格取得を目指している学生）にとって知っておく必要のある基礎的な知識や最新の食に関わるニュースをわかりやすく解説し、理解を深めることを目標とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

医療保健学部看護学科のディプロマポリシーとの関連として「2.看護学の基礎となる、人体のしくみ、健康の諸側面、健康生活と社会との関係について、理解している。さらに、医療者として必要な倫理、守るべき法令を理解し、それに沿って行動できる。」に基づき、看護師・養護教諭として必要な“食品”や“栄養”に関する基礎知識を理解・習得することを目的とする。

到達目標

1.“食品とは何か”を理解し、食品中に含まれている主要成分や科学的な特徴などを説明できる。
2. 食品の機能性や食品表示や規格、食品加工・貯蔵技術などについて説明できる。
3. 保健機能食品（特定保健用食品、栄養機能食品、機能性表示食品）や特別用途食品について説明できる。

授業計画

	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習と そのために必要な時間
第1回	食品とは、食品の特性、食品の分類など	授業内容についての質問や疑問、意見などを教員が答えるだけではなく、学生間でディスカッションする時間を設ける。	予習90分：教科書を読み、わからない単語や内容について調べる。 復習90分：配布した試料をまとめ、復習問題を解き、理解できなかった内容について調べる。

第2回	水分（食品中の水の状態、水分活性など）・炭水化物（単糖類、二糖類、多糖類、食物繊維など）	授業内容についての質問や疑問、意見などを教員が答えるだけではなく、学生間でディスカッションする時間を設ける。	予習90分：教科書を読み、わからない単語や内容について調べる。 復習90分：配布した試料をまとめ、復習問題を解き、理解できなかった内容について調べる。
第3回	脂質の働き、分類（脂肪酸、リン脂質、コレステロール）、油脂の化学的特性など	授業内容についての質問や疑問、意見などを教員が答えるだけではなく、学生間でディスカッションする時間を設ける。	予習90分：教科書を読み、わからない単語や内容について調べる。 復習90分：配布した試料をまとめ、復習問題を解き、理解できなかった内容について調べる。
第4回	アミノ酸・たんぱく質の構造・種類・働きなど	授業内容についての質問や疑問、意見などを教員が答えるだけではなく、学生間でディスカッションする時間を設ける。	予習90分：教科書を読み、わからない単語や内容について調べる。 復習90分：配布した試料をまとめ、復習問題を解き、理解できなかった内容について調べる。
第5回	ビタミン（ビタミンの分類と働きについて）・ミネラル（ミネラルの種類および生理作用について）	授業内容についての質問や疑問、意見などを教員が答えるだけではなく、学生間でディスカッションする時間を設ける。	予習90分：教科書を読み、わからない単語や内容について調べる。 復習90分：配布した試料をまとめ、復習問題を解き、理解できなかった内容について調べる。
第6回	色、味、香り、テクスチャー（物性）など	授業内容についての質問や疑問、意見などを教員が答えるだけではなく、学生間でディスカッションする時間を設ける。	予習90分：教科書を読み、わからない単語や内容について調べる。 復習90分：配布した試料をまとめ、復習問題を解き、理解できなかった内容について調べる。
第7回	食品の機能、栄養強調表示と健康強調表示、保健機能食品、特別用途食品、「いわゆる健康食品」の概略	授業内容についての質問や疑問、意見などを教員が答えるだけではなく、学生間でディスカッションする時間を設ける。	予習90分：教科書を読み、わからない単語や内容について調べる。 復習90分：配布した試料をまとめ、復習問題を解き、理解できなかった内容について調べる。
第8回	国内規格、国際規格、品質規格制度の歴史、期限表示、成分表示など	授業内容についての質問や疑問、意見などを教員が答えるだけではなく、学生間でディスカッションする時間を設ける。	予習90分：教科書を読み、わからない単語や内容について調べる。 復習90分：配布した試料をまとめ、復習問題を解き、理解できなかった内容について調

			べる。

教科書
特になし
参考書
単元ごとにプリント教材を配布する。
成績評価の方法・基準
単位認定60点以上 筆記試験 100％
課題等に対する フィードバックの方法
授業内に問題を提示したり、課題を課すことがある。学期末の筆記試験にも関与する事柄なので、必ず復習しておくこと。また、単元ごとに復習問題を配付するので、必ず問題を解いて授業内容の理解に役立てること。
履修のポイント
予習・復習の積み重ねが知識を身につける力となり、試験対策にもつながっていく。教科書の内容以外の事柄についても取り入れていくので、授業には積極的に参加すること。
オフィス・アワー
授業内容等の質問については、授業終了後、または月～金曜日のお昼休みに11号館3F研究室13で受け付ける。
科目区分
専門基礎科目
当該授業科目の教育課程内での位置づけ
UK-C123

講義コード	10460001
講義名	臨床薬理学
(副題)	【教職必修】
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	後期
講義区分	演習
基準単位数	1
代表曜日	月曜日
代表時限	１時限
必修/選択	必修
実務経験のある教員の有無	無
実務経験のある教員の経歴と授業内容	
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 煙山 健仁	指定なし
教員	山科 章	指定なし

授業の概要と教育目標

疾病の治療において薬は重要な位置を占める。薬は疾患の原因を取り除くために使用されることが多く、疾患の原因を理解、投薬される医薬品の薬理作用について学習する。講義では代表的な疾病に対する治療薬について、作用と副作用（有害反応）および禁忌事項を講義し、生理学と医薬品の薬理作用の関係を中心に学習する。
本科目では、薬物治療を行うために必要な臨床薬理学の基礎知識を学修し、臨地実習や将来、臨床の現場で必要な知識を修得することを目的とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

医療保健学部看護学科のディプロマ・ポリシーでは、「看護学の基礎となる、人体のしくみ、健康の諸側面、健康生活と社会との関係について理解していること」、「看護の基本精神・基礎技術を理解した上で、さまざまな健康レベル、あらゆる発達段階における科学的知識を修得していること」が求められており、薬理学の理解を通して、その目標達成に必要な知識を養う。

到達目標

疾患に対する代表的な薬物の薬品名、その薬理作用および副作用（有害反応）などを理解する。また、病院で処方された医薬品やドラッグストア等で売られている医薬品がどのような症状に効くのかを説明できる。

授業計画

	担当者	授業内容と方法、課題	予習・復習と そのために必要な時間
第1回	山科章	【医薬品の総論】 医薬品の定義、薬が作用する仕組み、薬の処方と管理、与薬エラーの予防	予習30分。教科書1,17,18章を読みプレテストに回答する。 復習30分。ポストテストに回答する。教科書、講義ハンドアウト、自身のメモ、ノートを読み、講義について復習する。
		【中枢神経系の異常に対	

第2回	煙山健仁	して使用する医薬品】 パーキンソン病治療薬、抗不安薬、睡眠薬、向精神病薬、抗うつ薬、抗てんかん薬、麻酔薬	予習45分：教科書12、13章を読む。復習45分：配布資料を見直し、疑問点をまとめる。疑問点が解決できない場合は、早めに質問に来る。
第3回	煙山健仁	貧血、輸血と輸液に使用する医薬品	予習45分：教科書5、6章を読む。復習45分：配布資料を見直し、疑問点をまとめる。疑問点が解決できない場合は、早めに質問に来る。
第4回	煙山健仁	散瞳薬・縮瞳薬、緑内障治療薬、解毒薬、消毒薬、など	予習45分：教科書16章を読む。復習45分：配布資料を見直し、疑問点をまとめる。疑問点が解決できない場合は、早めに質問に来る。
第5回	煙山健仁	【抗炎症薬】 アレルギーと炎症に使用する医薬品	予習45分：教科書3、4章を読む。復習45分：配布資料を見直し、疑問点をまとめる。疑問点が解決できない場合は、早めに質問に来る。
第6回	煙山健仁	【呼吸器疾患で使用する医薬品】 気管支喘息治療薬、鎮咳薬、など	予習45分：教科書8章を読む。復習45分：配布資料を見直し、疑問点をまとめる。疑問点が解決できない場合は、早めに質問に来る。
第7回	煙山健仁	【感染症で使用する医薬品】 抗菌薬、抗ウイルス薬、など	予習45分：教科書14章を読む。復習45分：配布資料を見直し、疑問点をまとめる。疑問点が解決できない場合は、早めに質問に来る。
第8回	山科章	【循環器疾患で使用する医薬品】 降圧薬、心筋梗塞・心不全に使用する医薬品、利尿薬、など	予習30分。教科書7章を読みプレテストに回答する。 復習30分。ポストテストに回答する。教科書、講義ハンドアウト、自身のメモ、ノートを読み、講義について復習する。
第9回	煙山健仁	【消化器疾患で使用する医薬品】 消化性潰瘍治療薬、健胃薬、制吐薬、瀉下薬、止瀉薬、肝疾患	予習45分：教科書9章を読む。復習45分：配布資料を見直し、疑問点をまとめる。疑問点が解決できない場合は、早めに質問に来る。
第10回	煙山健仁	【悪性腫瘍で使用する医薬品】 抗がん剤など	予習45分：教科書15章を読む。復習45分：配布資料を見直し、疑問点をまとめる。疑問点が解決できない場合は、早めに質問に来る。
第11回	山科章	【自律神経に関わる医薬品】 交感神経作動薬、副交感神経作動薬、など	予習30分。教科書２章を読みプレテストに回答する。 復習30分。ポストテストに回答する。教科書、講義ハンドアウト、自身のメモ、ノートを読み、講義について復習する。
第12回	山科章	【腎疾患・高血圧疾患で使用する医薬品】 降圧薬、利尿薬	予習30分。教科書３章を読みプレテストに回答する。 復習30分。ポストテストに回答する。教科書、講義ハンドアウト、自身のメモ、ノートを読み、講義について復習する。
第13回	煙山健仁	【内分泌疾患で使用する医薬品】 甲状腺ホルモン製剤、女性ホルモン製剤、など	予習45分：教科書11章を読む。復習45分：配布資料を見直し、疑問点をまとめる。疑問点が解決できない場合は、早めに質問に来る。

第14回	煙山健仁	【代謝疾患で使用する医薬品】 糖尿病、痛風、脂質異常症に使用する医薬品	予習45分：教科書10章を読む。復習45分：配布資料を見直し、疑問点をまとめる。疑問点が解決できない場合は、早めに質問に来る。
第15回	煙山健仁	【医薬品の副作用】 【薬害問題】	予習45分：これまでの配布資料を整理し、医薬品の副作用についてまとめる。復習45分：配布資料を見直し、疑問点をまとめる。疑問点が解決できない場合は、早めに質問に来る。

教科書

イラストでまなぶ薬理学、田中越郎 著、医学書院

参考書

はじめる！つかえる！看護のための薬理学、時政孝行 著、南山堂

成績評価の方法・基準

単位認定60点以上
授業中の小テストやレポート（40%）、期末試験（60%）で評価する。
第1、8，11回についてはプレテスト・ポストテストも評価に加わる。

課題等に対する
フィードバックの方法

授業内での小テストやレポートは、実施した次の回の授業で内容を解説する。

履修のポイント

自分だけの学習では正しい知識の理解が難しいので、講義に出席することが大切です。
講義では話し（ストーリー）を聞くことに集中して下さい。
第1回、第8回、第11回については必ずプレテスト・ポストテストに回答のこと。

オフィス・アワー

月曜日～水曜日、金曜日（09：20～18：10）、10号館病理・解剖実習研究室

科目区分

専門基礎科目

当該授業科目の教育課程内での位置づけ

UK-R125

講義コード	10470001
講義名	臨床心理学
(副題)	
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	前期
講義区分	講義
基準単位数	2
代表曜日	金曜日
代表時限	１時限
必修/選択	必修
実務経験のある教員の有無	有
実務経験のある教員の経歴と授業内容	教育機関での心理臨床活動および教員へのスーパーヴィジョン等の経験をケースの見立て・介入方法などに反映させた授業を行う
学年	2学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 黒岩 初美	指定なし

授業の概要と教育目標

【授業の概要】臨床心理学は、心理学で蓄積された理論や技法を用いた応用的・実践的な学問領域である。人のこころの安定をはかるための臨床心理援助活動の実際について理解を深めることが求められるが、その基本はこころの疾患の特徴を理解し、その理解のもとに対象者を看る視点を養うことにある。本講義では、こころの疾患に関すること、発達上の障がいに関すること、心理アセスメントの実際、カウンセリングの理論、という４つのテーマに沿って、臨床心理学に関連する内容を取り上げる。授業は講義形式だが、テーマによってVTR視聴や実習を取り入れることもある。
【教育目標】心理臨床の現場で用いられる考え方や技法は、看護の場面でも応用可能なものがある。一方で、通常の心理臨床で用いられる対象者に対するアプローチが、看護場面では適用しにくいこともある。心理臨床の基本的な考え方や技法の学習を通して、それらが看護場面でどのように生かすことができるのかについての視点を獲得する。

卒業認定・学位授与の方針との関連

医療保健学部看護学科のディプロマポリシーとの関連として、社会・環境・コミュニケーションなどの諸側面から人に対する理解を深めることを目指し、心理的側面の理解を通してその目的達成に資する知識を養う。また、看護学の基礎となる、健康の諸側面、健康生活と社会との関係について、精神的疾患の理解と対応の面から知見を深めることを目指す。

到達目標

１．心理的な疾患の種類、特徴について理解する。
２．臨床心理学で用いられる専門用語について理解する。
３．こころの疾患、疾患を抱える患者・家族の状態を理解する視点を養う。
４．対人場面におけるコミュニケーションの特徴について理解する。

授業計画

	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間
			予習90分：教科書pp.12-23を読

第1回	オリエンテーション 臨床心理学とは何か①	一般的な問題解決のプロセスと臨床心理学における問題解決のプロセスの異同について考える。	む。 復習90分：配布資料を整理し、教科書と照合する
第2回	臨床心理学とは何か② 臨床心理学の活動や基本理念について取り上げる。	心理学・カウンセリングの専門用語を事例・資料と照らして考える。	予習90分：教科書pp.24-44を読む。 復習90分：配布資料を整理し、教科書と照合する
第3回	アセスメント① アセスメントのための面接による情報収集や分析方法からケース・フォーミュレーションを行うこと、つまり援助は自分の勘や経験によって進められるのではなく、仮説－検証のプロセスが大切であることを取りあげる。	カウンセリングのプロセスについて、メンバーの意見を聞きながら自分の考えを広げたり深めたりする。	予習90分：教科書pp.45-55を読む。 復習90分：配布資料を整理し、教科書と照合する
第4回	アセスメント② 心理検査の概要（検査の特色や目的等）について取り上げる。	自分の性格検査の結果についての妥当性について検討してみる。	予習90分：教科書pp.56-76を読む。 復習90分：配布資を整理し、教科書と照合する
第5回	人の発達と心の問題① ライフサイクルの視点で各発達段階における特徴と諸問題について取り上げる。	発達段階で起こりやすい問題の背景には何があるのかについて多面的に理解することを学ぶ。	予習90分：教科書pp.78-85を読む。 復習90分：配布資料を整理し、教科書と照合する
第6回	人の発達と心の問題② 乳児期から思春期 発達段階の特徴と発達過程における具体的な問題について取り上げる。	発達のプロセスに起こる問題について、メンバーの意見を聞きながら自分の考えを広げたり深めたりする。	予習90分：教科書pp.86-93を読む。 復習90分：配布資料を整理し、教科書と照合する
第7回	人の発達と心の問題③ 青年期から老年期 発達段階の特徴発達過程における具体的な問題について取り上げる。	自分のライフラインを描きアイデンティティーの確立等について、メンバーの意見を聞きながら自分の考えを広げたり深めたりする。	予習90分：教科書pp.94-99を読む。 復習90分：配布資料を整理し、教科書と照合する
第8回	人の発達と心の問題④ 発達障害、虐待、いじめ、不登校等子どもの現代的課題について取り上げる。	グループで気になる課題を取り上げ、障害を理解しその対応について検討し班別発表を行う。この過程にそって自分の考えを広げたり深めたりする。	予習90分：教科書pp.100-120を読む。 復習90分：配布資料を整理し、教科書と照合する

第9回	心の疾患と理解① 異常心理学と臨床心理学の関わりについて、気分障害、統合失調症を取り上げて説明する。	正常と異常の違いについてメンバーの意見を聞きながら自分の考えを広げたり深めたりする	予習90分：教科書pp.100-p120p.pp160-166を読む。 復習90分：配布資料を整理し、教科書と照合する
第10回	心の疾患と理解② 不安障害、パーソナリティ障害を中心に精神障害について取り上げる。	事例研究を行い、パーソナリティ障害についての理解を深める。	予習90分：教科書pp.132-159を読む 復習90分：配布資料を整理し、教科書と照合する
第11回	問題への介入①来談者中心療法、精神分析、分析心理学 自分に向き合っていくための心理療法について取り上げる。	安心して自分の内面に目を向けるためには何が重要かについて、メンバーの意見を聞きながら自分の考えを広げたり深めたりする。	予習90分：教科書pp.167-179を読む。 復習90分：配布資料を整理し、教科書と照合する
第12回	問題への介入②行動療法、認知行動療法 自分の行動や考え方に焦点を当てた心理療法について取り上げる。	物事の捉え方には一人一人のクセがあることを理解し、メンバーの意見を聞きながら対応策について考究する。	予習90分：教科書pp.180-187，216.7を読む。 復習90分：配布資料を整理し、教科書と照合する
第13回	問題への介入③ 11・12回で扱った以外の心理療法について取り上げる。		予習90分：教科書pp.188-236を読む 復習90分：配布資料を整理し、教科書と照合する
第14回	コミュニティへの介入 児童虐待について取り上げる。	コミュニティへの介入で注意すべき事柄について考究する。	予習90分：教科書pp.108，194-197を読む。 復習90分：配布資料を整理し、教科書と照合する
第15回	社会と臨床心理学 社会の中でと臨床心理学がどのように活用しているのかについて取り上げる。 確認テスト		予習90分：教科書pp.272-285を読む。 復習90分：配布資料を整理し、教科書と照合する

教科書

下山晴彦監修 『面白いほどよくわかる！臨床心理学』 西東社
参考書
藤田主一、山田晴美編著「医療と看護のための心理学」 福村出版
成績評価の方法・基準
単位認定60点以上。 確認テスト（最終授業で授業で行う小テストから40問を出題）もしくは小論文40%、 レポート・課題30%、 授業への積極性・態度30%を総合して評価します。
課題等に対する フィードバックの方法
授業内でレポートや課題を課すことがある。返却するので学習の参考にすること。
履修のポイント
授業への積極的な取り組みを期待します。授業時間外の学習として、予習では各回の主題に該当する教科書に目を通し、復習では本講義の配布資料・ノートのまとめと小テストの見直しを復習として勧めます。
オフィス・アワー
金曜日、12：30～13：20（昼休み）、11 号館講師控室 ※講義終了前後にも、適宜受け付けます。
科目区分
専門基礎科目
当該授業科目の教育課程内での位置づけ
UK-R133

講義コード	10480001
講義名	ヘルスカウンセリング
(副題)	【教職必修】【保健師必修】
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	前期
講義区分	演習
基準単位数	1
代表曜日	火曜日
代表時限	４時限
必修/選択	選択
実務経験のある教員の有無	有
実務経験のある教員の経歴と授業内容	看護職としての実務経験を活かし具体例を挙げながら解説する。
学年	4学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 堀越 薫	指定なし
教員	松沼 晶子	指定なし

授業の概要と教育目標

心身の健康に関する悩みや問題を抱える人の心理を理解し、カウンセリングの基本的な理論と技法を学習する。援助を必要とする対象への健康の維持または改善のための適切な支援について考察し、実践する能力を養う。

卒業認定・学位授与の方針との関連

本講義は、看護の基礎及び健康問題別発達段階別看護の知識と技術を修学した学生に、対象の健康課題を的確に捉え、カウンセリングマインドを活用した実践的な援助技術を習得することを目指す。

到達目標

カウンセリングの理論と方法について理解し、対象の背景や健康課題に応じた基本的な対応ができる。

授業計画

	担当者	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	堀越薫	オリエーションきことについて話をくて事例	事例を通して自身の考えをまとめる。	復習45分：参考資料等を見直す
		話をきくこと		

第2回	堀越薫	について 行為・行動の準拠枠 事例 意識化と言語化 人間を理解すること	同上	復習45分：参考資料等を見直す
第3回	堀越薫	事例 患者理解の方法 看護師の姿勢 共感的理解 自身の理解について	事例から対象者のおかれた状況について理解する。	復習45分：参考資料等を見直す
第4回	堀越薫	受容とは 事例	カウンセリング場面から基本姿勢について実際に体験する。 事例を通して自身の考えをまとめる。	復習45分：参考資料等を見直す
第5回	堀越薫	援助過程 クライエントとはカウンセリングの本質 事例	事例を通して自身の考えをまとめる。	復習45分：参考資料等を見直す
第6回	堀越薫	援助者としての基本的な姿勢 看護者の態度 カウンセリング関係の意味 面接の構造と役割 事例	同上	復習45分：参考資料等の見直し及び調べ学習をする
第7回	堀越薫	援助的なかかわり 面接の	同上	復習45分：参考資料等の見直し及び調べ学習

		実際事例		をする
第8回	堀越薫	カウンセリングのプロセス事例	同上	復習45分：参考資料等を見直す
第9回	堀越薫	カウンセリングのプロセス面接の進展ロールプレイ	事例、ロールプレイを通して自身の考えをまとめる。	復習45分：参考資料等を見直す
第10回	堀越薫	カウンセリングのプロセス面接の終わり、中断事例	事例を通して自身んお考えをまとめる。	事前学習45分：調べ学習を行う
第11回	松沼晶子	がんの最新の動向と課題	1981年以降がんは一貫して我が国の日本の死因第一となり、上昇を続けているが、がん対策基本法により我が国のがん対策は様々な取り組みがなされている。その最新の動向と課題について学ぶ。	復習45分：参考資料等を見直す
第12回	松沼晶子	がん患者と家族の心理とがん相談支援	がんになった患者及びその家族の心理について理解し、どのようなことに、悩み苦しんでいるのか、がん相談の必要性とその支援方法について学ぶ。	復習45分：参考資料等を見直す
第13回	松沼晶子	ロールプレイ	がん患者または家族役・看護師役・観察者に分かれてテーマに沿ってロールプレイを行う。自分自身のコミュニケーションを振り返り、患者家族役、観察者からフィードバックを得ることによって、自分の関わりが患者や家族にどのような影響を与えているのかを体験し、気づきを得る。	復習45分：ロールプレイで体験したことによる気づきについてレポートを作成する。
第14回	松沼晶子	ロールプレイ	ロールプレイの振り返りを行い、学生同士で共有し、がん患者や家族の気持ちを理解するためのコミュニケーションについて学ぶ。	復習45分：ロールプレイで体験したことによる気づきについてレポートを作成する。
第15回	松沼晶子	まとめ	今まで学んだことを振り返り、自己の気づきなどを学生同士で共有し、ディスカッションする。	

教科書
適宜紹介します。

参考書
適宜紹介します。
成績評価の方法・基準
成績評価60点以上 授業態度や姿勢、試験結果で総合評価する。 （定期試験70%、授業内課題30%）
課題等に対する フィードバックの方法
授業で関心を持ったことについて、自己学習をして深めてください。
履修のポイント
演習の教科のため、積極的に授業に参加してください。また、日頃の自己のコミュニケーションを振り返り、相手に与える影響について体験してください。
オフィス・アワー
在室時、対応します。
科目区分
専門基礎科目
当該授業科目の教育課程内での位置づけ
UK-C171

講義コード	10490001
講義名	疾病の回復促進I
(副題)	【教職必修】
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	前期
講義区分	講義
基準単位数	1
代表曜日	月曜日
代表時限	３時限
必修/選択	必修
実務経験のある教員の有無	有
実務経験のある教員の経歴と授業内容	大学病院で内科医として40年間診療に携わった経験を活かして、疾病の回復促進について講義を行う。
学年	2学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 山科 章	指定なし
教 員	岡田 克之	指定なし

授業の概要と教育目標

疾病の回復促進は、すべての疾患の原因・病態・症状から検査所見、治療・予後までを扱う学問分野で、医療・看護の根幹をなすものである。疾病の成り立ちでは病気を大別して学ぶのに対して、「疾病の回復促進I」では器官ごとの疾患について学ぶもので、看護の理解を深める上でも不可欠な学問である。講義では代表的な頻度の高い疾患を理解し、看護に必要な知識・技能を習得することを目標とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

医療保険学部看護学科のディプロマ・ポリシーとの関連として「看護学の基礎となる人体のしくみ、健康の諸側面、健康生活と社会との関係について理解していること」を達成するため、幅広い知識・技能とともに豊かな人間性の構築を目指すものとする。

到達目標

１．人体の解剖・生理機能を理解し、自ら説明することができる。
２．代表的な疾病の原因・症状・診断・治療などを理解し、看護学に展開できるよう知識・技能を習得し、それらについて説明することができる。

授業計画

	担当者	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間
	山	＜脳・神経疾患・筋疾患１（脳血管障	グループ課題（プレゼンテーション・アクティブラーニング）：脳血管障	（予習90分）講義の概要を教科書で確認する。（復習90分）配

第1回	科章	害、髄膜・髄液の障害）＞	害において発現する重要な症状・診断・治療について説明する	布した講義資料を参考にポストテストに回答し、教科書の関係領域を通読する。
第2回	山科章	＜脳・神経疾患・筋疾患２（睡眠障害、意識障害、認知症）＞	グループ課題（プレゼンテーション・アクティブラーニング）：意識障害・睡眠障害・認知症の病態・診断・治療について説明する。	（予習90分）講義の概要を教科書で確認する。（復習90分）配布した講義資料を参考にポストテストに回答し、教科書の関係領域を通読する。
第3回	山科章	＜脳・神経疾患・筋疾患３（運動麻痺、筋疾患）＞	グループ課題（プレゼンテーション・アクティブラーニング）：運動麻痺、感覚麻痺、脊髄疾患、末梢神経疾患、筋疾患において発現する重要な症状・診断・治療について説明する。	（予習90分）講義の概要を教科書で確認する。（復習90分）配布した講義資料を参考にポストテストに回答し、教科書の関係領域を通読する。
第4回	山科章	＜骨・関節疾患、膠原病＞ 骨折、骨髄炎、骨粗しょう症、関節炎、脊柱管狭窄症、骨腫瘍	グループ課題（プレゼンテーション・アクティブラーニング）：骨・関節疾患において発現する重要な症状・診断・治療について説明する。	（予習90分）講義の概要を教科書で確認する。（復習90分）配布した講義資料を参考にポストテストに回答し、教科書の関係領域を通読する。
				（予習90分）講義の概要を

第5回	山科章	＜生殖器疾患（女性生殖器疾患（月経異常、腫瘍）、男性生殖器疾患）＞	グループ課題（プレゼンテーション・アクティブラーニング）：生殖器疾患において発現する重要な症状・診断・治療について説明する。	教科書で確認する。（復習90分）配布した講義資料を参考にポストテストに回答し、教科書の関係領域を通読する。
第6回	山科章	＜感覚器の病態と疾患（視覚器・聴覚器・味覚器・嗅覚器）＞	グループ課題（プレゼンテーション・アクティブラーニング）：感覚器において発現する重要な症状・診断・治療について説明する。	（予習90分）講義の概要を教科書で確認する。（復習90分）配布した講義資料を参考にポストテストに回答し、教科書の関係領域を通読する。
第7回	岡田克之	＜皮膚疾患１（アレルギー疾患、炎症性皮膚炎、水疱症など）＞ 皮膚・皮膚付属器官に生じる病変で、主な症状は発疹であり、他の諸器官の病変を伴うことも多い。非伝染性皮膚病には接触皮膚炎、蕁麻疹などのアレルギー疾患、母斑などの遺伝性疾患、ビタミン欠乏症によるものなどがあり、診断と治療について基本的知識の習得に努める。		（予習90分）講義の概要を教科書で確認する。（復習90分）配布した講義資料を参考にポストテストに回答し、教科書の関係領域を通読する。
第8回	岡田克之	＜皮膚疾患２（皮膚腫瘍など）＞ 皮膚の悪性腫瘍には、悪性黒色腫（メラノーマ）や扁平上皮癌などがあるが、悪性度に差異があり、生命予後は大きく異なる。その他、皮膚線維症、皮膚Ｔ細胞リンパ腫なども含めて、診断と治療について基本的知識の習得に努める。		（予習90分）講義の概要を教科書で確認する。（復習90分）配布した講義資料を参考にポストテストに回答し、教科書の関係領域を通読す

				る。

教科書
系統看護学講座 専門分野IIシリーズ 成人看護学 医学書院 （②呼吸器 ③循環器 ④血液・造血器 ⑤消化器 ⑥内分泌・代謝 ⑦脳・神経 ⑧腎・泌尿器 ⑪アレルギー膠原病 感染）
参考書
適宜紹介する。
成績評価の方法・基準
単位認定60点以上 試験80%、ポストテスト、授業への参加度20%
課題等に対する フィードバックの方法
授業内でレポートや課題を課すことがある。授業での講義内容を資料として配布するので、授業内容の理解に役立てること。ポストテストは次回の講義で説明する。
履修のポイント
授業への積極的な取り組みを期待する。予習・復習は不可欠であり、予習では講義の概要を教科書で確認し、復習では配布した講義資料を参考に教科書の関係領域を通読する（45分）。必ずポストテストに回答する。
オフィス・アワー
講義終了後に適宜受け付ける。山科の講義分についてはチャットでの質疑応答を原則とする。
科目区分
専門基礎科目
当該授業科目の教育課程内での位置づけ
UK-R131

講義コード	10500001
講義名	疾病の回復促進II
(副題)	
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	後期
講義区分	講義
基準単位数	2
代表曜日	木曜日
代表時限	２時限
必修/選択	必修
実務経験のある教員の有無	有
実務経験のある教員の経歴と授業内容	大学病院で内科医として40年間診療に携わった経験を活かして、疾病の回復促進について講義を行う。
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 山﨑 純一	指定なし

授業の概要と教育目標

「疾病の回復促進」は、すべての疾患の原因・病態・症状から検査所見、治療・予後まで扱う学問分野で、医療・看護の根幹をなすものである。疾病の成り立ちでは病気を大別して学ぶのに対して、「疾病の回復促進II」では器官ごとの疾患について学ぶもので、看護の理解を深める上で不可欠な学問である。講義では代表的な頻度の高い疾患について理解を深め、看護に必要な知識・技能を習得することを目標とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

医療保健学部看護学科のディプロマ・ポリシーとの関連として「看護学の基礎となる人体のしくみ、健康の諸側面、健康生活と社会との関係について理解していること」を達成するため、幅広い知識・技能とともに豊かな人間性の構築を目指すものとする。

到達目標

１．人体の解剖・生理機能を理解し、自ら解説することができる。
２．代表的な疾病の原因・症状・診断・治療などを理解し、看護学に展開できるよう知識・技能を習得し、それらについて説明できる。

授業計画

	担当者	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	山﨑純一	血液疾患１：血球の分化と機能、貧血 内容：15回の講義についてのオリエンテーションを行う。正常血球の分化と機能について解説し、赤血球、白血球、血小板の働きについて図表などを用いて解説し、「貧血」には造血不全と溶血性貧血があり、「貧血」の	グループ課題（プレゼンテーション・アクティブラーニング）：「血球の働き」「貧血の分類」に	予習：90分 講義の概要を教科書で確認する。 復習：90分 配布した講義資料参考

		分類と成因について知識の習得に努める。	ついて	に教科書で関係領域を通読する。
第2回	山崎純一	血液疾患２：白血病、悪性リンパ腫、GVDH、多発性骨髄腫、血小板減少性紫斑病、播種性血管内凝固（DIC） 内容：造血器腫瘍には「白血病」「悪性リンパ腫」「多発性骨髄腫」などがあり、発症機序や随伴する症状などを解説する。出血性疾患として「特発性血小板減少性紫斑病」「血友病」などが挙げられる。血栓性疾患として「本態性血小板血症」「血栓性血小板減少性紫斑病」などがあり、「播種性血管内凝固（DIC）」は、悪性腫瘍、敗血症などを基礎疾患として発症する重篤な病態であり、発症機序や合併症・治療など基本的な知識の習得に努める。	グループ課題（プレゼンテーション・アクティブラーニング）：「白血病」「悪性リンパ腫」「播種性血管内凝固（DIC）」の病態生理について	予習：90分 講義の概要を教科書で確認する。 復習：90分 配布した講義資料参考に教科書で関係領域を通読する。
第3回	山崎純一	循環器疾患１：狭心症、心筋梗塞、不整脈、先天性心疾患 内容：冠動脈狭窄や閉塞により発症する虚血性心疾患として「狭心症」「心筋梗塞」が挙げられるが、発症機序や心電図所見などと治療法などを解説する。「不整脈」の発生機序として刺激生成異常と刺激伝導異常があるが、心電図所見を中心に解説する。また、治療法なども含め基本的な知識の習得に努める。	グループ課題（プレゼンテーション・アクティブラーニング）：「心筋梗塞」「心室細動」について	予習：90分 講義の概要を教科書で確認する。 復習：90分 配布した講義資料参考に教科書で関係領域を通読する。
第4回	山崎純一	循環器疾患２：心弁膜症、心不全 内容：心臓弁膜症には「狭窄」と「閉鎖不全」があり、血行動態と心肥大について解説する。心臓の機能が低下して、体に十分な血液を送り出せなくなった状態が「心不全」であるが、その原因疾患や臨床症状について基本的な知識の習得に努める。	グループ課題（プレゼンテーション・アクティブラーニング）：「心臓弁膜症（大動脈弁疾患、僧帽弁疾患）」「左心不全・右心不全」の病態生理について	予習：90分 講義の概要を教科書で確認する。 復習：90分 配布した講義資料参考に教科書で関係領域を通読する。
第5回	山崎純一	循環器疾患３：動脈硬化症、大動脈解離、大動脈瘤、閉塞性動脈硬化症、肺血栓・塞栓症 内容：「動脈硬化症」とは、動脈壁の肥厚、硬化、構造変化、機能低下による動脈病変の総称であり、その結果、発症する「脳卒中（脳出血や脳梗塞）」「虚血性心疾患」などについて理解し、予防や治療について基本的な知識の習得に努める。「肺血栓・塞栓症」とは、静脈や心臓に形成された血栓が肺動脈を閉塞し、呼吸不全および循環不全を引き起こすが、その発症機序を理解することに努める。	グループ課題（プレゼンテーション・アクティブラーニング）：「動脈硬化」を原因とした大動脈疾患、「肺血栓・塞栓症」の原因と病態生理について	予習：90分 講義の概要を教科書で確認する。 復習：90分 配布した講義資料参考に教科書で関係領域を通読する。
		呼吸器疾患１：呼吸器系の解剖と生理機能、呼吸器疾患の症状と気胸・胸水、呼吸不全、		予習：90分

第6回	山﨑純一	動脈血酸素 内容：呼吸器系の働きは、酸素と二酸化炭素のガス交換であるが、胸郭の容積が変化することで、肺が間接的に伸縮を繰り返し呼吸が営まれている。様々な呼吸器疾患のために呼吸機能が低下し、十分な酸素を臓器に送れなくなった状態が「呼吸不全」である。正常な呼吸機能を理解し、主要な呼吸器疾患の発症機序や合併症、治療など基本的な知識の習得に努める。	グループ課題（プレゼンテーション・アクティブラーニング）：「正常の呼吸機能」「ガス交換異常」「呼吸不全の定義」について	講義の概要を教科書で確認する。 復習：90分 配布した講義資料参考に教科書で関係領域を通読する。
第7回	山﨑純一	呼吸器疾患２：拘束性障害と閉塞性障害、COPD（肺気腫、慢性気管支炎）、呼吸器感染症（気管支炎、肺炎）、気管支喘息、肺結核、肺腫瘍 内容：ガス交換は「換気」「拡散」「肺循環」からなる。換気障害は「拘束性換気障害」と「閉塞性換気障害」に分類されるが、その生理・機能的な違いを理解するとともに、関連する疾病について発症機序や合併症、治療など基本的な知識の習得に努める。	グループ課題（プレゼンテーション・アクティブラーニング）：「拘束性障害と閉塞性障害」「肺腫瘍」について	予習：90分 講義の概要を教科書で確認する。 復習：90分 配布した講義資料参考に教科書で関係領域を通読する。
第8回	山﨑純一	消化器疾患１：嚥下障害、逆流性食道炎、胃・十二指腸潰瘍、クローン病、潰瘍性大腸炎、腸閉塞、過敏性腸症候群、イレウス 内容：消化器疾患は口腔から肛門まで幅広く存在する。消化管の解剖と働きを理解し、各種消化器疾病について症状や治療など基本的な知識の習得に努める。	グループ課題（プレゼンテーション・アクティブラーニング）：「食道・胃疾患」「クローン病・潰瘍性大腸炎の比較」について	予習：90分 講義の概要を教科書で確認する。 復習：90分 配布した講義資料参考に教科書で関係領域を通読する。
第9回	山﨑純一	消化器疾患２：肝炎、肝硬変、食道静脈瘤内容：消化酵素は三大栄養素（糖質、蛋白質、脂質）を段階的に分解する作用を持つ。三大消化管ホルモンには、ガストリン、セクレチンおよびコレシストキニン-パンクレオザイミンがあるが、すべてペプチドホルモンである。消化酵素や消化管ホルモンの働きを理解する。「肝・胆・膵の解剖と働き」を理解し、「肝炎」「肝硬変」など主要な疾患について症状や治療など基本的な知識の習得に努める。	グループ課題（プレゼンテーション・アクティブラーニング）：「消化酵素」「消化管ホルモン」「肝・胆・膵疾患」について	予習：90分 講義の概要を教科書で確認する。 復習：90分 配布した講義資料参考に教科書で関係領域を通読する。
第10回	山﨑純一	消化器疾患３：胆石症、膵炎、消化器の腫瘍内容：「急性膵炎」は、アルコール・胆石・高脂血症などによって急激に膵臓に炎症が生じる病気であるが、主に血液検査・画像検査で診断する。しかし、重症となった場合は多臓器不全となり致命的となる。「慢性膵炎」は主にアルコールによって膵臓が変性（線維化）し、膵臓の機能が低下する病気である。上部消化管から下部消化管に至る「腫瘍」は	グループ課題（プレゼンテーション・アクティブラーニング）：「胆石症」「膵炎」「食道がん」「胃がん」「大腸がん」について	予習：90分 講義の概要を教科書で確認する。 復習：90分 配布した講義資料参考に教科書で

		発症頻度の高い疾患であり、その特徴や症状について基本的な知識の習得に努める。		関係領域を通読する。
第11回	山崎純一	腎・泌尿器疾患１：糸球体の疾患（原発性と続発性） 内容：腎臓・泌尿器の解剖について理解するとともに、腎機能について基本的な知識の習得に努める。また「原発性糸球体」と「続発性糸球体腎炎」の原因疾患、症状などの基本的な知識の習得に努める。	グループ課題（プレゼンテーション・アクティブラーニング）：「腎の病態生理」「糸球体腎炎」について	予習：90分 講義の概要を教科書で確認する。 復習：90分 配布した講義資料参考に教科書で関係領域を通読する。
第12回	山崎純一	腎・泌尿器疾患２：急性腎不全と慢性腎不全（慢性腎不全）、排尿障害 内容：腎臓は血液から水分や老廃物を濾過して尿を作り出す働きをしている。「急性腎不全」は急激に腎臓の機能が低下するが、原因として「腎前性」、「腎性」「腎後性」に分類される。「慢性腎不全」は腎の排泄機能の低下が非可逆的で、腎機能が正常の50%以下の状態を指す。このため「腎不全」では原因を知ることが重要であり、発症機序や合併症、治療など基本的な知識の習得に努める。	グループ課題（プレゼンテーション・アクティブラーニング）：「急性腎不全」「慢性腎不全」について	予習：90分 講義の概要を教科書で確認する。 復習：90分 配布した講義資料参考に教科書で関係領域を通読する。
第13回	山崎純一	内分泌・代謝疾患１：クッシング症候群、原発性アルドステロン症、褐色細胞腫、アジソン病、尿崩症、副甲状腺機能亢進症 内容：内分泌腺の機能異常による疾患であり、一般に機能亢進症および機能低下症がある。例として脳下垂体の機能亢進では「巨人症」「末端肥大症」など、低下では「尿崩症」などがある。内分泌臓器とホルモンの関係を理解し、ホルモンの異常分泌により生じる疾患について、発症機序や合併症、治療など基本的な知識の習得に努める。	グループ課題（プレゼンテーション・アクティブラーニング）：「下垂体ホルモンの異常」「甲状腺ホルモンの異常」「副腎皮質・髄質ホルモンの異常」「生殖器ホルモンの異常」について	予習：90分 講義の概要を教科書で確認する。 復習：90分 配布した講義資料参考に教科書で関係領域を通読する。
第14回	山崎純一	内分泌・代謝疾患２：高血圧、糖尿病 内容：「高血圧」の発症には、塩分摂取量と動脈硬化、つまり血液量（心拍出量）と末梢血管抵抗の２因子が関与する。「糖尿病」の発症には肥満（過食）と遺伝的要因が関与する。生活習慣病の代表的疾患である「高血圧」、「糖尿病」の合併症には重篤な心・血管病変があり、発症機序や合併症、治療など基本的な知識の習得に努める。「高血圧」「糖尿病」の発症機序を理解し、予防や治療について基本的な知識の習得に努める。	グループ課題（プレゼンテーション・アクティブラーニング）：「高血圧」「糖尿病」について	予習：90分 講義の概要を教科書で確認する。 復習：90分 配布した講義資料参考に教科書で関係領域を通読する。
	山	内分泌・代謝疾患３：肥満症、脂質異常症、高尿酸血症（痛風）、骨粗鬆症 内容：生活習慣病である「肥満症」「脂質異	グループ課題（プレゼンテーション・アクティブ	予習：90分 講義の概要を教科書で確認する。

第15回	﨑純一	常症」「高尿酸血症」は動脈硬化症の原因として重要な疾患である。また、骨粗鬆症は特に閉経後の女性で急速に増加する。これらの疾患の発生機序や合併症、治療など基本的な知識の習得に努める。	ラーニング）：「肥満症」「脂質異常症」「高尿酸血症（痛風）」「骨粗鬆症」について	復習：90分 配布した講義資料参考に教科書で関係領域を通読する。

教科書

系統看護学講座 専門分野Ⅱシリーズ 成人看護学 医学書院
（②呼吸器 ③循環器 ④血液・造血器 ⑤消化器 ⑥内分泌・代謝 ⑦脳・神経 ⑧腎・泌尿器⑪アレルギー膠原病 感染）

参考書

適宜紹介する。

成績評価の方法・基準

単位認定60点以上
試験80%、課題10%、授業への参加度10%

**課題等に対する
フィードバックの方法**

授業内でレポートや課題を課すことがある。授業での講義内容を資料として配布するので、授業内容の理解に役立てること。

履修のポイント

授業への積極的な取り組みを期待する。予習・復習は不可欠であり、予習では講義の概要を教科書で確認し、復習では配布した講義資料参考に教科書で関係領域を通読する（90分）。

オフィス・アワー

講義終了後に適宜受け付ける。その他、火・木・金曜日に適宜受け付けるので、教務課に依頼し予約すること。

科目区分

専門基礎科目

当該授業科目の教育課程内での位置づけ

UK-R132

講義コード	10510001
講義名	疾病の回復促進III
(副題)	【教職必修】
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	前期
講義区分	講義
基準単位数	1
代表曜日	月曜日
代表時限	３時限
必修/選択	必修
実務経験のある教員の有無	有
実務経験のある教員の経歴と授業内容	内科医として40年間以上に携わった経験を活かして、疾病の回復促進について講義を行う。
学年	2学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 山科 章	指定なし
教員	関﨑 亮	指定なし

授業の概要と教育目標

疾病の回復促進は、すべての疾患の原因・病態・症状から検査所見、治療・予後までを扱う学問分野で、医療・看護の根幹をなすものである。疾病の成り立ちでは病気を大別して学ぶのに対して、「疾病の回復促進III」では器官ごとの疾患、症状・徴候について学び、看護の理解を深める上でも不可欠な学問である。講義ではさまざまな症状・徴候、精神脳・神経系疾患と感覚器系疾患を理解し、看護に必要な知識・技能を習得することを目標とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

医療保険学部看護学科のディプロマ・ポリシーとの関連として「看護学の基礎となる人体のしくみ、健康の諸側面、健康生活と社会との関係について理解していること」を達成するため、幅広い知識・技能とともに豊かな人間性の構築を目指すものとする。

到達目標

前期に理解した人体の構造と機能を基本に、代表的な症状･徴候について学び、関連するさまざまな疾病、病態を理解する。また、患者に生ずる様々な精神的変化を理解し、看護管理に展開できるよう知識・技能を習得する。

授業計画

	担当者	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間
	山	＜主要な症候１＞ 頭痛、意識障害、けいれん、麻痺、めまい	動画等を活用し、イ	（予習90分）講義の概要を教科書で確認する。（復習90分）配

第1回	科章	神経系の主要な症状・徴候を理解し、看護に活かせる知識を身につける	ンタラクティブに講義をするめる。	布した講義資料を参考にポストテストに回答し、教科書の関係領域を通読する。
第2回	山科章	＜主要な症候２＞ 心停止・ショッ ク・脱水・乏尿・無尿・頻尿、浮腫 全身循環に関係する主要な症状・徴候を理解し、看護に活かせる知識を身につける	動画等を活用し、インタラクティブに講義をするめる。	（予習90分）講義の概要を教科書で確認する。 （復習90分）配布した講義資料を参考にポストテストに回答し、教科書の関係領域を通読する。
第3回	山科章	＜主要な症候３＞ 胸痛・呼吸困難・咳嗽・喀痰・チアノーゼ 心血管および呼吸器系の主要な症状・徴候を理解し、看護に活かせる知識を身につける	動画等を活用し、インタラクティブに講義をするめる。	（予習90分）講義の概要を教科書で確認する。 （復習90分）配布した講義資料を参考にポストテストに回答し、教科書の関係領域を通読する。
第4回	山科章	＜主要な症候４＞ 腹痛、腹部膨満、嘔吐、便秘、下痢（下血）、黄疸 消化器系の主要な症状・徴候を理解し、看護に活かせる知識を身につける	動画等を活用し、インタラクティブに講義をするめる。	（予習90分）講義の概要を教科書で確認する。 （復習90分）配布した講義資料を参考にポストテストに回答し、教科書の関係領域を通読する。
				（予習90分）講義の概要を

第5回	関崎亮	<精神看護学・総論I：精神の健康、精神看護の基本概念、看護援助技法> 精神看護学は、こころの疾患をもつ精神科入院患者だけでなく、すべての看護領域における対象者のこころの健康の保持増進を目的とする領域とされる。総論Iでは、精神の構造や機能、心身の関係、精神症状のアセスメントなどについては基本的な知識の習得に努める。	グループ課題（プレゼンテーション・アクティブラーニング）：総論・各論ともに動画等を活用し、精神障害者の症状を視覚的に捉えてもらい理解度の向上を図る。	教科書で確認する。（復習90分）配布した講義資料を参考にポストテストに回答し、教科書の関係領域を通読する。
第6回	関崎亮	<精神看護学・総論II：安全な治療環境の提供と人権擁護、精神保健医療福祉の法制度、精神障害者のリハビリテーション> 精神医学の歴史において、精神障害者の人権を考えないような監置、隔離・拘束があり、悲惨で苦痛に満ちた事実がある。現代では精神障害者およびその家族の人権配慮の理解が深まり、地域社会での社会復帰が推進されている。総論IIでは、人権擁護や準拠する法制度、地域復帰に向けたリハビリテーションなどについて基本的な知識の習得に努める。	グループ課題（プレゼンテーション・アクティブラーニング）：総論・各論ともに動画等を活用し、精神障害者の症状を視覚的に捉えてもらい理解度の向上を図る。	（予習90分）講義の概要を教科書で確認する。（復習90分）配布した講義資料を参考にポストテストに回答し、教科書の関係領域を通読する。
第7回	関崎亮	<精神看護学・各論I：統合失調症、気分（感情）障害、神経症性障害（パニック発作、強迫性障害、心的外傷後ストレス障害、解離性障害）、摂食障害 > 各論Iでは、具体的な疾患名をあげ、疫学、発生機序、症状、診断、治療および看護上の留意点について基本的な知識の習得に努める。	グループ課題（プレゼンテーション・アクティブラーニング）：総論・各論ともに動画等を活用し、精神障害者の症状を視覚的に捉えてもらい理解度の向上を図る。	（予習90分）講義の概要を教科書で確認する。（復習90分）配布した講義資料を参考にポストテストに回答し、教科書の関係領域を通読する。
第8回	関崎亮	<精神看護学・各論II：パーソナリティー障害、アルコール関連障害、認知症（アルツハイマー型認知症、脳血管性認知症）、小児精神疾患（自閉症スペクトラム障害、注意欠如・多動症） > 各論Iでは、具体的な疾患名をあげ、疫学、発生機序、症状、診断、治療および看護上の留意点について基本的な知識の習得に努める。	グループ課題（プレゼンテーション・アクティブラーニング）：総論・各論ともに動画等を活用し、精神障害者の症状を視覚的に捉えてもらい理解度の向上を図る。	（予習90分）講義の概要を教科書で確認する。（復習90分）配布した講義資料を参考にポストテストに回答し、教科書の関係領域を通読す

				る。

教科書
系統看護学講座 専門分野IIシリーズ 成人看護学 医学書院：⑦脳・神経
参考書
適宜紹介する。
成績評価の方法・基準
単位認定60点以上 試験80%、ポストテストと授業への参加度20%
課題等に対する フィードバックの方法
授業内でレポートや課題(ポストテスト）を課すことがある。授業での講義内容を配布するので、授業内容の理解に役立てること。
履修のポイント
授業への積極的な取り組みを期待する。予習：当日の講義の概要を教科書で確認する。復習：配布した講義資料を中心に教科書の関係領域を通読し、ポストテストに回答する（45分）。
オフィス・アワー
講義終了後に適宜受け付ける。その他、適宜受け付けるので、教務課に依頼し予約すること。山科の講義分についてはチャットでの質疑応答を原則とする。
科目区分
専門基礎科目
当該授業科目の教育課程内での位置づけ
UK-R140

講義コード	10520001
講義名	疫学
(副題)	【教職必修】【保健師必修】
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	前期
講義区分	講義
基準単位数	2
代表曜日	火曜日
代表時限	１時限
必修/選択	必修
実務経験のある教員の有無	無
実務経験のある教員の経歴と授業内容	
学年	4学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 岩田 昇	指定なし

授業の概要と教育目標

保健・医療情報に関する科学的アプローチとして発展してきた疫学の概念と歴史、疫学の指標、疫学研究方法論、スクリーニング、疫学研究の倫理的側面と法的整備などについて総合的に学ぶ。また、看護研究への将来的な応用を視野に、簡単な質問紙調査票を作成し、データ収集ならびにデータ解析を体験的に学ぶ。
なお、授業ではほぼ毎回、現代社会における疫学的所見・報道などを題材として、グループディスカッションおよびプレゼンテーションの時間を設定し、自らの判断・見解を持ち、それを他者に示すスキルも学ぶ。

卒業認定・学位授与の方針との関連

医療保健学部看護学科のディプロマ・ポリシーとの関連として、「人間の理解」を主軸に、「健康・疾病・生活・社会」に関する理解に基づく観察力や判断能力を養うとともに、保健・医療分野を支えるための専門基礎科目として、保健・医療情報の科学的な収集方法・データ解析評価技法・倫理に係る疫学を位置づける。

到達目標

・疫学の概念を理解し、根拠に基づいた保健・医療活動を把握できるようになる。
・医療・健康情報におけるバイアス・交絡要因を認識し、クリティカルにとらえられるようになる。
・保健医療の現象を解明するための方法論を説明できるようになる。

授業計画

	担当者	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	岩田昇	オリエンテーション 授業の進め方、国家試験出題基準	社会環境と医学的事象との関連性について、グループ内で意見を述べ合い，討議する。	予習90分：国家資格出題基準をダウンロードし、疫学関連事項を確認しておくこと 復習90分：配布資料を見直し、疑問点を解消

				しておくこと
第2回	岩田昇	疫学とは 疫学の概念と歴史、臨床疫学、治験	予習に基づいて、臨床疫学や治験について、各自の意見をグループ内で討議する。	予習90分：教科書P.1～12に目を通し、重要キーワードを調べておくこと 復習90分：配布資料を見直し、疑問点を解消しておくこと
第3回	岩田昇	疫学に使用される指標 割合・率・比、有病率と罹患率、致命率と死亡率、相対危険・寄与危険、オッズ比	予習に基づいて、有病率と罹患率の意味、致命率と死亡率について、グループ内で討議しながら理解していく。	予習90分：教科書P.13～27に目を通し、重要キーワードを調べておくこと 復習90分：配布資料を見直し、疑問点を解消しておくこと
第4回	岩田昇	疫学研究の基礎 標本集団と代表性、信頼性、妥当性	予習に基づいて、母集団と標本集団の意味や代表性の重要性に関して討議する。	予習90分：教科書P.29～38に目を通し、重要キーワードを調べておくこと 復習90分：配布資料を見直し、疑問点を解消しておくこと
第5回	岩田昇	疫学の種類① 記述疫学、分析疫学、症例対照研究	予習に基づいて、記述疫学、分析疫学、症例対照研究の特徴について、グループ内で討議しながら理解していく。	予習90分：教科書P.39～61に目を通し、重要キーワードを調べておくこと 復習90分：配布資料を見直し、疑問点を解消しておくこと
第6回	岩田昇	疫学の種類② コホート研究、介入研究	予習に基づいて、コホート研究、介入研究の特徴について、グループ内で討議しながら理解していく。	予習90分：教科書P.62～78に目を通し、重要キーワードを調べておくこと 復習90分：配布資料を見直し、疑問点を解消しておくこと
第7回	岩田昇	確認テスト１	確認テスト１の実施 解答と解説	予習90分：1～6回の資料に目を通し、重要キーワードを理解しておくこと 復習90分：不正解個所を再度確認し、ノートに記しておくこと
第8回	岩田昇	システマティックレビュー、バイアス、交絡 メタアナリシス、選択バイアス、情報バイアス、交絡因子、因果関係	予習に基づいて、選択バイアス、情報バイアス、交絡因子について、グループ内で討議しながら理解していく。	予習90分：教科書P.79～94に目を通し、重要キーワードを調べておくこと 復習90分：配布資料を見直し、疑問点を解消しておくこと
第9回	岩田	スクリーニング① スクリーニングの意義と適用、感度、特異	予習に基づいて、スクリーニングの意義と適用、感度、特異度について、グループ内で	予習90分：教科書P.95～100に目を通し、重要キーワードを調べておくこと

	昇	度、陽性反応的中度、陰性反応的中度、ROC	討議しながら理解していく。	復習　分：配布資料を見直し、疑問点を解消しておくこと
第10回	岩田昇	スクリーニング② データを用いたスクリーニング指標の算出 疫学研究と倫理 疫学に関する倫理指針、倫理審査委員会、インフォームド・コンセント、利益相反	仮想データを用いて、スクリーニング指標を算出し、グループ内で討議する。	予習90分：教科書P.107～110、137～140に目を通しておくこと 復習90分：配布資料を見直し、疑問点を解消しておくこと
第11回	岩田昇	情報収集方法① 調査票、調査票の作成	グループごとにテーマを決めて、簡易調査票を作成する。	予習90分：教科書P.141～154に目を通し、重要キーワードを調べておくこと 復習90分：配布資料を見直し、疑問点を解消しておくこと
第12回	岩田昇	情報収集方法② 調査票、調査票の作成	各グループで共同作業を行い、簡易調査票を完成させる。	予習90分：教科書P.101～105に目を通し、調査項目・選択肢を作成しておくこと 復習90分：配布資料を見直し、項目・選択肢を修正しておくこと
第13回	岩田昇	情報収集方法③ 調査実施および入力	グループごとに教室内で調査を実施し，データ入力を行う。	予習90分：教科書P.111～121に目を通し、データ処理方法を調べておくこと 復習90分：データ解析を行うこと
第14回	岩田昇	情報収集方法④ データ解析	SPSSを用いて、データ解析を行う。	予習90分：データ処理を行い、結果の見える化に工夫すること 復習90分：結果が何を示唆しているのかを考察してみること
第15回	岩田昇	グループ発表 まとめ	グループごとに基礎解析結果を発表し、質疑を行う。	予習90分：1～14回の資料に目を通し、重要キーワードを確認しておくこと 復習90分：不正解個所を再度確認し、ノートに記しておくこと

教科書

日本疫学会監修 はじめて学ぶやさしい疫学 改訂第３版 南江堂

参考書

浅野嘉延著 楽しく学べる！ 看護学生のための疫学・保健統計学 南山堂

成績評価の方法・基準

・単位認定は60点以上
・定期試験による筆記試験を60%、講義後に提出するフィードバックおよび質問紙調査票の出来栄えを40%

課題等に対する フィードバックの方法
・確認テスト(45分程度)の後、解答および解説を行う。 ・グループディスカッション・プレゼンテーションに対するコメント等、適宜行う。
履修のポイント
・健康水準の高い社会に住んでいることを自覚し、俯瞰的視点を持って、積極的に取り組むことを期待します。
オフィス・アワー
・水曜日・木曜日12:30～13:20（昼休み） 11号館第5研究室 （講義終了前後にも適宜受付可能）
科目区分
専門基礎科目
当該授業科目の教育課程内での位置づけ
UK-R172

講義コード	10530001
講義名	保健統計学
(副題)	【保健師必修】
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	後期
講義区分	講義
基準単位数	2
代表曜日	火曜日
代表時限	３時限
必修/選択	必修
実務経験のある教員の有無	無
実務経験のある教員の経歴と授業内容	
学年	4学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 岩田 昇	指定なし

授業の概要と教育目標

保健統計は集団の健康状態を把握するものであり、国・地域の保健関連状態に関する客観的情報となる重要なものである。保健師・看護師として保健医療福祉活動を実践する際には、各種保健統計資料からの情報の収集・整理及び活用、調査・研究に関する能力が求められる。保健統計学では、健康指標ならびに人口に関する指標、データの特徴を記述する記述統計、標本データから母集団の性質を求める推測統計(推定・検定)について学習する。
なお、授業ではほぼ毎回、現代社会における疫学的所見・報道などを題材として、グループディスカッションおよびプレゼンテーションの時間を設定し、自らの判断・見解を持ち、それを他者に示すスキルの取得も目標とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

医療保健学部看護学科のディプロマ・ポリシーとの関連として、「人間の理解」を主軸に、「健康・疾病・生活・社会」に関する理解に基づく観察力や判断能力を養うとともに、保健・医療分野を支えるための専門基礎科目として、疫学とともに保健・医療情報の科学的な収集方法・データ解析評価技法に係る保健統計学を位置づける。

到達目標

1. 保健医療分野における統計の意義と活用事例について述べることができる。
2. 人口統計の種類と定義・内容を述べることができる。
3. 母集団と標本、平均と標準偏差、相関など、推定と検定に関して述べることができる。
4. 統計ソフトを活用して要約統計量の算出や表・グラフの作成および検定を行うことができる。

授業計画

	担当者	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間
	岩	オリエンテーション 保健統計学とは、保健統計の種類および概要、健康指標の分	身の回りにある保健統計学につ	予習90分：国家試験出題基準のうち、保健統計・疫学に関するキー

第1回	田昇	類 課題：保健統計の意義に関する議論を整理する	いて、意見発表し、保健統計の必要性について討議する。	ワードを調べておくこと 復習90分：配布資料を見直し、科目の概要を把握する
第2回	岩田昇	保健医療データの統計解析① データの性質、要約統計量 SPSSの使い方 課題：SPSSの基本的な使い方を習得する	身の回りの多様なデータを題材にして、データの性質およびその要約統計量に関する意見を述べ、全体で討議する。SPSSの実際の使用手続きを体験する。	予習90分：教科書P.111～121に目を通しておくこと。疫学の授業中に収集したデータを確認しておくこと 復習90分：配布資料を見直し、各自でデータ解析を復習すること
第3回	岩田昇	保健医療データの統計解析② SPSSを用いた解析、母集団、標本抽出、推定と検定 課題：SPSSを用いた解析の実行および出力結果の保存の仕方を工夫する	実際のデータを用いての代表値の推定および検定を体験する。母集団と標本集団について、身近な例を用いて議論する。	予習90分：前回課された課題を行っておくこと、SPSSの使い方を確認しておくこと 復習90分：配布資料を見直し、各自でデータ解析を復習すること
第4回	岩田昇	保健医療データの統計解析③ SPSSを用いた解析、図表の種類と使い方 課題：解析結果の見える化の候補を挙げ、議論する	SPSSを用いて、データの性質に適した結果の図表化方法を体験的に学ぶ。	予習90分：前回課された課題を行っておくこと 復習90分：配布資料を見直し、データ解析・見える化を行っておくこと
第5回	岩田昇	保健医療データの統計解析④ SPSSを用いた解析、図表の文章化 課題：統計学的解釈について議論し、文章化して理解する	データの最適な図表化をエクセルを用いて行い、結果の解釈を文章にする。	予習90分：データの解析・図表の改善を行っておくこと 復習90分：配布資料および自分たちの結果を見直し、各自より良い文章に推敲してみること
第6回	岩田昇	保健医療データの統計解析⑤ データ解析に基づく結果発表 課題：相互のプレゼンテーションでの質疑応答を振り返る	各グループでデータ解析結果を適切な図表を提示しながらプレゼンテーションし、質疑討論を行う。	予習90分：プレゼンテーション資料を完成させておくこと 復習90分：配布資料を見直しておくこと
第7回	岩田昇	生命表・平均寿命 平均寿命の計算方法、生命表、健康寿命 課題：生命表算出の	平均寿命の計算方法を各自手計算で体験する。	予習90分：前回発表した内容をレポートにまとめ、授業前に提出のこと 復習90分：配布資料を見直し、エクセル等を用いて、再度計算してみる

		実際を体験的に理解する		こと
第8回	岩田昇	保健統計調査① 人口静態調査、人口動態調査 課題：代表的な人口統計の現状と将来推定について整理する	予習に基づいて、人口静態の動向、人口動態について意見交換し、将来的な日本の人口について討論する。	予習90分：人口静態と人口動態について調べ、年次推移等の情報を整理しておくこと 復習90分：確認テストの出題内容に関する疑問点を調べ、ノートに整理しておくこと
第9回	岩田昇	保健統計調査② 国民健康・栄養調査、患者調査、国民生活基礎調査 課題：健康政策と実態把握のための調査との対応および将来推定について整理する	予習に基づいて、国民健康・栄養調査、患者調査、国民生活基礎調査について意見交換し、現在のライフスタイルの実態や将来予測について討議する。	予習90分：国民健康・栄養調査、国民生活基礎調査について調べ、健康日本２１等との関係付について整理しておくこと 復習90分：配布資料を見直しておくこと
第10回	岩田昇	確認テスト１の実施 解答と解説	短時間の確認テストを実施し、速やかに解答と解説を行い、自身の理解不十分な個所について、レポートにまとめる	予習90分：これまでの学習内容を整理し、試験に備えておくこと 復習90分：確認テストの出題内容に関する疑問点を調べ、ノートに整理しておくこと
第11回	岩田昇	栄養疫学のデータ・食事アセスメント、バイアス 課題：栄養疫学の実際についてのイメージを持つ	具体的な研究例を紹介し、食事アセスメントの方法やバイアスの問題などについて、意見交換・討議する。	予習90分：教科書P.155～156に目を通し、栄養疫学についてWeb等を用いて調べておくこと 復習90分：配布資料を見直し、授業の中で興味を持った事象について調べてみること
第12回	岩田昇	運動疫学のデータ・身体活動、運動、生活活動 分子疫学のデータ・分子マーカー、倫理的課題、研究例 課題：遺伝子情報を用いた最新の疫学手法について理解する	具体的な研究例に基づき、身体疫学の意義や健康教育・指導への応用について討議する。分子マーカーの特性を紹介し、倫理的課題について、意見交換する。	予習90分：教科書P.157～161に目を通し、分子疫学についてWeb等を用いて調べておくこと 復習90分：配布資料を見直し、授業の中で興味を持った事象について調べてみること
第13回	岩田昇	感染症疫学のデータ・感染症疫学の指標、基本再生産数、発病率、ワクチン有効率 課題：感染症パンデミックの予防の困難さや社会経済活動とのバランスについて	感染症疫学の意義について意見交換し、さまざまな指標の意味や利用法について討議する。	予習90分：教科書P.162～163に目を通すとともにパンデミックの概念等について調べておくこと 復習90分：配布資料を見直し、授業の中で興味を持った事象について調べてみること

		考える		
第14回	岩田昇	社会疫学・メンタルヘルスのデータ ・社会格差、ライフコース、心理社会的変数 QOL・生きがいのデータ ・生活機能の測定評価、認知機能の測定、幸福感の国際比較 課題：ライスサイクルで見た時の健康・QOLの測定と実態・国際比較について、その概要を整理する	健康の社会格差に関する研究例を紹介し、心理社会的変数(含、幸福感)や生活機能の測定評価について討議する。	予習90分：教科書P.164～173に目を通し、社会疫学についてWeb等を用いて調べておくこと 復習90分：配布資料を見直し、授業の中で興味を持った事象について調べてみること
第15回	岩田昇	確認テスト２ まとめ	確認テスト２の実施と解答・解説を行い、各自の理解不十分な個所を確認する。	予習90分：1～14回の学習内容を確認しておく 復習90分：不正解個所を確認・理解し、ノートに記しておくこと

教科書

日本疫学会監修 はじめて学ぶやさしい疫学 改訂第３版 南江堂

参考書

浅野嘉延著 楽しく学べる！ 看護学生のための疫学・保健統計学 南山堂

成績評価の方法・基準

・単位認定は60点以上
・２回の筆記試験の成績（60%）
・レポート課題の提出状況および内容（40%）

課題等に対するフィードバックの方法

・確認テスト(45分程度)の後、解答および解説を行う。
・グループディスカッション・プレゼンテーションに対するコメント等適宜行う。
・SPSSを用いた計算課題では、教員が実際に解析を実行し、各自の確認を促す。

履修のポイント

・健康水準の測定・評価方法を習得すべく、苦手意識を払拭し積極的に取り組むことを期待します。

オフィス・アワー

・水曜日・木曜日12:30～13:20（昼休み） 11号館第5研究室
（講義終了前後にも適宜受付可能）

科目区分

専門基礎科目

当該授業科目の教育課程内での位置づけ

UK-R180

講義コード	10540001
講義名	医療保健福祉行政論（看護師課程）
(副題)	
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	後期
講義区分	講義
基準単位数	2
代表曜日	月曜日
代表時限	１時限
必修/選択	必修
実務経験のある教員の有無	無
実務経験のある教員の経歴と授業内容	
学年	4学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 松原 直樹	指定なし

授業の概要と教育目標

本講座では、保健医療福祉行財政の理念としくみについて、歴史的変遷・諸外国の制度と対比させながら、学習する。その上で、現在の医療保健福祉に関する制度を学習する。さらに、市町村を中心とした地方自治体での保健医療福祉行政がどのように立案・実施されているかを中心に学習する。最後に、保健医療福祉行政が現状において、いかなることを中心に活動をしているかについて、学習する。
この講座での学修により、医療保健職として必要な基礎的知識である現在の保健医療福祉行政の制度的枠組み、現実の保健医療福祉行政の活動について理解する。

卒業認定・学位授与の方針との関連

人間と社会との関わりについて理解する講座であり、看護学の基礎となる、健康生活と社会との関係について、理解する。対象者を取り巻く環境についての客観的な評価をするための知識・技術、調整能力及び問題解決能力を修得する。

到達目標

１．保健医療福祉行財政の理念としくみについて理解する。
２．現在の医療保健福祉に関する制度を理解する。
３．市町村を中心とした地方自治体での保健医療福祉行政のしくみを理解する。

授業計画

	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	社会保障制度の基本的考え方と社会福祉法を理解する。次に、憲法25条1項と生活保護制度の関係について、学修し、さらに公的扶助の基本原理及び扶助の具体的内容について学習する。		予習90分： シラバス及び『社会保障・社会福祉』第6章を読む。 復習90分：チェックテストの解答・解説を確認し、間違ったところを解

			説にチェックし、ハンドアウトで復習する。
第2回	高齢者福祉制度の概要と障害者福祉制度の概要と変遷について学習する。具体的には、老人福祉法及び高齢者虐待防止法を中心に高齢者福祉法令を学習し、障害者基本法の内容と障害者総合支援法の目的・内容で障害者福祉制度について学習する。		予習90分： ハンドアウト第2回及び『社会保障・社会福祉』 第7章A・B①～②を読む。 復習90分：チェックテストの解答・解説を確認し、間違ったところを解説にチェックし、ハンドアウトで復習する。
第3回	障害者福祉に係る制度について、学習する。具体的には、障害者総合支援法の具体的内容、障害者に対する就労支援の仕組み、障害者虐待防止法について理解する。さらに、身体障害者・知的障害者・精神障害者・発達障害者に係る法令を理解する。		予習90分： ハンドアウト第3回及び『社会保障・社会福祉』第7章B③～⑤を読む。 復習90分：チェックテストの解答・解説を確認し、間違ったところを解説にチェックし、ハンドアウトで復習する。
第4回	児童家庭福祉に関わる制度として、児童福祉法および母子・福祉並びに寡婦福祉法に規定される制度を学習する。また、少子化対策に関する対策について、学習する。		予習90分： ハンドアウト第4回及び『社会保障・社会福祉』第7章Cを読む。 復習90分：チェックテストの解答・解説を確認し、間違ったところを解説にチェックし、ハンドアウトで復習する。
第5回	国及び地方自治体による行政がどのように実施されるかを学習し、その上で医療保健福祉に関する行政の仕組みについて概観する。また、わが国の医療保健福祉制度の基礎がどのように形成され、またそれがどのように変化してきたかについて学習する。		予習90分： ハンドアウト第5回及び『看護関係法令』p.12～p.18を読む。 復習90分：チェックテストの解答・解説を確認し、間違ったところを解説にチェックし、教科書・ハンドアウトで復習する。
		事前に調査した自分	予習90分： ハンドアウト第6回を読む。居住する市町

第6回	国、都道府県、市町村の医療保健福祉行政及び財政のしくみと役割について、学習する。	の居住している市町村の医療・福祉担当部署を発表する。また、市町村予算に占める医療・福祉の費用の割合を発表する。	村行財政を調査する。 復習90分：チェックテストの解答・解説を確認し、間違ったところを解説にチェックし、ハンドアウトで復習する。
第7回	わが国の社会保障制度の概要について学習する。社会保険、社会福祉、公的扶助のそれぞれの分野について概観する。医療提供制度の概要について学習する。		予習90分： ハンドアウト第7回を読む。 復習90分：チェックテストの解答・解説を確認し、間違ったところを解説にチェックし、ハンドアウトで復習する。
第8回	医療サービスがどこでどのような形で行われるかについて、医療法の規定をもとに学習する。 中間テスト(40分)を実施する。		予習90分： ハンドアウト第8回を読む。 復習90分：チェックテストの解答・解説を確認し、間違ったところを解説にチェックし、ハンドアウトで復習する。
第9回	医療保険制度の基本的しくみを復習し、医療保険を利用した場合の診療報酬制度について、具体的に学習する。		予習90分： ハンドアウト第9回を読む。 復習90分：チェックテストの解答・解説を確認し、間違ったところを解説にチェックし、ハンドアウトで復習する。
第10回	介護保険制度の基本的概要やしくみについて復習し、近年の改正点を中心に介護保険制度の現状を概観する。		予習90分： ハンドアウト第10回を読む。 復習90分：チェックテストの解答・解説を確認し、間違ったところを解説にチェックし、ハンドアウトで復習する。
第11回	地域包括支援センターを中心とした、地域包括ケアシステムについて学習し、さらに看護師・保健師と他の医療		予習90分： ハンドアウト第11回を読む。 復習90分：チェックテストの解答・解説を確認し、間

	職との連携について、学習する。		違ったところを解説にチェックし、ハンドアウトで復習する。
第12回	都道府県・市町村に義務づけられたり、努力義務化されている保険医療福祉に係る計画について、根拠法令と内容について、学習する。	事前に調査した自分の居住している都道府県や市町村が作成した法定の計画のうち、事前に指定された計画の概要を調査して発表する。	予習90分： ハンドアウト第12回を読む。居住する都道府県及び市町村の保険医療福祉計画を調査する。 復習90分：チェックテストの解答・解説を確認し、間違ったところを解説にチェックし、ハンドアウトで復習する。
第13回	成年後見制度をはじめとする高齢者の人権保障に関する諸制度を学習する。患者の人権保障について、近年の状況を学習する。		予習90分： ハンドアウト第13回を読む。 復習90分：チェックテストの解答・解説を確認し、間違ったところを解説にチェックし、ハンドアウトで復習する。
第14回	生活習慣病対策、精神保健対策、自殺対策、依存症対策 、歯科口腔保健対策、感染症対策、がん対策、難病対策、災害対策等について、現在の政策と動向について学習する。		予習90分： ハンドアウト第14回を読む。 復習90分：チェックテストの解答・解説を確認し、間違ったところを解説にチェックし、ハンドアウトで復習する。
第15回	医療保健福祉行政制度について、全体を俯瞰する。		予習90分： チェックテストの解答・解説1～14を確認する。 復習90分：チェックテストの解答・解説を確認し、間違ったところを解説にチェックし、ハンドアウトで復習する。

教科書

使用しない

参考書

福田素生・他著『≪系統看護学講座 専門基礎分野≫ 健康支援と社会保障制度③社会保障・社会福祉』（医学書院)

森山幹夫『《系統看護学講座 専門基礎分野》健康支援と社会保障制度④ 看護関係法令』(医学書院)
厚生労働省編『厚生労働白書 令和2年度版』(ぎょうせい)

成績評価の方法・基準

平常点（学習態度・チェックテスト・中間テスト等）［20%］、テスト［80%］を総合して評価。総合点60点以上で単位認定する。

課題等に対するフィードバックの方法

毎回授業終了前、10分間に10問のチェックテストを実施する。解答・解説は、授業終了時に配付するとともに、授業終了後に「Teams」または「moodle」の「看護学科4年・医療保健福祉行政論」－「看護師課程」のフォルダーにPDFファイルで掲載する。答案は、採点の後、原則として、次回の授業時に返却する(または正誤がわかるようにする)。定期試験のマーク式解答については、試験終了後「Teams」または「moodle」」の「看護学科4年・医療保健福祉行政論」－「看護師課程」のフォルダーにPDFファイルで掲載する。

履修のポイント

保健医療福祉活動の基礎となる医療福祉行政の仕組みについて学習する。この講座は、看護師国家試験の範囲となっている。「社会保障論」及び「医療関係法規」で取り扱った事がらについても再度学習する。

オフィス・アワー

月・水・金曜日，11時～15時（授業時間以外），11号館３階研究室11

科目区分

専門基礎科目

当該授業科目の教育課程内での位置づけ

UK-R134

講義コード	10540002
講義名	医療保健福祉行政論（保健師課程）
(副題)	
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	後期
講義区分	講義
基準単位数	2
代表曜日	金曜日
代表時限	１時限
必修/選択	必修
実務経験のある教員の有無	無
実務経験のある教員の経歴と授業内容	
学年	4学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 松原 直樹	指定なし

授業の概要と教育目標

本講座では、保健医療福祉行財政の理念としくみについて、歴史的変遷・諸外国の制度と対比させながら、学習する。その上で、現在の医療保健福祉に関する制度を学習する。さらに、市町村を中心とした地方自治体での保健医療福祉行政がどのように立案・実施されているかを中心に学習する。最後に、保健医療福祉行政が現状において、いかなることを中心に活動をしているかについて、学習する。
この講座での学修により、医療保健職として必要な基礎的知識である現在の保健医療福祉行政の制度的枠組み、現実の保健医療福祉行政の活動について理解する。

卒業認定・学位授与の方針との関連

人間と社会との関わりについて理解する講座であり、看護学の基礎となる、健康生活と社会との関係について、理解する。対象者を取り巻く環境についての客観的な評価をするための知識・技術、調整能力及び問題解決能力を修得する。

到達目標

１．保健医療福祉行財政の理念としくみについて理解する。
２．現在の医療保健福祉に関する制度を理解する。
３．市町村を中心とした地方自治体での保健医療福祉行政のしくみを理解する。

授業計画

	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	社会保障制度の基本的考え方と社会福祉法を理解する。また、社会保険、社会福祉、公的扶助のそれぞれの分野について概観する。次に、憲法25条1項と生活保護制度の関係について、学習し、さらに		予習90分：『保健医療福祉行政論3章A・D3及び『社会保障・社会福祉』第6章を読む。 復習90分：チェックテストの解答・

	公的扶助の基本原理及び扶助の具体的内容について学習する。		解説を確認し、間違ったところを解説にチェックし、ハンドアウトで復習する。
第2回	高齢者福祉制度の概要と障害者福祉制度の概要と変遷について学習する。具体的には、老人福祉法及び高齢者虐待防止法を中心に高齢者福祉法令を学習し、障害者基本法の内容と障害者総合支援法の目的・内容で障害者福祉制度について学習する。		予習90分：『保健医療福祉行政論3章D5・6及び『社会保障・社会福祉』第7章A・B①～②を読む。 復習90分：チェックテストの解答・解説を確認し、間違ったところを解説にチェックし、ハンドアウトで復習する。
第3回	障害者福祉に係る制度について、学習する。具体的には、障害者総合支援法の具体的内容、障害者に対する就労支援の仕組み、障害者虐待防止法について理解する。さらに、身体障害者・知的障害者・精神障害者・発達障害者に係る法令を理解する。		予習90分：『保健医療福祉行政論3章D6及び『社会保障・社会福祉』第7章B③～⑤を読む。 復習90分：チェックテストの解答・解説を確認し、間違ったところを解説にチェックし、ハンドアウトで復習する。
第4回	わが国の社会保障制度の概要について学習する。児童家庭福祉に関わる制度として、児童福祉法および母子・福祉並びに寡婦福祉法に規定される制度を学習する。また、少子化対策に関する対策について、学習する。		予習90分：『保健医療福祉行政論』3章D4及び『社会保障・社会福祉』第7章Cを読む。 復習90分：チェックテストの解答・解説を確認し、間違ったところを解説にチェックし、ハンドアウトで復習する。
第5回	国及び地方自治体による行政がどのように実施されるかを学習し、その上で医療保健福祉に関する行政の仕組みについて概観する。また、わが国の医療保健福祉制度の基礎がどのように形成され、またそれがどのように変化してきたかについて学習する。		予習90分：『保健医療福祉行政論』序章・1章を読む。 復習90分：チェックテストの解答・解説を確認し、間違ったところを解説にチェックし、教科書・ハンドアウトで復習する。

第6回	国、都道府県、市町村の医療保健福祉行政のしくみと役割について、学習する。	事前に調査した自分の居住している市町村の医療・福祉担当部署を発表する。	予習90分：『保健医療福祉行政論』2章ABを読む。居住する市町村行政を調査する。 復習90分：チェックテストの解答・解説を確認し、間違ったところを解説にチェックし、ハンドアウトで復習する。
第7回	国、都道府県、市町村の医療保健福祉財政のしくみと役割について、学習する。また、公衆衛生に関する国際的組織とその活動の概要について、学習する。	事前に調査した自分の居住している市町村予算に占める医療・福祉の費用の割合を発表する。	予習90分：『保健医療福祉行政論』2章CDを読む。居住する市町村行政を調査する。 復習90分：チェックテストの解答・解説を確認し、間違ったところを解説にチェックし、ハンドアウトで復習する。
第8回	医療提供制度の概要について学習し、医療サービスがどこでどのような形で行われるかについて学習する。		予習90分：『保健医療福祉行政論』3章B1を読む。 復習90分：チェックテストの解答・解説を確認し、間違ったところを解説にチェックし、ハンドアウトで復習する。
第9回	医療保険制度の基本的しくみを復習し、医療保険を利用した場合の診療報酬制度について、具体的に学習する。		予習90分：『保健医療福祉行政論』3章B2を読む。 復習90分：チェックテストの解答・解説を確認し、間違ったところを解説にチェックし、ハンドアウトで復習する。
第10回	介護保険制度の基本的概要やしくみについて復習し、近年の改正点を中心に介護保険制度の現状を概観する。		予習90分：『保健医療福祉行政論』3章C1～2を読む。 復習90分：チェックテストの解答・解説を確認し、間違ったところを解

			説にチェックし、ハンドアウトで復習する。
第11回	地域包括支援センターを中心とした、地域包括ケアシステムについて学習し、さらに看護師・保健師と他の医療職との連携について、学習する。	事前に調査した自分の居住している市町村において、地域包括ケアシステムがどのように機能しているかについて、発表する。	予習90分：『保健医療福祉行政論C3章B3～5を読む。 復習90分：チェックテストの解答・解説を確認し、間違ったところを解説にチェックし、ハンドアウトで復習する。
第12回	都道府県・市町村に義務づけられたり、努力義務化されている保険医療福祉に係る計画について、根拠法令と内容について、学習する。	事前に調査した自分の居住している都道府県や市町村が作成した法定の計画のうち、事前に指定された計画の概要を調査して発表する。	予習90分：『保健医療福祉行政論』5章を読む。居住する都道府県及び市町村の保険医療福祉計画を調査する。 復習90分：チェックテストの解答・解説を確認し、間違ったところを解説にチェックし、ハンドアウトで復習する。
第13回	患者・高齢者の人権保障に関する諸制度を学習する。患者の人権保障について、近年の状況を学習する。		予習90分：『保健医療福祉行政論』3章D7及びハンドアウト第13回(事前配布)を読む。 復習90分：チェックテストの解答・解説を確認し、間違ったところを解説にチェックし、ハンドアウトで復習する。
第14回	生活習慣病対策、精神保健対策、自殺対策、依存症対策 、歯科口腔保健対策、感染症対策、がん対策、難病対策、災害対策等について、現在の政策と動向について学習する。		予習90分：『保健医療福祉行政論』1章Bを読む。 復習90分：チェックテストの解答・解説を確認し、間違ったところを解説にチェックし、ハンドアウトで復習する。
			予習90分： チェックテストの解答・解説1～14を確認する。 90

第15回	医療保健福祉行政制度について、全体を俯瞰する。		復習　分：チェックテストの解答・解説を確認し、間違ったところを解説にチェックし、ハンドアウトで復習する。

教科書

藤内修二・他著『≪標準保健師講座 別巻1≫保健医療福祉行政論』（医学書院）

参考書

福田素生・他著『≪系統看護学講座 専門基礎分野≫ 健康支援と社会保障制度③社会保障・社会福祉』（医学書院)
森山幹夫『《系統看護学講座 専門基礎分野》健康支援と社会保障制度④ 看護関係法令』(医学書院）
厚生労働省編『厚生労働白書 令和2年度版』(ぎょうせい)

成績評価の方法・基準

平常点（学習態度・チェックテスト・中間テスト等）［20%］、テスト［80%］を総合して評価。総合点60点以上で単位認定する。

課題等に対する
フィードバックの方法

毎回授業終了前、10分間に10問のチェックテストを実施する。解答・解説は、授業終了時に配付するとともに、授業終了後に「Teams」または「moodle」の「看護学科4年・医療保健福祉行政論」－「保健師課程」のフォルダーにPDFファイルで掲載する。答案は、採点の後、原則として、次回の授業時に返却する(または正誤がわかるようにする)。定期試験のマーク式解答については、試験終了後「Teams」または「moodle」の「看護学科4年・医療保健福祉行政論」－「保健師課程」のフォルダーにPDFファイルで掲載する。

履修のポイント

保健医療福祉活動の基礎となる医療福祉行政の仕組みについて学習する。この講座の範囲は、保健師国家試験だけでなく看護師国家試験の範囲となっている。「社会保障論」及び「医療関係法規」で取り扱った事がらについても再度学習する。

オフィス・アワー

月・水・金曜日，11時～15時（授業時間以外），11号館３階研究室11

科目区分

専門基礎科目

当該授業科目の教育課程内での位置づけ

UK-R134

講義コード	10550001
講義名	社会福祉学概論
(副題)	【保健師必修】
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	後期
講義区分	講義
基準単位数	1
代表曜日	水曜日
代表時限	４時限
必修/選択	選択
実務経験のある教員の有無	有
実務経験のある教員の経歴と授業内容	社会福祉士として福祉施設に勤務し、主に高齢者支援にあたる。その経験を本講義の学習内容に活かしていく。
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教 員	◎ 服部 弘	指定なし

授業の概要と教育目標

わが国における社会福祉、社会保障の成り立ちについて学ぶとともに、保健、医療、福祉が密接な関係をもって私たちの暮らしを支えていることについて学習を行う。また、現在における人口の変化や世帯構造の変化が及ぼす社会福祉、社会保障のあり方について具体的事例などを踏まえて、様々な専門職との連携の重要性や地域における生活者としての視点の大切さを講義や演習により学習を進める。
社会福祉、社会保障の基本的理解を行い、生活を支えるための福祉サービス等のあり方と視点について学ぶことを目的とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

医療保健学部看護学科のディプロマ・ポリシーとの関連として、社会福祉学を学ぶことによって、人間に対して、社会・環境・コミュニケーションなどの諸側面からの理解を深めることを目指すものとする。

到達目標

１．社会福祉、社会保障の成り立ちについて説明できる。
２．社会構造の変化による社会福祉のあり方について説明できる。
３．具体的な事例を通じて、医療、福祉の連携や生活支援のあり方について説明できる。
４．社会における福祉的課題について関心をもち、地域支援への展開について説明できる。

授業計画

	担当者	授業内容と方法、課題	予習・復習と そのために必要な時間
第1回	服部弘	＜社会保障制度と社会福祉＞ ・社会保障及び社会福祉の法制度 ＜現代社会の変化と社会保障・社会福祉の動向＞ ・現代社会の変化 ・社会保障、社会福祉の動向	予習90分：教科書を読む 復習90分：教科書・配布資料を見直す
		＜医療保障＞	

第2回	服部弘	・医療保障制度の沿革 ・医療保障制度の構造と体系 ・健康保険と国民健康保険 ・高齢者医療制度	予習90分：教科書を読む 復習90分：教科書・配布資料を見直す
第3回	服部弘	＜介護保障＞ ・介護保険制度創設の背景と介護保障の歴史 ・介護保険制度の概要 ・介護保険制度の課題と展望	予習90分：教科書を読む 復習90分：教科書・配布資料を見直す
第4回	服部弘	＜所得保障＞ ・所得保障制度のしくみ ・年金保険制度 ・社会手当 ・労働保険制度	予習90分：教科書を読む 復習90分：教科書・配布資料を見直す
第5回	服部弘	＜公的扶助＞ ・貧困、低所得問題と公的扶助制度 ・生活保護制度のしくみ ・低所得者対策 ・近年の動向	予習90分：教科書を読む 復習90分：教科書・配布資料を見直す
第6回	服部弘	＜社会福祉の分野とサービス①＞ ・高齢者福祉 ・障害者福祉 ・児童家庭福祉	予習90分：教科書を読む 復習90分：教科書・配布資料を見直す
第7回	服部弘	＜社会福祉の分野とサービス②＞ ・高齢者福祉・障害者福祉・児童家庭福祉 ＜社会福祉実践と医療・看護＞ ・社会福祉援助 ・社会福祉実践と医療・看護との連携	予習90分：教科書を読む 復習90分：教科書・配布資料を見直す
第8回	服部弘	＜これまでの講義のまとめ＞ ～これまでの授業の習熟度の確認と振り返り～	予習90分：教科書を読む 復習90分：教科書・配布資料を見直す

教科書

福田素生著者代表「社会保障・社会福祉 健康支援と社会保障制度３」医学書院

参考書

適宜紹介をする。

成績評価の方法・基準

単位認定６０点以上 筆記試験100%。 ※授業態度も加味する

課題等に対する
フィードバックの方法

配布資料等を参考にし、理解に役立てること。

履修のポイント

授業への積極的な取り組みを期待します。

オフィス・アワー

講義終了前後などに、適宜受け付けます。

科目区分

専門基礎科目

当該授業科目の教育課程内での位置づけ

UK-C126

講義コード	10560001
講義名	社会保障論
(副題)	
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	前期（重複①）
講義区分	講義
基準単位数	1
代表曜日	水曜日
代表時限	１時限
必修/選択	必修
実務経験のある教員の有無	無
実務経験のある教員の経歴と授業内容	
学年	2学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 松原 直樹	指定なし

授業の概要と教育目標

本講座は、看護学科教育課程の「健康支援と社会保障制度」の中の「社会保障の理念と基本的な制度の考え方」を理解するためのコースである。ここでは、疾病・老齢・要介護・失業などの危機に対応する医療保険・年金保険・介護保険・雇用保険などの公的保険制度と理念、その他の社会保障に関する制度と理念が、福祉・医療制度の中で、また私たちの生活の中でどのような機能を果たしているかを学修する。また、医療保健職として不可欠な知識を得るだけでなく、生活者として知っておくべきことがらについても学修していく。
この講座での学修により、現在の社会保障制度の基本的理念とそのしくみを理解し、さらに個々の社会保険の具体的内容と機能、その他の社会保障の制度内容を正確に理解する。

卒業認定・学位授与の方針との関連

人間を社会との関係で理解し、看護学の基礎となる健康生活と社会について、理解する。その上で、対象者への実践的な援助において、多様な対応を可能とするような知識の修得を目ざす。

到達目標

１．社会保障の理念・機能を理解する。
２．社会保障の具体的しくみ、位置づけについて理解する。
３．社会保障と国民生活の関係、社会保障の課題について理解する。

授業計画

	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	社会保障の概念・目的について理解した後、社会保障の概要・法制度について学習する。さらに、現代の社会保障を取り巻く環境の変化と、それに対する社会福祉政策の近年の動向と社会福祉の現状について学習する。		予習90分：教科書第1章～第4章を読む。 復習90分：チェックテストの解答・解説を確認し、間違ったところを解説にチェックし、教科

			書・ハンドアウトで復習する。
第2回	わが国の医療制度の沿革・特徴について学習し、また医療保険の種類を正しく理解する。	自分の加入している(被扶養者となっている)医療保険の被保険者証を確認し、集計し、発表する。	予習90分：教科書第6章1を読む。 復習90分：チェックテストの解答・解説を確認し、間違ったところを解説にチェックし、教科書・ハンドアウトで復習する。
第3回	高齢者医療制度について学習し、国民医療費を学習し、医療保障における見通し及び課題を検討する。		予習90分：教科書第6章1を読む。 復習90分：チェックテストの解答・解説を確認し、間違ったところを解説にチェックし、教科書・ハンドアウトで復習する。
第4回	介護保険制度が創設された背景と現在までの沿革、および介護保険制度の概要について、学習する。	自分の居住している市町村の介護保険事業計画の特徴について、事前に調査した項目について、発表する。	予習120分：教科書第6章2を読む。自分の居住している市町村の介護保険事業計画をホームページで見て、特徴を調べておく。 復習60分：チェックテストの解答・解説を確認し、間違ったところを解説にチェックし、教科書・ハンドアウトで復習する。
第5回	具体的な介護保険制度のしくみについて学習し、市町村が主体的に実施する介護保険事業を中心に学習する。また、近年の介護保険改革とその内容について、学習する。		予習90分：教科書第6章2を読む。 復習90分：チェックテストの解答・解説を確認し、間違ったところを解説にチェックし、教科書・ハンドアウトで復習する。
第6回	所得保障制度制度の概要について学習する。具体的な所得保障制度の中心である年金保険制度について沿革・具体的内容及び課題を学習する。		予習90分：教科書第6章3を読む。 復習90分：チェックテストの解答・解説を確認し、間違ったところを解説にチェックし、教科書・ハンドアウトで復習する。
			予習90分：教科書第6章4を読む。 復習90分：チェック

第7回	各種社会手当、労働保険制度(雇用保険及び労働者災害補償保険)のしくみ･内容について概観する。		テストの解答・解説を確認し、間違ったところを解説にチェックし、教科書・ハンドアウトで復習する。
第8回	社会保障制度における公的扶助の位置づけを理解し、生活保護制度を中心にその概要と具体的内容を学習する。公的扶助の現代の課題と生活保護以外の低所得層対策について学習する。これまで学習した制度の社会保障における位置づけについて、学習する。		予習90分：教科書第6章5～6を読む。 復習90分：チェックテストの解答・解説を確認し、間違ったところを解説にチェックし、教科書・ハンドアウトで復習する。

教科書

川村匡由・編著『改訂 社会保障』(建帛社)
※「社会福祉学概論」の授業で指定された教科書を購入した学生は、その教科書を利用しても構わない。

参考書

厚生労働省編『厚生労働白書 令和2年度版』(ぎょうせい)

成績評価の方法・基準

平常点(授業時間内のチェックテスト、発表等)20%、定期テスト80%を総合して評価。総合点60点以上で単位認定する。

課題等に対するフィードバックの方法

毎回授業終了前、10分間に10問のチェックテストを実施する。解答・解説は、授業終了時に配付するとともに、授業終了後に「Teams」または「moodle」の「看護学科2年・社会保障論」のフォルダーにPDFファイルで掲載する。答案は、採点の後、原則として、次回の授業時に返却する(または正誤がわかるようにする)。定期試験のマーク式解答については、試験終了後「Teams」または「moodle」の「看護学科2年・社会保障論」のフォルダーにPDFファイルで掲載する。

履修のポイント

社会保障・社会福祉関連の資料をハンドアウトとして多数配布するので、整理しておくこと。この講座は、4年生配当の「医療関係法規」「医療保健福祉行政論」と深い関連のある講座である。

オフィス・アワー

月・水・金曜日，11時～15時（授業時間以外），11号館３階研究室11

科目区分

専門基礎科目

当該授業科目の教育課程内での位置づけ

UK-R173

講義コード	10570001
講義名	医療関係法規
(副題)	
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	前期（重複②）
講義区分	講義
基準単位数	2
代表曜日	月曜日
代表時限	１時限
必修/選択	必修
実務経験のある教員の有無	無
実務経験のある教員の経歴と授業内容	
学年	4学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 松原 直樹	指定なし

授業の概要と教育目標

本講座は、「健康支援と社会保障制度」の一分野として位置づけられる「関係法規」に関する講座である。医療に関する法規としては、すでにさまざまなものが存在しているが、毎年さらに多くの法規が誕生し、また改廃されている。授業では、医療従事者の関わるさまざまな医療、保健衛生、社会福祉などに関連する具体的な法規について学習し、さらに患者の人権や医療過誤等に関する現代的問題についても、学習していく予定である。なお、社会福祉制度の具体的内容に係ることがらについては、後期の「医療保健福祉行政論」の授業で取り扱う。
この講座での学修により、医療従事者が従わなくてはならない個々の法令の目的・趣旨を理解して、そうした法令を遵守して対象者に医療を提供することができるように、医療関係法令の内容を正確に理解する。

卒業認定・学位授与の方針との関連

医療者及び対象者を社会の側面から理解する講座であり、また看護学の基礎となる、健康生活と社会との関係について、理解するものである。さらに、医療者として必要な倫理、守るべき法令を理解し、行動する際の規範を理解する。

到達目標

１．医療従事者として知っておくべき基本的ルールを理解する。
２．保健医療の各分野の制度について、基本原則を理解し、それに関する具体的なルールを理解する。
３．社会の変化に伴う医療関係法令の改正についても、理解する。

授業計画

	授業内容と方法、課題	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	授業の進め方、看護師国家試験におけるこの教科目の位置づけについて説明した後、法規とその種類について、法学の基礎的知識を学習する。そして、衛生法規とは具体的に何を指	予習90分：教科書第1章を読む。 復習90分：チェックテストの解答・解説を確認し、間

	すのか、それに基づく厚生行政はどのように実施されているかを学習する。授業終了前10分間で学習内容についてのチェックテストを実施する。	違ったところを解説にチェックし、教科書・ハンドアウトで復習する。
第2回	医療を行う人に関する法規のうち、看護業務に関わりの深い医療従事者に関する法規について、その目的と主な規定内容について、学習する。具体的には、保健師助産師看護師法、医師法、看護師人材確保法等を学習する。授業終了前10分間で学習内容についてのチェックテストを実施する。	予習90分：教科書第2章を読む。 復習90分：チェックテストの解答・解説を確認し、間違ったところを解説にチェックし、教科書・ハンドアウトで復習する。
第3回	主に医療を行う場・環境に関して規定している医療法について、その目的、具体的内容を学習する。特に、医療の目的、医療者の責務、医療機関、医療計画等、重要なことがらを中心に学習する。また、医療に関して規定しているその他の法規(臓器移植法、他）についても学習する。授業終了前10分間で学習内容についてのチェックテストを実施する。	予習90分：教科書第3章を読む。 復習90分：チェックテストの解答・解説を確認し、間違ったところを解説にチェックし、教科書・ハンドアウトで復習する。
第4回	薬務法規と薬剤等を扱う人に関する法を学習する。医薬品等に関する一般法である医薬品、医療機器等法について学習し、さらに薬剤を主に扱う医療専門職に関する薬剤師法を学習する。また、さらに取り扱いに注意すべき薬剤・毒物等に関する法令を取り上げ、医療従事者の役割と規制内容について学習する。授業終了前10分間で学習内容についてのチェックテストを実施する。	予習90分：教科書第5章を読む。 復習90分：チェックテストの解答・解説を確認し、間違ったところを解説にチェックし、教科書・ハンドアウトで復習する。
第5回	保健に関する全般的な行政施策・担当組織等を規定している地域保健法と健康増進法について、その目的・主な内容等を学習した後、個別分野の保健方針・行政施策等を規定している各種保健法のうち、精神保健福祉法について学習する。授業終了前10分間で学習内容についてのチェックテストを実施する。	予習90分：教科書第4章p.118〜p.132を読む。 復習90分：チェックテストの解答・解説を確認し、間違ったところを解説にチェックし、教科書・ハンドアウトで復習する。
第6回	保健に関して個別分野ごとに保健方針・行政施策等を規定している各種保健法のうち、母子保健法・母体保護法、学校保健安全法について、その目的、主な行政施策の内容等を学習する。さらに具体的な保健対策法のうち、近年の大きな課題となっているがん対策基本法、自殺対策基本法等について、学習する。授業終了前10分間で学習内容についてのチェックテストを実施する。	予習90分：教科書第4章p.132〜p.143を読む。 復習90分：チェックテストの解答・解説を確認し、間違ったところを解説にチェックし、教科書・ハンドアウトで復習する。
	保健衛生に関する法の中でも、感染症に関する法について学習する。具体的には、感染症予防法・予防接種法・検疫法に	予習90分：教科書第4章p.144〜p.160を読む。 復習90分：チェッ

第7回	ついて、その目的・沿革・とりうる行政施策等について学習する。また、食品に関する法のうち、代表的な食品安全基本法と食品衛生法について、概観する。授業終了前10分間で学習内容についてのチェックテストを実施する。	クテストの解答・解説を確認し、間違ったところを解説にチェックし、教科書・ハンドアウトで復習する。
第8回	日常生活を取り巻く環境に関する法令について、特に水とゴミに関する法令を中心に学習する。さらに環境保全に関する法令について、環境基本法をはじめ、個別の公害防止法、さらには環境に関する主な条約についても学習する。授業終了前40分間で第1回から第8回までの学習内容についての中間テストを実施する。	予習90分：教科書第6章・第10章を読む。 復習90分：チェックテストの解答・解説を確認し、間違ったところを解説にチェックし、教科書・ハンドアウトで復習する。
第9回	労働者に関する法規である労働法のうち、働く人たちの健康を守る立場である医療従事者として知っておく必要のある法令の内容について学習する。労働基準法、労働安全衛生法に加えて、特に働く女性の保護を規定している男女雇用機会均等法、育児休業・介護休業法について学習する。授業終了前10分間で学習内容についてのチェックテストを実施する。	予習90分：教科書第9章を読む。 復習90分：チェックテストの解答・解説を確認し、間違ったところを解説にチェックし、教科書・ハンドアウトで復習する。
第10回	2年次の「社会保障論」の授業で学習した「医療保障」に係る社会保険法について、再度重要な部分を確認し、また補足説明をする。医療保険に関するいくつかの法規等を中心に学習する。授業終了前10分間で学習内容についてのチェックテストを実施する。	予習90分：教科書第7章p.189～p.197を読む。『社会保障・社会福祉』第3章A～Cを読む。 復習90分：チェックテストの解答・解説を確認し、間違ったところを解説にチェックし、教科書・ハンドアウトで復習する。
第11回	前回の授業で学習した「医療保障」に係る社会保険法について、引き続き、学習する。また、国民医療費等についても学習する。授業終了前10分間で学習内容についてのチェックテストを実施する。	予習90分：教科書第7章p.197～p.199を読む。『社会保障・社会福祉』第3章D～Gを読む。 復習90分：チェックテストの解答・解説を確認し、間違ったところを解説にチェックし、教科書・ハンドアウトで復習する。
	2年次の「社会保障論」の授業で学習した「介護保障」に係	予習90分：教科書 教科書 第7章p.199～p.205を読む。『社会保障・社会福祉』 4　A B

第12回	る社会保険法について、再度重要な部分を確認し、また補足説明をする。介護保険に関する規定を中心に学習する。授業終了前10分間で学習内容についてのチェックテストを実施する。	第 章 ・ ①～⑤を読む。 復習90分：チェックテストの解答・解説を確認し、間違ったところを解説にチェックし、教科書・ハンドアウトで復習する。
第13回	前回の授業で学習した「介護保障」に係る社会保険法について、引き続き、学習する。介護保険の中でも地域支援事業等、市町村が主体となるサービスに関する規定を中心に学習する。授業終了前10分間で学習内容についてのチェックテストを実施する。	予習90分：教科書第7章p.205～p.206を読む。『社会保障・社会福祉』第4章B⑤～⑧・Cを読む。 復習90分：チェックテストの解答・解説を確認し、間違ったところを解説にチェックし、教科書・ハンドアウトで復習する。
第14回	2年次の「社会保障論」の授業で学習した「所得保障」に係る社会保険法について、再度重要な部分を確認し、また補足説明をする。年金保険、雇用保険、労働者災害補償保険、社会手当について学習する。授業終了前10分間で学習内容についてのチェックテストを実施する。	予習90分：教科書第7章p.209～p.210を読む。『社会保障・社会福祉』第5章を読む。 復習90分：チェックテストの解答・解説を確認し、間違ったところを解説にチェックし、教科書・ハンドアウトで復習する。
第15回	これまで学習したことがらについて、課題演習を行って、理解度を確認し、不足している部分について、補足説明をする。授業終了前10分間で学習内容についてのチェックテストを実施する。	予習90分：チェックテストの解答・解説1～14を確認する。 復習90分：チェックテストの解答・解説を確認し、間違ったところを解説にチェックし、教科書・ハンドアウトで復習する。

教科書

森山幹夫『《系統看護学講座 専門基礎分野》健康支援と社会保障制度④ 看護関係法令』(医学書院)

参考書

福田素生・他著『≪系統看護学講座 専門基礎分野≫ 健康支援と社会保障制度③社会保障・社会福祉』（医学書院)
『医療六法〈令和2年版〉』（中央法規出版）
手嶋豊・他、編『別冊ジュリスト・医事法判例百選（第２版）』（有斐閣）

成績評価の方法・基準
平常点(学習態度・チェックテスト・中間テスト等)20%、定期テスト80%を総合して評価。総合点60点以上で単位認定する。
課題等に対する フィードバックの方法
毎回授業終了前、10分間に10問のチェックテストを実施する。また、8回目に中間テストを実施する。解答・解説は、授業終了時に配付するとともに、授業終了後に「Teams」または「moodle」の「看護学科4年・医療関係法規」のフォルダーにPDFファイルで掲載する。答案は、採点の後、原則として、次回の授業時に返却する(または正誤がわかるようにする)。定期試験のマーク式解答については、試験終了後「Teams」または「moodle」の「看護学科4年・医療関係法規」のフォルダーにPDFファイルで掲載する。
履修のポイント
医療行政に関する法令、社会保障・社会福祉関連のハンドアウトを多数配布するので、整理しておくこと。 この講座では、2年次の「社会保障論」で学習したことがらも扱う。また、後期開講の「医療保健福祉行政論」と深く関連する講座である。
オフィス・アワー
月・水・金曜日，11時～15時（授業時間以外），11号館３階研究室11
科目区分
専門基礎科目
当該授業科目の教育課程内での位置づけ
UK-R181

講義コード	10580001
講義名	看護学原論I
(副題)	【教職必修】
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	前期（重複②）
講義区分	講義
基準単位数	1
代表曜日	水曜日
代表時限	４時限
必修/選択	必修
実務経験のある教員の有無	有
実務経験のある教員の経歴と授業内容	看護師としての病院における実務経験をもとに、看護実践の理論とその基盤となる概念について、具体例を挙げながら解説する。
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 三木 園生	指定なし

授業の概要と教育目標

看護の歴史的発展や看護の基本的概念である人間・健康・環境・看護について、また、看護における対象理解や看護活動の場と実践について学習し、本科目において、看護とは何か、看護学とはなにかについて自己の考えを深められるようになることを目標とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

医療保健学部看護学科のディプロマ・ポリシーとの関連として、看護の基本精神を理解した上でさまざまな健康レベル、あらゆる発達段階における看護の学習につなげることができるよう、看護の基礎となる自己の考えを深められることを目指すものとする。

到達目標

１．看護の歴史的発展を通して、看護概念の変遷を理解し、知識として修得することができる
２．看護職の目標・対象・役割と機能について学び、今後の学習に関連付けることができる
３．看護の対象である人間・健康のとらえ方について理解し、看護について考えることができる

授業計画

	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	【看護とはなにか】 ・科目ガイダンス ・看護とは ・看護学とは	ワークシートを配付し、看護を選んだ理由や看護に抱くイメージについて記述してもらう。ワークシートを後日提出する。	予習90分：教科書全体を概観する。復習90分：配布資料を見直す。
第2回	【看護の歴史的変遷】 ・看護の起源 ・職業としての看護の誕生からナイチン		予習90分：第1回の授業で提示された教科書の該当部分を読む。復習90分：配布資料を見直す。

	ゲールまで		
第3回	【現代における看護】 ・近代アメリカにおける看護の発展と日本の看護の発展		予習90分：第2回の授業で提示された教科書の該当部分を読む。復習90分：配布資料を見直す。
第4回	【看護の概念】 ・看護の諸定義		予習90分：第3回の授業で提示された教科書の該当部分を読む。復習90分：配布資料を見直す。
第5回	【看護の対象の理解①】 ・人間のさまざまなとらえ方	ワークシートを配布し、看護を必要としているのはどのような人々なのか、記述してもらう。	予習90分：第4回の授業で提示された教科書の該当部分を読む。復習90分：配布資料を見直す。
第6回	【看護の対象の理解②】 ・看護を必要としている人々	ワークシートを配布し、看護の対象である家族についてどのようにとらえるのか、記述してもらう。	予習90分：第5回の授業で提示された教科書の該当部分を読む。復習90分：配布資料を見直す。
第7回	【健康と病気】 ・健康のとらえ方の変遷と健康の指標	ワークシートを配付し、現在の健康状態について、健康と判断した理由、どのような状態を「健康」と考えるかについて記述してもらう。記述した内容をFoamsで提出する。	予習90分：第6回の授業で提示された教科書の該当部分を読む。復習90分：配布資料を見直す。
第8回	【看護活動の場と看護実践】 ①保健医療システム ②保健医療福祉サービスの場 ③医療施設における看護 ④医療施設以外の看護の場と役割		予習90分：第7回の授業で提示された教科書の該当部分を読む。復習90分：配布資料を見直す。

教科書

ライダー島崎玲子ほか編著、『看護学概論 看護追求へのアプローチ 第4版』医歯薬出版株式会社
F.ナイチンゲール著、湯槇ます・薄井坦子・小玉香津子他訳『看護覚え書 改訂第７版』現代社
V.ヘンダーソン著、湯槇ます・小玉香津子訳『看護の基本となるもの』日本看護協会出版会

参考書

授業時に提示します

成績評価の方法・基準

単位認定は60点以上とする
筆記試験80%、授業への参加度（ワークシート含む）20%で評価する

課題等に対する

フィードバックの方法
授業内でワークシートの記述等の課題を課すことがあります。また毎回、その日の授業の感想や学んだことなどについて提出を求めます。
履修のポイント
授業への積極的な取り組みを期待します
オフィス・アワー
在室時、随時対応します。10号館2階 研究室7
科目区分
専門科目
当該授業科目の教育課程内での位置づけ
UK-R211

講義コード	10590001
講義名	看護学原論II
(副題)	
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	後期
講義区分	講義
基準単位数	1
代表曜日	水曜日
代表時限	３時限
必修/選択	必修
実務経験のある教員の有無	有
実務経験のある教員の経歴と授業内容	看護師としての病院おける実務経験をもとに、看護実践の理論とその基盤となる概念について、具体例を挙げながら解説する。
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 三木 園生	指定なし

授業の概要と教育目標

看護が専門職であるためには、科学的根拠のある看護実践が必要であり、看護理論は看護にその科学的根拠を与えている。看護の対象について理解し、看護構築の初期に開発された理論について学ぶ。本科目は、科学的根拠に基づいた看護実践の必要性について理解することを目標とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

医療保健学部看護学科のディプロマ・ポリシーとの関連として、看護の基本精神を理解した上でさまざまな健康レベル、あらゆる発達課題における看護の学習につなげることができるよう、看護の対象について理解を深め、看護理論の発展の歴史と看護理論の成り立ちや機能・特徴を理解することを目指すものとする。

到達目標

１．看護の概念と理論の意味・重要性を理解する。
２．看護理論の背景やその特徴、対象の捉え方について理解する。
３．看護理論が具体的な看護実践にどのように活用されるか理解する。

授業計画

	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習と そのために必要な時間
第1回	【科目ガイダンス】 【看護理論概説】 ・看護理論に関連した用語の定義 ・主な看護理論	看護学原論Iを振り返り、看護とはなにかをテーマに小グループで話し合う。 看護学原論Iで学んだ看護理論家の看護の定義について、小グループで話し合い発表する。	予習90分：教科書の該当部分を読む。復習90分：教科書、配布資料を見直す。
	【F．ナイチ		

第2回	ンゲールの考え方①】 ①理論的背景 ②看護理論の特徴 ③対象の捉え方	F．ナイチンゲールの考え方にはどのような特徴があるか、ワークシートに記入し提出する。	予習90分：「看護覚え書」および教科書の該当部分を読む。復習90分：教科書、配布資料を見直す。
第3回	【F．ナイチンゲールの考え方②】 ①理論的背景 ②看護理論の特徴 ③対象の捉え方	F．ナイチンゲールの考え方にはどのような特徴があるか、ワークシートに記入し提出する。	予習90分：「看護覚え書」および教科書の該当部分を読む。復習90分：配布資料を見直す。
第4回	【V．ヘンダーソンの考え方】 ①理論的背景 ②看護理論の特徴 ③対象の捉え方	V．ヘンダーソンの考え方にはどのような特徴があるか、ワークシートに記入し提出する。	予習90分：「看護の基本となるもの」および教科書の該当部分を読む。復習90分：教科書、配布資料を見直す。
第5回	【シスター・カリスタ・ロイの考え方】 【パトリシア・ベナーの考え方】 ①理論的背景 ②看護理論の特徴 ③対象の捉え方	シスター・カリスタ・ロイとパトリシア・ベナーの考え方にはどのような特徴があるか、ワークシートに記入し提出する。	予習90分：教科書の該当部分を読む。復習90分：教科書、配布資料を見直す。
第6回	【アーネスティン・ウィーデンバックの考え方】 ①理論的背景 ②看護理論の特徴 ③対象の捉え方	アーネスティン・ウィーデンバックの考え方にはどのような特徴があるか、ワークシートに記入し提出する。	予習90分：教科書の該当部分を読む。復習90分：配布資料を見直す。
第7回	【F．ナイチンゲールの考え方③】	「看護覚え書」を精読し、各章ごとにグループ学習を行う。グループでまとめた用紙を期限までに提出する。	予習90分：「看護覚え書」を読む。復習90分：グループで話し合った内容について記録用紙にまとめる。
第8回	【F．ナイチンゲールの考え方④】 【まとめ】	「看護覚え書」について各章ごとにグループ学習でまとめた内容を発表する。	予習90分：グループごとに発表に向けて準備する。復習90分：看護学原論IIで学んだことを教科書や配布資料で見直す。

教科書

ライダー島崎玲子他編集 『看護学概論 看護追求へのアプローチ 第4版』医歯薬出版株式会社
Ｆ．ナイチンゲール著、湯槇ます・薄井坦子他訳 『看護覚え書 改訂第7版』 現代社
Ｖ．ヘンダーソン著、湯槇ます・小玉香津子訳 『看護の基本となるもの』 日本看護協会出版会

参考書

授業時に紹介します

成績評価の方法・基準

単位認定は60点以上とする
最終レポート70%、各授業時のワークシート20%、グループ学習10%で評価する

課題等に対する
フィードバックの方法

授業内でワークシートの記述等の課題を課すことがあります。返却しますので学習の振り返りに活用してください

履修のポイント

授業への積極的な取り組みを期待します

オフィス・アワー

在室時、随時対応します。10号館2階 研究室7

科目区分

専門科目

当該授業科目の教育課程内での位置づけ

UK-R220

講義コード	10600001
講義名	看護技術学概論
(副題)	
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	前期
講義区分	講義
基準単位数	1
代表曜日	金曜日
代表時限	２時限
必修/選択	必修
実務経験のある教員の有無	有
実務経験のある教員の経歴と授業内容	看護師としての病院における実務経験をもとに、看護技術の概念や看護技術の構成要素を具体例を挙げながら解説する。
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 伊藤 美鈴	指定なし

授業の概要と教育目標

看護技術という概念や看護技術を構成する要素は何か、その対象を学習し、看護技術の修得が、より効果的な看護を展開するためにいかに重要であるかを理解することが必要である。本科目は、看護技術の提供に共通する安全・安楽の技術、対象を自立に向けて支援する技術など看護技術学I～IVの特徴をオムニバス方式で学習することを目標とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

医療保健学部看護学科のディプロマ・ポリシーとの関連として、さまざまな健康レベル、あらゆる発達段階における人々を対象とした看護の基礎技術を学ぶための共通概念について理解することを目指すものとする。

到達目標

１．看護技術とはなにか、構成要素・対象・用語について説明する
２．看護技術における安楽の意義、安楽確保の技術について説明する
３．看護技術における安全の意義、安全管理の技術について説明する
４．看護技術における自立に向けた教育的支援の意義、教育支援技術について説明する
５．看護過程の基本について説明する

授業計画

	担当者	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	伊藤美鈴	看護技術学概説	看護について自分の体験を振り返る。その内容を踏まえて、看護技術とはなにか、看護技術はどのように構成されているか、看護技術の対象とは、看護技術の用語について等解説を聞き、自身の体験と結び付けて考察する。	予習90分：教科書I序章を読む。復習90分：教科書・配布資料を見直す。
	伊	安楽		予習90分：教科

第2回	藤美鈴	確保の技術	安楽とはどんなことか自分の体験を振り返る。その内容を踏まえて、安楽の意義、安楽な体位の基本について解説を聞き、自身の体験と結び付けて考察する。	書I第2編第6章を読む。復習90分：教科書・配布資料を見直す。
第3回	伊藤美鈴	安楽確保の技術	自分の身体の動きを考える。物理学を復習する。その内容を踏まえて、ボディーメカニクスの基本について解説を聞き、自身の体験と結び付けて考察する。	予習90分：教科書I第2編第6章を読む。復習90分：教科書・配布資料を見直す。
第4回	伊藤美鈴	安全管理の技術	安楽とはどんなことか自分の体験を振り返る。その内容を踏まえて、安楽の意義、安楽な体位の基本について解説を聞き、自身の体験と結び付けて考察する。安全の意義、療養環境における危険防止策を想起する。	予習90分：教科書I第2編第5章を読む。復習90分：教科書・配布資料を見直す。
第5回	伊藤美鈴	安全管理の技術	感染予防の技術、日常的手洗いの解説を聞き、自身の体験と結び付けて考察する。 その後、実習室において日常的手洗いの方法を演習する。	予習90分：教科書I第2編第4章を読む。復習90分：教科書・配布資料を見直す。
第6回	伊藤美鈴	教育支援技術	自立して生活するとはとはどのような状態か自分の体験を振り返る。その内容を踏まえて、自立に向けた教育的支援について解説を聞き、自身の体験と結び付けて考察する。	予習90分：教科書I第2編第3章を読む。復習90分：教科書・配布資料を見直す。
第7回	伊藤美鈴	看護過程の基本	クリティカルシンキングの意味について解説する。その内容を踏まえて自分が実施しているクリティカルシンキングを考える。そして、その意義について解説を聞き、自身の体験と結び付けて考察する。	予習90分：教科書I第1編第1章を読む。復習90分：教科書・配布資料を見直す。
第8回	伊藤美鈴	看護過程の基本	看護を実践する場合の考え方を自分なりに考えてもらう。看護過程とはなにか、看護過程の５つの段階について解説を聞き、自身の体験と結び付けて考察する。	予習90分：教科書I第1編第2章を読む。復習90分：教科書・配布資料を見直す。

教科書

深井喜代子編『新体系 看護学全書 基礎看護学② 基礎看護技術I』メヂカルフレンド社

参考書

医療情報科学研究所編『看護がみえる vol.1 基礎看護技術』メディックメディア
医療情報科学研究所編『看護がみえる vol.2 臨床看護技術』メディックメディア

成績評価の方法・基準

筆記試験で評価する。総合得点が60点以上で単位認定とする

課題等に対する
フィードバックの方法

授業内で課題を課すことがあります。返却しますので学習の振り返りに活用してください。

履修のポイント

主体的に学習することを望みます。

オフィス・アワー

曜日に関わらず、在室中であればいつでも対応します。10号館2階 研究室11

科目区分

専門科目
当該授業科目の教育課程内での位置づけ
UK-R211

講義コード	10610001
講義名	看護技術学I（Aクラス）
(副題)	【教職必修】
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	前期
講義区分	演習
基準単位数	2
代表曜日	月曜日
代表時限	３時限
必修/選択	必修
実務経験のある教員の有無	有
実務経験のある教員の経歴と授業内容	看護師としての病院における実務経験をもとに、日常生活行動の基本的な支援技術を習得できるよう関わる。
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 伊藤 美鈴	指定なし
教員	武井 直樹	指定なし

授業の概要と教育目標

様々な健康レベルや環境下で生活している人々の生活環境を整え、自然治癒力を高めるための支援技術を学習する。その支援技術は、環境を調整する、清潔を保持する、安楽な体位を保持する、栄養状態を保つ、排泄の支援と調整、衣類の選択と更衣など、対象の生活に必要な支援技術である。その技術は対象の生活機能を維持・促進し自立に向けて支援するための技術で、科学的根拠をもとに学習する。本科目において、日常生活行動の基本的な支援技術を習得することを目標とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

医療保健学部看護学科のディプロマ・ポリシーとの関連として、さまざまな健康レベル、あらゆる発達段階における人々を対象とした看護の基礎となる技術について、その根拠を踏まえて習得できることを目指すものとする。

到達目標

１．自力で日常生活行動が行えない患者に、安全・安楽な日常生活行動の援助を提供するための技術を行う方法を根拠とともに説明する
２．自力で日常生活行動が行えない患者に、自立に向けた教育的支援を考慮した日常生活行動の援助を提供するための技術を行う方法を説明する
３．自力で日常生活行動が行えない患者に、個別性を考慮した日常生活行動の援助を提供するための技術を行う方法を説明する
４．決められた手順に則って日常生活行動の援助技術を実施する
５．日常生活行動の援助の技術修得に向けた自己の課題を明らかにする

授業計画

	担当者	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習と そのために必要な時間

第1回	伊藤美鈴	環境を整える技術	自身の環境を考える。そのうえで下記の内容を解説する。 入院患者を取り巻く生活環境 病床環境の調整に必要な基礎知識 環境調整における看護の役割と看護技術 実習室の使用方法について	予習90分：教科書Ⅱ第1章・参考書①の該当部分を読む。復習90分：教科書・参考書・配布資料を見直す。
第2回	伊藤美鈴	環境を整える技術	自身の環境を考える。そのうえで下記の内容を解説する。 入院患者を取り巻く生活環境 病床環境の調整に必要な基礎知識 環境調整における看護の役割と看護技術 実習室の使用方法について	同上
第3回	伊藤美鈴	ベッドメーキング	ベッドメーキング ナーシングチャンネルおよび教員によるデモンストレーションに注目し、実施方法をと重要点を確認する。その後、小グループに分かれて援助を実施する。実施後は振り返りを行う。	予習90分：教科書Ⅱ第1章・参考書①の該当部分を読む。演習に向けた事前課題に取り組む。教科書の該当する技術動画を視聴する。ナーシングチャンネルの概要箇所を視聴する。 復習90分：実施した援助について課題レポートで振り返る。
第4回	伊藤美鈴	ベッドメーキング	ベッドメーキング ナーシングチャンネルおよび教員によるデモンストレーションに注目し、実施方法をと重要点を確認する。その後、小グループに分かれて援助を実施する。実施後は振り返りを行う。	同上
第5回	伊藤美鈴	活動・休息の援助技術	自身の運動と休息の体験を想起する。そのうえで下記を解説する。 運動の意義と援助 休息の意義と援助	予習90分：教科書Ⅱ第4章・参考書①の該当部分を読む。復習90分：教科書・参考書・配布資料を見直す。
第6回	伊藤美鈴	活動・休息の援助技術	自身の睡眠の状況および移動方法について想起する。そのうえで下記を解説する。 睡眠とその援助 移動の援助	同上
第7回	伊藤美鈴	体位変換移動	体位変換 車椅子・ストレッチャーでの移動 ナーシングチャンネルおよび教員によるデモンストレーションに注目し、実施方法をと重要点を確認する。その後、小グループに分かれて援助を実施する。実施後は振り返りを行う。	予習90分：教科書Ⅱ第4章・参考書①の該当部分を読む。演習に向けた事前課題に取り組む。教科書の該当する技術動画を視聴する。ナーシングチャンネルの概要箇所を視聴する。 復習90分：実施した援助について課題レポートで振り返る。
第8回	伊藤美鈴	体位変換移動	体位変換 ナーシングチャンネルおよび教員によるデモンストレーションに注目し、実施方法をと重要点を確認する。その後、小グループに分かれて援助を実施する。実施後は振り返り	同上

			を行う。	
第9回	伊藤美鈴	環境整備臥床患者のシーツ交換	病床の環境整備 臥床患者のシーツ交換 ナーシングチャンネルおよび教員によるデモンストレーションに注目し、実施方法をと重要点を確認する。その後、小グループに分かれて援助を実施する。実施後は振り返りを行う。	予習90分：教科書II第1章・参考書①の該当部分を読む。演習に向けた事前課題に取り組む。復習90分：実施した援助について課題レポートで振り返る。
第10回	伊藤美鈴	環境整備臥床患者のシーツ交換	病床の環境整備 臥床患者のシーツ交換 ナーシングチャンネルおよび教員によるデモンストレーションに注目し、実施方法をと重要点を確認する。その後、小グループに分かれて援助を実施する。実施後は振り返りを行う。	同上
第11回	伊藤美鈴	衣生活の援助技術	自身の衣生活の状況を想起する。そのうえで下記を解説する。 衣生活の意義と援助方法	予習90分：教科書第5章X・参考書の該当部分を読む。復習90分：教科書・参考書・配布資料を見直す。
第12回	伊藤美鈴	寝衣交換	寝衣交換 ナーシングチャンネルおよび教員によるデモンストレーションに注目し、実施方法をと重要点を確認する。その後、小グループに分かれて援助を実施する。実施後は振り返りを行う。	予習90分：教科書II第5章X・参考書①の該当部分を読む。演習に向けた事前課題に取り組む。教科書の該当する技術動画を視聴する。ナーシングチャンネルの概要箇所を視聴する。 復習90分：実施した援助について課題レポートで振り返る。
第13回	伊藤美鈴	清潔の援助技術	自身の清潔に対する状況を想起する。そのうえで下記を解説する。 皮膚の清潔・粘膜の清潔 清潔の意義と援助方法	予習90分：教科書II第5章I～IX・参考書①の該当部分を読む。復習90分：教科書・参考書・配布資料を見直す。
第14回	伊藤美鈴	清潔の援助技術	自身の清潔に対する状況を想起する。そのうえで下記を解説する。 皮膚の清潔・粘膜の清潔 清潔の意義と援助方法	同上
第15回	伊藤美鈴	全身清拭	全身清拭 ナーシングチャンネルおよび教員によるデモンストレーションに注目し、実施方法をと重要点を確認する。その後、小グループに分かれて援助を実施する。実施後は振り返りを行う。	予習90分：教科書II第5章IとVI・参考書①の該当部分を読む。演習に向けた事前課題に取り組む。教科書の該当する技術動画を視聴する。ナーシングチャンネルの概要箇所を視聴する。 復習90分：実施した援助について課題レポートで振り返る。
第16回	伊藤美鈴	全身清拭	全身清拭 ナーシングチャンネルおよび教員によるデモンストレーションに注目し、実施方法をと重要点を確認する。その後、小グループに分かれて援助を実施する。実施後は振り返りを行う。	同上
			洗髪 ナーシングチャンネルおよび教員に	予習90分：教科書II第5章IとVII・参考書①の該当部分を読む。教科書の

第17回	伊藤美鈴	洗髪	よるデモンストレーションに注目し、実施方法をと重要点を確認する。その後、小グループに分かれて援助を実施する。実施後は振り返りを行う。	該当する技術動画を視聴する。ナーシングチャンネルの概要箇所を視聴する。 演習に向けた事前課題に取り組む。 復習90分：実施した援助について課題レポートで振り返る。
第18回	伊藤美鈴	洗髪	洗髪 ナーシングチャンネルおよび教員によるデモンストレーションに注目し、実施方法をと重要点を確認する。その後、小グループに分かれて援助を実施する。実施後は振り返りを行う。	同上
第19回	伊藤美鈴	食生活の援助技術	自身の食生活の状況を想起する。そのうえで下記を解説する。 食事の意義 食生活の基本的援助	予習90分：教科書II第2章I～III・参考書①の該当部分を読む。復習90分：教科書・参考書・配布資料を見直す。
第20回	伊藤美鈴	食事介助	食事の援助方法 ナーシングチャンネルおよび教員によるデモンストレーションに注目し、実施方法をと重要点を確認する。その後、小グループに分かれて援助を実施する。実施後は振り返りを行う。	予習90分：教科書II第2章I～III・参考書①の該当部分を読む。演習に向けた事前課題に取り組む。教科書の該当する技術動画を視聴する。ナーシングチャンネルの概要箇所を視聴する。 復習90分：実施した援助について課題レポートで振り返る。
第21回	伊藤美鈴	排泄の援助技術	自身の排泄の状況を想起する。そのうえで下記を解説する。 人間にとっての排泄の意義 排泄のメカニズム 基本的援助	予習90分：教科書II第3章I～III・参考書①の該当部分を読む。復習90分：教科書・参考書・配布資料を見直す。
第22回	伊藤美鈴	排泄の援助技術	自身の排泄の状況を想起する。そのうえで下記を解説する。 人間にとっての排泄の意義 排泄のメカニズム 基本的援助	同上
第23回	伊藤美鈴武井直樹	排泄の援助　陰部洗浄	便器・尿器の当て方 陰部洗浄 ナーシングチャンネルおよび教員によるデモンストレーションに注目し、実施方法をと重要点を確認する。その後、小グループに分かれて援助を実施する。実施後は振り返りを行う。	予習90分：教科書II第3章I～III・参考書①の該当部分を読む。演習に向けた事前課題に取り組む。教科書の該当する技術動画を視聴する。ナーシングチャンネルの概要箇所を視聴する。 復習90分：実施した援助について課題レポートで振り返る。
第24回	伊藤美鈴武井直樹	排泄の援助　陰部洗浄	便器・尿器の当て方 陰部洗浄 ナーシングチャンネルおよび教員によるデモンストレーションに注目し、実施方法をと重要点を確認する。その後、小グループに分かれて援助を実施する。実施後は振り返りを行う。	同上
	伊藤美	感染	自身の感染予防の状況を想起する。そのうえで下記を解説する。	予習90分：教科書I第4章・参考書①

第25回	鈴武井直樹	予防の技術	感染予防とは 感染予防の意義・重要性 スタンダードプリコーション	の該当部分を読む。復習90分：教科書・参考書・配布資料を見直す。
第26回	伊藤美鈴武井直樹	感染予防の技術	自身の感染予防の状況を想起する。そのうえで下記を解説する。 感染予防とは 感染予防の意義・重要性 スタンダードプリコーション	同上
第27回	伊藤美鈴	感染予防の技術	日常的手洗い、無菌操作、ガウンテクニック、滅菌手袋の着脱 ナーシングチャンネルおよび教員によるデモンストレーションに注目し、実施方法をと重要点を確認する。その後、小グループに分かれて援助を実施する。実施後は振り返りを行う。	予習90分：教科書I第4章・参考書①の該当部分を読む。演習に向けた事前課題に取り組む。教科書の該当する技術動画を視聴する。ナーシングチャンネルの概要箇所を視聴する。復習90分：実施した援助について課題レポートで振り返る。
第28回	伊藤美鈴	感染予防の技術	日常的手洗い、無菌操作、ガウンテクニック、滅菌手袋の着脱 ナーシングチャンネルおよび教員によるデモンストレーションに注目し、実施方法をと重要点を確認する。その後、小グループに分かれて援助を実施する。実施後は振り返りを行う。	同上
第29回	伊藤美鈴	実技試験	技術テスト	空き時間を使用して実習室で技術の練習を十分に行い、試験に臨む
第30回	伊藤美鈴	実技試験	技術テスト	空き時間を使用して実習室で技術の練習を十分に行い、試験に臨む

教科書

新体系 看護学全書 専門分野I 基礎看護学② 基礎看護技術I 深井喜代子編集 メヂカルフレンド社
新体系 看護学全書 専門分野I 基礎看護学③ 基礎看護技術II 深井喜代子編集 メヂカルフレンド社

参考書

看護がみえる vol.1 基礎看護技術 医療情報科学研究所編集 メディックメディア
看護がみえる vol.2 臨床看護技術 医療情報科学研究所編集 メディックメディア

成績評価の方法・基準

単位認定60点以上。筆記試験60%、実技試験30%、課題レポート10%を総合して評価する

課題等に対するフィードバックの方法

日常生活行動の援助の項目ごとに演習があり、毎回、課題レポートを課します。返却しますので学習の振り返りと技術の習得に活用してください

履修のポイント

主体的・積極的な学習への取り組みがのぞまれる

オフィス・アワー
在室時、随時対応します。10号館2階 研究室11
科目区分
専門科目
当該授業科目の教育課程内での位置づけ
UK-R212

講義コード	10610002
講義名	看護技術学I（Bクラス）
(副題)	【教職必修】
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	前期
講義区分	演習
基準単位数	2
代表曜日	火曜日
代表時限	３時限
必修/選択	必修
実務経験のある教員の有無	有
実務経験のある教員の経歴と授業内容	看護師としての病院における実務経験をもとに、日常生活行動の基本的な支援技術を習得できるよう関わる。
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 伊藤 美鈴	指定なし
教員	武井 直樹	指定なし

授業の概要と教育目標

様々な健康レベルや環境下で生活している人々の生活環境を整え、自然治癒力を高めるための支援技術を学習する。その支援技術は、環境を調整する、清潔を保持する、安楽な体位を保持する、栄養状態を保つ、排泄の支援と調整、衣類の選択と更衣など、対象の生活に必要な支援技術である。その技術は対象の生活機能を維持・促進し自立に向けて支援するための技術で、科学的根拠をもとに学習する。本科目において、日常生活行動の基本的な支援技術を習得することを目標とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

医療保健学部看護学科のディプロマ・ポリシーとの関連として、さまざまな健康レベル、あらゆる発達段階における人々を対象とした看護の基礎となる技術について、その根拠を踏まえて習得できることを目指すものとする。

到達目標

１．自力で日常生活行動が行えない患者に、安全・安楽な日常生活行動の援助を提供するための技術を行う方法を根拠とともに説明する
２．自力で日常生活行動が行えない患者に、自立に向けた教育的支援を考慮した日常生活行動の援助を提供するための技術を行う方法を説明する
３．自力で日常生活行動が行えない患者に、個別性を考慮した日常生活行動の援助を提供するための技術を行う方法を説明する
４．決められた手順に則って日常生活行動の援助技術を実施する
５．日常生活行動の援助の技術修得に向けた自己の課題を明らかにする

授業計画

	担当者	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習と そのために必要な時間

第1回	伊藤美鈴	環境を整える技術	自身の環境の状況を想起する。そのうえで下記を解説する。 入院患者を取り巻く生活環境 病床環境の調整に必要な基礎知識 環境調整における看護の役割と看護技術 実習室の使用方法について	予習90分：教科書Ⅱ第1章・参考書①の該当部分を読む。復習90分：教科書・参考書・配布資料を見直す。
第2回	伊藤美鈴	環境を整える技術	自身の環境の状況を想起する。そのうえで下記を解説する。 入院患者を取り巻く生活環境 病床環境の調整に必要な基礎知識 環境調整における看護の役割と看護技術 実習室の使用方法について	同上
第3回	伊藤美鈴	ベッドメーキング	ベッドメーキング ナーシングチャンネルおよび教員によるデモンストレーションに注目し、実施方法と重要点を確認する。その後、小グループに分かれて援助を実施する。実施後は振り返りを行う。	予習90分：教科書Ⅱ第1章・参考書①の該当部分を読む。演習に向けた事前課題に取り組む。教科書の該当する技術動画を視聴する。ナーシングチャンネルの該当箇所を視聴する。復習90分：実施した援助について課題レポートで振り返る。
第4回	伊藤美鈴	ベッドメーキング	ベッドメーキング ナーシングチャンネルおよび教員によるデモンストレーションに注目し、実施方法と重要点を確認する。その後、小グループに分かれて援助を実施する。実施後は振り返りを行う。	同上
第5回	伊藤美鈴	活動・休息の援助技術	自身の運動・休息の状況を想起する。そのうえで下記を解説する。 運動の意義と援助 休息の意義と援助	予習90分：教科書Ⅱ第4章・参考書①の該当部分を読む。復習90分：教科書・参考書・配布資料を見直す。
第6回	伊藤美鈴	活動・休息の援助技術	自身の睡眠・移動方法の状況を想起する。そのうえで下記を解説する。 睡眠とその援助 移動の援助	同上
第7回	伊藤美鈴	体位変換移動	体位変換 車椅子・ストレッチャーでの移動 ナーシングチャンネルおよび教員によるデモンストレーションに注目し、実施方法と重要点を確認する。その後小グループに分かれて援助を実施する。実施後は振り返りを行う。	予習90分：教科書Ⅱ第4章・参考書①の該当部分を読む。演習に向けた事前課題に取り組む。教科書の該当する技術動画を視聴する。ナーシングチャンネルの該当箇所を視聴する。復習90分：実施した援助について課題レポートで振り返る。
第8回	伊藤美鈴	体位変換移動	体位変換 車椅子・ストレッチャーでの移動 ナーシングチャンネルおよび教員によるデモンストレーションに注目し、実施方法と重要点を確認する。その後小グループに分かれて援助を実施する。実施後は振り返	同上

			りを行う。	
第9回	伊藤美鈴	環境整備臥床患者のシーツ交換	病床の環境整備 臥床患者のシーツ交換 ナーシングチャンネルおよび教員によるデモンストレーションに注目し、実施方法と重要点を確認する。その後小グループに分かれて援助を実施する。実施後は振り返りを行う。	予習90分：教科書Ⅱ第1章・参考書①の該当部分を読む。演習に向けた事前課題に取り組む。教科書の該当する技術動画を視聴する。ナーシングチャンネルの該当箇所を視聴する。 復習90分：実施した援助について課題レポートで振り返る。
第10回	伊藤美鈴	環境整備臥床患者のシーツ交換	病床の環境整備 臥床患者のシーツ交換 ナーシングチャンネルおよび教員によるデモンストレーションに注目し、実施方法と重要点を確認する。その後小グループに分かれて援助を実施する。実施後は振り返りを行う。	同上
第11回	伊藤美鈴	衣生活の援助技術	自身の衣生活の状況を想起する。そのうえで下記を解説する。 衣生活の意義と援助方法	予習90分：教科書第5章X・参考書の該当部分を読む。復習90分：教科書・参考書・配布資料を見直す。
第12回	伊藤美鈴	寝衣交換	寝衣交換 ナーシングチャンネルおよび教員によるデモンストレーションに注目し、実施方法と重要点を確認する。その後小グループに分かれて援助を実施する。実施後は振り返りを行う。	予習90分：教科書Ⅱ第5章X・参考書①の該当部分を読む。演習に向けた事前課題に取り組む。教科書の該当する技術動画を視聴する。ナーシングチャンネルの該当箇所を視聴する。 復習90分：実施した援助について課題レポートで振り返る。
第13回	伊藤美鈴	清潔の援助技術	自身の清潔の状況を想起する。そのうえで下記を解説する。 皮膚の清潔・粘膜の清潔 清潔の意義と援助方法	予習90分：教科書Ⅱ第5章I～IX・参考書①の該当部分を読む。復習90分：教科書・参考書・配布資料を見直す。
第14回	伊藤美鈴	清潔の援助技術	自身の清潔の状況を想起する。そのうえで下記を解説する。 皮膚の清潔・粘膜の清潔 清潔の意義と援助方法	同上
第15回	伊藤美鈴	全身清拭	全身清拭 ナーシングチャンネルおよび教員によるデモンストレーションに注目し、実施方法と重要点を確認する。その後小グループに分かれて援助を実施する。実施後は振り返りを行う。	予習90分：教科書Ⅱ第5章IとVI・参考書①の該当部分を読む。演習に向けた事前課題に取り組む。教科書の該当する技術動画を視聴する。ナーシングチャンネルの該当箇所を視聴する。 復習90分：実施した援助について課題レポートで振り返る。
第16回	伊藤美鈴	全身清拭	全身清拭 ナーシングチャンネルおよび教員によるデモンストレーションに注目し、実施方法と重要点を確認する。その後小グループに分かれて援助を実施する。実施後は振り返りを行う。	同上
			洗髪 ナーシングチャンネルおよび教員	予習90分：教科書Ⅱ第5章IとVII・参考書①の該当部分を読む。演習に向

第17回	伊藤美鈴	洗髪	によるデモンストレーションに注目し、実施方法と重要点を確認する。その後小グループに分かれて援助を実施する。実施後は振り返りを行う。	けた事前課題に取り組む。教科書の該当する技術動画を視聴する。ナーシングチャンネルの該当箇所を視聴する。 復習90分：実施した援助について課題レポートで振り返る。
第18回	伊藤美鈴	洗髪	洗髪 ナーシングチャンネルおよび教員によるデモンストレーションに注目し、実施方法と重要点を確認する。その後小グループに分かれて援助を実施する。実施後は振り返りを行う。	同上
第19回	伊藤美鈴	食生活の援助技術	自身の食生活の状況を想起する。そのうえで下記を解説する。 食事の意義 食生活の基本的援助	予習90分：教科書II第2章I～III・参考書①の該当部分を読む。復習90分：教科書・参考書・配布資料を見直す。
第20回	伊藤美鈴	食事介助	食事の援助方法 ナーシングチャンネルおよび教員によるデモンストレーションに注目し、実施方法と重要点を確認する。その後小グループに分かれて援助を実施する。実施後は振り返りを行う。	予習90分：教科書II第2章I～III・参考書①の該当部分を読む。演習に向けた事前課題に取り組む。教科書の該当する技術動画を視聴する。ナーシングチャンネルの該当箇所を視聴する。 復習90分：実施した援助について課題レポートで振り返る。
第21回	伊藤美鈴	排泄の援助技術	自身の排泄の状況を想起する。そのうえで下記を解説する。 人間にとっての排泄の意義 排泄のメカニズム 基本的援助	予習90分：教科書II第3章I～III・参考書①の該当部分を読む。復習90分：教科書・参考書・配布資料を見直す。
第22回	伊藤美鈴	排泄の援助技術	自身の排泄の状況を想起する。そのうえで下記を解説する。 人間にとっての排泄の意義 排泄のメカニズム 基本的援助	同上
第23回	伊藤美鈴武井直樹	排泄の援助　陰部洗浄	便器・尿器の当て方 陰部洗浄 ナーシングチャンネルおよび教員によるデモンストレーションに注目し、実施方法と重要点を確認する。その後小グループに分かれて援助を実施する。実施後は振り返りを行う。	予習90分：教科書II第3章I～III・参考書①の該当部分を読む。演習に向けた事前課題に取り組む。教科書の該当する技術動画を視聴する。ナーシングチャンネルの該当箇所を視聴する。 復習90分：実施した援助について課題レポートで振り返る。
第24回	伊藤美鈴武井直樹	排泄の援助　陰部洗浄	便器・尿器の当て方 陰部洗浄 ナーシングチャンネルおよび教員によるデモンストレーションに注目し、実施方法と重要点を確認する。その後小グループに分かれて援助を実施する。実施後は振り返りを行う。	同上
	伊藤美	感染	自身の感染予防の状況を想起する。そのうえで下記を解説する。	予習90分：教科書I第4章・参考書①

第25回	鈴武井直樹	予防の技術	感染予防とは 感染予防の意義・重要性 スタンダードプリコーション	の該当部分を読む。復習90分：教科書・参考書・配布資料を見直す。
第26回	伊藤美鈴武井直樹	感染予防の技術	自身の感染予防の状況を想起する。そのうえで下記を解説する。 感染予防とは 感染予防の意義・重要性 スタンダードプリコーション	同上
第27回	伊藤美鈴	感染予防の技術	日常的手洗い、無菌操作、ガウンテクニック、滅菌手袋の着脱 ナーシングチャンネルおよび教員によるデモンストレーションに注目し、実施方法と重要点を確認する。その後小グループに分かれて援助を実施する。実施後は振り返りを行う。	予習90分：教科書I第4章・参考書①の該当部分を読む。演習に向けた事前課題に取り組む。教科書の該当する技術動画を視聴する。ナーシングチャンネルの該当箇所を視聴する。 復習90分：実施した援助について課題レポートで振り返る。
第28回	伊藤美鈴	感染予防の技術	日常的手洗い、無菌操作、ガウンテクニック、滅菌手袋の着脱 ナーシングチャンネルおよび教員によるデモンストレーションに注目し、実施方法と重要点を確認する。その後小グループに分かれて援助を実施する。実施後は振り返りを行う。	同上
第29回	伊藤美鈴	実技試験	技術テスト	空き時間を使用して実習室で技術の練習を十分に行い、試験に臨む
第30回	伊藤美鈴	実技試験	技術テスト	空き時間を使用して実習室で技術の練習を十分に行い、試験に臨む

教科書

新体系 看護学全書 専門分野I 基礎看護学② 基礎看護技術I 深井喜代子編集 メヂカルフレンド社
新体系 看護学全書 専門分野I 基礎看護学③ 基礎看護技術II 深井喜代子編集 メヂカルフレンド社

参考書

看護がみえる vol.1 基礎看護技術 医療情報科学研究所編集 メディックメディア
看護がみえる vol.2 臨床看護技術 医療情報科学研究所編集 メディックメディア

成績評価の方法・基準

単位認定60点以上。筆記試験60%、実技試験30%、課題レポート10%を総合して評価する

課題等に対する
フィードバックの方法

日常生活行動の援助の項目ごとに演習があり、毎回、課題レポートを課します。返却しますので学習の振り返りと技術の習得に活用してください

履修のポイント

主体的・積極的な学習への取り組みがのぞまれる

オフィス・アワー
在室時、随時対応します。10号館2階 研究室11
科目区分
専門科目
当該授業科目の教育課程内での位置づけ
UK-R212

講義コード	10620001
講義名	看護技術学II（Aクラス）
(副題)	
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	後期
講義区分	演習
基準単位数	2
代表曜日	火曜日
代表時限	３時限
必修/選択	必修
実務経験のある教員の有無	有
実務経験のある教員の経歴と授業内容	看護師としての病院における実務経験をもとに、様々な症状、疼痛、発熱、呼吸困難、排泄障害などについて、看護の視点で症状緩和方法について学習できるよう関わる。
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 伊藤 美鈴	指定なし
教員	武井 直樹	指定なし

授業の概要と教育目標

看護師は、医師の治療目標に向かって他の医療チームと協働で治療効果を上げる責任がある。治療過程を支援する技術は、特に安全に配慮した確実な技術や倫理的配慮が求められる。様々な症状、疼痛、発熱、呼吸困難、排泄障害などについて、看護の視点で症状緩和方法について学習する。本科目において、治療過程を支援する技術について理解を深め、技術の一端を体験することを目標とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

医療保健学部看護学科のディプロマ・ポリシーとの関連として、さまざまな健康レベル、あらゆる発達課題における人々を対象とした看護の基礎となる技術についてその根拠を踏まえて理解すること、また臨床現場でチーム医療の一員として活躍するための基礎技術を学ぶことを目指すものとする。

到達目標

１．治療過程支援技術および、症状緩和技術の目的・方法を説明する
２．安全・安楽に治療過程支援技術および、症状緩和技術を行うための環境調整を実施する
３．決められた手順に則って治療過程支援技術および、症状緩和技術を実施する
４．治療過程支援技術および、症状緩和技術の修得に向けた自己の課題を明らかにする

授業計画

	担当者	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習と そのために必要な時間
第1回	伊藤美	バイタルサイ	自身の生命の兆候を想起する。そのうえで下記を解説する。 バイタルサインとは？	予習90分：教科書I第2編第1章III・参考書の該当部分を読む。復習90分：教

	鈴	ン	バイタルサインの観察方法 記録・報告	科書・参考書・配布資料を見直す。
第2回	伊藤美鈴	バイタルサイン	自身の生命の兆候を想起する。そのうえで下記を解説する。 バイタルサインとは？ バイタルサインの観察方法 記録・報告	予習90分：教科書I第2編第1章III・参考書の該当部分を読む。復習90分：教科書・参考書・配布資料を見直す。
第3回	伊藤美鈴	バイタルサインの測定	バイタルサインの測定・記録・報告 ナーシングチャンネルおよび教員によるデモンストレーションに注目し、実施方法と重要点を確認する。その後、小グループに分かれて援助を実施する。実施後は振り返りを行う。	予習90分：教科書I第2編第1章III・参考書の該当部分を読む。演習に向けた事前課題に取り組む。教科書の該当する技術動画を視聴する。ナーシングチャンネルの該当箇所を視聴する。 復習90分：実施した援助について課題レポートで振り返る。
第4回	伊藤美鈴	バイタルサインの測定	バイタルサインの測定・記録・報告 ナーシングチャンネルおよび教員によるデモンストレーションに注目し、実施方法と重要点を確認する。その後、小グループに分かれて援助を実施する。実施後は振り返りを行う。	予習90分：教科書I第2編第1章III・参考書の該当部分を読む。演習に向けた事前課題に取り組む。教科書の該当する技術動画を視聴する。ナーシングチャンネルの該当箇所を視聴する。 復習90分：実施した援助について課題レポートで振り返る。
第5回	伊藤美鈴	呼吸・循環を整える技術	自身の呼吸の状態を想起する。そのうえで下記を解説する。 呼吸の意義 酸素吸入療法 吸引（一時的・持続的） 人工呼吸	予習90分：教科書II第5編第1章・参考書の該当部分を読む。復習90分：教科書・参考書・配布資料を見直す。
第6回	伊藤美鈴	呼吸・循環を整える技術	自身の呼吸の状態を想起する。そのうえで下記を解説する。 呼吸の意義 酸素吸入療法 吸引（一時的・持続的） 人工呼吸	予習90分：教科書II第5編第1章・参考書の該当部分を読む。復習90分：教科書・参考書・配布資料を見直す。
第7回	伊藤美鈴武井直樹	酸素吸入療法吸引	酸素吸入療法 一時的吸引法 ナーシングチャンネルおよび教員によるデモンストレーションに注目し、実施方法と重要点を確認する。その後、小グループに分かれて援助を実施する。実施後は振り返りを行う。	予習90分：教科書II第5編第1章・参考書の該当部分を読む。演習に向けた事前課題に取り組む。教科書の該当する技術動画を視聴する。ナーシングチャンネルの該当箇所を視聴する。 復習90分：実施した援助について課題レポートで振り返る。
第8回	伊藤美鈴武井直樹	酸素吸入療法吸引	酸素吸入療法 一時的吸引法 ナーシングチャンネルおよび教員によるデモンストレーションに注目し、実施方法と重要点を確認する。その後、小グループに分かれて援助を実施する。実施後は振り返りを行う。	予習90分：教科書II第5編第1章・参考書の該当部分を読む。演習に向けた事前課題に取り組む。教科書の該当する技術動画を視聴する。ナーシングチャンネルの該当箇所を視聴する。 復習90分：実施した援助について課題レポートで振り返る。
9	伊藤	食生活と栄養	自身の栄養の摂取形態を想起す	予習90分：教科書II第4編第2章・参考 90

第 回	美鈴	摂取の援助技術	る。そのうえで下記を解説する。 経腸栄養法と静脈栄養法	書の該当部分を読む。復習　分：教科書・参考書・配布資料を見直す。
第10回	伊藤美鈴武井直樹	経管栄養法	経管栄養法 教員によるデモンストレーションに注目し、その後小グループに分かれて援助を実施する。実施後は振り返りを行う。	予習90分：教科書II第4編第2章・参考書の該当部分を読む。演習に向けた事前課題に取り組む。教科書の該当する技術動画を視聴する。ナーシングチャンネルの該当箇所を視聴する。 復習90分：実施した援助について課題レポートで振り返る。
第11回	伊藤美鈴武井直樹	排泄の援助技術	排泄機能が障害された状態を想起する。そのうえで下記を解説する。 排便障害と援助方法 排尿障害と援助方法	予習90分：教科書II第4編第3章・参考書の該当部分を読む。復習90分：教科書・参考書・配布資料を見直す。
第12回	伊藤美鈴	排泄の援助技術	排泄機能が障害された状態を想起する。そのうえで下記を解説する。 排便障害と援助方法 排尿障害と援助方法	予習90分：教科書II第4編第3章・参考書の該当部分を読む。復習90分：教科書・参考書・配布資料を見直す。
第13回	伊藤美鈴武井直樹	浣腸、導尿	グリセリン浣腸 一時的導尿 ナーシングチャンネルおよび教員によるデモンストレーションに注目し、実施方法と重要点を確認する。その後、小グループに分かれて援助を実施する。実施後は振り返りを行う。	予習90分：教科書II第4編第3章・参考書の該当部分を読む。演習に向けた事前課題に取り組む。教科書の該当する技術動画を視聴する。ナーシングチャンネルの該当箇所を視聴する。 復習90分：実施した援助について課題レポートで振り返る。
第14回	伊藤美鈴	浣腸、導尿	グリセリン浣腸 一時的導尿 ナーシングチャンネルおよび教員によるデモンストレーションに注目し、実施方法と重要点を確認する。その後、小グループに分かれて援助を実施する。実施後は振り返りを行う。	予習90分：教科書II第4編第3章・参考書の該当部分を読む。演習に向けた事前課題に取り組む。教科書の該当する技術動画を視聴する。ナーシングチャンネルの該当箇所を視聴する。 復習90分：実施した援助について課題レポートで振り返る。
第15回	伊藤美鈴	与薬の技術	薬物療法が開始された状態を想起する。そのうえで下記を解説する。 薬物療法の意義・目的、看護師の役割 与薬に関する基本知識	予習90分：教科書II第5編第3章・参考書の該当部分を読む。復習90分：教科書・参考書・配布資料を見直す。
第16回	伊藤美鈴	与薬の技術	薬物療法が開始された状態を想起する。そのうえで下記を解説する。 薬物療法の意義・目的、看護師の役割 与薬に関する基本知識	予習90分：教科書II第5編第3章・参考書の該当部分を読む。復習90分：教科書・参考書・配布資料を見直す。
		与薬	薬物療法が開始された状態を想起	

第17回	伊藤美鈴	の技術 検査に伴う看護技術	する。そのうえで下記を解説する。 与薬の援助に関する共通事項、各種与薬の援助方法 検査に伴う看護と検査の種類、血液検査（静脈血採血法）	予習90分：教科書II第5編第3章第4章・参考書の該当部分を読む。復習90分：教科書・参考書・配布資料を見直す。
第18回	伊藤美鈴	与薬の技術 検査に伴う看護技術	薬物療法が開始された状態を想起する。そのうえで下記を解説する。 与薬の援助に関する共通事項、各種与薬の援助方法 検査に伴う看護と検査の種類、血液検査（静脈血採血法）	予習90分：教科書II第5編第3章第4章・参考書の該当部分を読む。復習90分：教科書・参考書・配布資料を見直す。
第19回	伊藤美鈴	静脈血採血法	静脈血採血の方法 感染性廃棄物の取扱い ナーシングチャンネルおよび教員によるデモンストレーションに注目し、実施方法と重要点を確認する。その後、小グループに分かれて援助を実施する。実施後は振り返りを行う。	予習90分：教科書II第4編第4章・参考書の該当部分を読む。演習に向けた事前課題に取り組む。教科書の該当する技術動画を視聴する。ナーシングチャンネルの該当箇所を視聴する。 復習90分：実施した援助について課題レポートで振り返る。
第20回	伊藤美鈴	静脈血採血法	静脈血採血の方法 感染性廃棄物の取扱い ナーシングチャンネルおよび教員によるデモンストレーションに注目し、実施方法と重要点を確認する。その後、小グループに分かれて援助を実施する。実施後は振り返りを行う。	予習90分：教科書II第4編第4章・参考書の該当部分を読む。演習に向けた事前課題に取り組む。教科書の該当する技術動画を視聴する。ナーシングチャンネルの該当箇所を視聴する。 復習90分：実施した援助について課題レポートで振り返る。
第21回	伊藤美鈴	各種注射法	筋肉内注射法 点滴静脈内注射法 ナーシングチャンネルおよび教員によるデモンストレーションに注目し、実施方法と重要点を確認する。その後、小グループに分かれて援助を実施する。実施後は振り返りを行う。	予習90分：教科書II第4編第3章・参考書の該当部分を読む。演習に向けた事前課題に取り組む。教科書の該当する技術動画を視聴する。ナーシングチャンネルの該当箇所を視聴する。 復習90分：実施した援助について課題レポートで振り返る。
第22回	伊藤美鈴	各種注射法	筋肉内注射法 点滴静脈内注射法 ナーシングチャンネルおよび教員によるデモンストレーションに注目し、実施方法と重要点を確認する。その後、小グループに分かれて援助を実施する。実施後は振り返りを行う。	予習90分：教科書II第4編第3章・参考書の該当部分を読む。演習に向けた事前課題に取り組む。教科書の該当する技術動画を視聴する。ナーシングチャンネルの該当箇所を視聴する。 復習90分：実施した援助について課題レポートで振り返る。
第23回	伊藤美鈴	症状緩和技術	症状が緩和された状態を想起する。そのうえで下記を解説する。 症状緩和技術とは 代替療法とは 看護の視点からみた症状緩和方法	予習90分：教科書I第2編第6章教科書II第5編第1章VIII・参考書の該当部分を読む。復習90分：教科書・参考書・配布資料を見直す。
第24回	伊藤	症状緩和	症状が緩和された状態を想起する。そのうえで下記を解説する。 症状緩和技術とは	予習90分：教科書I第2編第6章教科書II第5編第1章VIII・参考書の該当部

	美鈴	技術	代替療法とは 看護の視点からみた症状緩和方法	分を読む。復習90分：教科書・参考書・配布資料を見直す。
第25回	伊藤美鈴	足浴・マッサージ 罨法	足浴・マッサージ 冷罨法・温罨法 ナーシングチャンネルおよび教員によるデモンストレーションに注目し、実施方法と重要点を確認する。その後、小グループに分かれて援助を実施する。実施後は振り返りを行う。	予習90分：教科書I第2編第6章教科書II第5編第1章VIII・参考書の該当部分を読む。演習に向けた事前課題に取り組む。教科書の該当する技術動画を視聴する。ナーシングチャンネルの該当箇所を視聴する。 復習90分：実施した援助について課題レポートで振り返る。
第26回	伊藤美鈴	足浴・マッサージ 罨法	足浴・マッサージ 冷罨法・温罨法 ナーシングチャンネルおよび教員によるデモンストレーションに注目し、実施方法と重要点を確認する。その後、小グループに分かれて援助を実施する。実施後は振り返りを行う。	予習90分：教科書I第2編第6章教科書II第5編第1章VIII・参考書の該当部分を読む。演習に向けた事前課題に取り組む。教科書の該当する技術動画を視聴する。ナーシングチャンネルの該当箇所を視聴する。 復習90分：実施した援助について課題レポートで振り返る。
第27回	伊藤美鈴	実技試験	技術テスト	空き時間を使用して実習室で技術の練習を十分に行い、試験に臨む
第28回	伊藤美鈴	実技試験	技術テスト	空き時間を使用して実習室で技術の練習を十分に行い、試験に臨む
第29回	伊藤美鈴	総合演習	総合演習 教員からアドバイスを受けたあと、グループごとの援助計画に沿って実施する。実施後は結果を踏まえ評価する。	予習90分：事前に提示された事例をもとに援助の計画を立てる。復習90分：実施した援助を振り返り、評価する。
第30回	伊藤美鈴	総合演習	総合演習 教員からアドバイスを受けたあと、グループごとの援助計画に沿って実施する。実施後は結果を踏まえ評価する。	予習90分：事前に提示された事例をもとに援助の計画を立てる。復習90分：実施した援助を振り返り、評価する。

教科書

新体系 看護学全書 専門分野I 基礎看護学② 基礎看護技術I 深井喜代子編集 メヂカルフレンド社
新体系 看護学全書 専門分野I 基礎看護学③ 基礎看護技術II 深井喜代子編集 メヂカルフレンド社

参考書

看護技術がみえる vol.1 基礎看護技術 医療情報科学研究所編集 メディックメディア
看護技術がみえる vol.2 臨床看護技術 医療情報科学研究所編集 メディックメディア
フィジカルアセスメントがみえる 医療情報科学研究所編集 メディックメディア

成績評価の方法・基準

単位認定60点以上。筆記試験60%、実技試験30%、課題レポート10%を総合して評価。

課題等に対するフィードバックの方法

治療過程支援技術の項目ごとに演習があり、毎回、課題レポートを課します。返却しますので学習の振り返りと技術の習得に活用してください

履修のポイント

主体的・積極的な学習への取り組みがのぞまれる
オフィス・アワー
在室時、随時対応します。10号館2階 研究室11
科目区分
専門科目
当該授業科目の教育課程内での位置づけ
UK-R221

講義コード	10620002
講義名	看護技術学II（Bクラス）
(副題)	
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	後期
講義区分	演習
基準単位数	2
代表曜日	月曜日
代表時限	３時限
必修/選択	必修
実務経験のある教員の有無	有
実務経験のある教員の経歴と授業内容	看護師としての病院における実務経験をもとに、様々な症状、疼痛、発熱、呼吸困難、排泄障害などについて、看護の視点で症状緩和方法について学習できるよう関わる。
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 伊藤 美鈴	指定なし
教員	武井 直樹	指定なし

授業の概要と教育目標

看護師は、医師の治療目標に向かって他の医療チームと協働で治療効果を上げる責任がある。治療過程を支援する技術は、特に安全に配慮した確実な技術や倫理的配慮が求められる。様々な症状、疼痛、発熱、呼吸困難、排泄障害などについて、看護の視点で症状緩和方法について学習する。本科目において、治療過程を支援する技術について理解を深め、技術の一端を体験することを目標とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

医療保健学部看護学科のディプロマ・ポリシーとの関連として、さまざまな健康レベル、あらゆる発達課題における人々を対象とした看護の基礎となる技術についてその根拠を踏まえて理解すること、また臨床現場でチーム医療の一員として活躍するための基礎技術を学ぶことを目指すものとする。

到達目標

１．治療過程支援技術および、症状緩和技術の目的・方法を説明する
２．安全・安楽に治療過程支援技術および、症状緩和技術を行うための環境調整を実施する
３．決められた手順に則って治療過程支援技術および、症状緩和技術を実施する
４．治療過程支援技術および、症状緩和技術の修得に向けた自己の課題を明らかにする

授業計画

	担当者	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習と そのために必要な時間
第1回	伊藤美	バイタルサイ	自身の生命兆候を想起する。そのうえで下記を解説する。 バイタルサインとは？	予習90分：教科書I第2編第1章III・参考書の該当部分を読む。復習90分：

	鈴	ン	バイタルサインの観察方法 記録・報告	教科書・参考書・配布資料を見直す。
第2回	伊藤美鈴	バイタルサイン	自身の生命兆候を想起する。そのうえで下記を解説する。 バイタルサインとは？ バイタルサインの観察方法 記録・報告	予習90分：教科書I第2編第1章III・参考書の該当部分を読む。復習90分：教科書・参考書・配布資料を見直す。
第3回	伊藤美鈴	バイタルサインの測定	バイタルサインの測定・記録・報告 ナーシングチャンネルおよび教員によるデモンストレーションに注目し、実施方法および重要点を確認する。その後、小グループに分かれて援助を実施する。実施後は振り返りを行う。	予習90分：教科書I第2編第1章III・参考書の該当部分を読む。演習に向けた事前課題に取り組む。教科書の該当する技術動画を視聴する。ナーシングチャンネルの該当箇所を視聴する。 復習90分：実施した援助について課題レポートで振り返る。
第4回	伊藤美鈴	バイタルサインの測定	バイタルサインの測定・記録・報告 ナーシングチャンネルおよび教員によるデモンストレーションに注目し、実施方法および重要点を確認する。その後、小グループに分かれて援助を実施する。実施後は振り返りを行う。	予習90分：教科書I第2編第1章III・参考書の該当部分を読む。演習に向けた事前課題に取り組む。教科書の該当する技術動画を視聴する。ナーシングチャンネルの該当箇所を視聴する。 復習90分：実施した援助について課題レポートで振り返る。
第5回	伊藤美鈴	呼吸・循環を整える技術	自身の呼吸の状態を想起する。そのうえで下記を解説する。 呼吸の意義 酸素吸入療法 吸引（一時的・持続的） 人工呼吸	予習90分：教科書II第5編第1章・参考書の該当部分を読む。復習90分：教科書・参考書・配布資料を見直す。
第6回	伊藤美鈴	呼吸・循環を整える技術	自身の呼吸の状態を想起する。そのうえで下記を解説する。 呼吸の意義 酸素吸入療法 吸引（一時的・持続的） 人工呼吸	予習90分：教科書II第5編第1章・参考書の該当部分を読む。復習90分：教科書・参考書・配布資料を見直す。
第7回	伊藤美鈴武井直樹	酸素吸入療法吸引	酸素吸入療法 一時的吸引法 ナーシングチャンネルおよび教員によるデモンストレーションに注目し、実施方法および重要点を確認する。その後、小グループに分かれて援助を実施する。実施後は振り返りを行う。	予習90分：教科書II第5編第1章・参考書の該当部分を読む。演習に向けた事前課題に取り組む。教科書の該当する技術動画を視聴する。ナーシングチャンネルの該当箇所を視聴する。 復習90分：実施した援助について課題レポートで振り返る。
第8回	伊藤美鈴武井直樹	酸素吸入療法吸引	酸素吸入療法 一時的吸引法 ナーシングチャンネルおよび教員によるデモンストレーションに注目し、実施方法および重要点を確認する。その後、小グループに分かれて援助を実施する。実施後は振り返りを行う。	予習90分：教科書II第5編第1章・参考書の該当部分を読む。演習に向けた事前課題に取り組む。教科書の該当する技術動画を視聴する。ナーシングチャンネルの該当箇所を視聴する。 復習90分：実施した援助について課題レポートで振り返る。
第9回	伊藤	食生活と栄養	自身の栄養摂取の形態を想起す	予習90分：教科書II第4編第2章・参考

第 回	美鈴	摂取の援助技術	る。そのうえで下記を解説する。 経腸栄養法と静脈栄養法	書の該当部分を読む。復習　分：教科書・参考書・配布資料を見直す。
第10回	伊藤美鈴武井直樹	経管栄養法	経管栄養法 ナーシングチャンネルおよび教員によるデモンストレーションに注目し、実施方法および重要点を確認する。その後、小グループに分かれて援助を実施する。実施後は振り返りを行う。	予習90分：教科書II第4編第2章・参考書の該当部分を読む。演習に向けた事前課題に取り組む。教科書の該当する技術動画を視聴する。ナーシングチャンネルの該当箇所を視聴する。 復習90分：実施した援助について課題レポートで振り返る。
第11回	伊藤美鈴武井直樹	排泄の援助技術	排泄機能が障害された状態を想起する。そのうえで下記を解説する。 排便障害と援助方法 排尿障害と援助方法	予習90分：教科書II第4編第3章・参考書の該当部分を読む。復習90分：教科書・参考書・配布資料を見直す。
第12回	伊藤美鈴	排泄の援助技術	排泄機能が障害された状態を想起する。そのうえで下記を解説する。 排便障害と援助方法 排尿障害と援助方法	予習90分：教科書II第4編第3章・参考書の該当部分を読む。復習90分：教科書・参考書・配布資料を見直す。
第13回	伊藤美鈴武井直樹	浣腸、導尿	グリセリン浣腸 一時的導尿 ナーシングチャンネルおよび教員によるデモンストレーションに注目し、実施方法および重要点を確認する。その後、小グループに分かれて援助を実施する。実施後は振り返りを行う。	予習90分：教科書II第4編第3章・参考書の該当部分を読む。演習に向けた事前課題に取り組む。教科書の該当する技術動画を視聴する。ナーシングチャンネルの該当箇所を視聴する。 復習90分：実施した援助について課題レポートで振り返る。
第14回	伊藤美鈴	浣腸、導尿	グリセリン浣腸 一時的導尿 ナーシングチャンネルおよび教員によるデモンストレーションに注目し、実施方法および重要点を確認する。その後、小グループに分かれて援助を実施する。実施後は振り返りを行う。	予習90分：教科書II第4編第3章・参考書の該当部分を読む。演習に向けた事前課題に取り組む。教科書の該当する技術動画を視聴する。ナーシングチャンネルの該当箇所を視聴する。 復習90分：実施した援助について課題レポートで振り返る。
第15回	伊藤美鈴	与薬の技術	薬物療法が開始された状態を想起する。そのうえで下記を解説する。 薬物療法の意義・目的、看護師の役割 与薬に関する基本知識	予習90分：教科書II第5編第3章・参考書の該当部分を読む。復習90分：教科書・参考書・配布資料を見直す。
第16回	伊藤美鈴	与薬の技術	薬物療法が開始された状態を想起する。そのうえで下記を解説する。 薬物療法の意義・目的、看護師の役割 与薬に関する基本知識	予習90分：教科書II第5編第3章・参考書の該当部分を読む。復習90分：教科書・参考書・配布資料を見直す。
		与薬	薬物療法が開始された状態を想起	

第17回	伊藤美鈴	の技術 検査に伴う看護技術	する。そのうえで下記を解説する。 与薬の援助に関する共通事項、各種与薬の援助方法 検査に伴う看護と検査の種類、血液検査（静脈血採血法）	予習90分：教科書II第5編第3章第4章・参考書の該当部分を読む。復習90分：教科書・参考書・配布資料を見直す。
第18回	伊藤美鈴	与薬の技術 検査に伴う看護技術	薬物療法が開始された状態を想起する。そのうえで下記を解説する。 与薬の援助に関する共通事項、各種与薬の援助方法 検査に伴う看護と検査の種類、血液検査（静脈血採血法）	予習90分：教科書II第5編第3章第4章・参考書の該当部分を読む。復習90分：教科書・参考書・配布資料を見直す。
第19回	伊藤美鈴	静脈血採血法	静脈血採血の方法 感染性廃棄物の取扱い ナーシングチャンネルおよび教員によるデモンストレーションに注目し、実施方法および重要点を確認する。その後、小グループに分かれて援助を実施する。実施後は振り返りを行う。	予習90分：教科書II第4編第4章・参考書の該当部分を読む。演習に向けた事前課題に取り組む。教科書の該当する技術動画を視聴する。ナーシングチャンネルの該当箇所を視聴する。 復習90分：実施した援助について課題レポートで振り返る。
第20回	伊藤美鈴	静脈血採血法	静脈血採血の方法 感染性廃棄物の取扱い ナーシングチャンネルおよび教員によるデモンストレーションに注目し、実施方法および重要点を確認する。その後、小グループに分かれて援助を実施する。実施後は振り返りを行う。	予習90分：教科書II第4編第4章・参考書の該当部分を読む。演習に向けた事前課題に取り組む。教科書の該当する技術動画を視聴する。ナーシングチャンネルの該当箇所を視聴する。 復習90分：実施した援助について課題レポートで振り返る。
第21回	伊藤美鈴	各種注射法	筋肉内注射法 点滴静脈内注射法 ナーシングチャンネルおよび教員によるデモンストレーションに注目し、実施方法および重要点を確認する。その後、小グループに分かれて援助を実施する。実施後は振り返りを行う。	予習90分：教科書II第4編第3章・参考書の該当部分を読む。演習に向けた事前課題に取り組む。教科書の該当する技術動画を視聴する。ナーシングチャンネルの該当箇所を視聴する。 復習90分：実施した援助について課題レポートで振り返る。
第22回	伊藤美鈴	各種注射法	筋肉内注射法 点滴静脈内注射法 ナーシングチャンネルおよび教員によるデモンストレーションに注目し、実施方法および重要点を確認する。その後、小グループに分かれて援助を実施する。実施後は振り返りを行う。	予習90分：教科書II第4編第3章・参考書の該当部分を読む。演習に向けた事前課題に取り組む。教科書の該当する技術動画を視聴する。ナーシングチャンネルの該当箇所を視聴する。 復習90分：実施した援助について課題レポートで振り返る。
第23回	伊藤美鈴	症状緩和技術	症状が緩和された状態を想起する。そのうえで下記を解説する。 症状緩和技術とは 代替療法とは 看護の視点からみた症状緩和方法	予習90分：教科書I第2編第6章教科書II第5編第1章VIII・参考書の該当部分を読む。復習90分：教科書・参考書・配布資料を見直す。
第24回	伊藤	症状緩和	症状が緩和された状態を想起する。そのうえで下記を解説する。 症状緩和技術とは	予習90分：教科書I第2編第6章教科書II第5編第1章VIII・参考書の該当部

	美鈴	技術	代替療法とは 看護の視点からみた症状緩和方法	分を読む。復習90分：教科書・参考書・配布資料を見直す。
第25回	伊藤美鈴	足浴・マッサージ罨法	足浴・マッサージ 冷罨法・温罨法 ナーシングチャンネルおよび教員によるデモンストレーションに注目し、実施方法および重要点を確認する。その後、小グループに分かれて援助を実施する。実施後は振り返りを行う。	予習90分：教科書I第2編第6章教科書II第5編第1章VIII・参考書の該当部分を読む。演習に向けた事前課題に取り組む。教科書の該当する技術動画を視聴する。ナーシングチャンネルの該当箇所を視聴する。 復習90分：実施した援助について課題レポートで振り返る。
第26回	伊藤美鈴	足浴・マッサージ罨法	足浴・マッサージ 冷罨法・温罨法 ナーシングチャンネルおよび教員によるデモンストレーションに注目し、実施方法および重要点を確認する。その後、小グループに分かれて援助を実施する。実施後は振り返りを行う。	予習90分：教科書I第2編第6章教科書II第5編第1章VIII・参考書の該当部分を読む。演習に向けた事前課題に取り組む。教科書の該当する技術動画を視聴する。ナーシングチャンネルの該当箇所を視聴する。 復習90分：実施した援助について課題レポートで振り返る。
第27回	伊藤美鈴	実技試験	技術テスト	空き時間を使用して実習室で技術の練習を十分に行い、試験に臨む
第28回	伊藤美鈴	実技試験	技術テスト	空き時間を使用して実習室で技術の練習を十分に行い、試験に臨む
第29回	伊藤美鈴	総合演習	総合演習 教員からアドバイスを受けたあと、グループごとの援助計画に沿って実施する。実施後は結果を踏まえ評価する。	予習90分：事前に提示された事例をもとに援助の計画を立てる。復習90分：実施した援助を振り返り、評価する。
第30回	伊藤美鈴	総合演習	総合演習 教員からアドバイスを受けたあと、グループごとの援助計画に沿って実施する。実施後は結果を踏まえ評価する。	予習90分：事前に提示された事例をもとに援助の計画を立てる。復習90分：実施した援助を振り返り、評価する。

教科書

新体系 看護学全書 専門分野I 基礎看護学② 基礎看護技術I 深井喜代子編集 メヂカルフレンド社
新体系 看護学全書 専門分野I 基礎看護学③ 基礎看護技術II 深井喜代子編集 メヂカルフレンド社

参考書

看護技術がみえる vol.1 基礎看護技術 医療情報科学研究所編集 メディックメディア
看護技術がみえる vol.2 臨床看護技術 医療情報科学研究所編集 メディックメディア
フィジカルアセスメントがみえる 医療情報科学研究所編集 メディックメディア

成績評価の方法・基準

単位認定60点以上。筆記試験60%、実技試験30%、課題レポート10%を総合して評価。

課題等に対する
フィードバックの方法

治療過程支援技術の項目ごとに演習があり、毎回、課題レポートを課します。返却しますので学習の振り返りと技術の習得に活用してください

履修のポイント

主体的・積極的な学習への取り組みがのぞまれる
オフィス・アワー
在室時、随時対応します。10号館2階 研究室11
科目区分
専門科目
当該授業科目の教育課程内での位置づけ
UK-R221

講義コード	10630001
講義名	看護技術学III
(副題)	
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	前期
講義区分	演習
基準単位数	1
代表曜日	金曜日
代表時限	３時限
必修/選択	必修
実務経験のある教員の有無	有
実務経験のある教員の経歴と授業内容	看護師としての病院における実務経験をもとに、対象者の健康状態を実際にアセスメントできる基本的技術と看護者としての基本的態度を修得できるよう関わる。
学年	2学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 伊藤 美鈴	指定なし

授業の概要と教育目標

看護におけるヘルスアセスメントの目的・意義を理解し、対象者の健康状態を身体的・心理的・社会的側面から統合的にアセスメントするための知識と基本的技術を学ぶ。特に身体的アセスメントについては、看護実践の基盤となる観察技術を中心に正確な身体情報を把握する。さらにその情報から対象者の健康レベルや正常・異常を理解できるまでの一連のアセスメント技術と看護者として望ましい基本的態度を修得する。なお本科目は、対象者の健康状態を実際にアセスメントできる基本的技術と看護者としての基本的態度を修得できるようにすることを目標とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

医療保健学部看護学科のディプロマ・ポリシー〈看護の基礎技術を理解した上での実践的な援助を実施する〉に関連し、看護におけるヘルスアセスメントの目的・意義を理解し、あらゆる健康レベルにある人々の身体構造と機能の系統的観察・測定技術の必要性と方法を学べるようにする。将来的な展望としては、対象者の健康状態を実際にアセスメントできるようにすることを目指すものとする。

到達目標

1. ヘルスアセスメントの意義および必要性を述べる。
2. 人間を身体的－心理・社会的存在としてとらえる必要性を述べる。
3. 対象者を総合的にアセスメントするために、ヘルスアセスメントの基本的技術を実施する。
4. ヘルスアセスメント時の看護者としての基本的態度について考える。

授業計画

	担当者	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	伊藤美鈴	ヘルスアセスメントの概要[講義]	ヘルスアセスメントの目的・意義と基本的技法を解説する。適宜、質問と発問を実施しながら進める。	予習90分：「ヘルスアセスメントの目的・意義と基本的技法」との関連事項を読む。復習90分：授業中の教科書使用箇所・配布資料を見直す。

第2回	伊藤美鈴	看護面接の進め方[講義]	看護面接の進め方を解説する。適宜、質問と発問を実施しながら進める。	予習90分：「看護面接の進め方」との関連事項を読む。復習90分：課題の実施。授業中の教科書使用箇所・配布資料を見直す。
第3回	伊藤美鈴	系統的アセスメント：看護面接[演習]	看護面接の実際：クラス別 ナーシングチャンネルおよび教員によるデモンストレーションに注目し、実施方法と重要点を確認する。 第2回授業の内容を学生は実際に実施する。その中で、看護技術を実際に経験することで学びを深める	予習90分：配布課題の実施。教科書の関連事項を読む。教科書の該当する技術動画を視聴する。ナーシングチャンネルの該当箇所を視聴する。 復習90分：事後レポートの実施。
第4回	伊藤美鈴	皮膚・頭頸部のフィジカルアセスメント[講義]	皮膚・頭頸部のフィジカルアセスメントの進め方を解説する。適宜、質問と発問を実施しながら進める。	予習90分：「皮膚・頭頸部のフィジカルアセスメントの進め方」との関連事項を読む。課題の実施。 復習90分：課題の実施。授業中の教科書使用箇所・配布資料を見直す。
第5回	伊藤美鈴	系統別アセスメント：皮膚・頭頸部のフィジカルアセスメントと身体各部の計測の実際［演習］	皮膚・頭頸部のフィジカルアセスメントと身体各部の計測の実際：クラス別 ナーシングチャンネルおよび教員によるデモンストレーションに注目し、実施方法と重要点を確認する。 第4回授業の内容を学生は実際に実施する。その中で、看護技術を実際に経験することで学びを深める	予習90分：配布課題の実施。教科書の関連事項を読む。教科書の該当する技術動画を視聴する。ナーシングチャンネルの該当箇所を視聴する。 復習90分：事後レポートの実施。
第6回	伊藤美鈴	呼吸器系のフィジカルアセスメント[講義]	呼吸器系のフィジカルアセスメントの進め方を解説する。適宜、質問と発問を実施しながら進める。	予習90分：「呼吸器系のフィジカルアセスメント」の関連事項を読む。復習90分：課題の実施。授業中の教科書使用箇所・配布資料を見直す。
第7回	伊藤美鈴	系統別アセスメント：呼吸器系のフィジカルアセスメント[演習]	呼吸器系のフィジカルアセスメントの実際：クラス別 ナーシングチャンネルおよび教員によるデモンストレーションに注目し、実施方法と重要点を確認する。 第6回授業の内容を学生は実際に実施する。その中で、看護技術を実際に経験することで学びを深める	予習90分：配布課題の実施。教科書の関連事項を読む。教科書の該当する技術動画を視聴する。ナーシングチャンネルの該当箇所を視聴する。 復習90分：事後レポートの実施。
	伊		循環器系のフィジカル	予習90分：「循環器系のフィジカ

第8回	藤美鈴	循環器系のフィジカルアセスメント［講義］	アセスメントの進め方を解説する。適宜、質問と発問を実施しながら進める。	ルアセスメント」の関連事項を読む。復習90分：課題の実施。授業中の教科書使用箇所・配布資料を見直す。
第9回	伊藤美鈴	系統別アセスメント：循環器系のフィジカルアセスメント[演習]	循環器系のフィジカルアセスメントの実際：クラス別 ナーシングチャンネルおよび教員によるデモンストレーションに注目し、実施方法と重要点を確認する。 第8回授業の内容を学生は実際に実施する。その中で、看護技術を実際に経験することで学びを深める	予習90分：配布課題の実施。教科書の関連事項を読む。教科書の該当する技術動画を視聴する。ナーシングチャンネルの該当箇所を視聴する。 復習90分：事後レポートの実施。
第10回	伊藤美鈴	消化器系のフィジカルアセスメント[講義]	消化器系のフィジカルアセスメントの進め方を解説する。適宜、質問と発問を実施しながら進める。	予習90分：「消化器系のフィジカルアセスメント」の関連事項を読む。復習90分：課題の実施。授業中の教科書使用箇所・配布資料を見直す。
第11回	伊藤美鈴	系統別アセスメント：消化器系のフィジカルアセスメント[演習]	消化器系のフィジカルアセスメントの実際：クラス別 ナーシングチャンネルおよび教員によるデモンストレーションに注目し、実施方法と重要点を確認する。 第10回授業の内容を学生は実際に実施する。その中で、看護技術を実際に経験することで学びを深める	予習90分：配布課題の実施。教科書の関連事項を読む。教科書の該当する技術動画を視聴する。ナーシングチャンネルの該当箇所を視聴する。 復習90分：事後レポートの実施。
第12回	伊藤美鈴	感覚器・運動器・中枢神経系のフィジカルアセスメント[講義]	感覚器系・運動器系・中枢神経系のフィジカルアセスメントの進め方を解説する。適宜、質問と発問を実施しながら進める。	予習90分：「感覚器系・運動器系・中枢神経系のフィジカルアセスメント」の関連事項を読む。復習90分：課題の実施。授業中の教科書使用箇所・配布資料を見直す。
第13回	伊藤美鈴	系統別アセスメント：感覚器・運動器・中枢神経系のフィジカルアセスメント[演習]	感覚器系・運動器系・中枢神経系のフィジカルアセスメントの実際①：クラス別 ナーシングチャンネルおよび教員によるデモンストレーションに注目し、実施方法と重要点を確認する。 第13回授業の内容を学生は実際に実施する。その中で、看護技術を実際に経験することで学びを深める	予習90分：配布課題の実施。教科書の関連事項を読む。教科書の該当する技術動画を視聴する。ナーシングチャンネルの該当箇所を視聴する。 復習90分：事後レポートの実施。

第14回	伊藤美鈴	系統別アセスメント：感覚器・運動器・中枢神経系のフィジカルアセスメント[演習]	感覚器系・運動器系・中枢神経系のフィジカルアセスメントの実際②：クラス別 ナーシングチャンネルおよび教員によるデモンストレーションに注目し、実施方法と重要点を確認する。 第13回授業の内容を学生は実際に実施する。その中で、看護技術を実際に経験することで学びを深める	予習90分：配布課題の実施。教科書の関連事項を読む。教科書の該当する技術動画を視聴する。ナーシングチャンネルの該当箇所を視聴する。 復習90分：事後レポートの実施。
第15回	伊藤美鈴	情報収集および解釈・分析［演習］	情報収集および解釈・分析：ゴードンの機能的健康パターンを用いて あらかじめ配布した事例展開の内容を学生は実際に実施する。その中で、看護技術を実際に経験することで学びを深める	予習90分：配布課題の実施。看護技術学IVの関連事項を読む。復習90分：授業中の教科書使用箇所・配布資料を見直す。事後レポートの実施。

教科書

岡庭豊：看護がみえるvol.3フィジカルアセスメント,メディックメディア,2015.

参考書

松尾ミヨ子編：ナーシンググラフィカ 基礎看護学② ヘルスアセスメント,2018.
山内豊明：フィジカルアセスメント ガイドブック－目と手と耳でここまでわかる（第2版）,医学書院,2011.

成績評価の方法・基準

講義・演習参加状況・演習レポート30%、事例レポート20%、筆記試験50%を総合して評価する。
総合得点が60点以上で単位認定とする。ただし、事例レポートが合格することを必須とする。

課題等に対するフィードバックの方法

系統別アセスメントの演習を効果的に行うために人体の構造のレポートを作成する。演習前にフィジカルアセスメントのDVDを視聴する。

履修のポイント

事前事後の学習課題を行い、主体的・積極的に参加すること。記録類の提出は、時間厳守すること。

オフィス・アワー

在室時随時対応します。10号館2階11研究室です。

科目区分

専門科目

当該授業科目の教育課程内での位置づけ

UK-R230

講義コード	10640001
講義名	看護技術学IV
(副題)	
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	後期
講義区分	演習
基準単位数	1
代表曜日	木曜日
代表時限	３時限
必修/選択	必修
実務経験のある教員の有無	有
実務経験のある教員の経歴と授業内容	看護師としての病院における実務経験をもとに、対象者の健康問題を実際に支援できる基本的技術とその過程を修得できるよう関わる。
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 伊藤 美鈴	指定なし
教員	武井 直樹	指定なし

授業の概要と教育目標

看護過程の展開は看護理論をもとに、対象にどのような問題点があるのか、どのような看護ケアが必要か、どのような事象が展開されるかを予測的に説明することができる方法である。本科目は専門基礎で学んだ知識と看護学を統合する学習であり、既習学習した様々な知識を想起して、これから始まる看護学各論の科目、特に臨地実習と関連させる方法論を学ぶことを目標とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

医療保健学部看護学科のディプロマ・ポリシーとの関連として、さまざまな健康レベル、あらゆる発達段階における人々を対象とした看護展開の基礎となる考え方を理解することを目指すことを目的とする。

到達目標

１．看護過程とは何かを説明する
２．看護過程の各段階とその機能を説明する
３．看護過程の展開方法について説明する
①「アセスメント」を展開する方法
②「看護診断（問題の明確化）」を展開する方法
③「計画」を展開する方法
④「実施」を展開する方法
⑤「評価」を展開する方法

授業計画

	担当者	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間
		看護過程		

第1回	伊藤美鈴	概説 看護過程の各段階と機能	看護過程とはなにか 看護過程の各段階と機能とは 上記を質問・発問を交えながら解説する。	予習90分：教科書第1章を読む。 復讐90分：教科書・配布資料を見直す。
第2回	伊藤美鈴	アセスメント	アセスメントとは 上記を質問・発問を交えながら解説する。	予習90分：教科書第2章を読む。 復讐90分：教科書・配布資料を見直す。
第3回	伊藤美鈴	アセスメント	アセスメントとは 事例展開に向けた学習（病態・治療、発達段階） 上記を質問・発問を交えながら解説する。	予習90分：教科書第2章を読む。 復讐90分：教科書・配布資料を見直す。
第4回	伊藤美鈴	アセスメント	事例をもとに情報整理 第3回授業で配布された事例展開に関する資料をもとに、小グループに分かれて相談しながら、ゴードンの枠組みに沿って情報を記入する。	予習90分：事例に関する資料を精読する。復讐90分：実施した演習について振り返り、課題に取り組む。
第5回	伊藤美鈴	アセスメント	情報の修正、情報の解釈・分析 ゴードンの枠組みに沿って整理した情報をもとに、小グループに分かれて相談しながら、解釈・分析する。	予習90分：事例に関する資料を精読する。復讐90分：実施した演習について振り返り、課題に取り組む。
第6回	伊藤美鈴	診断	診断とは 上記を質問・発問を交えながら解説する。	予習90分：教科書第3章を読む。 復讐90分：教科書・配布資料を見直す。
第7回	伊藤美鈴	診断	診断とは 関連図を用いた問題の明確化 関連図作成 小グループごとに相談しながら、手順に沿って関連図を作成する。	予習90分：教科書第3章を読む。 復讐90分：教科書・配布資料を見直す。実施した演習について振り返り、課題に取り組む。
第8回	伊藤美鈴	診断	関連図修正、診断リスト作成 小グループごとに相談しながら、作成した関連図をもとに診断リストに記入する。	予習90分：教科書第3章を読む。 復讐90分：教科書・配布資料を見直す。実施した演習について振り返り、課題に取り組む。
第9回	伊藤美鈴	計画	計画とは 期待される成果 上記を質問・発問を交えながら解説する。	予習90分：教科書第3章を読む。 復讐90分：教科書・配布資料を見直す。
第10回	伊藤美鈴	計画	計画とは 看護介入 上記を質問・発問を交えながら解説する。	予習90分：教科書第3章を読む。 復讐90分：教科書・配布資料を見直す。
第11回	伊藤美鈴	計画	期待される成果（目標）の設定 具体策（看護介入計画）の立案 小グループに分かれて相談しながら、期待される成果および具体策を記入する。	予習90分：教科書第3章を読む。 復讐90分：教科書・配布資料を見直す。実施した演習について振り返り、課題に取り組む。
12	伊藤		期待される成果（目標）の設定 具体策（看護介入計画）の立案	予習90分：教科書第3章を読む。 復讐90分：教科書・配布資料を

第　回	美鈴	計画	小グループに分かれて相談しながら、期待される成果および具体策を記入する。	見直す。実施した演習について振り返り、課題に取り組む。
第13回	伊藤美鈴	実施	実施とは 実施と記録 上記を質問・発問を交えながら解説する。	予習90分：教科書第3章を読む。 復讐90分：教科書・配布資料を見直す。
第14回	伊藤美鈴	評価	評価とは 目標設定の評価、看護過程全体の見直し	予習90分：教科書第3章を読む。 復讐90分：教科書・配布資料を見直す。
第15回	伊藤美鈴	まとめ	具体策修正 看護過程のまとめ 事例の展開について全体を見直す	予習90分：これまでの授業で学習した内容を見直す。復讐90分：実施した演習について振り返り、課題に取り組む。

教科書

配布資料
リンダ.J.カルペニート著、新道幸恵監訳『看護診断ハンドブック 第11刷』医学書院
ロザリンダ・アルファロ・ルフィーヴァ、本郷久美子監訳『基本から学ぶ 看護過程と看護診断 第7刷』医学書院

参考書

授業時に提示します

成績評価の方法・基準

事例展開（課題レポート）50%、筆記試験50%を統合して評価する。どちらも60%以上取れることを必須とする

課題等に対する
フィードバックの方法

看護過程の5段階ごとに演習があり、毎回、課題レポートを課します。返却しますので学習の振り返りに活用してください。

履修のポイント

主体的・積極的な学習への取組が望まれる

オフィス・アワー

在室時いつでも対応します。10号館2階 研究室11です。

科目区分

専門科目

当該授業科目の教育課程内での位置づけ

UK-R231

講義コード	10650001
講義名	看護技術学V
(副題)	
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	前期（重複②）
講義区分	講義
基準単位数	1
代表曜日	火曜日
代表時限	３時限
必修/選択	必修
実務経験のある教員の有無	有
実務経験のある教員の経歴と授業内容	病院における看護管理者としての指導経験を活かし、実践を踏まえた基礎的な内容を展開する。
学年	2学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 吉田 幸枝	指定なし

授業の概要と教育目標

少子高齢化、疾病構造の変化等により、保健医療システムの変革は病院完結治療から地域包括システムへと移行している。その為、人々は病院のみならず、地域における生活の中でも健康問題に対して主体的に取り組むことが求められている。このことから日常生活の援助者である看護師は対象の疾病の予防、健康の維持・増進をはかり、対象が自ら健康問題に取り組み、健康管理できるよう学習を支援していく役割を担う。
本講義では対象者の学習支援に必要な基礎的な知識を学び、人々の発達段階や様々な状況に応じて指導できる技術の基本を理解することを目標とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

医療保健学部看護学科のディプロマ・ポリシーとの関連として、看護における教育支援の役割を理解し、様々な健康レベル・発達段階における対象の学習支援につなげることができる様、基礎的な知識及び基本的な技術についての理解を目指すものとする。

到達目標

1.看護における学習支援の役割が理解できる。
2.発達段階や健康状態に応じた学習支援の方法が理解できる。
3.理論を活用した効果的な学習支援の方法が理解できる。
4.事例を通して効果的な学習支援について考える。
5.事例検討を通して、自己の学習支援について省察（リフレクション）ができる。

授業計画

	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間
	1.看護における学習支援 2.療養の場の移行支援（学習支援）		

第1回	(1)医療制度改革と療養の変化 (2)療養の場を移行する人々が体験する困難さ 3.理論を活用した学習支援 (1)エンパワメントエデュケーション (2)セルフマネジメントを推進する技術 (3)コンプライアンスを高めるための知識と技術 (4)自己効力を高める看護教育技術	【課題】 患者が入院治療を受け、在宅療養に移行するにあたり、在宅での日常生活で困ることは何か、そこから学習支援の必要性を考える。発表、意見交換	予習９０分：①療養の場の移行支援とはどのような活動なのか、テキストを読んで理解する テキスト：系統看護学講座専門Ⅱ成人看護学総論 成人看護学１ P371～382,P274～292. 復習９０分：学習支援の必要性をノートに整理する。
第2回	対象の場面や健康状態に応じた学習支援 1.対象と場面に応じた教育的なかかわり 2.健康状態の変化に伴う学習支援 3.指導形式 4.教育支援プロセスの理解 (1)学習支援計画（指導計画）の5段階	【課題】 外来、入院時、退院時の特徴からどの様な学習支援があると、学習者は適応しやすいか、患者の視点から考える。発表、意見交換。	予習９０分：学習支援計画（指導計画）の5段階について、資料を読んで授業に臨む。 復習９０分：学習支援計画（指導計画）の5段階について、実践で活用できる自分用のマニュアルを作成する。
第3回	(前回の続き/教育支援プロセスの理解) (2)実施計画 (3)指導プロセスに影響を及ぼす要因 1.学習支援ー事例展開 (1)DVD		予習９０分：「外来、入院時、退院時の特徴からどの様な学習支援があると、学習者は適応しやすいか、患者の視点から考え」、指導に活かせるポイントを導きだす。

	（事例）視聴 (2)事例を基にした学習支援計画の作成 (3)事例を基に実施計画の作成		復習９０分：事例を学習支援計画、実施計画用紙に展開する。
第4回	1.効果的な学習支援ー事例の深化 (1)事例を基にした学習支援計画の質問・説明 (2)事例を基にした実施計画の質問・説明 2.指導案の作成と指導方法 3.指導の評価	【課題】 事例から学習支援について、指導内容を具体的にイメージする。 課題を通して考える、発表、意見交換。	予習９０分：事例を学習支援計画、実施計画に展開する。 復習９０分：指導案の作成
第5回	1.事例を通しての学習支援の実際 (１)事例を基にした実施計画の検討 (２）事例を基にした指導案の作成・提出 (３）指導案発表準備・発表者の選定	スモールディスカッション：事例を基にした実施計画、指導案の作成	予習９０分： 指導案作成のための文献検索 復習９０分：指導案発表に向けての準備
第6回	５回目に同じ	スモールディスカッション：事例を基にした実施計画、指導案の作成 課題：指導案の提出	予習９０分：患者指導プロセス及び指導のプロセスに影響を及ぼす要因について、復習して講義に臨む。 復習９０分：指導内容を充実させる。
第7回	1.事例を通しての学習支援の実際（発表） (1)指導案を基に指導の実施（発表） 2.指導実施の振り返り (1)発表内容	指導案の発表・質疑応答	予習９０分： 発表の為の資料作成 復習９０分：講義における学びやグループで話し合った結果を踏まえて、自己の記録の修正を行う。

	の評価 (2)自己の振り返り行い、今後の指導に向けて改善案を導きす		
第8回	７回目に同じ		予習９０分：①講義における学びやグループで話し合った結果を踏まえて、自己の記録の修正を行う。 復習９０分：自己の振り返り行い、今後の指導に向けて改善案を導きだし、レポートに記述する。

教科書

小松浩子他 系統看護学講座専門II成人看護学総論 成人看護学１ 医学書院
深井喜代子他 新体系看護学全書 基礎看護学②基礎看護技術I メジカルフレンド社

参考書

必要に応じて講義時に提示します。

成績評価の方法・基準

単位認定は60点以上、課題評価50%、定期試験50%を総合して評価。

課題等に対する
フィードバックの方法

講義時に課題に関する説明・講評を行います。不明な点に関しては個別指導で対応します。

履修のポイント

講義は教員の一方向の働きかけではなく、課題達成が学習成果につながります。積極的に授業に参加して学びを深めてください。

オフィス・アワー

毎週火曜日 5限(16時40分～18時10分) 10号館2階 研究室8

科目区分

専門科目

当該授業科目の教育課程内での位置づけ

UK-R232

講義コード	10660001
講義名	看護技術学VI
(副題)	
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	前期（重複①）
講義区分	講義
基準単位数	1
代表曜日	月曜日
代表時限	２時限
必修/選択	必修
実務経験のある教員の有無	有
実務経験のある教員の経歴と授業内容	看護師としての病院における実務経験をもとに、コミュニケーション技術の修得と看護者としての基本的態度を修得できるよう関わる。
学年	2学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 伊藤 美鈴	指定なし

授業の概要と教育目標

看護学科は、医療保健の高度化・専門化・複雑化・多様化に伴い、社会が求める看護に生涯にわたって対応し、活躍できる人材の基盤を養うために、看護技術学VI（対人援助方法）を提供する。
本科目は既習のコミュニケーション論、看護技術学I・II・IVおよび基礎看護学実習Iでの学習経験を基盤とする。看護としての対人援助技術（対人コミュニケーション、治療的コミュニケーション）を修得していく。具体的には、効果的なコミュニケーションの方法および看護におけるコミュニケーションについて看護理論を踏まえて学習する。さらに、実際にコミュニケーション技術を実施し、その内容を学んでいく。

卒業認定・学位授与の方針との関連

医療保健学部看護学科のディプロマ・ポリシーの関連として人間に対してコミュニケーションの面から理解することを目指す。将来的には、患者支援に向けて看護職者として対人援助技術を発揮する意義を踏まえ、実施できるようになることを目指すものとする。

到達目標

１．言語的コミュニケーションと非言語的コミュニケーションの特徴について学ぶ。
２．人間のコミュニケーションは相互作用であることを理解する。
３．対人関係における効果的コミュニケーションについて学ぶ。
４．コミュニケーションを促進し、よい人間関係を築くためには、自己理解を深める必要性があることを学ぶ。
５．看護師がコミュニケーション技術を用いて、看護の目的を達成していくことの重要性について理解する。
６．看護理論家がコミュニケーションをどのようにとらえているかについて関心を持ち、学習を深める。
７．コミュニケーションは所属している文化に強く影響されていることを理解する。
８．ケアリングは、効果的なコミュニケーションによる対人関係をとおして実践できることを理解する。

授業計画

	担			

	当者	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習と そのために必要な時間
第1回	伊藤美鈴	I．コミュニケーションとは	・コミュニケーションの双方向性 ・コミュニケーション技術獲得の難しさ 上記を質問・発問を交えて解説する。	予習90分：教科書を読む。該当箇所のナーシングチャンネルを視聴する。 復習90分：教科書・配布資料を見直す。
第2回	伊藤美鈴	II．対人関係プロセスとしての看護	・看護師と患者の関係 ・対人関係の成立に不可欠な条件 上記を質問・発問を交えて解説する。	予習90分：教科書を読む。該当箇所のナーシングチャンネルを視聴する。 復習90分：教科書・配布資料を見直す。
第3回	伊藤美鈴	III．看護におけるケアリングとコミュニケーション	・他者との関係における２つの儀式 ・ケアリングの概念の今日的意味 上記を質問・発問を交えて解説する。	予習90分：教科書を読む。復習90分：教科書・配布資料を見直す。
第4回	伊藤美鈴	IV．看護理論とコミュニケーション	・ペプロウ ・オーランド ・トラベルビー 上記を質問・発問を交えて解説する。 ナーシングチャンネルおよびDVDを視聴する。	予習90分：教科書を読む。該当箇所のナーシングチャンネルを視聴する。 復習90分：教科書・配布資料を見直す。
第5回	伊藤美鈴	V．看護とコミュニケーション	・コミュニケーションの要素 ・コミュニケーションの送り手と受け手との関係による分類 ・コミュニケーションの特性による分類 ・コミュニケーションプロセス 上記を質問・発問を交えて解説する。 ナーシングチャンネルおよびDVDを視聴する。	予習90分：教科書を読む。該当箇所のナーシングチャンネルを視聴する。 復習90分：教科書・配布資料を見直す。
第6回	伊藤美鈴	VI．コミュニケーションのプロセスに影響する要因	・文化とコミュニケーション ・医療文化とコミュニケーション ・人間関係と空間 上記を質問・発問を交えて解説する。	予習90分：教科書を読む。該当箇所のナーシングチャンネルを視聴する。 復習90分：教科書・配布資料を見直す。
第7回	伊藤美鈴	VII．医療における信頼関係とコミュニケーション	・信頼関係の基本であるコミュニケーション ・看護師―患者関係 演習課題を提示し、グループになり実際にコミュニケーション技法を学生同士で実施する。	予習90分：教科書を読む。 復習90分：教科書・配布資料を見直す。
		VIII	・言語的コミュニケーション機能とは	

第8回	伊藤美鈴	．疾患に伴ったコミュニケーション障害がある人への対応 コミュニケーション演習	・言語的コミュニケーション障害のある人への対応 ・コミュニケーション演習 演習課題を提示し、グループになり実際にコミュニケーション技法を学生同士で実施する。	予習90分：教科書を読む。 復習90分：教科書・配布資料を見直す。

教科書

◆深井喜代子編：新体系 看護学全書 基礎看護学② 基礎看護技術I，メヂカルフレンド社，2017.

参考書

◆渡辺富栄：対人コミュニケーション入門 看護のパワーアップにつながる理論と技術，ライフサポート社，2011.
◆平井さよ子：改訂版 看護職のキャリア開発，日本看護協会出版会，2009.
◆平田オリザ：わかりあえないことから－コミュニケーション能力とは何か，講談社,2012.
◆シラバス
◆配布資料

成績評価の方法・基準

単位認定60点以上。筆記試験（１００％）

**課題等に対する
フィードバックの方法**

授業を効果的にするためにコミュニケーション論の授業を復習することを勧める。自身が日常経験している身近な人々とのコミュニケーション内容を内省する。
第7・8回で実施する演習内容を事前に配布する「演習ノート」に記載し、提出する。

履修のポイント

授業事後の復習を行い、主体的・積極的に授業に参加すること。

オフィス・アワー

在室中で時間があればいつでも対応します。10号館2階11研究室です。

科目区分

専門科目

当該授業科目の教育課程内での位置づけ

UK-R233

講義コード	10670001
講義名	基礎看護学実習I
(副題)	【教職必修】
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	後期
講義区分	実験・実習
基準単位数	1
代表曜日	
代表時限	
必修/選択	必修
実務経験のある教員の有無	有
実務経験のある教員の経歴と授業内容	看護師としての病院における実務経験をもとに、患者の健康上の問題および基本的ニーズを満たすための日常生活行動の援助を実施することを目標達成できるよう関わる。
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 伊藤 美鈴	指定なし
教員	武井 直樹	指定なし

授業の概要と教育目標

看護の対象である患者および患者を取り巻く生活の場を理解し、実際に観察、コミュニケーションの技術を活用しながら、対象者の基本的ニーズを満たすための援助の必要性を考え、日常生活行動の援助を実践する。また、看護の主要な対象である患者がどのような健康上の問題をもって生活しているかを理解し、看護が担う役割と責任について理解する。本科目は、看護者の立場から患者の健康上の問題について考え、基本的ニーズを満たすために日常生活行動の援助を実施することを目標とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

医療保健学部看護学科のディプロマ・ポリシーとの関連として、コミュニケーションや観察を通して患者の健康上の問題と援助の必要性を考え、日常生活行動の援助を実施することにより、看護者としての基本精神・基本技術を理解することを目指すものとする。

到達目標

1．患者に必要な日常生活行動の援助について、原理・原則に基づき実施方法を計画する
2．患者に必要な日常生活行動の援助を実施する
3．患者との関わりを通して、自己の言動が相手に与える影響について気づきを示す
4．患者に質の高い技術を提供するための看護師のあり方について考える

授業計画

	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習と そのために必要な時間
第1回	臨地実習	病棟オリエンテーション、日常生活行動の観察 カンファレンス	予習90分：実習要項を精読し、その日の目標を確認する。事前学習を行う。復習90分：その日の学習内容を記録用紙にまとめる。

第2回	臨地実習	日常生活行動および援助の観察、健康状態の観察 必要な援助の抽出、日常生活行動の援助計画立案	予習90分：実習要項を精読し、その日の目標を確認する。事前学習を行う。復習90分：その日の学習内容を記録用紙にまとめる。
第3回	臨地実習	日常生活行動の援助の実施 カンファレンス	予習90分：実習要項を精読し、その日の目標を確認する。事前学習を行う。復習90分：その日の学習内容を記録用紙にまとめる。
第4回	臨地実習	日常生活行動の援助の実施 カンファレンス	予習90分：実習要項を精読し、その日の目標を確認する。事前学習を行う。復習90分：その日の学習内容を記録用紙にまとめる。
第5回	臨地実習	日常生活行動の援助の実施 カンファレンス	予習90分：実習要項を精読し、その日の目標を確認する。事前学習を行う。復習90分：その日の学習内容を記録用紙にまとめる。

教科書

使用せず

参考書

看護技術学概論、看護技術学I、IIで使用した教科書および授業プリント
看護学原論I、IIで使用した教科書および授業プリント

成績評価の方法・基準

行動目標の達成状況により評価し60点以上を合格とする。

課題等に対するフィードバックの方法

実習中は毎日、学習計画表に記載し、提出が求められます。また、基礎看護学実習Iの記録用紙も複数あります。これらの記録物は返却されますので、学習の振り返りに活用してください。

履修のポイント

主体的・積極的な学習への取り組みを期待します

オフィス・アワー

在室時、随時対応します。10号館2階 研究室11です。

科目区分

専門科目

当該授業科目の教育課程内での位置づけ

UK-R222

講義コード	10680001
講義名	基礎看護学実習II
(副題)	
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	後期
講義区分	実験・実習
基準単位数	2
代表曜日	
代表時限	
必修/選択	必修
実務経験のある教員の有無	有
実務経験のある教員の経歴と授業内容	看護師としての病院における実務経験をもとに、看護過程の一連の過程を体験することができるよう関わる。
学年	2学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 伊藤 美鈴	指定なし
教員	武井 直樹	指定なし

授業の概要と教育目標

健康障害を体験している一人の患者を受け持ち、患者を全人的にとらえ、ニーズの充足を目指して科学的根拠に基づく日常生活行動の援助を計画・実施・評価するプロセスを学習する。実施においては修得した技術の提供を通し、看護技術の個別化の意義を学ぶ。さらに、看護者としてふさわしい態度を考え、自己を振り返り、看護への理解と関心を深める。本科目は、一人の患者を受け持ち、看護家庭に一連の流れを体験することを目的とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

医療保健学部看護学科のディプロマ・ポリシーとの関連として、看護の基本精神・基礎技術を理解した上で一人の患者を受け持ち看護過程を展開することで、様々な健康レベル、あらゆる発達段階における人々へ提供する看護介入方法の基本について学ぶことを目指すものとする。

到達目標

1．一人の患者を受け持ち、アセスメント、診断、計画、実施、評価の一連の過程を経験する。
2．看護理論に基づいて個別性のある看護を行うための方法を理解する。
3．患者との援助関係を発展させるよう自発的に行動する。
4．質の高い看護を提供するために、倫理観や科学的根拠に基づき、看護を展開することの看護師の責任を確認する。
5．目標１～４を通し、看護学学習上の自己の課題を明らかにする。

授業計画

	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	学内実習	患者紹介 情報収集 事前学習	予習90分：実習要項を精読し、その日の目標を理解する。事前学習を行う。復習90分：その日の学習内容を記録用紙にまとまる
		病棟オリエンテーション 情	

第2回	臨地実習	報収集 情報の解釈・分析 カンファレンス	予習90分：実習要項を精読し、その日の目標を理解する。事前学習を行う。復習90分：その日の学習内容を記録用紙にまとまる
第3回	臨地実習	情報の解釈・分析 関連図の作成	予習90分：実習要項を精読し、その日の目標を理解する。事前学習を行う。復習90分：その日の学習内容を記録用紙にまとまる
第4回	学内実習	情報の解釈・分析 関連図の修正 問題の明確化（クラスタリング）	予習90分：実習要項を精読し、その日の目標を理解する。事前学習を行う。復習90分：その日の学習内容を記録用紙にまとまる
第5回	臨地実習	問題の明確化（クラスタリング） 看護診断の選択 目標設定 看護計画（案） カンファレンス	予習90分：実習要項を精読し、その日の目標を理解する。事前学習を行う。復習90分：その日の学習内容を記録用紙にまとまる
第6回	臨地実習	問題の明確化（クラスタリング） 看護診断の選択 目標設定 看護計画立案 カンファレンス	予習90分：実習要項を精読し、その日の目標を理解する。事前学習を行う。復習90分：その日の学習内容を記録用紙にまとまる
第7回	臨地実習	目標設定 看護計画実施 SOAPの記入 カンファレンス	予習90分：実習要項を精読し、その日の目標を理解する。事前学習を行う。復習90分：その日の学習内容を記録用紙にまとまる
第8回	学内実習	看護計画の修正 SOAPの記入 カンファレンス	予習90分：実習要項を精読し、その日の目標を理解する。事前学習を行う。復習90分：その日の学習内容を記録用紙にまとまる
第9回	臨地実習	看護計画の実施 看護介入の結果・評価 看護計画の修正 カンファレンス	予習90分：実習要項を精読し、その日の目標を理解する。事前学習を行う。復習90分：その日の学習内容を記録用紙にまとまる
10		看護計画の実施 看護介入の結果、評価	予習90分：実習要項を精読し、その日の目標を理解す

第　回	臨地実習	看護計画の修正 カンファレンス まとめ	る。事前学習を行う。復習　分：その日の学習内容を記録用紙にまとまる

教科書

看護技術学IVで使用した教科書
看護技術学IVで配布した「看護過程」、「看護過程〈資料集〉」

参考書

看護技術学IVで使用した参考書
看護学原論で使用した教科書、参考書およびプリント
看護技術学概論で使用した教科書、参考書およびプリント
看護技術学I～III・VIで使用した教科書、参考書およびプリント

成績評価の方法・基準

行動目標の達成可否により評価し、60点以上を合格とする

課題等に対する
フィードバックの方法

実習中は毎日、学習計画表に記載し、提出が求められます。また看護過程展開に関する記録用紙が複数あります。これらの記録物は返却されますので、学習の振り返りに活用してください。

履修のポイント

主体的・積極的な学習への取り組みを期待します。
根拠をもって判断し行動することを求めます。

オフィス・アワー

在室時、随時対応します。10号館2階研究室11です。

科目区分

専門科目

当該授業科目の教育課程内での位置づけ

UK-R240

講義コード	10690001
講義名	母性看護学概論
(副題)	
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	前期（重複①）
講義区分	講義
基準単位数	1
代表曜日	水曜日
代表時限	３時限
必修/選択	必修
実務経験のある教員の有無	有
実務経験のある教員の経歴と授業内容	助産師としての実務経験を活かし、母性の概念と生理、家族の機能と取り巻く社会的背景について解説し、女性のライフサイクルにおける特徴と健康課題および健康支援について理解できるように基礎知識について解説する
学年	2学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 久保田 隆子	指定なし

授業の概要と教育目標

教育目標:人間の性と生殖のメカニズムとその意義を理解し、ライフサイクルを通した女性の健康的な発達や母子の成長と安全を支援する母性看護を展開するための基礎知識を深めることを目標とする。
授業の概要: 母性をめぐる様々な定義を理解し母性のとらえ方について幅広く考え、母性看護の対象や視点について理解し質の高い母性看護を追究する。

卒業認定・学位授与の方針との関連

医療保健学部看護学科のディプロマポリシーとの関連として、女性の発達段階に沿った生理的、および心理・社会的変化を学び、ライフサイクルの変化に応じた看護援助を行うための基盤となる視野と知識の修得を目指すものである。

到達目標

1.母性看護の概念と対象、目的を理解し看護の視点がわかることができる。
2.産育習俗の地域特性や意義を理解することができる。
3.看護者としての倫理的視点を持ち法的責任や社会制度について理解することができる。
4.リプロダクティブヘルス・ライツについての認識を高めることができる。
5.母子を取り巻く産科医療安全について考察し看護の役割を理解できる。
6.ライフステージにおける女性とその家族の健康問題と看護支援や看護の展望を考察できる。

授業計画

	担当者	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間
				予習90分：テキスト

第1回	久保田隆子	第1章:母性看護の基盤となる概念p.2～p.56 母性看護学概論および母性看護領域の講義について案内、母性看護学とは、母性とは、母性の概念、母性看護の目的、母性をめぐる様々な定義を理解し母性のとらえ方について幅広く考え、母性看護の対象や視点について理解する。 課題:自己のライフサイクルと将来設計(提出7/28)	グループディスカッション	第1章を読む 復習90分：配布資料を見直す 課題レポート作成（A4 1600字程度 フォント10.5 表紙無、学籍番号と氏名：最上段右揃え）
第2回	久保田隆子	第2章:母性看護の対象を取り巻く社会の変遷と現状p.58～p.95 母性看護の変遷、母子保健動向、母性支援組織と法律、母子保健の施策、母性看護の対象と環境、母性看護の対象者を看護する上で重要な概念であるヘルスプロモーションの考え方を理解する。		予習90分：テキスト第２章を読む 復習90分：配布資料を見直す
第3回	久保田隆子	第3章:母性看護の対象理解p.100～p.154 生殖器の解剖と生理、性行動、性反応、受胎のメカニズム、女性については月経周期による変化について理解する。性分化のしくみ生殖器の発育過程を理解し、おもな性分化疾患についても学ぶ。		予習90分：テキスト第３章を読む 復習90分：配布資料を見直す
第4回	久保田隆子	第4章:母性看護に必要な看護技術p.156～p.188 母性看護に使われる看護技術、ストレス・不快症状・苦痛を緩和する看護技術・次世代の成長・発達を促す看護技術、リプロダクティブヘルスの健康障害への対応、周産期の死に対する看護技術について学ぶ。		予習90分：テキスト第4章を読む 復習90分：配布資料を見直す
第5回	久保田隆子	第5章:女性のライフステージ各期における看護p.190～p.248 思春期・性成熟期・更年期・老年期の健康と看護月経随伴症状、月経困難症、子宮筋腫、子宮内膜症、生殖器腫瘍と看護、高齢妊娠、不妊、更年期と症状、尿失禁、骨粗鬆症、更年期うつ等について学ぶ。		予習90分：テキスト第5章を読む 復習90分：配布資料を見直す
第6回	久保田隆子	第6章:リプロダクティブヘルスケア.252～p.326 家族計画・性感染症・HIＶ・人工妊娠中絶・喫煙・性暴力・指導虐待・国際化社会と看護について学ぶ。		予習90分：テキスト第6章を読む 復習90分：配布資料を見直す
第7回	久保田隆子	母性における安全・事故予防p.55 産科医療安全について リスクマネジメント事故への対応 産科医療補償制度について学ぶ	参加型意見交換	予 習90分：p.55.p.56を読みリスクについて原因を調べる 復習90分：配布資料を見直す
第8回	久保田隆子	まとめ・テスト		予習90分：テキスト配付資料を読む 復習90分：テスト解説を見直す

教科書

森恵美他：系統看護学講座 専門分野II 母性看護学概論 医学書院

参考書

メディックメディア 病気が見えるvol.9 第４版（婦人科 乳腺外科） メディックメディア 病気が

みえるvol.10 産科4版
成績評価の方法・基準
試験(70%)・課題(30%)の結果を統合し60点以上を単位認定とする
課題等に対する フィードバックの方法
適時プレテスト・ポストテストを実施し講義内で解説してゆく。
履修のポイント
成人期・性・生殖器期にある自分自身の発達や課題を意識しつつ、セクシュアリティやリプロダクティブヘルス・ライツに関心を持って学習してほしい。自分自身についての客観的理解が、看護の対象理解につながることを期待します。
オフィス・アワー
金曜日14時00分～16時00分 11号館3階第4研究室
科目区分
専門科目
当該授業科目の教育課程内での位置づけ
UK-R234

講義コード	10700001
講義名	母性看護方法
(副題)	
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	後期
講義区分	演習
基準単位数	2
代表曜日	木曜日
代表時限	３時限
必修/選択	必修
実務経験のある教員の有無	有
実務経験のある教員の経歴と授業内容	助産師としての実務経験を活かし、母子および家族の機能と取り巻く社会的背景について展開し妊娠･分娩･産褥(児)における特徴と健康課題および健康支援について理解できるように基礎知識について解説する。
学年	2学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 久保田 隆子	指定なし

授業の概要と教育目標

教育目標:マタニティサイクルにある女性の特徴を理解し、看護を実践するために必要な知識、技術、態度を学ぶ。妊娠期・分娩期および産褥期にある女性と新生児期の看護について理解を深めることを目標とする。
授業の概要:妊婦、産婦、褥婦および新生児の生理的変化、家族を含めた対象の心理、社会的特性について学習する。また、対象者が正常からの逸脱を予防するためのセルフケアができ、更に家族の協力を得て新しい家族を迎えた生活に円滑に適応していくための支援方法について演習やグループワークを通して看護の実践方法を学ぶ。母子および家族に対するアセスメントスキルを修得し質の高い周産期ケアを追究する。

卒業認定・学位授与の方針との関連

医療保健学部看護学科のディプロマ・ポリシーとの関連として、人間のライフサイクルの中でも成熟期および周産期に起こる様々な現象を科学的に分析し、看護ケアの実践能力を学修することを目指すものとする。

到達目標

1.妊婦・産婦の身体的、心理的、社会的特徴を理解できる。
2.妊娠・分娩の生理的な経過とその診断、検査等を理解し、正常に経過させるための看護を理解できる。
3.妊娠期、分娩期に起こりやすい異常徴候を理解し、その早期発見と回復に向けた看護を理解できる。
4.妊婦、産婦に対して必要な看護技術について理解できる。
5.妊婦、産婦の家族に対して必要な看護を理解できる。
6.褥婦の身体的、心理的、社会的特徴を説明できる。
7.褥婦の生理的な経過とその診断、検査等を理解しその早期発見と健康の回復の援助について説明できる。
8.褥婦の退行性・進行性変化が理解でき、促進のための援助を理解できる。
9.褥婦の看護に必要な特有の技術を身に着け実践できる。
10. 産褥期に起こりやすい異常徴候を理解しその早期発見と健康を回復させるための援助について説明できる。

11.新生児の身体的、心理的、社会的特徴を理解できる。
12.新生児の生理的な経過とその診断、検査を理解し、正常に発育させるための看護を理解できる。
13.新生児に起こりやすい異常徴候を理解し、正常に発育させるための看護を理解できる。
14. 母子・父子関係、家族関係構築を促す援助について理解できる。
15. 看護過程の展開ができる。

授業計画

	担当者	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	久保田隆子	第1章：子供を産み育てることとその看護を学ぶにあたってp.2～p.10 母親になるということ、不妊治療を受けて妊娠した妊産褥婦の姿		予習90分：テキスト第1章を読む。復習90分：配布資料を見直す。
第2回	久保田隆子	第2章：出生前からのリプロダクティブヘルスケアp.14～p.59 リプロダクティブヘルスケアの必要性、遺伝相談、不妊治療と看護 家族法や特別養子制度		予習90分：テキスト第2章を読む。復習90分：配布資料を見直す。
第3回	久保田隆子	事例検討：不妊症事例について検討 自己理解・他者理解・価値観・倫理的問題・看護としてのジレンマ	参加型 意見交換	予習90分：テキスト第2章を読む。復習90分：配布資料を見直す。
第4回	久保田隆子	第3章：妊娠期における看護1：p.62～p.180 妊婦の経過診断とアセスメント 妊婦健康診査の項目と内容、検査、感染症 母体のアセスメント（子宮底長・腹囲測定、体重管理、栄養）		予習90分：テキスト第3章を読む。復習90分：配布資料を見直す。
第5回	久保田隆子	第3章：妊娠期における看護2：p.62～p.180 胎児の発育と健康状態の診断 NST、BPS		予習90分：テキスト第3章を読む。復習90分：配布資料を見直す。
第6回	久保田隆子	第3章：妊娠期における看護3：p.62～p.180 妊婦が受ける母子保健サービス 妊娠の届け出 妊婦の健康相談・教育の実際		予習90分：テキスト第3章を読む。復習90分：配布資料を見直す。
第7回	久保田隆子	第3章：妊娠期における看護4：p.62～p.180 親になるための準備教育 出産準備教育 育児準備教育 家族役割調整の為の健康相談・教育 バースプラン	参加型 意見交換	予習90分：テキスト第3章を読む。復習90分：配布資料を見直す。
第8回	久保田隆	第4章：分娩期における看護1：p.184～p.259 分娩の三要素、分娩の経過、陣痛 骨産道と軟産道 バースレビュー、産婦の心理・社会		予習90分：テキスト第3章を読む。復習90分：配布資料を

	子	的変化 分娩期のアセスメント		見直す。
第9回	久保田隆子	第4章：分娩期における看護2： p.184～p.259 娩出物（胎児と付属物）、児頭応形機能、児頭の回旋、破水（羊水）の種類と観察		予習90分：テキスト第3章を読む。復習90分：配布資料を見直す。
第10回	久保田隆子	第4章：分娩期における看護3： p.184～p.259 産婦と胎児の健康状態のアセスメント、胎児心拍陣痛図、胎児機能不全、産通緩和、産婦の心理		予習90分：テキスト第3章を読む。復習90分：配布資料を見直す。
第11回	久保田隆子	第4章：分娩期における看護4： p.184 ～p.259 無痛分娩	参加型 意見交換	予習90分：テキスト第3章を読む。復習90分：配布資料を見直す。
第12回	久保田隆子	第5章：新生児期における看護 １：p.262～p.320 新生児の定義と分類、新生児の子宮外適応現象（呼吸、循環、体温、消化と吸収、排泄、免疫、反射と感覚機能）、胎外環境への適応生理		予習90分：テキスト第3章を読む。復習90分：配布資料を見直す。
第13回	久保田隆子	第5章：新生児期における看護 ２：p.262～p.320 新生児の診断、健康状態のアセスメント、出生直後の看護、アプガースコア、シルバーマンスコア		予習90分：テキスト第3章を読む。復習90分：配布資料を見直す。
第14回	久保田隆子	第5章：新生児期における看護3：p.262～p.320 出生後から退院までの看護 身体の清潔、臍帯、栄養 医療事故、医療安全、感染予防		予習90分：テキスト第3章を読む。復習90分：配布資料を見直す。
第15回	久保田隆子	第5章：新生児期における看護4：p.262～p.320 生後2週間健診、生後1か月健診 乳幼児健康診査		予習90分：テキスト第3章を読む。復習90分：配布資料を見直す。
第16回	久保田隆子	第6章：産褥期における看護１： p.322～p.377 産褥とは 退行性変化（子宮復古、悪露、後陣痛）、 進行性変化と乳汁分泌のしくみ、母乳栄養の特徴		予習90分：テキスト第3章を読む。復習90分：配布資料を見直す。
第17回	久保田隆子	第6章：産褥期における看護2： p.322～p.377 母親への適応過程（ルービンの母性論） 褥婦の全身変化（バイタルサイン値） バースレビュー（出産体験の振り返り）		予習90分：テキスト第3章を読む。復習90分：配布資料を見直す。

第18回	久保田隆子	第6章：産褥期における看護3： p.322～p.377 産褥経過のアセスメントと援助 退行性変化を促す援助、進行性変化を促す援助、授乳状況の観察、母乳栄養確立への支援 家族関係再構築への看護		予習90分：テキスト第3章を読む。復習90分：配布資料を見直す。
第19回	久保田隆子	第6章：産褥期における看護4： p.322～p.377 施設退院後の看護 産後の生活調整 育児不安、産後の健康生活と子育て支援 職場復帰		予習90分：テキスト第3章を読む。復習90分：配布資料を見直す。
第20回	久保田隆子	第7章：妊娠の異常と看護1： p.380～p.548 ハイリスク妊娠、悪阻、流産、早産、妊娠高血圧症候群、妊娠糖尿病、 妊娠期の感染症		予習90分：テキスト第3章を読む。復習90分：配布資料を見直す。
第21回	久保田隆子	第7章：妊娠の異常と看護2：p.380～p.548 ハイリスク妊婦の看護、高齢妊婦、若年妊婦、肥満 血液型不適合妊娠、多胎		予習90分：テキスト第3章を読む。復習90分：配布資料を見直す。
第22回	久保田隆子	第7章：妊娠の異常と看護3：p.380～p.548 分娩の異常と看護：産道の異常（児頭骨盤不均衡）、陣痛の異常（微弱・過強陣痛）、分娩時異常出血、分娩誘発と促進、帝王切開術前後の看護		予習90分：テキスト第3章を読む。復習90分：配布資料を見直す。
第23回	久保田隆子	第7章：妊娠の異常と看護4：p.380～p.548 産褥の異常と看護： 子宮復古不全、産褥熱、乳房トラブル、マタニティブルーズと産褥うつ病、産褥血栓症		予習90分：テキスト第3章を読む。復習90分：配布資料を見直す。
第24回	久保田隆子	第7章：妊娠の異常と看護4：p.380～p.548 新生児の異常と看護：新生児黄疸の種類、生理的黄疸、高ビリルビン血症、溶血性黄疸、検査と治療、新生児ビタミンK欠乏性出血症		予習90分：テキスト第3章を読む。復習90分：配布資料を見直す。
第25回	久保田隆子	第7章：妊娠の異常と看護5：p.380～p.548 児をなくした褥婦・家族の支援	参加型 意見交換	予習90分：テキスト第3章を読む。復習90分：配布資料を見直す。
第26回	久保田隆子	事例検討1（看護過程） 妊娠期の看護	妊娠36週の事例から情報収集、分析・解釈、診断名を記述する。	予習90分：妊娠期配布資料を読む。復習90分：展開した事例に修正・追加する。

第27回	久保田隆子	事例展開2（看護過程） 分娩期の看護	分娩～の事例から情報収集、解釈・分析、診断名を記述する。	予習90分：分娩期配布資料を読む。復習90分：展開した事例に修正・追加する。
第28回	久保田隆子	事例展開3（看護過程） 新生児の看護	出生～日齢3日目の事例から情報収集、解釈・分析、診断名を記述する。	予習90分：新生児の配布資料を読む。復習90分：展開した事例に修正・追加する。
第29回	久保田隆子	事例展開4（看護過程） 褥婦への看護	分娩～産褥3日目の事例から情報収集、解釈・分析、診断名を記述する。	予習90分：産褥期配布資料を読む。復習90分：展開した事例に修正・追加する。
第30回	久保田隆子	まとめ・テスト		

教科書

森恵美編集：系統看護学講座 専門分野II 母性看護学各論,医学書院.

参考書

適宜紹介する。

成績評価の方法・基準

単位認定60点以上。
筆記試験80%、課題提出物10%、講義への参加度10%

課題等に対する
フィードバックの方法

講義内プレテスト・ポストテストを行うことがある。解説しながら答え合わせを行うので学習の参考にすること。

履修のポイント

周産期における看護で重要なことは、地域や家庭で生活する対象者に対して、セルフケアによって安全で快適な妊娠期・分娩期が過ごせ、新しい家族関係が構築できるよう支援することです。妊・産・褥婦が健康を維持・増進することができるよう、看護について学びを深めることを期待します。

オフィス・アワー

金曜日14時00分～16時00分 11号館3階第4研究室

科目区分

専門科目

当該授業科目の教育課程内での位置づけ

UK-R241

講義コード	10710001
講義名	母性看護学実習
(副題)	
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	通年
講義区分	実験・実習
基準単位数	2
代表曜日	
代表時限	
必修/選択	必修
実務経験のある教員の有無	有
実務経験のある教員の経歴と授業内容	助産師としての病院における実務経験をもとに、看護過程の展開や周産期ケアについて実践指導する。
学年	3学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 久保田 隆子	指定なし

授業の概要と教育目標

目標：周産期にある対象者の身体・心理・社会的変化を理解したうえで、母児を受け持ち、看護過程を展開する。対象のニーズの充足や親役割獲得への看護実践を学ぶことを目標とする。
授業の概要:情報収集から分析解釈し看護計画立案（実施・評価）するプロセスを通し、周産期にある母子の生理的変化や適応状態を把握し、看護実践の実際について解説する。

卒業認定・学位授与の方針との関連

医療保健学部看護学科のディプロマ・ポリシーとの関連として、妊娠・分娩・産褥・新生児期にある対象者の特徴を理解し、ウェルネスの視点に基づく看護実践について学修することを目指すものとする。

到達目標

1. 周産期にある対象者の身体・心理・社会的変化について情報収集し、個別性に応じたアセスメントができる。
2. 周産期にある対象者の健康維持・増進、正常からの逸脱を予防するための援助ができる。
3. 周産期にある対象者への看護技術を安全・安楽に実施できる。
4. 母子関係を促進し、母親役割獲得への援助について理解できる。
5. 周産期における看護の役割とチーム医療について理解できる。
6. 対象者の人権を尊重または擁護でき、プライバシーや看護倫理に配慮した看護を理解できる。

授業計画

	担当者	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	久保田	学内実習 実習目的、目標の確認、記録用紙配布と記載方法説明、実習施設と実習内容、事前学習課	技術演習 新生児の沐浴 新生児のバイタルサイン測定	予習90分：母性看護学実習事前課題の実施と再確認。 復習：実施した技術演習を

	隆子	題の確認と修正・追加（不足点を調べる）、グループメンバーにて役割を決定する。	妊婦の子宮底測定、腹囲測定を実施する。	教科書で再確認し、自己のノートにまとめる。
第2回	久保田隆子	臨地実習 病院オリエンテーション、受け持ち褥婦と新生児の選定と紹介、カルテやコミュニケーションにより情報収集を母児共に実施し、得られた情報は記録用紙に記載する。	受け持ち褥婦・新生児の紹介と気づきについてカンファレンスを行う。	予習90分：昨日の復習を行う。 復習：得られた情報を記録用紙に記載し、アセスメントする。
第3回	久保田隆子	臨地実習 受け持ち褥婦・新生児とコミュニケーションを図りながら、バイタルサイン測定を実施する。褥婦の子宮復古状態を確認、授乳状況を観察し、アセスメントする。記録を教員に提出し個別指導を受け、看護計画を立案する。	新生児：バイタルサイン測定と沐浴実施、 褥婦：バイタルサイン測定、子宮復古確認、授乳状況確認、指導同席、診察同席 受け持ち褥婦・新生児の状態と問題点の有無についてカンファレンスを行う。	予習90分：昨日の復習を行う。 復習：得られた情報を記録用紙に記載し、アセスメントし、計画立案する。
第4回	久保田隆子	臨地実習 受け持ち褥婦・新生児とコミュニケーションを図りながら、バイタルサイン測定を実施する。褥婦の子宮復古状態を確認、授乳状況を観察し、再アセスメントし、計画立案した内容を実践する。	新生児：バイタルサイン測定と沐浴実施、 褥婦：バイタルサイン測定、子宮復古確認、授乳状況確認、指導、診察同席 受け持ち褥婦・新生児の状態と問題点の有無についてカンファレンスを行う。	予習90分：昨日の復習を行う。 復習：得られた情報の追加と実施した計画の評価を行う。
第5回	久保田隆子	学内実習 受け持ち褥婦、新生児の記録を全てまとめる。	技術演習 新生児の沐浴、新生児のバイタルサイン測定、妊婦の子宮底測定、腹囲測定を実施する。 褥婦：バイタルサイン測定、子宮復古確認	予習90分：昨日の復習を行う。 復習：記録をまとめる。
第6回	久保田隆子	学内実習 DVD視聴とイメージ化の促進を図る。	技術演習 新生児の沐浴 新生児のバイタルサイン測定 妊婦の子宮底測定、腹囲測定を	予習90分：昨日の復習を行う。 復習：記録をまとめる。

			実施する。	
第7回	久保田隆子	臨地実習 産科外来にて妊婦健康診査の実際（医師の診察、子宮底・腹囲測定、浮腫確認方法、超音波検査、児心音確認方法等）について学ぶ、記録する。	産科外来実習にての気づき、学びについてカンファレンスを行う。	予習90分：昨日の復習を行う。 復習：記録をまとめる。
第8回	久保田隆子	臨地実習 分娩期（I期～IV期）にある女性のアセスメントとケア計画を立案し、実践する。また、実践内容と学びについて記録する。	腰部マッサージ、呼吸法等実践する。 分娩室実習にての気づき、学びについてカンファレンスを行う。	予習90分：昨日の復習を行う。 復習：記録をまとめる。
第9回	久保田隆子	臨地実習 集団指導（母親学級）に準備から参加し、運営方法、手順について学ぶ。また、参加している妊婦の表情や言動を観察し、妊娠期の女性の心理について学ぶ。学びを記載する。	母親学級に参加した気づき、学びについてカンファレンスを行う。	予習90分：昨日の復習を行う。 復習：記録をまとめる。
第10回	久保田隆子	学内実習 受け持ち褥婦、新生児の記録、分娩室、外来実習における記録をまとめる。母性看護学実習を通しての学びをレポートとして作成する。指定時間に記録物全てを提出する。	まとめ	予習90分：昨日の復習を行う。 復習：看護師としての自己を振り返り、看護観について考察する。

教科書

森恵美：系統看護学講座 専門分野II 母性看護学２ 医学書院

参考書

適宜紹介する。

成績評価の方法・基準

単位認定60点以上。
詳細は実習評価表を参照すること。

課題等に対する
フィードバックの方法

記録物については適宜確認し、不足点を伝えるので修正し学習の参考にすること。

履修のポイント

実習前後に母性看護学概論・方法におけるポイントを振り返り、学びを深めることが知識・技術の定着につながる。また臨地実習にて対象者を理解（分析・解釈）するために、活用できる基礎的な知識をまとめた事前学習を勧める。

オフィス・アワー

金曜日14:00～16:00 11号館3階第4研究室

科目区分

専門科目

当該授業科目の教育課程内での位置づけ

UK-R250

講義コード	10720001
講義名	小児看護学概論
(副題)	【教職必修】
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	前期（重複②）
講義区分	講義
基準単位数	1
代表曜日	木曜日
代表時限	１時限
必修/選択	必修
実務経験のある教員の有無	無
実務経験のある教員の経歴と授業内容	
学年	2学年

担当教員

職種	氏名	所属
教 員	◎ 佐光 恵子	指定なし

授業の概要と教育目標

小児看護の対象を理解し、小児看護の役割を学ぶ。
小児看護学の実践に必要な基礎的な概念を学習し、看護実践に必要な基礎的な能力を理解する。

卒業認定・学位授与の方針との関連

医療保健学部看護学科のディプロマ・ポリシーに基づき、医療者としての必要な倫理、守るべき法令等を理解すること、また、さまざまな健康レベル、発達段階における科学的知識を習得することを目指している。
本授業では、子どもの身体的・心理的・社会的特徴を理解し、健全な成長・発達の知識を習得し、子どものケアに関わる医療者としての倫理や法令等を学ぶ。

到達目標

1.小児の発達段階を捉えながら、小児の生活と健康問題、保健医療システムについて理解できる。
2.健康障害を持つ小児と家族を理解し、小児看護の役割について理解できる。

授業計画

	担当者	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	佐光恵子	小児看護の対象理解、小児看護の変遷、小児の人権 他	グループワーク・プレゼン等を取り入れ、学修者の積極的な授業参加を促す。	テキストを中心に予習・復習90分
第2回	佐光恵子	小児保健① 母子保健を中心に	同上	同上
	佐光	小児保健② 小児保健を		

第3回	恵子	中心に	同上	同上
第4回	佐光恵子	小児保健③ 学校保健・思春期保健を中心に	同上	同上
第5回	佐光恵子	子どもの日常生活の支援	同上	同上
第6回	佐光恵子	病気や障害をもつ子どもと家族の看護	同上	同上
第7回	佐光恵子	入院する子どもと家族への看護	同上	同上
第8回	佐光恵子	まとめ	同上	同上

教科書

看護学テキストNiCE 小児看護学概論(改訂版) 南江堂

参考書

国民衛生の動向、こども六法 他 授業の中で紹介いたします。

成績評価の方法・基準

単位認定60点以上
テスト(50%)・課題レポート(30%)・授業への参加度(20%)で総合的に評価します。

課題等に対する
フィードバックの方法

課題レポートの返却、個別指導等を参考にしてください。

履修のポイント

小児の健康障害や入院等が小児の成長発達や生活にどのような変化が生じるか、を理解し、家族を含めた小児看護の役割を考えていきます。日常的に、子ども達を取り巻く社会状況や健康課題等に関心を持ってください。
2020年以降の新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、子ども達の置かれている環境悪化が懸念されます。小児看護の担う役割・使命を改めて考えてみましょう。

オフィス・アワー

木曜日の授業終了後、随時。

科目区分

専門科目

当該授業科目の教育課程内での位置づけ

UK-R235

講義コード	10730001
講義名	小児看護方法
(副題)	【教職必修】
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	後期
講義区分	演習
基準単位数	2
代表曜日	金曜日
代表時限	１時限
必修/選択	必修
実務経験のある教員の有無	有
実務経験のある教員の経歴と授業内容	病院現場での実務経験を活かし、疾患の理解及び看護の知識を深める授業を展開する。
学年	2学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 丸本 真理	指定なし

授業の概要と教育目標

成長・発達過程で抱える健康問題（疾病・障害）を学び、子どもの発達段階と健康段階にあった基本的援助方法を見出せるよう、学習する。また、３年次の実習の準備段階ということもふまえ、実習の際に疾患及び看護が理解できることを目標とする。また、積極的にアクティブラーニングを取り入れ、モデル人形やDVDを視聴することでより学習が深まるようことを期待する。授業をとおして学生の自主性学びの育成や促進をめざす。

卒業認定・学位授与の方針との関連

ディプロマ・ポリシーとの関連として、さまざまな健康レベル、あらゆる発達段階における科学的知識を習得を目指し、小児看護学概論で学んだ知識を基に、成長・発達を理解したうえで、健康問題（疾病・障害）を学び、子どもとその家族に及ぼす影響を理解する。成長・発達段階と健康段階に応じた子どもと家族への基本的な援助を提供できるよう知識の習得をめざす。

到達目標

1.様々な発達段階、健康状態にある子どもについて理解できる。
2.子どもの健康問題の病態生理と治療、処置について理解し、看護について記述することがきる。
3.様々な状況にある子どもとその家族への看護について考えることがきる。
4.病態生理を基に根拠を考え、看護を理解することができる。

授業計画

	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	子どもと家族の影響、子どもと入院、病院での遊び		予習90分 復習90分 配付資料を見直す
第2回	子どもと家族の影響、子どもと入院、病	ビデオ学習ビデオ学習の内容を基に	予習90分 復習90分

	院での遊び	ディスカッションを行う	配付資料を見直す
第3回	小児の主な先天性異常と看護		予習90分 復習90分 配付資料を見直す
第4回	小児の主な代謝性疾患と看護		予習90分 復習90分 配付資料を見直す
第5回	小児の主な疾患と内分泌疾患と看護	教科書P88～1803 配付資料を見直す	予習90分 復習90分 配付資料を見直す
第6回	小児の主な免疫疾患・アレルギー疾患・リウマチ疾患と看護		予習90分 復習90分 配付資料を見直す
第7回	小児の主な感染症疾患と看護		予習90分 復習90分 配付資料を見直す
第8回	小児の主な感染症疾患と看護		予習90分 復習90分 配付資料を見直す
第9回	小児期の主な呼吸器疾患と看護		予習90分 復習90分 配付資料を見直す
第10回	小児期の主な循環器疾患と看護		予習90分 復習90分 配付資料を見直す
第11回	小児期の主な消化器疾患と看護		予習90分 復習90分 配付資料を見直す
第12回	小児期の主な消化器疾患と看護		予習90分 復習90分 配付資料を見直す
第13回	小児期の主な血液・造血器疾患と看護		予習90分 復習90分 配付資料を見直す
第14回	小児期の主な悪性新生物と看護		予習90分 復習90分 配付資料を見直す
第15回	小児期の主な腎・泌尿器及び生殖器疾患と看護		予習90分 復習90分 配付資料を見

			直す
第16回	小児期の主な精神疾患と看護		予習90分 復習90分 配付資料を見直す
第17回	発達障害の概要と支援、特別支援教育について	特別支援学校専門アドバイザーの講義	予習90分 復習90分 配付資料を見直す
第18回	新生児の看護 ＮＩＣＵ看護：ハイリスク新生児の生涯発達を考慮した 看護の実際		予習90分 復習90分 配付資料を見直す
第19回	小児期の主な運動器と看護		予習90分 復習90分 配付資料を見直す
第20回	小児期の主な皮膚・眼・耳鼻咽喉科疾患と看護		予習90分 復習90分 配付資料を見直す
第21回	精神疾患・心身医学的問題を抱える児と治療		予習90分 復習90分 配付資料を見直す
第22回	発達障害の概要と支援、特別支援教育について		予習90分 復習90分 配付資料を見直す
第23回	肢体不自由児、発達障害児の概要と支援、特別支援教育について		予習90分 復習90分 配付資料を見直す
第24回	小児期の特徴をふまえた情報収集の視点とアセスメント方法	配付資料を見直す 看護過程をペーパーペイシェント を行う	予習90分 復習90分 看護過程の作成を行う
第25回	小児期の特徴をふまえた情報収集とアセスメント方法	配付資料を見直す 看護過程をペーパーペイシェント を行う	予習90分 復習90分 看護過程の作成を行う
第26回	アセスメント方法と関連図	配付資料を見直す 授業で出された課題の作成 看護過程をペーパーペイシェント を行う	予習90分 復習90分 看護過程の作成を行う
第27回	看護展開と具体策	配付資料を見直す 看護過程をペーパーペイシェント を行う	予習90分 復習90分 看護過程の作成を行う
		モデル人形を使用し、救急蘇生、	予習90分 復習90分

第28回	小児の基本的な看護技術	バイタルサインズ測定の演習を行う	配布資料を見直す
第29回	小児の基本的な看護技術	モデル人形を使用し、救急蘇生、バイタルサインズ測定の演習を行う	予習90分 復習90分 配布資料を見直す
第30回	小児の基本的な看護技術	モデル人形を使用し、救急蘇生、バイタルサインズ測定の演習を行う	予習90分 復習90分 配布資料を見直す

教科書

小児臨床看護各論(医学書院)

参考書

子どもの病気の地図帳（講談社）
子どものフィジカルアセスメント（金原書店）
写真で見る小児看護技術 （インターメディカ）

成績評価の方法・基準

単位認定60点以上：テスト80%、レポート・課題 20% にて評価します。

**課題等に対する
フィードバックの方法**

授業内でレポートや課題を課すことがあります。返却するので学習の参考にすること。

履修のポイント

授業への積極的な取り組みを期待します。

オフィス・アワー

月曜日 12：30〜13：20（昼休み）10号館10研究室

科目区分

専門科目

当該授業科目の教育課程内での位置づけ

UK-R242

講義コード	10740001
講義名	小児看護学実習
(副題)	【教職必修】
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	通年
講義区分	実験・実習
基準単位数	2
代表曜日	
代表時限	
必修/選択	必修
実務経験のある教員の有無	有
実務経験のある教員の経歴と授業内容	病院現場での実務経験を活かし、医療従事者としての役割及び看護過程の展開及び看護を教授する。
学年	3学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 丸本 真理	指定なし

授業の概要と教育目標

健全な育成をめざし、小児の成長発達を理解し、あらゆる健康段階にいる小児と家族に対して適切な看護が実践できる基礎能力を養う。
医療従事者の役割、責任を理解し、アドボカシーについて考えることができる。
・病棟実習では、病態生理を理解し、必要な看護援助が導きだせるよう看護過程を展開する。
・特別支援学校教育を理解し、医療従事者となる自己の立場・役割を考える。
・健康な小児の発達段階、健康な児を理解する。とりまく環境を理解し、小児観を育む。

卒業認定・学位授与の方針との関連

看護学科のディプロマ・ポリシーは人間に対して、社会・環境・コミュニケーションなどの諸側面から理解することから、子ども、家族とのコミュニケーションを通して、各発達段階においてのコミュニケーションスキルを学ぶ。健康生活と社会ともの関係について、理解し、医療従事者としての倫理、法令を理解し、それに沿って行動できることを目指す。
また、あらゆる発達段階における科学的知識を習得し、実践に必要な援助技術を習得することを目指す。

到達目標

1. 小児を個として尊重し、権利を有する存在であることを理解し、個別的な関わりができる
1) 小児の発達段階や背景を理解したうえでコミュニケーションを図ることができる

2.健康障害や入院が、患児と家族に与える影響について理解することができる
1) 患児と家族の抱えている問題やその影響を理解した上で意識したかかわりを行い、アセスメントを行うことができる

3. 患児の病態や発達段階をふまえ、援助することができる
1) 患児の疾患や発達段階をとらえ、アセスメントから分析・解釈・統合を行い、看護問題の立案ができる
2) 患児、家族のニーズを理解し、個別性を見出し、具体策の修正及び追加ができる

3) 看護計画の具体策を日々評価し、修正することで安全・安楽な看護援助を提供することができる
4) 小児の生活習慣を把握し、児や養育者に向けて必要な援助を考えることができる

4. 様々な状況にある子どもについて理解できる
1) 対象を理解し、子どもの治療や発達への促進、将来に向けた教育的関わりについて理解することができる
2) 各発達段階や疾患においての事故を予測し、事故防止に努めることができる

5. 小児看護及び医療従事者に期待される責任と役割を理解することができる
1） 様々な状況にある子どものニーズ及び看護師に期待される役割を理解することができる
2) 子どもや実習で関わった人々の姿を通して自己の課題を明確にし、主体的・積極的に学習できる

授業計画

	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習と そのために必要な時間
第1回	病棟に実習を行う。患児を受け持ち、患児の病態生理や治療を理解し、看護過程を作成し、必要な看護援助を行う。	バイタルサインズのビデオ視聴を行う。 日々の実習終了後、カンファレンスを行い、グループメンバーとの意見交換をしながら自己の看護について考える。	予習については、バイタルサインズの正常値、測定方法、発達段階についてノート作成を行う。 復習については、実習において理解できない箇所や看護過程を作成し、自己の看護について考え、必要な学習を行う。 予習90分、復習90分。
第2回	特別支援学校、保育園、幼稚園で実習を行う。 発達段階、障がいについて学ぶ。 看護者に求められる責任と役割を考える。	自閉症のビデオ視聴を行い、カンファレンスを行い、意見交換を行う。 グループメンバーと障がいについて、 養育について、看護者に求められる役割について話あう。	予習については、発達障害について調べる。 復習については、実習記録を作成し、援助者の行動の意図を理解し、自己の課題についても考える。 予習90分、復習90分。

教科書

医学書院 小児臨床看護各論
医学書院 小児看護学概論 小児臨床看護総論

参考書

医学書院 小児看護技術
医学書院 小児看護過程

成績評価の方法・基準

単位認定60点以上、事前学習、看護過程、実施をふまえ実習評価表に沿って評定する

課題等に対する
フィードバックの方法

日々の課題やレポートが課せられる。返却やアドバイスを行うので、学習の参考にすること

履修のポイント

実習目標を意識して実習に挑んでください。
適宜教員に相談してください。
指導者及び教員から課題が出た場合は、速やかに学習し翌日教員に提出してください。

オフィス・アワー
月曜日 12：30〜13：20 10号館10研究室 一日の実習終了後にも適宜受け付けます。
科目区分
専門科目
当該授業科目の教育課程内での位置づけ
UK-R252

講義コード	10750001
講義名	成人看護学概論
(副題)	
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	前期（重複②）
講義区分	講義
基準単位数	1
代表曜日	火曜日
代表時限	３時限
必修/選択	必修
実務経験のある教員の有無	有
実務経験のある教員の経歴と授業内容	病院における看護師経験を活かして、成人期にある対象の基本的な看護の知識を教授する。
学年	2学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 吉田 幸枝	指定なし

授業の概要と教育目標

成人期にある人々は幅広く人口層が厚く、社会的にも重要な役割を担っている。この時期にある人々の健康とはどのようなもので、それらはどの様な要因で危険にさらされ、破綻し、再生・回復していくのかを知り、その過程で看護は何ができるのか、なにをすべきなのかについて追及していく。
授業の中では、成人はどの様な健康問題を抱えているのか、その人らしくあることができるよう看護するためのアプローチとはどのように考えていくのか、様々な健康レベルに対応した看護とは等について基本的な知識を学ぶ。また、授業では毎回、課題を設定し、学生が問を追求、自ら考え、主体的に学べるよう展開していく。受動的に授業を受けるのではなく、課題達成にむけて自ら行動することで主体的に看護活動に活かせる態度を養うことも授業のねらいとする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

医療保健学部看護学科のディプロマ・ポリシーとの関連として、現代社会を背景とした成人各期の特徴及び健康問題に対し、成人への看護アプローチの基本を理解し、健康レベルに対応した看護を学ぶことで、急性期・慢性期を対象とした成人看護方法論I・II及成人看護学実習につながる学びを目指す。

到達目標

1.成人の生活と健康について理解する。
2.成人の健康生活の為に必要な看護についてその基本的アプローチを理解する。
3.成人の様々な健康レベルに対応した看護を理解する。

授業計画

	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習と そのために必要な時間
	第1章 成人と生活	【課 題】 問1.現在の社会状況は成人の健康・生活をどのよ	予習90分：テキストの第I章を読み講義内容を

第1回	・健康や病気に対する受け止め方は個々人の考え方や価値観により異なるため、その人がどの様な生涯を歩んできたのか、どの様な生活を営んでいるかを知ることで個別的な看護ケアにつなげていくことを学ぶ。	うに脅かしているのか。 1.スモールディスカッションを通して、自分の考えを明確にする。 2.自分の考えをノートに整理する。	把握する。 復習90分：課題について、テキストを読みノートに記述する。
第2回	第2章 生活と健康 ・社会や環境の変動は健康にどのような影響を与えるのか、最新データや情報を把握する。また、健康にかかわる政策や制度など、生活と健康をまもりはぐくむシステムについて理解する。	【課 題】 問2. 大人はどの様な健康問題を抱えているのか 1.スモールディスカッションを通して、自分の考えを明確にする。 2.自分の考えをノートに整理する。	予習90分：テキストの第２章を読み講義内容を把握する。 復習90分：課題について、テキストを読みノートに記述する。
第3回	3章 成人への看護アプローチの基本 A.生活のなかで健康行動を生みはぐくむ援助 ・個々人の生活と健康に焦点を合わせ、その人らしくある事ができるように、看護のための基本となる考え方や方法論を理解する。	【課 題】 問3. 大人の健康行動をはぐくむ看護のアプローチについて、禁煙を例にどのようなアプローチがあるか。 1.スモールディスカッションを通して、自分の考えを明確にする。 2.自分の考えをノートに整理する。	予習90分：テキストの第３章Aを読み講義内容を把握する。 復習90分：課題について、テキストを読みノートに記述する。
第4回	3章 成人への看護アプローチの基本 B.康問題を持つ大人と看護師の人間関係 ・健康問題をもつ大人とそれを援助する看護師の間で築かれる患者―看護師間での効果的な看護アプローチについて学ぶ。	問4. 患者と看護師の人間関係はどのように構築されるのか 1.スモールディスカッションを通して、自分の考えを明確にする。 2.自分の考えをノートに整理する。	予習90分:テキストの第３章Bを読み講義内容を把握する。 復習90分：課題について、テキストを読みノートに記述する。
第5回	3章 成人への看護アプローチの基本 F. 看護実践における倫理的判断 ・患者や家族の尊厳、擁護に関する倫理的判断について学ぶ。 G.意思決定支援 ・医療における患者の意思決定過程を看護師はどの様に支援すべき かについて学ぶ。 ＊レポート課題の提示	【課 題】 問5. 医療現場における倫理的課題にはどのようなものがあるか、またそれに対して看護師はどのように向き合っていくべきか 問6. 患者の意思決定を支援する上で看護師の役割は何か ＊問５または問６のどちらかについて検討・記述する。	予習90分：テキストの第３章F・Gを読み講義内容を把握する。 復習90分：課題について、テキストを読み

		1.スモールディスカッションを通して、自分の考えを明確にする。 2.自分の考えをノートに整理する。	ノートに記述する。
第6回	4章 ヘルスプロモーションと看護 ・健康を増進できるように支援するための看護について学ぶ。 5章 健康をおびやかす要因と看護 ・健康に影響を与える要因（危険性）を理解し、危険性を未然に防ぎ、日常生活行動を修正できるよう支援する看護について学ぶ。	【課 題】 問7. 個人の主体的な健康づくりとは何か、支援する方法には何があるか 問8. 健康生活をおびやかす要因を５つ以上あげ、それらが生活行動として定着した場合どの様な疾患につながるのか ＊問７または問８のどちらかについて検討・記述する。 1.スモールディスカッションを通して、自分の考えを明確にする。 2.自分の考えをノートに整理する。	予習90分：テキストの第４章を読み講義内容を把握する。 復習90分：課題について、テキストを読みノートに記述する。
第7回	6章 健康生活の急激な破綻から回復を促す看護 ・急性疾患などの健康の急激な破綻と回復を促す看護について学ぶ。 7章 慢性病との共存を支える看護 ・慢性疾患との共存を支えるアプローチについて学ぶ。	【課 題】 問9. 慢性疾患患者のセルフマネジメント能力を高めるアプローチについて 1.スモールディスカッションを通して、自分の考えを明確にする。 2.自分の考えをノートに整理する。	予習90分：テキストの第６・７章を読み講義内容を把握する。 復習90分：課題について、テキストを読みノートに記述する。
第8回	8章 障害がある人の生活とリハビリテーション ・障害がある人の生活とリハビリテーションを支援する看護について学ぶ。 9章 人生の最後のときを支える看護 ・人生の最後のときを支える看護はどのような視点から援助を提供したらよいのか学ぶ。	【課 題】 問10. 障害がある人を支援する看護の特徴について 1.スモールディスカッションを通して、自分の考えを明確にする。 2.自分の考えをノートに整理する。	予習90分：テキストの第８・９章を読み講義内容を把握する。 復習90分：課題について、テキストを読みノートに記述する。

教科書
系統看護学講座 専門分野II 成人看護学１（医学書院）
参考書
必要に応じて講義時に紹介する。
成績評価の方法・基準
単位認定は60点以上、課題レポート評価40%、筆記試験60%とする。

課題等に対する フィードバックの方法
提出されたレポートは原則として返却しませんが、講義時に全般的な講評と重要項目の解説又は資料を配布するので活用してください。
履修のポイント
・事前学習では指定箇所を読み、知識を得てから講義に臨んでください。 ・毎回、課題を設定してあります。課題についは教本の指定箇所を読み、授業の中や自己学習を通して自分の考えをノートに整理し、思考を深めてください。 ・受け身の授業ではなく、自らの思考を自ら育てられるように主体的に取り組むことを期待しています。
オフィス・アワー
毎週火曜日 5限(16時40分～18時10分) 10号館2階 研究室8
科目区分
専門科目
当該授業科目の教育課程内での位置づけ
UK-R236

講義コード	10760001
講義名	成人看護方法I
(副題)	
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	後期
講義区分	演習
基準単位数	2
代表曜日	水曜日
代表時限	１時限
必修/選択	必修
実務経験のある教員の有無	有
実務経験のある教員の経歴と授業内容	看護師としての病院実務経験、及びがん看護実践の経験から慢性期看護の実践力を高める教育・指導を行う。
学年	2学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 松沼 晶子	指定なし
教員	吉田 幸枝	指定なし

授業の概要と教育目標

慢性疾患のある患者及び家族の発達段階、発達課題、健康問題を理解し、更に全人的苦痛（トータルペイン）の視点から対象を理解する。更に患者、家族の今までの暮らしや生き方を理解し、患者、家族のQOL（quality of life）の維持、向上を目指し、患者が治療を継続しながら病と共に自分らしく生きる、新たな生活を再構築するためのセルフケアを高める看護について知識と技術を学ぶ。

卒業認定・学位授与の方針との関連

医療保健学部看護学科のディプロマ・ポリシーとの関連として、慢性疾患のある成人期の患者、家族に対する看護及び全人的苦痛（トータルペイン）の視点からの援助方法を学び、人間に対して、社会・環境・コミュニケーションなどの諸側面から理解とさまざまな健康レベル、あらゆる発達段階における科学的知識、実践的な援助技術、臨床現場でチーム医療の一員として活躍し、そこで調整する能力及び問題を解決する能力の修得を目指す。

到達目標

慢性期看護の考え方を理解する。
慢性期にある人の特徴を理解する。
慢性期にある人への看護援助について理解する。
慢性疾患のある患者の疾患別の病態、治療方法、看護について理解する。
糖尿病のある患者のペーパーペイシェントによる看護過程の展開ができる。

授業計画

	担当者	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習と そのために必要な時間
第1回	松沼晶	成人期における健康の保持・増	生活習慣に関する健康課題 職業に関する健康課題 学生自身の生活習慣について振り返り、生活習慣病予防のために学生自身の改善が必要な点について、どのように見直していけば良いか考え、計画を立て	予習90分：専門分野II成人看護学総論成人看護学①教科書p42～85の範囲の事前に指示された箇所を読む。 復習90分:課題の学習

	子	進や疾病の予防	る。 [アクティブラーニングの内容]保健・医療・福祉システムの改革に関する具体例及び連携における重要な視点にていて考え、ディスカッションする。	
第2回	松沼晶子	成人期における健康の保持・増進や疾病の予防	ストレスに関する健康課題 [アクティブラーニングの内容]健康生活を脅かす要因を挙げて、それが生活行動として定着した場合どのような疾病につながるか考える。	予習90分：専門分野II成人看護学総論成人看護学①教科書p170～187の範囲の事前に指示された箇所を読む。 復習90分：課題の学習
第3回	松沼晶子	成人への看護アプローチの基本	慢性疾患の治療と看護の基本 社会的支援の獲得への看護 チームアプローチと社会資源の活用 [アクティブラーニングの内容]大人の健康行動を育む看護のアプローチについて禁煙を例にどんな方法が考えられるか話し合う。	予習90分：専門分野II成人看護学総論成人看護学①教科書p90～146の範囲の事前に指示された箇所を読む。 復習90分：課題の学習
第4回	松沼晶	成人への看護アプローチの基本 成人の健康生	慢性疾患の治療と看護の基本 チームアプローチと社会資源の活用 社会的支援の獲得への看護 [アクティブラーニングの内容]療養の場を移行する人々への看護技術、患者の意思	予習90分：専門分野II成人看護学総論成人看護学①教科書 p90～146、372～404の範囲の事前に指示された箇所を読む。 復習90分：課題の学習

	子	活を促すための看護技術	決定支援及び倫理的課題に対する看護師の役割について考える。家族機能についてどのようなものがあるか考える。退院支援における看護師の役割について考える。	
第5回	松沼晶子	ヘルスプロモーションと看護障害がある人の生活とリハビリテーション	ヘルスプロモーションと看護 リハビリテーション特徴 機能障害のアセスメント 障害に対する受容と適応への看護[アクティブラーニングの内容]ヘルスプロモーションとは何か、地域社会におけるヘルスプロモーションを促進する看護について①個人の主体的な健康づくり②健康増進のための環境づくりの視点から考える。	予習90分：専門分野II成人看護学総論成人看護学①教科書p152～168、234～247の範囲の事前に指示された箇所5を読む。 復習90分：課題の学習
第6回	松沼晶子	ヘルスプロモーションと看護障害がある人の生活とリハビリテーション	ヘルスプロモーションと看護 リハビリテーション特徴 機能障害のアセスメント 障害に対する受容と適応への看護[アクティブラーニングの内容]障害がある人を支援する看護及び回復期リハビリテーションと看護についてその目的・特長について考える。障害が	予習90分：専門分野II成人看護学総論成人看護学①教科書p152～168、234～247の範囲の事前に指示された箇所を読む。 復習90分：課題の学習

			ある人とかかわった経験について話し合う。	
第7回	松沼晶子	治療過程にある患者への看護技術・症状マネジメントにおける看護技術・新たな治療法・先端医療の看護	がん患者と家族への看護 がん患者の抱える苦痛（トータルペイン）、がん患者の生活上の困難、がん患者の治療と看護、がん患者の社会参加への支援 [アクティブラーニングの内容]がん薬物療法や放射線治療おける看護について考える。放射線療法を受けている患者、化学療法を受けている患者に対し、症状マネジメントのためにどのような知識や技術を提供すべきか考える。患者自ら症状マネジメントに取り組むことをサポートする看護の働きについて考える。患者の症状体験を理解し、共感することは患者に対する看護としてどのような意味があるかを考える。	予習90分：専門分野II成人看護学総論成人看護学①教科書p294～335、338～369、406～413の範囲の事前に指示された箇所を読む。 復習90分：課題の学習
			がん患者と家族への看護 がん患者の抱える苦痛（トータルペイン）、がん患者の生活上の困難、がん患者の治療と看護、がん患者の社会参加への支援 [アクティ	

第8回	松沼晶子	治療過程にある患者への看護技術・症状マネジメントにおける看護技術・新たな治療法・先端医療の看護	ブラーニングの内容]がん薬物療法や放射線治療おける看護について考える。放射線療法を受けている患者、化学療法を受けている患者に対し、症状マネジメントのためにどのような知識や技術を提供すべきか考える。患者自ら症状マネジメントに取り組むことをサポートする看護の働きについて考える。患者の症状体験を理解し、共感することは患者に対する看護としてどのような意味があるかを考える。	予習90分：専門分野II成人看護学総論成人看護学①教科書p295～335、338～369、406～413の範囲の事前に指示された箇所を読む。 復習90分：課題の学習
第9回	松沼晶子	人生の最期のときを支える看護	終末期における患者及び緩和ケアを必要とする患者と家族への看護緩和ケアを必要とする患者と家族への看護、end of life care、臨死期の看護 トータルペインについて考える。[アクティブラーニングの内容]死を迎えつつある人の看護において看護師はどのような態度であるべきか考える。	予習90分：専門分野II成人看護学総論成人看護学①教科書p250～270の範囲の事前に指示された箇所を読む。 復習90分：課題の学習
			終末期における患者及び緩和ケアを必要とする患者と家族への看護緩和ケアを必要とする	

第10回	松沼晶子	人生の最期のときを支える看護	患者と家族への看護、end of life care、臨死期の看護 トータルペインについて考える。[アクティブラーニングの内容]死を迎えつつある人の看護において看護師はどのような態度であるべきか考える。	予習90分：専門分野II成人看護学総論成人看護学①教科書p250～270の範囲の事前に指示された箇所を読む。 復習90分：課題の学習
第11回	松沼晶子吉田幸枝	内分泌・代謝：内部環境（血糖）調節機能障害のある患者の看護、糖尿病患者の看護（演習）	血糖調整機能障害の程度のアセスメントと看護、検査や処置を受ける患者の看護（糖負荷試験、血糖自己測定）、治療を受ける患者への看護（インスリン補充療法、糖尿病経口薬、食事・運動療法）、病期や機能障害に応じた看護（1型糖尿病、2型糖尿病） 演習（看護過程の展開）・レポート（糖尿病のある患者のペーパーペイシェント）	予習90分：専門分野II内分泌・代謝成人看護学⑥教科書p16～47、71～79、132～164、243～281の範囲の事前に指示された箇所を読む。復習90分：ペーパーペイシェントで提示された患者のデータベース、アセスメント、関連図作成、看護診断の抽出、看護計画（指導案の指導媒体を作成）
第12回	松沼晶子吉田幸枝	内分泌・代謝：内部環境（血糖）調節機能障害のある患者の看護、糖尿病患	血糖調整機能障害の程度のアセスメントと看護、検査や処置を受ける患者の看護（糖負荷試験、血糖自己測定）、治療を受ける患者への看護（インスリン補充療法、糖尿病経口薬、食事・運動療法）、病期や機能障害に応じた看	予習90分：専門分野II内分泌・代謝成人看護学⑥教科書p16～47、71～79、132～164、243～281の範囲の事前に指示された箇所を読む。復習90分：ペーパーペイシェントで提示された患者のデータベース、アセスメント、関連図作成、看護診断の抽出、看護計画（指導案の指導媒体を作成）

		者の看護（演習）	護（1型糖尿病、2型糖尿病） 演習（看護過程の展開）・レポート（糖尿病のある患者のペーパーペイシェント）	
第13回	松沼晶子 吉田幸枝	内分泌・代謝：内部環境（血糖）調節機能障害のある患者の看護、糖尿病患者の看護（演習）	演習（看護過程の展開）・レポート（糖尿病のある患者のペーパーペイシェント、患者教育：内分泌・代謝の看護）指導案作成 アセスメントのポイントや慢性疾患患者の価値・信念の分析、患者の生き方を理解するということ。	予習90分：専門分野II内分泌・代謝成人看護学⑥教科書p6～14、16～47、71～79、132～164、243～281の範囲の事前に指示された箇所を読む。復習90分：ペーパーペイシェントで提示された患者のデータベース、アセスメント、関連図作成、看護診断の抽出、看護計画（指導案の指導媒体を作成）
第14回	松沼晶子 吉田幸枝	内分泌・代謝：内部環境（血糖）調節機能障害のある患者の看護、糖尿病患者の看護（演習）	演習（看護過程の展開）・レポート（糖尿病のある患者のペーパーペイシェント、患者教育：内分泌・代謝の看護）指導案作成 アセスメントのポイントや慢性疾患患者の価値・信念の分析、患者の生き方を理解するということ。	予習90分：専門分野II内分泌・代謝成人看護学⑥教科書p6～14、16～47、p71～79、132～164、243～281の範囲の事前に指示された箇所を読む。復習90分：ペーパーペイシェントで提示された患者のデータベース、アセスメント、関連図作成、看護診断の抽出、看護計画（指導案の指導媒体を作成）
第15回	松沼晶子 吉田幸枝	内分泌・代謝：内部環境（血糖）調節機能障害のある患者の看護、糖尿病患者の看護（演習）	演習（看護過程の展開）・レポート（糖尿病のある患者のペーパーペイシェント、患者教育内分泌・代謝の看護） 指導案作成	予習90分：専門分野II内分泌・代謝成人看護学⑥教科書p6～14、16～47、p71～79、132～164、243～281の範囲の事前に指示された箇所を読む。復習90分：ペーパーペイシェントで提示された患者のデータベース、アセスメント、関連図作成、看護診断の抽出、看護計画（指導案の指導媒体を作成）
		内分泌・代	演習（看護	

第16回	松沼晶子吉田幸枝	謝：内部環境（血糖）調節機能障害のある患者の看護、糖尿病患者の看護（演習）	過程の展開）・レポート（糖尿病のある患者のペーパーペイシェント、患者教育内分泌・代謝の看護） 指導案作成	予習90分：専門分野II内分泌・代謝成人看護学⑥教科書p6～14、16～47、p71～79、132～164、243～281の範囲の事前に指示された箇所を読む。復習90分：ペーパーペイシェントで提示された患者のデータベース、アセスメント、関連図作成、看護診断の抽出、看護計画（指導案の指導媒体を作成）
第17回	松沼晶子	腎・泌尿器：内部環境（体液・電解質・酸塩基平衡）調節機能障害のある患者の看護 慢性腎不全・慢性腎臓病の患者の看護	体液・電解質・酸塩基平衡調整機能障害の程度のアセスメントと看護、治療を受ける患者への看護（血液透析・腹膜透析）、病期や機能障害に応じた看護（慢性腎不全・慢性腎臓病）、	予習90分：専門分野II腎・泌尿器成人看護学⑧教科書p6～30、40～66、68～78、102～109、114～123、133～136、205～208、235～242、247～264の範囲の事前に指示された箇所を読む。 復習90分：課題の学習
第18回	松沼晶子	腎・泌尿器：内部環境（体液・電解質・酸塩基平衡）調節機能障害のある患者の看護 慢性腎不全・慢性腎臓病の患者の看護	体液・電解質・酸塩基平衡調整機能障害の程度のアセスメントと看護、治療を受ける患者への看護（血液透析・腹膜透析）、病期や機能障害に応じた看護（慢性腎不全・慢性腎臓病） [アクティブラーニングの内容]事例による看護過程の展開	予習90分：専門分野II腎・泌尿器成人看護学⑧教科書p6～30、40～66、68～78、102～109、114～123、133～136、205～208、235～242、247～264の範囲の事前に指示された箇所を読む。 復習90分：課題の学習
第19回	松沼晶子	循環器：循環機能障害のある患	原因と障害の程度のアセスメントと看護（ポンプ機能障害・刺激伝導障害）、検査や処置を受ける患者の看護（心電図、心臓カテーテル）、治療を受ける患者への看護（経皮的冠動脈形成術PCI、大	予習90分：専門分野II循環器成人看護学③教科書p6～91、115～116、122～168，175～201、238～279,310～347、357～368、391～400の範囲の事前に指示された箇所を読む。 復習90分：課題の学習

		者の看護	同獏内バルーンバンピングIABP、ペースメーカ、植込み型除細動器、血栓溶解療法）、病期や機能障害に応じた看護（心不全、虚血性心疾患、不整脈）	
第20回	松沼晶子	循環器：循環機能障害のある患者の看護	原因と障害の程度のアセスメントと看護（ポンプ機能障害・刺激伝導障害）、検査や処置を受ける患者の看護（心電図、心臓カテーテル）、治療を受ける患者への看護（経皮的冠動脈形成術PCI、大同獏内バルーンバンピングIABP、ペースメーカ、植込み型除細動器、血栓溶解療法）、病期や機能障害に応じた看護（心不全、虚血性心疾患、不整脈）[アクティブラーニングの内容]事例による看護過程の展開	予習90分：専門分野II循環器成人看護学③教科書p6～91、115～116、122～168，175～201、238～279,310～347、357～368、391～400の範囲の事前に指示された箇所を読む。 復習90分：課題の学習
第21回	松沼晶	呼吸器：呼吸器機能障害	原因と障害の程度のアセスメントと看護（酸素化障害、換気障害、呼吸運動障害）、検査や処置を受ける患者の看護（動脈血液ガス分析、呼吸機能検査、気管支鏡検査、胸腔穿刺、肺生検）、治療を受ける患者への看護	予習90分：専門分野II呼吸器成人看護学②教科書p6～129、164～169、176～214、217～218、226～258、282～282、305～337、345～354の範囲の事前に指示された箇所を読む。

	子	のある患者の看護	（酸素療法、胸腔ドレナージ、吸入による薬物療法、薬物療法、）、病期や機能障害に応じた看護（肺がん・中皮腫、肺炎、気管支炎、胸膜炎、慢性閉塞性肺疾患COPD,気管支喘息）	復習90分：課題の学習
第22回	松沼晶子	呼吸器：呼吸器機能障害のある患者の看護	原因と障害の程度のアセスメントと看護（酸素化障害、換気障害、呼吸運動障害）、検査や処置を受ける患者の看護（動脈血液ガス分析、呼吸機能検査、気管支鏡検査、胸腔穿刺、肺生検）、治療を受ける患者への看護（酸素療法、胸腔ドレナージ、吸入による薬物療法、薬物療法、）、病期や機能障害に応じた看護（肺がん・中皮腫、肺炎、気管支炎、胸膜炎、慢性閉塞性肺疾患COPD,気管支喘息）[アクティブラーニングの内容]事例による看護過程の展開	予習90分：専門分野II呼吸器成人看護学②教科書p6～129、164～169、176～214、217～218、226～258、282～282、305～337、345～354の範囲の事前に指示された箇所を読む。 復習90分：課題の学習
		脳・神	原因と障害の程度のアセスメントと看護（生命維持活動機能調整障害、運動・感覚機能障害、言語機能障害、高次脳機能障	

第23回	松沼晶子	経:脳・神経機能障害のある患者の看護	害）検査や処置を受ける患者の看護(脳波検査、髄液検査、脳血管造影）病期や機能障害に応じた看護（脳血管障害、脳腫瘍、感染症）	予習90分：専門分野II脳・神経成人看護学⑦教科書 p6～107、122～145、238～296、311～321、332～338の範囲の事前に指示された箇所を読む。 復習90分：課題の学習
第24回	松沼晶子	脳・神経:脳・神経機能障害のある患者の看護	原因と障害の程度のアセスメントと看護（生命維持活動機能調整障害、運動・感覚機能障害、言語機能障害、高次脳機能障害）検査や処置を受ける患者の看護(脳波検査、髄液検査、脳血管造影）病期や機能障害に応じた看護（脳血管障害、脳腫瘍、感染症）[アクティブラーニングの内容]事例による看護過程の展開	予習90分：専門分野II脳・神経成人看護学⑦教科書 p6～107、122～145、238～296、311～321、332～338の範囲の事前に指示された箇所を読む。 復習90分：課題の学習
第25回	松沼晶子	消化器：栄養代謝障害のある患者の看護・消化・吸収機能障害のある患者の看護	原因と障害の程度のアセスメントと看護（肝機能障害、代謝機能障害、消化管機能障害、膵液分泌障害、胆汁分泌機能障害）、検査や処置を受ける患者の看護（腹部超音波検査、肝生検、内視鏡的逆行性胆管膵管撮影ERCP）、治療を受ける患者への看護（肝庇護療法、インターフェロン療法）、病期	予習90分：専門分野II消化器成人看護学⑤教科書 p6～126、210～243、257～261、268～309、316～321、396～430、447～449の範囲の事前に指示された箇所を読む。 復習90分：課題の学習

			や機能障害に応じた看護（肝炎、肝硬変、膵炎）	
第26回	松沼晶子	消化器：栄養代謝障害のある患者の看護・消化・吸収機能障害のある患者の看護	原因と障害の程度のアセスメントと看護（肝機能障害、代謝機能障害、消化管機能障害、膵液分泌障害、胆汁分泌機能障害）、検査や処置を受ける患者の看護（腹部超音波検査、肝生検、内視鏡的逆行性胆管膵管撮影ERCP）、治療を受ける患者への看護（肝庇護療法、インターフェロン療法）、病期や機能障害に応じた看護（肝炎、肝硬変、膵炎）	予習90分：専門分野Ⅱ消化器成人看護学⑤教科書 ｐ6～126、210～243、257～261、268～309、316～321、396～430、447～449の範囲の事前に指示された箇所を読む。 復習90分：課題の学習
第27回	松沼晶子	血液・造血器：身体防御機能の障害のある患者の看護	原因と障害の程度のアセスメントと看護（骨髄機能障害）、検査や処置を受ける患者の看護（骨髄穿刺）、治療を受ける患者への看護（造血幹細胞移植）、病期や機能障害に応じた看護（血液悪性疾患）	予習90分：専門分野Ⅱ血液・造血器成人看護学④教科書p6～41、74～120、120～128、140～143、146～210の範囲の事前に指示された箇所を読む。 復習90分：課題の学習
第28回	松沼晶子	血液・造血器：身体防御機能の障害のある患者の看	原因と障害の程度のアセスメントと看護（骨髄機能障害）、検査や処置を受ける患者の看護（骨髄穿刺）、治療を受ける患者への看護（造血幹細胞移植）、病期や機能障害	予習90分：専門分野Ⅱ血液・造血器成人看護学④教科書p6～41、74～120、120～128、140～143、146～210の範囲の事前に指示された箇所を読む。 復習90分：課題の学習

		護	に応じた看護（血液悪性疾患）[アクティブラーニングの内容]事例による看護過程の展開	
第29回	松沼晶子	アレルギー膠原病感染症：身体防御機能の障害のある患者の看護	原因と障害の程度のアセスメントと看護（免疫機能障害）、治療を受ける患者への看護（抗ヒト免疫不全ウイルスHIV療法）病期や機能障害に応じた看護（血液悪性疾患）	予習90分：専門分野Ⅱアレルギー膠原病感染症成人看護学⑪教科書 p8～14、218～232、234～250、330～338、342～382の範囲の事前に指示された箇所を読む。 復習90分：課題の学習
第30回	松沼晶子	成人看護方法Iのまとめ	学習のまとめと実習に向けて	実習に向けての事前学習を行う。

教科書

専門分野Ⅱ成人看護学総論成人看護学①医学書院
専門分野Ⅱ呼吸器成人看護学②医学書院
専門分野Ⅱ循環器成人看護学③医学書院
専門分野Ⅱ血液・造血器成人看護学④医学書院
専門分野Ⅱ消化器成人看護学⑤医学書院
専門分野Ⅱ内分泌・代謝成人看護学⑥医学書院
専門分野Ⅱ脳・神経成人看護学⑦医学書院
専門分野Ⅱ腎・泌尿器成人看護学⑧医学書院
専門分野Ⅱアレルギー膠原病感染症成人看護学⑪医学書院

成績評価の方法・基準

単位認定60点以上。
筆記試験80%、演習・レポートの課題20%

課題等に対する
フィードバックの方法

既習学習である「成人看護学概論」を確認しておくこと。
3年生の実習で使用できるような自己学習ノートを作成するなど工夫してください。
演習・レポートについては、慢性疾患のある患者のペーパー・ペイシェントでの看護過程の展開を行います。各自で作業を進めますので、アセスメントや看護計画についてわからないことがあれば、積極的に教員へ相談し、3年の実習時の準備をすること。

履修のポイント

3年時の成人看護学実習I（慢性期）で必要となる知識や考え方、患者家族を理解するための関わり方及び看護援助方法について具体的に演習をもりこみながら学習していきます。また、授業におけるアクティブラーニングでは、患者や家族の体験していること感じていることを想像し、イメージしながら学生自身が感じることを大切に授業を展開しますので、予習、復習を行い積極的に授業に参加する。

オフィス・アワー

金曜日、12:30～13:20（昼休み）、10号館第3研究室。
※講義終了時前後にも、適宜受け付けます。

科目区分

専門科目

当該授業科目の教育課程内での位置づけ

UK-R243

講義コード	10770001
講義名	成人看護学実習I
(副題)	
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	通年
講義区分	実験・実習
基準単位数	2
代表曜日	
代表時限	
必修/選択	必修
実務経験のある教員の有無	有
実務経験のある教員の経歴と授業内容	看護師としての病院実務経験、及びがん看護看護実践の経験から慢性期看護の実践力を高める教育・指導を行う。
学年	3学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 松沼 晶子	指定なし
教員	吉田 幸枝	指定なし

授業の概要と教育目標

慢性期にある患者と家族をトータルペイン（全人的苦痛）の視点から理解し、生活の質（QOL）の維持・向上、及び病と共に生きるために必要な行動変容を促すための看護実践能力を養う。

卒業認定・学位授与の方針との関連

医療保健学部看護学科のディプロマ・ポリシーとの関連として、医療者として必要な倫理、守るべき法令を理解し、それに沿って行動できること、看護の基本精神・基礎技術を理解した上で、さまざまな健康レベル、あらゆる発達段階における科学的知識をいかし、実践的な援助技術の修得を目指すものとする。また、臨床現場でチーム医療の一員として活躍し、そこで調整する能力及び問題を解決する能力の修得を目指すものとする。

到達目標

1.慢性期にある患者の病態の特徴から病とのつきあい方・生き方などをアセスメントし、看護計画の立案、必要な評価・修正ができる。
1)慢性期にある患者の病態生理、治療、予測される主な合併症について説明できる。
2)慢性期にある患者の病とのつきあい方・生き方を説明できる。
3)慢性期にある患者と家族をトータルペイン（全人的苦痛）の視点からその苦痛を捉え、関連性について説明できる。
4)慢性期にある患者と家族のアセスメントから全体像を捉え看護問題を抽出できる。
5)慢性期にある患者と家族に対して、望ましい行動変容を促すための目標を設定し、適切に看護計画の立案、必要な評価、修正ができる。

2.病と共に生活するための行動変容を促す看護援助を患者と家族の状況に合わせて実施できる。
1)患者のQOLの維持・向上のためにセルフケア能力を活かし必要な看護援助ができる。
2)患者と家族が病と共に生活するためのセルフケアに必要な行動変容を促す看護援助ができる。

3.慢性期にある患者や家族に尊重した態度がとれる。
1)患者や家族の価値観や生活習慣に配慮し、意思を尊重した態度がとれる。

4.慢性期にある患者・家族をとりまくチーム医療について説明できる。
1)慢性期にある患者・家族をとりまくチーム医療の中での連携・協働について説明できる。

5.主体的・積極的に学習に取り組み、慢性期にある患者や家族の問題解決に臨むことができる。
1)慢性期にある患者や家族の看護援助に必要な知識・技術について主体的・積極的に学習ができる。

授業計画

	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	学内実習 事前課題提出。実習オリエンテーション（実習要項説明） 行動計画記入。患者情報を提示、グループ内で受け持ち患者の選定。受け持ち患者の病態関連図作成。治療・検査・症状とその看護について調べ自己学習用紙に課題を記録する。 明日からのバイタルサイン測定時の観察項目、コミュニケーション内容について記録する。 明日の行動計画を記入。明日からの実習に関する注意事項。	教員との個別面談。面談内容は、事前的評価（実習内容に関する理解度を確認）、実習に対する目標と課題について、体調面に関する情報の共有。	受け持ち患者の病態関連図作成。治療・検査・症状とその看護について調べ自己学習用紙に記録する。 明日からのバイタルサイン測定時の観察項目、コミュニケーション内容について記録する.
第2回	病棟実習開始 管理者への挨拶 病棟オリエンテーション、病棟スタッフへの挨拶、受け持ち患者への挨拶、同意書の承諾。日常生活援助の食事介助の見学。バイタルサイン測定（初回は教員か実習指導者が同行し、手技の確認） 電子カルテやコミュニケーションからの情報収集。治療や検査・リハビリ等の見学。	リフレクション。	患者の情報を記録用紙に記録する。教員や実習指導者と相談し明日から援助を行う学生は手順書を作成する。
第3回	病棟実習 患者の情報を得る。（行動計画の修正）バイタルサイン測定。日常生活援助（清潔ケア・食事介助等）や治療や検査・リハビリ等の見学。日常生活援助（清潔ケア・食事介助等）で学生が実施許可のあるケアは教員か実習指導者のもとで実施する。治療や検査・リハビリ等の見学。電子カルテやコミュニケーションから情報収集。	受け持ち患者の病棟カンファレンス参加。リフレクション	教員や実習指導者と相談し明日から援助を行う学生は手順書を作成する。看護計画の方向性の確認カンファレンスで使用するアセスメント、全体関連図、診断リストを記録する。リフレクション用紙の記録する。
第4回	病棟実習 患者の情報を得る。（行動計画の修正）バイタルサイン測定。日常生活援助（清潔ケア・食事介助等）で学生が実施許可のあるケアは教員か実習指導者のもとで実施する。治療や検査・リハビリ等の見学。電子カルテやコミュニ	受け持ち患者の病棟カンファレンス参加。看護計画の方向性の確認カンファレンス。 リフレクショ	看護計画の方向性の確認カンファレンスでディスカッションした内容をアセスメント、全体関連図、診断

	ケーションからの情報収集。	ン。	リストに反映し記録を追加、修正する。
第5回	病棟実習 患者の情報を得る。（行動計画の修正）バイタルサイン測定。日常生活援助（清潔ケア・食事介助等）で 学生が実施許可のあるケアは教員か実習指導者のもとで実施する。治療や検査・リハビリ等の見学。電子カルテやコミュニケーションからの情報収集。受け持ち患者の情報の記録内容を学生は教員から指導を受ける。その後、優先順位の高い看護診断の中から看護計画を１つ立案する。患者教育の指導案を作成する予定の学生は色付きの用紙を教員から受け取る。	教員と学生との面談。形成的評価（中間評価）各学生の実習目標の達成状況を教員が把握、週末の自宅での課題に対する助言、指導を受ける。来週に向けて実習目標を達成するための学習活動を確認する。	看護援助が必要なものは看護計画を全て立案し、来週月曜日に提出できるように、週末自宅で取り組む。
第6回	病棟実習 患者の情報を得る。（行動計画の修正）バイタルサイン測定。看護計画の実施許可のある学生は計画に沿って看護援助を教員か実習指導者のもとで実施。治療や検査・リハビリ等の見学。電子カルテやコミュニケーションからの情報収集。実施内容を行動計画の実施結果・評価を記録し看護計画の追加・修正・を行う。	受け持ち患者の病棟カンファレンス参加。 リフレクション。	実施内容を行動計画の実施結果・評価を記録し看護計画の追加・修正の行う。再アセスメントからの全体関連図および診断リスとの追加・修正を記録する。
第7回	病棟実習 患者の情報を得る。（行動計画の修正）バイタルサイン測定。看護計画の実施許可のある学生は計画に沿って看護援助を教員か実習指導者のもとで実施。治療や検査・リハビリ等の見学。電子カルテやコミュニケーションからの情報収集。実施内容を行動計画の実施結果・評価を記録し看護計画の追加・修正・を行う。	受け持ち患者の病棟カンファレンス参加。ケースカンファレンス①受け持ち患者と家族をトータルペインの視点から理解することによってどのような看護援助に繋がるのか。リフレクション。	実施内容を行動計画の実施結果・評価を記録し看護計画の追加・修正の行う。再アセスメントからの全体関連図および診断リスとの追加・修正を記録する。
第8回	病棟実習 患者の情報を得る。（行動計画の修正）バイタルサイン測定。看護計画の実施許可のある学生は計画に沿って看護援助を教員か実習指導者のもとで実施。治療や検査・リハビリ等の見学。電子カルテやコミュニケーションからの情報収集。実施内容を行動計画の実施結果・評価を記録し看護計画の追加・修正・を行う。	受け持ち患者の病棟カンファレンス参加。ケースカンファレンス②慢性期にある患者・家族をとりまくチーム医療について（連携・協働）～臨床で行われているチーム医療を学び、効果的なチーム医療のために大切な事は何か、看護師の役割等～。リフレクション。	実施内容を行動計画の実施結果・評価を記録し看護計画の追加・修正の行う。再アセスメントからの全体関連図および診断リスとの追加・修正を記録する。
	病棟実習 患者の情報を得る。（行動計画の修正）バイタルサイン測定。看護計		実施内容を行動計画の実施結果・評価を記録

第9回	画の実施許可のある学生は計画に沿って看護援助を教員か実習指導者のもとで実施。治療や検査・リハビリ等の見学。電子カルテやコミュニケーションからの情報収集。実施内容を行動計画の実施結果・評価を記録し看護計画の追加・修正・を行う。	病棟実習終了カンファレンス	し看護計画の追加・修正の行う。再アセスメントからの全体関連図および診断リスとの追加・修正を記録する。
第10回	学内実習 カンファレンス30分程度 （実習について教員と学生で振り返り、共有する） その後、受け持ち患者に対して、実施した計画に対する結果を評価する。（具体策や目標に対しての結果を照らし合わせ、計画の修正、変更について考える） その後、受け持ち患者の継続看護のため看護サマリーには、自分の行った看護計画の内容、その結果・評価も含めて、今後、継続する必要のある看護や予測される問題と今時点で考えられる看護援助について記録する。 各学生は教員から記録内容の指導を受ける。 16：30の記録物の提出時間までに、実習記録用紙の提出方法に沿ってファイルに閉じる。授業評価を記載し、専用のボックスへ提出。グループ全員の記録物を教員へ提出し、実習終了。	各学生と総括的評価の面談：実習終了時に目標の達成状況を判断し、学習終了の認定のために行う。 また、学生は今後の課題について、次の実習に活かせるよう具体的に対処方法を考える	

教科書

成人看護学 慢性期看護 第3版 NOUVELLE HIROKAWA

参考書

エビデンスに基づく症状別看護ケア関連図改訂版 中央法規
エビデンスに基づく疾患別看護ケア関連図改訂版 中央法規
実習でよく挙げる看護診断計画ガイド 照林社
ゴードン博士の看護診断アセスメント指針 照林社
慢性疾患患者の闘病記等の書籍

成績評価の方法・基準

単位認定60点以上。
成人看護学実習Iの評価表の項目に沿って達成の可否により評価する。

課題等に対する
フィードバックの方法

実習前に清潔ケア・血圧測定等の援助技術について確認が必要な学生は各自演習を行う。事前学習課題のレポートについては、実習期間中、常に携帯し活用する。実習指導者や教員から各学生の状況に合わせた課題が出されるため、学習したものについては、必ず報告し提出する。

履修のポイント

成人看護学I（慢性期）の実習では、治ることのない病いと共に生きる人々、そしてその家族が対象となります。学生として、目の前の患者さんのつらさにどのように寄り添えるのか、日々考え悩むことがあります。直ぐに解決できる問題ばかりではありませんが、問題解決に目を向けるのではなく、人の苦しみを理解することはどのようなことなのか一緒に学んでいきましょう。

オフィス・アワー

月曜日もしくは金曜日12:30～13:20（昼休み）10号館第3研究室。
※研究室在室時は適宜受け付けます。

科目区分
専門科目
当該授業科目の教育課程内での位置づけ
UK-R253

講義コード	10780001
講義名	成人看護方法II
(副題)	
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	後期
講義区分	演習
基準単位数	2
代表曜日	火曜日
代表時限	３時限
必修/選択	必修
実務経験のある教員の有無	有
実務経験のある教員の経歴と授業内容	看護師としての病院における実務経験をもとに授業を行う。
学年	2学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 本島 茉那美	指定なし
教員	吉田 幸枝	指定なし

授業の概要と教育目標

授業の概要
1.周手術期及び急性期にある対象の特徴について学ぶ。
2.手術が必要な対象に対しての看護援助の方法について理解を深める。
3.外科的治療を疾患別に学習し、その特徴や必要な看護の視点について学ぶ。
教育目標
周手術期及び急性期における対象の理解から看護方法の実践的知識を習得する。

卒業認定・学位授与の方針との関連

医療保健学部看護学科のディプロマ・ポリシーとの関連として、周手術期及び急性期にある成人期の患者、家族に対する看護を理解し、知識と技術の習得を目指す。

到達目標

周手術期及び急性期にある人の特徴を理解する
周手術期にある人の看護援助について理解する
周手術期にある患者の疾患別の病態、治療方法、看護について理解する
消化・吸収機能障害のある患者のペーパーペイシェントによる看護過程を記述できる

授業計画

	担当者	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間
	本島	成人看護方法IIｵﾘｴﾝﾃｰｼｮﾝ 急性期にある患者と家族の特徴と看護 患者の特徴（身体的特徴、心理的特徴、社会的特徴）家族の特徴		予習90分：成人看護学総論を読み講義内容を把握する。

第1回	茉那美	（心理的特徴、社会的特徴） 急性期における看護の基本（危機的状態への精神的支援、治療の緊急性と優先度、治療選択・意思決定への支援、代理意思決定支援）		復習90分：講義中に重要とされた内容について、教科書や資料を見直す。
第2回	本島茉那美	救急看護、ｸﾘﾃｨｶﾙｹｱ 緊急度と重症度のｱｾｽﾒﾝﾄ（意識ﾚﾍﾞﾙ、神経学的所見、ﾊﾞｲﾀﾙｻｲﾝ） 救急看護・ｸﾘﾃｨｶﾙｹｱの基本（心肺停止状態の処置、ｼｮｯｸへの処置、急性症状の応急処置、外傷・熱傷・中毒の応急処置、環境要因による障害の応急処置、感染症への処置）		予習90分：脳・神経⑦を読み講義内容を把握する。 復習90分：講義中に重要とされた内容について、教科書や資料を見直す。
第3回	本島茉那美	周手術期にある患者と家族への看護① 術前からの看護（手術療法の理解を促す援助、手術の意思決定への援助、術後合併症のﾘｽｸｱｾｽﾒﾝﾄと援助、術前ｵﾘｴﾝﾃｰｼｮﾝ、不安のｱｾｽﾒﾝﾄと援助、ﾎﾞﾃﾞｨｲﾒｰｼﾞの変容への援助） 術中の看護（開腹・開胸・開頭・鏡視下の手術方法による影響と援助、手術体位による影響と援助、麻酔による影響と援助、安全管理）		予習90分：周手術期看護論、成人看護学総論を読み講義内容を把握する。 復習90分：講義中に重要とされた内容について、教科書や資料を見直す。
第4回	本島茉那美	外部講師：手術室看護と専門性 手術室の実際、手術を受ける患者、手術室看護師の役割、実際の業務内容等		予習90分：周手術期看護論を読み講義内容を把握する。 復習90分：講義中に重要とされた内容について、教科書や資料を見直す。
第5回	本島茉那美	周手術期にある患者と家族への看護② 術後の看護（生体反応、創傷管理） 術後の機能障害や生活制限への看護（ﾎﾞﾃﾞｨｲﾒｰｼﾞの受容への支援、	【課題①】ﾑｰｱの分類について、術前ｱｾｽﾒﾝﾄと検査についてまとめる。	予習90分：周手術期看護論、成人看護学総論を読み講義内容を把握する。 復習90分：講義中に重要とされた内容につい

		退院調整、機能訓練、ｾﾙﾌｹｱ能力の獲得）		て、教科書や資料を見直す。
第6回	本島茉那美	周手術期にある患者と家族への看護③ 術後合併症と予防（術後出血、循環不全、呼吸器合併症）		予習90分：周手術期看護論を読み講義内容を把握する。 復習90分：講義中に重要とされた内容について、教科書や資料を見直す。
第7回	本島茉那美	周手術期にある患者と家族への看護④ 術後合併症と予防（下肢静脈血栓・肺塞栓症、ｲﾚｳｽ）	【課題②】無気肺・深部静脈血栓症・ｲﾚｳｽについてまとめる。	予習90分：周手術期看護論を読み講義内容を把握する。 復習90分：講義中に重要とされた内容について、教科書や資料を見直す。
第8回	本島茉那美	周手術期にある患者と家族への看護⑤ 術後合併症と予防（術後感染、縫合不全）術後の看護（ﾄﾞﾚｰﾝ管理）		予習90分：アレルギー膠原病感染症⑪、周手術期看護論を読み講義内容を把握する。 復習90分：講義中に重要とされた内容について、教科書や資料を見直す。
第9回	本島茉那美	周手術期にある患者と家族への看護⑥ 術後合併症と予防（せん妄）術後の看護（術後の疼痛管理） 腹腔鏡下手術の適応のある患者の看護	【課題③】術後感染・疼痛管理についてまとめる。	予習90分：周手術期看護論を読み講義内容を把握する。 復習90分：講義中に重要とされた内容について、教科書や資料を見直す。
第10回	本島茉那美	消化・吸収機能障害のある患者の看護① 検査・処置を受ける患者への看護（上部・下部消化管内視鏡、内視鏡的逆行性胆管膵管造影、消化管造影、胆道・胆嚢ﾄﾞﾚﾅｰｼﾞ、造影CT・MRI、直腸診） 治療を受ける患者の看護（咽頭・喉頭摘出術、食道切除術、急性胆管炎(内視鏡的治療）、胆石症(内視鏡的治療）		予習90分：消化器⑤、周手術期看護論を読み講義内容を把握する。 復習90分：講義中に重要とされた内容について、教科書や資料を見直す。

		病期や機能障害に応じた看護（胆石、舌がん、咽頭がん、食道がん）		
第11回	本島茉那美	消化・吸収機能障害のある患者の看護② 治療を受ける患者の看護（胃切除術、膵切除術、大腸切除術、手術後ﾄﾞﾚﾅｰｼﾞ） 病期や機能障害に応じた看護（胃がん、大腸がん、結腸がん、人工肛門造設後、膵臓がん）	【課題④】大腸がんについてまとめる。	予習90分：消化器⑤、周手術期看護論を読み講義内容を把握する。 復習90分：講義中に重要とされた内容について、教科書や資料を見直す。
第12回	本島茉那美	消化・吸収機能障害のある患者への看護展開① 急性期・周手術期の生体反応や治療から予測される合併症（麻酔・術式等）を捉えたｱｾｽﾒﾝﾄ 事例の説明事例：腹会陰式直腸切除術（Mils術）受ける直腸がんの患者 ｺﾞｰﾄﾞﾝの機能的健康ﾊﾟﾀｰﾝへの情報の分類	ｺﾞｰﾄﾞﾝの機能的健康ﾊﾟﾀｰﾝへの情報の分類、急性期・周手術期の生体反応や治療から予測される合併症（麻酔・術式等）を捉えたｱｾｽﾒﾝﾄを行う。	予習90分：消化器⑤、周手術期看護論や講義資料を読み講義内容を把握する。 復習90分：講義中に重要とされた内容について、教科書や資料を見直す。
第13回	本島茉那美	消化・吸収機能障害のある患者への看護展開② 急性期・周手術期の生体反応や治療から予測される合併症（麻酔・術式等）を捉えたｱｾｽﾒﾝﾄ 看護診断の抽出と妥当性の検討	急性期・周手術期の生体反応や治療から予測される合併症（麻酔・術式等）を捉えた分析・解釈を行う。	予習90分：消化器⑤、周手術期看護論や講義資料を読み講義内容を把握する。 復習90分：急性期・周手術期の生体反応や治療から予測される合併症（麻酔・術式等）を捉えた分析・解釈を行う。
第14回	本島茉那美	消化・吸収機能障害のある患者への看護展開③ 急性期・周手術期の生体反応や治療から予測される合併症（麻酔・術式等）を捉えた関連図 急性期・周手術期の生体反応や治療から予測される合併症（麻酔・術式等）の発症時期、経日的変化を見据えた看護診断と優先順位	急性期・周手術期の生体反応や治療から予測される合併症（麻酔・術式等）を捉えた関連図を記述する。急性期・周手術期の生体反応や治療から予測される合併症（麻酔・術式等）の発症時期、経日的変化を見据えた看護診断と優先順位の理由を記述する。	予習90分：消化器⑤、周手術期看護論や講義資料を読み講義内容を把握する。 復習90分：講義中に重要とされた内容について、教科書や資料を見直す。

第15回	本島茉那美 吉田幸枝	消化・吸収機能障害のある患者への看護展開④ 看護計画の患者目標の設定、具体策、結果・評価	選択した看護計画の患者目標、具体策を記述する。	予習90分：消化器⑤、周手術期看護論や講義資料を読み講義内容を把握する。 復習90分：講義中に重要とされた内容について、教科書や資料を見直す。
第16回	本島茉那美 吉田幸枝	消化・吸収機能障害のある患者への看護展開⑤ 術後1日目の観察項目 術後1日目に行う全身清拭 術後初回の離床	術後1日目の観察項目、術後１日目に行う全身清拭について記述する。 事例患者の看護展開を全て記述し提出日までに提出する。	予習90分：消化器⑤、周手術期看護論や講義資料を読み講義内容を把握する。 復習90分：講義中に重要とされた内容について、教科書や資料を見直す。
第17回	本島茉那美 吉田幸枝	排尿機能障害のある患者の看護① 原因と障害の程度とｱｾｽﾒﾝﾄ（蓄尿・排尿障害、生命・生活への影響） 検査・処置を受ける患者への看護（尿流動体検査、残尿測定、膀胱鏡、尿路造影、腎盂造影、腎生検、前立腺生検）		予習90分：腎・泌尿器⑧を読み講義内容を把握する。 復習90分：講義中に重要とされた内容について教科書や資料を見直す。
第18回	本島茉那美 吉田幸枝	排尿機能障害のある患者の看護② 治療を受ける患者の看護（膀胱切除術、前立腺切除術、腎移植） 病期や機能障害に応じた看護（腎・尿路結石、腎がん、膀胱がん、前立腺肥大、前立腺がん）	【課題⑤】前立腺肥大・前立腺がん・膀胱がん・腎がんについてまとめる。	予習90分：腎・泌尿器⑧を読み講義内容を把握する。 復習90分：講義中に重要とされた内容について、教科書や資料を見直す。
第19回	本島茉那美 吉田幸枝	循環機能障害のある患者の看護① 検査・処置を受ける患者への看護（心電図、血管造影、心臓カテーテル） 治療を受ける患者の看護（冠動脈ﾊﾞｲﾊﾟｽ術、弁置換術・弁形成術、大動脈内ﾊﾞﾙｰﾝﾊﾟﾝﾋﾟﾝｸﾞ、開心術、人工心肺）		予習90分：循環器③、周手術期看護論を読み講義内容を把握する。 復習90分：講義中に重要とされた内容について、教科書や資料を見直す。
	本	循環機能障害のある患		予習90分：循環

第20回	島茉那美 吉田幸枝	者の看護② 治療を受ける患者の看護（血栓除去術、ﾍﾟｰｽﾒｰｶｰ植え込み術、ICD植え込み術) 病期や機能障害に応じた看護（虚血性心疾患、弁膜症）		器③、周手術期看護論を読み講義内容を把握する。 復習90分：講義中に重要とされた内容について、教科書や資料を見直す。
第21回	本島茉那美	呼吸機能障害のある患者の看護① 検査・処置を受ける患者への看護（動脈血ｶﾞｽ分析、呼吸機能検査、気管支鏡検査、胸腔穿刺、肺生検） 治療を受ける患者の看護（酸素療法、非侵襲的陽圧換気、侵襲的陽圧換気）		予習90分：呼吸器②、周手術期看護論を読み講義内容を把握する。 復習90分：講義中に重要とされた内容について、教科書や資料を見直す。
第22回	本島茉那美	呼吸機能障害のある患者の看護② 治療を受ける患者の看護（肺切除術、胸腔ﾄﾞﾚﾅｰｼﾞ） 病期や機能障害に応じた看護（腫瘍）		予習90分：呼吸器②、周手術期看護論を読み講義内容を把握する。 復習90分：講義中に重要とされた内容について、教科書や資料を見直す。
第23回	本島茉那美	脳・神経機能障害のある患者の看護① 原因と障害の程度とｱｾｽﾒﾝﾄ（生命維持活動調節機能障害、運動・感覚機能障害、言語機能障害、高次機能障害、生命・生活への影響） 検査・処置を受ける患者への看護（脳波検査、髄液検査、脳血管造影）		予習90分：脳・神経⑦、周手術期看護論を読み講義内容を把握する。 復習90分：講義中に重要とされた内容について、教科書や資料を見直す。
第24回	本島茉那美	脳・神経機能障害のある患者の看護② 治療を受ける患者の看護（開頭術、穿頭術、血管ﾊﾞｲﾊﾟｽ術、血管内治療8、脳室ﾄﾞﾚﾅｰｼﾞ術、脳室-腹腔ｼｬﾝﾄ術、低体温療法） 病期や機能障害に応じた看護（脳血管障害、脳腫瘍、頭部外傷、硬膜下血腫）	【課題⑥】脳梗塞・脳出血・くも膜下出血についてまとめる	予習90分：脳・神経⑦を読み講義内容を把握する。 復習90分：講義中に重要とされた内容について、教科書や資料を見直す。

第25回	本島茉那美	運動機能障害のある患者の看護① 原因と障害の程度とｱｾｽﾒﾝﾄ（姿勢機能障害、移動機能障害、作業機能障害、生命・生活への影響） 検査・処置を受ける患者への看護（関節可動域検査、徒手筋力ﾃｽﾄ、脊髄造影、椎間板造影）		予習90分：運動器⑩、周手術期看護論を読み講義内容を把握する。 復習90分：講義中に重要とされた内容について、教科書や資料を見直す。
第26回	本島茉那美	運動機能障害のある患者の看護② 治療を受ける患者の看護（ｷﾞﾌﾟｽ固定、牽引法、人工関節置換術） 病期や機能障害に応じた看護（椎間板ﾍﾙﾆｱ、四肢切断後、脊髄損傷、関節ﾘｳﾏﾁ） 大腿骨頸部骨折	【課題⑦】変形性股関節症・大腿骨頸部骨折・椎間板ﾍﾙﾆｱ・腓骨神経麻痺についてまとめる。	予習90分：運動器⑩、周手術期看護論を読み講義内容を把握する。 復習90分：講義中に重要とされた内容について、教科書や資料を見直す。
第27回	本島茉那美	栄養代謝機能障害のある患者の看護 検査・処置を受ける患者への看護（腹部超音波、肝生検、腹腔鏡） 治療を受ける患者の看護（食道静脈瘤内視鏡治療、肝動脈塞栓術、肝切除術） 病期や機能障害に応じた看護（肝がん）		予習90分：消化器⑤を読み講義内容を把握する。 復習90分：講義中に重要とされた内容について、教科書や資料を見直す。
第28回	本島茉那美	性・生殖・乳腺機能障害のある患者の看護 原因と障害の程度とｱｾｽﾒﾝﾄ（ﾎﾙﾓﾝ欠落症状） 検査・処置を受ける患者への看護（乳房超音波検、ﾏﾝﾓｸﾞﾗﾌｨｰ） 治療を受ける患者の看護（乳がん手術、女性生殖器手術） 病期や機能障害に応じた看護（乳がん、子宮体がん、子宮頸がん、卵巣がん、子宮内膜症、膣炎、子宮筋腫、勃起障害）		予習90分：女性生殖器⑨、周手術期看護論を読み講義内容を把握する。 復習90分：講義中に重要とされた内容について、教科書や資料を見直す。
第29回	本島茉那	成人看護方法IIのまとめ①		予習90分：教科書や講義資料を読み講義内容を把握する。 復習90分：講義中に重要とされ

	美			た内容について、教科書や資料を見直す。
第30回	本島茉那美	成人看護方法IIのまとめ②		予習90分：教科書や講義資料を読み講義内容を把握する。 復習90分：講義中に重要とされた内容について、教科書や資料を見直す。

教科書

周手術期看護：ヌーベルヒロカワ
系統看護学講座 専門分野II：医学書院

参考書

成人看護学 急性期看護I：南江堂
成人看護学 急性期看護II：南江堂

成績評価の方法・基準

単位認定60点以上
筆記試験80%、課題・看護過程20%

**課題等に対する
フィードバックの方法**

3年時の実習で使用できるよう理解しながら課題を行って下さい。
周手術期にある患者のペーパー・ペイシェントでの看護過程の展開を行います。
各自で作業を進めますので、分からないことがあれば主体的・積極的に教員へ相談して下さい。

履修のポイント

成人看護学概論を確認。成人看護学実習IIに必要な学習であることを意識して講義にのぞんで下さい。

オフィス・アワー

10号館研究室4。
※適宜受け付けます。

科目区分

専門科目

当該授業科目の教育課程内での位置づけ

UK-R244

講義コード	10790001
講義名	成人看護学実習II
(副題)	
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	通年
講義区分	実験・実習
基準単位数	2
代表曜日	
代表時限	
必修/選択	必修
実務経験のある教員の有無	有
実務経験のある教員の経歴と授業内容	看護師としての病院における実務経験をもとに実習指導を行う。
学年	3学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 本島 茉那美	指定なし
教員	吉田 幸枝	指定なし

授業の概要と教育目標

授業の概要
急性期および周術期にある患者の状態と起こりうる状況を、科学的に分析し、合併症予防の援助や回復を促進する援助の実際を学ぶ。

教育目標
急性期および周手術期にある患者の特徴を理解し、回復促進に向けた基礎的な看護実践能力を養う。

卒業認定・学位授与の方針との関連

医療保健学部看護学科のディプロマ・ポリシーとの関連として、急性期および周手術期にある患者を理解し、知識や実践的な援助技術の習得を目指す。

到達目標

1．急性期および周手術期にある患者の合併症予防・回復促進への援助ができる。
1）急性期および周手術期にある患者の病態生理、治療、予測される主な合併症について説明できる。
①患者の病態生理が記述できる。
②治療および予測される合併症について記述できる。
2）急性期および周手術期にある患者の特徴を踏まえてアセスメントし、看護上の問題を明確にできる。
①情報を整理し、分析・解釈（統合）し、予測される問題が記述できる。
②問題の優先順位が記述できる。
3）問題解決のための目標を設定し、適切に看護計画立案、必要な評価、修正ができる。
①問題解決のための目標が記述できる。
②根拠に基づいた看護計画が立案できる。
③結果・評価から必要な修正ができる。
4）急性期および周手術期にある患者の合併症予防の看護援助ができる。
①観察を通して、予測される合併症の援助ができる。
②合併症予防ついて実践した看護が省察できる。

5) 急性期および周手術期にある患者の回復促進の看護援助ができる。
①日常生活の自立/自律に向けて回復促進の援助が実践できる。
②回復促進について実践した看護が省察できる。
2. 急性期および周手術期にある患者の苦痛緩和の援助ができる。
1） 急性期および周手術期にある患者の苦痛や不安、及びコーピングが説明できる。
①患者の体験している苦痛や不安が説明できる。
②患者のコーピングについて説明できる。
2) 患者の苦痛や不安を緩和する援助ができる。
①患者の苦痛や不安の緩和について患者の状態に応じた援助ができる。
3. 急性期および周手術期にある患者や家族に尊重した態度がとれる。
1) 患者や家族の価値観や生活習慣に配慮し、意思を尊重した態度がとれる。
①患者や家族の価値観、生活習慣、慣習、信条等について思考できる。
②患者や家族の意思を尊重した態度がとれる。
4. 急性期および周手術期にある患者・家族をとりまくチーム医療について説明できる。
1） 急性期および周手術期にある患者・家族をとりまくチーム医療の中での連携・協働について説明できる。
①患者・家族の問題解決にむけて、チームメンバーとの連携・協働について説明できる。
5. 主体的・積極的に学習に取り組み、急性期および周手術期にある患者の問題解決に臨むことができる。
1） 急性期および周手術期にある患者の看護援助に必要な知識・技術について主体的・積極的に学習ができる。
①自ら疑問や不明な点を発信し、相談・指導を受け学習できる。
②疑問や不明な点を自ら教科書や文献等で調べ、課題解決への取り組みができる。

授業計画

	担当者	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習と そのために必要な時間
第1回	本島茉那美吉田幸枝	【学内実習】 実習ｵﾘｴﾝﾃｰｼｮﾝ、記録用紙の説明、事前課題提出、知識確認、患者情報提示、事前学習追加		予習90分：成人看護方法IIの実習前課題を見直す。 復習90分：No1.行動計画、No2.基礎情報、No3.ｱｾｽﾒﾝﾄを記述する。
第2回	本島茉那美吉田幸枝	【臨地実習】 病棟ｵﾘｴﾝﾃｰｼｮﾝ、患者選定、同意書の説明、情報収集・ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ、情報の解釈・分析		予習90分：昨日の復習を行う。 復習90分：No1.行動計画、No2.基礎情報、No3.ｱｾｽﾒﾝﾄを記述する。
第3回	本島茉那美吉田幸枝	【臨地実習】 ﾊﾞｲﾀﾙｻｲﾝ測定・観察、援助の一部実施、ﾘﾌﾚｸｼｮﾝ、情報の解釈・分析、関連図作成		予習90分：昨日の復習を行う。 復習90分：No1.行動計画、No2.基礎情報、No3.ｱｾｽﾒﾝﾄ、No4.関連図、No8.ﾘﾌﾚｸｼｮﾝを記述する。
	本			

第4回	島茉那美吉田幸枝	【臨地実習】 ﾊﾞｲﾀﾙｻｲﾝ測定・観察、援助の一部実施、ﾘﾌﾚｸｼｮﾝ、全体関連図作成、問題の明確化	ｶﾝﾌｧﾚﾝｽ：関連図を用いて、優先度の高い順に抽出された看護診断名とその根拠（ｱｾｽﾒﾝﾄ）を発表し、ｶﾝﾌｧﾚﾝｽを実施することで看護上の問題を明確にする。	予習90分：昨日の復習を行う。 復習90分：No1.行動計画、No3.ｱｾｽﾒﾝﾄ、No4.関連図、No5.問題ﾘｽﾄ、No8.ﾘﾌﾚｸｼｮﾝ、評価表を記述する。
第5回	本島茉那美吉田幸枝	【臨地実習】 ﾊﾞｲﾀﾙｻｲﾝ測定・観察、援助の一部実施、ﾘﾌﾚｸｼｮﾝ、関連図修正、問題の明確化、看護計画立案、評価の面接	ｶﾝﾌｧﾚﾝｽ：受け持ち患者の苦痛や不安及びｺｰﾋﾟﾝｸﾞについて理解を深める。	予習90分：昨日の復習を行う。 復習90分：No1.行動計画、No3.ｱｾｽﾒﾝﾄ、No4.関連図、No5.問題ﾘｽﾄ、No6.看護計画、No8.ﾘﾌﾚｸｼｮﾝを記述する。
第6回	本島茉那美吉田幸枝	【臨地実習】 ﾊﾞｲﾀﾙｻｲﾝ測定・観察、計画の実施・評価・修正、ﾘﾌﾚｸｼｮﾝ	ｶﾝﾌｧﾚﾝｽ：立案した看護計画を用いて発表し、ｶﾝﾌｧﾚﾝｽを実施することで問題解決のための目標の設定や、適切に看護計画を立案する。	予習90分：昨日の復習を行う。 復習90分：No1.行動計画、No6.看護計画、No8.ﾘﾌﾚｸｼｮﾝを記述する。
第7回	本島茉那美吉田幸枝	【臨地実習】 ﾊﾞｲﾀﾙｻｲﾝ測定・観察、計画の実施・評価・修正、ﾘﾌﾚｸｼｮﾝ	ｶﾝﾌｧﾚﾝｽ：苦痛や不安について実施した援助を説明し、より良い方法を考える。	予習90分：昨日の復習を行う。 復習90分：No1.行動計画、No6.看護計画、No8.ﾘﾌﾚｸｼｮﾝを記述する。
第8回	本島茉那美吉田幸枝	【臨地実習】 ﾊﾞｲﾀﾙｻｲﾝ測定・観察、計画の実施・評価・修正、ﾘﾌﾚｸｼｮﾝ		予習90分：昨日の復習を行う。 復習90分：No1.行動計画、No6.看護計画、No8.ﾘﾌﾚｸｼｮﾝ、No.9課題ﾚﾎﾟｰﾄを記述する。
第9回	本島茉那美吉田幸枝	【臨地実習】 ﾊﾞｲﾀﾙｻｲﾝ測定・観察、計画の実施・評価・修正	最終ｶﾝﾌｧﾚﾝｽ：実習の学びと、患者の問題解決に主体的・積極的に取り組めたかを振り返る。	予習90分：昨日の復習を行う。 復習90分：No1.行動計画、No6.看護計画、No8.ﾘﾌﾚｸｼｮﾝ、評価表を記述する。
	本島			予習90分：昨日の復習を

第10回	茉那美 吉田幸枝	【学内実習】 実習記録の整理、評価の面接 ※16：00 記録の提出		行う。 復習90分：急性期の実習を通して自己を振り返り、看護観について考える。

教科書

周手術期看護論：ヌーベルヒロカワ

参考書

系統看護学講座 専門分野II：医学書院
成人看護方法IIで配布した資料

成績評価の方法・基準

単位認定：60点以上
成人看護学実習II（急性期）評価表を用いて行う。
最終評価は教員が行う。

履修のポイント

血圧測定や清潔ｹｱは各自練習を行い実習にのぞむ。
実習前に事前学習を見直し、復習を行うこと。

オフィス・アワー

実習病院及び学内日、随時対応します。

科目区分

専門科目

当該授業科目の教育課程内での位置づけ

UK-R253

講義コード	10800001
講義名	セルフケア論
(副題)	【保健師必修】
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	前期（重複②）
講義区分	講義
基準単位数	1
代表曜日	木曜日
代表時限	１時限
必修/選択	選択
実務経験のある教員の有無	有
実務経験のある教員の経歴と授業内容	看護師としての病院における実務経験をもとに、看護実践の理論とその基盤となる概念について、具体例を挙げながら解説する。
学年	2学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 三木 園生	指定なし

授業の概要と教育目標

【授業概要】セルフケア論の概要と背景を理解することで、その成り立ちと看護への活用方法を学ぶ
【教育目標】健康の保持増進のための正しい知識を理解し自らの健康を守るという「セルフケア論」を理解する。本授業ではオレムの看護理論を中心にその理論的背景や概要を学ぶことでセルフケア論を理解する。

卒業認定・学位授与の方針との関連

ディプロマ・ポリシーとの関連は、さまざまな健康レベルや発達段階にある人々に対して行われる看護活動の展開の実際を通して看護職の役割や支援方法を理解することで目的達成に資する知識を養う。

到達目標

１．セルフケアの援助で必要とされる看護職の能力について理解できる。
２．セルフケアを促進するために必要な理論について理解できる。
３．事例演習を通してオレムの看護理論の活用方法を理解できる。

授業計画

	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習と そのために必要な時間
第1回	科目ガイダンス 看護理論の中におけるセルフケア論の位置づけ ・看護の本質と看護理論 ・各理論家における理論の紹介 ・各理論家における理論の中でのセルフケア論		【予習90分】「看護理論」について学んでおく【復習90分】1年次の資料を見直す

	・オレムセルフケア論について （セルフケア不足理論と看護システム）		
第2回	オレムの看護理論 ・セルフケア理論 ・セルフケア不足理論 ・看護システム理論		【予習90分】前回提示された1年次の資料を見直しておく【復習90分】配布資料を見直す
第3回	セルフケアとセルフマネジメント ・セルフマネジメントとは セルフケアの低下と再獲得 ・生命維持レベル、生活基本行動レベル、社会生活レベルのセルフケアの低下と再獲得		【予習90分】セルフケアが低下した状態とはどんなことを指すか？学んでおく 【復習90分】配布資料を見直す
第4回	セルフケアを目指す看護の実際① オレムの看護理論を理解しよう ・事例から考えるセルフケア支援 ・事例紹介 ・対象の把握 ・オレムの看護理論を使った看護計画（目標・計画）の立て方	オレムの看護理論を使って看護問題を考える	【予習90分】今までの授業内容について配布資料を確認しておく。【復習90分】本日の配布資料を見直す
第5回	セルフケアを目指す看護の実際② オレムの看護理論を理解しよう ・事例から考えるセルフケア支援 ・事例紹介 ・対象の把握 ・オレムの看護理論を使った看護計画（目標・計画）の立て方	オレムの看護理論を使って看護問題を考える	【予習90分】予告された事例について事前学習しておく【復習90分】配布資料を見直す
第6回	患者が持っているセルフケア能力に着目しよう ・ストレス・コーピング理論 ・ヘルスプロモーション理論 ・保健行動理論		【予習90分】セルフケアを促すためにどんな方法（どんな関わり方）があるか調べておく【復習90分】配布資料を見直す
第7回	まとめ ・今までの授業の振り返り 小テスト	小テストを受け知識の確認をする	【予習90分】今まで配布した資料を復習しておく【復習90分】講義資料を見直す
第8回	国家試験問題にTRY ・看護理論・セルフケア論に関する国家試験	セルフケア論、看護理論に関する国家試験問題	【予習90分】授業での配布資料を再確認しておく【復習90分】授業で説明した内

	を実際に説いてみよう 最終課題について	を解き、発表する	容について国家試験の勉強に活用できるようなノートを作成しておく。

教科書

指定する教科書は特にありません。
必要な教材は、授業資料として毎回配布します。

参考書

成人看護学(3)：セルフマネジメント 第3版 メディカ出版
オレムのセルフケアモデル 事例を用いた看護過程の展開［第2版］ ヌーヴェルヒロカワ
実践に生かす看護理論 城ケ端初子 サイオ出版
実習記録の書き方がわかる 看護過程展開ガイド 照林社

成績評価の方法・基準

単位認定：６０点以上
授業内の小テスト５０%、リアクションペーパー２０%、最終課題３０%を合計して評価します。
再試験は行いません。

課題等に対する
フィードバックの方法

毎回の授業をしっかり聞くことが大事です。
わからないことがあったら、授業後必ず質問をしてください。

履修のポイント

①看護理論は看護実践の道しるべとなるもので、さまざまな現象場面で揺るぎない考え方を示唆してくれます。積極的に授業に参加することで主体的に学び取って、自己の看護実践の礎にしていきましょう。②適宜、「リアクションペーパー」の提出を求めます。その日の授業内容に即した感想・意見・要望・質問などが書かれていることによって授業に出席したことを認めます。したがって白紙で提出された場合（出席証明にならない）や学籍番号と氏名が不一致の場合（個人の特定ができない）は「欠席扱い」となります。リアクションペーパーは決められた期限内のみ受領します。後日の提出はできません。

オフィス・アワー

在室時、適宜対応します。10号館2階 研究室7

科目区分

専門科目

当該授業科目の教育課程内での位置づけ

UK-C245

講義コード	10810001
講義名	クリティカルケア論
(副題)	【教職必修】
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	前期
講義区分	講義
基準単位数	1
代表曜日	木曜日
代表時限	１時限
必修/選択	選択
実務経験のある教員の有無	有
実務経験のある教員の経歴と授業内容	脳・神経疾患の急性期病棟の看護師として10年間勤務していた。生命を脅かす問題をもつ患者と、どうかかわるかについて具体的な事例を通して、学生がイメージできるように授業を進めていく。
学年	4学年

担当教員

職種	氏名	所属
教 員	◎ 髙橋 陽子	指定なし

授業の概要と教育目標

重症患者の多いクリティカルケア看護で最も重要なことは全身管理の知識とその応用方法である。特に中枢神経、呼吸、循環、水・電解質その他に関する最新理論・知識を深める。また、過大侵襲を受け、クリティカルな状態に陥った患者および家族に対して必要な看護とは何かを論理的、かつ潜在的問題を客観的に判断・解決する方法を学ぶ。
クリティカルケア看護の知識と実践能力を身につけることを教育目標とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

医療保健学部の方針のひとつである看護の基本精神・基礎技術を理した上で、さまざまな健康レベル、あらゆる発達段階における科学的知識を修得し、実践的な援助技術を修得していることが明示されている。このことを達成するために本論では、生命を脅かす問題をもつ患者を対象にクリィティカルケア看護に関する知識を習得し、実践的な技術を習得させることが医療保健学部の方針と関連することになる。

到達目標

・クリティカルケアについて理解できる
・クリティカルケアを必要とする患者家族のニーズが理解できる
・クリティカル患者のアセスメント、主要病態の特徴とケアが理解できる
・クリティカルケアの看護実践を支える理論的枠組みを説明できる

授業計画

	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	クリティカル看護のスペシャリストの役割をDVDから看護実践の本質を理解する	DVD鑑賞後、気づいたこと、感じたことなどをグループで議論し、クリティカルケア看護についてイメージ化する。	予習90分：看護とは何かを振り返る 復習90分：DVD鑑賞からレポートにまとめる
	・ICU患者の心理的な過		予習90分：P36～46を

第2回	程を理解する ・家族のニードを理解する	自分や身近な人の体験をグループで議論し、患者や家族のニードが理解できるようにする。	読んで授業に臨む 復習90分：配布資料と授業の内容を整理する
第3回	・臨床において原因を考える場合の思考法の特徴を理解する ・EBPとは何かを理解する	臨地実習の経験や事例をとおして、グループで議論し、EBPとは何かを深める。	予習90分：P50～59を読んで授業に臨む 復習90分：配布資料と授業の内容を整理する
第4回	中枢神経系・循環動態・呼吸器系のアセスメントの実際を理解する	意識レベルの見方について、事例をとおしてグループで議論する。	予習90分：P62～137を読んで授業に臨む 復習90分：配布資料と授業の内容を整理する
第5回	体液管理の基本と輸液療法について理解する		予習90分：P144～159を読んで授業に臨む 復習90分：配布資料と授業の内容を整理する
第6回	・安楽を確保することとの重要性を理解する ・適切な疼痛評価を理解する ・せん妄の特徴を理解する	DVD鑑賞後、せん妄ケアについてグループで議論する	予習90分：P164～190を読んで授業に臨む 復習90分：配布資料と授業の内容を整理する
第7回	・酸素療法の種類とそれぞれの種類の長所と短所を理解する ・自然呼吸と人工呼吸の違いを理解する ・調節呼吸の違いを理解する		予習90分：P196～243を読んで授業に臨む 復習90分：配布資料と授業の内容を整理する
第8回	・人工呼吸器関連肺炎(VAP)とは何かを知る ・人工呼吸器関連肺炎(VAP)の一般的な予防法を理解する		予習90分：P248～260を読んで授業に臨む 復習90分：配布資料と授業の内容を整理する

教科書

授業時に資料を配布する

参考書

・道叉元裕ら．クリィティカルケア看護学．医学書院・卯野木健．クリィティカルケア看護入門．学研メディカル秀潤社
・安酸史子ら．健康危機状況 ナーシング・グラフィカ．MCメディカ出版

成績評価の方法・基準

単位認定60点以上（定期試験100％）

課題等に対する
フィードバックの方法

レポートはコメントし返却する。

履修のポイント
臨床場面をイメージ化させながら、授業を進めていく。また国家試験に出るポイントもおさえる。
オフィス・アワー
授業日の授業開始前もしくは終了後に教室等で質問に応じます。
科目区分
専門科目
当該授業科目の教育課程内での位置づけ
UK-C260

講義コード	10820001
講義名	精神看護学概論
(副題)	【教職必修】
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	前期（重複②）
講義区分	講義
基準単位数	1
代表曜日	木曜日
代表時限	５時限
必修/選択	必修
実務経験のある教員の有無	有
実務経験のある教員の経歴と授業内容	看護師として精神科病院に勤務経験があり、実務経験をふまえ実践と理論を関連づけながら講義を展開する。
学年	2学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 片野 吉子	指定なし

授業の概要と教育目標

メンタルヘルスの現状から、さまざまな体験が人間の身体・精神、人間関係に影響をおよぼすことを理解する。精神に障がいのあるひとの治療の歴史を踏まえ、地域精神保健活動を推進していくうえでの精神看護師の役割と課題を見出す。

卒業認定・学位授与の方針との関連

医療保健学部看護学科のディプロマポリシーとの関連として、看護学の基礎となる健康の諸側面、こころのしくみと人格の発達、人間の精神の発達からこころのありようについて理解する。看護の倫理と人権擁護から医療における患者の権利について考え、行動できることを目指す。

到達目標

1.メンタルヘルスの現状から、現代社会のメンタルヘルスの課題と対策について考える。
2.精神機能および精神機能の障害から、こころの仕組みと働きを理解する。
3.ライフサイクルにおけるこころの危機とストレスを理解する。
4.地域精神保健看護から、生活を支えるための社会資源・サービスを考える。
5.精神に障がいのあるひとの精神保健から、リエゾン看護師の役割を理解する。

授業計画

	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	精神の健康 ・こころを病むとは ・精神機能と障害 ・入院	【アクティブラーニングの内容】 こころを病んだら、どのように感じるのか考え、どのような接し方がよいのかグループで話し合う。	予習（90分）：教科書を熟読する。 復習（90分）：①精神障がいとともに生きるということ、社会的入院、偏見について調べ学習ノートにまとめる。 ②入院形態について学習ノートにまとめる。

	形態		
第2回	こころの健康と不健康 ・ライフサイクルにおけるこころの健康と不健康 ・精神に障がいのあるひと・家族のこころの健康 ・こころの危機		予習（90分）：教科書を熟読する。 復習（90分）：人のこころを見る視点、こころの防衛機能、その危機の回復、ストレスと対処方法について調べ学習ノートにまとめる。
第3回	ライフサイクルと精神保健 ・こころのしくみと人格の発達 ・こころの危機とストレス・ﾗｲﾌｻｲｸﾙと発達段階・発達課題 ・エリクソン・ハヴィガースト・カプラン	【アクティブラーニングの内容】 ・グループ間で、ﾗｲﾌｻｲｸﾙ各期における特徴と危機について話し合う。 ・話し合った内容を発表し、その時期の必要な援助について考える。	予習（90分）：教科書を熟読する。 復習（90分）：①人間の成長発達やライフイベントに伴うストレスについて考え、メンタルヘルスに及ぼす影響について調べる。②家族とは何か、家族を見る視点、家族の在り方が精神に障がいのあるひとの治療に及ぼす影響について調べ学習ノートにまとめる。
	精神科医療看護の歴史・法律 ・精神		

第4回	に障がいのあるひとの治療の歴史 ・日本における精神医学・精神医療の流れ ・世界と日本におけるメンタルヘルスの現状		予習（90分）：教科書を熟読する。 復習（90分）：日本における精神医学・精神医療の流れについて調べ、日本の精神医療の現状と課題について考え、学習ノートにまとめる。
第5回	精神看護における人権ー看護倫理と法 ・精神看護における人権 ・看護倫理 ・安全管理		予習（90分）：教科書を熟読する。 復習（90分）：①精神看護に求められる安全管理、②精神医療におけるアドボカシーの必要性について考え、地域生活における権利擁護について学習ノートにまとめる。
第6回	リエゾン精神看護と看護者のメンタルヘルス ・リエゾン精神看護 ・看護師における感情労働 ・看護師のメンタルヘルス	【アクティブラーニングの内容】 事例を通して、共感から生じる効果やストレスについて考え、対象との対応に反映することができる。	予習（90分）：教科書を熟読する。 復習（90分）：精神科多職種連携と看護の役割について調べ学習ノートにまとめる。
	地域における精神保健と精神看護		

第7回	・地域精神保健活動 ・生活を支えるための社会資源・サービス ・リカバリ ・エンパワメント		予習（90分）：教科書を熟読する。 復習（90分）：①治療を継続するためのリハビリテーションの場、②生活を支えるための社会資源・サービス、③住むための施設、④働くための施設について調べ学習ノートにまとめる。
第8回	精神看護におけるケアの方法 ・治療的かかわり ・日常生活行動の援助 ・看護理論 ・ストレングスモデル	【アクティブラーニングの内容】 グループのメンバーの良いところを見出し、メンバーの良いところを認め、認めた強みをさらに効果的に発展させていくための声かけについて考える。	予習（90分）：教科書を熟読する。 復習（90分）：①精神看護とストレングス、②日常生活行動の援助のポイントについて学習ノートにまとめる。

教科書

精神看護学I 精神保健学 第6版 ヌーヴェルヒロカワ 2018
精神看護学II 精神臨床看護学 第6版 ヌーヴェルヒロカワ 2018

参考書

授業中に紹介します。

成績評価の方法・基準

筆記試験（60%）、課題提出（10%）、学習ノート提出（30%）による総合評価で60%以上を単位認定とします。

課題等に対する
フィードバックの方法

授業計画に示されている文献は必ず確認し、予習をして分からない部分は授業で解決するようにしてください。
学習ノートは提出後、コメントを記入して返却します。

履修のポイント

講義により、こころのしくみと働きを理解し精神に障がいのあるひとのメンタルヘルス上の課題について考えられるように授業を展開していきます。

オフィス・アワー

在室時、随時対応します。

科目区分
専門科目
当該授業科目の教育課程内での位置づけ
UK-R227

講義コード	10830001
講義名	精神看護方法
(副題)	【教職必修】
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	後期（重複②）
講義区分	演習
基準単位数	1
代表曜日	水曜日
代表時限	３時限
必修/選択	必修
実務経験のある教員の有無	有
実務経験のある教員の経歴と授業内容	看護師として精神科病院に勤務経験があり、実務経験をふまえ実践と理論を関連づけながら講義を展開する。
学年	2学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 片野 吉子	指定なし
教員	中村 郁美	指定なし

授業の概要と教育目標

精神に障がいのあるひとの特徴を知り、こころを病む人を理解する過程を理解し、治療ならびに看護を踏まえ、そのひとを支える社会資源の活用について学ぶ。
事例展開を通して、精神の健康課題に直面しているひととその家族のQOLを高める看護と展開方法を理解する。

卒業認定・学位授与の方針との関連

医療保健学部看護学科のディプロ・マポリシーとの関連として、看護の基本精神を理解し、精神に障がいのあるひとの健康レベル、人間の成長やライフステージにおけるメンタルヘルスの特徴を理解する。また、症状や状態によってもたらされる生活の変化の把握と治療、看護について理解することを目指すものとする。

到達目標

1. 精神に障がいのあるひとの特徴を理解する。
2. 精神に障がいのあるひとの治療と看護について理解する。
3. 精神科看護における看護師の役割を理解する。
4. 精神に障がいのあるひとのストレングス、課題から実現可能な看護計画が立案できる。

授業計画

	担当者	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	片野吉子	ケアの人間関係① ・ケアの原則 ・ケアの方法 ・患者ー看		予習（90分）：教科書を熟読する。 復習（90分）：①精神症状が対人関係に及ぼす影響、②看護師に求められるコミュニケーションについて学習ノートにまとめる。③精神科にお

		護師間でおこること		ける治療的環境について考える。
第2回	中村郁美	主な疾患と看護① (精神に障がいのあるひとの急性期から回復期、慢性期の看護) ・急性期、回復期、慢性期の看護		予習（90分）：教科書を熟読する。 復習（90分）：統合失調症の急性期、回復期、慢性期の看護について学習ノートにまとめる。
第3回	中村郁美	主な疾患と看護② （幻覚・妄想・意欲減退） ・幻覚・妄想・意欲減退にある患者の看護 ・陽性症状・陰性症状		予習（90分）：教科書を熟読する。 復習（90分）：幻覚・妄想・意欲減退にある患者の看護および陽性症状・陰性症状について学習ノートにまとめる。
第4回	中村郁美	主な疾患と看護③ (気分障害) ・気分障害にある患者の看護		予習（90分）：教科書を熟読する。 復習（90分）：気分障害にある患者の看護について学習ノートにまとめる。
第5回	中村郁美	主な疾患と看護④(依存) ・依存のある患者の看護		予習（90分）：教科書を熟読する。 復習（90分）：依存のある患者の看護について事後学習ノートにまとめる。
第6回	中村郁美	ケアの人間関係② 患者ー看護師関係 ・再構成・自己洞察 ・プロセスレコード	【アクティブラーニングの内容】 プロセスレコードの再構成から、自己の感情の動きに気づくことができる。	予習（90分）：教科書を熟読する。 復習（90分）：①自己の関りについて記録用紙に記入する。②プロセスレコードの再構成から、自己の性格特性や行動の傾向について振り返り課題を明らかにする。
第7回	片野吉子	精神看護における看護師の役割① 薬物療法・電気けいれん療法 ・薬物療法 ・電気けいれん療法		予習（90分）：教科書を熟読する。 復習（90分）：統合失調症、気分障害の薬物の作用・有害事象について学習ノートにまとめる。
		精神看護に		

第8回	片野吉子	おける看護師の役割② 行動制限と看護 ・行動制限・隔離・拘束 ・安全管理		予習（90分）：教科書を熟読する。 復習（90分）：①精神保健福祉法における入院形態、行動制限について、②精神科における安全管理、③精神医療における権利擁護について学習ノートにまとめる。
第9回	片野吉子	精神看護における看護師の役割③ ・精神精神科リハビリテーション療法・精神療法 ・精神科リハビリテーション・精神療法、 ・認知行動療法・作業療法・レクリエーション療法・生活技能訓 練（SST）		予習（90分）：教科書を熟読する。 復習（90分）：①リハビリテーションの概念、②個人精神療法、③認知行動療法、④集団精神療法、⑤作業療法、⑥生活技能訓練（SST）について学習ノートにまとめる。
第10回	片野吉子	精神看護における看護過程 情報収集・アセスメント・看護目標・看護計画の立案・評価・修正		予習（90分）：教科書を熟読する。 復習（90分）：精神看護に求められる観察項目、アセスメントの視点およびストレングスについて学習ノートにまとめる。
第11回	片野吉子	看護過程の展開①（統合失調症：慢性期） ・看護過程の展開（個人ワーク）	【アクティブラーニングの内容】看護過程の展開（個人ワーク）アセスメントガイドを参照にして、事例を読み解きアセスメントを行う。	予習（90分）：精神看護における看護過程における資料を熟読する。 復習（120分）：統合失調症：慢性期における看護過程の展開を実施する。
第12回	片野吉子	看護過程の展開②（統合失調症：慢性期） ・看護過程の展開（個人ワーク）	【アクティブラーニングの内容】看護過程の展開（個人ワーク）アセスメントガイドを参照にして、事例を読み解きアセスメントを行う。	予習（90分）：精神看護における看護過程における資料を熟読する。 復習（120分）：統合失調症：慢性期における看護過程の展開を実施する。
		看護過程の展開③（統合失調	【アクティブラーニングの内	予習（90分）：精神看護にお

第13回	片野吉子	症：慢性期） ・看護過程の展開（グループワーク・発表）	容】看護過程の展開（グループワーク・発表）個人で導き出したアセスメントをもとに、グループ間でディスカッションし、ワークシートに追加する。	ける看護過程における資料を熟読する。 復習（120分）統合失調症：慢性期における看護過程の展開を実施する。
第14回	片野吉子	看護過程の展開④（統合失調症：慢性期） ・看護過程の展開（グループワーク・修正）	【アクティブラーニングの内容】看護過程の展開（グループワーク・修正）個人で導き出したアセスメントをもとに、グループ間でディスカッションし、ワークシートに追加・修正を行う。	予習（60分）：精神看護における看護過程における資料を熟読する。 復習（120分）：統合失調症：慢性期における看護過程について、グループメンバーの発表を聞き、自己の内容を追加・修正する。
第15回	片野吉子	精神保健活動とリハビリテーション 精神に障がいのあるひとの体験（当事者） ・当事者としてのピアカウンセラー		予習（90分）：教科書を熟読する。 復習（90分）：①精神科チーム医療について、②社会資源、③ピアサポート について学習ノートにまとめる。

教科書

精神看護学I 精神保健学 第6版 ヌーヴェルヒロカワ 2018
精神看護学II 精神臨床看護学 第6版 ヌーヴェルヒロカワ 2018

参考書

授業中に紹介します。

成績評価の方法・基準

単位認定：60点以上
筆記試験（50%）、課題レポート（30%）、学習ノート提出（20%）による総合評価で60%以上を単位認定とします。

課題等に対する
フィードバックの方法

課題レポート、学習ノートは提出後、コメントを記入して返却します。
精神看護学演習、精神看護学実習の基盤となる知識であるため、配布資料やテキストの熟読を勧めます。

履修のポイント

精神看護学演習、精神看護学実習の基盤となる知識であるため、配布資料やテキストの熟読を予習・復習として勧めます。

オフィス・アワー

在室時、随時対応します。

科目区分

専門科目

当該授業科目の教育課程内での位置づけ

UK-R246

講義コード	10840001
講義名	精神看護学実習
(副題)	
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	通年
講義区分	実験・実習
基準単位数	2
代表曜日	
代表時限	
必修/選択	必修
実務経験のある教員の有無	有
実務経験のある教員の経歴と授業内容	看護師として精神科病院に勤務経験があり、実務経験をふまえ実践と理論を関連づけながら実習指導を行う。
学年	3学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 片野 吉子	指定なし
教員	中村 郁美	指定なし

授業の概要と教育目標

精神に障がいのあるひとの看護を実践できるよう既習の知識を統合し、対象の望む「生活」や「生き方」につながる支援について学ぶことができる。
さらに、多職種連携について考え、対象が地域で生活を営む上での必要な支援について理解を深める。

卒業認定・学位授与の方針との関連

医療保健学科のディプロマポリシーの関連として、社会・環境・コミュニケーションなどの諸側面から精神に障がいを持つひとの理解につなげることができる。臨地実習において看護の基本精神・基礎技術を理解した上で、さまざまな健康レベル、あらゆる発達段階における科学的知識、実践可能な援助技術を既習の学習と統合し実践することができる。さらに、臨床現場でチーム医療の一員として、調整能力及び問題解決する能力を養うことを目指す。

到達目標

1. 対象の尊厳や人権を尊重し、安心して生活できる環境調整について理解できる。
2. 対象との関わりを通して自己洞察を深め、対人関係の構築ができる。
3. 対象の現在に至るまでの状況を理解し、対象のストレングスを見出すことができる。
4. 対象が安全・安寧に生活が送れるように自律（立）に向けた援助が実践できる。
5. 保健医療福祉のチームの一員として地域で生活する対象の支援について考える。

授業計画

	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間
	1日目（学内・臨地） 1）対象の尊厳や人権を尊重し、安心	①対象の症状が入院形態、処遇に与える影響について考える。	・実習記録に

第1回	して生活できる環境調整について理解できる。	②精神科における安全管理について ③治療的環境について考える。	記入する。
第2回	2日目（臨地） 1）対象との関わりを通して自己洞察を深め、対人関係の構築ができる。	①プロセスレコードによる再構成の実施から対象とのかかわりにつなげることができる。 ②対象の状況に即したコミュニケーションがとれる。	・実習記録に記入する。
第3回	3日目（臨地） 1）対象の現在に至るまでの状況を理解し、対象のストレングスを見出すことができる。 2）対象の処遇、隔離室の見学・身体拘束体験から安全と人権についてグループ間でディスカッションできる。	①ﾗｲﾌｻｲｸﾙ・発達課題（達成・未達成状況）が分かる。 ②対象の価値観や考えを尊重できる。 ③対象の日常生活の状況や治療への取り組みから、実現可能な目標・計画を相談しながら立案できる。 ④隔離室の見学・身体拘束体験から安全と人権について考える。	・実習記録に記入する。
第4回	4日目（臨地） 1）対象の背景から、現在に至るまでの状況を理解し、対象の生活を支えるストレングスを見出すことができる。 2）対象の処遇、隔離室・身体拘束体の見学から安全と人権についてグループ間でディスカッションできる。	①対象の日常生活の状況や治療への取り組みから、実現可能な目標・計画を相談しながら立案できる。 ②カンファレンスで意見交換を行い、計画の妥当性について検討する。	・実習記録に記入する。
第5回	5日目 （学内）	①「安全と人権について」合同カンファレンスを行う。 ②対象の情報整理 ③看護援助に必要な知識・技術の補足 ④翌週の実習計画作成	・実習記録に記入する。
第6回	6日目（臨地） 1）対象が安全・安寧に生活が送れるように自律（立）に向けた援助が実践できる。	①立案した計画を対象とともに実践し、対象の思いを尊重できる。 ②対象とのかかわりから、対象の状況に即した看護を展開する。 ③対象とともに計画を振り返る。	・実習記録に記入する。
第7回	7日目（臨地） 1）対象自らが安全・安寧に生活が送れるように自律（立）に向けた援助が実践できる。	①立案した計画を対象とともに実践し、対象の思いを尊重できる。 ②対象とのかかわりから、対象の状況に即した看護を展開する。 ③対象とともに計画を振り返る。 ④対象のストレングスが維持・継続できる計画立案を修正ができる。	・実習記録に記入する。
第8回	8日目（臨地） 1）保健医療福祉のチームの一員として地域で生活する対象の支援について考える。	①利用者が地域で生活するために必要な保健医療福祉サービスについて考えられる。 ②精神に障がいのあるひとが地域で暮らすための支援について、論点を明確にレポートにまとめられる。 ③多職種の連携から、職種間の連携の必要性について考えられる。	・実習記録に記入する。

第9回	9日目（臨地） 1）対象が安全・安寧に生活が送れるように自律（立）に向けた援助が実践できる。	①対象とのかかわりから、対象の状況に即した看護を展開する。 ②対象とともに計画を振り返る。 ③対象とともに計画を評価する。 ④対象のストレングスが維持・継続できる計画立案を修正ができる。	・実習記録に記入する。
第10回	10日目（学内） 1）実習のまとめ	①面接およびまとめ ②レポート課題 「精神看護学実習で感じたこと・考えたこと」 ③記録のまとめ	・実習記録に記入する。

教科書

精神看護学I 精神保健学 第6版 ヌーヴェルヒロカワ 2018
精神看護学II 精神臨床看護学 第6版 ヌーヴェルヒロカワ 2018

参考書

実習中に紹介します。

成績評価の方法・基準

単位認定：60%以上
学習状況、実習状況、記録物、出席状況等をもとに、実習目標の到達度を評価基準を用いて評価します。

課題等に対する
フィードバックの方法

実習記録にコメントを随時入れます。

履修のポイント

1.実習要項を参照に実習に臨んでください。
2.対象の個人情報の取り扱いには注意してください。
3.学内で学んできたことを活かし、精神に障がいのあるひととの関わりをとおして積極的に学習に取り組んでください。
4.一つひとつの事柄に対して自己の知識や感情・思考・行動の傾向を確認し、自己の在り方を考える機会としてください。
5.体調管理をして実習に臨んでください。

オフィス・アワー

臨地および学内にて、随時対応します。

科目区分

専門科目

当該授業科目の教育課程内での位置づけ

UK-R255

講義コード	10850001
講義名	高齢期看護学概論
(副題)	
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	前期
講義区分	講義
基準単位数	1
代表曜日	水曜日
代表時限	３時限
必修/選択	必修
実務経験のある教員の有無	有
実務経験のある教員の経歴と授業内容	看護師の臨床経験を活かしてテキストに沿った集中講義を展開していく
学年	2学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 田中 光子	指定なし

授業の概要と教育目標

人生100年時代と言われるようになった昨今、目まぐるしく変わる社会状況の中で心身ともにその人らしく生きていく援助をいかに行うのか、熟慮する必要がある。高齢期看護学を学ぶ若い人にとっては、ジェネレーションギャップも手伝い、高齢者について理解を得難いこともあることと思う。しかしケアをされる関係性においては、経験を積み重ねた人々が持つ寛容性に助けられながら、援助者として成長することが大いに期待できるので躊躇わないでほしい。
「老いを支える」看護とはどのようなことなのか。今授業では、高齢者の自我発達を基本において、
1. 「健やかに老い、安らかな永眠」を支える
2. 尊厳ある看護と看取り
3. 生かし生かされる地域づくり
に着眼した講義を展開したいと考える。

卒業認定・学位授与の方針との関連

本学看護学科のデイプロマ・ポリシーである「看護学の基礎となる、人体のしくみ、健康諸側面、健康生活社会との関係について理解している。さらに医療者としての必要な倫理、守るべき法令を理解しそれに沿って行動ができる」および「看護の基本精神・基礎技術を理解した上で、さまざまな健康レベル、あらゆる発達段階における科学的知識を習得し、実践的な援助技術を習得している」の項目に則って、高齢期看護学の概論的な学修を目指す。

到達目標

1. 高齢期看護の対象特性として、生物学的な老化とその主観的意味を意味を理解して、高齢者政策などの社会的な変化の中での高齢者をとらえることができる
2. 人生が凝縮された高齢者の、多様性および個別性を受け止めていく視点を理解することができる
3. 高齢者を常に環境との相互関連がある存在としてとらえ、個別性だけではなく家族へのケア更には、地域包括的観点からもケアを発展していくことへの意識を持つことができる。

授業計画

	担当	授業内容と方	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要

	者	法、課題		な時間
第1回	田中光子	I高齢者看護学を理解するための基盤１ 1. 「老い」の意味 2. 高齢期の理解	隣近所の人たちと老いについて話し合ってみよう。	予習：75分テキスト 第1章1・2を読む 復習：90分配布資料とテキストの確認
第2回	田中光子	I高齢期看護学を理解するための基盤2 1. 高齢者を取り巻く社会制度2. 高齢期の理解 ・目で見る高齢者の推移 ・高齢者の療養生活と医療生活 ・最新の高齢者の福祉施策 2. 高齢者の権利擁護 ・高齢者の虐待防止 ・成年後見制度 ・差別 ・身体拘束		予習：75分テキスト第1章３を読む 復習：90分配布資料とテキストの確認
第3回	田中光子	II高齢者看護の理念と目標 －1.高齢者看護の理念とは －2 高齢者看護の目標 III高齢者看護の対象となる人々の特徴1 －1.対象の特性をしる －2.対象理解する	身近な高齢者の人を思い起こし、特徴を書き出してみよう！	予習：75分テキスト第2章・第3章1を読む 復習：90分配布資料とテキストの確認
第4回	田中光子	III高齢者看護の対象となる人々の特徴2 1.高齢者の身体的機能を知ろう 2.高齢者の心について知ろう 3.高齢者のかかわりについて 4.高齢者のくらしについて理解しよう		予習：75分テキスト 第3章2～6を読む 復習：90分配布資料とテキストの確認
	田	III高齢者看護の対象となる人々の特徴 1. 高齢者の生き		予習：75分テキスト 第3章7・8・9を

第5回	中光子	がい 2．高齢者の人生史 3．事例にみる高齢者理解の発展	自分の人生史を作成してみよう！ （未来は夢や目標・希望にする）	読む 復習：90分配布資料とテキストの確認
第6回	田中光子	IV高齢看護学に勝つよいうできる理論 1．健康の概念 2．セルフケア 3．サクセスエイジング 4．ウエルネスアプローチ 5．コンフォートケア 6．レジリエンス 7．エンパワメント	看護師役と患者役及び傍観者の3人組になる。事例をもとにコンフォート理論に準じたロールプレイを展開する。	予習：75分テキスト 第4章1～8を読む 復習：90分配布資料とテキストの確認
第7回	田中光子	V健やかに老い安らかに永眠するを支える看護 1．老いることと死ぬことの意味の備え 2．「豊かな生」の創出	自分の理想とする生活史を描いてみよう！！	予習：75分テキスト第5章を読む 復習：90分 第4章配布資料とテキストの確認
第8回	田中光子	VI高齢者の健康生活の支援 1．高齢者の健康生活維持の支援 ・高齢者の多様な健康生活 ・健康生活維持への支援 2．これまでの振り返り		予習：75分テキスト代6章を読む 復習：90分配布資料とテキストの確認

教科書

老年看護学概論 「老いを生きる」を支えることとは 南江堂 編集：正木治恵・真田弘美

成績評価の方法・基準

単位認定60点以上 筆記テスト100％（授業参加率も加味する）

課題等に対する
フィードバックの方法

提出されたリアクションーペーパーは添削して返却する。

履修のポイント

積極的に授業参加する。他人への迷惑行為はしない。教科書に目を通す。

オフィス・アワー

臨地実習日以外の学内日で授業以外。9：20～16：30 10号館 田中研究室

科目区分

専門科目
当該授業科目の教育課程内での位置づけ
UK-R238

講義コード	10860001
講義名	高齢期看護方法
(副題)	
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	後期
講義区分	演習
基準単位数	2
代表曜日	木曜日
代表時限	１時限
必修/選択	必修
実務経験のある教員の有無	有
実務経験のある教員の経歴と授業内容	看護師の臨床経験を活かしてテキストに沿った集中講義を展開していく
学年	2学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 田中 光子	指定なし

授業の概要と教育目標

老年期にある対象の特徴が基盤となるので十分に理解を深めたうえで、高齢者へのアセスメントの視点を身体・精神・心理・社会面からとらえる。高齢者における生活の場を把握し、高齢者特有の疾患および具体的な看護展開の方法について理解を深めることを目標とする。また、高齢者と社会保障、高齢者を支える医療連携について知識を習得することを目指す。

卒業認定・学位授与の方針との関連

医療保健学部看護学科ディプロマ・ポリシーに関連して看護の基本精神・基本技術を理解した上で、様々な健康レベル、高齢期の発達段階における科学的知識を習得し、実践的な援助技術の学修となることを目指す。

到達目標

1.高齢者に劣っての生活および療養の場における看護の展開について習得する。
2. 高齢者の健康逸脱からの回復などを支える看護について検討ができる。
3. 高齢者を支える多職種チーム医療について把握する。

授業計画

	担当者	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	田中光子	現代の高齢者とその理解1 A.高齢者の発達的特徴 ・老化とは ・老年期の発達と成長 B.高齢者と環境 ・環境に対する反応 ・高齢者を取り巻く社会的環境	隣席付近4～5名で老化と加齢の相違を相互に意見を出し合う。 何名かの学生に発表をしてもらい共有する。	予習90分：テキスト第1章をP.1～5をよく読む。 復習90分：配布資料などを読み返す。

第2回	田中光子	現代の高齢者とその理解2 C.高齢者の健康 ・生活不活発病 ・老年症候群 ・老年病	隣席付近4～5名で、今の学生の立場からとらえる高齢者についてブレーンストーミングで意見を出し合う。その後発表してもらうが、なぜそのように思っているのかを答えて、意見の共有をする。	予習90分：テキスト第1章P.6～16をよく読む。 復習90分：配布資料などを読み返す。
第3回	田中光子	老年看護の基本技術1 A.ヘルスアセスメントとは ・老年看護におけるヘルスアセスメントの意義 ・高齢者の示す症状の特徴		予習90分：テキスト第2章P.17～28をよく読む。 復習90分：配布資料などを読み返す。
第4回	田中光子	老年看護の基本技術2 B.ヘルスアセスメントの実際 ・高齢者への面接のすすめ方 ・面接の構造と老年看護におけるポイント ・身体所見の取り方と老年看護におけるポイント ・看護問題の確定と看護計画の立案 ・高齢者総合機能評価	隣席者と2人ひと組になり教員が示す事例に従って、看護師役と患者役に分かれ、看護師が目の前にいる患者役の学生をアセスメントする。	予習90分：テキスト第2章P.17～28をよく読む。 復習90分：配布資料などを読み返す。
第5回	田中光子	高齢者の生活と看護1 1．呼吸 A.基礎知識 ・高齢者の呼吸の特徴・呼吸機能に影響する要因 B.看護実践の展開 ・看護技術が高齢者に及ぼす影響 【アクティブラーニング】 テキストP.35～39を参考にして呼吸に関するアセスメント・目標・介入・評価の留意点をワークシートに書き出す。 2．食事 A.基礎知識の確認 ・高齢者における食事とは ・高齢者の摂取機能の特徴 ・高齢者の摂取機能に影響する要因 B.看護実践の展開	テキストP.43～46を参考にして食事に関するアセスメント・目標・介入・評価の留意点をワークシートに書き出す。	予習90分：テキスト第3章P.29～48をよく読む。 復習90：テキストを読み返す。

第6回	田中光子	高齢者の生活と看護2 3－1．排泄 A.排尿における基礎知識 ・高齢者の株尿路の特徴・機能障害を起こす要因 B.看護実践の展開 3－2．排便 A.基礎知識 ・高齢者の直腸・校門の特徴・排便機能障害の要因 B.看護実践の展開	テキストP.52～56を参考にして排尿に関するアセスメント・目標・介入・評価の留意点をワークシートに書き出す。 テキストP.59～62を参考にして排便に関するアセスメント・目標・介入・評価の留意点をワークシートに書き出す。	予習90分：テキスト第3章P.49～62をよく読む。 復習90分：テキストおよび配布資料を読み返す。
第7回	田中光子	高齢者の生活と看護3 4．動作と移動 A.基礎知識 ・高齢者の動作と移動の特徴・能力に影響する要因 B.看護実践の展開 ・看護技術が高齢者に及ぼす影響 5．睡眠 A.基礎知識 ・高齢者の睡眠の特徴・睡眠に影響する要因 B.看護の展開 ・看護技術が高齢者に及ぼす影響	テキストP.43～46を参考にして動作に関するアセスメント・目標・介入・評価の留意点をワークシートに書き出す。 ・順次高齢者体験セットを装着し、高齢者の疑似体験を行う。それをもとに看護展開の留意点をワークシートに書き出す。 テキストP.85～88を参考にして睡眠に関するアセスメント・目標・介入・評価の留意点をワークシートに書き出す。	予習90分：テキスト第3章P.64～89をよく読む 復習：90分：テキストおよび配布資料を読み返す。
第8回	田中光子	高齢者の生活と看護4 6．体温 A.基礎知識 ・高齢者の体温調節の特徴 B..看護実践の展開 ・看護技術が高齢者に及ぼす影響 7.清潔 A.基礎知識 高齢齢者における皮膚の清潔・特徴・皮膚保護機能に影響する要因 B.看護の展開 ・看護技術が高齢者に及ぼす影響	テキストP.93～95を参考にして体温に関するアセスメント・目標・介入・評価の留意点をワークシートに書き出す。 テキストP.101～103を参考にして皮膚保護に関するアセスメント・目標・介入・評価の留意点をワークシートに書き出す。	予習90分：テキスト 第3章P.90～105をよく読む 復習90分：テキストおよび配布資料を読み返す。
	田	高齢者の生活と看護5 8．コミュニケーション A.基礎知識 ・高齢者コミュニケーションの特徴・影響を及ぼす要因 B.看護の展開	テキストP.110～115を参考にしてコミュニケーションに関するアセ	予習90分：テキスト 第3章P.106～124を

第9回	中光子	・看護技術が高齢者に及ぼす影響 9. 性 A.基礎知識 ・高齢者の性の特徴・性機能に影響する要因 B.B.看護の展開 ・看護技術が高齢者に及ぼす影響	スメント・目標・介入・評価の留意点をワークシートに書き出す。	よく読む 復習90分：テキストおよび配布資料を読み返す。
第10回	田中光子	高齢者の生活と看護6	・高齢者看護に関する映像を視聴する 視聴した映像を参考にして、改めて高齢者看護について自分の意見を書いて提出する。	予習90分：テキスト第1～3章を読見直す 復習90分：本日の講義を振り返り高齢者看護について考える
第11回	田中光子	高齢者に特徴的な症状と看護1 1.起立・歩行障害 A.基礎知識 定義・疫学・病態と生理学的特徴など B.看護実践の展開 ・起立・歩行障害の予防と改善 2. 感覚機能障害 A.基礎知識 ・定義・疫学・病態と生理学的特徴など B.看護実践の展開 ・白内障・老人性難聴の予防・治す	テキストP.143演習①を各自解いてみよう。 テキストP.156演習②を各自解いてみよう。	予習90分：テキスト 第4章P.125～156までよく読む 復習90分：テキスト及び配布資料を読み返す
第12回	田中光子	高齢者に特徴的な症状と看護2 3.接触・嚥下障害 A.基礎知識 定義・疫学・病態と生理学的特徴など B.看護実践の展開 ・摂食・嚥下障害を予防・治す 4. 脱水 A.基礎知識 定義・疫学・病態と生理学的特徴など B.看護実践の展開 ・脱水を予防・治す	テキストP.166演習③を各自で解いてみよう テキストP.176演習④を各自で解いてみよう	予習90分：テキスト第4章P.147 ～177までよく読む 復習90分：テキスト及び配布資料を読み返す
	田中	高齢者に特徴的な症状と看護3 5. 低栄養 A.基礎知識 定義・疫学・病態と生理学的特徴など B.看護実践の展開 ・低栄養を予防・治	テキストP.187演習⑤を各自で解いてみよう	予習90分：テキスト 第4章P.178～198ま

第13回	光子	す 6．皮膚掻痒感 A.基礎知識 定義・疫学・病態と生理学的特徴など B.看護実践の展開 皮膚掻痒症を予防・治す	テキストP.198演習⑥を各自で解いてみよう	でよく読む 復習90分：テキスト及び配布資料を読み返す
第14回	田中光子	7．高齢者に特徴的な症状と看護4 ．痛み A.基礎知識 定義・疫学・病態と生理学的特徴など B.看護実践の展開 痛みを予防・緩和する 8．褥瘡 A.基礎知識 定義・疫学・病態と生理的特徴など B.看護実践の展開 ・褥瘡をよぼう・直す	テキストP.210演習⑦を各自で解いてみよう テキストP.225演習⑧を各自で解いてみよう	予習90分：テキスト 第4章P.199～225までよく読む 復習90分：テキスト及び配布資料を読み返す
第15回	田中光子	高齢者に特徴的な症状と看護5 9．尿失禁 A.基礎知識 定義・疫学・病態と生理的特徴など B.看護実践の展開 ・尿失禁を予防・改善する 10便秘・下痢 A.基礎知識 定義・疫学・病態と生理的特徴など B.看護実践の展開 ・便秘・下痢を予防する・治す	テキストP.234演習⑨を各自で解いてみよう テキストP.演習10を各自で解いてみよう	予習90分：テキスト 第4章P.225～245までよく読む 復習90分：テキスト及び配布資料を読み返す
第16回	田中光子	高齢者に特徴的な症状と看護6 11．不眠 A.基礎知識 定義・疫学・病態と生理的特徴など B.看護実践の展開 ・不眠の予防・治す １２．うつ A.基礎知識 定義・疫学・病態と生理的特徴など B.看護実践の展開 うつ病性障害を予防・治す	テキストP.255演習⑪、⑫を各自で解いてみよう テキストP.265演習⑬を各自で解いてみよう	予習90分：テキスト 第4章P246～265までよく読む 復習90分：テキスト及び配布資料を読み返す

第17回	田中光子	高齢者に特徴的な症状と看護7 13．ねたきり A.基礎知識 定義・疫学・病態と生理的特徴など B.看護実践の展開 ・寝たきりを予防・治す 14．せん妄 A.基礎知識 定義・疫学・病態と生理的特徴など B.看護実践の展開 ・せん妄を予防・治す	・安楽な体位について演習（高齢期・在宅演習室） テキストP.275演習⑬を各自で解いてみよう テキストP.283演習⑮を各自で解いてみよう	予習90分：テキスト 第4章P.267～284までよく読む 復習90分：テキスト及び配布資料を読み返す
第18回	田中光子	高齢者に特徴的な症状と看護8 15．転倒 A.基礎知識 定義・疫学・病態と生理的特徴など B.看護実践の展開 ・病院・施設入所者の店頭を予防する・ ・転倒発生時のケア ・再転倒の予防 16．骨折 A.基礎知識 定義・疫学・病態と生理的特徴など B.看護実践の展開 ・骨折を予防する・直す	テキストP.293演習⑯、P.303演習⑰を各自で解いてみよう	予習90分：テキスト 第4章P.285～304までよく読む 復習90分：テキスト及び配布資料を読み返す
第19回	田中光子	高齢者に特徴的な症状と看護9 17．感染症 A.基礎知識 定義・疫学・病態と生理的特徴など B.看護実践の展開 各感染症発生時の看護における留意点 ・高齢者に特徴的な症状と看護におけるまとめ	テキストP.316演習⑱を各自で解いてみよう 講義に出てこなかった症状について各自調べてみる。	予習90分：テキスト 第4章P.305～317までよく読む 復習90分：テキスト及び配布資料を読み返す
第20回	田中光子	高齢者に特徴的な疾患と看護1 1．急性期の看護 ・急性期から症状安定期までの看護のDVDを視聴	DVD視聴 DVD視聴後、テキストP.320～332の事例を読んで高齢者の急性期看護のポイントを書き出す。	予習90分：テキスト 第4章P.319～332までよく読む 復習90分：テキスト及び配布資料を読み返す
		高齢者に特徴的な疾		予習90分：テキスト

第21回	田中光子	患と看護2 2. 回復期リハビリテーションから在宅にむけての看護 のDVDを視聴する	テキストP.333～343の事例を読んで高齢者のリハビリテーション看護のポイントを書き出す。	第4章P.333～343までよく読む 復習90分：テキスト及び配布資料を読み返す
第22回	田中光子	高齢者に特徴的な疾患と看護3 3. 認知機能障害の看護 ・認知症の種類と病態 ・アルツハイマー病の看護高齢者に特徴的な疾患と看護3-①	ユマニチュード看護のDVDを視聴しリアクションペーパーを提出する。	予習90分：テキスト 第5章P.357～374までよく読む 復習90分：テキスト及び配布資料を読み返す
第23回	田中光子	高齢者に特徴的な疾患と看護3-① ・高齢者紙上事例より看護過程を展開する。	紙上事例を読み実際に看護過程を展開する	予習90分：これまでのまでのテキストをよみ返す 復習90分：テキスト及び配布資料を読み返す
第24回	田中光子	高齢者に特徴的な疾患と看護3-② ・高齢者紙上事例より看護過程を展開する。	紙上事例を読み実際に看護過程を展開する	予習90分：これまでのまでのテキストをよみ返す 復習90分：テキスト及び配布資料を読み返す
第25回	田中光子	高齢者に特徴的な疾患と看護3-③ ・高齢者紙上事例より看護過程を展開する。	紙上事例を読み実際に看護過程を展開する	予習90分：これまでのまでのテキストをよみ返す 復習90分：テキスト及び配布資料を読み返す
第26回	田中光子	高齢者に特徴的な疾患と看護3-④ ・高齢者紙上事例より看護過程を展開する。	紙上事例を読み実際に看護過程を展開する	予習90分：これまでのまでのテキストをよみ返す 復習90分：テキスト及び配布資料を読み返す
第27回	田中光子	高齢者に特徴的な疾患と看護3-⑤ ・高齢者紙上事例より看護過程を展開する。	紙上事例を読み実際に看護過程を展開する	予習90分：これまでのまでのテキストをよみ返す 復習90分：テキスト及び配布資料を読み返す
第28回	田中光子	高齢者に特徴的な疾患と看護3-⑥ ・高齢者紙上事例より看護過程を展開する。	紙上事例を読み実際に看護過程を展開する	予習90分：これまでのまでのテキストをよみ返す 復習90分：テキスト及び配布資料を読み返す
第29回	田中光	高齢者に特徴的な疾患と看護3-⑦ ・高齢者紙上事例よ	紙上事例を読み実際に看護過程を展開する	予習90分：これまでのまでのテキストをよみ返す 復習90分：テキス

	子	り看護過程を展開する。		ト及び配布資料を読み返す
第30回	田中光子	高齢者に特徴的な疾患と看護3-⑧ ・高齢者紙上事例より看護過程を展開する。 高齢期看護方法論演習のまとめ	紙上事例を読み実際に看護過程を展開する。要提出。	予習90分：これまでのまでのテキストをよみ返す 復習90分：テキスト及び配布資料を読み返す

教科書
看護学テキストナイス 老年看護学技術 真田弘美 編集 南江堂
参考書
系統看護学講座 老年看護学 医学書院
成績評価の方法・基準
単位認定60点以上。筆記試験60%、演習課題記録40%
課題等に対する フィードバックの方法
授業内で課題を出すので返却後学習の参考にする。また、演習時は随時質疑応答体制をとるので、学習の理解につなげてほしい。
履修のポイント
授業への積極的な姿勢を期待します。
オフィス・アワー
研究室所在時に対応します。
科目区分
専門科目
当該授業科目の教育課程内での位置づけ
UK-R247

講義コード	10870001
講義名	高齢期看護学実習I
(副題)	
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	後期
講義区分	実験・実習
基準単位数	1
代表曜日	
代表時限	
必修/選択	必修
実務経験のある教員の有無	有
実務経験のある教員の経歴と授業内容	高齢者看護の臨床経験を活かした事前オリエンテーションを行う
学年	2学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 田中 光子	指定なし

授業の概要と教育目標

地域で生活している健康寿命を維持している高齢者とふれあい、客観的QOL（身体的状態・家庭・社会的状態など）と主観的QOL（高齢者自身の主観的満足感・生きがいなど）の両面を把握する。また高齢者のその人らしさ（個別性）・エンパワメント・生きる価値観を知ることで、医療倫理面の原則で重要な自己決定権の必要性を把握する。この2点の理解を深めることを目標とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

医療保健学部看護学科のディプロマ・ポリシーとの関連において、人間に対して社会・環境・コミュニケーションの諸側面から、社会に貢献してきた高齢者の理解を深めることを目指すものとする。

到達目標

1. 高齢期にある人の生活史を理解する。
2. 高齢期にある人の生活状態を理解する。
3. 高齢期にある人の健康状態と健康増進への取り組みについて理解する。
4. 高齢者への社会支援の役割を理解する。
5. 高齢者の個別性を理解する。

授業計画

	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	学内実習	オリエンテーションを受け、グループ別に課題演習に取り組む。不明な点は各グループで調べ解明につなげる。臨地で明らかにした事象を抽出しておく。	予習90分：実習要綱の確認。復習90分高齢期看護学方法論配布資料の確認をする。テキストを読む。
		地域の高齢者の活動、コミュニケーションを	予習90分：実習要綱の確認。

第2回	臨地実習	通して高齢期にある人の生活史、生活状態、健康状態と健康増進への理解を深める取り組みをする。	復習90分高齢期看護学方法論配布資料の確認をする。テキストを読む。
第3回	臨地実習	1．デイサービスおよびデイケアを利用している高齢者の健康状態や生活状況を把握し理解を深める。 2．デイサービスおよびデイケアの役割について理解を深め、高齢者の通所目的を知り理解を深める。 3．アクティビティケアに参加し観察を行う。	予習90分：実習要綱の確認。 復習90分高齢期看護学方法論配布資料の確認をする。テキストを読む。
第4回	臨地実習	1．デイサービスおよびデイケアを利用している高齢者の健康状態や生活状況を把握し理解を深める。 2．デイサービスおよびデイケアの役割について理解を深め、高齢者の通所目的を知る。 3．アクティビティケアに参加し観察を行う。	予習90分：実習要綱の確認。 復習90分高齢期看護学方法論配布資料の確認をする。テキストを読む。
第5回	学内実習	グループ別演習・実習のまとめを行う。	復習90分：5日間の実習を振り返り疑問個所は解決するように調べておく。

教科書
看護学テキストナイス 老年看護学技術 真田弘美編集 南江堂
参考書
適宜紹介する。
成績評価の方法・基準
単位認定60点以上。実習評価・実習態度・指導者評価を総合的に判断する。
課題等に対する フィードバックの方法
提出記録内において添削後返却する。
履修のポイント
実習への積極的な取り組みを期待する。
オフィス・アワー
学内日の昼休み時間および10号館田中研究室所在時。
科目区分
専門科目
当該授業科目の教育課程内での位置づけ
UK-R256

講義コード	10880001
講義名	高齢期看護学実習II
(副題)	
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	通年
講義区分	実験・実習
基準単位数	2
代表曜日	
代表時限	
必修/選択	必修
実務経験のある教員の有無	有
実務経験のある教員の経歴と授業内容	高齢者看護の臨床経験を活かした臨地における指導を行っていく
学年	3学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 田中 光子	指定なし

授業の概要と教育目標

健康障害をもつ高齢者を受け持ち看護過程を展開する。高齢者にとっての健康障害の状況や生活機能障害の状況を踏まえたうえで、個別性のある看護計画を立案し、実施・評価・修正をする。高齢者への看護実践を通して、高齢者の自己決定の尊重やその人らしい生き方および尊厳について理解を深めることを目標とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

医療保健学部看護学科のディプロマ・ポリシーに掲げてある「看護の基本精神・基礎技術を理解した上で、さまざまな健康レベル、あらゆる発達段階における科学的技術を習得し、実践的な援助技術を習得している」に関連し、高齢期における看護過程の理解を深めることを目指す。

到達目標

1. 高齢期にある対象の発達課題と特徴、高齢者を取り巻く環境に基づいて対象を理解する。
2. 高齢期にある対象の顕在・潜在する看護問題を身体・心理・社会的側面からアセスメントする。
3. 高齢期にある対象の顕在・潜在する看護問題の解決にむけた個別的看護計画を立案・実施・評価する。
4. 看護実践をとおして看護の意義を理解する。

授業計画

	担当者	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	田中光子	・学内実習オリエンテーション（施設別）・臨地実習	・事前課題の追加または修正・オリエンテーション（病棟）・情報収集	予習：90分実習要綱を熟読する。 復習（必要分）：受け持ち患者の疾患の理解を深める。
第2回	田中	臨地実習	受け持ち患者の情報収集・アセスメント・カンファレ	予習（必要分）：実習行動計画のイメージトレーニング

	光子		ンス	復習（必要分）：受け持ち患者の疾患の理解を深める。記録
第3回	田中光子	臨地実習	受け持ち患者の情報収集・アセスメント・カンファレンス	予習（必要分）：実習行動計画のイメージトレーニング 復習（必要分）：受け持ち患者の疾患の理解を深める。記録
第4回	田中光子	臨地実習	受け持ち患者の関連図作成・看護問題抽出・カンファレンス	予習（必要分）：受け持ち患者のデータベースを熟慮する。 復習（必要分）：看護問題に対しての具体的援助を考察する。
第5回	田中光子	学内実習	受け持ち患者の看護計画の立案・教員による個別指導	予習（必要分）：看護問題に対しての具体的援助を考察する。技術援助の再確認。 復習（必要分）：看護問題の優先順位を考察する。
第6回	田中光子	臨地実習	受け持ち患者の看護計画実施・評価・修正を行う。カンファレンス	予習（必要分）：看護問題の優先順位を考察する。技術援助の再確認。 復習（必要分）：看護計画実施後の修正・記録する。
第7回	田中光子	臨地実習	受け持ち患者の看護計画実施・評価・修正を行う。カンファレンス	予習・復習（必要分）：修正した看護計画に乗っ取ったイメージトレーニング、技術援助の再確認をする。
第8回	田中光子	臨地実習	受け持ち患者の看護計画実施・評価・修正を行う。カンファレンス	予習・復習（必要分）：修正した看護計画に乗っ取ったイメージトレーニング、技術援助の再確認をする。
第9回	田中光子	臨地実習	受け持ち患者の看護計画実施・評価・修正を行う。臨地における最終まとめのカンファレンス。	予習・復習（必要分）：修正した看護計画に乗っ取ったイメージトレーニング、技術援助の再確認をする。看護過程の振り返りをする。
第10回	田中光子	学内実習	合同振り返り・記録の完成・個人面接	予習・復習（必要分）：受け持ち患者について振り返る

教科書

看護学テキスト 老年看護学技術 真田弘美編集 南江堂

参考書

・看護師・看護学生のための なぜ？どうして？６ 老年看護 医療情報科学研究所メディックメディア

・ウエルネスの視点にもとづく老年看護過程 生活機能に焦点をあてたアセスメント 奥宮暁子編著 医歯薬出版（株）

成績評価の方法・基準

単位認定６０点以上。教員・指導者による実習評価・実習態度・実習記録・面接において総合的に評価する。

課題等に対する
フィードバックの方法

実習時間中における疑問においては、助言を付し自発的探究心を促し確認をする。

履修のポイント

一歩先の行動を予測して、積極的に実習へ臨んでください。
オフィス・アワー
学内日12：30〜13：20、16:20 〜17:50 10号館田中研究室
科目区分
専門科目
当該授業科目の教育課程内での位置づけ
UK-R257

講義コード	10890001
講義名	在宅看護学概論
(副題)	【教職必修】
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	前期（重複①）
講義区分	講義
基準単位数	1
代表曜日	月曜日
代表時限	２時限
必修/選択	必修
実務経験のある教員の有無	有
実務経験のある教員の経歴と授業内容	保健師として勤務した経験を在宅看護に応用し、個別支援から社会資源の活用に至る方法を授業に活用する
学年	2学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 髙橋 美砂子	指定なし

授業の概要と教育目標

現在、わが国は少子、高齢社会となり、人口の減少や医療資源の有効活用など様々な課題を抱えている。国の医療等制度改革においても病院から在宅への円滑な移行が進められている。療養者はできる限り住み慣れた地域や家庭で家族や友人に囲まれた生活をし続けたいというニーズがある。これらの社会情勢や療養者のニーズに対応するために在宅看護の必要性が高まっている。在宅看護の特徴、展開方法、活用する社会資源、制度など、在宅で療養する人々を看護するうえで必要な基本的知識を修得する。

卒業認定・学位授与の方針との関連

医療保健学部看護学科のディプロマ・ポリシーとして、さまざまな健康レベル、あらゆる発達段階における科学的知識を修得し、在宅看護学に関連する基本的考え方を包括的に理解することを目指す。

到達目標

１．在宅看護が目指す方向性と看護師の役割について理解できる
２．在宅看護の対象者の特徴と看護の必要性について理解できる
３．在宅看護に必要な制度とその活用について理解できる
４．在宅看護過程を展開するための情報収集とアセスメント方法について理解できる
５．在宅での療養者と家族を支える社会資源や関係職種を理解し、連携の必要性がわかる
６．在宅看護の現状を学ぶことにより、在宅看護が抱える問題について考えることができる

授業計画

	担当者	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	髙橋美	授業ガイダンス ・授業の進め方と評価について ・ノートと資	最新データやインタビューのDVDをみて、これからの在宅看	予習：90分 教科書第1章を読む 復習：90分 本日のグルー

	砂子	料の活用について ・在宅看護の目的と特徴	護について、 グループディスカッションをする	プディスカッションで出た意見と自分の考えをまとめる
第2回	髙橋美砂子	在宅看護の対象の捉えかた ・対象者の特徴 ・共に生きる家族への支援 在宅療養を支えるケアチーム ・地域包括ケアシステムと在宅看護	ケアチームのメンバーとなる職種について 調べ、どのような役割があるか、グループメンバーと共有する	予習：90分 教科書第2章4章Gを読む 復習：90分 グループメンバーとの情報共有したことをまとめる
第3回	髙橋美砂子	療養の場の移行 ・外来看護 ・退院支援	退院指導の方法ついて、事例をみて意見交換する	予習：90分 教科書第３章を読む 復習：90分 グループメンバーと意見交換したことをまとめる
第4回	髙橋美砂子	在宅看護のかかわる法令と制度 ・介護保険制度 ・医療保険制度 ・障害者総合支援法 ・医療介護総合確保推進法 ・医療法	法令・社会制度の活用について、自分の身近な例をグループメンバーに紹介する。	予習：90分 教科書第４章ABCを読む 復習：90分 グループメンバーから出された事例をまとめる
第5回	髙橋美砂子	訪問看護の歴史 訪問看護の制度 ・訪問看護のしくみ ・訪問看護ステーションの関する規定 ・訪問看護の利用方法	「訪問看護ステーションの管理者となるためには」というテーマで話し合いをする	予習：90分 教科書第４章Dを読む 復習：90分 グループメンバーと話し合ったことをまとめる
第6回	髙橋美砂子	在宅療養上のリスクマネージメント ・リスクマネージメントの考え方 ・環境整備による安全の確	転倒予防対策の必要性と環境整備について グループメンバーと話し合う	予習：90分 教科書第５章Cを読む 復習：90分 グループメンバーと意見交換したことをまとめる

		保		
第7回	髙橋美砂子	在宅看護における権利保障 ・個人の尊重と自己決定支援 ・個人情報の保護と看護職の守秘義務 ・成年後見制度	自己決定を支援すること、家族との希望のずれに対する看護職の態度についてグループメンバーと話し合う	予習：90分 教科書第５章Dを読む 復習：90分 グループメンバーと意見交換したことをまとめる
第8回	髙橋美砂子	在宅看護研究の動向 ・最近論文の傾向 在宅看護実習の心構え 本科目のまとめ（試験について） 【授業評価】	論文を読んでグループでクリティークをする。 実習時の心がまえについて意見交換する	予習：90分 教科書第負付章資料（P410）を読む 復習：90分 実習の心がけについて自分の考えをまとめる

教科書

秋山正子他「系統看護学口座統合分野 在宅看護論」 医学書院

参考書

適宜授業の中で紹介する

成績評価の方法・基準

単位認定は60点以上
筆記試験 80% ノート・課題レポート20%

課題等に対する
フィードバックの方法

ノート、課題レポートは、採点後速やかに返却し、後期の方法論につなげる。

履修のポイント

休まずに出席すること。グループワークが多いので、自己の健康管理とクラスメート全体の助け合いが必要です。クラスメートの意見を集約をしながら、授業の振り返りを必ずしましょう。

オフィス・アワー

授業開講日
会議等が多いので、事前にメールをいただければ、都合をお知らせいたします。
takahashi-mi@kiryu-u.ac.jp 研究室13（看護棟2階）

科目区分

専門科目

当該授業科目の教育課程内での位置づけ

UK-R239

講義コード	10900001
講義名	在宅看護方法
(副題)	
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	後期（重複①）
講義区分	演習
基準単位数	1
代表曜日	水曜日
代表時限	３時限
必修/選択	必修
実務経験のある教員の有無	有
実務経験のある教員の経歴と授業内容	保健師として勤務した経験（13年）を在宅看護に応用し、個別支援から社会資源の活用方法に至る授業に活かす。
学年	2学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 風間 順子	指定なし
教員	髙橋 美砂子	指定なし
教員	柏瀬 淳	指定なし

授業の概要と教育目標

在宅における看護展開方法と技術について学ぶ。療養者と家族を対象に、基礎看護学、成人看護学、老年看護学等で学んだ内容を応用して、在宅における看護援助を考える。演習では事例をもとに看護過程を展開する。グループで療養者と家族を対象にした看護援助方法について話し合い、看護計画を立案し発表する。なお本科目は、在宅看護の技術について学び、事例をもとに看護過程を展開することにより、在宅看護を実践するための基礎的知識と技術を修得することを目標とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

医療保健学部看護学科のディプロマ・ポリシーとの関連として、様々な健康レベル、あらゆる発達段階における科学的知識と技術を修得することについて、在宅看護学に関する知識と実践的な援助技術を修得することを目指すものとする。

到達目標

１．療養者と家族の生活を尊重した在宅での援助が理解できる。
２．家族の負担が軽減できるよう支援することの必要性が理解できる。
３．在宅で求められる看護技術について理解できる。
４．在宅における医療管理を必要とする看護について理解できる。
５．事例をもとに在宅看護過程を考えることができる。

授業計画

	担当者	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間
	髙橋美砂	授業ガイダンス 在宅看護学概論	療養者、家族との信頼関係の構	予習90分：教科書 第6章Aを読む。

第1回	子柏瀬淳	（前期）で学修した重点を振り返る	築に必要なことについてグループ間で話し合う。	復習90分：本日の授業内容をノートにまとめる
第2回	髙橋美砂子柏瀬淳	在宅看護におけるコミュニケーション 信頼関係の構築とは	療養者、家族との信頼関係の構築に必要なことについてグループ間で話しあったことをクラス全体で共有する（発表）	予習90分：教科書第6章Aを読む。 復習90分：本日の授業内容をノートにまとめる
第3回	髙橋美砂子柏瀬淳	在宅療養生活を支える医療管理と看護技術① 呼吸に関する看護技術 非侵襲的陽圧換気療法（NPPV）	〔外部講師〕 医療的ケアを要する療養者への訪問看護の役割について話し合う	予習90分：教科書第6章（P.181,271，276,282)を読む。 復習90分：本日の授業内容をノートにまとめる
第4回	髙橋美砂子柏瀬淳	在宅療養生活を支える医療管理と看護技術② 在宅酸素療法（HOT） 在宅人工呼吸療法（HMV）と排痰法	〔外部講師〕 医療的ケアを要する療養者への訪問看護の役割について話し合う	予習90分：教科書第6章（P.181,271，276,282)を読む。 復習90分：本日の授業内容をノートにまとめる
第5回	髙橋美砂子柏瀬淳	在宅療養生活を支える医療管理と看護技術③ 食生活・嚥下に関する看護技術	医療的ケアを要する療養者への訪問看護の役割について話し合う	予習90分：教科書第6章（P.188 P.254 P.265）を読む。 復習90分：本日の授業内容をノートにまとめる
第6回	髙橋美砂子柏瀬淳	在宅療養生活を支える医療管理と看護技術④ 経管栄養法（経鼻経管 胃瘻） 中心静脈栄養法（HPN）	医療的ケアを要する療養者への訪問看護の役割について話し合う	予習90分：教科書第6章（P.188 P.254 P.265）を読む。 復習90分：本日の授業内容をノートにまとめる
第7回	髙橋美砂子柏瀬淳	在宅療養生活を支える医療管理と看護技術⑤ 排泄に関する看護技術 褥瘡の予防とケア 尿道留置カテーテル ストーマ（人工肛門、人工膀胱）	医療的ケアを要する療養者への訪問看護の役割について話し合う	予習90分：教科書第6章（P.195 P.210 P.215 P.232 P.240 P.246）を読む。 復習90分：本日の授業内容をノートにまとめる

第8回	髙橋美砂子柏瀬淳	在宅療養生活を支える医療管理と看護技術⑥ 清潔に関する看護技術 口腔ケア 【中間授業評価】	医療的ケアを要する療養者への訪問看護の役割について話し合う	予習90分：教科書第6章（P.195 P.210 P.215 P.232 P.240 P.246）を読む。 復習90分：本日の授業内容をノートにまとめる
第9回	髙橋美砂子柏瀬淳	在宅療養生活を支える医療管理と看護技術⑦ 疼痛緩和ケア 急性増悪期・終在末期のケア 宅看護における終末期の家族支援	〔外部講師〕 医療的ケアを要する療養者への訪問看護の役割について話し合う	予習90分：教科書第6章（P.224 P.296 P.311）を読む。 復習90分：本日の授業内容をノートにまとめる
第10回	髙橋美砂子柏瀬淳	在宅看護における家族支援養生活を支える医療管理と看護技術⑧ 在宅療在宅におけるエンドオブライフ 看取りの援助 家族へのグリーフケア	〔外部講師〕 医療的ケアを要する療養者への訪問看護の役割について話し合う	予習90分：教科書第6章（P.224 P.296 P.311）を読む。 復習90分：本日の授業内容をノートにまとめる
第11回	髙橋美砂子柏瀬淳	在宅看護介入時期による特徴 グループ構成提示 事例を用いて看護過程の展開を行う①	個別に看護過程の展開をした事例を持ち寄りグループでカンファレンスを行う。	予習90分：教科書第7章A,事例B～Iを読む。 復習90分：事例展開記録を作成する。授業中にできなかったことを次までにしておく。
第12回	髙橋美砂子柏瀬淳	事例を用いて看護過程の展開を行う②	個別に看護過程の展開をした事例を持ち寄りグループでカンファレンスを行う。	予習90分：教科書第7章A,事例B～Iを読む。 復習90分：事例展開記録を作成する。授業中にできなかったことを次までにしておく。
第13回	髙橋美砂子柏瀬淳	事例を用いて看護過程の展開を行う③	個別に看護過程の展開をした事例を持ち寄りグループでカンファレンスを行う。	予習90分：教科書第7章A,事例B～Iを読む。 復習90分：事例展開記録を作成する。授業中にできなかったことを次までにしておく。 〔発表資料の作成の提出〕
	髙橋美	在宅看護過程発表①	グループ毎で行った看護過程の	予習90分：発表資料が提出できるようにする。

第14回	砂子柏瀬淳	グループ毎に、事例検討の発表を行う。	展開をクラス全体で共有する 発表資料の作成、発表会の進め方について話し合う。	復習90分：出された質問について、解答書をつくる
第15回	髙橋美砂子柏瀬淳	在宅看護過程発表② グループ毎に、事例検討の発表を行う。 本授業のまとめ 定期試験について 【最終授業評価】	グループ毎で行った看護過程の展開をクラス全体で共有する 発表会の進行を行う。	予習90分：発表資料が提出できるようにする。 復習90分：出された質問について、解答書をつくる

教科書

秋山正子・他『≪系統看護学講座 統合分野≫在宅看護論』(医学書院)

参考書

岡崎美智子『根拠がわかる在宅看護技術』(メヂカルフレンド社)
臺有桂・他編『ナーシング・グラフィカ 在宅看護論：地域療養を支えるケア』(メディカ出版)

成績評価の方法・基準

単位認定：60点以上
定期試験70%、事例検討記録・発表資料の作成と発表態度 30%

課題等に対するフィードバックの方法

各自で行った事例展開の記録は、健康問題別実習の前に返すので、実習に活用してください。

履修のポイント

在宅における看護技術と看護過程について学びます。グループワークを行いますので、積極的に参加してください。

オフィス・アワー

授業日ならびに在室時、随時対応します。会議等で不在のこともあるので、事前にメールをください。
takahashi-mi@kiryu-u.ac.jp 高橋研究室10号館2階
kashiwase-ju@kiryu-u.ac.jp 柏瀬研究室10号館1階

科目区分

専門科目

当該授業科目の教育課程内での位置づけ

UK-R248

講義コード	10910001
講義名	在宅看護学実習
(副題)	
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	通年
講義区分	実験・実習
基準単位数	2
代表曜日	
代表時限	
必修/選択	必修
実務経験のある教員の有無	有
実務経験のある教員の経歴と授業内容	保健師として勤務した経験（13年）を在宅看護に応用し、個別支援から社会資源の活用方法を実習に活かす。
学年	3学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 髙橋 美砂子	指定なし
教員	柏瀬 淳	指定なし

授業の概要と教育目標

在宅看護の特徴は、対象となる人々の「生活」の場で看護を展開するという点にある。そのため、人々の生き方、生活、健康に対する価値観や主体性を尊重しながら、自立支援や自己決定という視点をもち、療養生活の維持と質の向上を図ることが在宅看護の目的となる。在宅看護学実習では、在宅看護の対象者である療養者とその家族の特徴や援助方法、地域包括ケアシステムや社会資源の活用・調整方法、保健医療福祉の様々な職種との連携や協働の必要性、その中での看護の役割について学修する。なお本科目は、在宅療養者及び家族における健康障害と生活への影響を総合的にとらえ、在宅看護の特徴を理解し、療養者と家族の特性に応じた看護を実践するための基礎的能力を修得することを目標とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

医療保健学部看護学科のディプロマ・ポリシーとの関連として、様々な健康レベル、あらゆる発達段階における実践的な援助技術の修得、知識と技術の統合、臨床現場でのチーム医療の一員として役割を担う能力、問題を解決する能力を修得することを目指すものとする。

到達目標

１．療養者の疾患・障害が、療養生活に及ぼしている影響を総合的に理解できる。
２．療養者と家族の生活・健康に関する価値観や主体性を尊重することの重要性が理解できる。
３．在宅療養における家族の状況と役割を知り、家族を対象とした看護の必要性が理解できる。
４．療養者と家族のケアニーズと個別性を尊重した援助計画が立案できる。
５．療養者と家族の意向を踏まえ、生活を支援するために必要な社会保障制度及び社会資源を理解し、その活用方法が理解できる。
６．地域包括ケアシステムにおける関係機関との連携と、在宅ケアチームにおける看護職の役割・機能が理解できる。
７．療養者の権利の擁護、人権の尊重の重要性について理解できる。
８．看護学生として看護専門職になる自覚を持ち、実習に積極的に取り組むことができる。

授業計画

	担当	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの	予習・復習とそのために必

	者		内容	要な時間
第1回	髙橋美砂子 柏瀬淳	〔学内実習1週目〕 ①②学内オリエンテーション 2日 ・事前学習の確認・復習・バイタル測定技術、知識確認・動画視聴などから意見交換、グループワーク・在宅看護の心構えについてカンファレンス ③④訪問看護ステーション実習 1.5日 同行訪問 訪問看護師業務理解 看護展開 学内 0.5日 看護展開確認 ⑤桐生市地域包括支援センターもしくは居宅介護支援事業所0.5日 実習を通して役割と多職種連携の実際を知る 学内0.5日 施設間の情報共有	実習に出るための心構え、マナー、身支度について、グループメンバーと話し合う。実習にふさわしい態度を全員で確認する。 カンファレンスを行い。学習の共有を図る。	予習（事前学習） 270時間 提示された課題を実習初日に提出する。 90分/日 次に行う実習課題について調べる 復習：180分 事前学習の不足を補う。 90分/日 今日行った実習から学んだことをまとめる
第2回	髙橋美砂子 柏瀬淳	〔臨地実習2週目〕 ①～④訪問看護ステーション実習 4日 同行訪問 訪問看護師業務理解 看護展開 ⑤学内 1日 全体カンファレンス、学びの整理	臨地実習での学びを整理し、在宅看護の目指すもの、求められてものを考える。 実際の事例を通して、一連の看護過程を学修する。 カンファレンスを行い。学習の共有を図る。	予 習：90分/日 次に行う実習課題について調べる 復 習：90分/日 今日行った実習から学んだことをまとめる

教科書

在宅看護学実習要項、記録用紙を配布する。
秋山正子・他『≪系統看護学講座 統合分野≫在宅看護論』(医学書院)

参考書

岡崎美智子『根拠がわかる在宅看護技術』(メヂカルフレンド社)
臺有桂・他編『ナーシング・グラフィカ 在宅看護論：地域療養を支えるケア』(メディカ出版)

成績評価の方法・基準

単位認定：60点以上
到達目標の達成状況：60%以上 出席は5分の4以上とする。
ルーブリック評価項目に沿って、成績評価する。

課題等に対するフィードバックの方法

実習記録に関して、個別に指導を行う。実習記録は実習終了後に返却する。

履修のポイント

在宅看護学実習の対象者は小児から高齢者まで幅広く、疾患もさまざまである。また、対象者の家族、取り巻く環境、地域も看護の対象となる。病院や施設における実習で学んだ知識・技術を最大限に活用し、在宅療養生活を援助する看護について学びを深める。事前学習課題は、実習初日に持参する。また日常生活援助技術を経験することが多いため、練習を行っておく。

オフィス・アワー

学内日、臨地実習巡回時に対応します。

科目区分

専門科目

当該授業科目の教育課程内での位置づけ
UK-R258

講義コード	10920001
講義名	公衆衛生看護学概論
(副題)	【教職必修】【保健師必修】
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	前期
講義区分	講義
基準単位数	2
代表曜日	火曜日
代表時限	２時限
必修/選択	必修
実務経験のある教員の有無	有
実務経験のある教員の経歴と授業内容	行政保健師としての実務経験を活かし必要に応じて事例展開しながら教授する。
学年	2学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 檀原 三七子	指定なし

授業の概要と教育目標

公衆衛生看護は、公衆衛生を基盤にした看護活動であり、地域に住むすべての人々を対象とし、健康レベルやＱＯＬの向上を目指し、住民自身が主体的に取り組めるよう専門的な支援を行う。公衆衛生看護学の理念、歴史的背景や地域保健活動の変遷等を踏まえ、公衆衛生看護の果たす役割や期待される能力について学習する。また、諸外国の公衆衛生看護活動や国際協力のあり方について学習し、異なる文化や価値観に対して柔軟に対応しながら健康課題の解決を図るための取り組みを学習する。本科目は、地域を基盤とした公衆衛生看護の対象の捉え方、活動の場、活動方法に焦点をあてながら、多様化する社会現象と健康課題に対応する保健師の役割について理解することを目標とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

ディプロマ・ポリシーとの関連は、看護学の基礎となる、健康の諸側面、健康生活と社会との関係から理解を深める。また、さまざまな健康レベルや発達段階にある人々に対して行われる公衆衛生看護活動を通して保健師の役割について理解することにより目的達成に資する知識を養う。

到達目標

１）個人・家族・集団・地域を対象とした看護領域であることを理解する。
２）地域で生活する人々の健康課題について考えることができるようになる。
３）地域の健康課題と保健計画について理解する。
４）公衆衛生看護活動における集団的支援・個別的支援について説明することができるようになる。
５）公衆衛生看護活動における現状の問題を踏まえて今後の課題について説明することができるようになる。

授業計画

	担当者	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間
				予

第1回	檀原三七子	・公衆衛生看護の定義 ・公衆衛生看護の理念 ・公衆衛生看護の目的や対象、活動の場 ・公衆衛生看護活動の法的根拠	行政で働く保健師のイメージについてグループワークし意見交換する。	習90分：教科書第1章を読む。 復習90分：配付資料と教科書を見直す。
第2回	檀原三七子	・健康の定義 ・疾病予防（一次、二次、三次予防）の概念 ・プライマリヘルスケア ・ヘルスプロモーション	ヘルスプロモーションを理解するために自身の生活とヘルスプロモーションを関連付けて捉えることができるようグループワークを行う。	予習90分：教科書第1章を読む。 復習90分：配付資料と教科書を見直す。
第3回	檀原三七子	・健康を左右する条件 ・ソーシャルキャピタル ・わが国の健康政策の変遷、健康日本21、健康増進法	自身の生活を振り返り健康を左右する条件を考えるきっかけとして意見交換する。	予習90分：教科書第4章を読む。 復習90分：配付資料と教科書を見直す。
第4回	檀原三七子	・保健師の活動と倫理的問題 ・情報社会における倫理と保護	公衆衛生看護の倫理的な課題を理解するために事例を用いて、グループワークを行う。	予習90分：教科書第１章を読む。 復習60分：配付資料と教科書を見直す。
第5回	檀原三七子	・公衆衛生看護の対象の特徴 ・個人、家族、集団（グループ）、組織、地域を活動の対象とする捉え方	これまでの生活を振り返り、自身や家族が病気や介護が必要になった経験があれば、その時の家族の役割・機能が変更されたことを想起し、家族の役割・機能について意見交換する。	予習90分：教科書第2章を読む。 復習90分：配付資料と教科書を見直す。
		・保健所、市町村		予 90

第6回	檀原三七子	における保健師の活動 ・保健所と市町村保健センターの法的位置づけ、役割・機能 ・医療施設と社会福祉施設における保健師の活動	行政機関である保健所や市町村保健センターに行った体験を想起させ、役割・機能について意見交換する。	習　分：教科書第3章を読む。 復習90分：配付資料と教科書を見直す。
第7回	檀原三七子	・人口構成及び疾病構造の変化 ・経済や産業構造の変化と健康課題	人口構成や疾病構造の変化を図表から読み取り発表する。	予習90分：教科書第4章を読む。 復習90分：配付資料と教科書を見直す。
第8回	檀原三七子	・地球環境、生活環境の変化と健康への影響 ・自然災害と健康 ・健康課題解決のための資源		予習90分：教科書第4・5章を読む。 復習90分：配付資料と教科書を見直す。
第9回	檀原三七子	・公衆衛生看護活動の展開の基本 ・地域診断に基づくPDCAサイクル（1）		予習90分：教科書第5章を読む。 復習90分：配付資料と教科書を見直す。
第10回	檀原三七子	・地域診断に基づくPDCAサイクル（2） ・保健計画の策定と実践、評価		予習90分：教科書第6・7章を読む。 復習90分：配付資料と教科書を見直す。
				予　90

第11回	檀原三七子	・健康危機管理とリスクマネージメント		習　分：教科書第9章を読む。復習90分：配付資料と教科書を見直す。
第12回	檀原三七子	・わが国における公衆衛生・衛生行政の歴史的変遷 ・わが国の公衆衛生看護活動の歴史		予習90分：教科書10章を読む。復習90分：配付資料と教科書を見直す。
第13回	檀原三七子	・諸外国の公衆衛生看護活動の歴史 ・諸外国の保健師教育・規則		予習90分：教科書10章を読む。復習90分：配付資料と教科書を見直す。
第14回	檀原三七子	・国際保健の活動の対象と場 ・国際協力 ・多文化共生社会における健康課題		予習90分：教科書第3章を読む。復習90分：配付資料と教科書を見直す。
第15回	檀原三七子	・公衆衛生看護管理の目的と領域 ・公衆衛生看護活動と研究的な視点		予習90分：教科書第8章を読む。復習90分：配付資料と教科書を見直す。

教科書
標美奈子・他『標準保健師講座１ 公衆衛生看護学概論（第5版）』（医学書院）
参考書
⑴国民衛生の動向（厚生労働統計協会） ⑵保健師業務要覧（日本看護協会保健師職能委員会） ⑶公衆衛生（MCメディカ出版） ※補足資料として、適宜使用します。
成績評価の方法・基準
単位認定60点以上。 筆記試験：100%
課題等に対する フィードバックの方法
各回の講義終了の直前に学習の振り返りとして学びをリアクションペーパーに記述し提出すること。その記述内容は次回の講義時、全体にフィードバックする。
履修のポイント
理解状況の確認のため複数回ミニテストを行います。 積極的な授業への参加を期待します。
オフィス・アワー
本科目の講義日は対応します。なお研究室に在室している時は対応します。10号館2階9研究室
科目区分
専門科目
当該授業科目の教育課程内での位置づけ
UK-R330

講義コード	10930001
講義名	公衆衛生看護活動論I
(副題)	【保健師必修】
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	後期
講義区分	演習
基準単位数	2
代表曜日	火曜日
代表時限	１時限
必修/選択	選択
実務経験のある教員の有無	有
実務経験のある教員の経歴と授業内容	行政保健師としての実務経験を活かし事例展開しながら教授する。
学年	2学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 檀原 三七子	指定なし
教員	堀越 薫	指定なし

授業の概要と教育目標

公衆衛生看護活動は、地域の健康課題の改善・解決に向けた看護実践の中で、個人・家族、集団、地域への支援を行っている。本科目は、地域の人々の健康な生活を支援するために必要な基本的な援助方法と援助技術を習得することを目標とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

ディプロマ・ポリシーとの関連は、さまざまな健康レベルや発達段階にある人々に対して行われる公衆衛生看護活動を通して保健師の役割及び支援方法について理解することで目的達成に資する知識を養う。

到達目標

１）公衆衛生看護活動の実践のための基本的な技術、方法について理解する。
２）公衆衛生看護の基盤となるさまざまな理論を理解する。
３）地域診断の意義と方法について理解する。
４）家庭訪問および健康教育の意義と方法について理解する。
５）グループ支援・地区組織育成支援の意義と方法について理解する。

授業計画

	担当者	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	檀原三七子	・公衆衛生看護に求められるもの ・公衆衛生看護を取り巻く状況の変化 ・公衆衛生看護における保	前期に既習した公衆衛生看護学概論を想起させ、保健師活動について発表する。	予習90分：①教科書第1章を熟読する。 復習90分：配付資料と教科書を見直す。

		健指導		
第2回	檀原三七子	・健康教育の理論 ・ポピュレーションアプローチ ・健康教育の対象、方法、評価	グループ゜ワークを行いポピュレーションアプローチを想起させながら、一次予防の実践例を発表する。	予習90分：①教科書第６章を熟読する。 復習90分：配付資料と教科書を見直す。
第3回	檀原三七子堀越薫	・健康教育演習① 演習のオリエンテーション 地域診断に基づく健康教育のテーマ設定①	グループ毎に健康教育の企画書、指導案を作成し、健康教育を実施する。	予習90分：①教科書第６章を熟読する。 テーマに関連する資料や教科書を読む。 復習90分：配付資料と教科書を見直す。
第4回	檀原三七子堀越薫	・健康教育演習② 地域診断に基づく健康教育のテーマ設定②	グループ毎に健康教育の企画書、指導案を作成し、健康教育を実施する。	予習90分：①教科書第６章を熟読する。 テーマに関連する資料や教科書を読む。 復習90分：配付資料と教科書を見直す。
第5回	檀原三七子堀越薫	・健康教育演習③ ・健康教育の企画書と指導案の作成①	グループ毎に健康教育の企画書、指導案を作成し、健康教育を実施する。	予習90分：①教科書第６章を熟読する。 テーマに関連する資料や教科書を読む。 復習90分：配付資料と教科書を見直す。
第6回	檀原三七子堀越薫	・健康教育演習④ ・健康教育の企画書と指導案の作成②	グループ毎に健康教育の企画書、指導案を作成し、健康教育を実施する。	予習90分：①教科書第６章を熟読する。 テーマに関連する資料や教科書を読む。 復習90分：配付資料と教科書を見直す。
第7回	檀原三七子堀越薫	・健康教育演習⑤ ・健康教育の企画書と指導案の作成③	グループ毎に健康教育の企画書、指導案を作成し、健康教育を実施する。	予習90分：①教科書第６章を熟読する。 テーマに関連する資料や教科書を読む。 復習90分：配付資料と教科書を見直す。
第8回	檀原三七子	・健康教育演習⑥ ・健康教育の企画書と指導	グループ毎に健康教育の企画書、指導案を作成し、健康教育を実施する。	予習90分：①教科書第６章を熟読する。 復習90分：配付資料

	堀越薫	案の作成④		と教科書を見直す。
第9回	檀原三七子堀越薫	・健康教育演習⑦ ・健康教育の企画書と指導案の作成⑤	グループ毎に健康教育の企画書、指導案を作成し、健康教育を実施する。	予習90分：①教科書第６章を熟読する。テーマに関連する資料や教科書を読む。 復習90分：配付資料と教科書を見直す。
第10回	檀原三七子堀越薫	・健康教育演習⑧ ・健康教育の企画書と指導案の作成⑥	グループ毎に健康教育の企画書、指導案を作成し、健康教育を実施する。	予習90分：①教科書第６章を熟読する。テーマに関連する資料や教科書を読む。 復習90分：配付資料と教科書を見直す。
第11回	檀原三七子堀越薫	・健康教育演習⑨ ・健康教育の企画書と指導案の作成⑦	グループ毎に健康教育の企画書、指導案を作成し、健康教育を実施する。	予習90分：①教科書第６章を熟読する。テーマに関連する資料や教科書を読む。 復習90分：配付資料と教科書を見直す。
第12回	檀原三七子	・健康教育演習⑩ ・健康教育の企画書と指導案の作成⑧	グループ毎に健康教育の企画書、指導案を作成し、健康教育を実施する。	予習90分：①教科書第６章を熟読する。テーマに関連する資料や教科書を読む。 復習90分：配付資料と教科書を見直す。
第13回	檀原三七子堀越薫	・健康教育の発表①	学生は健康教育を受講する対象者になったり、保健師役になるなどそれぞれ役割を担い健康教育の発表を行う。	予習90分：①教科書第６章健康教育の展開を熟読する。テーマに関連する資料や教科書を読む。 復習90分：配付資料と教科書を見直す。
第14回	檀原三七子堀越薫	・健康教育の発表②	学生は健康教育を受講する対象者になったり、保健師役になるなどそれぞれ役割を担い健康教育の発表を行う。	予習90分：①教科書第６章を熟読する。テーマに関連する資料や教科書を読む。 復習90分：配付資料と教科書を見直す。
第15回	檀原三七子堀	・健康教育の評価①	健康教育発表時に捉えた、対象者の反応等から健康教育の評価をグループ毎に行い、発表をする。 改善の必要があれば、企画書と指導案へ	予習90分：①教科書第６章を熟読する。テーマに関連する資料や教科書を読む。 復習90分：配付資料

	越薫		修正を加える。	と教科書を見直す。
第16回	檀原三七子堀越薫	・健康教育の評価②	健康教育発表時に捉えた、対象者の反応等から健康教育の評価をグループ毎に行い、発表をする。 改善の必要があれば、企画書と指導案へ修正を加える。	予習90分：①教科書第６章を熟読する。テーマに関連する資料や教科書を読む。 復習90分：配付資料と教科書を見直す。
第17回	檀原三七子	・家庭訪問の法的根拠 ・家庭訪問のプロセス ・家庭訪問における支援計画と方法、評価	家庭訪問のDVDを視聴し、家庭訪問時のマナーを含めて保健師の支援についてグループワークを行う。	予習90分：①教科書第２・５章を熟読する。 復習90分：配付資料と教科書を見直す。
第18回	檀原三七子	・健康相談（保健指導）の目的、対象、支援、評価	健康相談のDVDを視聴し、個別の相談から地域の健康課題を抽出する方法についてグループワークを行う。	予習90分：①教科書第４章を熟読する。 復習90分：配付資料と教科書を見直す。
第19回	檀原三七子	・家庭訪問・健康相談で活用できる理論と技術		習90分：①教科書第４章を熟読する。 復習90分：配付資料と教科書を見直す。
第20回	檀原三七子	・健康診査の法的根拠 ・健康診査の目的、対象、方法、評価	大学で実施した健康診断の場面を想起させ、健康診断の一連の流れについてグループワークを行う。	予習90分：①教科書第４章を熟読する。 復習90分：配付資料と教科書を見直す。
第21回	檀原三七子	・地域診断の方法 コミュニティ-アズ-パートナーモデル プリシード・プロシードモデル	地域診断のDVDを視聴し、地域診断について理解する。その後、自身が暮らす地域の地域診断を実際に行い、レポートする。	予習90分：②教科書第６章を読み地域診断を想起する。 復習90分：配付資料と教科書を見直す。
第22回	檀原三七子	・地域組織活動の歴史 ・地域組織活動の概念 ・地域組織活動の特徴と類型		予習90分：①教科書第７章を熟読する。 復習90分：配付資料と教科書を見直す。
第23回	檀原三七子	・地域組織活動で活用できる理論・方法論	地域住民が主体的に活動できるように支援するということを理解するために、学生生活を例に、「主体的」とはどういうことかグループワークを行う。	予習90分：①教科書第３章を熟読する。 復習90分：配付資料と教科書を見直す。

第24回	檀原三七子	・セルフヘルプグループの歴史、特徴、保健師の支援の実際		予習90分：①教科書第２・７章を熟読する。 復習90分：配付資料と教科書を見直す。
第25回	檀原三七子	・地域組織活動とグループ支援の実際	地域組織とグループ支援に関するDVDを視聴し、それぞれの特徴を捉えながら保健師の役割や支援についてグループワークを行う。	予習90分：①教科書第２章を熟読する。 復習90分：配付資料と教科書を見直す。
第26回	檀原三七子	・地域組織活動の支援方法、評価 ・グループ支援の特徴、方法、評価		予習90分：①教科書第３・７章を熟読する。 復習90分：配付資料と教科書を見直す。
第27回	檀原三七子	・保健医療福祉関連の統計資料とその活用・地域把握の方法と実際		予習90分：①教科書第６章を読み地域診断を想起する。 復習90分：配付資料と教科書を見直す。
第28回	檀原三七子	・地域ケアシステムの理念・目的 ・地域ケアシステムのつくり方 ・地域ケアシステムの発展過程 ・地域ケアシステムにおける保健師の活動		予習90分：①教科書第８章を熟読する。 復習90分：配付資料と教科書を見直す。
第29回	檀原三七子	・ネットワークの形成とシステムづくり	事例を通して地域ケアシステムの構成員にはどのような関係職種や機関が必要かグループワークする。	予習90分：①教科書第８章を熟読する。 復習90分：配付資料と教科書を見直す。
第30回	檀原三七子	・地域ケアシステムの実際 ・まとめ	自身が暮らす地域を例にして、互助にはどのようなものがあるか、またどのような互助が必要かをグループワークする。さらに地域ケアシステムにおける保健師の役割を考察する。	予習90分：①教科書第８章を熟読する。 復習90分：配付資料と教科書を見直す。

教科書

①中村裕美子・他『標準保健師講座２ 公衆衛生看護技術』（医学書院）
②標美奈子・他『標準保健師講座１ 公衆衛生看護学概論(第４版)』（医学書院）

参考書

・エリザベス T. アンダーソン他・編『コミュニティアズパートナー地域看護学の理論と実際（第2版）』(医学書院)2007
・守田孝恵編著 展開図でわかる「個」から「地域」へ広げる保健師活動 クオリティケア 2013
＊補足資料として適宜使用します。

成績評価の方法・基準
単位認定60点以上。 筆記試験80%、演習への参加態度等（健康教育企画書・発表・報告書等）10%、 レポート課題10% なお再試験は実施しません。
課題等に対する フィードバックの方法
各回の講義終了の直前に学習の振り返りとして学びをリアクションペーパーに記述し提出すること。その記述内容を次回の講義時、全体にフィードバックする。
履修のポイント
・保健師課程の科目です。グループワークが多いため、欠席しないよう体調管理し、協調性をもって臨んでください。 ・既習科目と連動させながら学習を深めましょう。
オフィス・アワー
・本科目の講義日は対応します。なお研究室に在室している時は対応します。10号館2階9研究室
科目区分
専門科目
当該授業科目の教育課程内での位置づけ
UK-C340

講義コード	10940001
講義名	公衆衛生看護活動論II
(副題)	【保健師必修】
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	後期
講義区分	講義
基準単位数	2
代表曜日	
代表時限	
必修/選択	選択
実務経験のある教員の有無	有
実務経験のある教員の経歴と授業内容	行政保健師としての実務経験を活かし事例紹介など具体例を示し教授する。
学年	3学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 檀原 三七子	指定なし
教員	堀越 薫	指定なし

授業の概要と教育目標

さまざまな健康レベル、発達段階にある対象者と課題別の活動展開として、母子保健活動、成人保健活動、高齢者保健活動、精神保健活動、障害者（児）保健活動、難病の保健活動、感染症の保健活動などの実際を学習する。本科目は対象別・課題別に活動の基盤となる法律や制度と関連させながら保健師の役割とその活動内容を具体的に理解することを目標とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

ディプロマ・ポリシーとの関連は、さまざまな健康レベルや発達段階にある人々に対して行われる公衆衛生看護活動の展開の実際を通して保健師の役割や支援方法を理解することで目的達成に資する知識を養う。

到達目標

1）生涯を通じた健康の出発点である母子保健活動を理解する。
2）生活習慣を見直す時期である成人保健活動を理解する。
3）住み慣れた地域で自立して生活ができるよう高齢者保健活動を理解する。
4）心の健康づくりを目指した精神保健活動を理解する。
5）地域における障害者（児）、難病、感染症など課題別の保健活動を理解する。
6）地域における危機管理対策について理解する。

授業計画

	担当者	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	堀越薫	・母子保健の動向 ・母子保健活動の理念および歴史的変遷 ・母子保健に関する健康指標の動向と母子保健施策の変遷を理解す		予習90分：教科書第１章を読む。 復習90分：配付資料と教科書を見直す。

		る。		
第2回	堀越薫	・乳幼児期の成長発達と保健指導		予習90分：教科書第１章を読む。 復習90分：配付資料と教科書を見直す。
第3回	堀越薫	・健康上のリスクを持つ母子への保健指導		予習90分：教科書第１章を読む。 復習90分：配付資料と教科書を見直す。
第4回	堀越薫	・成人保健活動の対象、健康課題、社会背景、活動の基盤となる法律と制度		予習90分：教科書第2章を読む。 復習90分：配付資料と教科書を見直す。
第5回	堀越薫	・メタボリックシンドロームとは ・生活習慣予防対策 ・特定健診、特定保健指導 ・がん対策		予習90分：教科書第2章を読む。 復習90分：配付資料と教科書を見直す。
第6回	堀越薫	・高齢者保健の動向 ・高齢者の保健福祉施策と保健師活動 ・在宅要援護高齢者と家族への保健指導 ・地域包括ケアにおける保健師活動		予習90分：教科書第3・11章を読む。 復習90分：配付資料と教科書を見直す。
第7回	檀原三七子	・感染症保健の理念と歴史的変遷 ・感染症保健施策と保健師活動	「感染症」から想像するキーワードを出し合い、公衆衛生上の予防の視点で意見交換する。	予習90分：教科書第7章を読む。国民衛生の動向、第3編第3章感染症対策を読む。 復習90分：配付資料と教科書を見直す。
第8回	檀原三七子	・結核対策の変遷 ・結核管理の体系、法的根拠 ・HIV・AIDS、肝炎などの保健施策と保健師の役割		予習90分：教科書第7章を読む。国民衛生の動向、第3編第3章感染症対策を読む。 復習90分：配付資料と教科書を見直す。
第9回	堀越薫	・生涯を通じた歯科口腔保健、摂食嚥下機能低下予防対策、自己管理（セルフケア）		予習90分：教科書第8章を読む。 復習90分：配付資料と教科書を見直す。
第10回	檀原三	•難病対策の動向 •難病保健施策と保健師活動 •難病対策における保		予習90分：教科書第6章を読む。国民衛生の動向 第3編第4章難病対策を読

	七子	健師の役割 •難病患者の生活と保健指導		む。 復習90分：配付資料と教科書を見直す。
第11回	堀越薫	・障がい者（障がい児）保健活動の対象、健康課題と社会背景、活動の基盤となる法律と制度。保健師の役割		予習90分：教科書第5章を読む。 復習90分：配付資料と教科書を見直す。
第12回	檀原三七子	・精神保健活動の現状と保健師の役割 ・地域の中の自殺予防対策（ゲートキーパーの役割）	精神看護学や精神看護学実習での学びを通して、こころの健康課題について意見交換する。	予習90分：教科書第4章を読む。国民衛生の動向、第3編第2章4精神保健、６自殺対策を読む。 復習90分：配付資料と教科書を見直す。
第13回	檀原三七子	・地域の中の自殺予防対策の実際 ゲートキーパーの役割	保健所保健師によるゲートキーパーの研修を受講し、相談者の立場を体験するなどロールプレイを行う。	予習90分：教科書第4章を読む。国民衛生の動向、第3編第2章4精神保健、6自殺対策を読む。 復習90分：配付資料と教科書を見直す。
第14回	檀原三七子	・健康危機管理対策 ・健康危機管理の４段階 ・健康危機管理の要素とその展開方法 ・感染症集団発生と保健活動	健康危機の発生防止のために平常時の保健活動の充実が重要であるが、その理解を促すために自身の生活を振り返り何か予防対策を行っているか、意見交換する。	予習90分：教科書第12章を読む。 復習90分：配付資料と教科書を見直す。
第15回	檀原三七子	・災害の定義・分類 ・災害サイクルとフェーズおよび災害医療・災害保健 ・災害支援制度とシステム ・災害サイクルにおける災害対策と保健師活動 ・まとめ		予習90分：教科書第12章を読む。 復習90分：配付資料と教科書を見直す。

教科書

・中谷芳美ほか 標準保健師講座「対象別公衆衛生看護活動」医学書院
・国民衛生の動向（厚生統計協会）2021/2022

参考書

・第４版 公衆衛生看護学. ｊｐ インターメディカル 荒賀直子ほか
（看護学や検査・治療に関連した既存の各種教科書、資料等も参考にすること）

成績評価の方法・基準

単位認定60点以上。

筆記試験90%、レポート課題10%
課題等に対する フィードバックの方法
各回の講義終了直前に学習の振り返りとして学びをリアクションペーパーに記述し提出すること。その記述内容は次回の講義時、全体にフィードバックする。
履修のポイント
積極的な授業への参加を期待します。 既習科目と連動させ学習を深めましょう。
オフィス・アワー
本科目の講義日は対応します。なお研究室に在室している時は対応します。10号館2階９研究室
科目区分
専門科目
当該授業科目の教育課程内での位置づけ
UK-C360

講義コード	10950001
講義名	公衆衛生看護活動論III
(副題)	【保健師必修】
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	前期
講義区分	講義
基準単位数	2
代表曜日	木曜日
代表時限	２時限
必修/選択	必修
実務経験のある教員の有無	有
実務経験のある教員の経歴と授業内容	行政保健師としての実務経験を活かし必要に応じて事例展開しながら教授する。
学年	4学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 檀原 三七子	指定なし

授業の概要と教育目標

看護管理や公衆衛生看護管理の「管理」という用語から、管理的立場にある保健師や看護師に求められる能力と思われがちである。しかし、管理は新人にも経験豊富な保健師・看護師にも求められるものであり、看護職が行う活動（ケア）の質を高める活動でもあり、看護の専門性を発揮するためには不可欠である。本科目は、職務遂行上何らかの責任をもつすべての看護職に必要な管理的機能についての基礎知識を習得し、公衆衛生看護管理の目的や機能、および健康危機管理における法律・制度を理解することを目標とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

ディプロマ・ポリシーとの関連は、看護職としての必要な倫理、法令を理解するとともに、組織の一員として調整する能力および問題の解決方法について理解することを通して目的達成に資する知識を養う。

到達目標

１．公衆衛生看護管理の目的、機能を理解する。
２．公衆衛生看護管理に関する法律・制度を説明することができるようになる。
３．地域ケアの質を保証するために行う公衆衛生看護管理について理解する。
４．事例を通して健康危機管理の目的と方法を理解する。

授業計画

	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	看護管理の定義 看護管理と公衆衛生看護管理の違い 公衆衛生看護管理の目的	管理の諸側面を理解するために、就職を希望している施設に関する情報を調べ、管理的な情報が含まれていることをイメージできるよう課題学習する。	予習90分：教科書第４章を熟読する。 復習90分：配付資料と教科書を見直す。
	公衆衛生看護管		予習90分：教

第2回	理の基本 公衆衛生看護管理の機能 事例管理 地区管理		科書第４章を熟読する。 復習90分：配付資料と教科書を見直す。
第3回	公衆衛生看護管理の機能 事業・業務管理 組織運営・管理		予習90分：教科書第４章を熟読する。 復習90分：配付資料と教科書を見直す。
第4回	公衆衛生看護管理の機能 予算管理 予算の原則・仕組み・種類		予習90分：教科書第３・４章を熟読する。 復習90分：配付資料と教科書を見直す。
第5回	公衆衛生看護管理の機能 人事管理・人材管理		予習90分：教科書第４章を熟読する。 復習90分：配付資料と教科書を見直す。
第6回	公衆衛生看護管理の機能 情報管理		予習90分：教科書第４章を熟読する。 復習90分：配付資料と教科書を見直す。
第7回	地域ケアとして展開されるサービスの評価・改善 組織・機関の組織診断 地域おけるケアの質保証の方法		予習90分：教科書第４章を熟読する。 復習90分：配付資料と教科書を見直す。
第8回	地域包括ケアシステムの概念 地域包括ケアシステムの構築と発展過程 地域特性を活かした社会資源の開発とその管理		予習90分：教科書第６章を熟読する。 復習90分：配付資料と教科書を見直す。
第9回	健康危機管理とは 健康危機管理の現状 健康危機管理の法的根拠 健康危機管理と保健師活動とその機能		予習90分：教科書第５章を熟読する。 復習90分：配付資料と教科書を見直す。

第10回	保健所の体制づくり 感染症発生時の疫学調査 集団発生時の保健活動		予習90分：教科書第５章を熟読する。 復習90分：配付資料と教科書を見直す。
第11回	初期の保健活動 被災後の経過に沿った保健活動 災害発生後から回復期の保健活動		予習90分：教科書第５章を熟読する。 復習90分：配付資料と教科書を見直す。
第12回	事例を通して考える	事例を通して保健師に求められる看護管理機能についてグループワークを行う。	予習90分：配付資料を熟読する。 復習90分：配付資料と教科書を見直す。
第13回	職業倫理 事例を通して考える	倫理的問題を理解するために事例分析を通して保健師の活動や支援についてグループワークを行う。	予習90分：配付資料を熟読する。 復習90分：配付資料と教科書を見直す。
第14回	専門職として責務と成長 継続教育 自己開発と研究	専門職としての責務についてグループワークを行う。	予習90分：配付資料を熟読する。 復習90分：配付資料と教科書を見直す。
第15回	これからの保健師に求められる看護管理機能 まとめ		予習90分：配付資料を熟読する。 復習90分：配付資料と教科書を見直す。

教科書

①平野かよ子編集 公衆衛生看護管理論 メヂカルフレンド社
②標 美奈子他 公衆衛生看護学概論 医学書院（2年次購入したもの）

参考書

第４版 公衆衛生看護学.jp インターメディカル
＊補足資料として適宜使用します。

成績評価の方法・基準

単位認定60点以上。
筆記試験100％

課題等に対する
フィードバックの方法

各回の講義終了の直前に学習の振り返りとして学びをリアクションペーパーに記述し提出すること。その記述内容を次回の講義時、全体にフィードバックする。

履修のポイント

授業へ積極的に取り組み、既習科目と関連づけて学習を深めましょう。

オフィス・アワー
本科目の講義日は対応します。なお研究室に在室している時は対応します。10号館2階９研究室
科目区分
専門科目
当該授業科目の教育課程内での位置づけ
UK-R370

講義コード	10960001
講義名	公衆衛生看護活動論Ⅳ
(副題)	【保健師必修】
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	後期
講義区分	講義
基準単位数	1
代表曜日	
代表時限	
必修/選択	選択
実務経験のある教員の有無	無
実務経験のある教員の経歴と授業内容	
学年	3学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 堀越 薫	指定なし

授業の概要と教育目標

産業看護職はすべての労働者を対象に保健活動を展開している。就業している期間は人生の中でも重要な位置づけであり、労働者の健康の保持・増進は個人のみならず家族や社会にも重要である。
産業保健の目的、産業保健における看護職の役割、産業保健の制度、労働衛生の現状、健康課題への対策と支援について理解できることを目標とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

本学のディプロマ・ポリシーである医療保健分野に関する幅広い知識と確かな技術を修得するための基本的な科目である。産業保健の変遷と社会的背景、制度を踏まえて産業保健活動の実際を学び看護職の役割や支援方法を理解・説明できることを目指す。

到達目標

①労働者が抱える健康問題について理解する。
②労働関係法規を理解する。
③労働衛生管理体制（組織と人）を理解する。
④看護職の役割と業務を理解する。
⑤産業保健活動の重要性を認識することができる。

授業計画

	担当者	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	堀越薫	産業保健の理念と目的 産業看護職の役割 産業看護の歴史		①予習90分 教科書第1、2章を熟読する。 ②復習90分 教科書と配布資料を見直す。

第2回	堀越薫	産業構造の変遷と現状 労働者の健康問題の変遷と対策		①予習90分 教科書第3章を熟読する。 ②復習90分 教科書と配布資料を見直す。
第3回	堀越薫	女性労働者への健康支援 がんと就労	がんと就労についてディスカッションする。	①予習90分 教科書第3章を熟読する。 ②復習90分 教科書と配布資料を見直す。
第4回	堀越薫	労働安全衛生法に関する法律・行政のしくみ 事業場の安全衛生管理のしくみ		①予習90分 教科書第4章を熟読する。 ②復習90分 教科書と配布資料を見直す。
第5回	堀越薫	労働安全衛生に関する倫理 諸外国の安全衛生管理体制と産業保健専門職	労働安全衛生に関する倫理についてディスカッションする。	①予習90分 教科書第4章を熟読する。 ②復習90分 教科書と配布資料を見直す。
第6回	堀越薫	産業看護活動と基盤理論		①予習90分 教科書第5章を熟読する。 ②復習90分 教科書と配布資料を見直す。
第7回	堀越薫	労働安全衛生法に則った産業看護活動 産業看護活動の評価	実際の産業保健活動について、学んだこと、疑問に思ったことをディスカッションする。	①予習90分 教科書第6章を熟読する。 ②復習90分 教科書と配布資料を見直す。
第8回	堀越薫	今後の展望について まとめ		①予習90分 今までの講義内容を確認 ②復習90分 教科書と配布資料を見直す

教科書

未定

参考書

適宜紹介します。

成績評価の方法・基準

単位認定60点以上
筆記試験80%
課題20%

課題等に対する
フィードバックの方法

講義終了時に学びと疑問に思ったことをリアクションペーパーに記述し提出してください。 その記述内容を次回講義時、全体にフィードバックする。
履修のポイント
将来、自身が労働者になるにあたって、基本的な知識を身に着け職務に励めるように興味を持って参加してください。
オフィス・アワー
在室（10号館2階6研究室）時は対応します。
科目区分
専門科目
当該授業科目の教育課程内での位置づけ
UK-C361

講義コード	10970001
講義名	公衆衛生看護学実習
(副題)	【保健師必修】
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	後期
講義区分	実験・実習
基準単位数	5
代表曜日	
代表時限	
必修/選択	選択
実務経験のある教員の有無	有
実務経験のある教員の経歴と授業内容	行政保健師の実務経験を活かし公衆衛生看護活動の展開について理論と実際をつなげていく。
学年	3学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 檀原 三七子	指定なし
教員	堀越 薫	指定なし

授業の概要と教育目標

地域で生活するあらゆる人々の健康を支援するために行政、産業、学校が提供している保健活動の実際について実習を通して学ぶ。本科目では、地域住民の健康レベルやQOLの向上を目指し、健康課題の解決や改善のために展開される公衆衛生看護活動を通して保健師の役割や支援方法、関係機関や関係者との連携・協働について理解することを目標とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

ディプロマ・ポリシーとの関連は、地域で生活を営むさまざまな健康レベル、発達段階にある対象者に対して、展開される看護実践とこれまで学習した知識・技術などの理論を統合することにより目的達成に資する実践能力を養う。

到達目標

1）地域で生活する個人・家族・集団の健康課題とそれに対応する保健圧胴の展開方法を理解する。
2）行政・産業・学校等の地域保健活動の保健師の支援技術の特徴を理解する。
3）地域での保健活動における関係機関・職種との連携・協働の実際と保健師の役割を理解する。
4）産業保健における健康課題とそれに対応する支援方法を理解する。
5）専門職として、また組織の一員としての責任と態度ある行動をとることができる。

授業計画

	担当者	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習と そのために必要な時間
	檀原	・地域診断：実習する市町村の地域診断を行う。各種統計資料の収集と分析、地区踏査		予習： ・家庭訪問事例の配付資料を熟読し、疑問点をまとめておく。 ・乳幼児健康診査に関する

第1回	三七子	・家庭訪問、乳児健康診査の一連を演習する。 ・健康教育の準備と中間発表の実施 （1週間のうち学内実習5日）		配付資料を熟読し、疑問点をまとめておく。 復習： ・配付資料と教科書を見直す。 ・健康教育の準備、援助技術を習得しておく。
第2回	檀原三七子	（１）臨地において各施設のオリエンテーションを受ける。地域の概要、各種保健事業を理解する。 （２）保健師が行う家庭訪問に同行する。 （３）各種保健事業へ参加し、一連の事業を通して保健師の役割、支援の実際を具体的に理解する。 （４）健康教育を実施する。 （５）地域の健康課題を解決するために地域診断に基づくPDCAサイクルの展開方法を理解する。さらに、関係機関や関係者との連携・協働、調整について理解する。 （６）健康増進計画、保健福祉計画等の説明を受ける。 （７）窓口相談、電話相談など事務室で行われている保健活動について理解する。 （８）保健師が行う事務的な業務を理解する。 （3週間のうち臨地実習13日、学内実習2日）	臨地実習では、可能な限り毎日カンファレンスを行い、体験した保健事業などについて意見交換し、学びを共有する。	予習： 公衆衛生看護学実習に関連する既習科目の見直し、実習要項を熟読し、実習目的・目標が達成されるために必要な知識と技術を確認し実習に臨む。 復習： 毎日実習目的・目標が達成されているか振り返り、達成できていないところは課題とし、実習最終日までに達成できるようにする。
第3回	檀原三七子	・産業保健総合支援センター、健康管理センターにおける保健師の役割等について理解しレポートする。 （1週間のうち臨地実習2日、学内実習3日）	保健所・市町村保健センターでの学びを実習目標に照らし合わせてグループ発表し、学びを共有する。	予習： ・産業保健活動や健康管理センターの活動について関係する教科書や資料を読み、疑問点や課題をまとめておく。 ・行政機関での学びの発表の準備をする。 復習： 実習での実際と理論を統合させ学習を深めておく。

教科書

・国民衛生の動向（厚生統計協会）
・群馬県健康福祉統計2019（CD-ROM）

参考書

・対象別公衆衛生看護活動論 医学書院 中谷芳美ほか
・第４版 公衆衛生看護学. ｊｐ インターメディカル 荒賀直子ほか
（公衆衛生看護学に関連した既存の各種教科書）

成績評価の方法・基準

単位認定60点以上。

事前学習10%、サブノートの活用10%、記録内容20%、実習中の態度や参加状況50%、報告会10%で評価する。
課題等に対する フィードバックの方法
課題に対しては健康教育の中間発表、実習の成果報告会を行い全体へフィードバックする。
履修のポイント
・既習科目と連動させ学習を深めましょう。 ・健康教育の準備と発表はメンバーと協力して行ってください。
オフィス・アワー
・実習中は、担当教員といつでも連絡できるように連絡方法を確認しておく。
科目区分
専門科目
当該授業科目の教育課程内での位置づけ
UK-C362

講義コード	10980001
講義名	養護概論
(副題)	【教職必修】
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	後期
講義区分	講義
基準単位数	2
代表曜日	
代表時限	
必修/選択	選択
実務経験のある教員の有無	有
実務経験のある教員の経歴と授業内容	公立学校において養護教諭として学校保健活動の推進に従事した経験を活かし、"学校現場の今を捉えた理論と実際の理解"と"児童生徒の多様な健康課題に対応し得る能力の育成"を重視した授業展開を行う。
学年	3学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 間戸 美恵	指定なし

授業の概要と教育目標

本科目は、教育職員免許法に示された「養護概説」の趣旨に基づき、養護教諭の責務と保健室の機能を生かした養護教諭の職務を概説する。学校保健の推進にあたって中核的役割を担う養護教諭の職務と役割、機能を理解し、児童生徒の健康の保持増進や健康問題の解決の方法と技術について、専門的･実践的に学修することを目標とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

ディプロマ･ポリシーとの関連は、対象の発達段階や健康レベルをふまえて、個や集団への適切な養護活動を展開するための基盤となる資質･能力を養うものである。

到達目標

1. 養護教諭の職務内容について理解し、説明できる
2. 養護活動を実践するための基本的技術、方法について理解する
3. 児童生徒の健康の保持増進と安全・安心を守るための組織的な養護活動の必要性について理解する

授業計画

	担当者	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	間戸美恵	オリエンテーション 養護教諭の職務と役割(1)	養護教諭の職務内容と法的根拠、求められる役割や資質能力について、グループワークを通して学ぶ	予習（90分）：教科書第1章を事前学習 復習（90分）：配布資料等の見直し
第2回	間戸	養護教諭の職務と役	養護教諭の職務内容と法的根拠、求められる役割や資質能力について、	予習（90分）：教科書第4章を事前学習

	美恵	割(2)	グループワークを通して学ぶ	復習（90分）：配布資料等の見直し
第3回	間戸美恵	保健教育の実際(1)	調べ学習 （保健教育における効果的な教材活用、保健だよりの作成）	予習（90分）：教科書第6章を事前学習 復習（90分）：配布資料等の見直し 課題テーマに取り組む
第4回	間戸美恵	保健教育の実際(2)	模擬授業の参観 （教職実践演習を履修する4年生の模擬授業を児童生徒の立場になって参観し、評価シートを用いて授業評価）	予習（90分）：教科書第6章を事前学習 復習（90分）：配布資料等の見直し
第5回	間戸美恵	特別講師による講話 （学校における教育相談）		予習（90分）：参考書や資料で事前学習 復習（90分）：配布資料等の見直し
第6回	間戸美恵	健康診断の実際(1) －健康診断項目と実施、事後措置について		予習（90分）：教科書第5章2節を事前学習 復習（90分）：配布資料等の見直し
第7回	間戸美恵	健康診断の実際(2) －主な健康診断項目の演習	ロールプレイング （グループに分かれて、児童生徒役、先生役になって演習）	予習（90分）：教科書第5章2節を事前学習 復習（90分）：配布資料等の見直し
第8回	間戸美恵	疾病管理(1) －個別支援が必要な子どもの把握と対応について	グループ･ディスカッションと発表	予習（90分）：教科書 第5章3・4節を事前学習 復習（90分）：配布資料等の見直し
第9回	間戸美恵	疾病管理(2) －個別支援が必要な子どもの把握と対応について	グループ･ディスカッションと発表	予習（90分）：教科書 第5章3・4節を事前学習 復習（90分）：配布資料等の見直し
第10回	間戸美恵	保健室経営 －養護教諭の職務と保健室の機能を生かした保健室経営について	グループワーク	予習（90分）：教科書第11章を事前学習 復習（90分）：配布資料等の見

				直し
第11回	間戸美恵	保健組織活動と養護教諭の役割		予習（90分）：教科書第12章を事前学習 復習（90分）：配布資料等の見直し
第12回	間戸美恵	学校環境衛生活動の実際(1)	学校における環境衛生検査の演習をロールプレイで行う	予習（90分）：教科書第5章5節を事前学習 復習（90分）：配布資料等の見直し
第13回	間戸美恵	学校環境衛生活動の実際(2)	学校における環境衛生検査の演習をロールプレイで行う	予習（90分）：教科書第5章5節を事前学習 復習（90分）：配布資料等の見直し
第14回	間戸美恵	保健教育の実際(3)	グループワークと発表 （保健だよりを活用した保健教育の実践）	予習（90分）：参考書や資料で事前学習 復習（90分）：配布資料等の見直し
第15回	間戸美恵	まとめ、テスト	これまでの学習の振り返り･まとめをし、試験を行う	予習（180分）：これまでの配付資料等の見直し

教科書

「新養護概説－第11版－」少年写真新聞社

参考書

「新版 学校保健－チームとしての学校で取り組むヘルスプロモーション－」東山書房

成績評価の方法・基準

授業の取り組み（参加･貢献度）40％、テスト40％、課題提出20％とし、60点以上で単位認定とする。

課題等に対する
フィードバックの方法

授業内で課題を課すことがある。返却するので、参考資料等も含めて振り返りをし、学習内容の理解に役立てること。

履修のポイント

養護教諭養成コースの中核的な科目です。積極的･主体的に授業に参加して、養護教諭の職務の基礎基本を学び取ることが大切です。自己学習を合わせて行い、理解を深めてください。
尚、この科目は「学校保健I（学校保健の概要）」を履修していることを前提とします。

オフィス・アワー

在室時に随時対応します。10号館第1研究室

科目区分

専門科目

当該授業科目の教育課程内での位置づけ

講義コード	10990001
講義名	学校保健I
(副題)	【教職必修】【保健師必修】
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	後期
講義区分	講義
基準単位数	1
代表曜日	
代表時限	
必修/選択	選択
実務経験のある教員の有無	有
実務経験のある教員の経歴と授業内容	公立学校において養護教諭として学校保健活動の推進に従事した経験を活かし、"学校現場の今を捉えた理論と実際の理解"と"児童生徒の多様な健康課題に対応し得る能力の育成"を重視した授業展開を行う。
学年	3学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 間戸 美恵	指定なし

授業の概要と教育目標

学校保健の中核的役割を担う養護教諭並びに保健師や看護師の基礎教養となる。学校保健の目的・意義を理解し、保健管理・安全、保健教育、組織活動、ヘルスプロモーションの理念に基づいた学校保健の推進等について、法的根拠を踏まえながら概説する。

卒業認定・学位授与の方針との関連

医療保健学部看護学科のディプロマ･ポリシーは、社会・環境・コミュニケーションなどの諸側面から人間に対する理解を深めることを目指している。本講義は、学校保健の領域からこの目標達成を目指すものである。

到達目標

1. 学校保健の目的・意義と変遷について理解し説明できる
2. 学校保健の関連法規について理解し説明できる
3. 学校保健の構造と関わる組織について考え、説明できる
4. ヘルスプローションの理念に基づいた学校保健活動の推進について理解する
5. 学校保健の今日的課題を見つけ、説明できる

授業計画

	担当者	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	間戸美恵	オリエンテーション 学校保健概説（学校保健の目的、領域構造、関連法規・学校関係職員）	調べ学習（学校保健の3領域、学校保健関係職員について）	予習（90分）：教科書等で事前学習 復習（90分）：教科書及び参考資料を見直し課題テーマに取り組む
第2回	間戸美	学校保健経営－学校保健計画と学校安全計画 ヘルスプロモーションの	ワークシートの活用（学校保健計画の作成） 調べ学習（学校におけるヘ	予習（90分）：教科書等で事前学習 復習（90分）：教科書

	恵	概念を取り入れた学校保健活動の展開	ルスプロモーションについて）	及び参考資料を見直し課題テーマに取り組む
第3回	間戸美恵	子どもの現代的健康課題	グループワーク（子どもの現代的な健康課題の実態と支援について）	予習（90分）：関連する既習の参考書等で事前学習 復習（90分）：教科書及び参考資料を見直しグループワークのテーマに取り組む
第4回	間戸美恵	学校保健活動① 健康観察と健康診断		予習（90分）：教科書等で事前学習 復習（90分）：教科書及び参考資料を見直し
第5回	間戸美恵	学校保健活動② 健康相談	ワークシートの活用（学校における健康相談事例の検討） 調べ学習（健康相談と保健管理、保健教育、保健指導との関連について）	予習（90分）：教科書等で事前学習 復習（90分）：教科書及び参考資料を見直し課題テーマに取り組む
第6回	間戸美恵	学校保健活動③ 学校環境衛生、感染症予防		予習（90分）：教科書等で事前学習 復習（90分）：教科書及び参考資料を見直し
第7回	間戸美恵	学校保健活動④ 保健教育、保健指導	グループワーク（効果的な保健教育の方法について）	予習（90分）：教科書等で事前学習 復習（90分）：参考資料等の見直し
第8回	間戸美恵	まとめ、小テスト	これまでの学習の振り返り･まとめをし、小テストを行う	予習（50分）：これまでの配布資料や課題ノート等の見直し

教科書

「新版 学校保健ーチームとしての学校で取り組むヘルスプロモーションー」東山書房

参考書

とくに指定しない。

成績評価の方法・基準

授業の取り組み40%、課題提出30%、小テスト30%とし、60点以上で単位認定とする。

課題等に対するフィードバックの方法

授業内で課題を課すことがある。返却するので、参考資料等も含めて振り返りをし、学習内容の理解に役立てること。

履修のポイント

児童生徒の健康課題や教育に関する時事問題に関心を持って臨むことで学びが深まります。

オフィス・アワー

在室時に随時対応します。10号館第1研究室

科目区分

専門科目

当該授業科目の教育課程内での位置づけ

UK-C363

講義コード	11000001
講義名	学校保健II
(副題)	【教職必修】
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	後期
講義区分	講義
基準単位数	1
代表曜日	木曜日
代表時限	３時限
必修/選択	選択
実務経験のある教員の有無	有
実務経験のある教員の経歴と授業内容	公立学校において養護教諭として学校保健活動の推進に従事した経験を活かし、"学校現場の今を捉えた理論と実際の理解"と"児童生徒の多様な健康課題に対応し得る能力の育成"を重視した授業展開を行う。
学年	4学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 間戸 美恵	指定なし

授業の概要と教育目標

本科目は、養護教諭の日々の実践の集積を研究的に捉え、発信していくことの重要性について学ぶ。児童生徒の実態や健康課題に対する問いへの答えを、推測や想像に留めるのではなく客観的な事実や理論的な根拠をもって探索していこうとする資質･能力を身につけることを目標とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

本科目は、看護並びに学校保健の専門領域における知識と技術の統合、問題を解決する能力を修得することを目指すものである。

到達目標

1. 養護教諭の実践活動を研究的に捉えることの目的と意義について理解する
2. 保健室に集積される保健情報の適切な管理と活用の実際について理解する
3. 個々の保健情報の集積から対象集団の特徴や健康課題について考察し、説明することができる

授業計画

	担当者	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	間戸美恵	オリエンテーション 学校保健の今日的課題	グループワーク （身近な健康問題や健康情報に関する発表テーマを決める）	復習（90分）：参考資料等の見直し 課題テーマに取り組む
第2回	間戸美恵	保健室における情報の管理と活用 －保健管理、保健教育の観点からの効果的な活用について		予習（90分）：関連する既習の参考書等で事前学習 復習（90分）：参考資料等の見直し

第3回	間戸美恵	保健統計データを活用する(1) －健康診断における情報活用	模擬データを用いて演習を行う	予習（90分）：関連する既習の参考書等で事前学習 復習（90分）：参考資料等の見直し
第4回	間戸美恵	保健統計データを活用する(2) －保健室利用状況管理	模擬データを用いて演習を行う	予習（90分）：関連する既習の参考書等で事前学習 復習（90分）：参考資料等の見直し
第5回	間戸美恵	保健統計データを活用する(3) －保健教育への活用	各自が統計処理したデータを活用し、保健だよりや保健教育教材を作成する	予習（90分）：関連する既習の参考書等で事前学習 復習（90分）：参考資料等の見直し
第6回	間戸美恵	研究力を高める(1) －実践活動の研究的な捉え方について		予習（90分）：関連する既習の参考書等で事前学習 復習（90分）：参考資料等の見直し 課題テーマに取り組む
第7回	間戸美恵	研究力を高める(2) －学校保健に関する論文抄読の基本的手法	グループワーク （児童生徒の健康課題や養護実践に関する論文を題材として文献検討を行う）	予習（90分）：関連する既習の参考書等で事前学習 復習（90分）：参考資料等の見直し
第8回	間戸美恵	プレゼンテーション力を磨く まとめ	各自の発表テーマでプレゼンテーションを行う これまでの学習の振り返り、まとめを行う	予習（140分）：課題テーマに取り組む

教科書

とくに指定しない。必要に応じて、プリント等を配布する。

参考書

「新養護概説－第11版－」少年写真新聞社

成績評価の方法・基準

授業の取り組み（参加･貢献度）60%、課題提出40%とし、60点以上で単位認定とする。

課題等に対するフィードバックの方法

授業内で課題を課すことがある。返却するので、参考資料等も含めて振り返りをし、学習内容の理解に役立てること。

履修のポイント

予習や講義･演習の振り返りを欠かさずに行い、積極的に取り組んでください。

オフィス・アワー

在室時に随時対応します。10号館第1研究室

科目区分

専門科目

当該授業科目の教育課程内での位置づけ

UK-C371

講義コード	11010001
講義名	学校保健III
(副題)	【教職必修】
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	前期
講義区分	講義
基準単位数	1
代表曜日	月曜日
代表時限	３時限
必修/選択	選択
実務経験のある教員の有無	有
実務経験のある教員の経歴と授業内容	公立学校において養護教諭として学校保健活動の推進に従事した経験を活かし、"学校現場の今を捉えた理論と実際の理解"と"児童生徒の多様な健康課題に対応し得る能力の育成"を重視した授業展開を行う。
学年	4学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 間戸 美恵	指定なし

授業の概要と教育目標

本科目では、養護教諭が行う健康相談の概念と特質、健康相談をすすめるための理論と技法について理解を深める。さらに、養護教諭の職務や役割と保健室の機能を生かした健康相談活動に必要な実践力を身に付けることを目標とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

医療保健学部看護学科のディプロマ･ポリシーは、社会・環境・コミュニケーションなどの諸側面から人間に対する理解を深めることを目指している。本講義は、学校保健の領域からこの目標達成を目指すものである。

到達目標

1. 健康相談に関する基礎的な知識･理解を深める
2. 健康相談の対象となる児童生徒の健康課題について考えることができる
3. 健康相談を行うにあたっての基本的な態度、技法を身につける
4. 教職員や保護者との連携、関係機関との連携のあり方を具体的に述べることができる

授業計画

	担当者	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	間戸美恵	オリエンテーション 健康相談の目的、関連法規、実施者と対象	ワークシートの活用（養護教諭の役割や特徴について）	復習（90分）：教科書及び参考資料を見直し
第2回	間戸美恵	養護教諭が行う健康相談の基本的な考え方 健康相談のプロセス		予習（90分）：教科書等で事前学習 復習（90分）：教科書及び参考資料を見直し 課題テーマに取り組む
				予習（90分）：教科書等

第3回	間戸美恵	対象理解と見立て	ワークシートの活用（児童生徒理解について）	で事前学習 復習（90分）：教科書及び参考資料を見直し
第4回	間戸美恵	健康相談を支える諸理論(1)	相談活動の際に用いる基本技法について演習を行う	予習（90分）：教科書等で事前学習 復習（90分）：教科書及び参考資料を見直し
第5回	間戸美恵	健康相談を支える諸理論(2)	相談活動の際に用いる基本技法について演習を行う	予習（90分）：教科書等で事前学習 復習（90分）：教科書及び参考資料を見直し 課題テーマに取り組む
第6回	間戸美恵	健康相談の実際 -継続的な支援を要する児童生徒への対応	ワークシートの活用 調べ学習	予習（90分）：教科書等で事前学習 復習（90分）：教科書及び参考資料を見直し 課題テーマに取り組む
第7回	間戸美恵	健康相談模擬事例の検討(1)	個人及びグループワーク	予習（90分）：教科書等で事前学習 復習（90分）：教科書及び参考資料を見直し
第8回	間戸美恵	健康相談模擬事例の検討(2)、まとめ	個人及びグループワーク これまでの学習の振り返り、まとめを行う	復習（140分）：これまでの配布資料等の見直し 課題レポートに取り組む

教科書

とくに指定しない。必要に応じて、プリント等を配付する。

参考書

「教職員のための子どもの健康相談及び保健指導の手引」文部科学省
「新版養護教諭の行う健康相談」東山書房

成績評価の方法・基準

授業の取り組み（参加･貢献度）60％、レポート･課題40％とし、60点以上で単位認定とする。

課題等に対するフィードバックの方法

授業内で課題を課すことがある。返却するので、参考資料等も含めて振り返りをし、学習内容の理解に役立てること。

履修のポイント

予習や講義･演習の振り返りを欠かさずに行い、積極的に取り組んでください。

オフィス・アワー

在室時に随時対応します。10号館第1研究室

科目区分

専門科目

当該授業科目の教育課程内での位置づけ

UK-C372

講義コード	11010002
講義名	学校保健III（教職課程履修者用）
(副題)	【教職必修】
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	前期
講義区分	講義
基準単位数	1
代表曜日	火曜日
代表時限	３時限
必修/選択	選択
実務経験のある教員の有無	有
実務経験のある教員の経歴と授業内容	公立学校において養護教諭として学校保健活動の推進に従事した経験を活かし、"学校現場の今を捉えた理論と実際の理解"と"児童生徒の多様な健康課題に対応し得る能力の育成"を重視した授業展開を行う。
学年	4学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 間戸 美恵	指定なし

授業の概要と教育目標

本科目では、養護教諭が行う健康相談の概念と特質、健康相談をすすめるための理論と技法について理解を深める。さらに、養護教諭の職務や役割と保健室の機能を生かした健康相談活動に必要な実践力を身に付けることを目標とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

医療保健学部看護学科のディプロマ･ポリシーは、社会・環境・コミュニケーションなどの諸側面から人間に対する理解を深めることを目指している。本講義は、学校保健の領域からこの目標達成を目指すものである。

到達目標

1. 健康相談に関する基礎的な知識･理解を深める
2. 健康相談の対象となる児童生徒の健康課題について考えることができる
3. 健康相談を行うにあたっての基本的な態度、技法を身につける
4. 教職員や保護者との連携、関係機関との連携のあり方を具体的に述べることができる

授業計画

	担当者	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	間戸美恵	オリエンテーション 健康相談の目的、関連法規、実施者と対象	ワークシートの活用（養護教諭の役割や特徴について）	復習（90分）：教科書及び参考資料を見直し
第2回	間戸美恵	養護教諭が行う健康相談の基本的な考え方 健康相談のプロセス		予習（90分）：教科書等で事前学習 復習（90分）：教科書及び参考資料を見直し 課題テーマに取り組む
				予習（90分）：教科書等

第3回	間戸美恵	対象理解と見立て	ワークシートの活用（児童生徒理解について）	で事前学習 復習（90分）：教科書及び参考資料を見直し
第4回	間戸美恵	健康相談を支える諸理論(1)	相談活動の際に用いる基本技法について演習を行う	予習（90分）：教科書等で事前学習 復習（90分）：教科書及び参考資料を見直し
第5回	間戸美恵	健康相談を支える諸理論(2)	相談活動の際に用いる基本技法について演習を行う	予習（90分）：教科書等で事前学習 復習（90分）：教科書及び参考資料を見直し 課題テーマに取り組む
第6回	間戸美恵	健康相談の実際 -継続的な支援を要する児童生徒への対応	ワークシートの活用 調べ学習	予習（90分）：教科書等で事前学習 復習（90分）：教科書及び参考資料を見直し 課題テーマに取り組む
第7回	間戸美恵	健康相談模擬事例の検討(1)	個人及びグループワーク	予習（90分）：教科書等で事前学習 復習（90分）：教科書及び参考資料を見直し
第8回	間戸美恵	健康相談模擬事例の検討(2)、まとめ	個人及びグループワーク これまでの学習の振り返り、まとめを行う	復習（140分）：これまでの配布資料等の見直し 課題レポートに取り組む

教科書

とくに指定しない。必要に応じて、プリント等を配付する。

参考書

「教職員のための子どもの健康相談及び保健指導の手引」文部科学省
「新版養護教諭の行う健康相談」東山書房

成績評価の方法・基準

授業の取り組み（参加･貢献度）60％、レポート･課題40％とし、60点以上で単位認定とする。

課題等に対するフィードバックの方法

授業内で課題を課すことがある。返却するので、参考資料等も含めて振り返りをし、学習内容の理解に役立てること。

履修のポイント

予習や講義･演習の振り返りを欠かさずに行い、積極的に取り組んでください。

オフィス・アワー

在室時に随時対応します。10号館第1研究室

科目区分

専門科目

当該授業科目の教育課程内での位置づけ

UK-C372

講義コード	11020001
講義名	学校保健IV
(副題)	【教職必修】
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	前期
講義区分	講義
基準単位数	1
代表曜日	水曜日
代表時限	２時限
必修/選択	選択
実務経験のある教員の有無	有
実務経験のある教員の経歴と授業内容	公立学校において養護教諭として学校保健活動の推進に従事した経験を活かし、"学校現場の今を捉えた理論と実際の理解"と"児童生徒の多様な健康課題に対応し得る能力の育成"を重視した授業展開を行う。
学年	4学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 間戸 美恵	指定なし

授業の概要と教育目標

学校において起こり得る児童生徒の傷病について知り、養護教諭が行う救急処置活動及び教育的な側面と関連づけた対応の実際について、講義及び演習を通して学ぶ。

卒業認定・学位授与の方針との関連

本講義は、対象の発達段階や健康レベルに関わる科学的知識をもち、基本的看護技術を既に修得していることが必須であり、さらに学校における養護教諭の専門性を活かした援助技術や対応能力を養うものである。

到達目標

1. 学校における救急処置の基本的技術を身につける。
2. 学校種別の児童生徒の傷病の特徴について知り、対象の発達段階を踏まえた的確な処置及び対応について考えることができる。

授業計画

	担当者	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	間戸美恵	＜オリエンテーション＞ 授業概要の説明 ＜学校における救急処置活動のプロセス＞ 傷病を訴えた児童生徒に養護教諭が行う救急処置活動のアセスメントプロセスについて学ぶ		予習（90分）：教科書等で事前学習 復習（90分）：参考資料等の見直し
第2回	間戸美恵	＜校内救急体制と地域連携について＞ 学校の救急対応に関わる組織体制と、学校と地域の関係機関との連携について理解する	グループワーク	復習（90分）：参考資料等の見直し

第3回	間戸美恵	＜学校における看護的技術と養護教諭＞ 看護のスキルを活かした、学校における援助技術について基本的知識と理解を深める	ロールプレイング（児童生徒役、先生役になって演習）	予習（90分）：関連する既習の参考書等で事前学習 復習（90分）：参考資料等の見直し
第4回	間戸美恵	＜学校における援助技術の実際(1)＞ 具体的な傷病への救急処置活動について演習を通して学ぶ	ロールプレイング（児童生徒役、先生役になって演習）	予習（90分）：関連する既習の参考書等で事前学習 復習（90分）：参考資料等の見直し
第5回	間戸美恵	＜学校における援助技術の実際(2)＞ 具体的な傷病への救急処置活動について演習を通して学ぶ	ロールプレイング（児童生徒役、先生役になって演習）	予習（90分）：関連する既習の参考書等で事前学習 復習（90分）：参考資料等の見直し
第6回	間戸美恵	＜学校種別の救急処置活動＞ 学校種別の対象によって発生しやすい傷病とその対応について学ぶ	調べ学習	予習（90分）：関連する既習の参考書等で事前学習 復習（90分）：参考資料等の見直す
第7回	間戸美恵	＜模擬事例検討＞ 学校における典型的な救急事例について、個人ワーク及びグループワークでアセスメントプロセスと対応を検討する	グループワーク、グループディスカッション	予習（140分）：これまでの配布資料等の見直し
第8回	間戸美恵	＜模擬事例の検討、まとめ＞ 学校における典型的な救急事例について、個人ワーク及びグループワークでアセスメントプロセスと対応を検討する これまでの学びの振り返りを行う	グループワーク、グループディスカッション	復習（180分）：課題レポートに取り組む

教科書

「養護教諭、保健師、看護師のための、改定学校看護－学校環境と身体的支援を中心に－」東山書房

参考書

「保健室で役立つ ステップアップ フィジカルアセスメント」東山書房

成績評価の方法・基準

授業の取り組み（参加･貢献度）60%、レポート･課題40%とし、60点以上で単位認定とする。

課題等に対するフィードバックの方法

既習のテキスト等の見直しや図書館等で調べ学習をして理解を深めてください。

履修のポイント

学校で唯一の医療的素養をもつ養護教諭が行う救急処置活動の基本を履修します。自己の課題として考えられる事柄は復習を欠かさずに臨んでください。

オフィス・アワー

在室時に随時対応します。10号館第1研究室

科目区分

専門科目

当該授業科目の教育課程内での位置づけ

UK-C380

講義コード	11030001
講義名	機能看護学概論
(副題)	
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	前期（重複②）
講義区分	講義
基準単位数	1
代表曜日	木曜日
代表時限	３時限
必修/選択	必修
実務経験のある教員の有無	有
実務経験のある教員の経歴と授業内容	看護管理者としての実務経験を活かし看護管理とは何かについて講義する
学年	2学年

担当教員

職種	氏名	所属
教 員	◎ 島崎 すえ子	指定なし

授業の概要と教育目標

看護の対象あるいは社会から期待される専門職としての役割や責任を果たすためには、生涯にわたり自己の能力を開発・発展させ、社会化に貢献できる能力を身につけなければならない。ここでは看護管理の基礎と看護専門職としての役割と機能について学び、組織の一員としての看護のあり方、社会の変化に対応した看護職の機能拡大の可能性について考える。
機能看護（看護管理）に必要な知識を学び、看護専門職としての役割と機能について理解する。

卒業認定・学位授与の方針との関連

医療保健学部看護学科のディプロマポリシーとの関連として、臨床現場でチーム医療の一員として活躍し、そこで調整する能力及び問題解決する能力を修得することを目指すものとする。

到達目標

看護管理とは何か、看護管理がなぜ必要なのかについて学び、組織の一員として看護に活かすことができるようになる。

授業計画

	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	看護管理の歴史・変遷	看護管理の歴史をたどり、ナイチンゲールの「看護覚え書き」から管理の必要性について討論する。	予習（90分）：事前配布資料を読む 復習（90分）：配付資料を見直す
第2回	看護管理の概要	看護管理の定義とその役割について討論する。	予習（90分）：教科書第1章　を読む 復習（90分）：配付資料を見直す
第3回	看護管理の基礎	組織の成り立ちと構造、機能について討論する。	予習（90分）：教科書第1章②を読む 復習（90分）：配付

			資料を見直す
第4回	看護管理の基礎	看護に関する法律、制度から看護管理の必要性について討論する	予習（90分）：教科書第III章2.3を読む 復習（90分）：配付資料を見直す
第5回	看護専門職の役割・機能	専門職としての自律性と責務について討論する。	予習（90分）：教科書第1章　を読む 復習（90分）：配付資料を見直す
第6回	看護専門職の役割・機能	看護の動向から、看護職に求められる役割、機能について討論する。	予習（90分）：教科書第2章ー６を読む 復習（90分）：配付資料を見直す
第7回	グループワーク	看護専門職の役割と看護管理についてグループで討論する。	予習（90分）：教科書第２章④ーCを読む 復習（90分）：配付資料を見直す
第8回	グループワーク	看護専門職の役割と看護管理について討論した結果をグループごとに発表する。	予習（90分）：教科書第2章④ーCを読む 復習（90分）：配付資料を見直す

教科書

手島恵/藤本幸三『看護管理学』、南江堂

参考書

・井部俊子監修『看護管理学習テキスト 看護管理概説』、日本看護協会出版会
・上泉和子ほか『系統看護学講座 統合分野 看護の統合と実践1 看護管理』（医学書院）
・フロレンス・ナイティンゲール『看護覚え書き』、日本看護協会出版会

成績評価の方法・基準

単位認定60点以上。授業及び実習態度（10%）、グループワーク発表（10%）、レポート（80%）による。

課題等に対するフィードバックの方法

授業内で活用した学習カードを返却するので学習の参考にすること。

履修のポイント

看護専門職としての役割と機能を学び、臨地実践（臨床実習）で活かしてもらいたい。

オフィス・アワー

授業日の授業開始前もしくは終了後に教室等で質問に応じる。

科目区分

専門科目

当該授業科目の教育課程内での位置づけ

UK-R331

講義コード	11040001
講義名	機能看護学I
(副題)	
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	後期（重複②）
講義区分	講義
基準単位数	1
代表曜日	月曜日
代表時限	２時限
必修/選択	必修
実務経験のある教員の有無	有
実務経験のある教員の経歴と授業内容	看護師としての病院おける実務経験をもとに、看護実践の理論とその基盤となる概念について、具体例を挙げながら解説する。
学年	2学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 三木 園生	指定なし

授業の概要と教育目標

看護教育制度を学び、看護基礎教育が社会の政治的、社会的、文化的要因により変化し確立されたことを理解する。また、看護の役割や機能も社会のニーズによって変化していくことから、生涯にわたり自己の能力を開発・発展させ、社会に貢献できる能力を身に着けることが求められる。1年次までの学習や2年次の各領域の看護学概論での学びから、看護の役割や機能を知り、自ら選択した看護職について深く考え、自己のライフステージにおける発達課題の達成と専門職業人として徐々に社会化していく過程について自覚することを目標とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

医療保健学部看護学科のディプロマ・ポリシーとの関連として、看護の基本精神を理解することを目指す。看護学を系統的に学ぶための基礎知識を身に着け、将来的には、専門職業人として社会化していくことを自覚しながら学び続ける意義を理解することを目指すものとする。

到達目標

１．看護教育制度について理解する。
２．看護基礎教育がどのように変化し確立されたかを理解する。
３．看護の役割や機能がどのような社会のニーズによって変化してきたかを理解する。
４．専門職業人として生涯にわたり学び続けることの必要性を理解する。
５．専門職業人として社会化していく過程について自覚する。

授業計画

	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	【科目ガイダンス】 ・機能看護学とは		予習90分：科目のシラバスを確認する。復習90分：配布資料を見直す。
第2回	【看護教育制度】 ・看護教育制		予習90分：1回目の授業で提示された課題に取り組む。復習90分：配布資料

	度の歴史的変遷		を見直す。
第3回	【看護基礎教育課程】 ・看護基礎教育課程のカリキュラムの特徴 ・大学と専門学校のカリキュラムの相違 ・大学において看護学を学ぶ意義		予習90分：2回目の授業で提示された課題に取り組む。復習90分：配布資料を見直す。
第4回	【看護の専門性①】 ・看護は専門職なのか？ ・専門職（プロフェッション）とは？		予習90分：3回目の授業で提示された課題に取り組む。復習90分：配布資料を見直す。
第5回	【看護の専門性②】 ・保健師、助産師、看護師について ・専門看護師、認定看護師について ・その他	看護の仕事に関するDVDを視聴し、ワークシートに感想を記入する。授業終了時に提出。	予習90分：4回目の授業時に提示された課題に取り組む。復習90分：配布資料を見直す。
第6回	【キャリア発達】 ・自己の発達課題と専門職業人としての社会化について① ・キャリアとは ・キャリア発達とは	次回からの演習に向けて、グループを編成する。グループごとにテーマを決定する。	予習90分：5回目の授業時に提示された課題に取り組む。復習90分：配布資料を見直す。テーマごとの課題に取り組む。
第7回	【キャリア発達】 ・自己の発達課題と専門職業人としての社会化について②	グループ学習① グループごとのテーマについて各自が調べてきた内容を発表し合い、意見をまとめる。発表準備。記録用紙の提出。	予習90分：テーマごとの課題に取り組み、グループ学習がスムーズに進められるよう準備する。復習90分：配布資料を見直す。次回の発表に向けて準備する。
第8回	【キャリア発達】 ・自己の発達課題と専門職業人としての社会化につい	グループ学習② グループごとのテーマに沿って話し合った内容を発表する。	予習90分：グループごとに発表準備をする。復習90分：授業全体を振り返る。

	て③ 【まとめ】		

教科書

使用しません。

参考書

杉森みどり・舟島なをみ著、『看護教育学 第6版』医学書院
グレッグ美鈴・池西悦子編、『看護学テキストＮｉｃｅ 看護教育学 改訂第2版 看護を学ぶ自分と向き合う』南江堂
エドガーH.シャイン著 金井壽宏訳、『キャリア・アンカー 自分のほんとうの価値を発見しよう』白桃書房

成績評価の方法・基準

単位認定は60点以上とする
グループ学習に向けた中間レポート10%、最終レポート70%、プレゼンテーション20%で評価します

課題等に対する
フィードバックの方法

授業時間内に課されるワークシート、グループ学習に向けた中間レポートは返却しますので、学習の振り返りに活用してください

履修のポイント

現在、自らが学んでいる看護職について将来を含めて考える機会となる科目です。これまでに学んできた科目を復習したり、紹介された図書などを読むことをおすすめします。グループ学習と発表を予定していますので、積極的な取り組みを期待します

オフィス・アワー

在室時、随時対応します。10号館2階 研究室7

科目区分

専門科目

当該授業科目の教育課程内での位置づけ

UK-R341

講義コード	11050001
講義名	機能看護学II
(副題)	
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	後期
講義区分	講義
基準単位数	1
代表曜日	
代表時限	
必修/選択	必修
実務経験のある教員の有無	有
実務経験のある教員の経歴と授業内容	看護管理者としての実務経験を活かし看護マネジメントの機能について講義する
学年	3学年

担当教員

職種	氏名	所属
教 員	◎ 島崎 すえ子	指定なし

授業の概要と教育目標

看護におけるマネジメントの機能は、「良質な看護サービスをより円滑に提供するための仕組みやその運営活動」であり、看護実践のあるところ、すべてにおいて必要とされる。
看護サービスの提供を組織とマネジメントの視点からとらえ、看護におけるマネジメントの機能について学ぶ。

卒業認定・学位授与の方針との関連

医療保健学部看護学科のディプロマポリシーとの関連として、臨床現場でチーム医療の一員として活躍し、そこで調整する能力及び問題解決する能力を修得することを目指すものとする。

到達目標

看護におけるマネジメントの機能について学び、看護の一員としての役割を理解することができる。

授業計画

	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	看護マネジメントの必要性	看護けあと看護サービスマネジメントについて学び討論する。	予習（90分）：教科書第１章～3章を読む 復習（90分）：配付資料を見直す
第2回	組織化とマネジメント	組織における看護管理の重要性について学び、討論する。	予習（90分）：教科書第3章を読む 復習（90分）：配付資料を見直す
第3回	看護管理システム	看護管理システムアプローチについて学び、討論する。	予習（90分）：教科書第1章の看護管理とシステム論を読む 復習（90分）：配付資料を見直す

第4回	マネジメントの機能	サービスの基本から看護サービス管理の特性について理解し、討論する。	予習（90分）：教科書第3章を読む 復習（90分）：配付資料を見直す
第5回	リーダーシップとマネジメント	看護管理に必要なリーダーシップのあり方について学び、討論する。	予習（90分）：教科書5章を読む 復習（90分）：配付資料を見直す
第6回	看護管理の実際	動画を視聴して、看護管理を総合的に捉え討論する。	予習（90分）：教科書を読む 復習（90分）：配付資料を見直す
第7回	グループワーク	臨地実習での看護実践と授業を受けての振り返りから、看護管理の機能について討論する。	予習（90分）：第1回～5回の配布資料を読む 復習（90分）：配付資料を見直す
第8回	グループワーク	グループで討論した結果を発表する。	予習（90分）：第1回～5回の配布資料を読む 復習（90分）：配付資料を見直す

教科書

上泉和子ほか『系統看護学講座 統合分野 看護の統合と実践1 看護管理』（医学書院）

参考書

・井部俊子監修『看護管理学習テキスト 看護管理概説』、日本看護協会出版会
・井部俊子監修『看護管理学習テキスト 看護マネジメント論』、日本看護協会出版会

成績評価の方法・基準

単位認定60点以上。授業及び実習態度（10%）、グループワーク発表（10%）、レポート（80%）による。

課題等に対するフィードバックの方法

授業内で活用した学習カードを返却するので学習の参考にすること。

履修のポイント

看護の機能を統合的に捉え、看護実践で活かすことができるように学んでもらいたい。

オフィス・アワー

授業の開始前もしくは終了後に教室等で質問に応じる。

科目区分

専門科目

当該授業科目の教育課程内での位置づけ

UK-R365

講義コード	11060001
講義名	機能看護学III
(副題)	
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	後期
講義区分	講義
基準単位数	1
代表曜日	
代表時限	
必修/選択	必修
実務経験のある教員の有無	有
実務経験のある教員の経歴と授業内容	看護師としての研究活動の経験を通して、看護の視点で研究についての基礎的な内容を教授する
学年	3学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 吉田 幸枝	指定なし
教員	中村 郁美	指定なし

授業の概要と教育目標

看護実践の質を高め、発展させていくうえで看護研究は重要な役割を果たす。看護実践の中から疑問や課題を明確にし、問題解決に向けた効果的な看護を探求していく能力を養うために、看護研究方法について学ぶ。尚、本科目は、看護研究方法の基本的知識と問題解決に向けた研究的思考を修得することを目標とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

医療保健学部看護学科のディプロマ・ポリシーとの関連として、看護研究の学びを通して、知識と技術の統合、問題を解決する能力を修得することを目指し、研究に関する基礎的な内容を学ぶものとする。

到達目標

1. 看護研究の概要と意義について理解できる。
2. 看護実践の中から研究疑問を明確にすることが理解できる。
3. 看護研究論文を読み検討する必要があることを理解できる。
4. 研究実施時の倫理的配慮について理解できる。
5. 研究目的を達成するための研究計画について考えることができる。

授業計画

	担当者	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	吉田幸枝	1.看護研究とは 2.看護研究の発展と意義 3.研究疑問の明確化 4.研究疑問の語り	スモールディスカッションを通して、各自の研究疑問を明確にする。	予習90分：教科書第1章、第2章を読む。 復習90分：レポート課題「エピソード記述」を作成する。
		1.研究の流れ		

第2回	吉田幸枝	2.リサーチクエスチョン 3.看護研究における文献検索と文献検討 ・文献検索の方法 ・文献検討の方法	スモールディスカッションを通して、エピソード記述からリサーチクエスチョンまでの理解を確認する。	予習90分：教科書第4章を読む。 復習90分：自分のテーマに基づき文献検索を実施する。
第3回	吉田幸枝	1.看護研究に伴う倫理的な問題 2.倫理的な問題とその対応方法	看護研究の倫理的問題について、グループディスカッションを通して理解を深める。	予習90分：教科書第3章を読む。 復習90分：配布資料を見直す。
第4回	中村郁美	1.看護研究方法 2.研究デザイン 3.量的研究と質的研究の特徴	各自の研究テーマと研究方法について、グループディスカッションを通して理解を深める。	予習90分：教科書第5章を読む。 復習90分：配布資料を見直す。
第5回	中村郁美	1.量的研究 2.量的研究におけるデータ収集と分析方法		予習90分：教科書6章～第9章を読む。 復習90分：配布資料を見直す。
第6回	中村郁美	1.質的研究 2.質的研究におけるデータ収集と分析方法		予習90分：教科書11章、第12章を読む。 復習90分：配布資料を見直す。
第7回	吉田幸枝	1.研究計画書とは 2.研究計画書の作成 3.看護研究の実際・リサーチクエスチョンに基づく研究計画書の作成		予習90分：教科書13章を読む。 復習90分：研究計画書を作成する。
第8回	吉田幸枝	1.試験 2.研究計画書作成の要点 3.講義内容の振り返りとまとめ		予習90分：教科書14章～第17章を読む。

教科書

黒田裕子『黒田裕子の看護研究 Step by Step』 (医学書院)

参考書

必要に応じて講義時に紹介します。

成績評価の方法・基準

単位認定は60点以上。試験60％、課題40％を総合して評価する。

課題等に対する
フィードバックの方法

授業内で課題を課す。その結果については個人指導又は講義時に全体へフィードバックしていく。

履修のポイント

看護研究を行う上で重要な、基本的知識について学びます。主体的に授業に参加してください。

オフィス・アワー

講義終了後に研究室に来てください。対応させて頂きます。 10号館２Ｆ 研究室８ 吉田 10号館２Ｆ 研究室２ 中村
科目区分
専門科目
当該授業科目の教育課程内での位置づけ
UK-R366

講義コード	11070001
講義名	看護専門職論I
(副題)	
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	前期（重複①）
講義区分	演習
基準単位数	1
代表曜日	月曜日
代表時限	４時限
必修/選択	必修
実務経験のある教員の有無	有
実務経験のある教員の経歴と授業内容	本講義を担当する教員はすべて群馬県内の施設に所属する老人看護専門看護師である。専門看護師の役割の一つに「倫理調整」があり、実際の経験を活かした授業内容となっている
学年	2学年

担当教員

職種	氏名	所属
教 員	◎ 河端 裕美	指定なし
教 員	宮澤 真優美	指定なし
教 員	小板橋 梨香	指定なし
教 員	佐藤 文美	指定なし
教 員	相場 健一	指定なし

授業の概要と教育目標

看護倫理の歴史的発展、今日の医療における看護職者の立場より担っていくべき倫理的責任、看護倫理アプローチとしての「原則の倫理」と「徳の倫理」の側面からの検討を通して看護専門職組織の社会的役割および日本の文化の中での倫理的問題解決について探求する。
看護倫理の基礎的理解を図り、その基盤の上に看護倫理のアプローチを用いた事例検討、看護職の倫理綱領の理解、各国の看護における倫理、研究における倫理を通して、看護実践者としての自己の基盤となる倫理的感性・倫理観を培い、看護実践の中心に位置する倫理的に物事を考える道筋を見出せるようにする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

医療保健学部看護学科のディプロマ・ポリシーと関連して、医療者として必要な倫理、守るべき法令を理解し、それに沿って行動できる力を養うことを目指すものである。

到達目標

1.倫理の意味について理解し、自分の言葉で説明することができる
2.「良い」とはどういうことか、「良い人」「良いナース」とはどういう人か、考えることができる
3・倫理に関係する言葉とその意味について理解し、説明することができる
4.倫理的判断の必要な状況について知り、判断・行動するための考えの進め方を知り、活用する姿勢が持てる
5.日々の中で、何が良いことか、根拠をもって考えながら行動する姿勢が高まる

授業計画

	担当	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの	予習・復習とそのために必要な時

	者		内容	間
第1回	河端裕美	科目ガイダンス 看護倫理の基礎		予習なし 復習45分：配布資料を見直す
第2回	河端裕美	「良い人」「良いナース」とは	個人ワーク	予習なし 復習45分：配布資料を見直す
第3回	河端裕美	臨床倫理の原則 看護者の倫理綱領	個人ワーク	予習なし 復習45分：配布資料を見直す
第4回	河端裕美	和、共同体、コンパッション、ケアリング	個人ワーク	予習なし 復習45分：配布資料を見直す
第5回	宮澤真優美	専門職、患者中心の看護、協力と協働、パターナリズム	個人ワーク	予習なし 復習45分：配布資料を見直す
第6回	宮澤真優美	増大し重要化する倫理的問題と倫理的ジレンマ 文化背景と倫理、研究における倫理	個人ワーク	予習なし 復習45分：配布資料を見直す
第7回	河端裕美	人生の最終段階における医療・ケアの決定プロセスに関するガイドライン よい死について	個人ワーク	予習なし 復習45分：配布資料を見直す
第8回	相場健一	倫理的意思決定を導く4ステップモデル 臨床倫理の4分割法	個人ワーク	予習なし 復習45分：配布資料を見直す
第9回	河端裕美	事例検討（4ステップモデルの活用）	個人ワーク	予習なし 復習45分：配布資料を見直す
第10回	河端裕美	事例検討（臨床倫理の4分割法の活用）	個人ワーク	予習なし 復習45分：配布資料を見直す
第11回	小板橋 梨香	事例検討（癌の告知をためらう家族）	個人ワーク	予習なし 復習45分：配布資料を見直す
第12回	佐藤文美	事例検討（本音を言えない患者の退院支援）	個人ワーク	予習なし 復習45分：配布資料を見直す
第13回	佐藤文美	事例検討（家族へも言いたくない秘密）	個人ワーク	予習なし 復習45分：配布資料を見直す
第14回	河端裕美	事例検討（認知症患者の意思について）	個人ワーク	予習なし 復習45分：配布資料を見直す
第15回	河端裕美	知識確認と解説 課題レポート		予習なし 復習45分：これまでの配布資料を見直す

教科書

なし

参考書
小西恵美子編【看護倫理】南江堂
成績評価の方法・基準
単位認定60点以上（出席状況50%、課題レポート50%）
課題等に対する フィードバックの方法
課題レポートにコメントを入れて返却します。
履修のポイント
倫理的に「良い」ということは、看護の質にもつながります。何が良いことか、自分の行動の指針を自らに問いかける習慣をつけていきましょう。
オフィス・アワー
授業日の授業開始前もしくは終了後に教室等で相談に応じます。
科目区分
専門科目
当該授業科目の教育課程内での位置づけ
UK-R332

講義コード	11080001
講義名	看護専門職論II
(副題)	
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	後期（重複①）
講義区分	講義
基準単位数	1
代表曜日	月曜日
代表時限	２時限
必修/選択	必修
実務経験のある教員の有無	有
実務経験のある教員の経歴と授業内容	医療安全管理者の資格を有し、所属する病院において医療安全管理者として従事している。その経験を活かし、実際の医療現場で使用している機器や薬剤を紹介すると共に、過去の事故事例を用いて考える授業を行う。
学年	2学年

担当教員

職種	氏名	所属
教 員	◎ 牧口 みどり	指定なし

授業の概要と教育目標

【概要】看護師は、患者の最も近くで治療の介助や処置・看護ケア等を行う事が多い。そのため、安全への配慮を欠くと、患者の生命を脅かしたり身体の障害を招く医療事故の当事者になる危険が高い。しかし、人間は間違いを起こす生きものである。そのため、それを自覚したうえでエラーを防止し、医療安全に努めなければならない。この授業において、起こりやすい医療事故とヒューマンエラーを防止するための知識と技術を習得する。
【目標】①看護の質・看護師の責務について関連を捉え、医療安全とは何か理解できる。②医療の現場で起こりやすい事故とその防止策について理解できる。

卒業認定・学位授与の方針との関連

医療保健学部看護学科のディプロマ・ポリシーとの関連として、看護師の責務の理解 及び医療事故の防止策を修得することを目指すものとする。

到達目標

・看護師の役割と責任について理解する事ができる。
・医療事故とその防止方法について理解する事ができる。
・医療安全と倫理について理解する事ができる。
・医療事故に関する動向と新人が陥りやすい事故について理解する事ができる。

授業計画

	担当者	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	牧口みどり	医療安全の基礎知識 看護師の役割・看護師の責務		予習・復習 各90分：配布資料確認

第2回	牧口どみり	※前回の復習（確認問題） 医療事故発生のメカニズム・ヒュマンエラーと人間特性 ・情報伝達エラー	※復習は資料を用いてグループワーク形式で行う。 演習を通して医療事故発生のメカニズムを理解する。	予習・復習 各90分：配布資料確認
第3回	牧口どみり	※前回の復習（確認問題） 医療安全対策の進め方①	※復習は資料を用いてグループワーク形式で行う。	予習・復習 各90分：配布資料確認
第4回	牧口どみり	※前回の復習（確認問題） 医療安全対策の進め方②	※復習は資料を用いてグループワーク形式で行う。	予習・復習 各90分：配布資料確認
第5回	牧口どみり	※前回の復習（確認問題） 医療安全対策の進め方③	※復習は資料を用いてグループワーク形式で行う。	予習・復習 各90分：配布資料確認
第6回	牧口どみり	医療安全と倫理		予習・復習 各90分：配布資料確認
第7回	牧口どみり	※前回の復習（確認問題） KYT（危険予知トレーニング） 実習中の事故を予防する 事故発生時の学生の行動	※復習は資料を用いてグループワーク形式で行う。 医療現場の一場面を示したイラストを用いて、予測される危険をグループワーク形式で考える。	予習・復習 各90分：配布資料確認
第8回	牧口どみり	試験とまとめ	試験60分 解説30分	予習・復習 各90分：配布資料確認

教科書

資料を配布します。

参考書

適宜紹介します。

成績評価の方法・基準

単位認定60点以上（筆記試験 80% 授業参加状況 及び態度・グループワーク参加状況等 20%）

課題等に対する
フィードバックの方法

課題に対しては、授業の中でディスカッションしながらフィードバックします。

履修のポイント

リスク感性を高めていくうえで、積極的に意見を述べていきましょう。
オフィス・アワー
授業の開始前 若しくは終了後に教室等で質問を受け付けます。
科目区分
専門科目
当該授業科目の教育課程内での位置づけ
UK-R342

講義コード	11090001
講義名	看護専門職論III
(副題)	
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	後期
講義区分	講義
基準単位数	1
代表曜日	月曜日
代表時限	４時限
必修/選択	選択
実務経験のある教員の有無	有
実務経験のある教員の経歴と授業内容	看護師としての病院における臨床経験をもとに看護実践の倫理や患者・家族への支援等具体例を挙げながら解説する。
学年	2学年

担当教員

職種	氏名	所属
教 員	◎ 櫻井 通恵	指定なし

授業の概要と教育目標

がん患者および家族への看護活動を理解するために以下の内容を学習する。
１．がんの病態および治療の概要
２．がん患者の精神的・身体的特徴の理解と緩和方法・看護援助について
３．がん患者を支援する家族の特徴の理解と看護援助について
４．緩和ケア、グリーフケアについて
５．看護者としての感性を高める（死生観、がん患者・家族の思い等）

卒業認定・学位授与の方針との関連

医療保健学部看護学科のカリキュラム・ポリシーの「看護の統合と発展」に係る専門科目であり、がん患者の苦痛を全人的にとらえ患者・家族のＱＯＬを高める看護援助方法について知識・技術の習得を目指す。

到達目標

１．がん患者の病態、身体的特徴、治療の特徴について説明することができる。
２．がん看護における倫理について説明できる。
３．緩和ケアの目的と実際について説明することができる。
４．がん患者の苦痛を全人的にとらえ適切な看護を説明できる。
５．がん患者特有の苦痛症状を理解し、その緩和方法及び看護援助について説明できる。
６．がん患者を支える家族の特徴を理解し、ニーズにあった看護援助について説明できる。

授業計画

	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	がんの動向、病態・治療の特殊性について		予習90分：がんの動向、病態・治療の特殊性について教科書等を用い自己学習する。 復習90分：配布資料を見直す。
	倫理・看護倫理、緩和ケ	ミニワークを通して	予習90分：死をめぐる倫理的問題、バッドニュースの伝え方、

第2回	アをめぐる倫理的課題について	不安・悲嘆について体験する。	ターミナル期にある人への心理的援助について教科書等を用い自己学習する。 復習90分：配布資料を見直す。
第3回	緩和ケアの歴史、緩和ケアの理念、緩和ケアの現状について		予習90分：緩和ケア病棟やホスピスといった施設についての理解及び具体的な緩和ケアについて教科書等を用い自己学習する。 復習90分：配布資料を見直す。
第4回	がん患者の全人的苦痛と看護援助について、死生観について考える	死生観についてグループで話し合う。ワークを通して自分の過去・現在・未来について考える。	予習90分：がん患者の全人的苦痛と看護援助について教科書を用い自己学習する。また自己の死生観について考えてみる。 復習90分：ワークを通して明らかとなった自己の死生観を確認する。ターミナル期にある患者の思いを配布資料を用いて再確認する。
第5回	特徴的な症状メカニズムとそのマネジメント Part 1 がん患者の身体的苦痛と身体症状（倦怠感、疼痛、浮腫）のマネジメントとケア、薬物療法		予習90分：終末期がん患者に出現する特徴的な症状とその対処法とケアについて教科書等を用い自己学習する。 復習90分：配布資料を見直す。
第6回	特徴的な症状メカニズムとそのマネジメント Part 2 がん患者の身体的苦痛と身体症状（呼吸器症状、腹部症状、不穏・せん妄）のマネジメントとケア、薬物療法		予習90分：終末期がん患者に出現する特徴的な症状とその対処法とケアについて教科書等を用い自己学習する。 復習90分：配布資料を見直す。
第7回	がん患者に寄り添う家族の思いを考察し支援方法を考える 家族への支援・エンゼルケアについて	ディスカッションを通して家族・遺族の気持ちを理解し看護師としてできることを模索する。	予習90分：終末期がん患者にある家族への支援方法やエンゼルケアの意味について教科書等を用い自己学習する。 復習90分：配布資料を見直す。
第8回	終末期がん患者及びその家族に対する看護支援のまとめ・試験		予習120分：第1回～7回までの学習内容を教科書・配布資料を用い総合的に自己学習する。 復習90分：配布資料を見直す。

教科書

緩和・ターミナルケア看護論 ヌーベルヒロカワ

参考書

なし

成績評価の方法・基準

単位認定60点以上。(筆記試験100％)

課題等に対する
フィードバックの方法

なし
履修のポイント
がん患者の苦痛を全人的にとらえられるような感性の育成 死について、生きるということについて仲間と話し合い、自分の死生観を考える機会としたい。
オフィス・アワー
授業終了後の質問に応じます。
科目区分
専門科目
当該授業科目の教育課程内での位置づけ
UK-C343

講義コード	11100001
講義名	看護専門職論Ⅳ
(副題)	【教職必修】【保健師必修】
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	後期
講義区分	演習
基準単位数	1
代表曜日	金曜日
代表時限	３時限
必修/選択	選択
実務経験のある教員の有無	有
実務経験のある教員の経歴と授業内容	独立した精神保健福祉士として、相談業務や援助、医療職などの相談に乗っている。援助コミュニケーションの経験を活かして、演習型の授業を通してコミュニケーションスキルを高めてもらうこと。
学年	2学年

担当教員

職種	氏名	所属
教 員	◎ 島田 啓介	指定なし

授業の概要と教育目標

・医療職として自分自身と対象者に向かい合う基本的な姿勢を培う。さまざまな価値観との出会いの中で、健康や人間関係などの諸問題にたいしてどのように受け止め取り組んでいくのかを考え、相手と自分自身を理解するための実践的なコミュニケーション力を磨く。
・看護師には、多様な背景や属性を持った患者やクライアントを差別せずに受け入れ、ケアするという職務がある。本授業では、学生のうちから様々な価値観（多文化）への視点を養い、人間関係に活かせる実践力をつけるることを目指す。そのためにアクティブラーニングを促進するワークショップ形式の授業を通して、実地に学んでいく。
・授業の概要は、毎回書いていただくレポートによって、自分自身の視点の観察と、他者への視点の再検討を行い、実地の場面を想定してロールプレイなどでワークを行う。学生間で協力し合いながら学ぶことによって、お互いの理解を深め、教材にとどまらず他者の知恵から学ぶ。
・ワークの内容として、映像を含む様々な資料に触れ、慣れることで見えなくなっている事象に「気づき」を向け、日常生活を新たな視点で見直す。身近な物事や人間関係や環境から始まって、日本・世界へと探究を広げ、異なる価値観への理解を深めていく。歴史や地理の知見を深め、国内や世界に多様な文化が展開していることを知る。
・授業は、学内・日常・学外（可能であれば）という3つの場面を活用し、課題からのフィードバックを取り入れながら行う。
・フィールドワークとして近隣の地域文化や歴史に触れ、医療、健康、食、家族、社会などをめぐって学び、実践的なコミュニケーション力を育む機会を持つ（コロナの状況を見ながら他のワークに差し替える可能性あり）。
・各授業の終わりに、「ふりかえり用紙」の記入によって学びのまとめを行いながら進める。

卒業認定・学位授与の方針との関連

・自分自身への理解を基盤に、他者への理解を深める。急速に変化していく時代の中で、まわりの変化を敏感に察知すると同時に、振り回されずに自分に軸を持つこと。
多様化する価値観の中で、コミュニケーションの重要性を認識し、自分の頭で考え、演習とフィールドワークで対人関係のスキルを身に着け、総合的な対応能力を磨いていく。それを通して、将来援助職として、多様な背景と価値観を持つ対象者にかかわる基本的な姿勢を培っていく。
全員が主体的に授業に参加し学ぶ。グループワークや相互的な学習を通じ、各人の中の問題意

識、動機や希望を掘り起こし、将来の仕事や生活の場において学びを応用できる力を養う。異なる価値観をもつ者に共感的に接し、共生して行ける姿勢を培う。
＊とりわけ、ディプロマポリシーにおける「人間に対する社会・環境・コミュニケーション面からの理解」を深め、実践的に身に着けていく。同時に「健康の諸側面、健康生活と社会との関係」「医療者としての倫理」の学びも含みながら、看護者としての基本精神を育むことを目的とする。

到達目標

・授業は全員参加の演習型。グループワークや相互的な学習を通じ、各自の中に潜在する希望や動機を掘り起し、将来に活用できるようなスキルをつける。
・多文化（様々な背景）を持った相手との関係を進んで形成できるようになる。
・演習型の授業でコミュニケーション力をつけ、自分の意見をはっきりと伝えられるようになる。
・同時に、人の話に傾聴し、その真意をしっかりと汲み取る力がつく。
・多様な価値観への理解を深め、偏見を乗り越えて平等に観る視点を得る。
・それぞれの文化の長所を認め、互いから学び合う態度が身に着く。

授業計画

	担当者	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	島田啓介	【多文化とは何か？】 多文化を学ぶ基本姿勢。看護職にとって、なぜ多文化の学びが必要なのか？ 本授業の目標は？	問いを立てて、ワークシートによって学生自身が自分の意識を意識を高める。 心身のワーク（ボディワーク）を取り入れ、「自分に気づきを向ける」練習をする	シラバスを購読しておく（15分）
第2回	島田啓介	【自分と《当たり前》の見直し】 現在医療の分野でも積極的に導入されつつある〈第3世代の認知療法〉「マインドフルネス（ありのままの事象に気づきを向ける）」の手法を紹介し、現実を新たに認知意し直すワークを行う。思い込みを解除し、現実を多角的に見つめる訓練をする。	マインドフルネスの様々な手法の紹介と実践	前回に出したホームワークシートに記入してくる（30分）
第3回	島田啓介	【伝える工夫】 前回のマインドフルネスを関係性に応用する手法を学ぶ。相互に問いかけつつ、気づきを深め観察する目を養う。	グループでコミュニケーションの実践的学びをする。日常を見直す方法、価値体系の見直しのワークなど	ワークシートの記入（30分）
第4回	島田啓介	【伝える工夫その2】 同上	【伝える工夫その2】 同上	振り返り用紙と、ワークシート記入（30分）
			日常生活の課題。「食」「休息・睡眠」「疲労度」などのレポートをし	課題として、自分の

第5回	島田啓介	【日常の気づきの応用】 日常生活に多様な価値を探し、一緒に学んでいく。文化とは何か？ 文化への思いこみを解いて、新鮮な目で見直す。	て、今の自分の生活パターンと、セルフケアの手法を学ぶ。 映像素材を生かす。 自分の体験を発表し合う	生活のチェックシートを行って記入する（1時間）
第6回	島田啓介	【日常の気づきの応用その２】 前回の振り返りと続き	同上	チェックシートにもとづいて分析する（1時間）
第7回	島田啓介	【日本の中の多文化】 自分や家庭から日本の現代に視点を広げていく。「日本の百人の村から」のテキストを読む第1回目。 今の自分の状況はどのあたりに位置するのか？「マッピング」をする。現代文明の利点と問題点に光をあて、問題意識を育てる。 批判よりも評価、学べることを引き出していく。	映像資料、スライド、講師の資料、グループワークを盛んに取り入れて探求する	ワークシートを利用して記入（30分）
第8回	島田啓介	【日本の中の多文化その２】 前回の振り返りと続き	同上	ワークシートの利用と整理（30分）
第9回	島田啓介	【世界と自分との関わり】 日常に反映する世界と、そのつながりと、問題点を考察する。文明全体を俯瞰的視点で眺め、自分たちの未来に何が必要かを考える。多文化的視点から、異なる文化の共生の視点で考える。	テキスト及び映像資料、スライド、講師の用意した統計資料などを駆使する。 グループワークを盛んに取り入れて探求する	ワークシートの利用（30分）
第10回	島田啓介	【世界と自分との関わりその２】 前回の振り返りと続き	同上	ワークシートの利用と整理（1時間）
第11回	島田啓介	【フィールドワークの準備】 今までの学びにもとづいて、グループ分けを行い、今までのまとめと資料作成をする。フィールドワークの規格をグループごとに発表し、協力しながら計画を立てる。（※オンラインで授業を行うことになった場合は、各自のまわりの生活についての類似のワークをそれぞれで行う）	グループワーク、資料の読み取り	グループごとの計画書作成（1.5時間）
第12回	島田啓介	【フィールドワーク実施】２コマ使う 学外での実地学習・調査。グループごとに行動し、まとめていく。レポートの下書きを作成する。 （※オンライン授業になった場合は、各自でまとめる）	グループでの実地調査。	グループごとにまとめてくる（1.5時間）
	島			1.5

第13回	田啓介	同上	同上	同上（　時間）
第14回	島田啓介	【フィールドワークまとめ】 グループごとの報告と全体のまとめ。 調査をレポートし、撮ってきた写真資料のスライドとともに発表する。他のグループは感想をフィードバックする。その後各自でまとめレポートを作成。	グループワークと、スライド上映、共同の学習	まとめレポートの仕上げ（1.5時間）
第15回	島田啓介	【全体のまとめと講評】 これからの学習と、将来の仕事に活かすために、何ができるか？	それぞれの小グループ内で話し合う。講師による最終まとめ。	最終レポートに向けての準備学習（1時間）

教科書

『世界がもし100人の村だったら お金蔦 たった1人の大金持ちと50人の貧しい村人たち』 マガジンハウス

参考書

とくに無し～その時々配布する資料による

成績評価の方法・基準

毎回提出するレポートの提出度合い、内容による評価 40点
授業中の発表や積極性などによる評価 20点
最終的に行う全体をまとめるレポートによる評価 40点
総計100点のうち60点以上を単位認定とする

課題等に対する
フィードバックの方法

日常生活の観察レポートや、まとめの振り返りレポートなどによる。
各学生のレポート用紙に教員が（評価・修正点）コメントをつける。次の授業で必ずレポート内容に触れ、疑問点を明らかにして振り返りを行う。

履修のポイント

毎回の「振り返り用紙」または様々なレポートに記入して、期限までに必ず提出すること。それが、予習と復習の中心となる。質問等も振り返り用紙に記入し、次の授業で講師が解説するので、疑問を明解にしておくこと。

オフィス・アワー

質問は講師メール、またはteamsなどのウェブサイトのチャットでいつでも受け付ける

科目区分

専門科目

当該授業科目の教育課程内での位置づけ

UK-C344

講義コード	11110001
講義名	看護専門職論V
(副題)	【保健師必修】
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	前期
講義区分	講義
基準単位数	1
代表曜日	木曜日
代表時限	１時限
必修/選択	必修
実務経験のある教員の有無	有
実務経験のある教員の経歴と授業内容	感染管理認定看護師としての実務経験をもとに、感染症を予防・制御する為の管理・対策について、具体的な例を挙げながら解説する。
学年	4学年

担当教員

職種	氏名	所属
教 員	◎ 後藤 恵	指定なし
教 員	柴草 仁志	指定なし

授業の概要と教育目標

授業の概要と教育目標
多様化する医療現場で問題となる感染症やグローバル化した現社会特有の感染症、生活様式の変化による新たな感染症について理解を深め、医療者として実践的な知識を学ぶ。これらの感染症を予防、制御する為の管理・対策について講義等により深めていくことを目標とする。
1 医療関連感染とは何か 医療の中での状況及び感染防止策について理解する。
2 感染管理に関する研究成果等から感染制御についての方法を理解する。
3 予防の具体的な方法について学び、実践できるようにする
4 新興感染症について理解を深める。
5 薬剤耐性菌への対策について検討する。
6 微生物学的検証の方法を知り臨床検査の理式を持ち対象者の健康状態を知る。
7 国を超えての感染症・食中毒・寄生虫対策の知識をもつ。

卒業認定・学位授与の方針との関連

1 医療施設及び地域社会に貢献する医療者として感染管理の役割を理解する。
2 看護管理の実際を理解し、実践的知識を習得する。
3 現在問題となっている薬剤耐性菌や流行時の罹患率からサーベイランスの意味を読み取ることで、卒業後に患者や利用者の健康状態の把握と予測ができる。予防から健康管理の視点を持つことの基本的知識を習得する。

到達目標

1 感染管理・感染看護の概念と感染症に関する近年の動向について理解できる。
2 医療施設及び地域での医療活動における感染予防の方法について理解できる。
3 医療者自身の感染予防対策の具体的な実践方法について理解できる。
4 感染症に罹患している患者又は易感染状態にある患者に対する看護の実際を理解する。
5 現代社会において国内外の感染症に関する諸問題を理解できる。

授業計画

	担当	授業内容と方法、課題	予習・復習と

	者		そのために必要な時間
第1回	柴草仁志	感染管理と感染看護の概念 1.感染管理・感染看護の役割 2.感染管理の歴史と研究成果 3.感染症に関わる倫理的問題 4.医療関連感染について	予習90分： 感染看護・微生物学・抗菌薬に関する授業について復習する 復習90分： 配布資料を見直す
第2回	柴草仁志	新興感染症 マスギャザリング Zoonosis 1.新型コロナウイルス感染症、デング熱、エボラ出血熱、ジカ熱などの新興感染症について 2.マスギャザリングについて 3.Zoonosisについて	予習90分： ニュース、新聞、雑誌等から話題の感染症についての情報をまとめる 復習90分： 講義後に自分の興味がある新興感染症についてまとめる
第3回	柴草仁志	医療関連感染サーベイランス 1.医療関連感染サーベイランスの定義 2.サーベイランスに関する用語の定義 3.アウトブレイクの対応について	予習90分： 医療関連感染サーベイランス・アウトブレイクの定義を調べる 復習90分： 配布資料を見直す
第4回	柴草仁志	医療施設における感染症の発生要因および感染対策の基本 1.感染の成立と予防に関する考え方 2.標準予防策について 3.経路別予防策について	予習90分： 医療関連感染の定義を調べる 復習90分： 標準予防策と経路別予防策について、基礎看護学実習から臨地実習での場面をまとめる
第5回	後藤恵	ファシリティマネジメントと器材の処理 1. リネンの取扱い 2. 感染性廃棄物の取扱い 3. 清掃について 4. 洗浄・消毒・滅菌	予習90分： 医療関連施設におけるリネン、および洗浄・消毒・滅菌の定義をまとめておく。 復習90分： 講義で使用した配布資料の確認。また消毒薬についてまとめる。
第6回	後藤恵	職業感染防止対策 1. 血液体液曝露対応 2. 流行性ウイルス性疾患対応 3. 予防接種について	予習90分： 第4回の講義内容を確認しておく。 母子手帳などから自身のワクチン接種歴を確認しておく。 復習90分： 配布資料を見直す。
第7回	後藤恵	部署別感染対策 1. 各部署の感染対策（手術室、ICU、透析室、内視鏡室ほか） 2. 医療関連施設における食中毒対策	予習90分： 医療施設の各部門とその特徴を理解しておく。 復習90分： 大量調理マニュアルの概要をまとめる。
第8回	後藤恵	感染症治療と薬剤耐性対策 1. 感染症診療の基本的考え方 2. 感染症治療に必要な検査について 3. 抗菌薬適正使用と薬剤耐性について	予習90分： 耐性菌の増加により今後どのような事が起こるのか、またワンヘルスとは何かについて理解しておく。 微生物学の授業内容を確認しておく。 復習90分： 配布資料を見直す。

教科書

指定なし

参考書

授業中に適宜紹介
成績評価の方法・基準
単位認定60点以上 定期試験または課題提出70%、授業への参加度30%を総合して評価
課題等に対する フィードバックの方法
授業で取り組んだ課題は参考資料と共に返却します
履修のポイント
新聞、テレビなどで報道される感染症に関する話題に興味を持つこと 国内外で問題とされる感染症を知っておくことで病院施設だけでなく地域社会での影響を知ること 微生物の名称とその特徴、その微生物が引き起こす代表的な疾患、治療薬についてまとめることで理解しやすくなる
オフィス・アワー
講義日に対応をします
科目区分
専門科目
当該授業科目の教育課程内での位置づけ
UK-R373

講義コード	11120001
講義名	看護専門職論VI
(副題)	【保健師必修】
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	後期
講義区分	講義
基準単位数	1
代表曜日	月曜日
代表時限	２時限
必修/選択	選択
実務経験のある教員の有無	有
実務経験のある教員の経歴と授業内容	日本DMAT隊員の資格を有し、看護業務や所属する病院において災害研修や院内訓練の実施、災害時での活動に従事している。その経験を活かし事例を紹介しながら、災害時の活動や看護について考える授業を行う
学年	4学年

担当教員

職種	氏名	所属
教 員	◎ 小林 早苗	指定なし
教 員	古澤 悟	指定なし

授業の概要と教育目標

自然・人為を問わず、国内・外を問わず、災害は人々の生命と健康を危機に陥れる。人々の生命と健康を守る看護が災害時に果たすべき役割を考えると共に、災害発生時、超急性期から復興期にまでの役割に於いて、必要な看護の理論と技術を教授する。
教育目標：災害医療や看護の基礎を学び、災害時の看護職の役割を理解する事が出来る。

卒業認定・学位授与の方針との関連

医療保健学部看護学科のディプロマ・ポリシーの関連として、看護師(保健師)の実務の理解及び災害医療・看護を習得する事を目指すものとする。

到達目標

１．災害の定義及び災害看護の概要を理解出来る
２．災害サイクルのおける保健医療ニーズと看護の場に応じた看護を理解出来る
３．災害時に必要な援助技術の基礎を修得出来る

授業計画

	担当者	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	小林早苗	災害看護の概要 歴史・定義・災害の種類・災害サイクルについて	映像を用いた講義有り 国家試験問題を用いた講義内容の振り返りあり	予習90分：教科書の該当箇所を読んでおく。 復習90分：配布資料を見直す。
第2回	小林早苗	災害看護の特徴・災害関連法規 災害拠点病院とは 災害の種類と健康問題	映像を用いた講義有り(予定) 国家試験問題を用いた講義内容の振り返りあり	予習90分：教科書の該当箇所を読んでおく。 復習90分：配布資料を見直す。
		災害サイクルと看護活		

第3回	古澤悟	動(１) 災害急性期の看護 ・救命、救出と災害時トリアージ ・災害時救急医療と看護の概要 ・ライフラインの復旧と災害活動のロジスティックス	映像を用いた講義有り（予定) 国家試験問題を用いた講義内容の振り返りあり	予習90分：教科書の該当箇所を読んでおく。 復習90分：配布資料を見直す。
第4回	古澤悟	災害サイクルと看護活動(２) 災害亜急性期の看護 ・被災地の病院、避難所、または救護所での医療と看護 ・ボランティアセンターの開設と看護	国家試験問題を用いた講義内容の振り返りあり	予習90分：教科書の該当箇所を読んでおく。 復習90分：配布資料を見直す。
第5回	小林早苗	災害サイクルと看護活動(３) 災害中長期(復旧・復興期)の看護 ・仮説住宅と巡回診療（アウトリーチ）のポイント 活動の場における看護 ・救護所に備える医療体制と備品 ・避難所における巡回診療・看護のポイント	国家試験問題を用いた講義内容の振り返りあり	予習90分：教科書の該当箇所を読んでおく。 復習90分：配布資料を見直す。
第6回	古澤悟	災害時の要支援者の把握と援助 子ども・妊産婦・高齢者など 在宅ケアを受けている人々 障害のある人々	国家試験問題を用いた講義内容の振り返りあり	予習90分：教科書の該当箇所を読んでおく。 復習90分：配布資料を見直す。
第7回	小林早苗	災害とこころのケア 災害後のこころのケア 災害による死とグリーフケア 救援者のストレス対策 病院での災害への備え 地域における災害への備え	国家試験問題を用いた講義内容の振り返りあり	予習90分：教科書の該当箇所を読んでおく。 復習90分：配布資料を見直す。
第8回	古澤悟	効果確認テスト 筆記による試験 試験60分 解説30分		予習90分：教科書の該当箇所を読んでおく。 復習90分：配布資料を見直す。

教科書

日本赤十字社事業局看護部(編）：系統看護学講座 総合分野 災害看護学・国際看護学 医学書院

参考書

特になし

成績評価の方法・基準

単位認定 60点以上 筆記試験(100%) 60点未満で再試験予定

課題等に対する
フィードバックの方法

講義導入時に教科書と配布資料を中心に前回講義の復習を行い、講義の中で過去の国家試験問題を用いフィードバック出来る様にします。
履修のポイント
キーワードを１つ１つ整理し、わからない事や疑問点は早めに質問して下さい。
オフィス・アワー
講義前後の10分程度であれば対応可能です。
科目区分
専門科目
当該授業科目の教育課程内での位置づけ
UK-C381

講義コード	11130001
講義名	看護専門職論VII
(副題)	【保健師必修】
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	前期
講義区分	講義
基準単位数	1
代表曜日	金曜日
代表時限	１時限
必修/選択	必修
実務経験のある教員の有無	有
実務経験のある教員の経歴と授業内容	保健師としての実務経験をもとに、看護実践の理論と概念について具体例を挙げながら解説する
学年	4学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 髙橋 美砂子	指定なし

授業の概要と教育目標

健康問題をもつ対象者を含む家族を看護の対象として捉え、家族が主体的に問題解決できるよう、支持・予防・治療的な側面を支援する家族看護の理念や理論、方法を学ぶ。また、様々な健康レベルや発達段階、状況の家族を一単位として家族の健康を促進するためのアセスメント視点を学び、支援や働きかけについて理解することを目的とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

医療保健学部看護学科のディプロマ・ポリシーと関連し、複雑化する医療保健現場において今後更に家族看護を基盤とした家族支援は多職種との連携のなかで最も必要とされる。あらゆる医療保健現場で、看護チームだけでなく医療チームにおいて調整する能力や問題解決を図る能力を養うことを目指すものである。

到達目標

１．看護の対象である家族について理解できる。２．家族看護の基本概念が理解できる。３．家族の健康について理解できる。４．家族の健康をアセスメントする家族看護理論について理解できる。５．家族看護の方法について理解できる。６．家族看護理論に基づいた家族看護過程について理解できる。

授業計画

	担当者	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	髙橋美砂子	オリエンテーション（授業の進め方、成績評価など） あなたにとって「家族」とは なぜ、家族看護を学ぶのか	あなたにとって家族とは、表現して他者に伝える。他者と意見交換しそれぞれの捉え方の違いについて認識を深める	予習90分：教科書第1章を読む。 復習90分：本日の授業内容を各自ノートにまとめる。

		家族看護の発展と変遷 家族看護の特徴		
第2回	髙橋美砂子	家族とは 家族看護の対象の理解 多様化した家族：世界の家族 家族の健康 家族構造の可視化（ジェノグラム、エコマップ）	自分の家族を例にとって、家族構造を可視化してみましょう。	予習90分：教科書 第2章P.24-62を読む。 復習90分：本日の授業内容を各自ノートにまとめる。
第3回	髙橋美砂子	現代の家族の課題 ⑴少子化 ⑵男女の働き方（ワークライフバランス） ⑶子育て家族が抱える問題 ⑷高齢者家族が引き起こす問題	現代社会と家族の問題を身近なニュースで 紹介してもらい、他者の考えと共有しましょう。	予習90分：教科書 第2章P.63－82を読む。復習90分：本日の授業内容を各自ノートにまとめる。
第4回	髙橋美砂子	家族を理解するための理論 ⑴家族発達理論 ⑵家族システム理論 ⑶家族ストレス対処理論 カルガリー家族アセスメント・介入モデル 家族看護の国家試験出題基準	自分のライフサイクルと家族理論を重ねて、発達課題を回想する。 他者からの発言も聞き、理解を深める。 国家試験問題に挑戦してみよう。	予習90分：教科書第3章を読む。 習90分：国試問題を再度して解説できるようにする。
第5回	髙橋美砂子	家族看護過程の展開① ⑴家族看護の情報収集の特徴と実際 ⑵家族アセスメントと課題の抽出方法 ⑶家族看護計画の立案、評価	事例を読み、他者とディスカッションする	予習90分：教科書第4章を読む。 復習90分：配布した資料と事例集を読む
6	髙橋	家族看護過程の展開② 1	15の事例から、2つの事例を取り上げて、看護過程の展開を実施。	予習90分：配布した資料と事例集を読み、1つ目の事

第　回	美砂子	事例を　つ選択し、看護過程を展開する	他者と看護の方向性についてカンファレンスを行う。	例を選択する 復習90分：看護過程の展開を進める（1事例目）
第7回	髙橋美砂子	家族看護過程の展開③ 事例の2つ目を選択し看護過程を展開する	他者とカンファレンスを行い、課題を共有し、看護計画立案を行う。	予習90分：配布した資料と事例集を読み、２つ目の事例を選択する 復習90分：看護過程の展開を進める（２事例目）
第8回	髙橋美砂子	家族看護過程の展開④ 2つの事例の看護過程を展開し、提出する まとめ 〈授業評価〉	学習のまとめとして、学んだことを論述する。	予習90分：看護過程の展開を提出できるように進める。

教科書

教員作成のテキストを使用。（初日に印刷して配布する）

参考書

上別府圭子：系統看護学講座別巻 家族看護学、医学書院、2019.
法橋尚宏著：新しい家族看護学 理論・実践・研究 メジカルフレンド社
鈴木和子他：家族看護学 理論と実践 第5版、日本看護協会出版会，2019.

成績評価の方法・基準

単位認定６０点以上。事例展開記録2事例（20×2）40％ 課題レポート60％

課題等に対する
フィードバックの方法

課題レポート等が成績評価後、総評を入れて返却する。

履修のポイント

看護職はあらゆる場面で家族に出会います。多様な家族を理解するのは難しいですが、様々な場面で語られる家族の情報に関心を持ち、多角的に家族の理解を深めてください。

オフィス・アワー

在室時には対応しますが事前連絡をいただけると助かります。チャットでも対応可。
研究室 10号館2階13研究室 takahashi-mi@kiryu-u.ac.jp

科目区分

専門科目

当該授業科目の教育課程内での位置づけ

UK-R374

講義コード	11140001
講義名	看護専門職論VIII
(副題)	【保健師必修】
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	前期
講義区分	講義
基準単位数	2
代表曜日	
代表時限	
必修/選択	選択
実務経験のある教員の有無	無
実務経験のある教員の経歴と授業内容	
学年	4学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 岩田 昇	指定なし
教 員	関根 崇	指定なし
教 員	佐藤 祥平	指定なし
教 員	辻村 弘美	指定なし
教 員	神澤 杏和	指定なし
教 員	宮田 峻弥	指定なし
教 員	井沢 浩美	指定なし

授業の概要と教育目標

世界の保健医療問題とその解決に向けた国際協力の現状と展望について教授する。特に、看護分野のこれまでの国際協力内容や援助プロセスについて解説する。国内的には、異なる国、異なる文化の下で看護の現状を知り、在日外国人に対応できるとともに国際協力活動に必要とされる基本的知識やコミュニケーション技術・態度等の基本について教授する。医療職者として国際協力に関わるうえで重要な知識・技術の基礎や、主な看護活動の基礎を身につける。
なお、授業ではほぼ毎回、国際社会における健康問題・報道などを題材として、グループディスカッションおよびプレゼンテーションの時間を設定し、自らの判断・見解を持ち、それを他者に伝えるスキルの習得も目標とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

医療保健学部看護学科のカリキュラム・ポリシーの4)看護学を系統的に理解し、看護の基礎や健康問題別発達段階別看護で学んだ知識と技術を統合する「看護の統合と発展」に係る専門科目であり、国際社会における医療問題への理解と看護学からの協力への導入科目として、国際看護学を位置づける。

到達目標

１．世界の人々の健康水準や我が国の現状と展望について理解し、保健医療分野における国際協力の現状と課題を理解する。
２．国際的保健医療活動でのプロジェクト開発・実施・評価・フィードバックの一連のプロセスを理解する。
３．国際保健医療協力の母子保健対策、感染症対策、環境改善、リハビリテーション等の概要を理解する。

4．異文化理解と看護実践例について理解する。

授業計画

	担当者	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	岩田昇	ガイダンス ・講義のねらい、進め方 ・外部講師の紹介 ・国際看護学とは ・グローバルヘルス	国際看護学のイメージについて話し合い、国際看護を学ぶ意義を考える。	予習90分：国際看護について、幅広い視野で調べてみること 復習90分：グローバルヘルスについて確認しておくこと
第2回	佐藤祥平岩田昇	国際協力１ ・さまざまな国際組織 ・日本の国際協力 ・JICAの活動	予習に基づき、日本の国際協力・JICAの役割について意見交換する。	予習90分：JICAやその他の国際協力団体について調べておくこと 復習90分：国際協力に関する資料を見直し、興味に応じて、さらに調べてみること
第3回	岩田昇	国際保健概説 ・ミレニアム開発目標 ・持続可能な開発目標	予習に基づき、持続可能な開発目標と経済発展との関係について意見をまとめ、発表し討議する。	予習90分：先進国と開発途上国の健康問題について調べてみること 復習90分：配布資料を見直し、貧困と医療問題との関りを確認しておくこと
第4回	佐藤祥平岩田昇	国際協力２ ・スポーツを通じた国際協力事業の例	スポーツを通じた国際協力事業の事例を基に、コミュニティ形成の意義や役割について討議する。	予習90分：コミュニティ形成におけるスポーツの寄与について考えてみること 復習90分：配布資料を見直し、スポーツと保健医療活動の接点を考えてみること
第5回	井沢浩美岩田昇	国際看護序論１ ・国際看護とは ・国際協力のしくみ	国際看護の概要を聞き、医療問題の国際協力のあり方について意見交換し、討議する。	予習90分：自分が興味を持った国際社会における医療問題について調べてみること 復習90分：配布資料を見直し、国際看護についての疑問点を解消しておくこと
第6回	井沢浩美岩田昇	国際看護序論２ ・世界の健康問題 ・開発協力と看護	予習に基づき、世界の健康問題について発表し、先進国の開発協力と医療・看護提供との関係について討議する。	予習90分：グローバルな医療問題について調べてみること 復習90分：配布資料を見直し、経済開発と健康問題・看護との関係について整理しておくこと
第7回	井沢浩美岩田	国際看護各論１ ・国際看護の実際－ボリビアの健康問題	南米(ボリビア)における国際看護の体験談を聞き、感想や意見を発表する。	予習90分：南米の健康問題について調べてみること 復習90分：配布資料を見直し、ボリビアでの健康問題と先進国からの医療援助につい

	昇	と看護－		てまとめておくこと
第8回	井沢浩美岩田昇	国際看護各論２ ・国際看護の実際－ボリビアでの看護師教育指導－	予習に基づき、国際看護の実際－ボリビアでの看護師教育指導－	予習90分：ボリビアの看護師について調べてみること 復習90分：配布資料を見直し、ボリビアの看護師養成機関の現状と課題について整理しておくこと
第9回	岩田昇	国際保健の研究 ・文化とは ・社会疫学 ・国際比較/異文化間比較研究(Ni-Hon-San studyほか)	予習に基づき、社会疫学 ・国際比較/異文化間比較研究(Ni-Hon-San studyほか)	予習90分：配布した著書抜き刷りを読み、文化の階層的理解について考えておくこと 復習90分：配布資料を見直し、社会疫学や異文化比較研究の意義や困難点について整理しておくこと
第10回	井沢浩美岩田昇	国際看護各論３ ・看護師の国際組織と国際的な移動	予習に基づき、看護師の国際組織と国際的な移動	予習90分：国際社会における看護師の連携・協力体制や組織について調べてみること 復習90分：配布資料を見直し、他国の看護師の海外勤務のニーズと課題について考えてみること
第11回	井沢浩美岩田昇	国際看護各論４ ・国際看護の対象－文化・慣習の理解－	予習に基づき、国際看護の対象－文化・慣習の理解－	予習90分：海外における文化・慣習と医療問題との関りについて調べること 復習90分：配布資料を見直し、興味を持った部分をさらに調べてみること
第12回	井沢浩美岩田昇	国際看護各論５ ・文化を考慮した看護－事例を通して－	予習に基づき、文化を考慮した看護－事例を通して－	予習90分：社会・文化と伝統的民間医療および西洋医療との関係について調べておくこと 復習90分：配布資料を見直し、伝統的民間医療に関する疑問点を整理しておくこと
第13回	辻村弘美岩田昇	国際看護各論６ ・国際看護の実際－中国での看護師教育指導－ ・事例から考える異文化看護	国際看護の現場での苦労・工夫について、全受講生で感想を共有し、実際－中国での看護師教育指導－ ・事例から考える異文化看護	予習90分：中国における医療問題について調べておくこと 復習90分：配布資料を見直し、中国の伝統的民間医療・医療制度等について確認しておくこと
第14回	辻村弘美岩田昇	国際看護各論７ ・途上国を対象とした看護・保健研究	途上国を対象とした看護・保健研究について、相互に意見交換する。	予習90分：国際看護の領域でどのような研究が行われているのか、調べておくこと 復習90分：配布資料を見直し、自分なりの研究課題を考えてみること
				予習90分：14回の講義を振り

第15回	岩田昇	まとめ	これからの国際看護の課題や方向性について考え、討議する。	返り、グローバル化する現代における国際看護の課題について、考えておくこと 復習90分：すべての配布資料を見直し、国際看護に関する疑問点を解消しておくこと

教科書

教科書は用いない。配布資料に基づく。

参考書

浦田・小原(編)：災害看護学・国際看護学，系統看護学講座統合分野 看護の統合と実践３，医学書院
南・新川・大野(編)：国際看護学グローバル・ナーシングに向けての展開，中山書店

成績評価の方法・基準

・単位認定は60点以上。
・ミニ課題２つ(30%)、グループワーク等によるレポート・課題(70%)を総合して評価する。
なお、授業への積極的なコミットメントも評価加点する。

課題等に対する
フィードバックの方法

・グループディスカッション・プレゼンテーションに対するコメント等は適宜授業内で行う。
・レポート課題に対するフィードバックは、提出の次週より個別に行う。

履修のポイント

・健康水準の高い社会に住んでいることを自覚し、諸外国における健康問題について、幅広い知的好奇心と人道的視点を持って、積極的に学ぶことを期待します。

オフィス・アワー

・水曜日・木曜日12:30〜13:20（昼休み） 11号館第5研究室
（講義終了前後にも適宜受付可能）

科目区分

専門科目

当該授業科目の教育課程内での位置づけ

UK-C382

講義コード	11150001
講義名	統合セミナー
(副題)	
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	後期
講義区分	演習
基準単位数	1
代表曜日	木曜日
代表時限	４時限
必修/選択	必修
実務経験のある教員の有無	有
実務経験のある教員の経歴と授業内容	保健師として実務経験を活かし、看護実践に必要な基礎的知識を教授する（高橋）
学年	4学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 髙橋 美砂子	指定なし
教員	煙山 健仁	指定なし
教員	岩田 昇	指定なし

授業の概要と教育目標

実習を終了した最終学年を対象に看護実践者として臨床に適応するための知識の統合を図ることをねらいとした授業である。
この授業は看護に関する各分野の知識を統合して実践に生かすために、専門基礎科目や専門科目などの科目を精選し、系統的に学び知識の統合を図る。又、看護に必要な根拠や理由などのエビデンスを導き出すことができるようにアセスメント能力を深化させ、知識の定着を図ることを目標とする。
本講義は各科目の専門家によるオムニバス方式で学習する。

卒業認定・学位授与の方針との関連

医療保健学部看護学科のディプロマ・ポリシーとの関連として、看護実践に必要な基礎的知識の統合を図り、臨床に適応できる看護実践者の育成を目指し、基礎的な知識の習得を目指すものとする。

到達目標

1.専門基礎科目や専門科目などの（国家試験科目）を系統的に学び、振り返り返ることで要点を整理・理解できる。
2.症状のメカニズムやケアの根拠について知識を深化させることができる。
3.看護に関する基礎的な知識を統合させ、知識の定着を図ることができる。

授業計画

	担当者	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間
		1.授業ガイダンス 1)本授業における専門基礎科目		予習：専門基礎科目や専門

第1回	髙橋美砂子	や専門科目の設定について 2)看護に必要な基礎的な知識の統合とは 3)看護に必要な知識の定着について	国家試験の学習をするにあたり、各自の学び方について、グループメンバーと意見交換し、効率的な学習方法を見出す。	科目の講義資料を整理して自己学習に活用できるファイルを作成する。 復習：講義内容を毎回復習・整理して、知識が定着できるノート作りを行う。
第7回		第2回～第7回 専門基礎科目や専門科目から精選された科目の講義	講義での疑問点、学習のポイントを話しあい、確認する。	予習90分：該当科目の既習の講義資料を読んで整理する。 復習90分：講義内容を振り返り、要点をノートに整理する。
第8回		第2回～第7回 までの講義内容の要点の整理・まとめ 知識確認を行う。		予習90分：第2回～第7回まで講義資料の要点を整理、不明瞭な点を明らかにする。 復習90分：知識確認後、誤った点を明らかにして、知識を明確にする。
第14回		第9回～第14回 専門基礎科目や専門科目から精選された科目の講義	講義での疑問点、学習のポイントを話しあい、確認する。	予習90分：該当科目の既習の講義資料を読んで整理する。 復習90分：講義内容を振り返り、要点をノートに整理する。
第15回	髙橋美砂子	第9回～第14回 までの講義内容の要点の整理・まとめ 知識確認を行う。	学習してきたことをメンバー同士で情報交換をし、全員が国試合格の知識の修得できるように話し合う。	予習90分：第9回～第14回まで講義資料の要点を整理、不明瞭な点を明らかにする。 復習90分：知識確認後、誤った点を明らかにして、知識を明確にする。

教科書

専門基礎科目や専門科目で使用した教科書、参考書、資料
授業時に教員から配布される資料

参考書

必要に応じて提示します。

成績評価の方法・基準

単位認定は60点以上、試験100%で評価（試験は定期試験前に実施する場合がある）

課題等に対する
フィードバックの方法

・オムニバスによる講義の為、不明な点は講義終了後に指導を受けて下さい。または担当講師に連絡の上、指導を受けて下さい。

履修のポイント

到達目標が達成できるように、個々の学生が主体的に学びとる姿勢で授業に臨んでください。
事前課題については必ず勉強してから授業に臨むこと。

オフィス・アワー

・講義内容、課題については各講師が対応するため、連絡をとって日時を調整してから指導を受

けてください。
・科目責任者は在室時、随時対応します。１０号館2階研究室13（高橋）

科目区分
専門科目
当該授業科目の教育課程内での位置づけ
UK-R383

講義コード	11160001
講義名	看護セミナー
(副題)	
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	通年
講義区分	演習
基準単位数	4
代表曜日	金曜日
代表時限	１時限
必修/選択	必修
実務経験のある教員の有無	有
実務経験のある教員の経歴と授業内容	保健師として実務経験をもとに、看護実践の理論と研究的視点を踏まえた実習の意義、方法を解説する
学年	4学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 髙橋 美砂子	指定なし

授業の概要と教育目標

看護活動の場（保健・医療等の実践の場）で、自ら選定した課題を探求又は解決するために、実施計画を立案する（10コマ程度）。計画に従って実施し、得られた結果を実習報告書（論文形式）にまとめる（6コマ程度）。なお本科目は、課題を探求・解決する過程を通して、より質の高い看護を提供するために継続して学習を深めることの意義を理解することと、生涯にわたって看護学及び看護研究を発展させていくための基礎的能力を修得することを目標とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

医療保健学部看護学科のディプロマ・ポリシーとの関連として、様々な健康レベル、あらゆる発達段階における実践的な援助技術の修得、知識と技術の統合、臨床現場でのチーム医療の一員として役割を担う能力、チームを調整する能力、問題を解決する能力を修得することを目指すものとする。

到達目標

１．これまでの学習及び先行文献により、自己の課題を明確にすることができる。
２．課題を達成させるために、先行文献をもとに計画の立案及び調整をすることができる。
３．課題を達成するために実施することができる。
４．課題の結果について先行文献を用い考察することができる。
５．課題に対する実践結果を研究論文の構成要素に従って論述し期限内に提出する。

授業計画

	担当者	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習と そのために必要な時間
第1回	髙橋美砂子	【科目ガイダンス】【各領域からの説	各領域の教員からの説明を受け、各自が希望する領域についてアンケート用紙に記入し、期限までに提出する	予習60分：シラバスを読む。復習60分：実習要項を見直す。

		明】		
第2回	髙橋美砂子	【自己の課題の明確化】・実習領域（担当教員）の発表	担当教員にあいさつし、指導の下、自己の課題を明確にする（実習テーマの決定）	予習60分：実習要項を見直す。自己の課題を明確にするための準備をする。復習60分：担当教員からのアドバイスをもとに、自己の課題に取り組む
第3回		【実習計画の立案】	自己の課題を探求、あるいは解決するために、先行文献をもとに実習計画の立案・調整をする	予習60分：担当教員からのアドバイスをもとに、自己の課題に取り組み準備をして臨む。復習60分：担当教員からのアドバイスをもとに、自己の課題に取り組む
第4回		【臨地実習】	自己の課題を探求、あるいは解決するために、立案した計画に沿って実習を行う	予習60分：実習計画に沿って必要な準備をして臨む。復習60分：実習で得られた結果を整理する
第5回		【報告書の作成】	実習で得られた結果について先行文献を用いて考察し、報告書を作成する。決められた期限までに提出する	予習60分：実習で得られた結果を整理し、報告書の作成に臨む。復習60分：担当教員からのアドバイスをもとに、自己の課題に取り組む

教科書

看護セミナー実習要項（2021年度版）を配布します。各科目の授業に使用した教科書、資料

参考書

黒田裕子著、『黒田裕子の看護研究 Step by Step』医学書院
その他、必要に応じて、各担当教員から配布される資料等

成績評価の方法・基準

単位認定は60点以上とする
実習目標の到達度により評価する

課題等に対する
フィードバックの方法

課題の明確化、実習計画の立案、実習後の報告書の作成等について、担当教員からアドバイスを受けたり課題の提示があります

履修のポイント

これまでの看護に関する学習において、集大成とも言える実習です。1年次から3年次までの実習において各自が疑問に思ったことやもっと深めたいと考えたことをテーマとして臨む実習です。主体的に学習し、時間を有効に活用して課題に取り組むことを期待します。

オフィス・アワー

各担当教員と調整してください

科目区分

専門科目

当該授業科目の教育課程内での位置づけ

UK-R375

講義コード	11170001
講義名	現代教職論
(副題)	【教職必修】
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	後期
講義区分	講義
基準単位数	2
代表曜日	
代表時限	
必修/選択	自由
実務経験のある教員の有無	無
実務経験のある教員の経歴と授業内容	
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教 員	◎ 佐々木 尚毅	指定なし

授業の概要と教育目標

教職についての理解を深め、自らの教職への意欲、適性等を熟考し、将来教職に就くことについて多角的に考察するために、教職の意義や教員の役割、職務内容等に関する知識を修得することを目標とする。さらに予定されている学習指導要領改訂の中で重要な改訂点となる「カリキュラム・マネジメント」、「アクティブ・ラーニング」、「外国語(英語)の教科化」などについて、その導入理念を理解する。これらを通じて「時代の変化に対応した新しい学びを支える教育・教師」について理解し自らの適正を考え、どのような教師となるかキャリア・デザインできる事が目標である。

卒業認定・学位授与の方針との関連

医療保健学部のディプロマ・ポリシーのひとつである「人間に対して、社会・環境・コミュニケーションなどの諸側面から理解している」ことを第一に内容を精選する。人は年齢を重ねただけでは大人にはなれない。人は人のなかで人になっていく。その人のなかでも、教師は重要な機能と役割をもって子どもが大人になることを見守り、支え励ます。そうした教員の職務内容を理解し、教職の意義及び役割を学ぶ。また、受講者が自分自身の適正について熟考し、進路を考える。

到達目標

１)現代日本の子どもの状況と公教育の目的とを説明できる。
２)教職の意義や教員の役割、職務内容・服務内容等を説明できる。
３)ひとり一人の子どもの成長を支える「チーム学校」、「学校内外の専門家等との連携と分担」の必要性とその運営・活用について説明できる。

授業計画

	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習と そのために必要な時間
第1回	何を学ぶのか、何のために学ぶのか。「自らと向き合い適正を考える」	学校現場のビデオを試聴後、「自分の体験から考える教師の役割」についてグループ討議、発表。	復習180分:レポート作成「教師志望の動機」作成

第2回	親・教師・学校・社会の変化、世界の中の日本の子ども	「教師志望の動機」についてグループ内で個別発表後、グループ討議。	予習30分:第1回配布資料の通読 復習150分:『子ども・若者白書』指定個所を読み800字程度でのまとめの作成。
第3回	子どもを中心にした、連携と教師の役割の拡大		予習90分:『白書』指定個所のまとめと課題文書作成 復習90分:『白書』指定個所のまとめと課題文書作成
第4回	教育関連法規－日本国憲法・教育関連法規－		予習90分:教育基本法通読 復習90分:教基法確認テストに向けた学習
第5回	我が国の教育－中央教育審議会の教育構想－		予習60分:配布中教審答申を読む 復習120分:答申案のポイントまとめ
第6回	学習指導要領－学習指導要領改訂の理念とポイント－		予習120分:調べ学習「指導要領の変遷」 復習60分:今次改定のポイントを学習
第7回	新しい学校－学校の組織運営(校務分掌／新しい職による組織の変化)－		予習20分:調べ学習「1条校」の変遷 復習160分:校内職名の確認(次回確認テスト)
第8回	教師の役割－学級担任の職務と教科指導－		予習30分:『子ども・若者白書』の指定個所を読む 復習150分:配布資料に関する感想文作成
第9回	教師の役割－養護教諭・栄養教諭の職責と協働・連携－		予習60分:現職教師の日記を読む 復習120分:視聴映像の感想文(1200字程度)作成
第10回	教師の役割－職務、研修、「学び続ける教師」－		予習90分:調べ学習「生涯学習」 復習90分:配布資料の再読
第11回	「特別な支援を必要とする子ども」		予習120分:調べ学習「障害者総合支援法」 復習60分:視聴映像感想文作成
第12回	「特別な支援を必要とする子ども」－事例の検討を含む－	「デスレクシア等見えない障害」についてグループ討議	予習60分:調べ学習「チーム学校」 復習120分:課題作成「私が目指す教師 像」(1200字程度)
第13回	学校－開かれた学校、学校安全の具体例とその検討－		予習60分:配布資料「チーム学校の目指すもの」を読む 復習120分:課題作成「私が目指す家庭と地域と教師の関係」(1200字程度)

第14回	教師の仕事－教科指導、生活指導、学級経営等－		予習20分:配布資料を読む 復習160分:作文「私が目指す教師像」(1600字程度)
第15回	教師と生涯学習－学び続ける教師－		予習90分:作文「教師とは学校とは教育とは」 復習90分:総復習

教科書

『中学校学習指導要領』(文科省、平成29年3月)、『高等学校学習指導要領』(文科省、平成29年)

参考書

各種法規、審議会答申は適宜配布する。

成績評価の方法・基準

定期試験(70%)、リアクションペーパー(30%)
単位認定60点以上

**課題等に対する
フィードバックの方法**

授業では持ち帰り課題を多く課す。その自宅学習の成果を次の授業時間内に発表者を指名して受講者の前で発表させる。その発表内容について意見交換を行う。このアクティブ・ラーニングへの取り組み姿勢とその内容を評価に加える。提出された課題文章はすべて添削し、文章作成能力の向上を図る。仲間と協働することの意義と楽しさを体得させる。

履修のポイント

大学は教育・研究機関である。自ら課題を発見し、その課題にどの様に取り組み、そして解決するかを学びとることにこそ大学での学びである。「仲間とともに、積極的に」という姿勢を自ら育てていくこと。

オフィス・アワー

講義時間の前後の時間及び休み時間

科目区分

教職科目

当該授業科目の教育課程内での位置づけ

UM-F420

講義コード	11180001
講義名	教育心理学
(副題)	【教職必修】
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	後期
講義区分	講義
基準単位数	2
代表曜日	金曜日
代表時限	５時限
必修/選択	自由
実務経験のある教員の有無	有
実務経験のある教員の経歴と授業内容	教育機関での心理臨床活動を基により具体的な児童生徒理解に関する授業を行う
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 大澤 靖彦	指定なし

授業の概要と教育目標

教師が学校現場で児童・生徒と対応する際には、彼らが、今現在発達的にどのような状況におかれているのか、また、そのときの心の状態はいかなるものなのか、ということに配慮しながら接することが求められる。この科目では、人は環境と相互に作用しあう存在であることを踏まえて、人の発達過程、学習過程、教授過程について講義する。授業は講義形式で行うが、授業後半では実習も取り入れ、学生による「模擬授業」を実施する。なお、青年期までの人の発達過程とその特徴、学習のしくみと学習を規定する要因と障がい、教授の類型について理解を深めることを教育目標とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

医療保健学部看護学科・栄養学科のディプロマポリシーとの関連として、社会・環境・コミュニケーションなどの諸側面から人に対する理解を深めることを目指し、心理的側面の理解を通してその目的達成に資する知識を養う。そして将来的な展望としては、心身の発達理論を理解しつつ、多様な人間のライフステージ、ライフサイクルを理解するという発達の側面、そして知識を収めていく学習の側面、発達課題に直面した際の課題未達成からくる適応の問題の側面から教職実践の基盤となる学修を行うことを目指すものとする。

到達目標

１．教育心理学で使用されるさまざまな専門用語の意味を理解できる。
２．青年期までの人の発達過程とその特徴について理解できる。
３．学習のしくみと学習を規定する要因、および障がいについて理解できる。
４．「教える」ということを体験を通じて実感し、自ら「教える」立場をシュミレーションする。

授業計画

	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間
			予習90分：

第1回	オリエンテーション 教育心理学の概要	教育心理学で取り扱う内容について、その概要（発達・学習・教授）を取り上げる。よい授業とは何かについて、メンバーの意見を聞きながら自分の考えを広げたり深めたりする。さらに、心理学における教育心理学の位置づけについて考える。	教科書pp.12-21を読む。 復習90分：配布資料を見直す。
第2回	発達の基本原理と人生初期の発達 発達の基本的な原理、発達の最近接領域、の発達について取り上げる。	発達を促進する要因について、メンバーの意見を聞きながら自分の考えを広げたり深めたりする。	予習90分：教科書pp.22-25、31-39 復習90分：配布資料を見直す。
第3回	発達段階の特徴 乳児期から成人期までの発達の特徴について取り上げる。	発達の特徴を前提に学校教育の意義について、考究する。	予習90分：教科書pp.25-31を読む。 復習90分：配布資料を見直す。
第4回	さまざまな学習理論① 刺激と反応の結びつきを重視する学習の連合理論と認知の変容を重視する学習の認知理論を中心に、学習のしくみを取り上げる。	学習理論から生まれたソーシャル・スキルトレーニングを体験し、12・13・14回目で行う模擬授業の展開の仕方について理解する。	予習90分：教科書41-54を読む。 復習90分：配布資料を見直す。
第5回	さまざまな学習理論② 記憶、思考を取り上げる。	記憶のメカニズムを理解することで、どのように教授するのがよいのかについて、メンバーの意見を聞きながら自分の考えを広げたり深めたりする。	予習90分：教科書pp.55-70を読む。 復習90分：配布資料を見直す。
第6回	学習の規定因① 学習の規定因としての動機づけ理論と、動機づけ向上に必要な事項について取り上げる。	やる気を高めたり維持するためには何が必要なのかについて、メンバーの意見を聞きながら自分の考えを広げたり深めたりする。	予習90分：教科書pp.72-88を読む。 復習90分：配布資料を

			見直す。
第7回	学習の規定因② 学習を規定する要因としてのパーソナリティの理論、知能の構造、測定方法を取り上げる。	自己に関する理解について、メンバーの意見を聞きながら自分の考えを広げたり深めたりする。	予習90分：教科書pp.89-102を読む。 復習90分：配布資料を見直す。
第8回	人間関係と社会性 子どもは人間関係の中でどのように成長するのかについて取り上げる。	愛着が発達に及ぼす意義について、メンバーの意見を聞きながら自分の考えを広げたり深めたりする。	予習90分：教科書pp.104-119を読む。 復習90分：配布資料を見直す。
第9回	学級集団 集団形成や教師のリーダーシップやバイアス等について取り上げる。発達を促す集団の力は教師の働きかけによるところが大きいことを理解する。	望ましい学級集団を形成するために教師が気を付けるべきことについて、メンバーの意見を聞きながら自分の考えを広げたり深めたりする。。	予習90分：教科書pp.124-139を読む。 復習90分：配布資料を見直す。
第10回	学校不適応および障がいの理解 学校における適応と不適応、さらに発達障がいの種類や特徴の理解について取り上げる。	児童生徒のつまずきやすさについて、メンバーの意見を聞きながら自分の考えを広げたり深めたりする。	予習90分：教科書pp.141-171を読む。 復習90分：配布資料を見直す。
第11回	学習指導と教育評価 学習方法や評価の種類について取り上げる。	学習指導方法や教育評価の目的について考究する。	予習90分：教科書pp.175-192を読む。 復習90分：配布資料を見直す。
第12回	模擬授業①	教える技術、伝える技術、授業づくりの留意点をおさえて、「教える」ことをシュミレートする模擬授業を行う。他の履修者	予習90分：模擬講義資料作り。

		は、授業評価をし、授業担当者にフィードバックする。この経験を教育実習の参考として役立てられるようにする。	復習90分：模擬講義ふり返り。
第13回	模擬授業②	第12回目の授業から、さらに発展させ、応答技法の留意点もおさえて、「教える」ことをシュミレートする模擬授業を行う。他の履修者は、授業評価をし、授業担当者にフィードバックする。この経験を教育実習の参考として役立てられるようにする。	予習90分：模擬講義資料作り。 復習90分：模擬講義ふり返り。
第14回	模擬授業③	第12・13回目の授業から、さらに発展させ、応答技法の留意点もおさえて、「教える」ことをシュミレートする模擬授業を行う。他の履修者は、授業評価をし、授業担当者にフィードバックする。この経験を教育実習の参考として役立てられるようにする。	予習90分：模擬講義資料作り。 復習90分：模擬講義ふり返り。
第15回	授業のまとめ 確認テスト	まとめ及び模擬授業の振り返り。グループ発表の良かったこと改善すべきところについて話し合う。	予習90分：これまでの小テストを見返す。 復習90分：模擬授業の振り返りを生かした授業案を作成してみる。

教科書

桜井茂男監修 『実践につながる教育心理学』 北樹出版

参考書

適宜紹介する。

成績評価の方法・基準

単位認定60点以上。
確認テスト（最終授業で毎回の授業で行う小テストから40問を出題）40%、
レポート・課題30%、
授業への積極性・態度30% を総合して評価します。

課題等に対する
フィードバックの方法

授業内でレポートや課題を課すことがある。返却するので学習の参考にすること。また、授業で資料を配布するので、授業内容の理解に役立てること。

履修のポイント

授業への積極的な取り組みを期待します。予習として各回の主題に該当する教科書の章に目を通すこと、復習として配布資料・ノートのまとめを復習として勧めます。

オフィス・アワー

水曜日・木曜日、12：30〜13：20（昼休み）、11 号館第 8 研究室。
※講義終了前後にも、適宜受け付けます。

科目区分
教職科目
当該授業科目の教育課程内での位置づけ
UM-F421

講義コード	11190001
講義名	教育課程論
(副題)	【教職必修】
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	前期
講義区分	講義
基準単位数	2
代表曜日	金曜日
代表時限	5時限
必修/選択	自由
実務経験のある教員の有無	無
実務経験のある教員の経歴と授業内容	
学年	2学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 田口 和人	指定なし

授業の概要と教育目標

学校教育が所期の目的をより効果的に達成しようとする観点から、まず、教育課程の意義、構造、機能、歴史といった基本的な事項について学ぶ。次いで、学習指導要領を用いて、学校や地域、子どもの実情を踏まえたカリキュラムマネジメントの実際、評価の観点、教育計画と教育方法との接続について体験的学習を交えながら、理解を深めていく。

卒業認定・学位授与の方針との関連

医療保健学部のディプロマ・ポリシーのひとつである「人間に対して、社会・環境・コミュニケーションなどの諸側面から理解している」ことを第一に内容を精選する。人は年齢を重ねただけでは大人にはなれない。人は人のなかで人になっていく。その人のなかでも、学校は児童生徒の発達段階に則して、その成長を支え見守り励ますという重要な機能と役割をもっている。そうした学校教育の背景にあるカリキュラム理論を理解し、教育の意義及び役割を学ぶ。また、受講者が自分自身の適正について熟考し、進路を考える。

到達目標

学校教育における教育課程の意義と構造・機能を理解し、編成に関する基本的な事項についての説明できる。また、学習指導要領を教育課程編成の基準としながら、各学校の実情に合ったカリキュラムマネジメントを行うことにより、社会に開かれた教育課程を実現していく意義と具体的な手立てについて説明できるようになる。

授業計画

	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	学校の性質と教育内容の組織化、教育課程の意義	グループによる討議	復習180分:レポート作成「教師志望の動機」作成
第2回	教育課程の定義、学習内容観と教育課程のタイプ	グループによる討議	予習90分:第1回配付資料の通読 復習90分:『子ど

			も・若者白書』指定個所を読む
第3回	哲学的条件、社会学的条件、心理学的条件、教育学的条件		予習90分:課題図書を読み課題文書作成 復習90分:教科書の指定個所を読む
第4回	社会の発展段階と教育課程の特徴		予習90分:教育基本法通読 復習90分:教基法確認テストに向けた学習
第5回	「知識基盤社会」の「人間化」された「社会に開かれた教育課程」		予習90分:配布課題図書を読む 復習90分:配布課題図書を読む
第6回	発達段階への対応、可塑性への働きかけ、社会化と教育内容		予習90分:調べ学習「指導要領の変遷」 復習90分:今次改定のポイントを学習
第7回	教科の構成、教育内容の精選と構造化、教科外の教育内容		予習90分:調べ学習「指導要領の変遷」 復習90分:今次改定のポイントを学習
第8回	単元の意義、教材単元と経験単元、単元の構成と教材の準備		予習90分:調べ学習「指導要領の変遷」 復習90分:今次改定のポイントを学習
第9回	全体的教育課程と個別的教育課程、教育課程編成に関する法令等		予習90分:調べ学習「指導要領の変遷」 復習90分:今次改定のポイントを学習
第10回	教育課程編成の基本的観点、内容の重点化と構造化		予習90分:調べ学習（学校「年間指導計画」） 復習90分:配布資料の再読
第11回	定量化の必要性と観点、配当時間との関係		予習90分:配付資料「評価」を読む 復習90分:「指導と評価の計画」の作成
第12回	年間計画と時間割・日課表、教材・教具との関係	グループに分かれ、作業を分担し年間指導計画を作成し、校務分掌表を作成する。	予習90分:「総合的な学習の時間」の指導案作成 復習90分:「総合的な学習の時間」の指導案修正
			予習90分:「道徳の

第13回	評価の視点と方法、教育課程の接続と改善		時間」の指導案作成 復習90分:「道徳の時間」の指導案修正
第14回	現代社会に対する学習指導要領の戦略		予習90分:「特別活動」の指導案作成 復習90分:「特別活動」の指導案修正
第15回	基準性と個別性の観点から振り返り		予習90分:作文「教師とは学校とは教育とは」 復習90分:総復習

教科書

平成29年3月31日公示小学校学習指導要領、中学校学習指導要領

参考書

広岡義之著『はじめて学ぶ教育課程』ミネルヴァ書房 2016年
無藤 隆著『新しい教育課程におけるｱｸﾃｨﾌﾞな学びと教師力・学校力』図書文化社 2017年

成績評価の方法・基準

定期試験50％、授業末に実施する小テストや課題提出物等50％の割合で総合評価し、60点以上合格。

課題等に対する
フィードバックの方法

授業では持ち帰り課題を多く課す。その自宅学習の成果を次の授業時間内に発表者を指名して受講者の前で発表させる。その発表内容について意見交換を行う。このアクティブ・ラーニングへの取り組み姿勢とその内容を評価に加える。提出された課題文章はすべて添削し、文章作成能力の向上を図る。仲間と協働することの意義と楽しさを体得させる。

履修のポイント

大学は教育・研究機関である。自ら課題を発見し、その課題にどの様に取り組み、そして解決するかを学びとることにこそ大学での学びである。「仲間とともに、積極的に」という姿勢を自ら育てていくこと。

オフィス・アワー

講義時間の前後の時間及び休み時間

科目区分

教職科目

当該授業科目の教育課程内での位置づけ

UM-F430

講義コード	11200001
講義名	教育方法論
(副題)	【教職必修】
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	後期
講義区分	講義
基準単位数	1
代表曜日	
代表時限	
必修/選択	自由
実務経験のある教員の有無	有
実務経験のある教員の経歴と授業内容	盲学校、小学校教員としての勤務経験を活かし、より深い学びにつながる教育方法を考える講義を行う
学年	2学年

担当教員

職種	氏名	所属
教 員	◎ 山上 裕子	指定なし
教 員	宮内 洋	指定なし

授業の概要と教育目標

教育の方法は、学ぶ者、学ばれる内容に関連するリアルタイムのものである。生（なま）の経験においてこそ、本来の学びが成立する。それには、目の前の子どもの学びをどう実現していくのかを問い、授業を創意工夫していく必要がある。本講義では、教育方法の基礎理論、授業の構成要素、学習評価、基礎的な技術、指導案の作成ポイント及び模擬授業を行う。そして、情報機器を活用した効果的な授業や情報活用能力の育成を視野に入れた適切な教材の作成・活用に関する基礎的な能力を身につける。これらの講義をとおして、よりよい授業を工夫できる基礎の修得を目指す。

卒業認定・学位授与の方針との関連

本科目は、国際化・情報化の社会変化において、人間の成長に携わる教職の科目である。看護学科のディプロマポリシー「人間に対して、社会・環境・コミュニケーションなどの諸側面から理解している」に関連している。
教えるということは、学び手がどのような状況にあるか、という理解が不可欠である。そして、人としてどう成長することが望ましいのか、という問いと関連する。

到達目標

①教育方法の基礎理論について理解できる。
②授業の構成要素や多様な学習評価について理解できる。
③授業の指導技術のポイントを理解できる。
④授業の基礎理論を踏まえた指導案を作成できる。
⑤児童・生徒の興味・関心を高めたり、学習内容を的確にまとめさせたりするために、情報機器を活用し、効果的に教材等を作成・提示することができる。
⑥児童・生徒の情報活用能力を育成するための指導法を理解し、情報モラル教育についても理解し、児童・生徒を指導できる。

授業計画

	担当者	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間

第1回	山上裕子	・講義内容について説明を受け、学習目標を確認する。 ・これまで受けてきた授業について情報交換し、よりよい授業について考える。 ・現在求められているアクティブ・ラーニングについて知る。	・これまで受けてきた授業について、ディスカッションを行う。	・予習：シラバスを通読し授業内容を知る。これまで受けてきた授業について振り返る。（30分） ・復習：授業内容をノートにまとめる。（30分）
第2回	山上裕子	・子どもから学びが始まる、という教育観に立った先人たちの提案した教育方法の考え方とその実践について学ぶ。具体的には、ルソーの消極的な教育、ペスタロッチの直観教授法、デューイの問題解決学習である。	・	・予習：配布資料を読んで、内容を確認する。（30分） ・復習：授業内容をノートにまとめる。（30分）
第3回	山上裕子	・前回の授業内容から、授業には多様な要素があることを見出し、授業の目的に応じて環境を構成する必要性を学ぶ。	・授業の構成要素について、ディスカッションを行う。	・予習：配布資料を読んで、内容を確認する。（30分） ・復習：授業内容をノートにまとめる。（30分）
第4回	山上裕子	・授業形態に応じた多様な評価について、基礎理論に立ち返りつつ、何をどのように評価を行うのかを学ぶ。 ・模擬授業の内容をグループで話し合う。	・模擬授業について、ディスカッションを行う。	・予習：配布資料を読んで、内容を確認する。（30分） ・復習：模擬授業に向けて準備を進める（30分）
第5回	山上裕子	・基礎理論を踏まえて、指導案を作成する。 ・指導案の作成の仕方について、学習指導要領の総則に則り、具体的に学ぶ。 ・協力して指導案を作成する。	・模擬授業について、ディスカッションを行う。	・予習：模擬授業の準備を進める（60分） ・復習：模擬授業に向けて準備を進める（60分)
第6回	山上裕子	・話し方、板書の仕方等に留意し、作成した指導案を試してみる。 ・より善い授業についてディスカッションを行う。	・より善い授業についてディスカッションを行う。	・予習：模擬授業の準備を進める（30分） ・復習：これまでの学修を振返り、レポートにまとめる。（30分）
第7回	宮内洋	情報機器とネットの活用	情報機器を活用して効果的に教材等を作成・提示する方法とその注意点を学ぶ。	予習：情報機器の練習（30分） 復習：授業の振り返り（30分）
第8回	宮内洋	情報機器とネットの問題点	児童・生徒の情報活用能力（情報モラルを含む）を育成するための指導法を学ぶ。	予習：情報機器の練習（30分） 復習：授業の振り返り（30分）

教科書
中学校学習指導要領総則（平成29年3月告示 文部科学省）
参考書
佐藤学『教育の方法』左右社、2012年。 古藤泰弘『教育方法学の実践研究』教育出版、20013年。 今度珠美ほか『スマホ世代の子どものための主体的・対話的で深い学びにむかう情報モラルの授業』日本標準 その他、授業で適宜資料を配布する。
成績評価の方法・基準
単位認定 60点以上 レポート80％ 授業参加度20％
課題等に対する フィードバックの方法
授業で実施したワークは、次回授業時にコメントし返却するので、各自の復習に役立てること。
履修のポイント
小学校以降受けてきた授業を振り返り、よりよい授業とは何か、という問いをもつこと。
オフィス・アワー
授業日の授業開始前もしくは終了後に教室等で質問に応じます。また、下記のメールアドレスでも受けつけます。 yamakami@koriyama-kgc.ac.jp
科目区分
教職科目
当該授業科目の教育課程内での位置づけ
UM-F440

講義コード	11210001
講義名	生徒指導論
(副題)	【教職必修】
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	後期
講義区分	講義
基準単位数	2
代表曜日	月曜日
代表時限	5時限
必修/選択	自由
実務経験のある教員の有無	無
実務経験のある教員の経歴と授業内容	
学年	2学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 田口 和人	指定なし

授業の概要と教育目標

①教科・道徳・総合的な学習の時間・特別活動における生徒指導の意義や重要性を理解すると同時に、教育課程全般のなかでの生徒指導の位置づけを理解する。
②集団指導・個別指導また「個人と集団」という概念のもとで、生徒指導について考える。
③子どもの成長発達の段階を踏まえながら、基本的生活習慣や規範意識の重要性について考える（養護教諭・栄養教諭の立場から）。
④学校教育における体罰、いじめ、不登校、インターネットや性、また児童虐待に関する問題などを具体的に取り上げながら、これらへの対応について考える。

卒業認定・学位授与の方針との関連

人間を対象とする教育職員の役割を念頭に置いて、社会・環境・コミュニケーションについての認識を深める。また、多様な社会のニーズ、変化に対応できるように、自らの「資質・能力」を高めることに努める。

到達目標

生徒指導は、一人ひとりの児童及び生徒の人格を尊重し、個性の伸長を図りながら、社会的資質や行動力を高めることを目指して教育活動全体を通じて行われる、学習指導と並ぶ重要な教育活動である。他の教職員や関係機関と連携しながら組織的に生徒指導を進めていくために必要な知識・技能や素養を身に付ける。

授業計画

	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	「生徒指導とは何か？」について、これまで受けてきた学校教育の記憶やイメージをたどりながら、教育課程のなかでのその位置付けについて理解する。		予習90分：教育に関する事象について調べる。復習90分：配付資料を見直す。
			予習90分：教育に

第2回	生徒指導の経験的なイメージを踏まえながら、教育活動の二つの形態（教授と陶冶）について考える。		関する事象について調べる。復習90分：配付資料を見直す。
第3回	学校教育また学校生活の具体的な場面をイメージしながら、生徒指導の有り様について考える。― 視聴覚教材を用いる ―		予習90分：教育に関する事象について調べる。復習90分：配付資料を見直す。
第4回	特別活動・総合的な学習の時間における生徒指導の様態について考える。		予習90分：教育に関する事象について調べる。復習90分：配付資料を見直す。
第5回	児童生徒の問題行動に対する生徒指導の対応の仕方ついて学び、考える。		予習90分：教育に関する事象について調べる。復習90分：配付資料を見直す。
第6回	学校教育・部活動でなくならない体罰の実態について考える。		予習90分：教育に関する事象について調べる。復習90分：配付資料を見直す。
第7回	校則及び不登校（引きこもり）について考える。	校則及び不登校（引きこもり）について考える。	予習90分：教育に関する事象について調べる。復習90分：配付資料を見直す。
第8回	「いじめ（いじめ自殺）」の視聴覚教材をみて、感想・意見をレポートする。		予習90分：教育に関する事象について調べる。復習90分：配付資料を見直す。
第9回	第８回での感想・意見をもとに、「いじめ」問題についての理解を相互に深める。	第８回での感想・意見をもとに、「いじめ」問題についての理解を相互に深める。	予習90分：教育に関する事象について調べる。復習90分：配付資料を見直す。
第10回	児童生徒を取り巻くインターネットや性に関する問題について考える。	児童生徒を取り巻くインターネットや性に関する問題について考える。	予習90分：教育に関する事象について調べる。復習90分：配付資料を見直す。
第11回	養護教諭・栄養教諭を前提として、基礎的生活習慣の確立や規範意識の醸成に向けた生徒指導について考える。― 朝食欠食問題・不規則な生活習慣などを事例に ―		予習90分：教育に関する事象について調べる。復習90分：配付資料を見直す。
第12回	養護教諭・栄養教諭が担任教諭との協力で進める生徒指導について考える。		予習90分：教育に関する事象について調べる。復習90分：配付資料を見直す。

第13回	クラスでの生徒指導に関するケース・スタディとグループディスカッション。	クラスでの生徒指導に関するケース・スタディとグループディスカッション。	予習90分：教育に関する事象について調べる。復習90分：配付資料を見直す。
第14回	第13回でのディスカッションをもとに、プレゼンテーションと相互検討。	第13回でのディスカッションをもとに、プレゼンテーションと相互検討。	予習90分：教育に関する事象について調べる。復習90分：配付資料を見直す。
第15回	学校教育における生徒指導に関する総合的な理解を深める。		予習90分：教育に関する事象について調べる。復習90分：配付資料を見直す。

教科書

なし

参考書

『生徒指導提要』（平成22年）『小学校学習指導要領』（平成29年）
『中学校学習指導要領』（平成29年）
岩城隆次・森嶋昭伸編著『生徒指導の新展開』ミネルヴァ書房

成績評価の方法・基準

定期試験（80%）、授業時のレポート（20%）
単位認定基準60%以上

課題等に対する
フィードバックの方法

授業内でレポートや課題を課すことがある。返却するので、授業の振り返りとして役立てること。

履修のポイント

主体的、対話的で深い学びを期待します。

オフィス・アワー

火曜日・木曜日の12：30〜13：20（昼休み） 11号館第7研究室
※授業終了後も、適宜受け付けます。

科目区分

教職科目

当該授業科目の教育課程内での位置づけ

UM-F441

講義コード	11211001
講義名	特別支援教育論
(副題)	【教職必修】
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	後期
講義区分	講義
基準単位数	1
代表曜日	
代表時限	
必修/選択	自由
実務経験のある教員の有無	有
実務経験のある教員の経歴と授業内容	中学校特別支援学級担任教諭としての指導経験を活かして実践力を育成する授業を展開する。
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教 員	◎ 小林 徹	指定なし

授業の概要と教育目標

担当者の中学校特別支援学級担任教諭としての指導経験や市町村教育支援委員としての幼稚園・保育所等との連携の経験に基づき、研究成果も踏まえて以下の内容を講義する。
１．特別支援教育を支える理念や歴史的変遷について理解する。
２．特別支援教育の場（機関）と制度の現状をとらえる。
３．さまざまな障がいと障がい児、特別な配慮を要する子どもの理解の視点と方法について理解する。
４．障がい児等の個別支援計画の作成、評価について理解する。
５．特別支援教育の実際について理解を深める。

卒業認定・学位授与の方針との関連

医療保健学部看護学科のディプロマ・ポリシーとの関連としては、社会・環境・コミュニケーションなどの諸側面から、さまざまな障がいと障がい児、特別な配慮を要する子どもを理解することで人間理解を目ざす。
また、特別支援教育の理解を通して、さまざまな健康レベル、あらゆる発達段階における科学的知識を修得し、実践的な援助技術の修得を目ざす。

到達目標

１．履修学生が特別支援教育の理念や制度、その歴史や支援機関の現状について説明できる。
２．履修学生が障がい児や特別な配慮を要する子どもの個別指導（支援）計画を作成し、評価することができる。
３．履修学生がさまざまな障がいと障がい児や特別な配慮を要する子どもを支援するための視点と方法について説明できる。

授業計画

	担当者	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間
	小	「特別支援教育の考え方、制度と仕組み」 障がい児、特別な配慮を要する子ども、		【予習90分】当日の内容をテキストで確認する。 【復習90分】授

第1回	林徹	特別支援教育の基礎概念、特別支援教育と障がい児福祉の制度とその仕組みについて学習する。		業を踏まえてまとめと質問シートを作成する。
第2回	小林徹	「障がいとの出合いと子育て、保護者支援」 保護者と障がいとの出合いと保護者支援、障がいのある子どもの子育ての考え方と療育の実際を映像を通して学習する。		【予習90分】当日の内容をテキストで確認する。 【復習90分】授業を踏まえてまとめと質問シートを作成する。
第3回	小林徹	「障がい児の理解と支援①発達障がい・知的障がい・情緒障がい」 映像を通して発達障がい、知的障がい、情緒障がいに関する基礎的概念を整理し、その支援方法を考える。		【予習90分】当日の内容をテキストで確認する。 【復習90分】授業を踏まえてまとめと質問シートを作成する。
第4回	小林徹	「障がい児の理解と支援②肢体不自由・視覚障がい・聴覚障がい・言語障がい」 肢体不自由・視覚障がい・聴覚障がい・言語障がいに関する基礎的概念を整理し、その支援方法を考える。		【予習90分】当日の内容をテキストで確認する。 【復習90分】授業を踏まえてまとめと質問シートを作成する。
第5回	小林徹	「障がい児の理解と支援③病弱・重複障がい・その他の特別な教育的ニーズ」 病弱・重複障がいに関する基礎的概念を整理し、その支援方法を考える。また、障がいはないが、特別な教育的ニーズをもつ子どもについて学び、その支援方法を考える。		【予習90分】当日の内容をテキストで確認する。 【復習90分】授業を踏まえてまとめと質問シートを作成する。
第6回	小林徹	「他機関との連携、幼保小中高の接続」 障がい児支援に関わるさまざまな工夫について紹介し、理解を深める。また、幼保小中高の接続を含めたさまざまな機関との連携について学習する。		【予習90分】当日の内容をテキストで確認する。 【復習90分】授業を踏まえてまとめと質問シートを作成する。
第7回	小林徹	「個別の教育支援計画と個別の指導計画の作成と活用」 子どもの有する特別な教育的ニーズをどのように見出し、理解するかを個別の教育支援計画や個別の指導計画の作成を通して学習する。また、作成した計画をもとにして具体的な支援を考察する。	特別な教育的ニーズを有する児童の個別の指導計画を作成し、発表する。	【予習90分】当日の内容をテキストで確認する。 【復習90分】授業を踏まえてまとめと質問シートを作成する。
第8回	小林徹	「特別支援教育のこれまでとこれから」 特別支援教育の歴史的変遷について学習する。そして、今後のインクルーシブ教育システムの構築に向けた考察を行う。		【予習90分】当日の内容をテキストで確認する。 【復習90分】授業を踏まえてまとめと質問シートを作成する。

教科書

小林徹・栗山宣夫編著『ライフステージを見通した障害児保育と特別支援教育』みらい,2020

参考書

適宜紹介する。

成績評価の方法・基準
単位認定60点以上。 レポート試験（50%）、毎回提出する小レポート（30%）、小テスト（20%）
課題等に対する フィードバックの方法
毎回提出する小レポートや小テストを参考にして、期末のレポート試験を受けること。
履修のポイント
障がいや障がい児について関心をもち、学習を深めてほしい。
オフィス・アワー
授業日の授業開始前もしくは終了後に教室等で質問に応じる。
科目区分
教職科目
当該授業科目の教育課程内での位置づけ
UM-F422

講義コード	11220001
講義名	道徳教育及び特別活動の研究
(副題)	【教職必修】
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	前期
講義区分	講義
基準単位数	1
代表曜日	木曜日
代表時限	３時限
必修/選択	自由
実務経験のある教員の有無	無
実務経験のある教員の経歴と授業内容	
学年	4学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 田口 和人	指定なし

授業の概要と教育目標

教育課程における道徳教育・特別活動の位置について理解することを第一に行います。その上で、道徳教育と特別活動を一応区分したうえで、それぞれについて「グループ討議」を行います。また視聴覚教材を見て道徳の授業についての理解を深めます。
教育課程における道徳教育・特別活動の位置について理解すると同時に、今日の子どもたちが置かれた状況を考慮した場合に、どのような道徳教育・特別活動が求められるのかについて考えることを学習の目標とします。

卒業認定・学位授与の方針との関連

人間を対象とする教育職員の役割を念頭に置いて、社会・環境・コミュニケーションについての認識を深める。また、多様な社会のニーズ、変化に対応できるように、自らの「資質・能力」を高めることに努める。

到達目標

日本の道徳教育は1945年を境とする戦前・戦後では大きく変わりました。それは特別活動にも同様のことがいえます。何がどのように変わったのかについて理解することを一つの目標とします。その上で、今日の子どもたちが抱える様々な教育問題を想定しながら、求められる道徳教育・特別活動はどのようなものであるかについて、自分自身で考えることを二つ目の目標とします。

授業計画

	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	道徳教育とは、特別活動とは（教育課程についての説明）。日本の近代教育における道徳教育と特別活動について考える。		予習90分：教育に関する事象について調べる。復習90分：配付資料を見直す。
第2回	教育活動の二つの形態（教授と陶冶）について学習する。		予習90分：教育に関する事象について調べる。復習90分：配付資

			料を見直す。
第3回	今日の道徳の教科化を念頭に、学習指導要領と道徳教育・特別活動について学習する。	小・中学校時代に受けてきた道徳の授業、特別活動を振り返る。	予習90分：教育に関する事象について調べる。復習90分：配付資料を見直す。
第4回	道徳の授業の視聴覚教材を見て、批判的な検討・学習を行う。	道徳の授業の視聴覚教材を見て、批判的な検討・学習を行う。	予習90分：教育に関する事象について調べる。復習90分：配付資料を見直す。
第5回	学級活動、児童会活動及び生徒会活動、学校行事について学習する。		予習90分：教育に関する事象について調べる。復習90分：配付資料を見直す。
第6回	テーマを設定してグループごとに討議を行う。	テーマを設定してグループごとに討議を行う。	予習90分：教育に関する事象について調べる。復習90分：配付資料を見直す。
第7回	グループ討議した内容を整理して、発表する。	グループ討議した内容を整理して、発表する。	予習90分：教育に関する事象について調べる。復習90分：配付資料を見直す。
第8回	道徳教育と特別活動の現状と展望についてのまとめを行う。		予習90分：教育に関する事象について調べる。復習90分：配付資料を見直す。

教科書

なし

参考書

適宜、資料を配付します。

成績評価の方法・基準

単位認定：60点以上 筆記試験80%、授業中のレポート、発言20%で評価します。

課題等に対する
フィードバックの方法

授業内でレポートを課すことがある。返却するので学習の参考にすること。また、授業内での自分自身の発言の参考にすること。

履修のポイント

主体的、対話的で深い学びを期待します。

オフィス・アワー

火曜日・木曜日の12：30～13：20（昼休み） 11号館第⑦研究室
※授業終了後も、適宜受け付けます。

科目区分

教職科目

当該授業科目の教育課程内での位置づけ

UM-F470

講義コード	11230001
講義名	教育相談論
(副題)	【教職必修】
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	前期
講義区分	講義
基準単位数	2
代表曜日	金曜日
代表時限	４時限
必修/選択	自由
実務経験のある教員の有無	有
実務経験のある教員の経歴と授業内容	教育センター教育相談部やスクールカウンセラーの経験を活かし、教育相談に臨むにあたって必要な姿勢や在り方を解説する
学年	4学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 大澤 靖彦	指定なし

授業の概要と教育目標

児童・生徒の発達の状況等一般的理解の意義と手法を学びながら、個々の心理的特質や教育的課題を捉える個別的理解ついて学習する。その際、教育相談の技術として、カウンセリングに関する基礎的事柄についても、体験的な学びを交えながら理解を深めていく。また、教育相談の組織的な取組や連携についても、職種や分掌を意識した校内体制の在り方を理解するとともに、保護者に対する教育相談や、必要に応じた地域の医療・福祉・心理等の専門機関との連携の意義を理解していく。

卒業認定・学位授与の方針との関連

ディプロマポリシーにおいて重視されている「人間の理解」との関係で、教育相談の必要性を理解し、基礎的知識を得るとともに、実践する際の基礎力を身に付けます。

到達目標

１）学校における教育相談の意義と理論を理解する。
２）教育相談を進める際に必要な基礎的知識（カウンセリングに関する基礎的事柄を含む）を理解する。
３）教育相談の具体的な進め方やそのポイント、組織的な取組みや連携の必要性を理解する。

授業計画

	担当者	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	大澤靖彦	オリエンテーション 日本における教育相談の歴史を踏まえ、教育相談とは何か（目的、開発的・予防的・治療的側面）について理解する。	教育相談がどのように行われているのかについて、グループで話し合い自分の考えを深める。	予習90分：教科書を準備し、授業に備える。 復習90分：教科書p2～7と配布資料を熟読し、教育相談の意義と役割についてノートに整理する。
				予習90分：教科

第2回	大澤靖彦	教育相談の実際（教育相談と近接概念、教師の強みと限界） 教師の行う相談活動について、学校現場の様子を理解しながら、教師だからこそできる相談について考究する。	教師の強みとは何かについてグループで話し合い自分の考えを深める。	書pp.176～185を読み、重要箇所にアンダーラインを引く。 復習90分：カウンセラーではなく、教師だからこそできる相談の長所・短所をノートに整理するとともにレポートに着手する。
第3回	大澤靖彦	アセスメント（情報収集の方法、援助シート、心理検査） 子どもの援助のためにはアセスメントは重要である。アセスメントの一部である心理テストについても理解する。	児童生徒の支援にはどのような情報が必要なのかについてグループで話し合い自分の考えを深める。	予習90分：教科書p90～100を熟読し、重要箇所にアンダーラインを引く。 復習90分：さまざまなテストの特徴について覚え、過去問を解く。
第4回	大澤靖彦	カウンセリングに学ぶ相談の基本姿勢１（来談者中心療法） 教育相談における受容と共感がなぜ大切なのか、叱ることの意味について考究し、カウンセリングマインドとは何かについて理解する。	児童生徒が相談しやすくするために教師はどのような配慮が必要かについてグループで話し合い自分の考えを深める。	予習90分：教科書pp.13～21を熟読し、重要箇所にアンダーラインを引く。 復習90分：学校カウンセリングのベースとなるロジャーズの考え方をおさえたうえで、カウンセリングマインドについて理解する。
第5回	大澤靖彦	カウンセリングに学ぶ相談の基本姿勢２（精神分析、行動療法） 学習理論に基づく人間の行動の理解と行動変容の考え方を理解する。	児童生徒理解のために心理療法や理論の知恵をどう活かすかについてグループで話し合い自分の考えを深める。	予習90分：1年時の「心理学」で学んだ「学習」についてポイントを整理しておく。 復習90分：日常生活の中にある学習した困ったことについてどのようなものがあるか考え、ノートに書き出す。
第6回	大澤靖彦	カウンセリングに学ぶ相談の基本姿勢３（認知行動療法、家族へのアプローチ、日本で生まれた心理療法）	児童生徒理解のために心理療法や理論の知恵をどう活かすかについてグループで話し合い自分の考えを深める。	予習90分：教科書p38～40（認知療法）を熟読し、重要箇所をノートにまとめる。 復習90分：教科書pp.38～40（認知療法）を熟読し、重要箇所をノートにまとめる。
第7回	大澤靖彦	面接技法（受容、繰り返し、明確化、支持、沈黙、質問） 面接における基本的な技法を習得することを目指すが、日常の会話や授業でも使えるようにする。	児童生徒が安心して話ができるように教師が配慮すべきことについて、グループで話し合い自分の考えを深める。	予習90分：自分にとって、安心して話ができる場面とはどのような場面か考え、ノートにまとめてくる。 復習90分：面接の基本的技法を日常生活で使用して、改善点や感想を書き出す。
	大	ロールプレイ	ロールプレイを通し	予習90分：前回の授業のプリントを参考に面接のロールプレイができるよ

第8回	澤靖彦	基本的な応答を使ったロールプレイを行い、面接の基本を習得する。	て、面接の基本的技法を習得する。	うに準備してくる。 復習90分：日常生活で学んだことを試してみて、自分の応答のクセや改善点について考える。
第9回	大澤靖彦	発達段階の理解（発達段階、発達課題、愛着との関連） 発達段階とその段階に特徴的にみられる問題について理解する。		予習90分：1年時の「心理学」で学んだ「発達」についてポイントを押さえておく。 復習90分：発達にかかわるさまざまな問題についてノートにまとめる。
第10回	大澤靖彦	障害の理解（発達障害、不安障害等） 勉強についていけない子、友だちとうまくやれない子の背景について考えるとともに、その顕著な例としての発達障害について理解を深める。	学習障害の疑似体験を通して、児童生徒理解を深める。	予習90分：教科書p69～78を熟読し、重要箇所にアンダーラインを引く。 復習90分：発達障害の特徴について整理してノートにまとめる。
第11回	大澤靖彦	不登校の理解と対応 学校へ行けない子の背景について考えるとともに、不登校への対応について考える。	不登校という現象を通して児童生徒理解を深める。	予習90分：教科書p112～124を熟読し、重要箇所にアンダーラインを引く。 復習90分：不登校を予防するために教師はどのような配慮をすればよいのかについてノートにまとめる。
第12回	大澤靖彦	非行の理解と対応 非行にはしる子の背景について理解を深め、学校としてどのようなことができるかについて考える。さらに学級崩壊の背景を知ることで子ども理解を深める	なぜ非行に走るのかについてグループで話し合い児童生徒理解をを深める。	予習90分：教科書p126～148を熟読し、重要箇所にアンダーラインを引く。 復習90分：新聞等で少年犯罪についてのトピックスを拾い出し、考究し、ノートにまとめる。
第13回	大澤靖彦	いじめの理解と対応 ／ 教育相談における保護者への支援 いじめのメカニズムを理解することで現代の子どもの理解を深めるとともにその対応について考究する。	いじめがおこる背景についてグループで話し合い自分の考えを深める。	予習90分：教科書pp.149～162を熟読し、重要箇所にアンダーラインを引く。 復習90分：いじめを予防するためには教師はどのような配慮すればよいのかについてノートにまとめる。
第14回	大澤靖彦	被虐待児の理解と対応 ／ チーム支援 被虐待児の特徴を理解し、点（一人の教師）ではなく面（チーム）で支えることについて考究する。	なぜ虐待が起こるのかについてグループで話し合い自分の考えを深める。	予習90分：なぜ虐待が起こるのか自分なりに仮説を立ててみる。 復習90分：攻撃性のコントロールができない被虐待児への対応について整理する。
	大			予習90分：14回までの小テストに目を通して確認テストの準備をする。

第15回	澤靖彦	まとめ ／ 教師のメンタルヘルス		復習90分：教師のメンタルヘルスを維持し向上させるためには何が必要なのかについてノートに整理する。

教科書

石川正一郎・藤井泰 編 『エッセンス学校教育相談心理学』北大路書房 2010年

参考書

文部科学省『生徒指導提要』2010年

成績評価の方法・基準

単位認定60点以上。
授業への積極的参加30%、レポート課題30%、試験40%の割合で総合評価

課題等に対する
フィードバックの方法

授業内でレポートや課題を課すことがある。返却するので学習の参考にすること。また、授業で資料を配布するので、授業内容の理解に役立てること。

履修のポイント

授業への積極的な取り組みを期待します。予習として各回の主題に該当する教科書の章に目を通すこと、復習として配布資料・ノートのまとめを復習として勧めます。

オフィス・アワー

水曜日・木曜日、12：30〜13：20（昼休み）、11 号館第 8 研究室。
※講義終了前後にも、適宜受け付けます。

科目区分

教職科目

当該授業科目の教育課程内での位置づけ

UM-F472

講義コード	11240001
講義名	教職実践演習（養護教諭）
(副題)	【教職必修】
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	後期
講義区分	演習
基準単位数	2
代表曜日	水曜日
代表時限	３時限
必修/選択	自由
実務経験のある教員の有無	有
実務経験のある教員の経歴と授業内容	公立学校において養護教諭として学校保健活動の推進に従事した経験を活かし、"学校現場の今を捉えた理論と実際の理解"と"児童生徒の多様な健康課題に対応し得る能力の育成"を重視した授業展開を行う。
学年	4学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 間戸 美恵	指定なし
教員	大澤 靖彦	指定なし

授業の概要と教育目標

【授業の概要】第1回目に、養護担当教員と教職担当教員によるオリエンテーションを行う。また、各自の課題把握状況と授業に対する希望調査を行う。その後、希望調査の結果を踏まえた授業内容で課題を改善する。後半では、保健教育に関して各自のテーマで調べ学習を行い、模擬授業形式で発表し、自他の評価を行い学習成果の共有を図る。
【教育目標】
・これまでの学びを通じて、養護教諭として最小限必要な資質能力が有機的に統合され形成されたかについて確認する
・教師になる上で、自己にとって何が課題であるのかを自覚し、不足している知識や技能等を補う
・子ども・保護者・教師が期待する養護教諭像を知り、自らが目指す養護教諭像を考える

卒業認定・学位授与の方針との関連

本科目は、看護並びに学校保健の専門領域における知識と技術の統合、問題を解決する能力を修得することを目指すものである。

到達目標

1. 教育実習評価、実習日誌、履修カルテ等により自己の課題を捉えることができる
2. 把握した自己の課題を改善すべく、不足している知識を学修し、技能を身に付ける
3. 子ども・保護者・教師が期待する養護教諭像を知り、自らが目指す養護教諭像を描くことができる

授業計画

	担当者	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間
	間			予習（90分）：実

第1回	戸美恵大澤靖彦	オリエンテーション 学びの希望調査	教職ポートフォリオを活用した自己の課題把握と学びの希望調査シートの作成	習記録簿等よりこれまでの学修を振り返る 復習（90分）：配布資料等の見直し
第2回	間戸美恵大澤靖彦	現職経験者による講話(1)（養護教諭の職務について）	ワークシートの活用 グループワーク	予習（90分）：実習記録簿等よりこれまでの学修を振り返る 復習（90分）：配布資料等の見直し
第3回	大澤靖彦	＜希望調査をふまえたテーマによる講義と演習＞ 対象理解について①（学校で比較的よくみられる事象について、発達的視点だけでなく多面的にとらえる姿勢を身につける）	グループ・ディスカッションを通じて、児童生徒の行動特徴を発達課題だけに留まらず、生物・心理・社会の視点から多面的に理解する。	予習（90分）：参考書や資料で事前学習 復習（90分）：配布資料等の見直し
第4回	大澤靖彦	＜希望調査をふまえたテーマによる講義と演習＞ 対象理解について②（学校で比較的よくみられる事象について、発達的視点だけでなく多面的にとらえる姿勢を身につける）	グループ・ディスカッションを通じて、児童生徒の行動特徴を発達課題だけに留まらず、生物・心理・社会の視点から多面的に理解する。	予習（90分）：参考書や資料で事前学習 復習（90分）：配布資料等の見直し
第5回	間戸美恵	＜希望調査をふまえたテーマによる講義と演習＞ 保健教材の効果的な活用方法(1) 模擬授業の準備	調べ学習（指導案の作成と教材作り等の模擬授業の準備を進める）	予習（90分）：参考書や資料で事前学習 復習（90分）：配布資料等の見直し
第6回	間戸美恵	＜希望調査をふまえたテーマによる講義と演習＞ 保健教材の効果的な活用方法(2) 模擬授業の準備	調べ学習（指導案の作成と教材作り等の模擬授業の準備を進める）	予習（90分）：参考書や資料で事前学習 復習（90分）：配布資料等の見直し
	大	＜希望調査をふまえたテーマによる講義と演習	発達障害と不登校における具体的な事象についてグループ・ディスカッ	予習（90分）：参考書や資料で

第7回	澤靖彦	＞ 発達障害児と不登校児の理解とかかわり方①	ションを行い、児童生徒を多面的に理解する。さらに、対応策についても検討する。	事前学習 復習 （90分）：配布資料等の見直し
第8回	大澤靖彦	＜希望調査をふまえたテーマによる講義と演習＞ 発達障害児と不登校児の理解とかかわり方②	グループ･ディスカッション （発達障害と不登校における基本的理解と対応について検討する）	予習 （90分）：参考書や資料で事前学習 復習 （90分）：配布資料等の見直し
第9回	大澤靖彦	＜希望調査をふまえたテーマによる講義と演習＞ 被虐待児への理解とかかわり方	被虐待児への対応についてグループ･ディスカッションを行い、児童生徒を多面的に理解する。さらに、対応策についても検討する。	予習 （90分）：参考書や資料で事前学習 復習 （90分）：配布資料等の見直し
第10回	間戸美恵	現職経験者による講話(2)	ワークシートの活用 グループワーク、グループ･ディスカッション	予習 （90分）：参考書や資料で事前学習 復習 （90分）：配布資料等の見直し
第11回	間戸美恵	＜希望調査をふまえたテーマによる講義と演習＞ 保健室経営計画(1)	個人ワークとグループワーク （養護教諭の役割と保健室の機能を理解し、児童生徒の健康課題を捉えた保健室経営計画を作成する）	予習 （90分）：参考書や資料で事前学習 復習 （90分）：配布資料等の見直し
第12回	間戸美恵	＜希望調査をふまえたテーマによる講義と演習＞ 保健室経営計画(2)	個人ワークとグループワーク （養護教諭の役割と保健室の機能を理解し、児童生徒の健康課題を捉えた保健室経営計画を作成する）	予習 （90分）：参考書や資料で事前学習 復習 （90分）：配布資料等の見直し
第13回	間戸美恵	＜希望調査をふまえたテーマによる講義と演習＞ 学校における応急処置の実際について	グループワーク （学校で起こり得る傷病の応急処置について振り返り、手技を確認する）	予習 （90分）：参考書や資料で事前学習 復習 （90分）：配布資料等の見直し
	間戸			予習 （90分）：参

第14回	美恵大澤靖彦	模擬授業とグループワーク	模擬授業による発表 （調べ学習の成果を授業形式で発表し、グループワークで評価を行う）	考書や資料で事前学習 復習 （90分）：配布資料等の見直し
第15回	間戸美恵大澤靖彦	まとめ （目指す養護教諭像について）	グループ･ディスカッション （教師、子ども、保護者が期待する養護教諭の姿とは）	復習 （180分）：課題レポートに取り組む

教科書

とくに指定しない。必要に応じて、プリント等を配布する。

参考書

「新版 学校保健－チームとしての学校で取り組むヘルスプロモーション－」東山書房
「新養護概説－第11版－」少年写真新聞社
「保健室経営計画作成の手引－平成26年度改訂－」日本学校保健会

成績評価の方法・基準

授業の取り組み（参加･貢献度）60%、レポート･課題40%とし、60点以上で単位認定とする。

課題等に対する
フィードバックの方法

授業内で課題を課すことがある。返却するので、参考資料等も含めて振り返りをし、学習内容の理解に役立てること。

履修のポイント

・各自が自分の考えを積極的に発表し、共に学び合う場にしようと意識すること
・各自の課題意識に基づいた自律的な学びを行なうこと

オフィス・アワー

在室時に随時対応します。10号館第1研究室（間戸）
水曜日･金曜日12：30～13：20（昼休み）11号館第8研究室（大澤）

科目区分

教職科目

当該授業科目の教育課程内での位置づけ

UK-F480

講義コード	11250001
講義名	養護実習
(副題)	【教職必修】
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	通年
講義区分	実験・実習
基準単位数	4
代表曜日	
代表時限	
必修/選択	自由
実務経験のある教員の有無	有
実務経験のある教員の経歴と授業内容	公立学校において養護教諭として学校保健活動の推進に従事した経験を活かし、"学校現場の今を捉えた理論と実際の理解"と"児童生徒の多様な健康課題に対応し得る能力の育成"を重視した授業展開を行う。
学年	4学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 間戸 美恵	指定なし

授業の概要と教育目標

本科目では、これまでに学習した学校保健や養護教諭の執務に関する知識や技術を、実際の教育現場において＜講話、観察、参加、実習＞により実践的に学ぶ。養護教諭の職務と役割や学校保健活動が、学校の教育活動の一環として展開されていることを理解し、養護教諭としての実践的基礎的な資質能力を養うことを目標とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

本科目は、看護並びに学校保健の専門領域における知識と技術の統合、問題を解決する能力を修得することを目指すものである。

到達目標

1. 子どもの学校生活の実態を把握するとともに、健康問題を学校生活（学校環境を含む）とのかかわりから捉えることができる
2. 養護教諭が行う保健教育、保健管理、組織活動の実際に触れ、知識と実践を結び付けてより深く理解することができる
3. 子どもの健康問題にかかわる養護教諭と他教職員との連携の方法を具体的に理解する
4. 養護教諭に対する志向を高めるとともに、養護教諭になるための自らの課題について理解し、研鑽しようとする態度を養う

授業計画

	担当者	授業内容と方法、課題	予習・復習と そのために必要な時間
第1回	間戸 美恵	＜第1週＞ 実習計画の細案の打合せ（講義、観察、参加、実習別） 情報収集と実習目標に向けた取組み	実習要項、実習記録簿、実習校の実習計画案を基に、内容に応じた時間で予習･復習を行う
		＜第2週＞	

第2回	間戸美恵	情報収集と実習目標に向けた取組み 積極的に課題意識をもって実践する	実習計画に沿って、振り返りと資料等の作成の準備を随時行う
第3回	間戸美恵	＜第3週＞ 実習の総括を行い、実習校及び大学へ提出する報告書を作成する	実習計画に沿って、振り返りと資料等の作成の準備を随時行う

教科書

「改訂養護実習ハンドブック」東山書房

参考書

「新版 学校保健－チームとしての学校で取り組むヘルスプロモーション－」東山書房
「新養護概説－第11版－」少年写真新聞社
「児童生徒等の健康診断マニュアル－平成27年度改訂版－」日本学校保健会

成績評価の方法・基準

実習校での評価50%、実習記録と実習期間の取り組み状況50%を目安に、大学教職課程委員会と協議し、総合判定とする。60点以上で単位認定とする。なお、再実習は実施しない。

課題等に対する
フィードバックの方法

実習期間中は毎日、実習内容の記録と自己の振り返りを行う。また、実習校の指導者との振り返りから予習や復習を行うとともに、指導案や資料作成について随時検討していく。日々の実習記録簿の提出を通して評価を受け、実習の効果を積み上げていくこと。

履修のポイント

実習校での積極的な取り組みや反省･評価を繰り返すことで成果が得られます。そのための事前準備が重要です。

オフィス・アワー

事前にアポイントを取りながら行う。10号館第1研究室

科目区分

教職科目

当該授業科目の教育課程内での位置づけ

UK-F473

講義コード	11260001
講義名	教育実習事前事後指導
(副題)	【教職必修】
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	通年
講義区分	演習
基準単位数	1
代表曜日	月曜日
代表時限	３時限
必修/選択	自由
実務経験のある教員の有無	有
実務経験のある教員の経歴と授業内容	公立学校において養護教諭として学校保健活動の推進に従事した経験を活かし、"学校現場の今を捉えた理論と実際の理解"と"児童生徒の多様な健康課題に対応し得る能力の育成"を重視した授業展開を行う。
学年	4学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 間戸 美恵	指定なし
教員	大澤 靖彦	指定なし

授業の概要と教育目標

本科目は、養護教諭免許状の取得を目指す学生が、教育実習（養護実習）の事前にその意義と学校現場における学び方や、教育実習生としての立場と責任について学習する。また、既修の知識･技術と実習現場における実践との統合が効果的に行われるよう養護教諭の主要な執務を事前に演習等でおさえる。実習後には教育現場で体験した事柄を振り返り、事前事後を通して自己の課題解決に向けて取り組むことを目標とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

本科目は、看護並びに学校保健の専門領域における知識と技術の統合、問題を解決する能力を修得することを目指すものである。

到達目標

1. 教育実習生としての立場や心構えについて理解し、実習校との事前打合せ等の必要な準備･手続きを主体的に行うことができる
2. 実習校の特徴や事前に知り得た児童生徒の実態、学校保健計画の内容等を踏まえて、本授業や自己学習に取り組み、実習に向けて知識･技術等の理解を深めることができる
3. 教育実習の事前事後を通して、自己の課題解決を目指して取り組むことができる

授業計画

	担当者	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	間戸美恵	＜オリエンテーション＞ 授業概要の説明 実習の意義や目的について実習要項をもとに説明 実習校との事前打合せについて	調べ学習 （ホームページ等から、実習校の概要についてまとめる）	予習（90分）：教科書第1章を事前学習 復習（90分）：参考資料等の見直し

第2回	間戸美恵	＜保健教育(1)＞ 児童生徒の現代的な健康課題を捉えてテーマを設定し、学級活動学習指導案を作成する	調べ学習	予習（90分）：教科書第8章を事前学習 復習（90分）：参考資料等の見直し
第3回	間戸美恵	＜子どもの心身の健康管理のための活動(1)＞ 定期健康診断の事前指導･実施･事後指導について演習を行う	ロールプレイング （児童生徒役、先生役になって実施）	予習（90分）：関連する既習の参考書等で事前学習 復習（90分）：参考資料等の見直し
第4回	間戸美恵	＜子どもの心身の健康管理のための活動(2)＞ 定期健康診断の事前指導･実施･事後指導について演習を行う	ロールプレイング （児童生徒役、先生役になって実施）	予習（90分）：関連する既習の参考書等で事前学習 復習（90分）：参考資料等の見直し
第5回	間戸美恵	＜保健教育(2)＞ 保健だよりや掲示による啓発活動について学ぶ	調べ学習（保健教育教材の作成）	予習（90分）：教科書第8章を事前学習 復習（90分）：参考資料等の見直し
第6回	間戸美恵	＜保健教育(3)＞ 模擬保健教育を行う ＜養護実習に向けて＞ 実習記録簿の書き方について 実習生として必要な心構えについて	ロールプレイング （児童生徒役、先生役になって実施） グループワーク、グループディスカッション	予習（90分）：実習要項と教科書第2章を事前学習 復習（90分）：実習記録簿、参考資料等の見直し
第7回	間戸美恵大澤靖彦	養護実習報告会と自己評価	プレゼンテーション （養護実習の成果と課題について発表する。発表後に自他の評価を行う。）	予習（90分）：実習記録等を振り返り、資料作成等の事前準備を実施
第8回	間戸美恵大澤靖彦	養護実習報告会と自己評価	プレゼンテーション （養護実習の成果と課題について発表する。発表後に自他の評価を行う。）	復習（135分）：課題レポートに取り組む

教科書

「改訂養護実習ハンドブック」東山書房

参考書

「児童生徒等の健康診断マニュアルー平成27年度改訂版ー」日本学校保健会
「学校環境衛生管理マニュアルー平成30年度改訂版ー」文部科学省

成績評価の方法・基準

授業の取り組み40%、実習報告会での発表･評価40%、レポート･課題20%とし、60点以上で単位認定とする。

課題等に対する
フィードバックの方法

授業内で課題を課すことがある。返却するので、参考資料等も含めて振り返りをし、学習内容の

理解に役立てること。
履修のポイント
教育実習(養護実習)での学びを効果的に行うための科目です。意欲･関心･課題意識を持ち、積極的な姿勢で臨んでください。
オフィス・アワー
在室時に随時対応します。10号館第1研究室
科目区分
教職科目
当該授業科目の教育課程内での位置づけ
UK-F474